参考資料３

大阪府

子どもの生活に関する実態調査

令和６年３月

大阪府

調査研究業務　受注者

公立大学法人大阪　大阪公立大学

目次

はじめに 2
Ⅰ　調査概要 3
　１．調査の目的 3
　２．調査方法 3
　３．調査内容 3
　４．調査対象者 3
　５．調査実施日 3
　６．調査配布・回収率(数) 3
　７．調査実施主体 5
　８．研究者一覧 5
　９．大阪府内全自治体のデータ統合時の扱い 5

Ⅱ　調査結果 7
　１．単純集計結果〔小学生・中学生〕 7
　２．単純集計結果〔保護者〕 85
　３．クロス集計および分析結果 186
　　３－１．基本情報 186
　　（１）経済状況 186
　　（２）家庭状況（制度等） 205
　　３－２．雇用 252
　　３－３．健康 260
　　３－４．家庭生活、学習 303
　　３－５．対人関係 363

Ⅲ　総合考察 431
　１）大阪府共同調査の意義 431
　２）単純集計 431
　３）クロス集計 434
　まとめ 436

Ⅳ　資料編 445

はじめに

2014年１月「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行されたことをスタートに、2014年８月「子供の貧困対策に関する大綱」が策定された。これら政府の動きを受けて、大阪市や大阪府内自治体含む大阪府は約10万件にも及ぶ子どもの生活に関する実態調査に共同で取り組んだ。府内すべてを網羅したこと、同じ調査で実施したことの意味は、大きい。なぜなら、各自治体がばらばらに実施し結果を見せても共通の指標にならず、この数値がどうなのか、意味があるのか、よくわからない実態も少なくない。世間でもかなり話題になり、マスコミに多数取り挙げられた。この頃には、子どもの貧困が広く知られ社会問題化されつつあったが、この大規模な調査の動きは拍車をかけたのみならず、データ数の多さから、全て実証され、以下に示す政策にも少なからず影響をもたらした。

2019年６月「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が5年ぶりに見直され、「こどもの貧困対策の推進に関する法律の一部を改正する法律」が施行された。それを受けて、同年11月「子供の貧困対策に関する大綱～日本の将来を担う子供たちを誰一人取り残すことがない社会に向けて～」が再策定された。大綱では、「支援が届いていない、又は届きにくい子ども・家庭に配慮して対策を推進する」、「困窮層が多様であること」、「社会的孤立に陥ることのないように配慮する」など新たな視点が基本方針として追加され、ヤングケアラーと思われる子どもや、外国籍や障がいを持つ子どもたちなど、具体的な困窮層の子どもや家庭が示された。同時に、2023年４月にこども家庭庁が発足され、貧困をはじめとする子どもを取り巻く社会問題にシームレスに向き合い、途切れない政策・支援を打ち立てていくことが期待されている。

こうして子どもの貧困に関する社会的認知や政策が知られるようになったが、子どもの実態はどう変わったのであろうか。政策の効果は表れたであろうか。そんな思いをもって、大阪府では再度府内自治体とともに子どもの生活に関する実態調査が共同実施されることになった。全国的にここまで一体的に実施する都道府県は存在せず、大阪府が、大阪府内の大半を占める大阪市も含めて牽引した役割は大きい。

子どもの貧困については、前回と同様に、その国の貧困線未満の所得で暮らす相対的貧困の17歳以下の子どもの存在および生活状況を指す相対的貧困率でとらえる。OECDや厚生労働省調査の貧困率には等価可処分所得の中央値の50%が使用されているが、絶対的なものではなく、EU、ユニセフは公式の貧困基準のひとつに中央値の60%を使用（ただし、常に60%基準採用ではない）している。前回同様、60%のラインも含め検討している。子どもの相対的貧困率については、発表主体、統計利用データ年次によって変動する。内容的には、タウンゼンドの定義を元にChild Poverty Action Group（CPAG）が示している、①所得や資産など経済的資本（capital）の欠如、②健康や教育など人的資本（human capital）の欠如、③つながりやネットワークなど社会関係資本(social capital)の欠如、の３つの資本の欠如を基本的な枠組みとしてとらえる。

Ⅰ　調査概要

１．調査の目的

大阪府では、子どもたちが積極的に自分の生き方を選択し、自立できるよう様々な施策を実施している中、今後、効果的な子どもの貧困対策を検証するために調査を実施し、得られた結果を分析することによって、支援を必要とする子どもや家庭に対する方策を検証することを目的としている。

２．調査方法

18市町*を除く住民基本台帳より無作為抽出した8,000世帯に対して、調査票を郵送し、郵送及びWEBにて回収を得たもの。

＊18市町：大阪市、豊中市、池田市、守口市、枚方市、八尾市、泉佐野市、富田林市、河内長野市、和泉市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、能勢町

３．調査内容

巻末の調査票参照

４．調査対象者

小学５年生・その保護者（4,000 世帯）　中学２年生・その保護者（4,000 世帯）

５．調査実施日

大阪府：令和５年７月３日～令和５年７月31日

大阪府内全自治体：令和５年６月27日～令和５年９月30日

６．調査配布・回収率(数)

表１．調査票の回収状況

		回収率(%)	回収数	配布数
大阪府25市町村	小学５年生	30.0	1,201	4,000
	小学５年生の保護者	29.3	1,173	4,000
	中学２年生	27.2	1,089	4,000
	中学２年生の保護者	26.2	1,046	4,000
	小学５年生・中学２年生合計	28.6	2,290	8,000
	小学５年生保護者・中学２年生保護者合計	27.7	2,219	8,000
	計	28.2	4,509	16,000
大阪府全自治体	小学５年生	56.2	23,289	41,458
	小学５年生の保護者	55.0	22,819	41,458
	中学２年生	51.4	19,990	38,911
	中学２年生の保護者	49.8	19,390	38,911
	小学５年生・中学２年生合計	54.0	43,370	80,369
	小学５年生保護者・中学２年生保護者合計	53.9	43,358	80,369
	計	54.0	86,728	160,738

※大阪府内全自治体の小学５年生・中学２年生合計、小学５年生保護者・中学２年生保護者合計の数値については、学年不明分を含んだものとなっている（子ども：91 件、保護者：1,149 件）

※大阪府内全自治体の小学５年生、小学５年生保護者、中学２年生、中学２年生保護者、小学５年生・中学２年生合計、小学５年生保護者・中学２年生保護者合計の数値については、一部自治体の他学年分を含んだものとなっている。

※「計」は、「小学５年生・中学２年生合計」と「小学５年生保護者・中学２年生保護者合計」の合計となっている。

大阪府内全自治体回収状況配布・回収方法別

		回収率(%)	回収数	配布数
学校配布・学校回収	小学５年生	61.6	15,927	25,852
	小学５年生の保護者	62.6	16,178	25,852
	中学２年生	58.3	13,712	23,539
	中学２年生の保護者	58.2	13,707	23,539
	小学５年生・中学２年生合計	60.1	29,674	49,391
	小学５年生保護者・中学２年生保護者合計	60.7	29,977	49,391
	計	60.4	59,651	98,782
学校配布・郵送回収	小学５年生	22.6	1,401	6,191
	小学５年生の保護者	22.2	1,376	6,191
	中学２年生	15.3	936	6,099
	中学２年生の保護者	15.5	943	6,099
	小学５年生・中学２年生合計	19.2	2,362	12,290
	小学５年生保護者・中学２年生保護者合計	19.2	2,361	12,290
	計	19.2	4,723	24,580
郵送配布・郵送回収	小学５年生	21.3	2,003	9,415
	小学５年生の保護者	21.0	1,978	9,415
	中学２年生	17.8	1,646	9,273
	中学２年生の保護者	17.8	1,653	9,273
	小学５年生・中学２年生合計	19.7	3,676	18,688
	小学５年生保護者・中学２年生保護者合計	19.7	3,675	18,688
	計	19.7	7,351	37,376
学校配布・WEB回答	小学５年生	23.0	3,007	13,068
	小学５年生の保護者	17.0	2,228	13,068
	中学２年生	21.3	2,714	12,718
	中学２年生の保護者	16.0	2,037	12,718
	小学５年生・中学２年生合計	22.2	5,723	25,786
	小学５年生保護者・中学２年生保護者合計	19.2	4,949	25,786
	計	20.7	10,672	51,572
郵送配布・WEB回答	小学５年生	10.1	951	9,415
	小学５年生の保護者	11.2	1,059	9,415
	中学２年生	10.6	982	9,273
	中学２年生の保護者	11.3	1,050	9,273
	小学５年生・中学２年生合計	10.4	1,935	18,688
	小学５年生保護者・中学２年生保護者合計	12.8	2,396	18,688
	計	11.6	4,331	37,376

※各配布・回収方法の小学５年生・中学２年生合計、小学５年生保護者・中学２年生保護者合計の数値については、学年不明分を含んだものとなっている（子ども：91 件、保護者：1,149 件）
※大阪府内全自治体の小学５年生、小学５年生保護者、中学２年生、中学２年生保護者、小学５年生・中学２年生合計、小学５年生保護者・中学２年生保護者合計の数値については、一部自治体の他学年分を含んだものとなっている。
※「計」は、「小学５年生・中学２年生合計」と「小学５年生保護者・中学２年生保護者合計」の合計となっている。

なお、未就学児童の保護者を対象とした調査も大阪府内の３自治体において実施した。さらに１自治体では、小５・中２以外の学年の児童とその保護者を対象とした調査も実施した。これらの合計配布数は、19,513件、回収数は14,626件、回収率は75.0％であった。

７．調査実施主体

大阪府
調査研究業務受託者
公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科

８．研究者一覧

担当者　公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科
教授　山野 則子（業務責任者）
特任講師　橋本 麿和
シニア研究員　永田 麻衣　佐伯 厘咲　李 孟
協力者　公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科
准教授　嵯峨 嘉子
研究補助者　公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 経済学研究科
准教授　牛 冰
武庫川女子大学　社会情報学部 社会情報学科　助教　駒田 安紀
大阪商業大学 公共学部 公共学科　助教　林 萍萍
奈良佐保短期大学 地域こども学科　講師　河村 信子
公立大学法人大阪 大阪公立大学　研究員　黄 健育　渡邊 陽亮
大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 専攻社会福祉学分野　林 慎吾
松浦 孝範　久地井 寿哉　渡邊 祐作

９．大阪府内全自治体のデータ統合時の扱い

本報告書においては、大阪府25市町村と大阪府内全自治体をそれぞれ掲載している。大阪府25市町村のデータについては既に「Ⅰ 調査概要 ２～８」で述べた方法で収集したものである。大阪府内全自治体については、大阪府25市町村のデータに「２．調査方法」で列記した共同実施18市町のデータを統合したものである。これら全自治体においては、小学生・中学生27問、保護者26問をそれぞれ共通設問として調査項目を設計し、全体を統合して扱うあるいは比較することが可能なものとした。なお、一部の市においては、これらの共通設問とは別途把握したい内容がある場合に限り、追加で独自設問を設けている。

調査の結果、府と他共同実施18市町との間で回収率や回収数に差が生じた。府では、予めサンプリングした対象8000件への配布を行いその約30％の回収となったのに対し、他共同実施市ではほとんどの市が全数配布の結果､高いところでは70％を超える回収率となっている。このため、自治体間で回収率あるいはサンプルサイズの補正を行うか否かについて検討し、補正は行わないとの結論に達した。

１点目の理由としては、今回の調査では調査票配布の方法に郵送配布と学校配布の２種類があり、いずれを用いるかは自治体の状況に基づいて決定された。配布方法が異なることで回収率に差が生じることは避けられないものであった。

２点目の理由としては、このような状況に対して、例えば回収率の高かった自治体についてデータの再サンプリングなどの方法を用いて削減を行うことも意見が出された。しかし、その場合、どのような基準で選択するのかが恣意的になってしまうこと、削減後の結果を提

示した場合、施策を提言するための貴重な調査結果であるにもかかわらずその一部が掬い取られないことになり、全数調査をした市においては意義が失われてしまう。

このような理由から、大阪府内全自治体のデータは回収したデータをすべて統合したものとなっている。

本報告書では、「大阪府25市町村」、「大阪府内全自治体」両者のグラフを掲載しているため、このように書き分けて論じていく。

なお、報告書においてはパーセンテージを用いて記述し、議論を進める。この中で、パーセンテージで示される数値同士の加・減・除を行う（合計する・差を把握する・何倍かに着目する）ことがあるが、実際に示された数値で算出しても結果が異なることがある。これは、示されている数値は小数第二位以下を四捨五入しているものであり、算出には四捨五入前の厳密な数値を用いていることによるものである。

Ⅱ　調査結果

１．単純集計結果〔小学生・中学生〕

大阪府

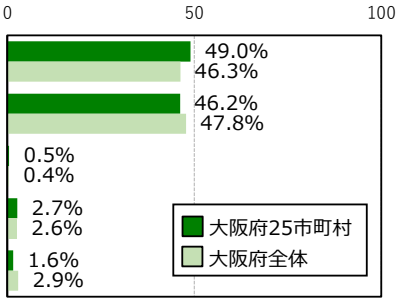
回答者の属性

問27　性別

全体は、大阪府25市町村では、「男子」が49.0%、「女子」が46.2%となっている。大阪府全体では、「男子」が46.3%、「女子」が47.8%となっている。
小学生は、大阪府25市町村では、「男子」が47.7%、「女子」が47.9%となっている。大阪府全体では、「男子」が46.2%、「女子」が48.0%となっている。
中学生は、大阪府25市町村では、「男子」が50.4%、「女子」が44.3%となっている。大阪府全体では、「男子」が46.5%、「女子」が47.6%となっている。

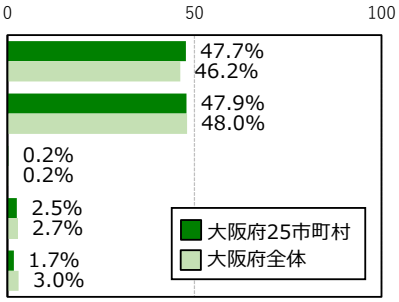
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
男子	1,130名	49.0%	20,086名	46.3%
女子	1,066名	46.2%	20,729名	47.8%
その他	12名	0.5%	169名	0.4%
答えたくない	63名	2.7%	1,134名	2.6%
無回答	37名	1.6%	1,252名	2.9%



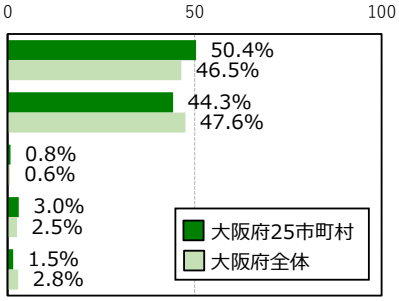
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
男子	573名	47.7%	10,752名	46.2%
女子	575名	47.9%	11,171名	48.0%
その他	3名	0.2%	42名	0.2%
答えたくない	30名	2.5%	636名	2.7%
無回答	20名	1.7%	688名	3.0%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
男子	549名	50.4%	9,295名	46.5%
女子	482名	44.3%	9,516名	47.6%
その他	9名	0.8%	127名	0.6%
答えたくない	33名	3.0%	493名	2.5%
無回答	16名	1.5%	559名	2.8%



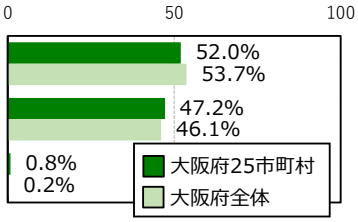
回答者の属性

問1　学年

大阪府25市町村では、「小学生」が1,201名・52.0%、「中学生」が1,089名・47.2%となっている。
大阪府全体では、「小学生」が23,289名・53.7%、「中学生」が19,990名・46.1%となっている。

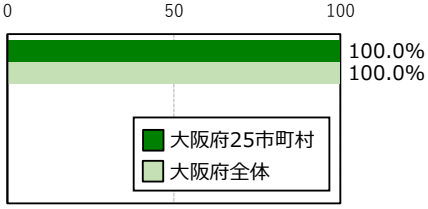
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
小学生	1,201名	52.0%	23,289名	53.7%
中学生	1,089名	47.2%	19,990名	46.1%
無回答	18名	0.8%	91名	0.2%



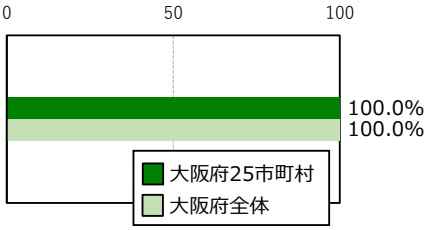
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
小学生	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
中学生	－	－	－	－
無回答	－	－	－	－



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
小学生	－	－	－	－
中学生	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
無回答	－	－	－	－



ふだんの生活のことについて

問２　起床時間の規則性

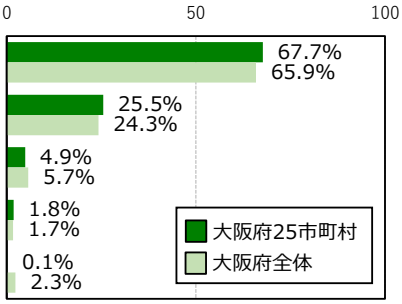
全体は、大阪府25市町村では、「起きている」が67.7%で最も多く、次いで「どちらかといえば、起きている」が25.5%、「あまり、起きていない」が4.9%となっている。大阪府全体では、「起きている」が65.9%で最も多く、次いで「どちらかといえば、起きている」が24.3%、「あまり、起きていない」が5.7%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「起きている」が68.7%で最も多く、次いで「どちらかといえば、起きている」が25.1%、「あまり、起きていない」が4.4%となっている。大阪府全体では、「起きている」が65.3%で最も多く、次いで「どちらかといえば、起きている」が24.6%、「あまり、起きていない」が6.0%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「起きている」が66.6%で最も多く、次いで「どちらかといえば、起きている」が26.0%、「あまり、起きていない」が5.5%となっている。大阪府全体では、「起きている」が66.8%で最も多く、次いで「どちらかといえば、起きている」が24.0%、「あまり、起きていない」が5.4%となっている。

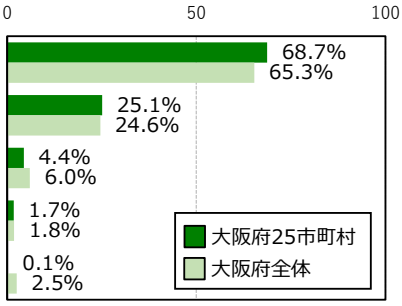
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
起きている	1,563名	67.7%	28,594名	65.9%
どちらかといえば、起きている	589名	25.5%	10,539名	24.3%
あまり、起きていない	113名	4.9%	2,478名	5.7%
起きていない	41名	1.8%	741名	1.7%
無回答	2名	0.1%	1,018名	2.3%



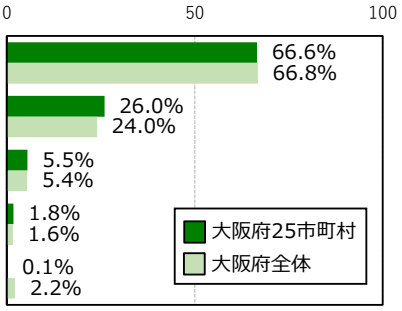
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
起きている	825名	68.7%	15,198名	65.3%
どちらかといえば、起きている	301名	25.1%	5,722名	24.6%
あまり、起きていない	53名	4.4%	1,386名	6.0%
起きていない	21名	1.7%	410名	1.8%
無回答	1名	0.1%	573名	2.5%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
起きている	725名	66.6%	13,344名	66.8%
どちらかといえば、起きている	283名	26.0%	4,791名	24.0%
あまり、起きていない	60名	5.5%	1,088名	5.4%
起きていない	20名	1.8%	328名	1.6%
無回答	1名	0.1%	439名	2.2%



ふだんの生活のことについて

問３　就寝時間

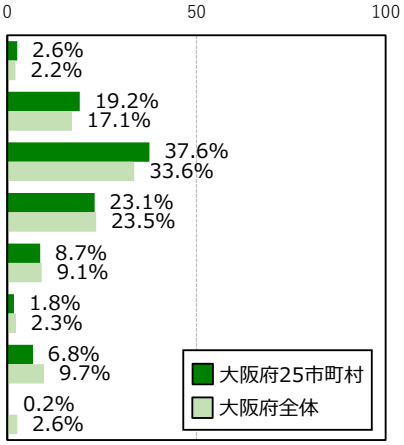
全体は、大阪府25市町村では、「午後10時台」が37.6％で最も多く、次いで「午後11時台」が23.1％、「午後９時台」が19.2％、「午前０時台」が8.7％となっている。大阪府全体では、「午後10時台」が33.6％で最も多く、次いで「午後11時台」が23.5％、「午後９時台」が17.1％、「きまっていない」が9.7％となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「午後10時台」が46.7％で最も多く、次いで「午後９時台」が32.1％、「午後11時台」が10.3％、「午後９時より前」が4.6％となっている。大阪府全体では、「午後10時台」が42.5％で最も多く、次いで「午後９時台」が28.1％、「午後11時台」が13.5％、「きまっていない」が7.1％となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「午後11時台」が37.1％で最も多く、次いで「午後10時台」が27.5％、「午前０時台」が16.6％、「きまっていない」が9.5％となっている。大阪府全体では、「午後11時台」が35.2％で最も多く、次いで「午後10時台」が23.3％、「午前０時台」が17.3％、「きまっていない」が12.7％となっている。

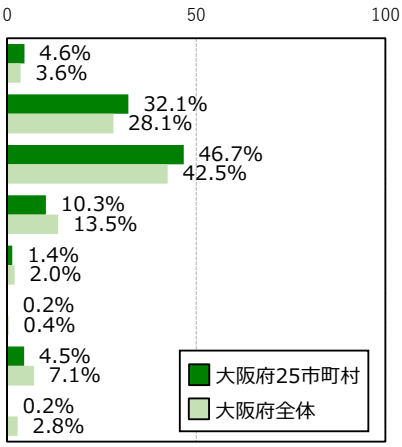
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
午後９時より前	59名	2.6%	963名	2.2%
午後９時台	444名	19.2%	7,400名	17.1%
午後10時台	867名	37.6%	14,573名	33.6%
午後11時台	534名	23.1%	10,204名	23.5%
午前０時台	200名	8.7%	3,927名	9.1%
午前１時より後	42名	1.8%	979名	2.3%
きまっていない	157名	6.8%	4,213名	9.7%
無回答	5名	0.2%	1,111名	2.6%



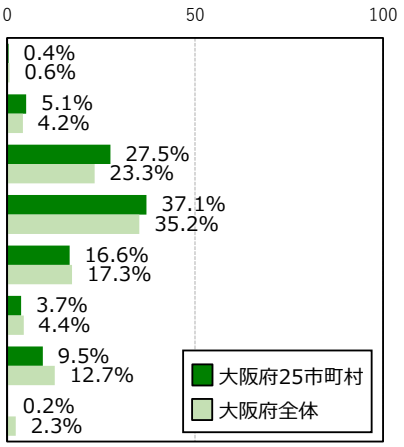
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
午後９時より前	55名	4.6%	845名	3.6%
午後９時台	385名	32.1%	6,553名	28.1%
午後10時台	561名	46.7%	9,894名	42.5%
午後11時台	124名	10.3%	3,139名	13.5%
午前０時台	17名	1.4%	455名	2.0%
午前１時より後	2名	0.2%	95名	0.4%
きまっていない	54名	4.5%	1,660名	7.1%
無回答	3名	0.2%	648名	2.8%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
午後９時より前	4名	0.4%	113名	0.6%
午後９時台	55名	5.1%	830名	4.2%
午後10時台	300名	27.5%	4,655名	23.3%
午後11時台	404名	37.1%	7,043名	35.2%
午前０時台	181名	16.6%	3,464名	17.3%
午前１時より後	40名	3.7%	883名	4.4%
きまっていない	103名	9.5%	2,544名	12.7%
無回答	2名	0.2%	458名	2.3%



ふだんの生活のことについて

問４（１）朝食の頻度

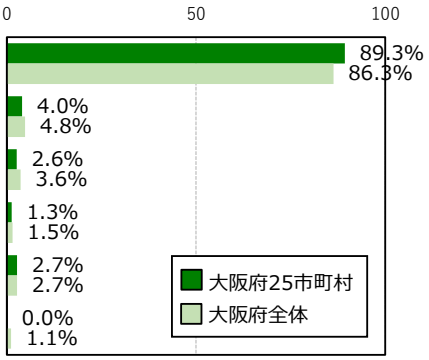
全体は、大阪府25市町村では、「毎日またはほとんど毎日」が89.3％で最も多く、次いで「週に４～５回」が4.0％、「食べない」が2.7％、「週に２～３回」が2.6％となっている。大阪府全体では、「毎日またはほとんど毎日」が86.3％で最も多く、次いで「週に４～５回」が4.8％、「週に２～３回」が3.6％、「食べない」が2.7％となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「毎日またはほとんど毎日」が93.5％で最も多く、次いで「週に４～５回」が2.8％、「週に２～３回」が2.0％、「食べない」が1.2％となっている。大阪府全体では、「毎日またはほとんど毎日」が89.9％で最も多く、次いで「週に４～５回」が3.6％、「週に２～３回」が2.8％、「食べない」が1.5％となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「毎日またはほとんど毎日」が84.7％で最も多く、次いで「週に４～５回」が5.2％、「食べない」が4.5％、「週に２～３回」が3.3％となっている。大阪府全体では、「毎日またはほとんど毎日」が82.2％で最も多く、次いで「週に４～５回」が6.0％、「週に２～３回」が4.6％、「食べない」が4.1％となっている。

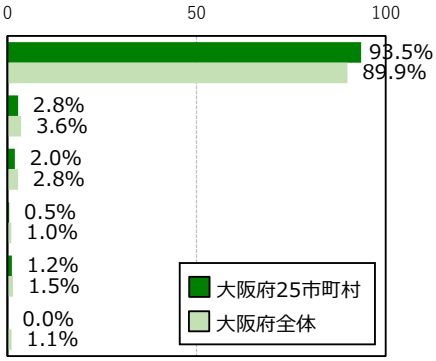
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	2,061名	89.3%	37,447名	86.3%
週に４～５回	92名	4.0%	2,062名	4.8%
週に２～３回	61名	2.6%	1,564名	3.6%
週に１回程度	31名	1.3%	649名	1.5%
食べない	63名	2.7%	1,180名	2.7%
無回答	－	－	468名	1.1%



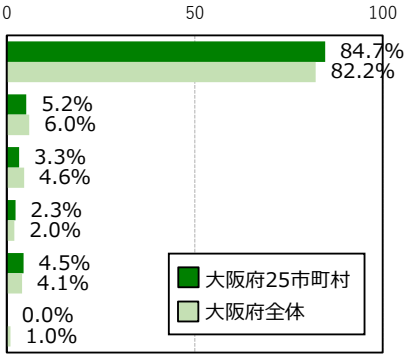
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	1,123名	93.5%	20,939名	89.9%
週に４～５回	34名	2.8%	849名	3.6%
週に２～３回	24名	2.0%	647名	2.8%
週に１回程度	6名	0.5%	241名	1.0%
食べない	14名	1.2%	359名	1.5%
無回答	－	－	254名	1.1%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	922名	84.7%	16,433名	82.2%
週に４～５回	57名	5.2%	1,207名	6.0%
週に２～３回	36名	3.3%	913名	4.6%
週に１回程度	25名	2.3%	408名	2.0%
食べない	49名	4.5%	820名	4.1%
無回答	－	－	209名	1.0%



ふだんの生活のことについて

問４（２）朝食を食べない理由

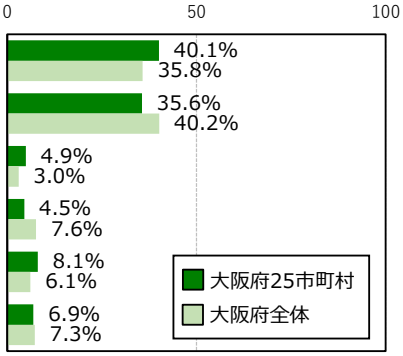
全体は、大阪府25市町村では、「時間がない」が40.1％で最も多く、次いで「おなかがすいていない」が35.6％、「用意されていない」が4.9％となっている。大阪府全体では、「おなかがすいていない」が40.2％で最も多く、次いで「時間がない」が35.8％、「食べる習慣がない」が7.6％となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「おなかがすいていない」が38.5％で最も多く、次いで「時間がない」が35.9％、「用意されていない」、「食べる習慣がない」がそれぞれ3.8％となっている。大阪府全体では、「おなかがすいていない」が43.4％で最も多く、次いで「時間がない」が33.1％、「食べる習慣がない」が5.5％となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「時間がない」が42.5％で最も多く、次いで「おなかがすいていない」が34.1％、「用意されていない」が5.4％となっている。大阪府全体では、「おなかがすいていない」が38.2％で最も多く、次いで「時間がない」が37.5％、「食べる習慣がない」が8.9％となっている。

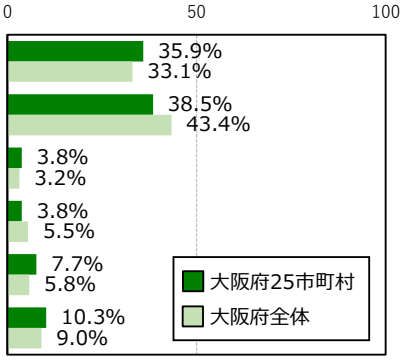
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	247名	100.0%	5,455名	100.0%
時間がない	99名	40.1%	1,954名	35.8%
おなかがすいていない	88名	35.6%	2,194名	40.2%
用意されていない	12名	4.9%	162名	3.0%
食べる習慣がない	11名	4.5%	414名	7.6%
わからない	20名	8.1%	334名	6.1%
無回答	17名	6.9%	397名	7.3%



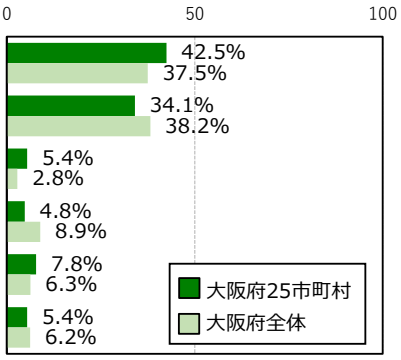
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	78名	100.0%	2,096名	100.0%
時間がない	28名	35.9%	694名	33.1%
おなかがすいていない	30名	38.5%	909名	43.4%
用意されていない	3名	3.8%	68名	3.2%
食べる習慣がない	3名	3.8%	116名	5.5%
わからない	6名	7.7%	121名	5.8%
無回答	8名	10.3%	188名	9.0%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	167名	100.0%	3,348名	100.0%
時間がない	71名	42.5%	1,257名	37.5%
おなかがすいていない	57名	34.1%	1,280名	38.2%
用意されていない	9名	5.4%	94名	2.8%
食べる習慣がない	8名	4.8%	298名	8.9%
わからない	13名	7.8%	212名	6.3%
無回答	9名	5.4%	207名	6.2%



ふだんの生活のことについて

問５（１）夕食の頻度

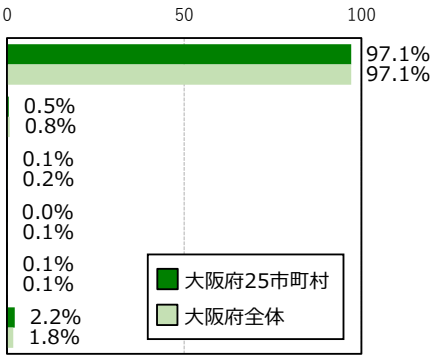
全体は、大阪府25市町村では、「毎日またはほとんど毎日」が97.1％で最も多く、次いで「週に４～５回」が0.5％となっている。大阪府全体では、「毎日またはほとんど毎日」が97.1％で最も多く、次いで「週に４～５回」が0.8％、「週に２～３回」が0.2％となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「毎日またはほとんど毎日」が97.6％で最も多く、次いで「週に４～５回」が0.2％となっている。大阪府全体では、「毎日またはほとんど毎日」が97.2％で最も多く、次いで「週に４～５回」が0.6％、「週に２～３回」が0.2％となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「毎日またはほとんど毎日」が96.8％で最も多く、次いで「週に４～５回」が0.8％となっている。大阪府全体では、「毎日またはほとんど毎日」が97.0％で最も多く、次いで「週に４～５回」が1.0％、「週に２～３回」が0.3％となっている。

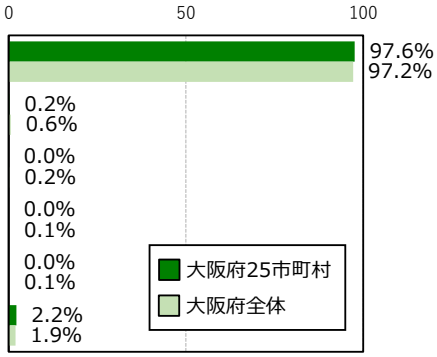
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	2,242名	97.1%	42,110名	97.1%
週に４～５回	11名	0.5%	327名	0.8%
週に２～３回	2名	0.1%	100名	0.2%
週に１回程度	-	-	31名	0.1%
食べない	2名	0.1%	32名	0.1%
無回答	51名	2.2%	770名	1.8%



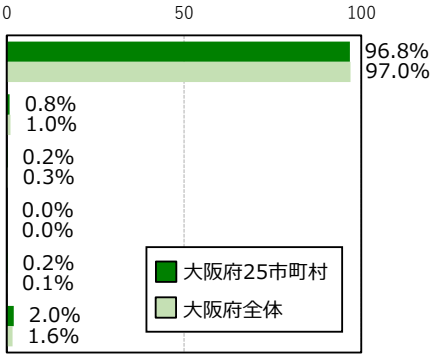
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	1,172名	97.6%	22,637名	97.2%
週に４～５回	2名	0.2%	132名	0.6%
週に２～３回	-	-	39名	0.2%
週に１回程度	-	-	23名	0.1%
食べない	-	-	16名	0.1%
無回答	27名	2.2%	442名	1.9%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	1,054名	96.8%	19,393名	97.0%
週に４～５回	9名	0.8%	195名	1.0%
週に２～３回	2名	0.2%	60名	0.3%
週に１回程度	-	-	8名	0.0%
食べない	2名	0.2%	16名	0.1%
無回答	22名	2.0%	318名	1.6%



ふだんの生活のことについて

問５（２）夕食を食べない理由

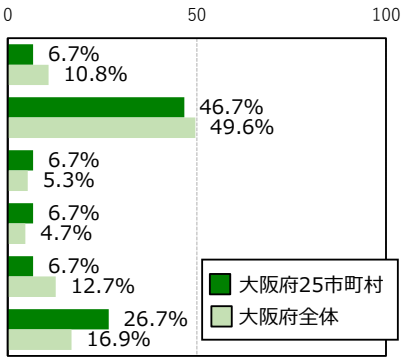
全体は、大阪府25市町村では、「おなかがすいていない」が46.7％（7名）で最も多く、次いで「時間がない」と「用意されていない」、「食べる習慣がない」がそれぞれ6.7％（1名）となっている。大阪府全体では、「おなかがすいていない」が49.6％で最も多く、次いで「時間がない」が10.8％、「用意されていない」が5.3％となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「わからない」が50.0％（１名）となっている。大阪府全体では、「おなかがすいていない」が41.4％で最も多く、次いで「時間がない」と「用意されていない」がそれぞれ7.1％となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「おなかがすいていない」が53.8％（７名）で最も多く、次いで「時間がない」、「用意されていない」、「食べる習慣がない」がそれぞれ7.7％（１名）となっている。大阪府全体では、「おなかがすいていない」が55.6％で最も多く、次いで「時間がない」が13.6％、「食べる習慣がない」が5.4％となっている。

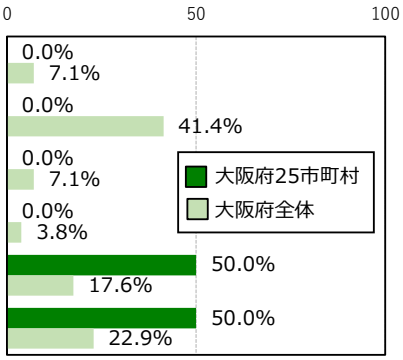
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	15名	100.0%	490名	100.0%
時間がない	1名	6.7%	53名	10.8%
おなかがすいていない	7名	46.7%	243名	49.6%
用意されていない	1名	6.7%	26名	5.3%
食べる習慣がない	1名	6.7%	23名	4.7%
わからない	1名	6.7%	62名	12.7%
無回答	4名	26.7%	83名	16.9%



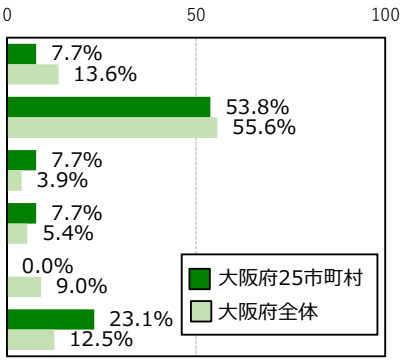
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2名	100.0%	210名	100.0%
時間がない	－	－	15名	7.1%
おなかがすいていない	－	－	87名	41.4%
用意されていない	－	－	15名	7.1%
食べる習慣がない	－	－	8名	3.8%
わからない	1名	50.0%	37名	17.6%
無回答	1名	50.0%	48名	22.9%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	13名	100.0%	279名	100.0%
時間がない	1名	7.7%	38名	13.6%
おなかがすいていない	7名	53.8%	155名	55.6%
用意されていない	1名	7.7%	11名	3.9%
食べる習慣がない	1名	7.7%	15名	5.4%
わからない	－	－	25名	9.0%
無回答	3名	23.1%	35名	12.5%



ふだんの生活のことについて

問６（１）休日の昼食の頻度

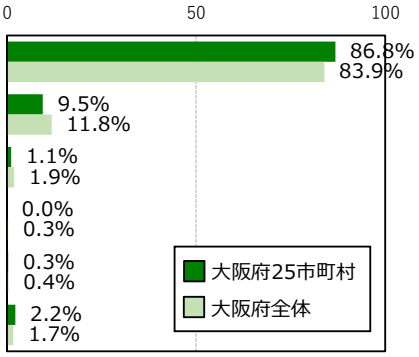
全体は、大阪府25市町村では、「必ず食べる」が86.8%で最も多く、次いで「食べることが多い」が9.5%、「食べないことが多い」が1.1%となっている。大阪府全体では、「必ず食べる」が83.9%で最も多く、次いで「食べることが多い」が11.8%、「食べないことが多い」が1.9%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「必ず食べる」が90.0%で最も多く、次いで「食べることが多い」が6.9%、「食べないことが多い」が0.4%となっている。大阪府全体では、「必ず食べる」が86.9%で最も多く、次いで「食べることが多い」が9.5%、「食べないことが多い」が1.3%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「必ず食べる」が83.2%で最も多く、次いで「食べることが多い」が12.5%、「食べないことが多い」が1.8%となっている。大阪府全体では、「必ず食べる」が80.5%で最も多く、次いで「食べることが多い」が14.4%、「食べないことが多い」が2.6%となっている。

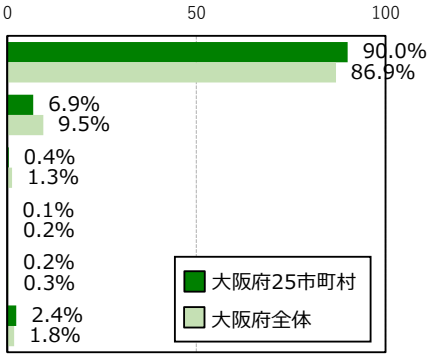
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
必ず食べる	2,004名	86.8%	36,388名	83.9%
食べることが多い	219名	9.5%	5,118名	11.8%
食べないことが多い	25名	1.1%	830名	1.9%
食べない	1名	0.0%	117名	0.3%
わからない	8名	0.3%	180名	0.4%
無回答	51名	2.2%	737名	1.7%



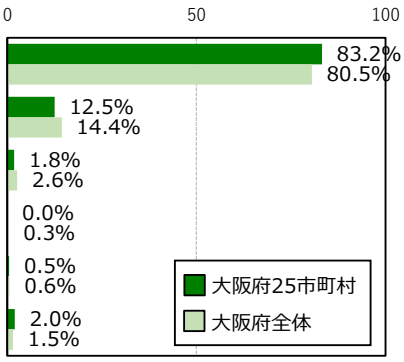
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
必ず食べる	1,081名	90.0%	20,227名	86.9%
食べることが多い	83名	6.9%	2,221名	9.5%
食べないことが多い	5名	0.4%	306名	1.3%
食べない	1名	0.1%	51名	0.2%
わからない	2名	0.2%	62名	0.3%
無回答	29名	2.4%	422名	1.8%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
必ず食べる	906名	83.2%	16,090名	80.5%
食べることが多い	136名	12.5%	2,886名	14.4%
食べないことが多い	20名	1.8%	524名	2.6%
食べない	-	-	66名	0.3%
わからない	5名	0.5%	117名	0.6%
無回答	22名	2.0%	307名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問６（２）休日に昼食を食べない理由

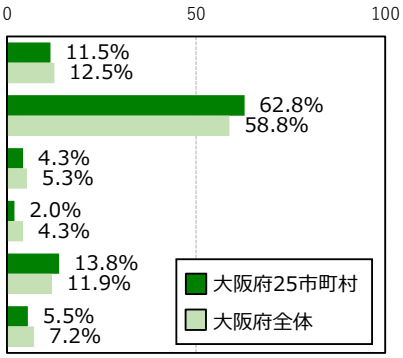
全体は、大阪府25市町村では、「おなかがすいていない」が62.8%で最も多く、次いで「時間がない」が11.5%、「用意されていない」が4.3%となっている。大阪府全体では、「おなかがすいていない」が58.8%で最も多く、次いで「時間がない」が12.5%、「用意されていない」が5.3%、「食べる習慣がない」が4.3%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「おなかがすいていない」が60.4%で最も多く、次いで「時間がない」が13.2%、「用意されていない」が4.4%となっている。大阪府全体では、「おなかがすいていない」が57.2%で最も多く、次いで「時間がない」が13.0%、「用意されていない」が5.2%、「食べる習慣がない」が3.0%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「おなかがすいていない」が64.6%で最も多く、次いで「時間がない」が10.6%、「用意されていない」が4.3%となっている。大阪府全体では、「おなかがすいていない」が60.0%で最も多く、次いで「時間がない」が12.2%、「用意されていない」が5.3%、「食べる習慣がない」が5.2%となっている。

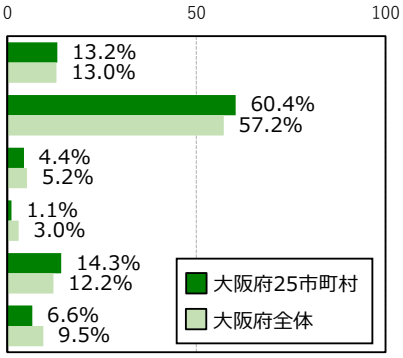
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	253名	100.0%	6,245名	100.0%
時間がない	29名	11.5%	783名	12.5%
おなかがすいていない	159名	62.8%	3,674名	58.8%
用意されていない	11名	4.3%	328名	5.3%
食べる習慣がない	5名	2.0%	266名	4.3%
わからない	35名	13.8%	744名	11.9%
無回答	14名	5.5%	450名	7.2%



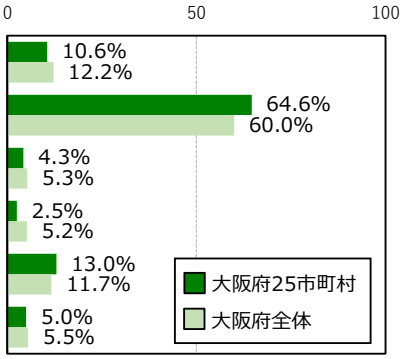
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	91名	100.0%	2,640名	100.0%
時間がない	12名	13.2%	343名	13.0%
おなかがすいていない	55名	60.4%	1,510名	57.2%
用意されていない	4名	4.4%	136名	5.2%
食べる習慣がない	1名	1.1%	78名	3.0%
わからない	13名	14.3%	321名	12.2%
無回答	6名	6.6%	252名	9.5%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	161名	100.0%	3,593名	100.0%
時間がない	17名	10.6%	438名	12.2%
おなかがすいていない	104名	64.6%	2,156名	60.0%
用意されていない	7名	4.3%	192名	5.3%
食べる習慣がない	4名	2.5%	188名	5.2%
わからない	21名	13.0%	422名	11.7%
無回答	8名	5.0%	197名	5.5%



ふだんの生活のことについて

問７　学校への遅刻

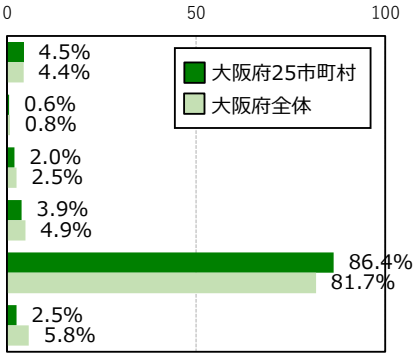
全体は、大阪府25市町村では、「遅刻はしない」が86.4％で最も多く、次いで「毎日またはほとんど毎日」が4.5％、「週に１回程度」が3.9％となっている。大阪府全体では、「遅刻はしない」が81.7％で最も多く、次いで「週に１回程度」が4.9％、「毎日またはほとんど毎日」が4.4％となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「遅刻はしない」が87.3％で最も多く、次いで「毎日またはほとんど毎日」が4.3％、「週に１回程度」が3.4％となっている。大阪府全体では、「遅刻はしない」が81.2％で最も多く、次いで「週に１回程度」が5.1％、「毎日またはほとんど毎日」が5.0％となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「遅刻はしない」が85.6％で最も多く、次いで「毎日またはほとんど毎日」が4.6％、「週に１回程度」が4.5％となっている。大阪府全体では、「遅刻はしない」が82.3％で最も多く、次いで「週に１回程度」が4.7％、「毎日またはほとんど毎日」が3.6％となっている。

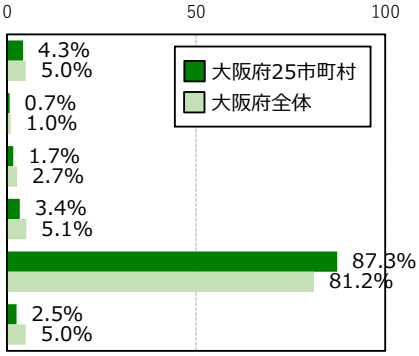
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	104名	4.5%	1,906名	4.4%
週に４～５回	14名	0.6%	333名	0.8%
週に２～３回	46名	2.0%	1,063名	2.5%
週に１回程度	91名	3.9%	2,132名	4.9%
遅刻はしない	1,995名	86.4%	35,435名	81.7%
無回答	58名	2.5%	2,501名	5.8%



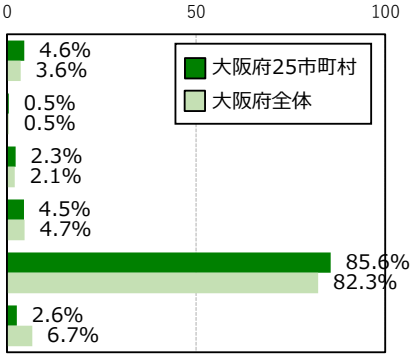
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	52名	4.3%	1,168名	5.0%
週に４～５回	9名	0.7%	223名	1.0%
週に２～３回	21名	1.7%	639名	2.7%
週に１回程度	41名	3.4%	1,194名	5.1%
遅刻はしない	1,048名	87.3%	18,907名	81.2%
無回答	30名	2.5%	1,158名	5.0%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	50名	4.6%	729名	3.6%
週に４～５回	5名	0.5%	109名	0.5%
週に２～３回	25名	2.3%	423名	2.1%
週に１回程度	49名	4.5%	935名	4.7%
遅刻はしない	932名	85.6%	16,459名	82.3%
無回答	28名	2.6%	1,335名	6.7%



ふだんの生活のことについて

問８　保護者との関係性　①おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか

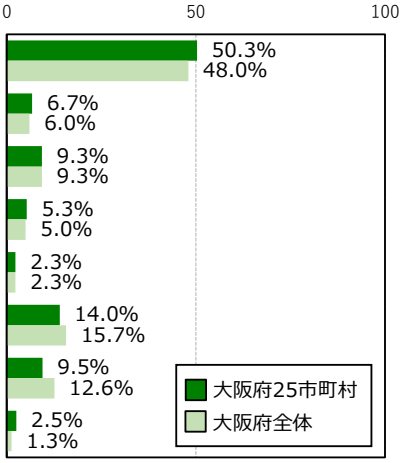
全体は、大阪府25市町村では、「ほとんど毎日」が50.3%で最も多く、次いで「ほとんどない」が14.0%、「まったくない」が9.5%、「週に２～３回」が9.3%となっている。大阪府全体では、「ほとんど毎日」が48.0%で最も多く、次いで「ほとんどない」が15.7%、「まったくない」が12.6%、「週に２～３回」が9.3%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「ほとんど毎日」が58.0%で最も多く、次いで「ほとんどない」が10.3%、「週に２～３回」が9.4%、「まったくない」が6.9%となっている。大阪府全体では、「ほとんど毎日」が55.0%で最も多く、次いで「ほとんどない」が13.1%、「週に２～３回」が9.5%、「まったくない」が8.9%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「ほとんど毎日」が41.7%で最も多く、次いで「ほとんどない」が18.4%、「まったくない」が12.4%、「週に２～３回」が9.2%となっている。大阪府全体では、「ほとんど毎日」が39.8%で最も多く、次いで「ほとんどない」が18.7%、「まったくない」が17.0%、「週に２～３回」が8.9%となっている。

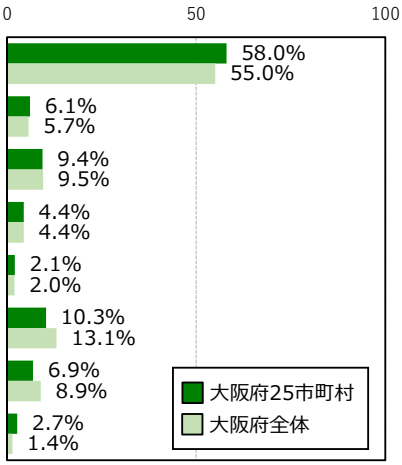
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	1,161名	50.3%	20,810名	48.0%
週に４～５回	155名	6.7%	2,583名	6.0%
週に２～３回	215名	9.3%	4,012名	9.3%
週に１回程度	122名	5.3%	2,155名	5.0%
月に１～２回	54名	2.3%	995名	2.3%
ほとんどない	324名	14.0%	6,794名	15.7%
まったくない	219名	9.5%	5,475名	12.6%
無回答	58名	2.5%	546名	1.3%



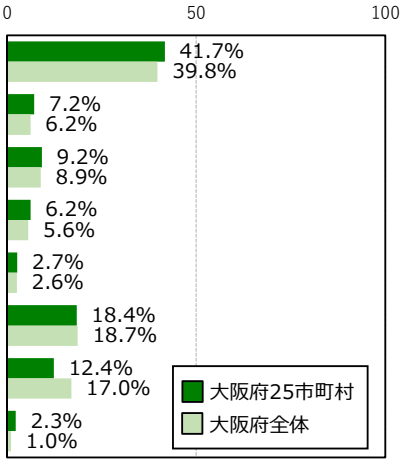
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	697名	58.0%	12,809名	55.0%
週に４～５回	73名	6.1%	1,328名	5.7%
週に２～３回	113名	9.4%	2,222名	9.5%
週に１回程度	53名	4.4%	1,023名	4.4%
月に１～２回	25名	2.1%	469名	2.0%
ほとんどない	124名	10.3%	3,042名	13.1%
まったくない	83名	6.9%	2,065名	8.9%
無回答	33名	2.7%	331名	1.4%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	454名	41.7%	7,962名	39.8%
週に４～５回	78名	7.2%	1,248名	6.2%
週に２～３回	100名	9.2%	1,780名	8.9%
週に１回程度	68名	6.2%	1,128名	5.6%
月に１～２回	29名	2.7%	526名	2.6%
ほとんどない	200名	18.4%	3,737名	18.7%
まったくない	135名	12.4%	3,400名	17.0%
無回答	25名	2.3%	209名	1.0%



ふだんの生活のことについて

問８　保護者との関係性　②おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか

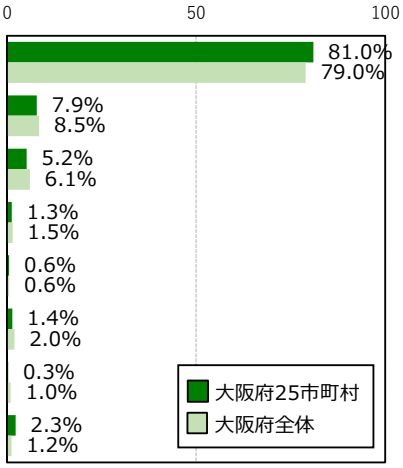
全体は、大阪府25市町村では、「ほとんど毎日」が81.0％で最も多く、次いで「週に４～５回」が7.9％、「週に２～３回」が5.2％となっている。大阪府全体では、「ほとんど毎日」が79.0％で最も多く、次いで「週に４～５回」が8.5％、「週に２～３回」が6.1％となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「ほとんど毎日」が87.1％で最も多く、次いで「週に４～５回」が4.5％、「週に２～３回」が3.9％となっている。大阪府全体では、「ほとんど毎日」が84.8％で最も多く、次いで「週に４～５回」が5.8％、「週に２～３回」が4.5％となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「ほとんど毎日」が74.2％で最も多く、次いで「週に４～５回」が11.6％、「週に２～３回」が6.7％となっている。大阪府全体では、「ほとんど毎日」が72.2％で最も多く、次いで「週に４～５回」が11.6％、「週に２～３回」が8.1％となっている。

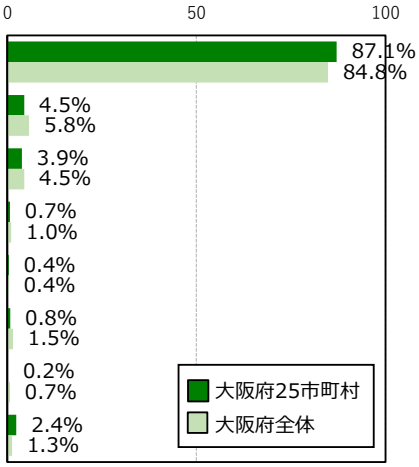
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	1,870名	81.0%	34,246名	79.0%
週に４～５回	182名	7.9%	3,679名	8.5%
週に２～３回	120名	5.2%	2,667名	6.1%
週に１回程度	29名	1.3%	656名	1.5%
月に１～２回	13名	0.6%	262名	0.6%
ほとんどない	33名	1.4%	889名	2.0%
まったくない	7名	0.3%	455名	1.0%
無回答	54名	2.3%	516名	1.2%



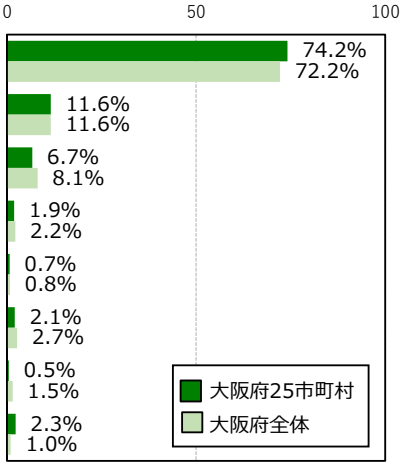
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	1,046名	87.1%	19,748名	84.8%
週に４～５回	54名	4.5%	1,360名	5.8%
週に２～３回	47名	3.9%	1,048名	4.5%
週に１回程度	8名	0.7%	222名	1.0%
月に１～２回	5名	0.4%	100名	0.4%
ほとんどない	10名	0.8%	349名	1.5%
まったくない	2名	0.2%	154名	0.7%
無回答	29名	2.4%	308名	1.3%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	808名	74.2%	14,429名	72.2%
週に４～５回	126名	11.6%	2,310名	11.6%
週に２～３回	73名	6.7%	1,616名	8.1%
週に１回程度	21名	1.9%	431名	2.2%
月に１～２回	8名	0.7%	162名	0.8%
ほとんどない	23名	2.1%	539名	2.7%
まったくない	5名	0.5%	301名	1.5%
無回答	25名	2.3%	202名	1.0%



ふだんの生活のことについて

問８　保護者との関係性　③おうちの大人の人に朝、起こしてもらうか

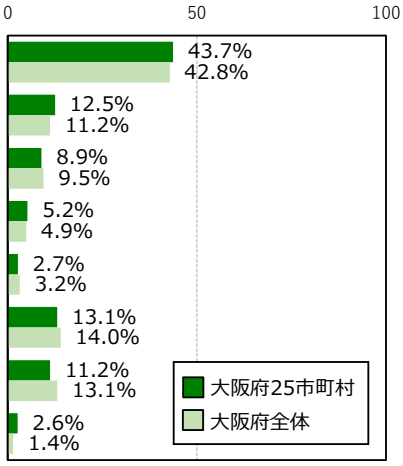
全体は、大阪府25市町村では、「ほとんど毎日」が43.7%で最も多く、次いで「ほとんどない」が13.1%、「週に４～５回」が12.5%、「まったくない」が11.2%となっている。大阪府全体では、「ほとんど毎日」が42.8%で最も多く、次いで「ほとんどない」が14.0%、「まったくない」が13.1%、「週に４～５回」が11.2%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「ほとんど毎日」が43.6%で最も多く、次いで「ほとんどない」が13.8%、「週に４～５回」が12.3%、「まったくない」が11.2%となっている。大阪府全体では、「ほとんど毎日」が46.3%で最も多く、次いで「ほとんどない」が13.0%、「まったくない」が12.1%、「週に４～５回」が10.9%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「ほとんど毎日」が43.6%で最も多く、次いで「週に４～５回」が12.6%、「ほとんどない」が12.5%、「まったくない」が11.2%となっている。大阪府全体では、「ほとんど毎日」が38.7%で最も多く、次いで「ほとんどない」が15.1%、「まったくない」が14.2%、「週に４～５回」が11.4%となっている。

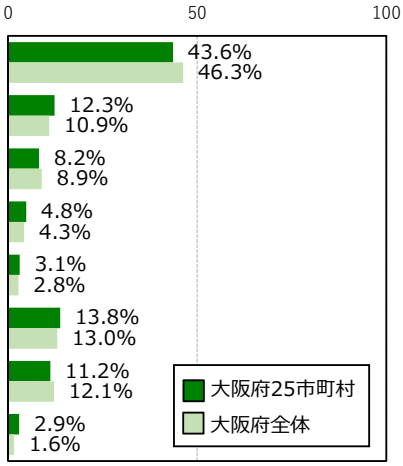
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	1,008名	43.7%	18,563名	42.8%
週に４～５回	288名	12.5%	4,840名	11.2%
週に２～３回	206名	8.9%	4,123名	9.5%
週に１回程度	121名	5.2%	2,130名	4.9%
月に１～２回	63名	2.7%	1,371名	3.2%
ほとんどない	303名	13.1%	6,057名	14.0%
まったくない	258名	11.2%	5,677名	13.1%
無回答	61名	2.6%	609名	1.4%



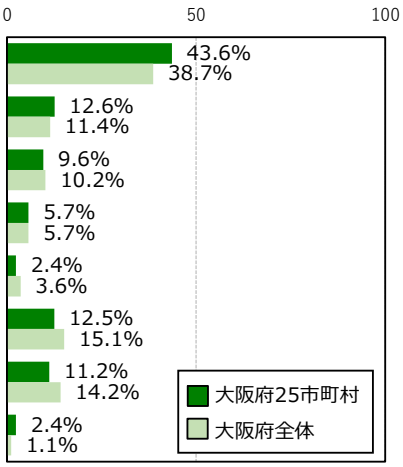
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	524名	43.6%	10,794名	46.3%
週に４～５回	148名	12.3%	2,544名	10.9%
週に２～３回	98名	8.2%	2,074名	8.9%
週に１回程度	58名	4.8%	992名	4.3%
月に１～２回	37名	3.1%	656名	2.8%
ほとんどない	166名	13.8%	3,036名	13.0%
まったくない	135名	11.2%	2,819名	12.1%
無回答	35名	2.9%	374名	1.6%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	475名	43.6%	7,736名	38.7%
週に４～５回	137名	12.6%	2,285名	11.4%
週に２～３回	105名	9.6%	2,040名	10.2%
週に１回程度	62名	5.7%	1,137名	5.7%
月に１～２回	26名	2.4%	711名	3.6%
ほとんどない	136名	12.5%	3,009名	15.1%
まったくない	122名	11.2%	2,843名	14.2%
無回答	26名	2.4%	229名	1.1%



ふだんの生活のことについて

問８　保護者との関係性　④おうちの手伝いをしているか

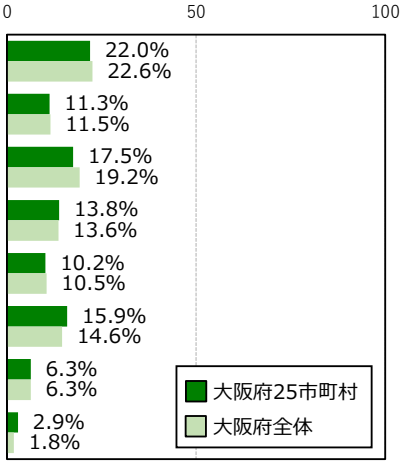
全体は、大阪府25市町村では、「ほとんど毎日」が22.0%で最も多く、次いで「週に２～３回」が17.5%、「ほとんどない」が15.9%、「週に１回程度」が13.8%となっている。大阪府全体では、「ほとんど毎日」が22.6%で最も多く、次いで「週に２～３回」が19.2%、「ほとんどない」が14.6%、「週に１回程度」が13.6%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「ほとんど毎日」が22.4%で最も多く、次いで「週に２～３回」が17.9%、「ほとんどない」が14.8%、「週に１回程度」が14.5%となっている。大阪府全体では、「ほとんど毎日」が24.0%で最も多く、次いで「週に２～３回」が19.5%、「週に１回程度」が13.7%、「ほとんどない」が12.9%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「ほとんど毎日」が21.1%で最も多く、次いで「ほとんどない」が17.4%、「週に２～３回」が17.3%、「週に１回程度」が13.0%となっている。大阪府全体では、「ほとんど毎日」が20.9%で最も多く、次いで「週に２～３回」が18.7%、「ほとんどない」が16.6%、「週に１回程度」が13.4%となっている。

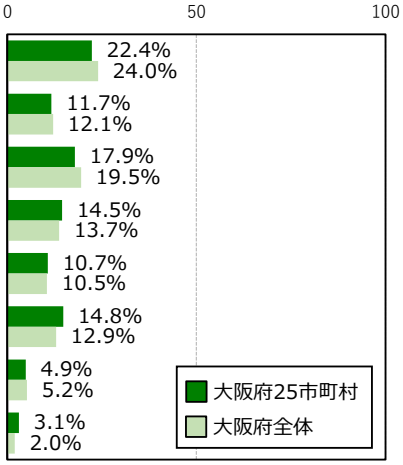
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	507名	22.0%	9,795名	22.6%
週に４～５回	261名	11.3%	5,006名	11.5%
週に２～３回	405名	17.5%	8,307名	19.2%
週に１回程度	319名	13.8%	5,879名	13.6%
月に１～２回	235名	10.2%	4,561名	10.5%
ほとんどない	368名	15.9%	6,329名	14.6%
まったくない	146名	6.3%	2,722名	6.3%
無回答	67名	2.9%	771名	1.8%



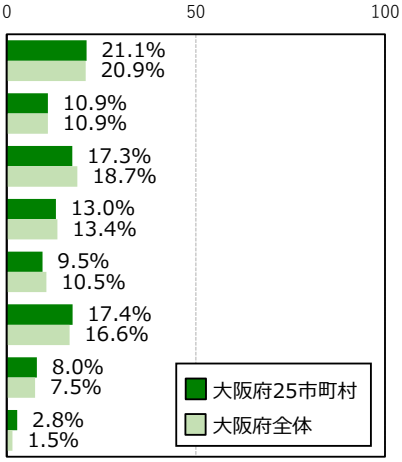
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	269名	22.4%	5,601名	24.0%
週に４～５回	141名	11.7%	2,812名	12.1%
週に２～３回	215名	17.9%	4,552名	19.5%
週に１回程度	174名	14.5%	3,186名	13.7%
月に１～２回	128名	10.7%	2,448名	10.5%
ほとんどない	178名	14.8%	3,000名	12.9%
まったくない	59名	4.9%	1,219名	5.2%
無回答	37名	3.1%	471名	2.0%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	230名	21.1%	4,171名	20.9%
週に４～５回	119名	10.9%	2,187名	10.9%
週に２～３回	188名	17.3%	3,741名	18.7%
週に１回程度	142名	13.0%	2,684名	13.4%
月に１～２回	103名	9.5%	2,103名	10.5%
ほとんどない	190名	17.4%	3,319名	16.6%
まったくない	87名	8.0%	1,494名	7.5%
無回答	30名	2.8%	291名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問８　保護者との関係性　⑤おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか

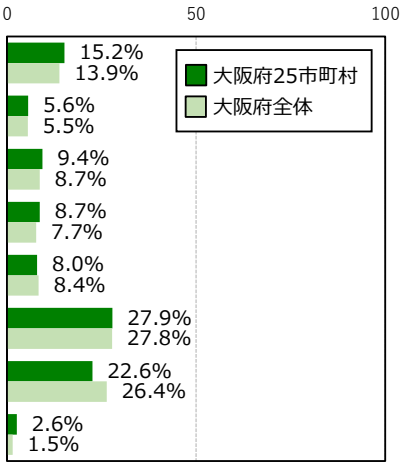
全体は、大阪府25市町村では、「ほとんどない」が27.9%で最も多く、次いで「まったくない」が22.6%、「ほとんど毎日」が15.2%、「週に２～３回」が9.4%となっている。大阪府全体では、「ほとんどない」が27.8%で最も多く、次いで「まったくない」が26.4%、「ほとんど毎日」が13.9%、「週に２～３回」が8.7%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「ほとんど毎日」が24.1%で最も多く、次いで「ほとんどない」が23.6%、「週に２～３回」が12.7%、「まったくない」が11.4%となっている。大阪府全体では、「ほとんどない」が23.4%で最も多く、次いで「ほとんど毎日」が22.0%、「まったくない」が15.6%、「週に２～３回」が12.0%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「まったくない」が35.1%で最も多く、次いで「ほとんどない」が32.9%、「月に１～２回」が8.9%、「週に１回程度」が7.1%となっている。大阪府全体では、「まったくない」が39.0%で最も多く、次いで「ほとんどない」が33.0%、「月に１～２回」が9.3%、「週に１回程度」が5.8%となっている。

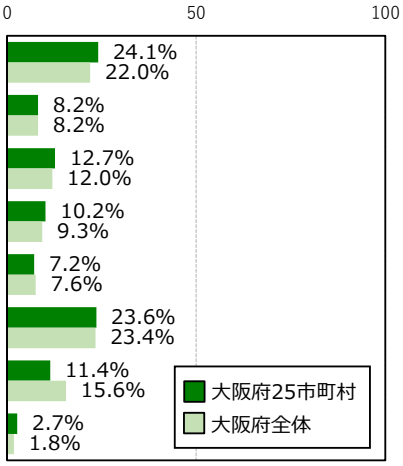
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	350名	15.2%	6,031名	13.9%
週に４～５回	130名	5.6%	2,392名	5.5%
週に２～３回	216名	9.4%	3,792名	8.7%
週に１回程度	200名	8.7%	3,336名	7.7%
月に１～２回	185名	8.0%	3,640名	8.4%
ほとんどない	644名	27.9%	12,077名	27.8%
まったくない	522名	22.6%	11,452名	26.4%
無回答	61名	2.6%	650名	1.5%



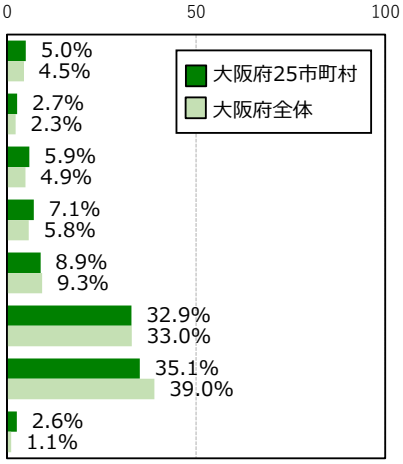
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	289名	24.1%	5,112名	22.0%
週に４～５回	99名	8.2%	1,921名	8.2%
週に２～３回	152名	12.7%	2,804名	12.0%
週に１回程度	122名	10.2%	2,176名	9.3%
月に１～２回	86名	7.2%	1,777名	7.6%
ほとんどない	283名	23.6%	5,454名	23.4%
まったくない	137名	11.4%	3,626名	15.6%
無回答	33名	2.7%	419名	1.8%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	54名	5.0%	905名	4.5%
週に４～５回	29名	2.7%	465名	2.3%
週に２～３回	64名	5.9%	983名	4.9%
週に１回程度	77名	7.1%	1,151名	5.8%
月に１～２回	97名	8.9%	1,857名	9.3%
ほとんどない	358名	32.9%	6,601名	33.0%
まったくない	382名	35.1%	7,803名	39.0%
無回答	28名	2.6%	225名	1.1%



ふだんの生活のことについて

問８　保護者との関係性　⑥おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すか

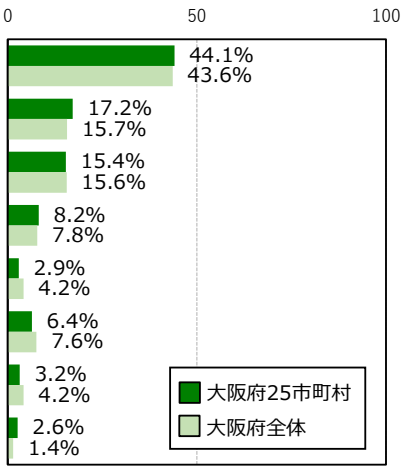
全体は、大阪府25市町村では、「ほとんど毎日」が44.1%で最も多く、次いで「週に４～５回」が17.2%、「週に２～３回」が15.4%、「週に１回程度」が8.2%となっている。大阪府全体では、「ほとんど毎日」が43.6%で最も多く、次いで「週に４～５回」が15.7%、「週に２～３回」が15.6%、「週に１回程度」が7.8%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「ほとんど毎日」が50.1%で最も多く、次いで「週に４～５回」が17.1%、「週に２～３回」が13.4%、「週に１回程度」が6.2%となっている。大阪府全体では、「ほとんど毎日」が49.3%で最も多く、次いで「週に４～５回」が15.7%、「週に２～３回」が13.8%、「ほとんどない」が6.7%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「ほとんど毎日」が37.5%で最も多く、次いで「週に２～３回」が17.6%、「週に４～５回」が17.4%、「週に１回程度」が10.4%となっている。大阪府全体では、「ほとんど毎日」が36.9%で最も多く、次いで「週に２～３回」が17.7%、「週に４～５回」が15.7%、「週に１回程度」が9.7%となっている。

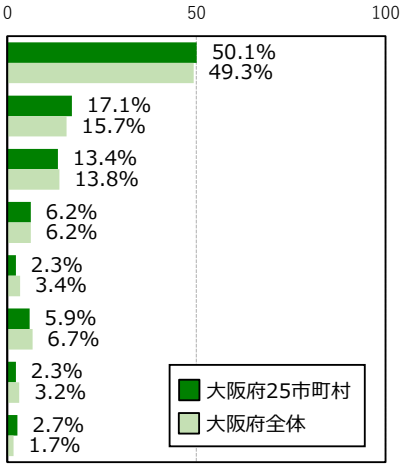
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	1,018名	44.1%	18,891名	43.6%
週に４～５回	397名	17.2%	6,809名	15.7%
週に２～３回	355名	15.4%	6,773名	15.6%
週に１回程度	189名	8.2%	3,386名	7.8%
月に１～２回	68名	2.9%	1,801名	4.2%
ほとんどない	148名	6.4%	3,283名	7.6%
まったくない	73名	3.2%	1,802名	4.2%
無回答	60名	2.6%	625名	1.4%



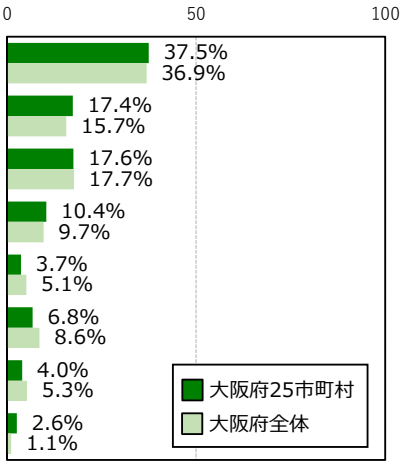
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	602名	50.1%	11,483名	49.3%
週に４～５回	205名	17.1%	3,660名	15.7%
週に２～３回	161名	13.4%	3,225名	13.8%
週に１回程度	74名	6.2%	1,447名	6.2%
月に１～２回	28名	2.3%	783名	3.4%
ほとんどない	71名	5.9%	1,558名	6.7%
まったくない	28名	2.3%	739名	3.2%
無回答	32名	2.7%	394名	1.7%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	408名	37.5%	7,374名	36.9%
週に４～５回	190名	17.4%	3,138名	15.7%
週に２～３回	192名	17.6%	3,533名	17.7%
週に１回程度	113名	10.4%	1,933名	9.7%
月に１～２回	40名	3.7%	1,015名	5.1%
ほとんどない	74名	6.8%	1,716名	8.6%
まったくない	44名	4.0%	1,056名	5.3%
無回答	28名	2.6%	225名	1.1%



ふだんの生活のことについて

問８　保護者との関係性　⑦おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか

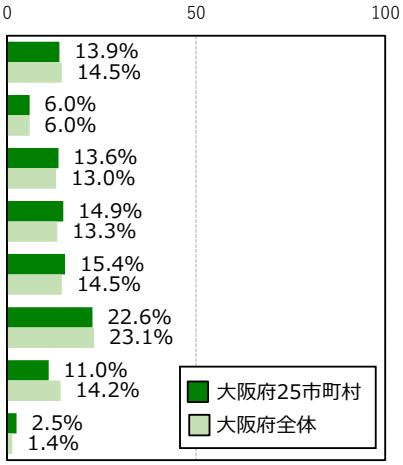
全体は、大阪府25市町村では、「ほとんどない」が22.6%で最も多く、次いで「月に１～２回」が15.4%、「週に１回程度」が14.9%、「ほとんど毎日」が13.9%となっている。大阪府全体では、「ほとんどない」が23.1%で最も多く、次いで「ほとんど毎日」と「月に１～２回」がそれぞれ14.5%、「まったくない」が14.2%、「週に１回程度」が13.3%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「週に２～３回」が18.6%で最も多く、次いで「ほとんど毎日」が18.3%、「週に１回程度」が17.6%、「ほとんどない」が15.5%となっている。大阪府全体では、「ほとんど毎日」が19.0%で最も多く、次いで「週に２～３回」が17.4%、「ほとんどない」が17.3%、「週に１回程度」が15.7%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「ほとんどない」が30.4%で最も多く、次いで「まったくない」が17.4%、「月に１～２回」が16.3%、「週に１回程度」が12.0%となっている。大阪府全体では、「ほとんどない」が29.7%で最も多く、次いで「まったくない」が21.8%、「月に１～２回」が16.2%、「週に１回程度」が10.6%となっている。

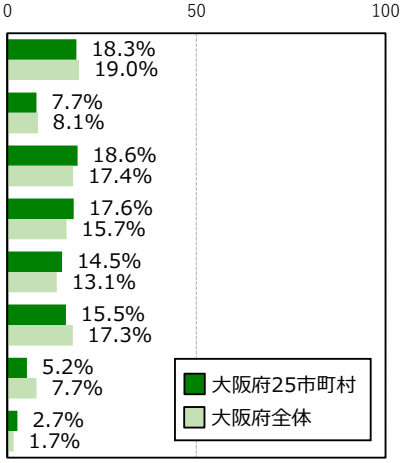
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	321名	13.9%	6,287名	14.5%
週に４～５回	138名	6.0%	2,582名	6.0%
週に２～３回	315名	13.6%	5,629名	13.0%
週に１回程度	345名	14.9%	5,782名	13.3%
月に１～２回	355名	15.4%	6,304名	14.5%
ほとんどない	521名	22.6%	10,004名	23.1%
まったくない	255名	11.0%	6,164名	14.2%
無回答	58名	2.5%	618名	1.4%



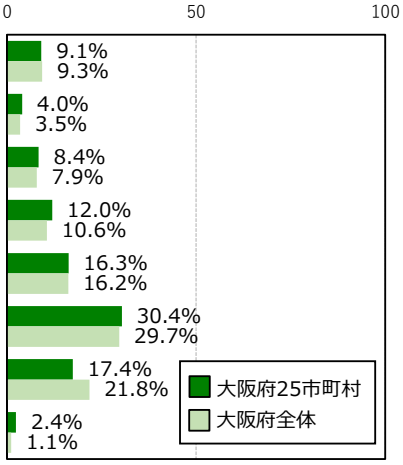
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	220名	18.3%	4,417名	19.0%
週に４～５回	92名	7.7%	1,880名	8.1%
週に２～３回	223名	18.6%	4,047名	17.4%
週に１回程度	211名	17.6%	3,656名	15.7%
月に１～２回	174名	14.5%	3,054名	13.1%
ほとんどない	186名	15.5%	4,038名	17.3%
まったくない	63名	5.2%	1,801名	7.7%
無回答	32名	2.7%	396名	1.7%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	99名	9.1%	1,860名	9.3%
週に４～５回	44名	4.0%	693名	3.5%
週に２～３回	91名	8.4%	1,571名	7.9%
週に１回程度	131名	12.0%	2,114名	10.6%
月に１～２回	178名	16.3%	3,240名	16.2%
ほとんどない	331名	30.4%	5,944名	29.7%
まったくない	189名	17.4%	4,352名	21.8%
無回答	26名	2.4%	216名	1.1%



ふだんの生活のことについて

問８　保護者との関係性　⑧おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか

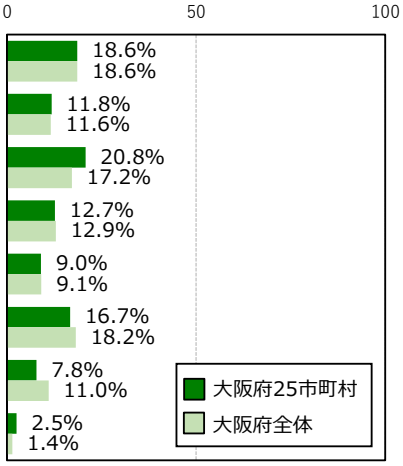
全体は、大阪府25市町村では、「週に２～３回」が20.8%で最も多く、次いで「ほとんど毎日」が18.6%、「ほとんどない」が16.7%、「週に１回程度」が12.7%となっている。大阪府全体では、「ほとんど毎日」が18.6%で最も多く、次いで「ほとんどない」が18.2%、「週に２～３回」が17.2%、「週に１回程度」が12.9%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「週に２～３回」が19.2%で最も多く、次いで「ほとんど毎日」が19.0%、「ほとんどない」が18.6%、「週に１回程度」が12.9%となっている。大阪府全体では、「ほとんど毎日」が20.0%で最も多く、次いで「ほとんどない」が18.9%、「週に２～３回」が16.3%、「週に１回程度」が12.4%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「週に２～３回」が22.8%で最も多く、次いで「ほとんど毎日」が18.1%、「ほとんどない」が14.9%、「週に１回程度」が12.4%となっている。大阪府全体では、「週に２～３回」が18.1%で最も多く、次いで「ほとんどない」が17.4%、「ほとんど毎日」が17.1%、「週に１回程度」が13.5%となっている。

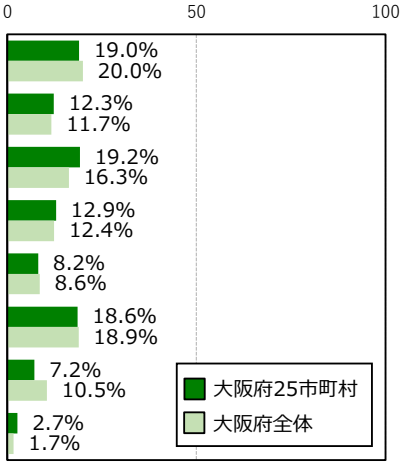
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	430名	18.6%	8,082名	18.6%
週に４～５回	273名	11.8%	5,025名	11.6%
週に２～３回	481名	20.8%	7,450名	17.2%
週に１回程度	293名	12.7%	5,585名	12.9%
月に１～２回	208名	9.0%	3,954名	9.1%
ほとんどない	385名	16.7%	7,892名	18.2%
まったくない	181名	7.8%	4,783名	11.0%
無回答	57名	2.5%	599名	1.4%



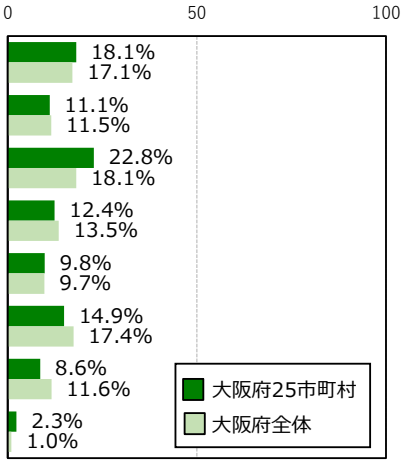
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	228名	19.0%	4,647名	20.0%
週に４～５回	148名	12.3%	2,717名	11.7%
週に２～３回	230名	19.2%	3,804名	16.3%
週に１回程度	155名	12.9%	2,879名	12.4%
月に１～２回	99名	8.2%	2,004名	8.6%
ほとんどない	223名	18.6%	4,397名	18.9%
まったくない	86名	7.2%	2,456名	10.5%
無回答	32名	2.7%	385名	1.7%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	197名	18.1%	3,421名	17.1%
週に４～５回	121名	11.1%	2,299名	11.5%
週に２～３回	248名	22.8%	3,626名	18.1%
週に１回程度	135名	12.4%	2,697名	13.5%
月に１～２回	107名	9.8%	1,940名	9.7%
ほとんどない	162名	14.9%	3,480名	17.4%
まったくない	94名	8.6%	2,319名	11.6%
無回答	25名	2.3%	208名	1.0%



ふだんの生活のことについて

問８　保護者との関係性　⑨おうちの大人の人と文化活動（図書館や美術館、博物館、音楽鑑賞に行くなど）をするか

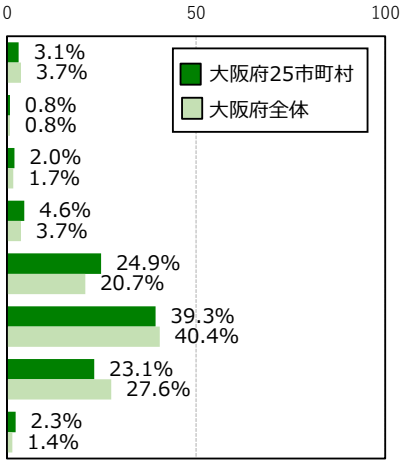
全体は、大阪府25市町村では、「ほとんどない」が39.3%で最も多く、次いで「月に１～２回」が24.9%、「まったくない」が23.1%、「週に１回程度」が4.6%となっている。大阪府全体では、「ほとんどない」が40.4%で最も多く、次いで「まったくない」が27.6%、「月に１～２回」が20.7%、「ほとんど毎日」と「週に１回程度」がそれぞれ3.7%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「ほとんどない」が36.2%で最も多く、次いで「月に１～２回」が30.6%、「まったくない」が17.2%となっている。大阪府全体では、「ほとんどない」が40.4%で最も多く、次いで「月に１～２回」が24.8%、「まったくない」が21.1%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「ほとんどない」が42.6%で最も多く、次いで「まったくない」が29.5%、「月に１～２回」が18.8%となっている。大阪府全体では、「ほとんどない」が40.6%で最も多く、次いで「まったくない」が35.1%、「月に１～２回」が16.0%となっている。

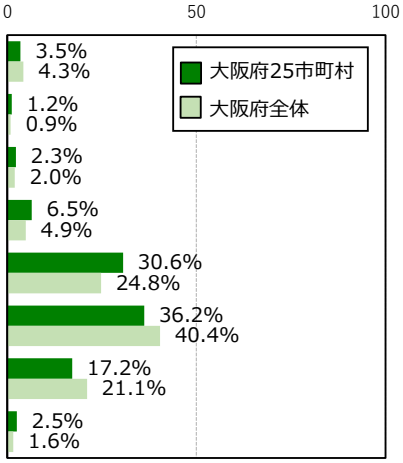
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	71名	3.1%	1,596名	3.7%
週に４～５回	18名	0.8%	344名	0.8%
週に２～３回	46名	2.0%	730名	1.7%
週に１回程度	106名	4.6%	1,609名	3.7%
月に１～２回	574名	24.9%	8,999名	20.7%
ほとんどない	906名	39.3%	17,538名	40.4%
まったくない	533名	23.1%	11,956名	27.6%
無回答	54名	2.3%	598名	1.4%



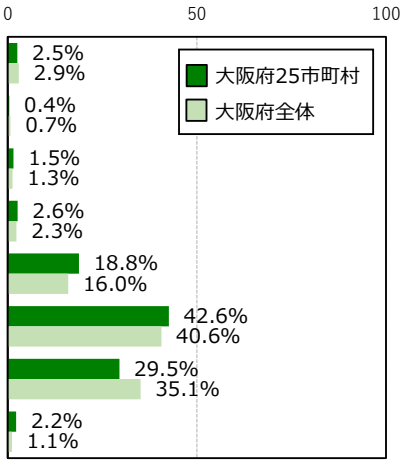
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	42名	3.5%	1,008名	4.3%
週に４～５回	14名	1.2%	204名	0.9%
週に２～３回	28名	2.3%	471名	2.0%
週に１回程度	78名	6.5%	1,140名	4.9%
月に１～２回	367名	30.6%	5,780名	24.8%
ほとんどない	435名	36.2%	9,401名	40.4%
まったくない	207名	17.2%	4,910名	21.1%
無回答	30名	2.5%	375名	1.6%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	27名	2.5%	583名	2.9%
週に４～５回	4名	0.4%	140名	0.7%
週に２～３回	16名	1.5%	257名	1.3%
週に１回程度	28名	2.6%	466名	2.3%
月に１～２回	205名	18.8%	3,195名	16.0%
ほとんどない	464名	42.6%	8,112名	40.6%
まったくない	321名	29.5%	7,020名	35.1%
無回答	24名	2.2%	217名	1.1%



ふだんの生活のことについて

問８　保護者との関係性　⑩おうちの大人の人と一緒に外出するか（散歩する・買い物に出かける・外食をするなど）

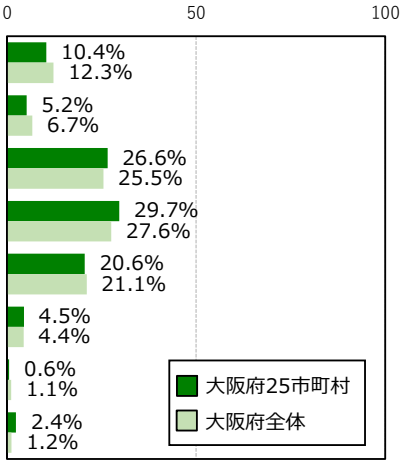
全体は、大阪府25市町村では、「週に１回程度」が29.7%で最も多く、次いで「週に２～３回」が26.6%、「月に１～２回」が20.6%、「ほとんど毎日」が10.4%となっている。大阪府全体では、「週に１回程度」が27.6%で最も多く、次いで「週に２～３回」が25.5%、「月に１～２回」が21.1%、「ほとんど毎日」が12.3%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「週に２～３回」が32.1%で最も多く、次いで「週に１回程度」が30.1%、「ほとんど毎日」が13.6%、「月に１～２回」が12.7%となっている。大阪府全体では、「週に２～３回」が31.0%で最も多く、次いで「週に１回程度」が25.9%、「ほとんど毎日」が15.2%、「月に１～２回」が13.9%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「週に１回程度」が29.4%で最も多く、次いで「月に１～２回」が29.3%、「週に２～３回」が20.8%、「ほとんど毎日」が6.6%となっている。大阪府全体では、「週に１回程度」と「月に１～２回」がそれぞれ29.6%で最も多く、次いで「週に２～３回」が19.1%、「ほとんど毎日」が8.9%となっている。

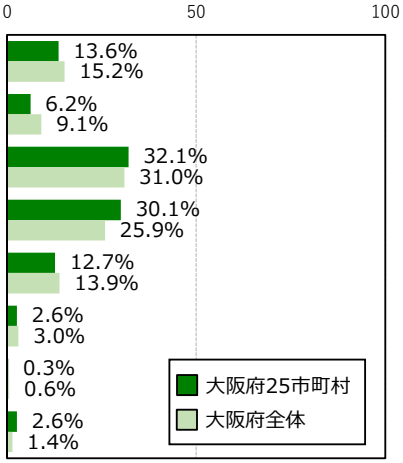
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	240名	10.4%	5,338名	12.3%
週に４～５回	120名	5.2%	2,912名	6.7%
週に２～３回	614名	26.6%	11,055名	25.5%
週に１回程度	685名	29.7%	11,977名	27.6%
月に１～２回	475名	20.6%	9,161名	21.1%
ほとんどない	103名	4.5%	1,915名	4.4%
まったくない	15名	0.6%	483名	1.1%
無回答	56名	2.4%	529名	1.2%



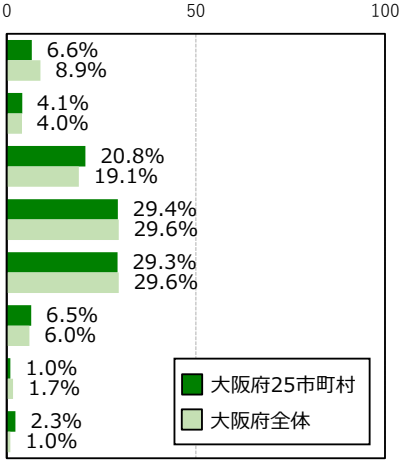
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	163名	13.6%	3,536名	15.2%
週に４～５回	74名	6.2%	2,109名	9.1%
週に２～３回	385名	32.1%	7,210名	31.0%
週に１回程度	361名	30.1%	6,032名	25.9%
月に１～２回	152名	12.7%	3,234名	13.9%
ほとんどない	31名	2.6%	705名	3.0%
まったくない	4名	0.3%	142名	0.6%
無回答	31名	2.6%	321名	1.4%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	72名	6.6%	1,787名	8.9%
週に４～５回	45名	4.1%	798名	4.0%
週に２～３回	226名	20.8%	3,820名	19.1%
週に１回程度	320名	29.4%	5,925名	29.6%
月に１～２回	319名	29.3%	5,911名	29.6%
ほとんどない	71名	6.5%	1,207名	6.0%
まったくない	11名	1.0%	340名	1.7%
無回答	25名	2.3%	202名	1.0%



ふだんの生活のことについて

問９　毎日の生活で楽しいこと

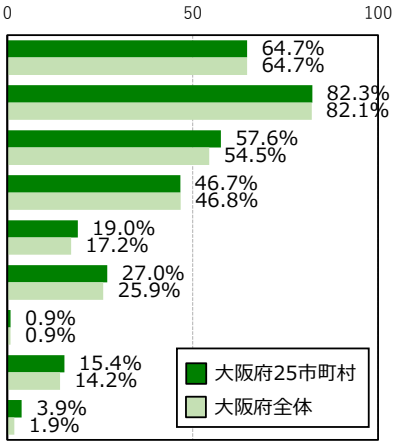
全体は、大阪府25市町村では、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が82.3%で最も多く、次いで「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が64.7%、「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」が57.6%となっている。大阪府全体では、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が82.1%で最も多く、次いで「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が64.7%、「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」が54.5%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が83.8%で最も多く、次いで「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が74.4%、「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」が57.3%となっている。大阪府全体では、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が82.5%で最も多く、次いで「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が74.0%、「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」が54.4%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が80.8%で最も多く、次いで「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」が58.4%、「ひとりで過ごしているとき」が57.3%となっている。大阪府全体では、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が81.7%で最も多く、次いで「ひとりで過ごしているとき」が57.3%、「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」が54.6%となっている。

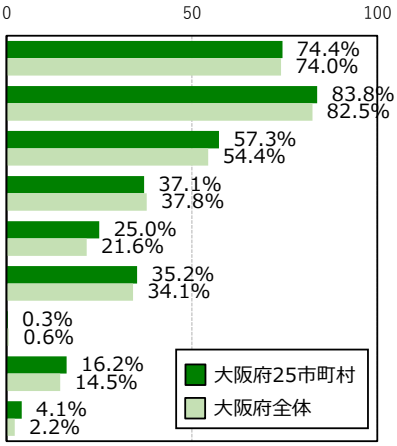
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
おうちの人と一緒に過ごしているとき	1,494名	64.7%	28,070名	64.7%
ともだちと一緒に過ごしているとき	1,899名	82.3%	35,599名	82.1%
学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき	1,330名	57.6%	23,630名	54.5%
ひとりで過ごしているとき	1,078名	46.7%	20,290名	46.8%
今、住んでいる地域の行事に参加しているとき	438名	19.0%	7,469名	17.2%
塾や習いごとで過ごしているとき	623名	27.0%	11,215名	25.9%
特に楽しいと思うときはない	21名	0.9%	407名	0.9%
その他	356名	15.4%	6,162名	14.2%
無回答	89名	3.9%	829名	1.9%



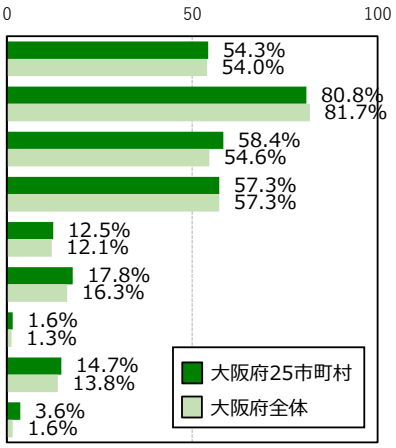
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
おうちの人と一緒に過ごしているとき	893名	74.4%	17,231名	74.0%
ともだちと一緒に過ごしているとき	1,007名	83.8%	19,212名	82.5%
学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき	688名	57.3%	12,660名	54.4%
ひとりで過ごしているとき	446名	37.1%	8,805名	37.8%
今、住んでいる地域の行事に参加しているとき	300名	25.0%	5,032名	21.6%
塾や習いごとで過ごしているとき	423名	35.2%	7,944名	34.1%
特に楽しいと思うときはない	4名	0.3%	143名	0.6%
その他	195名	16.2%	3,380名	14.5%
無回答	49名	4.1%	501名	2.2%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
おうちの人と一緒に過ごしているとき	591名	54.3%	10,789名	54.0%
ともだちと一緒に過ごしているとき	880名	80.8%	16,324名	81.7%
学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき	636名	58.4%	10,924名	54.6%
ひとりで過ごしているとき	624名	57.3%	11,451名	57.3%
今、住んでいる地域の行事に参加しているとき	136名	12.5%	2,426名	12.1%
塾や習いごとで過ごしているとき	194名	17.8%	3,256名	16.3%
特に楽しいと思うときはない	17名	1.6%	264名	1.3%
その他	160名	14.7%	2,768名	13.8%
無回答	39名	3.6%	319名	1.6%



ふだんの生活のことについて

問10　放課後を一緒に過ごす人

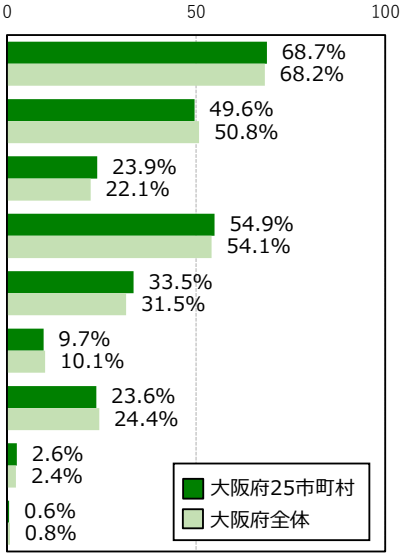
全体は、大阪府25市町村では、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が68.7%で最も多く、次いで「学校のともだち」が54.9%、「きょうだい」が49.6%となっている。大阪府全体では、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が68.2%で最も多く、次いで「学校のともだち」が54.1%、「きょうだい」が50.8%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が73.5%で最も多く、次いで「学校のともだち」が63.5%、「きょうだい」が54.4%%となっている。大阪府全体では、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が71.2%で最も多く、次いで「学校のともだち」が61.4%、「きょうだい」が53.2%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が63.5%で最も多く、次いで「クラブ活動・部活動の仲間」が63.3%、「学校のともだち」が45.8%となっている。大阪府全体では、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が64.8%で最も多く、次いで「クラブ活動・部活動の仲間」が61.6%、「きょうだい」が48.1%となっている。

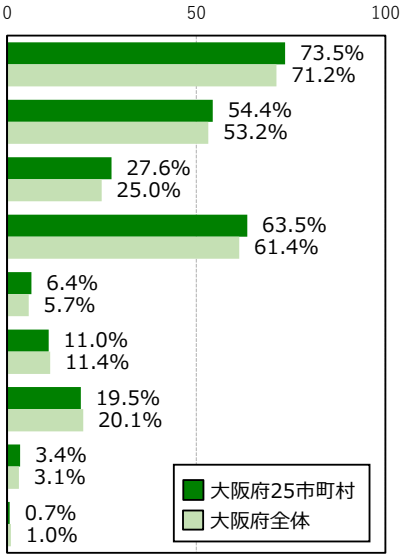
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）	1,586名	68.7%	29,595名	68.2%
きょうだい	1,144名	49.6%	22,046名	50.8%
おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）	552名	23.9%	9,564名	22.1%
学校のともだち	1,266名	54.9%	23,476名	54.1%
クラブ活動・部活動の仲間 (※1)	773名	33.5%	13,664名	31.5%
学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）	223名	9.7%	4,370名	10.1%
ひとりでいる	545名	23.6%	10,573名	24.4%
その他の人	60名	2.6%	1,050名	2.4%
無回答	15名	0.6%	366名	0.8%



【小学生】

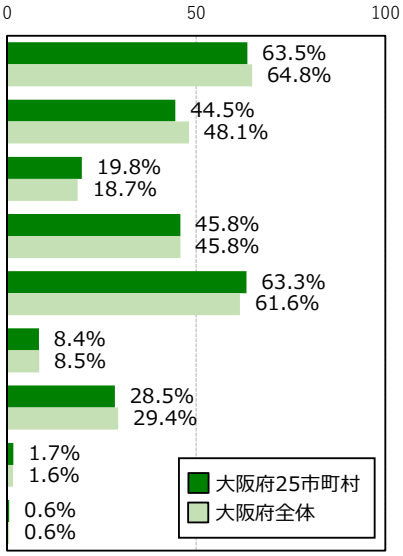
	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）	883名	73.5%	16,588名	71.2%
きょうだい	653名	54.4%	12,396名	53.2%
おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）	332名	27.6%	5,819名	25.0%
学校のともだち	763名	63.5%	14,289名	61.4%
クラブ活動・部活動の仲間 (※1)	77名	6.4%	1,326名	5.7%
学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）	132名	11.0%	2,657名	11.4%
ひとりでいる	234名	19.5%	4,686名	20.1%
その他の人	41名	3.4%	732名	3.1%
無回答	8名	0.7%	243名	1.0%



※1　2016年度調査では「クラブ活動の仲間」

【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）	692名	63.5%	12,950名	64.8%
きょうだい	485名	44.5%	9,608名	48.1%
おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）	216名	19.8%	3,729名	18.7%
学校のともだち	499名	45.8%	9,146名	45.8%
クラブ活動・部活動の仲間（※1）	689名	63.3%	12,308名	61.6%
学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）	91名	8.4%	1,706名	8.5%
ひとりでいる	310名	28.5%	5,874名	29.4%
その他の人	18名	1.7%	316名	1.6%
無回答	7名	0.6%	118名	0.6%



※1　2016年度調査では「クラブ活動の仲間」

●2016年度　調査結果〔参考データ〕

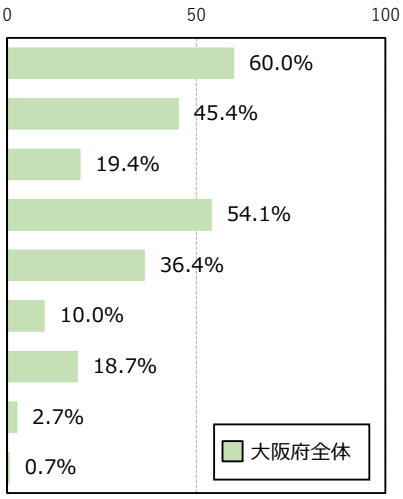
大阪府全体を2016年度調査と比較すると、全体は、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が8.2ポイント、「ひとりでいる」が5.7ポイントそれぞれ高くなっている。

小学生は、「学校のともだち」が6.5ポイント低いが、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が5.8ポイント高くなっている。

中学生は、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が10.8ポイント、「ひとりでいる」が10.4ポイント、「きょうだい」が8.5ポイント、それぞれ高くなっている。

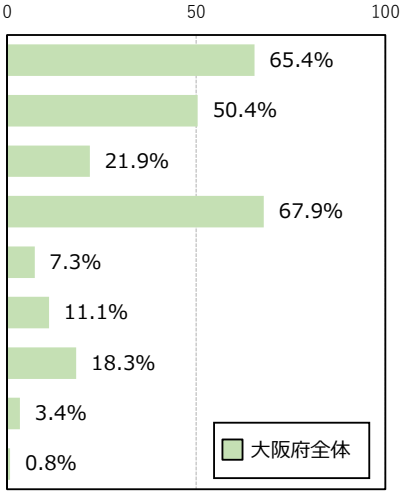
【全体】

	大阪府全体	
	50,106名	100.0%
おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）	30,087名	60.0%
きょうだい	22,725名	45.4%
おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）	9,699名	19.4%
学校のともだち	27,090名	54.1%
クラブ活動の仲間	18,236名	36.4%
学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）	5,025名	10.0%
ひとりでいる	9,347名	18.7%
その他の人	1,367名	2.7%
無回答	329名	0.7%



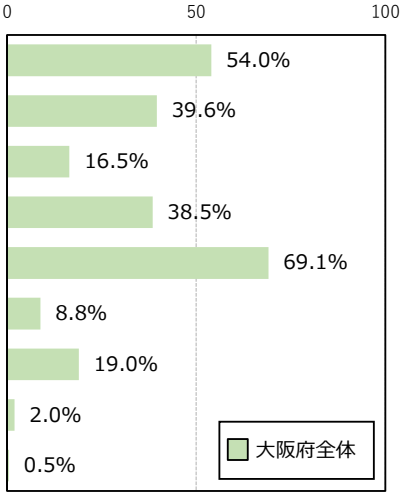
【小学生】

	大阪府全体	
	26,540名	100.0%
おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）	17,359名	65.4%
きょうだい	13,384名	50.4%
おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）	5,810名	21.9%
学校のともだち	18,009名	67.9%
クラブ活動の仲間	1,947名	7.3%
学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）	2,955名	11.1%
ひとりでいる	4,861名	18.3%
その他の人	895名	3.4%
無回答	203名	0.8%



【中学生】

	大阪府全体	
	23,558名	100.0%
おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）	12,724名	54.0%
きょうだい	9,340名	39.6%
おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）	3,887名	16.5%
学校のともだち	9,081名	38.5%
クラブ活動の仲間	16,288名	69.1%
学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）	2,069名	8.8%
ひとりでいる	4,485名	19.0%
その他の人	470名	2.0%
無回答	124名	0.5%



ふだんの生活のことについて

問11　放課後を過ごす場所

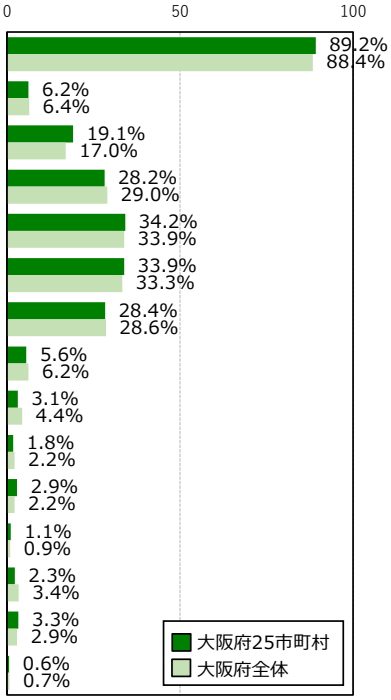
全体は、大阪府25市町村では、「自分の家」が89.2%で最も多く、次いで「習いごと」が34.2%、「学校（クラブ活動・部活動など）」が33.9%、「公園・広場」が28.4%となっている。大阪府全体では、「自分の家」が88.4%で最も多く、次いで「習いごと」が33.9%、「学校（クラブ活動・部活動など）」が33.3%、「塾」が29.0%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「自分の家」が90.7%で最も多く、次いで「習いごと」が47.0%、「公園・広場」が44.0%、「ともだちの家」が28.4%となっている。大阪府全体では、「自分の家」が88.0%で最も多く、次いで「習いごと」が45.2%、「公園・広場」が41.8%、「ともだちの家」が23.3%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「自分の家」が87.6%で最も多く、次いで「学校（クラブ活動・部活動など）」が62.0%、「塾」が35.6%、「習いごと」が20.1%となっている。大阪府全体では、「自分の家」が89.0%で最も多く、次いで「学校（クラブ活動・部活動など）」が58.1%、「塾」が36.5%、「習いごと」が20.7%となっている。

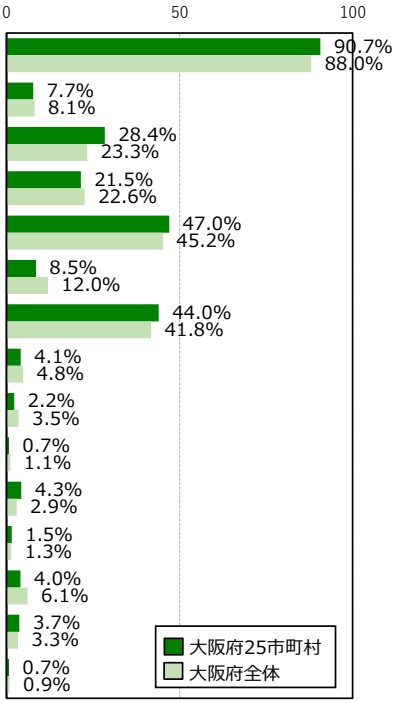
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
自分の家	2,058名	89.2%	38,352名	88.4%
おばあちゃん・おじいちゃんの家	144名	6.2%	2,771名	6.4%
ともだちの家	440名	19.1%	7,379名	17.0%
塾	651名	28.2%	12,575名	29.0%
習いごと	789名	34.2%	14,696名	33.9%
学校（クラブ活動・部活動など）	782名	33.9%	14,425名	33.3%
公園・広場	656名	28.4%	12,384名	28.6%
スーパーやショッピングモール	130名	5.6%	2,673名	6.2%
コンビニエンスストア	71名	3.1%	1,907名	4.4%
ゲームセンター	42名	1.8%	960名	2.2%
図書館や公民館など公共の施設	66名	2.9%	957名	2.2%
地域の居場所（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところ）	25名	1.1%	385名	0.9%
学童保育	52名	2.3%	1,459名	3.4%
その他	76名	3.3%	1,276名	2.9%
無回答	15名	0.6%	320名	0.7%



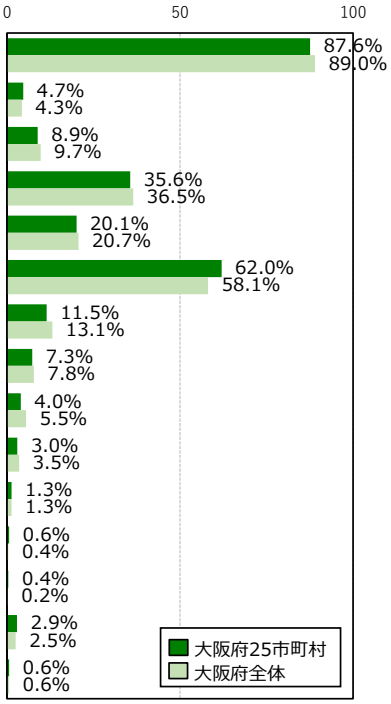
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
自分の家	1,089名	90.7%	20,484名	88.0%
おばあちゃん・おじいちゃんの家	92名	7.7%	1,898名	8.1%
ともだちの家	341名	28.4%	5,429名	23.3%
塾	258名	21.5%	5,264名	22.6%
習いごと	564名	47.0%	10,520名	45.2%
学校（クラブ活動・部活動など）	102名	8.5%	2,788名	12.0%
公園・広場	528名	44.0%	9,738名	41.8%
スーパーやショッピングモール	49名	4.1%	1,107名	4.8%
コンビニエンスストア	27名	2.2%	813名	3.5%
ゲームセンター	9名	0.7%	263名	1.1%
図書館や公民館など公共の施設	52名	4.3%	687名	2.9%
地域の居場所（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところ）	18名	1.5%	298名	1.3%
学童保育	48名	4.0%	1,419名	6.1%
その他	44名	3.7%	780名	3.3%
無回答	9名	0.7%	201名	0.9%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
自分の家	954名	87.6%	17,794名	89.0%
おばあちゃん・おじいちゃんの家	51名	4.7%	868名	4.3%
ともだちの家	97名	8.9%	1,933名	9.7%
塾	388名	35.6%	7,287名	36.5%
習いごと	219名	20.1%	4,147名	20.7%
学校（クラブ活動・部活動など）	675名	62.0%	11,607名	58.1%
公園・広場	125名	11.5%	2,625名	13.1%
スーパーやショッピングモール	80名	7.3%	1,560名	7.8%
コンビニエンスストア	44名	4.0%	1,090名	5.5%
ゲームセンター	33名	3.0%	696名	3.5%
図書館や公民館など公共の施設	14名	1.3%	268名	1.3%
地域の居場所（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところ）	7名	0.6%	86名	0.4%
学童保育	4名	0.4%	36名	0.2%
その他	32名	2.9%	494名	2.5%
無回答	6名	0.6%	114名	0.6%



ふだんの生活のことについて

問12　授業以外の勉強状況

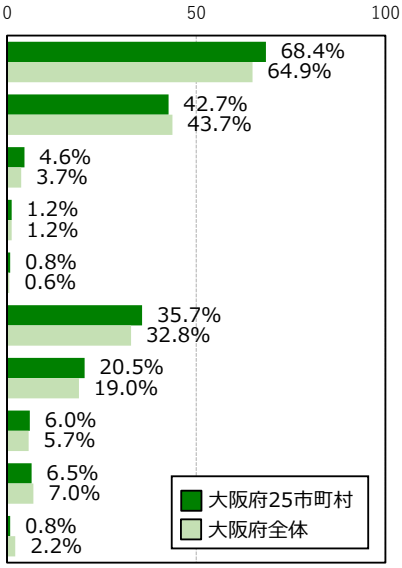
全体は、大阪府25市町村では、「自分で勉強する」が68.4%で最も多く、次いで「塾で勉強する」が42.7%、「おうちの人に教えてもらう」が35.7%、「ともだちと勉強する」が20.5%となっている。大阪府全体では、「自分で勉強する」が64.9%で最も多く、次いで「塾で勉強する」が43.7%、「おうちの人に教えてもらう」が32.8%、「ともだちと勉強する」が19.0%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「自分で勉強する」が68.9%で最も多く、次いで「おうちの人に教えてもらう」が47.1%、「塾で勉強する」が32.8%、「ともだちと勉強する」が21.3%となっている。大阪府全体では、「自分で勉強する」が65.7%で最も多く、次いで「おうちの人に教えてもらう」が44.2%、「塾で勉強する」が34.9%、「ともだちと勉強する」が18.8%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「自分で勉強する」が68.0%で最も多く、次いで「塾で勉強する」が53.4%、「おうちの人に教えてもらう」が23.1%、「ともだちと勉強する」が19.7%となっている。大阪府全体では、「自分で勉強する」が64.0%で最も多く、次いで「塾で勉強する」が53.9%、「おうちの人に教えてもらう」が19.5%、「ともだちと勉強する」が19.3%となっている。

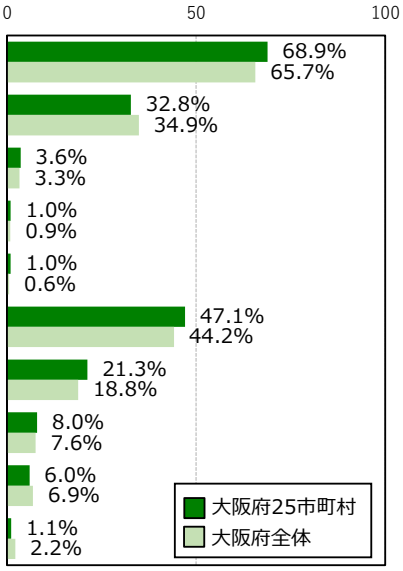
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
自分で勉強する	1,579名	68.4%	28,136名	64.9%
塾で勉強する	986名	42.7%	18,941名	43.7%
学校の補習を受ける	107名	4.6%	1,587名	3.7%
家庭教師に教えてもらう	28名	1.2%	505名	1.2%
地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	18名	0.8%	264名	0.6%
おうちの人に教えてもらう	824名	35.7%	14,227名	32.8%
ともだちと勉強する	472名	20.5%	8,251名	19.0%
その他	139名	6.0%	2,461名	5.7%
学校の授業以外で勉強はしない	149名	6.5%	3,051名	7.0%
無回答	18名	0.8%	934名	2.2%



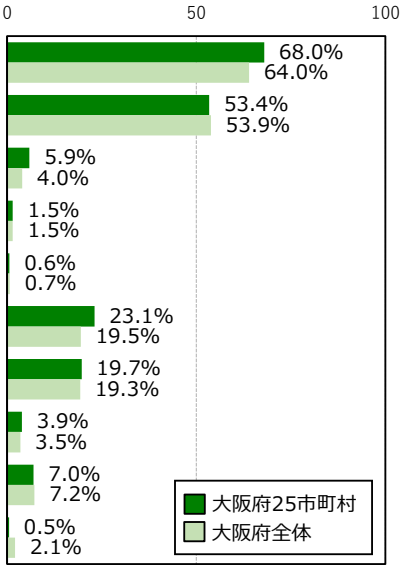
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
自分で勉強する	827名	68.9%	15,292名	65.7%
塾で勉強する	394名	32.8%	8,125名	34.9%
学校の補習を受ける	43名	3.6%	777名	3.3%
家庭教師に教えてもらう	12名	1.0%	203名	0.9%
地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	12名	1.0%	130名	0.6%
おうちの人に教えてもらう	566名	47.1%	10,302名	44.2%
ともだちと勉強する	256名	21.3%	4,381名	18.8%
その他	96名	8.0%	1,759名	7.6%
学校の授業以外で勉強はしない	72名	6.0%	1,601名	6.9%
無回答	13名	1.1%	508名	2.2%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
自分で勉強する	741名	68.0%	12,789名	64.0%
塾で勉強する	582名	53.4%	10,777名	53.9%
学校の補習を受ける	64名	5.9%	805名	4.0%
家庭教師に教えてもらう	16名	1.5%	300名	1.5%
地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	6名	0.6%	134名	0.7%
おうちの人に教えてもらう	252名	23.1%	3,895名	19.5%
ともだちと勉強する	215名	19.7%	3,859名	19.3%
その他	42名	3.9%	697名	3.5%
学校の授業以外で勉強はしない	76名	7.0%	1,443名	7.2%
無回答	5名	0.5%	421名	2.1%



ふだんの生活のことについて

問13　授業時間以外の１日あたりの勉強時間　①学校がある日（月～金曜日）

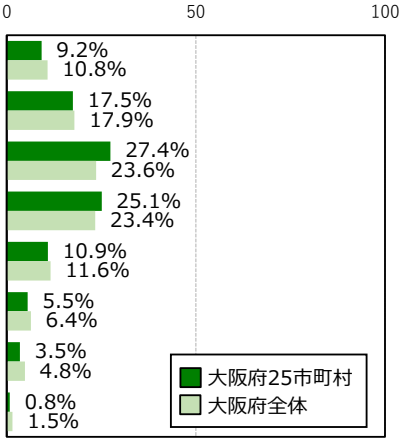
全体は、大阪府25市町村では、「30分以上、１時間より少ない」が27.4％で最も多く、次いで「１時間以上、２時間より少ない」が25.1％、「30分より少ない」が17.5％、「２時間以上、３時間より少ない」が10.9％となっている。大阪府全体では、「30分以上、１時間より少ない」が23.6％で最も多く、次いで「１時間以上、２時間より少ない」が23.4％、「30分より少ない」が17.9％、「２時間以上、３時間より少ない」が11.6％となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「30分以上、１時間より少ない」が33.1％で最も多く、次いで「１時間以上、２時間より少ない」が24.3％、「30分より少ない」が18.8％となっている。大阪府全体では、「30分以上、１時間より少ない」が28.3％で最も多く、次いで「１時間以上、２時間より少ない」が22.3％、「30分より少ない」が18.7％となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「１時間以上、２時間より少ない」が26.2％で最も多く、次いで「30分以上、１時間より少ない」が21.2％、「30分より少ない」が16.3％、「２時間以上、３時間より少ない」が14.8％となっている。大阪府全体では、「１時間以上、２時間より少ない」が24.7％で最も多く、次いで「30分以上、１時間より少ない」が18.1％、「30分より少ない」が16.9％となっている。

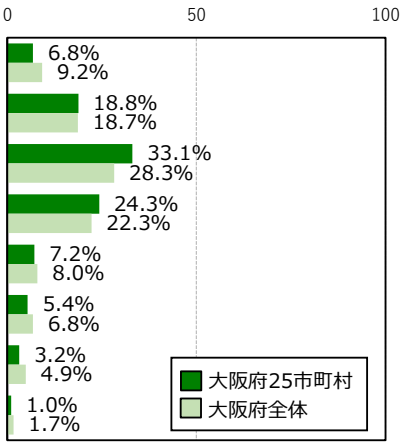
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
まったくしない	212名	9.2%	4,696名	10.8%
30分より少ない	404名	17.5%	7,745名	17.9%
30分以上、１時間より少ない	633名	27.4%	10,239名	23.6%
１時間以上、２時間より少ない	580名	25.1%	10,157名	23.4%
２時間以上、３時間より少ない	252名	10.9%	5,024名	11.6%
３時間以上	127名	5.5%	2,762名	6.4%
わからない	81名	3.5%	2,098名	4.8%
無回答	19名	0.8%	649名	1.5%



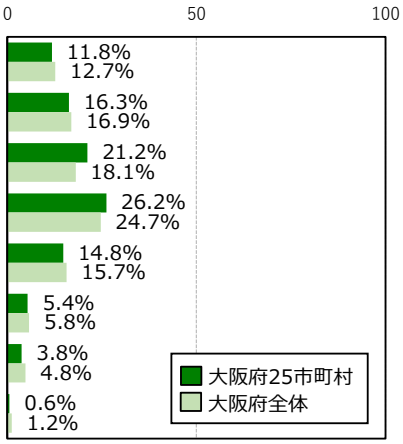
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
まったくしない	82名	6.8%	2,154名	9.2%
30分より少ない	226名	18.8%	4,360名	18.7%
30分以上、１時間より少ない	398名	33.1%	6,598名	28.3%
１時間以上、２時間より少ない	292名	24.3%	5,196名	22.3%
２時間以上、３時間より少ない	87名	7.2%	1,865名	8.0%
３時間以上	65名	5.4%	1,589名	6.8%
わからない	39名	3.2%	1,131名	4.9%
無回答	12名	1.0%	396名	1.7%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
まったくしない	128名	11.8%	2,534名	12.7%
30分より少ない	177名	16.3%	3,373名	16.9%
30分以上、１時間より少ない	231名	21.2%	3,617名	18.1%
１時間以上、２時間より少ない	285名	26.2%	4,943名	24.7%
２時間以上、３時間より少ない	161名	14.8%	3,147名	15.7%
３時間以上	59名	5.4%	1,168名	5.8%
わからない	41名	3.8%	959名	4.8%
無回答	7名	0.6%	249名	1.2%



ふだんの生活のことについて

問13　授業時間以外の１日あたりの勉強時間　②学校がない日（土・日曜日・祝日）

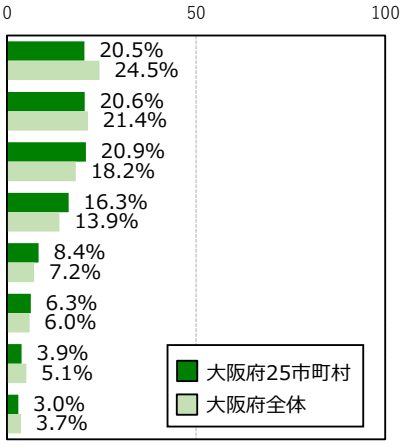
全体は、大阪府25市町村では、「30分以上、１時間より少ない」が20.9％で最も多く、次いで「30分より少ない」が20.6％、「まったくしない」が20.5％、「１時間以上、２時間より少ない」が16.3％となっている。大阪府全体では、「まったくしない」が24.5％で最も多く、次いで「30分より少ない」が21.4％、「30分以上、１時間より少ない」が18.2％、「１時間以上、２時間より少ない」が13.9％となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「30分以上、１時間より少ない」が23.7％で最も多く、次いで「30分より少ない」が23.1％、「まったくしない」が19.3％となっている。大阪府全体では、「まったくしない」が23.5％で最も多く、次いで「30分より少ない」が23.0％、「30分以上、１時間より少ない」が19.9％となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「まったくしない」が22.0％で最も多く、次いで「１時間以上、２時間より少ない」が18.5％、「30分以上、１時間より少ない」が18.1％となっている。大阪府全体では、「まったくしない」が25.7％で最も多く、次いで「30分より少ない」が19.6％、「30分以上、１時間より少ない」が16.1％となっている。

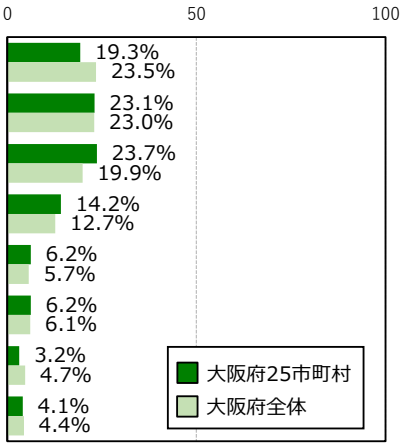
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
まったくしない	474名	20.5%	10,617名	24.5%
30分より少ない	475名	20.6%	9,301名	21.4%
30分以上、１時間より少ない	483名	20.9%	7,881名	18.2%
１時間以上、２時間より少ない	376名	16.3%	6,032名	13.9%
２時間以上、３時間より少ない	195名	8.4%	3,102名	7.2%
３時間以上	145名	6.3%	2,622名	6.0%
わからない	91名	3.9%	2,218名	5.1%
無回答	69名	3.0%	1,597名	3.7%



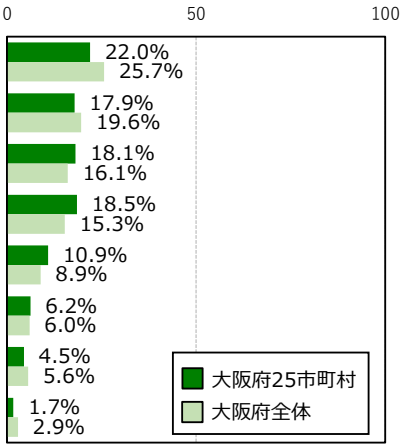
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
まったくしない	232名	19.3%	5,472名	23.5%
30分より少ない	278名	23.1%	5,361名	23.0%
30分以上、１時間より少ない	285名	23.7%	4,646名	19.9%
１時間以上、２時間より少ない	170名	14.2%	2,957名	12.7%
２時間以上、３時間より少ない	74名	6.2%	1,319名	5.7%
３時間以上	74名	6.2%	1,424名	6.1%
わからない	39名	3.2%	1,096名	4.7%
無回答	49名	4.1%	1,014名	4.4%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
まったくしない	240名	22.0%	5,131名	25.7%
30分より少ない	195名	17.9%	3,919名	19.6%
30分以上、１時間より少ない	197名	18.1%	3,226名	16.1%
１時間以上、２時間より少ない	202名	18.5%	3,060名	15.3%
２時間以上、３時間より少ない	119名	10.9%	1,777名	8.9%
３時間以上	68名	6.2%	1,192名	6.0%
わからない	49名	4.5%	1,112名	5.6%
無回答	19名	1.7%	573名	2.9%



ふだんの生活のことについて

問14（１）学校の勉強で気持ちに近いもの

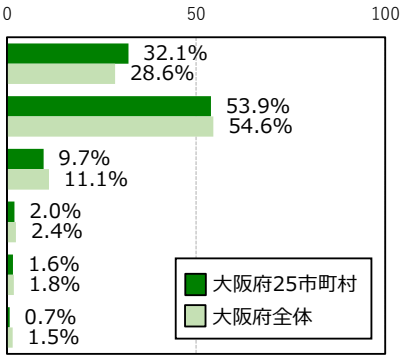
全体は、大阪府25市町村では、「だいたいわかる」が53.9%で最も多く、次いで「よくわかる」が32.1%、「あまりわからない」が9.7%となっている。大阪府全体では、「だいたいわかる」が54.6%で最も多く、次いで「よくわかる」が28.6%、「あまりわからない」が11.1%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「だいたいわかる」が49.8%で最も多く、次いで「よくわかる」が40.4%、「あまりわからない」が6.7%となっている。大阪府全体では、「だいたいわかる」が52.0%で最も多く、次いで「よくわかる」が36.4%、「あまりわからない」が7.4%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「だいたいわかる」が58.3%で最も多く、次いで「よくわかる」が22.9%、「あまりわからない」が13.0%となっている。大阪府全体では、「だいたいわかる」が57.6%で最も多く、次いで「よくわかる」が19.5%、「あまりわからない」が15.5%となっている。

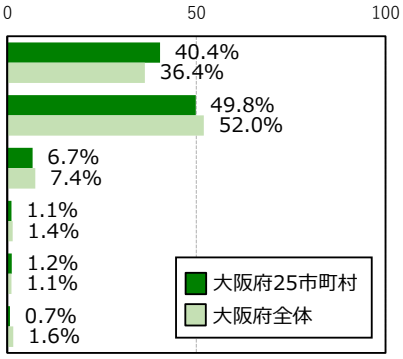
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
よくわかる	740名	32.1%	12,407名	28.6%
だいたいわかる	1,244名	53.9%	23,680名	54.6%
あまりわからない	223名	9.7%	4,834名	11.1%
ほとんどわからない	46名	2.0%	1,047名	2.4%
わからない	38名	1.6%	762名	1.8%
無回答	17名	0.7%	640名	1.5%



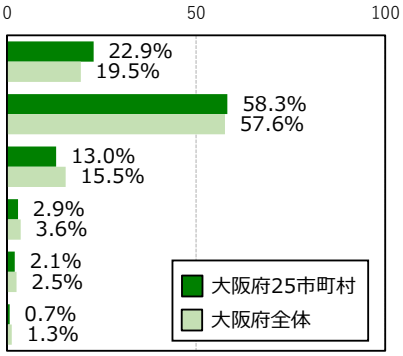
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
よくわかる	485名	40.4%	8,481名	36.4%
だいたいわかる	598名	49.8%	12,116名	52.0%
あまりわからない	81名	6.7%	1,721名	7.4%
ほとんどわからない	13名	1.1%	331名	1.4%
わからない	15名	1.2%	258名	1.1%
無回答	9名	0.7%	382名	1.6%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
よくわかる	249名	22.9%	3,902名	19.5%
だいたいわかる	635名	58.3%	11,516名	57.6%
あまりわからない	142名	13.0%	3,103名	15.5%
ほとんどわからない	32名	2.9%	715名	3.6%
わからない	23名	2.1%	500名	2.5%
無回答	8名	0.7%	254名	1.3%



ふだんの生活のことについて

問14（２）授業がわからなくなった時期

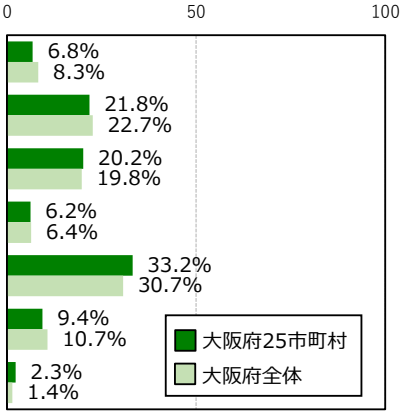
全体は、大阪府25市町村では、「中学１年生のころ」が33.2％で最も多く、次いで「小学３・４年生のころ」が21.8％、「小学５年生になってから」が20.2％となっている。大阪府全体では、「中学１年生のころ」が30.7％で最も多く、次いで「小学３・４年生のころ」が22.7％、「小学５年生になってから」が19.8％となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「小学３・４年生のころ」が45.9％で最も多く、次いで「小学５年生になってから」が35.8％、「小学１・２年生のころ」が14.7％となっている。大阪府全体では、「小学３・４年生のころ」が48.3％で最も多く、次いで「小学５年生になってから」が34.2％、「小学１・２年生のころ」が14.8％となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「中学１年生のころ」が51.8％で最も多く、次いで「中学２年生になってから」が14.7％、「小学５年生になってから」が11.2％、「小学６年生のころ」が9.6％となっている。大阪府全体では、「中学１年生のころ」が47.1％で最も多く、次いで「中学２年生になってから」が16.2％、「小学５年生になってから」が12.0％となっている。

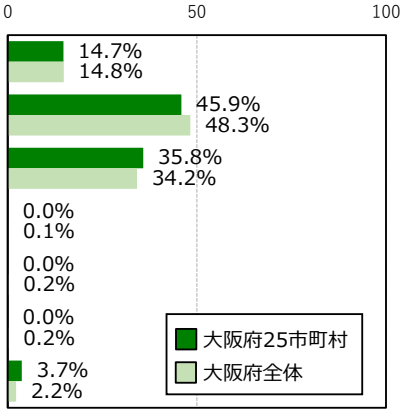
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	307名	100.0%	6,577名	100.0%
小学１・２年生のころ	21名	6.8%	547名	8.3%
小学３・４年生のころ	67名	21.8%	1,494名	22.7%
小学５年生になってから	62名	20.2%	1,301名	19.8%
小学６年生のころ	19名	6.2%	420名	6.4%
中学１年生のころ	102名	33.2%	2,022名	30.7%
中学２年生になってから	29名	9.4%	701名	10.7%
無回答	7名	2.3%	92名	1.4%



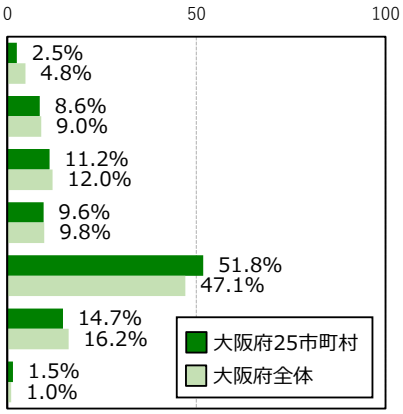
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	109名	100.0%	2,291名	100.0%
小学１・２年生のころ	16名	14.7%	339名	14.8%
小学３・４年生のころ	50名	45.9%	1,106名	48.3%
小学５年生になってから	39名	35.8%	784名	34.2%
小学６年生のころ	－	－	3名	0.1%
中学１年生のころ	－	－	5名	0.2%
中学２年生になってから	－	－	4名	0.2%
無回答	4名	3.7%	50名	2.2%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	197名	100.0%	4,272名	100.0%
小学１・２年生のころ	5名	2.5%	206名	4.8%
小学３・４年生のころ	17名	8.6%	386名	9.0%
小学５年生になってから	22名	11.2%	513名	12.0%
小学６年生のころ	19名	9.6%	417名	9.8%
中学１年生のころ	102名	51.8%	2,014名	47.1%
中学２年生になってから	29名	14.7%	694名	16.2%
無回答	3名	1.5%	42名	1.0%



※能勢町を除く

ふだんの生活のことについて

問15　授業以外の読書時間

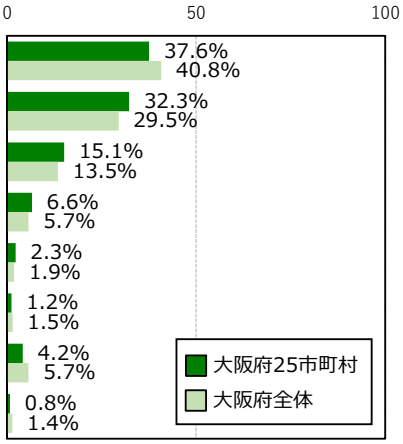
全体は、大阪府25市町村では、「まったくしない」が37.6％で最も多く、次いで「30分より少ない」が32.3％、「30分以上、１時間より少ない」が15.1％となっている。大阪府全体では、「まったくしない」が40.8％で最も多く、次いで「30分より少ない」が29.5％、「30分以上、１時間より少ない」が13.5％となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「まったくしない」が33.6％で最も多く、次いで「30分より少ない」が32.5％、「30分以上、１時間より少ない」が16.8％となっている。大阪府全体では、「まったくしない」が35.1％で最も多く、次いで「30分より少ない」が32.0％、「30分以上、１時間より少ない」が15.8％となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「まったくしない」が42.0％で最も多く、次いで「30分より少ない」が32.0％、「30分以上、１時間より少ない」が13.3％となっている。大阪府全体では、「まったくしない」が47.5％で最も多く、次いで「30分より少ない」が26.6％、「30分以上、１時間より少ない」が10.9％となっている。

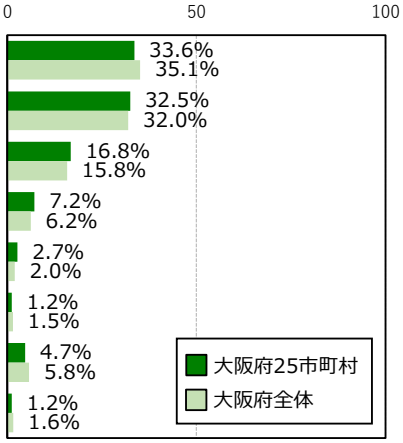
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
まったくしない	867名	37.6%	17,709名	40.8%
30分より少ない	745名	32.3%	12,811名	29.5%
30分以上、１時間より少ない	348名	15.1%	5,864名	13.5%
１時間以上、２時間より少ない	152名	6.6%	2,453名	5.7%
２時間以上、３時間より少ない	52名	2.3%	818名	1.9%
３時間以上	28名	1.2%	631名	1.5%
わからない	97名	4.2%	2,470名	5.7%
無回答	19名	0.8%	614名	1.4%



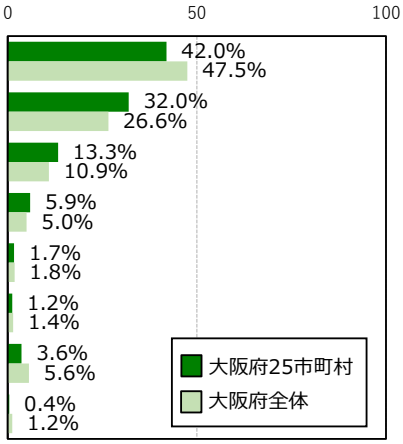
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
まったくしない	403名	33.6%	8,177名	35.1%
30分より少ない	390名	32.5%	7,458名	32.0%
30分以上、１時間より少ない	202名	16.8%	3,685名	15.8%
１時間以上、２時間より少ない	87名	7.2%	1,440名	6.2%
２時間以上、３時間より少ない	33名	2.7%	463名	2.0%
３時間以上	15名	1.2%	354名	1.5%
わからない	56名	4.7%	1,346名	5.8%
無回答	15名	1.2%	366名	1.6%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
まったくしない	457名	42.0%	9,496名	47.5%
30分より少ない	348名	32.0%	5,324名	26.6%
30分以上、１時間より少ない	145名	13.3%	2,169名	10.9%
１時間以上、２時間より少ない	64名	5.9%	1,008名	5.0%
２時間以上、３時間より少ない	19名	1.7%	354名	1.8%
３時間以上	13名	1.2%	277名	1.4%
わからない	39名	3.6%	1,118名	5.6%
無回答	4名	0.4%	244名	1.2%



ふだんの生活のことについて

問16　学校や学校の行事等の状況

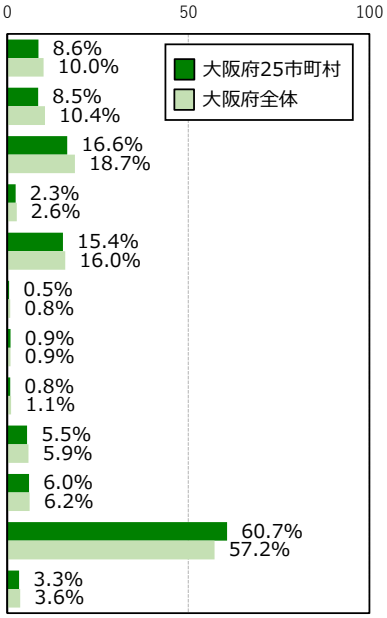
全体は、大阪府25市町村では、「持ち物の忘れ物が多い」が16.6%で最も多く、次いで「提出物を出すのが遅れることが多い」が15.4%、「授業中に寝てしまうことが多い」が8.6%となっている。一方、「特にない」は60.7%となっている。大阪府全体では、「持ち物の忘れ物が多い」が18.7%で最も多く、次いで「提出物を出すのが遅れることが多い」が16.0%、「宿題ができていないことが多い」が10.4%となっている。一方、「特にない」は57.2%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「持ち物の忘れ物が多い」が16.4%で最も多く、次いで「提出物を出すのが遅れることが多い」が10.2%、「ともだちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」が6.2%となっている。一方、「特にない」は67.1%となっている。大阪府全体では、「持ち物の忘れ物が多い」が20.3%で最も多く、次いで「提出物を出すのが遅れることが多い」が13.0%、「宿題ができていないことが多い」が7.9%となっている。一方、「特にない」は61.3%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「提出物を出すのが遅れることが多い」が21.0%で最も多く、次いで「持ち物の忘れ物が多い」が16.8%、「授業中に寝てしまうことが多い」が15.6%、「宿題ができていないことが多い」が11.8%となっている。一方、「特にない」は53.4%となっている。大阪府全体では、「提出物を出すのが遅れることが多い」が19.6%で最も多く、次いで「授業中に寝てしまうことが多い」が17.9%、「持ち物の忘れ物が多い」が16.7%となっている。一方、「特にない」は52.4%となっている。

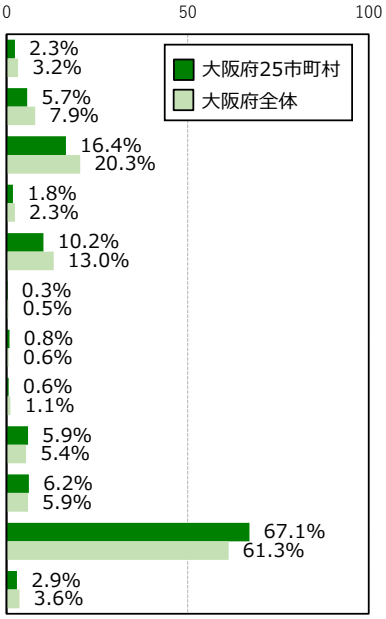
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
授業中に寝てしまうことが多い	199名	8.6%	4,341名	10.0%
宿題ができていないことが多い	197名	8.5%	4,490名	10.4%
持ち物の忘れ物が多い	382名	16.6%	8,102名	18.7%
習いごとを休むことが多い	54名	2.3%	1,140名	2.6%
提出物を出すのが遅れることが多い	355名	15.4%	6,952名	16.0%
修学旅行などの宿泊行事を欠席する	12名	0.5%	332名	0.8%
運動会や遠足などの学校行事を欠席する	20名	0.9%	394名	0.9%
保健室で過ごすことが多い	19名	0.8%	469名	1.1%
学校ではひとりで過ごすことが多い	128名	5.5%	2,548名	5.9%
ともだちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	138名	6.0%	2,699名	6.2%
特にない	1,400名	60.7%	24,807名	57.2%
無回答	77名	3.3%	1,569名	3.6%



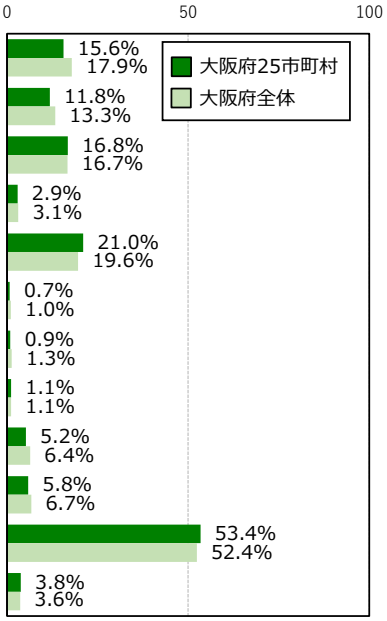
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
授業中に寝てしまうことが多い	28名	2.3%	748名	3.2%
宿題ができていないことが多い	68名	5.7%	1,829名	7.9%
持ち物の忘れ物が多い	197名	16.4%	4,736名	20.3%
習いごとを休むことが多い	22名	1.8%	525名	2.3%
提出物を出すのが遅れることが多い	122名	10.2%	3,020名	13.0%
修学旅行などの宿泊行事を欠席する	4名	0.3%	122名	0.5%
運動会や遠足などの学校行事を欠席する	10名	0.8%	135名	0.6%
保健室で過ごすことが多い	7名	0.6%	255名	1.1%
学校ではひとりで過ごすことが多い	71名	5.9%	1,263名	5.4%
ともだちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	75名	6.2%	1,365名	5.9%
特にない	806名	67.1%	14,283名	61.3%
無回答	35名	2.9%	840名	3.6%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
授業中に寝てしまうことが多い	170名	15.6%	3,581名	17.9%
宿題ができていないことが多い	128名	11.8%	2,650名	13.3%
持ち物の忘れ物が多い	183名	16.8%	3,342名	16.7%
習いごとを休むことが多い	32名	2.9%	612名	3.1%
提出物を出すのが遅れることが多い	229名	21.0%	3,912名	19.6%
修学旅行などの宿泊行事を欠席する	8名	0.7%	208名	1.0%
運動会や遠足などの学校行事を欠席する	10名	0.9%	258名	1.3%
保健室で過ごすことが多い	12名	1.1%	214名	1.1%
学校ではひとりで過ごすことが多い	57名	5.2%	1,281名	6.4%
ともだちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	63名	5.8%	1,331名	6.7%
特にない	581名	53.4%	10,481名	52.4%
無回答	41名	3.8%	721名	3.6%



ふだんの生活のことについて

問17　嫌なことや悩んでいること

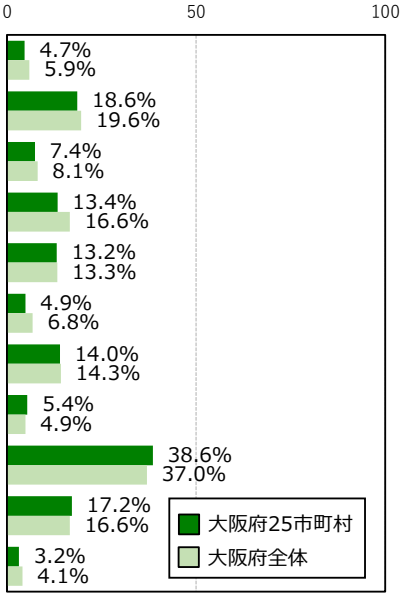
全体は、大阪府25市町村では、「いやなことや悩んでいることはない」が38.6%で最も多く、次いで「学校や勉強のこと」が18.6%、「進学・進路のこと」が14.0%、「自分のこと（外見や体型など）」が13.4%となっている。大阪府全体では、「いやなことや悩んでいることはない」が37.0%で最も多く、次いで「学校や勉強のこと」が19.6%、「自分のこと（外見や体型など）」が16.6%、「進学・進路のこと」が14.3%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「いやなことや悩んでいることはない」が44.0%で最も多く、次いで「ともだちのこと」が13.1%、「学校や勉強のこと」が11.8%、「自分のこと（外見や体型など）」が10.1%となっている。大阪府全体では「いやなことや悩んでいることはない」が42.5%で最も多く、次いで「自分のこと（外見や体型など）」が13.4%、「ともだちのこと」が12.8%、「学校や勉強のこと」が12.5%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「いやなことや悩んでいることはない」が32.4%で最も多く、次いで「学校や勉強のこと」が26.4%、「進学・進路のこと」が22.8%、「自分のこと（外見や体型など）」が17.1%となっている。大阪府全体では、「いやなことや悩んでいることはない」が30.5%で最も多く、次いで「学校や勉強のこと」が27.8%、「進学・進路のこと」が23.8%、「自分のこと（外見や体型など）」が20.3%となっている。

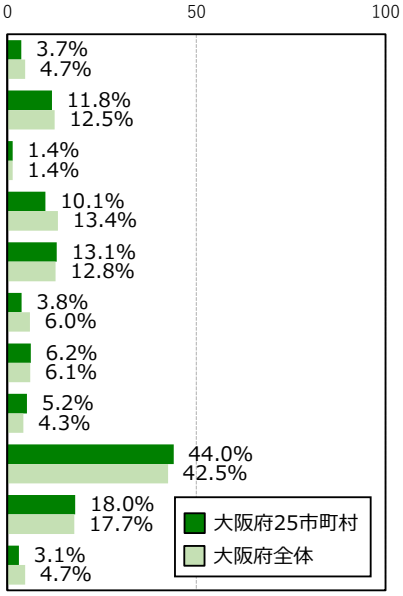
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
おうちのこと	108名	4.7%	2,567名	5.9%
学校や勉強のこと	430名	18.6%	8,499名	19.6%
クラブ活動や部活動のこと	170名	7.4%	3,513名	8.1%
自分のこと（外見や体型など）	309名	13.4%	7,191名	16.6%
ともだちのこと	304名	13.2%	5,755名	13.3%
好きな人のこと	114名	4.9%	2,940名	6.8%
進学・進路のこと	324名	14.0%	6,184名	14.3%
その他のこと	124名	5.4%	2,136名	4.9%
いやなことや悩んでいることはない	891名	38.6%	16,026名	37.0%
わからない	397名	17.2%	7,190名	16.6%
無回答	73名	3.2%	1,769名	4.1%



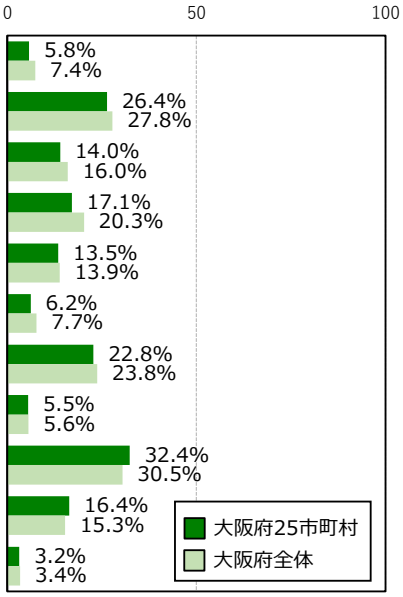
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
おうちのこと	45名	3.7%	1,086名	4.7%
学校や勉強のこと	142名	11.8%	2,922名	12.5%
クラブ活動や部活動のこと	17名	1.4%	318名	1.4%
自分のこと（外見や体型など）	121名	10.1%	3,121名	13.4%
ともだちのこと	157名	13.1%	2,974名	12.8%
好きな人のこと	46名	3.8%	1,394名	6.0%
進学・進路のこと	75名	6.2%	1,429名	6.1%
その他のこと	62名	5.2%	1,009名	4.3%
いやなことや悩んでいることはない	528名	44.0%	9,894名	42.5%
わからない	216名	18.0%	4,127名	17.7%
無回答	37名	3.1%	1,087名	4.7%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
おうちのこと	63名	5.8%	1,477名	7.4%
学校や勉強のこと	287名	26.4%	5,564名	27.8%
クラブ活動や部活動のこと	153名	14.0%	3,190名	16.0%
自分のこと（外見や体型など）	186名	17.1%	4,061名	20.3%
ともだちのこと	147名	13.5%	2,774名	13.9%
好きな人のこと	68名	6.2%	1,544名	7.7%
進学・進路のこと	248名	22.8%	4,748名	23.8%
その他のこと	60名	5.5%	1,120名	5.6%
いやなことや悩んでいることはない	353名	32.4%	6,096名	30.5%
わからない	179名	16.4%	3,051名	15.3%
無回答	35名	3.2%	671名	3.4%



ふだんの生活のことについて

問18　嫌なことや悩んでいるときの相談相手

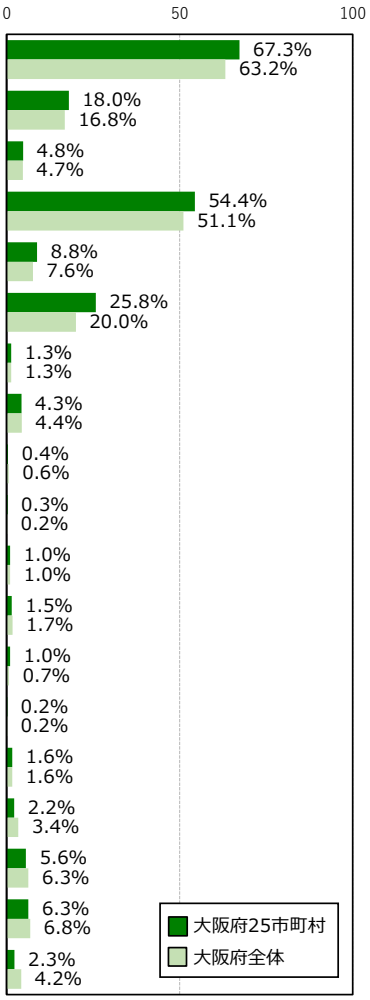
全体は、大阪府25市町村では、「親」が67.3％で最も多く、次いで「学校のともだち」が54.4％、「学校の先生」が25.8％、「きょうだい」が18.0％となっている。大阪府全体では、「親」が63.2％で最も多く、次いで「学校のともだち」が51.1％、「学校の先生」が20.0％、「きょうだい」が16.8％となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「親」が74.3％で最も多く、次いで「学校のともだち」が50.8％、「学校の先生」が30.7％、「きょうだい」が19.3％となっている。大阪府全体では、「親」が70.1％で最も多く、次いで「学校のともだち」が47.1％、「学校の先生」が23.5％、「きょうだい」が18.1％となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「親」が59.4％で最も多く、次いで「学校のともだち」が58.7％、「学校の先生」が20.6％、「きょうだい」が16.7％となっている。大阪府全体では、「親」が70.1％で最も多く、次いで「学校のともだち」が47.1％、「学校の先生」が23.5％、「きょうだい」が18.1％となっている。

【全体】

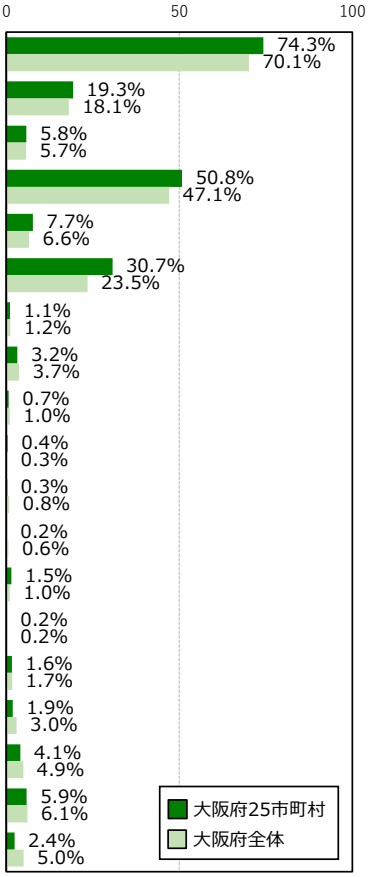
	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
親	1,554名	67.3%	27,389名	63.2%
きょうだい	416名	18.0%	7,294名	16.8%
親せき（※1）	110名	4.8%	2,045名	4.7%
学校のともだち	1,256名	54.4%	22,150名	51.1%
学校以外のともだち（※2）	203名	8.8%	3,312名	7.6%
学校の先生（※3）	596名	25.8%	8,656名	20.0%
スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー（※4）	29名	1.3%	563名	1.3%
塾や習いごとの先生	99名	4.3%	1,916名	4.4%
学童保育の先生	10名	0.4%	275名	0.6%
子ども専用の電話相談	8名	0.3%	106名	0.2%
ＳＮＳなどのインターネットやＬＩＮＥの相談	22名	1.0%	415名	1.0%
インターネットやサイトなどを通じて知りあった直接会ったことのない人	34名	1.5%	736名	1.7%
近所の人	22名	1.0%	295名	0.7%
地域の支援団体（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところの人）	4名	0.2%	71名	0.2%
その他の人	36名	1.6%	696名	1.6%
だれにも相談できない	51名	2.2%	1,466名	3.4%
だれにも相談したくない	129名	5.6%	2,714名	6.3%
わからない	145名	6.3%	2,956名	6.8%
無回答	52名	2.3%	1,811名	4.2%



※1　2016年度調査では「おじ、おばなど親戚」
※2　2016年度調査では「塾や習いごとのともだち」「その他のともだち」
※3　2016年度調査では「担任の先生や他のクラスの先生」「保健室の先生」
※4　2016年度調査では「スクールカウンセラー」

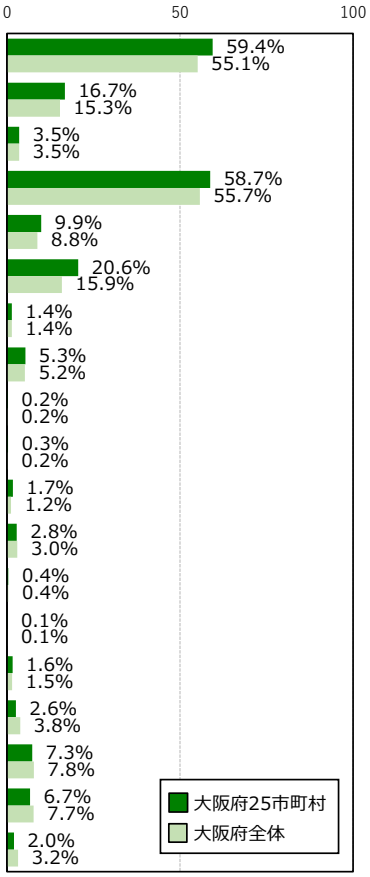
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
親	892名	74.3%	16,319名	70.1%
きょうだい	232名	19.3%	4,220名	18.1%
親せき（※1）	70名	5.8%	1,333名	5.7%
学校のともだち	610名	50.8%	10,971名	47.1%
学校以外のともだち（※2）	93名	7.7%	1,545名	6.6%
学校の先生（※3）	369名	30.7%	5,463名	23.5%
スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー（※4）	13名	1.1%	274名	1.2%
塾や習いごとの先生	39名	3.2%	869名	3.7%
学童保育の先生	8名	0.7%	239名	1.0%
子ども専用の電話相談	5名	0.4%	72名	0.3%
ＳＮＳなどのインターネットやＬＩＮＥの相談	4名	0.3%	184名	0.8%
インターネットやサイトなどを通じて知りあった直接会ったことのない人	3名	0.2%	134名	0.6%
近所の人	18名	1.5%	224名	1.0%
地域の支援団体（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところの人）	3名	0.2%	47名	0.2%
その他の人	19名	1.6%	392名	1.7%
だれにも相談できない	23名	1.9%	704名	3.0%
だれにも相談したくない	49名	4.1%	1,145名	4.9%
わからない	71名	5.9%	1,409名	6.1%
無回答	29名	2.4%	1,155名	5.0%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
親	647名	59.4%	11,019名	55.1%
きょうだい	182名	16.7%	3,063名	15.3%
親せき（※1）	38名	3.5%	705名	3.5%
学校のともだち	639名	58.7%	11,141名	55.7%
学校以外のともだち（※2）	108名	9.9%	1,761名	8.8%
学校の先生（※3）	224名	20.6%	3,177名	15.9%
スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー（※4）	15名	1.4%	286名	1.4%
塾や習いごとの先生	58名	5.3%	1,041名	5.2%
学童保育の先生	2名	0.2%	35名	0.2%
子ども専用の電話相談	3名	0.3%	34名	0.2%
ＳＮＳなどのインターネットやＬＩＮＥの相談	18名	1.7%	230名	1.2%
インターネットやサイトなどを通じて知りあった直接会ったことのない人	31名	2.8%	601名	3.0%
近所の人	4名	0.4%	71名	0.4%
地域の支援団体（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところの人）	1名	0.1%	24名	0.1%
その他の人	17名	1.6%	302名	1.5%
だれにも相談できない	28名	2.6%	760名	3.8%
だれにも相談したくない	79名	7.3%	1,566名	7.8%
わからない	73名	6.7%	1,537名	7.7%
無回答	22名	2.0%	646名	3.2%



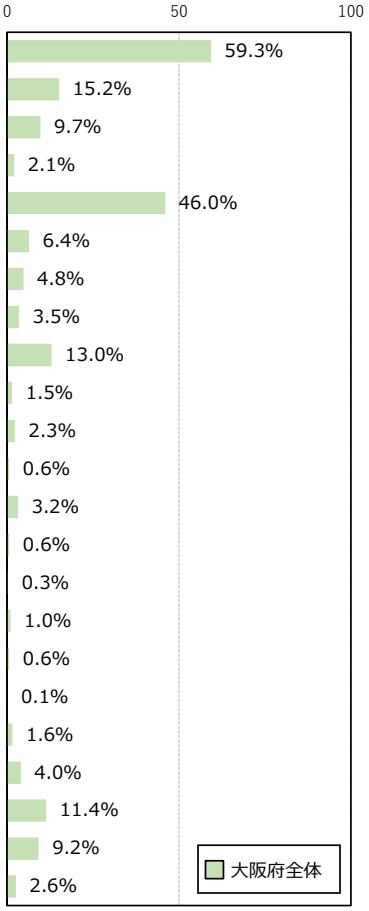
※1　2016年度調査では「おじ、おばなど親戚」
※2　2016年度調査では「塾や習いごとのともだち」「その他のともだち」
※3　2016年度調査では「担任の先生や他のクラスの先生」「保健室の先生」
※4　2016年度調査では「スクールカウンセラー」

●2016年度　調査結果〔参考データ〕

大阪府全体を2016年度調査と比較すると、全体は、「学校の先生」（2016年度調査は「担任の先生や他のクラスの先生」と「保健室の先生」の合計）が5.5ポイント、「学校のともだち」が5.1ポイント、それぞれ高くなっている。
小学生は、「学校のともだち」が7.2ポイント、「学校の先生」が6.9ポイント、それぞれ高くなっている。
中学生は、「親」が3.9ポイント、「学校の先生」が3.5ポイント、それぞれ高くなっている。

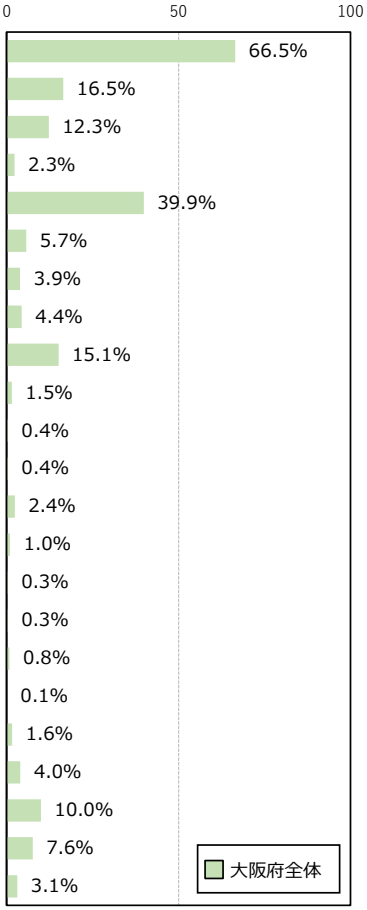
【全体】

	大阪府全体	
	50,106名	100.0%
親	29,719名	59.3%
きょうだい	7,619名	15.2%
おばあちゃん・おじいちゃん	4,843名	9.7%
おじ、おばなど親戚	1,051名	2.1%
学校のともだち	23,028名	46.0%
塾や習いごとのともだち	3,211名	6.4%
その他のともだち	2,401名	4.8%
いとこ	1,767名	3.5%
担任の先生や他のクラスの先生	6,537名	13.0%
保健室の先生	768名	1.5%
クラブ活動の先生	1,143名	2.3%
スクールカウンセラー	286名	0.6%
塾や習いごとの先生	1,580名	3.2%
学童保育の先生	298名	0.6%
こども専用の電話相談	130名	0.3%
インターネットやサイトなどを通じて知りあった直接会ったことのない人	479名	1.0%
近所の人	321名	0.6%
地域の支援団体（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところの人）	35名	0.1%
その他の人	800名	1.6%
だれにも相談できない	2,025名	4.0%
だれにも相談したくない	5,699名	11.4%
わからない	4,623名	9.2%
無回答	1,300名	2.6%



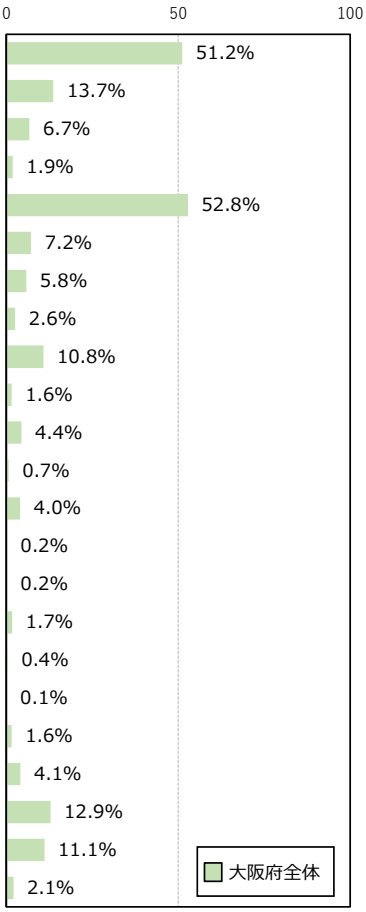
【小学生】

	大阪府全体	
	26,540名	100.0%
親	17,649名	66.5%
きょうだい	4,384名	16.5%
おばあちゃん・おじいちゃん	3,258名	12.3%
おじ、おばなど親戚	613名	2.3%
学校のともだち	10,593名	39.9%
塾や習いごとのともだち	1,523名	5.7%
その他のともだち	1,039名	3.9%
いとこ	1,156名	4.4%
担任の先生や他のクラスの先生	3,997名	15.1%
保健室の先生	399名	1.5%
クラブ活動の先生	116名	0.4%
スクールカウンセラー	116名	0.4%
塾や習いごとの先生	628名	2.4%
学童保育の先生	253名	1.0%
こども専用の電話相談	91名	0.3%
インターネットやサイトなどを通じて知りあった直接会ったことのない人	83名	0.3%
近所の人	224名	0.8%
地域の支援団体(学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところの人)	17名	0.1%
その他の人	417名	1.6%
だれにも相談できない	1,050名	4.0%
だれにも相談したくない	2,652名	10.0%
わからない	2,015名	7.6%
無回答	811名	3.1%



【中学生】

	大阪府全体	
	23,558名	100.0%
親	12,068名	51.2%
きょうだい	3,235名	13.7%
おばあちゃん・おじいちゃん	1,584名	6.7%
おじ、おばなど親戚	438名	1.9%
学校のともだち	12,434名	52.8%
塾や習いごとのともだち	1,688名	7.2%
その他のともだち	1,362名	5.8%
いとこ	611名	2.6%
担任の先生や他のクラスの先生	2,540名	10.8%
保健室の先生	369名	1.6%
クラブ活動の先生	1,027名	4.4%
スクールカウンセラー	170名	0.7%
塾や習いごとの先生	952名	4.0%
学童保育の先生	45名	0.2%
こども専用の電話相談	39名	0.2%
インターネットやサイトなどを通じて知りあった直接会ったことのない人	396名	1.7%
近所の人	97名	0.4%
地域の支援団体(学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところの人)	18名	0.1%
その他の人	383名	1.6%
だれにも相談できない	975名	4.1%
だれにも相談したくない	3,047名	12.9%
わからない	2,607名	11.1%
無回答	485名	2.1%



ふだんの生活のことについて

問19　この一週間の気持ちの状況　①楽しみにしていることがたくさんある

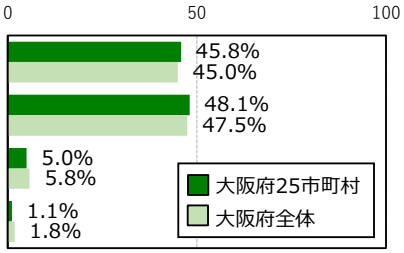
全体は、大阪府25市町村では、「ときどきそうだ」が48.1%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が45.8%、「そんなことはない」が5.0%となっている。大阪府全体では、「ときどきそうだ」が47.5%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が45.0%、「そんなことはない」が5.8%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「いつもそうだ」が49.2%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が46.1%、「そんなことはない」が3.3%となっている。大阪府全体では、「いつもそうだ」が48.1%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が45.9%、「そんなことはない」が4.0%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「ときどきそうだ」が50.5%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が41.7%、「そんなことはない」が6.9%となっている。大阪府全体では、「ときどきそうだ」が49.3%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が41.3%、「そんなことはない」が8.0%となっている。

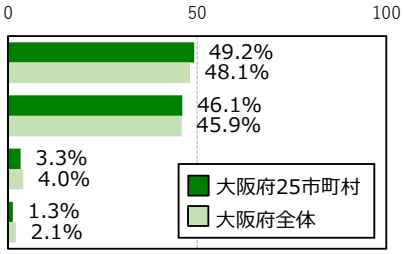
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	1,056名	45.8%	19,505名	45.0%
ときどきそうだ	1,111名	48.1%	20,583名	47.5%
そんなことはない	115名	5.0%	2,517名	5.8%
無回答	26名	1.1%	765名	1.8%



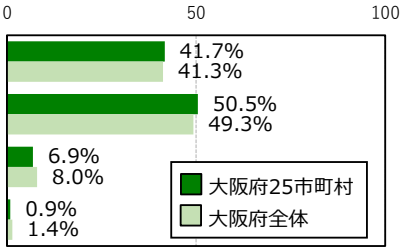
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	591名	49.2%	11,206名	48.1%
ときどきそうだ	554名	46.1%	10,683名	45.9%
そんなことはない	40名	3.3%	922名	4.0%
無回答	16名	1.3%	478名	2.1%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	454名	41.7%	8,256名	41.3%
ときどきそうだ	550名	50.5%	9,858名	49.3%
そんなことはない	75名	6.9%	1,595名	8.0%
無回答	10名	0.9%	281名	1.4%



ふだんの生活のことについて

問19　この一週間の気持ちの状況　②遊びにでかけるのが好きだ

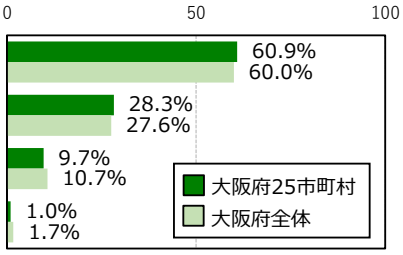
全体は、大阪府25市町村では、「いつもそうだ」が60.9%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が28.3%、「そんなことはない」が9.7%となっている。大阪府全体では、「いつもそうだ」が60.0%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が27.6%、「そんなことはない」が10.7%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「いつもそうだ」が63.8%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が27.2%、「そんなことはない」が7.6%となっている。大阪府全体では、「いつもそうだ」が63.0%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が26.4%、「そんなことはない」が8.6%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「いつもそうだ」が57.9%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が29.2%、「そんなことはない」が12.2%となっている。大阪府全体では、「いつもそうだ」が56.7%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が28.9%、「そんなことはない」が13.2%となっている。

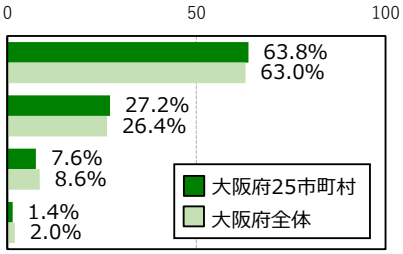
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	1,406名	60.9%	26,039名	60.0%
ときどきそうだ	653名	28.3%	11,956名	27.6%
そんなことはない	225名	9.7%	4,638名	10.7%
無回答	24名	1.0%	737名	1.7%



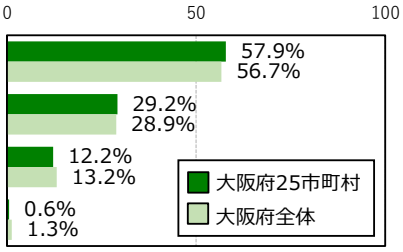
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	766名	63.8%	14,666名	63.0%
ときどきそうだ	327名	27.2%	6,154名	26.4%
そんなことはない	91名	7.6%	1,996名	8.6%
無回答	17名	1.4%	473名	2.0%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	631名	57.9%	11,325名	56.7%
ときどきそうだ	318名	29.2%	5,773名	28.9%
そんなことはない	133名	12.2%	2,634名	13.2%
無回答	7名	0.6%	258名	1.3%



ふだんの生活のことについて

問19　この一週間の気持ちの状況　③元気いっぱいだ

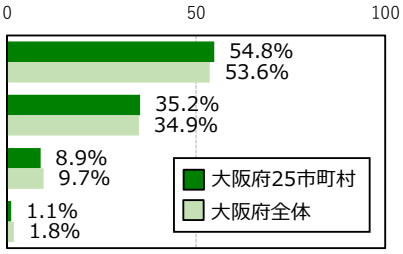
全体は、大阪府25市町村では、「いつもそうだ」が54.8%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が35.2%、「そんなことはない」が8.9%となっている。大阪府全体では、「いつもそうだ」が53.6%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が34.9%、「そんなことはない」が9.7%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「いつもそうだ」が63.4%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が29.6%、「そんなことはない」が5.4%となっている。大阪府全体では、「いつもそうだ」が61.8%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が30.0%、「そんなことはない」が6.1%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「いつもそうだ」が45.2%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が41.2%、「そんなことはない」が12.9%となっている。大阪府全体では、「いつもそうだ」が44.0%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が40.7%、「そんなことはない」が13.9%となっている。

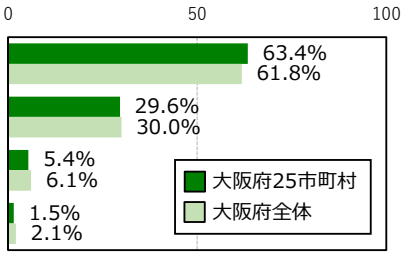
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	1,264名	54.8%	23,234名	53.6%
ときどきそうだ	812名	35.2%	15,146名	34.9%
そんなことはない	206名	8.9%	4,217名	9.7%
無回答	26名	1.1%	773名	1.8%



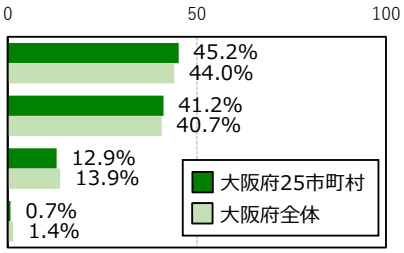
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	762名	63.4%	14,397名	61.8%
ときどきそうだ	356名	29.6%	6,978名	30.0%
そんなことはない	65名	5.4%	1,431名	6.1%
無回答	18名	1.5%	483名	2.1%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	492名	45.2%	8,796名	44.0%
ときどきそうだ	449名	41.2%	8,128名	40.7%
そんなことはない	140名	12.9%	2,782名	13.9%
無回答	8名	0.7%	284名	1.4%



ふだんの生活のことについて

問19　この一週間の気持ちの状況　④やろうと思ったことがうまくできる

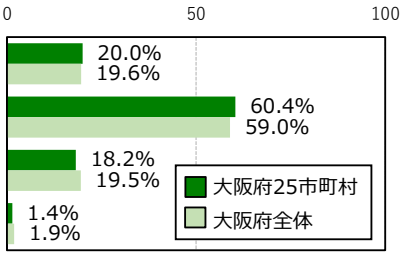
全体は、大阪府25市町村では、「ときどきそうだ」が60.4%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が20.0%、「そんなことはない」が18.2%となっている。大阪府全体では、「ときどきそうだ」が59.0%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が19.6%、「そんなことはない」が19.5%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「ときどきそうだ」が60.0%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が23.4%、「そんなことはない」が14.8%となっている。大阪府全体では、「ときどきそうだ」が60.5%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が22.7%、「そんなことはない」が14.5%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「ときどきそうだ」が61.2%で最も多く、次いで「そんなことはない」が22.2%、「いつもそうだ」が15.6%となっている。大阪府全体では、「ときどきそうだ」が57.1%で最も多く、次いで「そんなことはない」が25.4%、「いつもそうだ」が16.0%となっている。

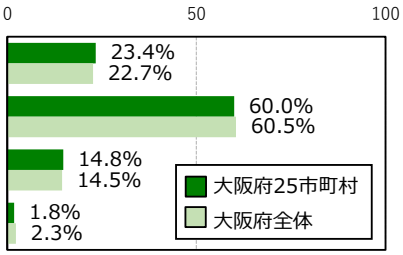
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	461名	20.0%	8,503名	19.6%
ときどきそうだ	1,394名	60.4%	25,567名	59.0%
そんなことはない	420名	18.2%	8,460名	19.5%
無回答	33名	1.4%	840名	1.9%



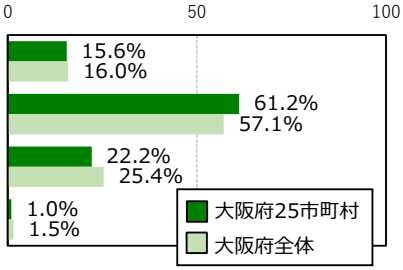
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	281名	23.4%	5,283名	22.7%
ときどきそうだ	720名	60.0%	14,099名	60.5%
そんなことはない	178名	14.8%	3,367名	14.5%
無回答	22名	1.8%	540名	2.3%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	170名	15.6%	3,199名	16.0%
ときどきそうだ	666名	61.2%	11,416名	57.1%
そんなことはない	242名	22.2%	5,081名	25.4%
無回答	11名	1.0%	294名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問19　この一週間の気持ちの状況　⑤一人ぼっちのような気がする

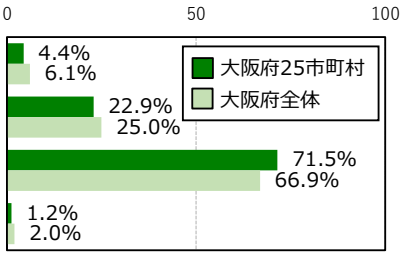
全体は、大阪府25市町村では、「そんなことはない」が71.5%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が22.9%、「いつもそうだ」が4.4%となっている。大阪府全体では、「そんなことはない」が66.9%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が25.0%、「いつもそうだ」が6.1%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「そんなことはない」が74.9%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が20.8%、「いつもそうだ」が2.8%となっている。大阪府全体では、「そんなことはない」が72.4%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が20.5%、「いつもそうだ」が4.7%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「そんなことはない」が67.6%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が25.3%、「いつもそうだ」が6.2%となっている。大阪府全体では、「そんなことはない」が60.5%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が30.3%、「いつもそうだ」が7.7%となっている。

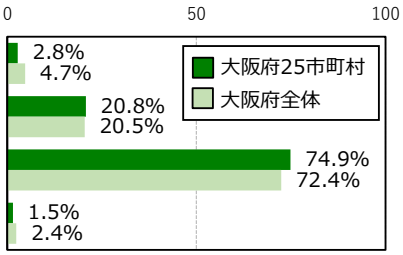
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	102名	4.4%	2,628名	6.1%
ときどきそうだ	529名	22.9%	10,860名	25.0%
そんなことはない	1,650名	71.5%	29,021名	66.9%
無回答	27名	1.2%	861名	2.0%



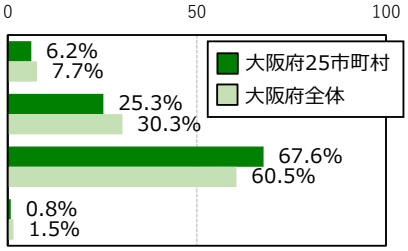
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	34名	2.8%	1,091名	4.7%
ときどきそうだ	250名	20.8%	4,776名	20.5%
そんなことはない	899名	74.9%	16,872名	72.4%
無回答	18名	1.5%	550名	2.4%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	68名	6.2%	1,534名	7.7%
ときどきそうだ	276名	25.3%	6,057名	30.3%
そんなことはない	736名	67.6%	12,095名	60.5%
無回答	9名	0.8%	304名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問19　この一週間の気持ちの状況　⑥不安な気持ちになる

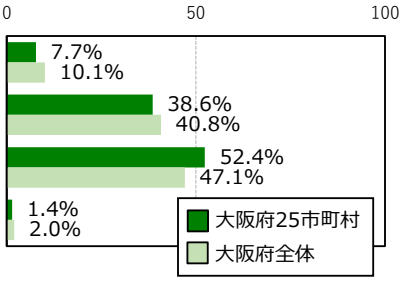
全体は、大阪府25市町村では、「そんなことはない」が52.4%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が38.6%、「いつもそうだ」が7.7%となっている。大阪府全体では、「そんなことはない」が47.1%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が40.8%、「いつもそうだ」が10.1%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「そんなことはない」が57.0%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が36.1%、「いつもそうだ」が5.2%となっている。大阪府全体では、「そんなことはない」が52.6%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が38.1%、「いつもそうだ」が6.9%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「そんなことはない」が46.9%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が41.4%、「いつもそうだ」が10.6%となっている。大阪府全体では、「ときどきそうだ」が44.1%で最も多く、次いで「そんなことはない」が40.6%、「いつもそうだ」が13.8%となっている。

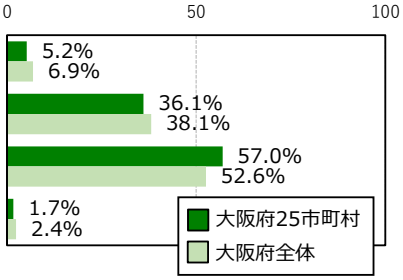
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	177名	7.7%	4,369名	10.1%
ときどきそうだ	890名	38.6%	17,713名	40.8%
そんなことはない	1,209名	52.4%	20,421名	47.1%
無回答	32名	1.4%	867名	2.0%



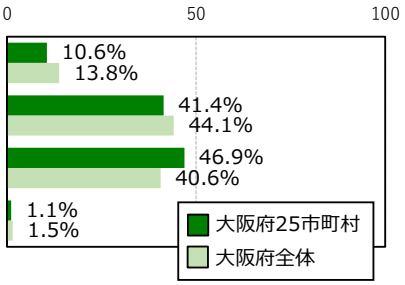
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	62名	5.2%	1,616名	6.9%
ときどきそうだ	434名	36.1%	8,865名	38.1%
そんなことはない	685名	57.0%	12,251名	52.6%
無回答	20名	1.7%	557名	2.4%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	115名	10.6%	2,750名	13.8%
ときどきそうだ	451名	41.4%	8,814名	44.1%
そんなことはない	511名	46.9%	8,122名	40.6%
無回答	12名	1.1%	304名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問19　この一週間の気持ちの状況　⑦まわりが気になる

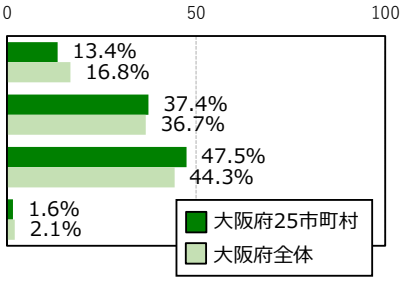
全体は、大阪府25市町村では、「そんなことはない」が47.5%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が37.4%、「いつもそうだ」が13.4%となっている。大阪府全体では、「そんなことはない」が44.3%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が36.7%、「いつもそうだ」が16.8%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「そんなことはない」が52.5%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が34.9%、「いつもそうだ」が10.4%となっている。大阪府全体では、「そんなことはない」が50.5%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が34.6%、「いつもそうだ」が12.4%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「そんなことはない」が41.8%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が40.3%、「いつもそうだ」が16.9%となっている。大阪府全体では、「ときどきそうだ」が39.3%で最も多く、次いで「そんなことはない」が37.1%、「いつもそうだ」が22.0%となっている。

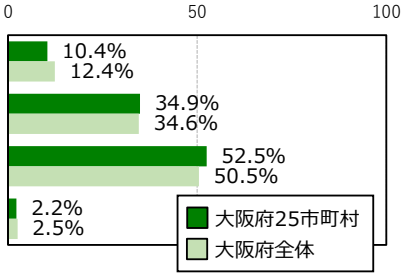
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	310名	13.4%	7,300名	16.8%
ときどきそうだ	864名	37.4%	15,932名	36.7%
そんなことはない	1,097名	47.5%	19,222名	44.3%
無回答	37名	1.6%	916名	2.1%



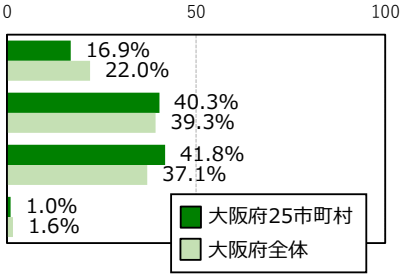
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	125名	10.4%	2,893名	12.4%
ときどきそうだ	419名	34.9%	8,049名	34.6%
そんなことはない	631名	52.5%	11,759名	50.5%
無回答	26名	2.2%	588名	2.5%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	184名	16.9%	4,399名	22.0%
ときどきそうだ	439名	40.3%	7,848名	39.3%
そんなことはない	455名	41.8%	7,422名	37.1%
無回答	11名	1.0%	321名	1.6%



ふだんの生活のことについて

問19　この一週間の気持ちの状況　⑧やる気が起きない

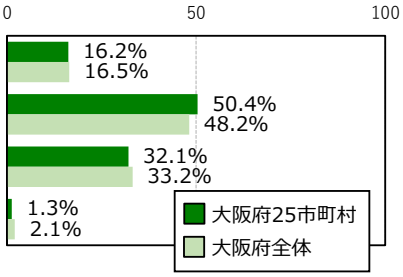
全体は、大阪府25市町村では、「ときどきそうだ」が50.4%で最も多く、次いで「そんなことはない」が32.1%、「いつもそうだ」が16.2%となっている。大阪府全体では、「ときどきそうだ」が48.2%で最も多く、次いで「そんなことはない」が33.2%、「いつもそうだ」が16.5%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「ときどきそうだ」が47.0%で最も多く、次いで「そんなことはない」が40.6%、「いつもそうだ」が10.8%となっている。大阪府全体では、「ときどきそうだ」が44.9%で最も多く、次いで「そんなことはない」が41.6%、「いつもそうだ」が10.9%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「ときどきそうだ」が54.3%で最も多く、次いで「そんなことはない」が22.4%、「いつもそうだ」が22.3%となっている。大阪府全体では、「ときどきそうだ」が52.0%で最も多く、次いで「そんなことはない」が23.4%、「いつもそうだ」が23.0%となっている。

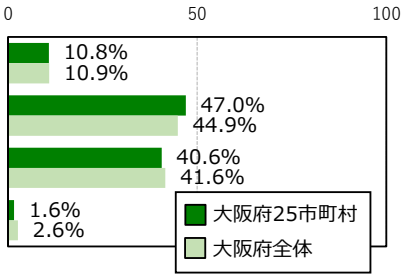
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	373名	16.2%	7,152名	16.5%
ときどきそうだ	1,164名	50.4%	20,902名	48.2%
そんなことはない	741名	32.1%	14,387名	33.2%
無回答	30名	1.3%	929名	2.1%



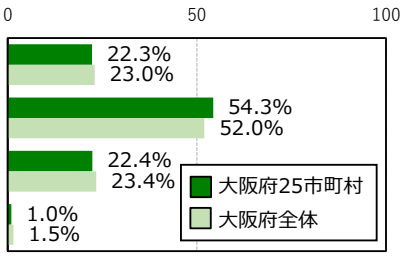
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	130名	10.8%	2,541名	10.9%
ときどきそうだ	564名	47.0%	10,454名	44.9%
そんなことはない	488名	40.6%	9,677名	41.6%
無回答	19名	1.6%	617名	2.6%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	243名	22.3%	4,606名	23.0%
ときどきそうだ	591名	54.3%	10,396名	52.0%
そんなことはない	244名	22.4%	4,682名	23.4%
無回答	11名	1.0%	306名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問19　この一週間の気持ちの状況　⑨いらいらする

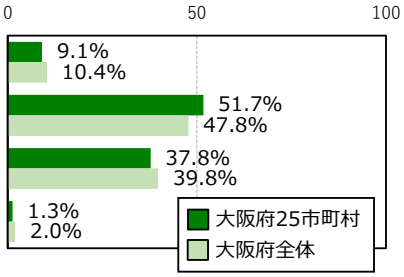
全体は、大阪府25市町村では、「ときどきそうだ」が51.7%で最も多く、次いで「そんなことはない」が37.8%、「いつもそうだ」が9.1%となっている。大阪府全体では、「ときどきそうだ」が47.8%で最も多く、次いで「そんなことはない」が39.8%、「いつもそうだ」が10.4%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「ときどきそうだ」が51.5%で最も多く、次いで「そんなことはない」が37.4%、「いつもそうだ」が9.4%となっている。大阪府全体では、「ときどきそうだ」が47.2%で最も多く、次いで「そんなことはない」が40.2%、「いつもそうだ」が10.2%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「ときどきそうだ」が52.3%で最も多く、次いで「そんなことはない」が37.9%、「いつもそうだ」が8.9%となっている。大阪府全体では、「ときどきそうだ」が48.4%で最も多く、次いで「そんなことはない」が39.3%、「いつもそうだ」が10.8%となっている。

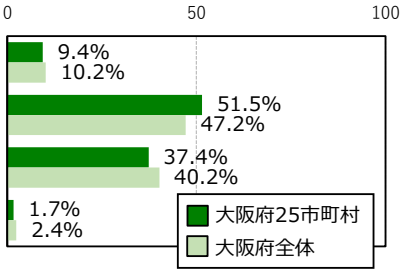
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	211名	9.1%	4,525名	10.4%
ときどきそうだ	1,194名	51.7%	20,712名	47.8%
そんなことはない	873名	37.8%	17,270名	39.8%
無回答	30名	1.3%	863名	2.0%



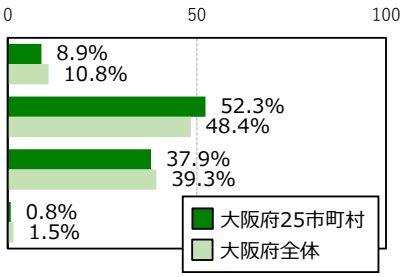
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	113名	9.4%	2,364名	10.2%
ときどきそうだ	618名	51.5%	10,997名	47.2%
そんなことはない	449名	37.4%	9,370名	40.2%
無回答	21名	1.7%	558名	2.4%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	97名	8.9%	2,152名	10.8%
ときどきそうだ	570名	52.3%	9,674名	48.4%
そんなことはない	413名	37.9%	7,865名	39.3%
無回答	9名	0.8%	299名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問20　自分の体の状態で気になること

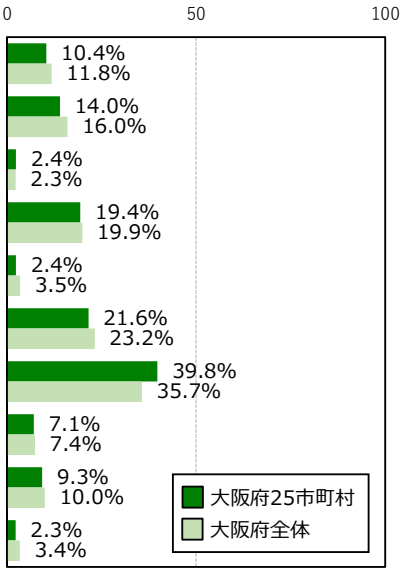
全体は、大阪府25市町村では、「とくに気になるところはない」が39.8%で最も多く、次いで「よくかゆくなる」が21.6%、「よくおなかがいたくなる」が19.4%、「よく頭がいたくなる」が14.0%となっている。大阪府全体では、「とくに気になるところはない」が35.7%で最も多く、次いで「よくかゆくなる」が23.2%、「よくおなかがいたくなる」が19.9%、「よく頭がいたくなる」が16.0%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「とくに気になるところはない」が41.0%で最も多く、次いで「よくかゆくなる」が24.4%、「よくおなかがいたくなる」が16.7%、「よく頭がいたくなる」が10.9%となっている。大阪府全体では、「とくに気になるところはない」が36.0%で最も多く、次いで「よくかゆくなる」が26.4%、「よくおなかがいたくなる」が17.9%、「よく頭がいたくなる」が13.1%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「とくに気になるところはない」が38.8%で最も多く、次いで「よくおなかがいたくなる」が22.4%、「よくかゆくなる」が18.5%、「よく頭がいたくなる」が17.4%となっている。大阪府全体では、「とくに気になるところはない」が35.4%で最も多く、次いで「よくおなかがいたくなる」が22.2%、「よくかゆくなる」が19.4%、「よく頭がいたくなる」が19.3%となっている。

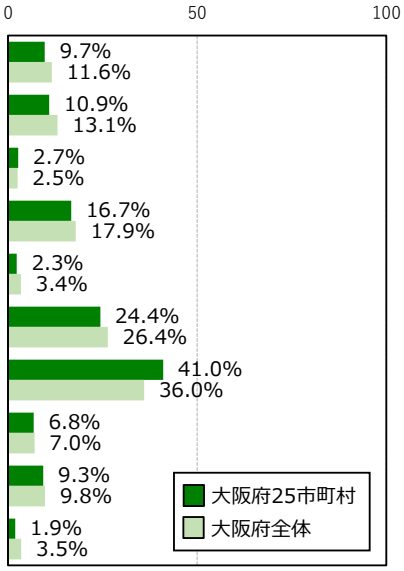
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
ねむれない	239名	10.4%	5,129名	11.8%
よく頭がいたくなる	323名	14.0%	6,935名	16.0%
歯がいたい	55名	2.4%	979名	2.3%
よくおなかがいたくなる	448名	19.4%	8,644名	19.9%
よくかぜをひく	55名	2.4%	1,506名	3.5%
よくかゆくなる	498名	21.6%	10,046名	23.2%
とくに気になるところはない	918名	39.8%	15,487名	35.7%
その他	164名	7.1%	3,228名	7.4%
わからない	214名	9.3%	4,331名	10.0%
無回答	53名	2.3%	1,491名	3.4%



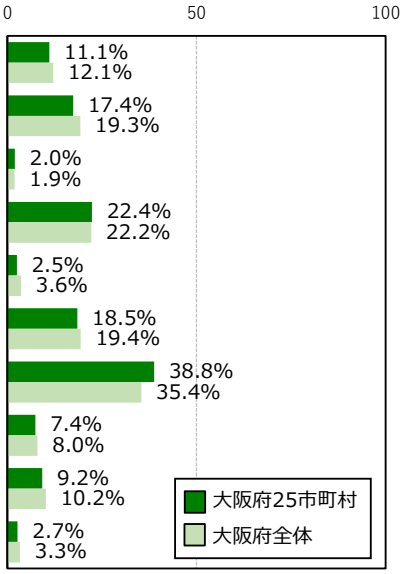
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
ねむれない	116名	9.7%	2,704名	11.6%
よく頭がいたくなる	131名	10.9%	3,057名	13.1%
歯がいたい	33名	2.7%	589名	2.5%
よくおなかがいたくなる	200名	16.7%	4,177名	17.9%
よくかぜをひく	28名	2.3%	786名	3.4%
よくかゆくなる	293名	24.4%	6,142名	26.4%
とくに気になるところはない	492名	41.0%	8,390名	36.0%
その他	82名	6.8%	1,622名	7.0%
わからない	112名	9.3%	2,273名	9.8%
無回答	23名	1.9%	815名	3.5%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
ねむれない	121名	11.1%	2,415名	12.1%
よく頭がいたくなる	189名	17.4%	3,864名	19.3%
歯がいたい	22名	2.0%	389名	1.9%
よくおなかがいたくなる	244名	22.4%	4,446名	22.2%
よくかぜをひく	27名	2.5%	719名	3.6%
よくかゆくなる	201名	18.5%	3,886名	19.4%
とくに気になるところはない	422名	38.8%	7,072名	35.4%
その他	81名	7.4%	1,598名	8.0%
わからない	100名	9.2%	2,047名	10.2%
無回答	29名	2.7%	666名	3.3%



ふだんの生活のことについて

問21　持っているもの、使うことができるもの

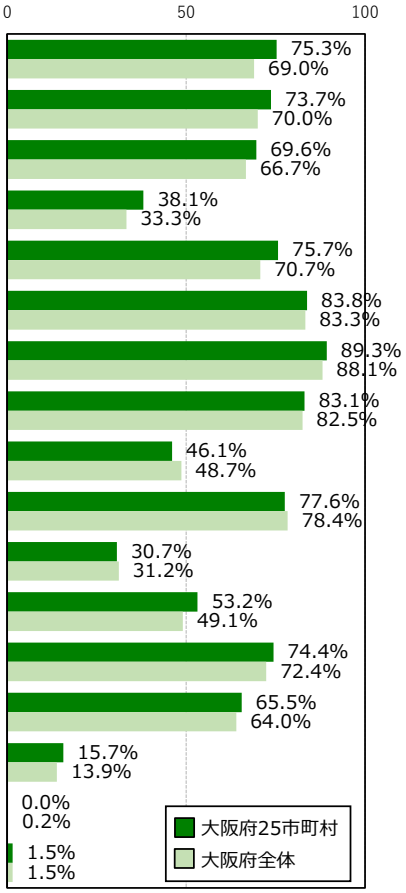
全体は、大阪府25市町村では、「自転車」が89.3%で最も多く、次いで「ゲーム機」が83.8%、「テレビ」が83.1%、「スマートフォン・タブレット機器」が77.6%となっている。大阪府全体では、「自転車」が88.1%で最も多く、次いで「ゲーム機」が83.3%、「テレビ」が82.5%、「スマートフォン・タブレット機器」が78.4%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「自転車」が90.3%で最も多く、次いで「ゲーム機」が84.6%、「テレビ」が83.6%、「本（学校の教科書やマンガ・雑誌はのぞく）」が77.9%となっている。大阪府全体では、「自転車」が87.7%で最も多く、次いで「ゲーム機」が84.0%、「テレビ」が81.7%、「運動用具（ボール・ラケットなど）」が71.2%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「スマートフォン・タブレット機器」が89.3%で最も多く、次いで「自転車」が88.3%、「ゲーム機」が83.3%、「テレビ」が82.6%となっている。大阪府全体では、「スマートフォン・タブレット機器」が90.1%で最も多く、次いで「自転車」が88.7%、「テレビ」が83.4%、「ゲーム機」が82.6%となっている。

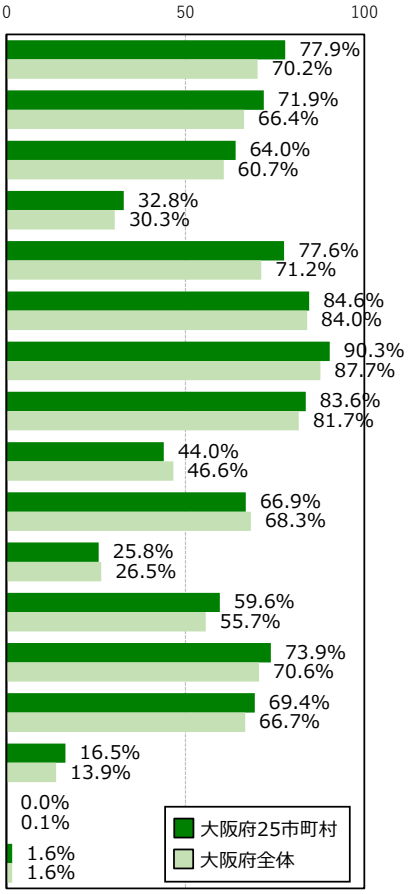
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
本（学校の教科書やマンガ・雑誌はのぞく）	1,739名	75.3%	29,930名	69.0%
マンガ・雑誌	1,701名	73.7%	30,358名	70.0%
子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいと一緒に使っている部屋など）	1,607名	69.6%	28,946名	66.7%
インターネットにつながるパソコン（学校のパソコンはのぞく）	879名	38.1%	14,432名	33.3%
運動用具（ボール・ラケットなど）	1,747名	75.7%	30,642名	70.7%
ゲーム機	1,935名	83.8%	36,137名	83.3%
自転車	2,061名	89.3%	38,228名	88.1%
テレビ	1,919名	83.1%	35,772名	82.5%
けいたい電話	1,063名	46.1%	21,131名	48.7%
スマートフォン・タブレット機器	1,790名	77.6%	33,995名	78.4%
化粧品・アクセサリー	708名	30.7%	13,521名	31.2%
習いごとなどの道具（ピアノなど）	1,229名	53.2%	21,309名	49.1%
自分で選んだ服	1,717名	74.4%	31,410名	72.4%
キャラクターグッズ	1,512名	65.5%	27,742名	64.0%
その他	363名	15.7%	6,029名	13.9%
あてはまるものはない	1名	0.0%	73名	0.2%
無回答	35名	1.5%	654名	1.5%



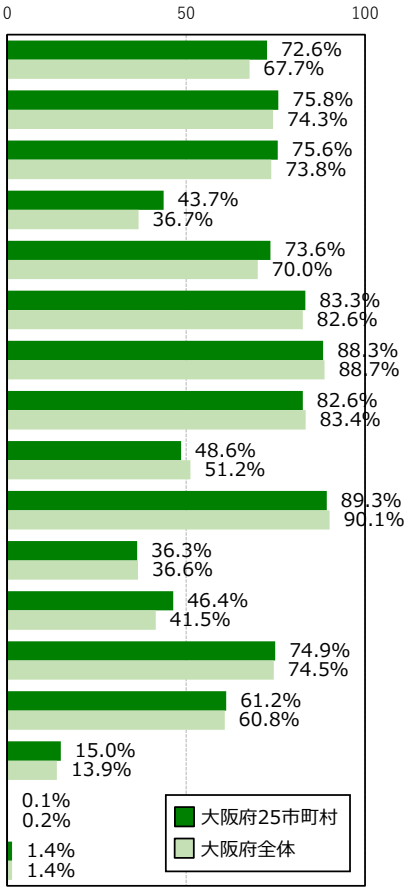
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
本（学校の教科書やマンガ・雑誌はのぞく）	935名	77.9%	16,345名	70.2%
マンガ・雑誌	864名	71.9%	15,454名	66.4%
子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいと一緒に使っている部屋など）	769名	64.0%	14,132名	60.7%
インターネットにつながるパソコン（学校のパソコンはのぞく）	394名	32.8%	7,061名	30.3%
運動用具（ボール・ラケットなど）	932名	77.6%	16,585名	71.2%
ゲーム機	1,016名	84.6%	19,560名	84.0%
自転車	1,085名	90.3%	20,424名	87.7%
テレビ	1,004名	83.6%	19,035名	81.7%
けいたい電話	529名	44.0%	10,858名	46.6%
スマートフォン・タブレット機器	803名	66.9%	15,917名	68.3%
化粧品・アクセサリー	310名	25.8%	6,173名	26.5%
習いごとなどの道具（ピアノなど）	716名	59.6%	12,972名	55.7%
自分で選んだ服	887名	73.9%	16,446名	70.6%
キャラクターグッズ	834名	69.4%	15,532名	66.7%
その他	198名	16.5%	3,226名	13.9%
あてはまるものはない	－	－	34名	0.1%
無回答	19名	1.6%	376名	1.6%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
本（学校の教科書やマンガ・雑誌はのぞく）	791名	72.6%	13,525名	67.7%
マンガ・雑誌	825名	75.8%	14,848名	74.3%
子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいと一緒に使っている部屋など）	823名	75.6%	14,755名	73.8%
インターネットにつながるパソコン（学校のパソコンはのぞく）	476名	43.7%	7,334名	36.7%
運動用具（ボール・ラケットなど）	802名	73.6%	13,997名	70.0%
ゲーム機	907名	83.3%	16,510名	82.6%
自転車	962名	88.3%	17,735名	88.7%
テレビ	900名	82.6%	16,665名	83.4%
けいたい電話	529名	48.6%	10,236名	51.2%
スマートフォン・タブレット機器	972名	89.3%	18,012名	90.1%
化粧品・アクセサリー	395名	36.3%	7,324名	36.6%
習いごとなどの道具（ピアノなど）	505名	46.4%	8,294名	41.5%
自分で選んだ服	816名	74.9%	14,894名	74.5%
キャラクターグッズ	667名	61.2%	12,152名	60.8%
その他	163名	15.0%	2,787名	13.9%
あてはまるものはない	1名	0.1%	38名	0.2%
無回答	15名	1.4%	273名	1.4%



●2016年度　調査結果〔参考データ〕

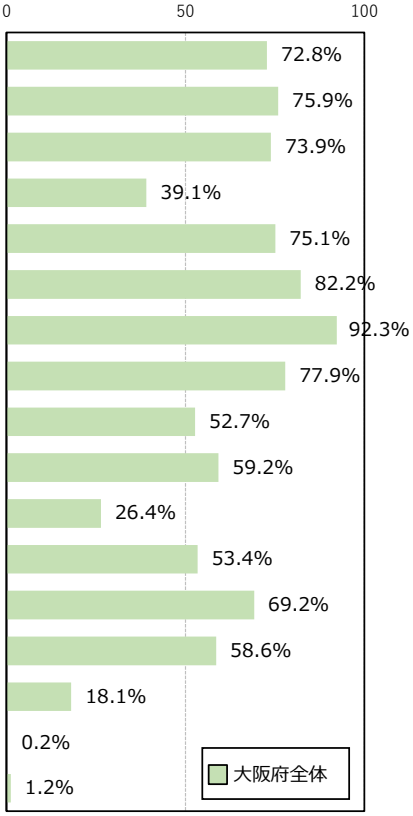
大阪府全体を2016年度調査と比較すると、全体は、「スマートフォン・タブレット機器」は19.2ポイント高いが、「子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいと一緒に使っている部屋など）」は7.2ポイント低くなっている。

小学生は、「スマートフォン・タブレット機器」は25.2ポイント高いが、「子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいと一緒に使っている部屋など）」は10.0ポイント低くなっている。

中学生は、「スマートフォン・タブレット機器」は12.7ポイント高いが、「子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいと一緒に使っている部屋など）」は11.2ポイント低くなっている。

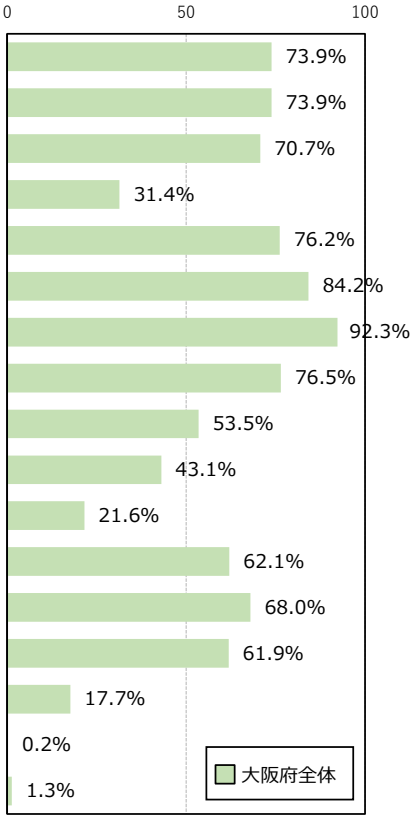
【全体】

	大阪府全体	
	50,106名	100.0%
本（学校の教科書やマンガはのぞく）	36,496名	72.8%
マンガ・雑誌	38,031名	75.9%
子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいと一緒に使っている部屋など）	37,007名	73.9%
インターネットにつながるパソコン	19,616名	39.1%
運動用具（ボール・ラケットなど）	37,609名	75.1%
ゲーム機	41,208名	82.2%
自転車	46,247名	92.3%
テレビ	39,032名	77.9%
けいたい電話	26,427名	52.7%
スマートフォン・タブレット機器	29,684名	59.2%
化粧品・アクセサリー	13,233名	26.4%
習いごとなどの道具（ピアノなど）	26,767名	53.4%
自分で選んだ服	34,665名	69.2%
キャラクターグッズ	29,357名	58.6%
その他	9,072名	18.1%
あてはまるものはない	105名	0.2%
無回答	602名	1.2%



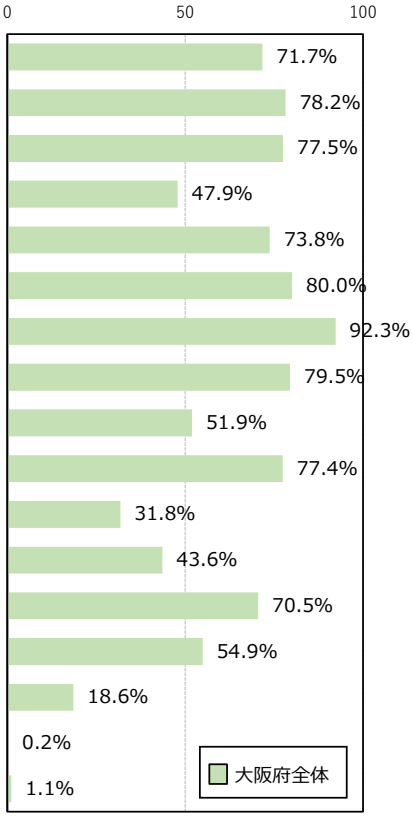
【小学生】

	大阪府全体	
	26,540名	100.0%
本（学校の教科書やマンガはのぞく）	19,604名	73.9%
マンガ・雑誌	19,607名	73.9%
子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいと一緒に使っている部屋など）	18,751名	70.7%
インターネットにつながるパソコン	8,326名	31.4%
運動用具（ボール・ラケットなど）	20,215名	76.2%
ゲーム機	22,355名	84.2%
自転車	24,500名	92.3%
テレビ	20,298名	76.5%
けいたい電話	14,188名	53.5%
スマートフォン・タブレット機器	11,445名	43.1%
化粧品・アクセサリー	5,739名	21.6%
習いごとなどの道具（ピアノなど）	16,492名	62.1%
自分で選んだ服	18,050名	68.0%
キャラクターグッズ	16,416名	61.9%
その他	4,695名	17.7%
あてはまるものはない	50名	0.2%
無回答	337名	1.3%



【中学生】

	大阪府全体	
	23,558名	100.0%
本（学校の教科書やマンガはのぞく）	16,891名	71.7%
マンガ・雑誌	18,423名	78.2%
子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいと一緒に使っている部屋など）	18,253名	77.5%
インターネットにつながるパソコン	11,289名	47.9%
運動用具（ボール・ラケットなど）	17,391名	73.8%
ゲーム機	18,851名	80.0%
自転車	21,745名	92.3%
テレビ	18,732名	79.5%
けいたい電話	12,238名	51.9%
スマートフォン・タブレット機器	18,237名	77.4%
化粧品・アクセサリー	7,492名	31.8%
習いごとなどの道具（ピアノなど）	10,275名	43.6%
自分で選んだ服	16,612名	70.5%
キャラクターグッズ	12,940名	54.9%
その他	4,377名	18.6%
あてはまるものはない	54名	0.2%
無回答	262名	1.1%



ふだん考えていることについて

問22　すぐに立ち直ることができる

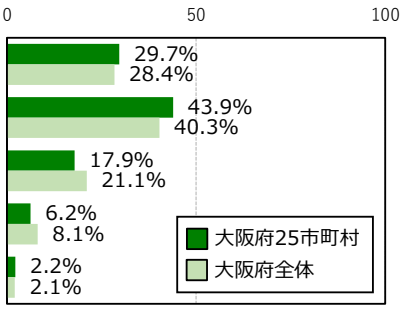
全体は、大阪府25市町村では、「どちらかというとそう思う」が43.9％で最も多く、次いで「そう思う」が29.7％、「どちらかというとそう思わない」が17.9％となっている。大阪府全体では、「どちらかというとそう思う」が40.3％で最も多く、次いで「そう思う」が28.4％、「どちらかというとそう思わない」が21.1％となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「どちらかというとそう思う」が43.6％で最も多く、次いで「そう思う」が32.5％、「どちらかというとそう思わない」が16.1％となっている。大阪府全体では、「どちらかというとそう思う」が40.9％で最も多く、次いで「そう思う」が30.8％、「どちらかというとそう思わない」が19.0％となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「どちらかというとそう思う」が44.4％で最も多く、次いで「そう思う」が26.4％、「どちらかというとそう思わない」が20.2％となっている。大阪府全体では、「どちらかというとそう思う」が39.6％で最も多く、次いで「そう思う」が25.6％、「どちらかというとそう思わない」が23.5％となっている。

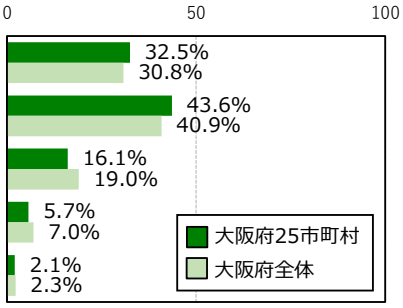
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
そう思う	686名	29.7%	12,318名	28.4%
どちらかというとそう思う	1,014名	43.9%	17,480名	40.3%
どちらかというとそう思わない	414名	17.9%	9,144名	21.1%
そう思わない	144名	6.2%	3,521名	8.1%
無回答	50名	2.2%	907名	2.1%



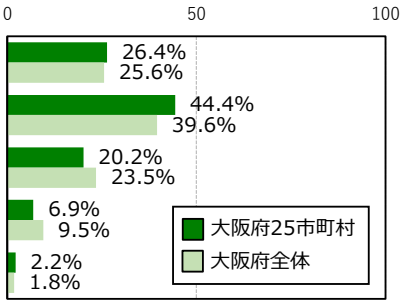
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
そう思う	390名	32.5%	7,172名	30.8%
どちらかというとそう思う	524名	43.6%	9,521名	40.9%
どちらかというとそう思わない	193名	16.1%	4,431名	19.0%
そう思わない	69名	5.7%	1,625名	7.0%
無回答	25名	2.1%	540名	2.3%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
そう思う	287名	26.4%	5,119名	25.6%
どちらかというとそう思う	483名	44.4%	7,917名	39.6%
どちらかというとそう思わない	220名	20.2%	4,703名	23.5%
そう思わない	75名	6.9%	1,891名	9.5%
無回答	24名	2.2%	360名	1.8%



ふだん考えていることについて

問23　ふだん考えていること（１）自分に自信がある

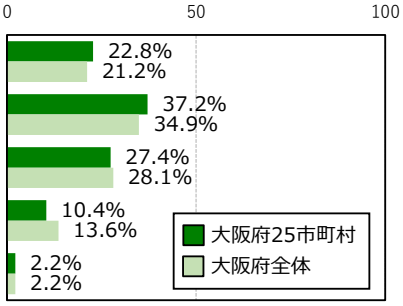
全体は、大阪府25市町村では、「どちらかというとある」が37.2%で最も多く、次いで「どちらかというとない」が27.4%、「ある」が22.8%、「ない」が10.4%となっている。大阪府全体では、「どちらかというとある」が34.9%で最も多く、次いで「どちらかというとない」が28.1%、「ある」が21.2%、「ない」が13.6%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「どちらかというとある」が39.8%で最も多く、次いで「ある」が27.4%、「どちらかというとない」が23.1%、「ない」が7.4%となっている。大阪府全体では、「どちらかというとある」が38.2%で最も多く、次いで「ある」が26.4%、「どちらかというとない」が23.4%、「ない」が9.5%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「どちらかというとある」が34.6%で最も多く、次いで「どちらかというとない」が32.0%、「ある」が17.3%、「ない」が14.0%となっている。大阪府全体では、「どちらかというとない」が33.6%で最も多く、次いで「どちらかというとある」が31.0%、「ない」が18.4%、「ある」が15.1%となっている。

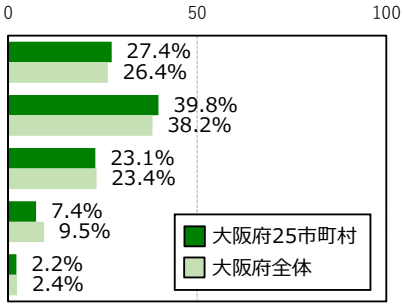
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
ある	526名	22.8%	9,192名	21.2%
どちらかというとある	858名	37.2%	15,132名	34.9%
どちらかというとない	632名	27.4%	12,192名	28.1%
ない	241名	10.4%	5,898名	13.6%
無回答	51名	2.2%	956名	2.2%



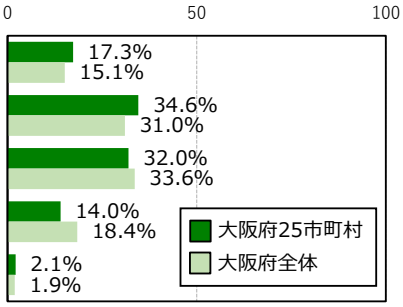
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
ある	329名	27.4%	6,157名	26.4%
どちらかというとある	478名	39.8%	8,904名	38.2%
どちらかというとない	278名	23.1%	5,450名	23.4%
ない	89名	7.4%	2,211名	9.5%
無回答	27名	2.2%	567名	2.4%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
ある	188名	17.3%	3,011名	15.1%
どちらかというとある	377名	34.6%	6,202名	31.0%
どちらかというとない	349名	32.0%	6,716名	33.6%
ない	152名	14.0%	3,679名	18.4%
無回答	23名	2.1%	382名	1.9%



ふだん考えていることについて

問23　ふだん考えていること（２）自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

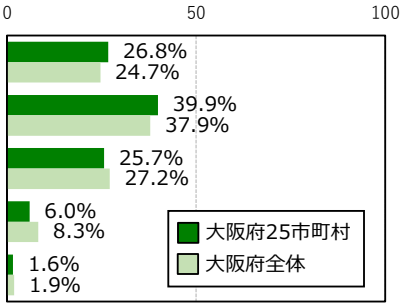
全体は、大阪府25市町村では、「どちらかというとできる」が39.9％で最も多く、次いで「できる」が26.8％、「どちらかというとできない」が25.7％、「できない」が6.0％となっている。大阪府全体では、「どちらかというとできる」が37.9％で最も多く、次いで「どちらかというとできない」が27.2％、「できる」が24.7％、「できない」が8.3％となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「どちらかというとできる」が40.0％で最も多く、次いで「できる」が29.4％、「どちらかというとできない」が23.2％、「できない」が5.7％となっている。大阪府全体では「どちらかというとできる」が39.4％で最も多く、次いで「できる」が26.6％、「どちらかというとできない」が24.9％、「できない」が7.0％となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「どちらかというとできる」が40.1％で最も多く、次いで「どちらかというとできない」が28.7％、「できる」が23.4％、「できない」が6.3％となっている。大阪府全体では、「どちらかというとできる」が36.1％で最も多く、次いで「どちらかというとできない」が30.0％、「できる」が22.5％、「できない」が9.7％となっている。

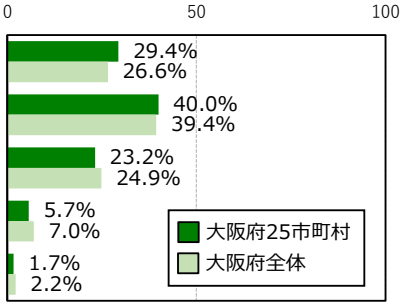
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
できる	619名	26.8%	10,725名	24.7%
どちらかというとできる	921名	39.9%	16,421名	37.9%
どちらかというとできない	593名	25.7%	11,801名	27.2%
できない	138名	6.0%	3,582名	8.3%
無回答	37名	1.6%	841名	1.9%



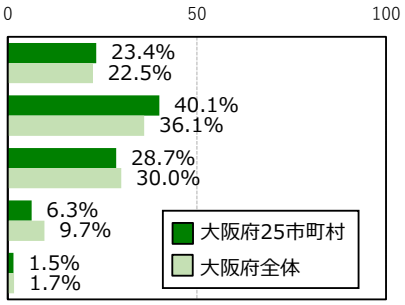
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
できる	353名	29.4%	6,187名	26.6%
どちらかというとできる	481名	40.0%	9,180名	39.4%
どちらかというとできない	279名	23.2%	5,791名	24.9%
できない	68名	5.7%	1,629名	7.0%
無回答	20名	1.7%	502名	2.2%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
できる	255名	23.4%	4,507名	22.5%
どちらかというとできる	437名	40.1%	7,209名	36.1%
どちらかというとできない	312名	28.7%	5,993名	30.0%
できない	69名	6.3%	1,947名	9.7%
無回答	16名	1.5%	334名	1.7%



ふだん考えていることについて

問23　ふだん考えていること（３）自分の将来の夢や目標を持っている

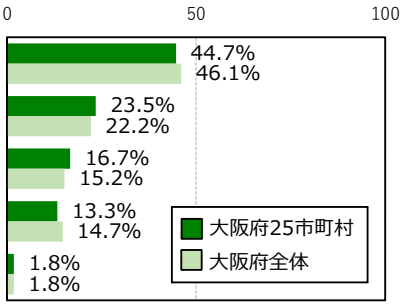
全体は、大阪府25市町村では、「持っている」が44.7%で最も多く、次いで「どちらかというと持っている」が23.5%、「どちらかというと持っていない」が16.7%、「持っていない」が13.3%となっている。大阪府全体では、「持っている」が46.1%で最も多く、次いで「どちらかというと持っている」が22.2%、「どちらかというと持っていない」が15.2%、「持っていない」が14.7%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「持っている」が58.4%で最も多く、次いで「どちらかというと持っている」が19.7%、「どちらかというと持っていない」が12.0%、「持っていない」が8.2%となっている。大阪府全体では、「持っている」が59.3%で最も多く、次いで「どちらかというと持っている」が19.4%、「どちらかというと持っていない」が10.3%、「持っていない」が9.1%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「持っている」が29.2%で最も多く、次いで「どちらかというと持っている」が27.8%、「どちらかというと持っていない」が22.0%、「持っていない」が19.2%となっている。大阪府全体では、「持っている」が30.7%で最も多く、次いで「どちらかというと持っている」が25.6%、「持っていない」が21.2%、「どちらかというと持っていない」が21.0%となっている。

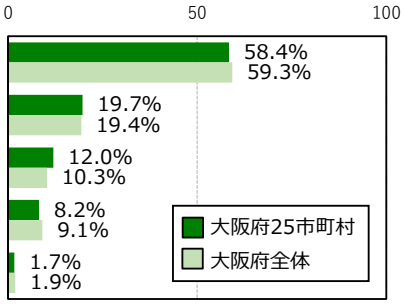
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
持っている	1,031名	44.7%	19,990名	46.1%
どちらかというと持っている	543名	23.5%	9,645名	22.2%
どちらかというと持っていない	385名	16.7%	6,609名	15.2%
持っていない	308名	13.3%	6,354名	14.7%
無回答	41名	1.8%	772名	1.8%



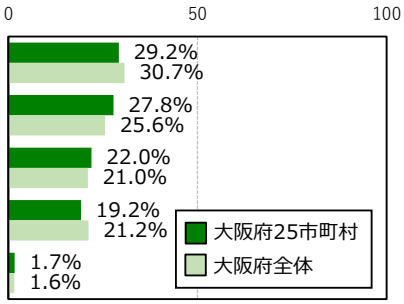
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
持っている	701名	58.4%	13,811名	59.3%
どちらかというと持っている	237名	19.7%	4,518名	19.4%
どちらかというと持っていない	144名	12.0%	2,398名	10.3%
持っていない	98名	8.2%	2,108名	9.1%
無回答	21名	1.7%	454名	1.9%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
持っている	318名	29.2%	6,139名	30.7%
どちらかというと持っている	303名	27.8%	5,108名	25.6%
どちらかというと持っていない	240名	22.0%	4,195名	21.0%
持っていない	209名	19.2%	4,235名	21.2%
無回答	19名	1.7%	313名	1.6%



ふだん考えていることについて

問24　希望する進学先

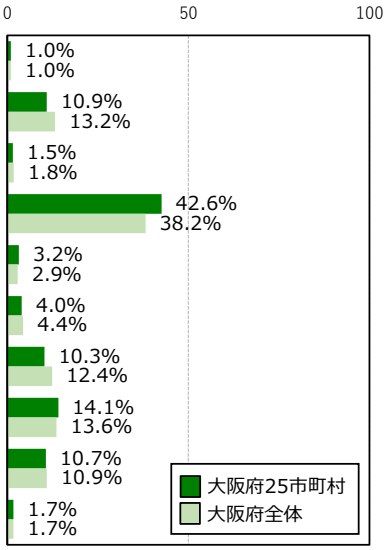
全体は、大阪府25市町村では、「大学」が42.6％で最も多く、次いで「考えたことがない」が14.1％、「高校」が10.9％、「専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校」が10.3％となっている。大阪府全体では、「大学」が38.2％で最も多く、次いで「考えたことがない」が13.6％、「高校」が13.2％、「専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校」が12.4％となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「大学」が37.8％で最も多く、次いで「考えたことがない」が17.7％、「専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校」が12.1％、「高校」が10.0％となっている。大阪府全体では、「大学」が33.9％で最も多く、次いで「考えたことがない」が16.5％、「専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校」が13.8％、「高校」が12.4％となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「大学」が48.0％で最も多く、次いで「高校」が11.8％、「考えたことがない」が10.2％となっている。大阪府全体では、「大学」が43.2％で最も多く、次いで「高校」が14.0％、「専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校」が10.8％、「考えたことがない」が10.2％となっている。

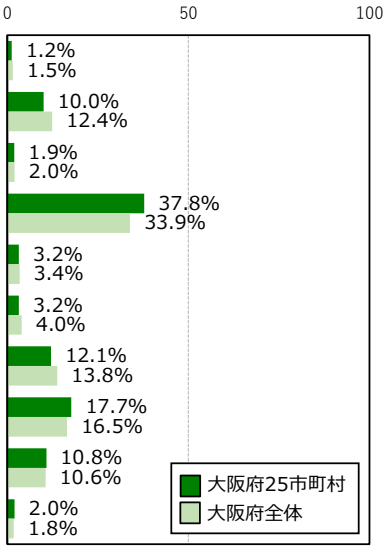
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
中学校	22名	1.0%	420名	1.0%
高校	251名	10.9%	5,709名	13.2%
短期大学	35名	1.5%	789名	1.8%
大学	984名	42.6%	16,554名	38.2%
大学院	74名	3.2%	1,248名	2.9%
留学（外国で長い期間勉強すること）	92名	4.0%	1,896名	4.4%
専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校	237名	10.3%	5,390名	12.4%
考えたことがない	325名	14.1%	5,904名	13.6%
わからない	248名	10.7%	4,735名	10.9%
無回答	40名	1.7%	725名	1.7%



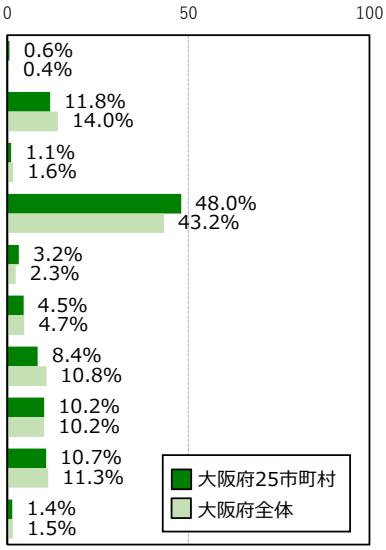
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
中学校	15名	1.2%	344名	1.5%
高校	120名	10.0%	2,899名	12.4%
短期大学	23名	1.9%	475名	2.0%
大学	454名	37.8%	7,884名	33.9%
大学院	38名	3.2%	790名	3.4%
留学（外国で長い期間勉強すること）	39名	3.2%	943名	4.0%
専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校	145名	12.1%	3,221名	13.8%
考えたことがない	213名	17.7%	3,850名	16.5%
わからない	130名	10.8%	2,466名	10.6%
無回答	24名	2.0%	417名	1.8%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
中学校	7名	0.6%	75名	0.4%
高校	129名	11.8%	2,801名	14.0%
短期大学	12名	1.1%	312名	1.6%
大学	523名	48.0%	8,638名	43.2%
大学院	35名	3.2%	456名	2.3%
留学（外国で長い期間勉強すること）	49名	4.5%	945名	4.7%
専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校	92名	8.4%	2,160名	10.8%
考えたことがない	111名	10.2%	2,043名	10.2%
わからない	116名	10.7%	2,257名	11.3%
無回答	15名	1.4%	303名	1.5%



あなたのことについて

問25（１）子どもの居場所の利用状況　①平日の夜や休日を過ごすことができる場所（学童保育など）

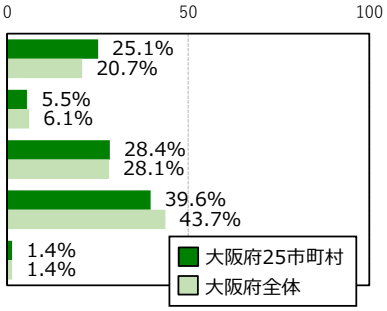
全体は、大阪府25市町村では、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が39.6％で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が28.4％、「利用したことがある」が25.1％となっている。大阪府全体では、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が43.7％で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が28.1％、「利用したことがある」が20.7％となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が39.1％で最も多く、次いで「利用したことがある」が27.6％、「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が26.2％となっている。大阪府全体では、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が41.6％で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が25.8％、「利用したことがある」が24.2％となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が40.0％で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が30.9％、「利用したことがある」が22.2％となっている。大阪府全体では、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が46.1％で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が30.9％、「利用したことがある」が16.7％となっている。

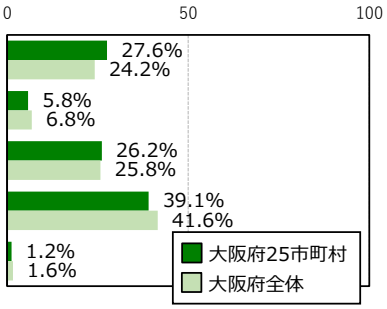
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
利用したことがある	579名	25.1%	8,997名	20.7%
利用したことはない（あれば利用したいと思う）	128名	5.5%	2,625名	6.1%
利用したことはない（今後も利用したいと思わない）	656名	28.4%	12,198名	28.1%
利用したことはない（今後も利用したいか分からない）	913名	39.6%	18,934名	43.7%
無回答	32名	1.4%	616名	1.4%



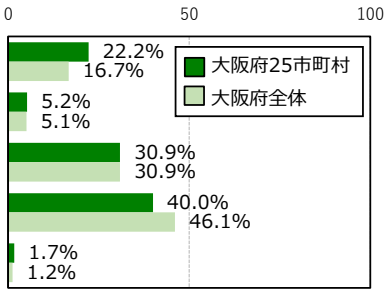
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
利用したことがある	332名	27.6%	5,639名	24.2%
利用したことはない（あれば利用したいと思う）	70名	5.8%	1,593名	6.8%
利用したことはない（今後も利用したいと思わない）	315名	26.2%	5,997名	25.8%
利用したことはない（今後も利用したいか分からない）	470名	39.1%	9,694名	41.6%
無回答	14名	1.2%	366名	1.6%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
利用したことがある	242名	22.2%	3,331名	16.7%
利用したことはない（あれば利用したいと思う）	57名	5.2%	1,026名	5.1%
利用したことはない（今後も利用したいと思わない）	336名	30.9%	6,178名	30.9%
利用したことはない（今後も利用したいか分からない）	436名	40.0%	9,208名	46.1%
無回答	18名	1.7%	247名	1.2%



あなたのことについて

問25（１）子どもの居場所の利用状況
②昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）

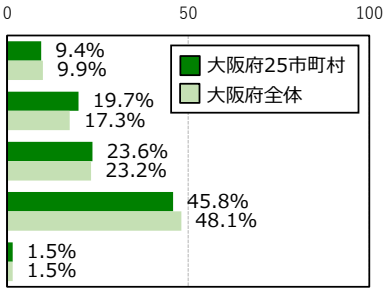
全体は、大阪府25市町村では、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が45.8%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が23.6%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が19.7%となっている。大阪府全体では、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が48.1%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が23.2%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が17.3%となっている。

小学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が45.5%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が23.1%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が20.5%となっている。大阪府全体では、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が46.2%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が21.2%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が19.3%となっている。

中学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が46.1%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が24.2%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が19.0%となっている。大阪府全体では、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が50.3%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が25.5%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が14.9%となっている。

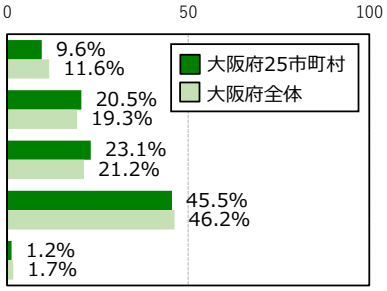
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
利用したことがある	217名	9.4%	4,310名	9.9%
利用したことはない（あれば利用したいと思う）	455名	19.7%	7,492名	17.3%
利用したことはない（今後も利用したいと思わない）	545名	23.6%	10,062名	23.2%
利用したことはない（今後も利用したいか分からない）	1,056名	45.8%	20,848名	48.1%
無回答	35名	1.5%	658名	1.5%



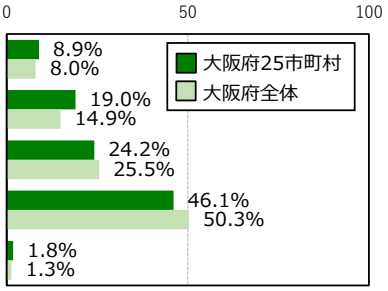
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
利用したことがある	115名	9.6%	2,704名	11.6%
利用したことはない（あれば利用したいと思う）	246名	20.5%	4,496名	19.3%
利用したことはない（今後も利用したいと思わない）	278名	23.1%	4,946名	21.2%
利用したことはない（今後も利用したいか分からない）	547名	45.5%	10,752名	46.2%
無回答	15名	1.2%	391名	1.7%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
利用したことがある	97名	8.9%	1,594名	8.0%
利用したことはない（あれば利用したいと思う）	207名	19.0%	2,984名	14.9%
利用したことはない（今後も利用したいと思わない）	263名	24.2%	5,092名	25.5%
利用したことはない（今後も利用したいか分からない）	502名	46.1%	10,057名	50.3%
無回答	20名	1.8%	263名	1.3%



あなたのことについて

問25（１）子どもの居場所の利用状況
③勉強を無料か安い料金でみてくれる場所（一般的な学習塾とはちがう学習支援など）

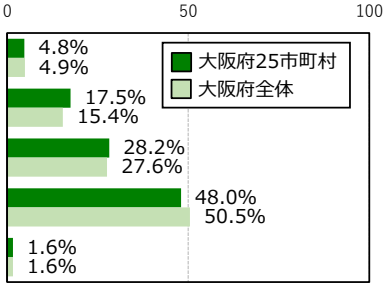
全体は、大阪府25市町村では、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が48.0％で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が28.2％、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が17.5％となっている。大阪府全体では、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が50.5％で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が27.6％、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が15.4％となっている。

小学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が49.0％で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が27.8％、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が17.4％となっている。大阪府全体では、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が50.2％で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が27.1％、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が16.1％となっている。

中学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が46.6％で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が28.7％、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が17.6％となっている。大阪府全体では、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が50.9％で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が28.1％、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が14.6％となっている。

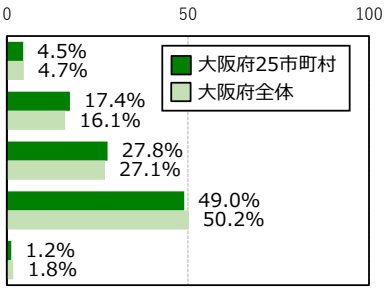
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
利用したことがある	110名	4.8%	2,125名	4.9%
利用したことはない（あれば利用したいと思う）	404名	17.5%	6,687名	15.4%
利用したことはない（今後も利用したいと思わない）	650名	28.2%	11,951名	27.6%
利用したことはない（今後も利用したいか分からない）	1,107名	48.0%	21,908名	50.5%
無回答	37名	1.6%	699名	1.6%



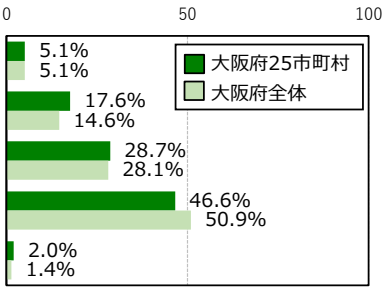
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
利用したことがある	54名	4.5%	1,094名	4.7%
利用したことはない（あれば利用したいと思う）	209名	17.4%	3,760名	16.1%
利用したことはない（今後も利用したいと思わない）	334名	27.8%	6,317名	27.1%
利用したことはない（今後も利用したいか分からない）	589名	49.0%	11,693名	50.2%
無回答	15名	1.2%	425名	1.8%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
利用したことがある	56名	5.1%	1,019名	5.1%
利用したことはない（あれば利用したいと思う）	192名	17.6%	2,916名	14.6%
利用したことはない（今後も利用したいと思わない）	312名	28.7%	5,617名	28.1%
利用したことはない（今後も利用したいか分からない）	507名	46.6%	10,168名	50.9%
無回答	22名	2.0%	270名	1.4%



あなたのことについて

問25（１）子どもの居場所の利用状況　④何でも相談できる場所（電話やネットの相談をふくむ。）

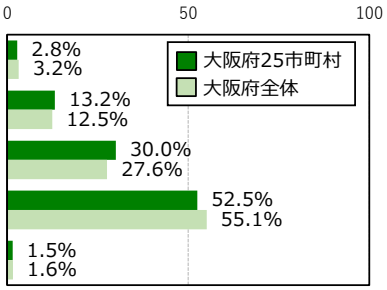
全体は、大阪府25市町村では、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が52.5%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が30.0%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が13.2%となっている。大阪府全体では、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が55.1%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が27.6%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が12.5%となっている。

小学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が53.3%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が27.8%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が15.0%となっている。大阪府全体では、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が54.8%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が26.2%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が14.0%となっている。

中学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が51.1%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が32.7%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が11.3%となっている。大阪府全体では、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が55.4%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が29.2%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が10.9%となっている。

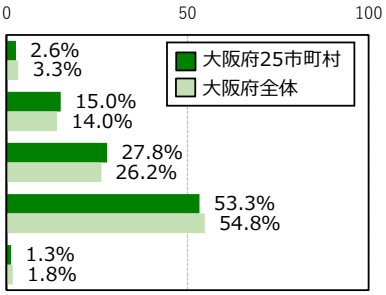
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
利用したことがある	65名	2.8%	1,392名	3.2%
利用したことはない（あれば利用したいと思う）	304名	13.2%	5,439名	12.5%
利用したことはない（今後も利用したいと思わない）	693名	30.0%	11,956名	27.6%
利用したことはない（今後も利用したいか分からない）	1,211名	52.5%	23,876名	55.1%
無回答	35名	1.5%	707名	1.6%



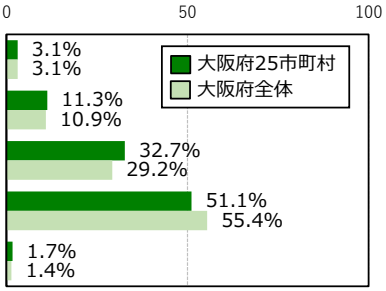
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
利用したことがある	31名	2.6%	763名	3.3%
利用したことはない（あれば利用したいと思う）	180名	15.0%	3,254名	14.0%
利用したことはない（今後も利用したいと思わない）	334名	27.8%	6,091名	26.2%
利用したことはない（今後も利用したいか分からない）	640名	53.3%	12,751名	54.8%
無回答	16名	1.3%	430名	1.8%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
利用したことがある	34名	3.1%	625名	3.1%
利用したことはない（あれば利用したいと思う）	123名	11.3%	2,178名	10.9%
利用したことはない（今後も利用したいと思わない）	356名	32.7%	5,839名	29.2%
利用したことはない（今後も利用したいか分からない）	557名	51.1%	11,076名	55.4%
無回答	19名	1.7%	272名	1.4%



あなたのことについて

問25（２）子どもの居場所を利用したときの変化

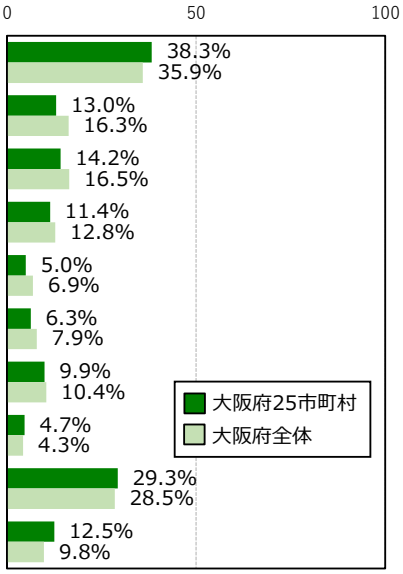
全体は、大阪府25市町村では、「ともだちが増えた」が38.3%で最も多く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が14.2%、「気軽に話せる大人が増えた」が13.0%、「ほっとできる時間が増えた」が11.4%となっている。一方、「特に変化はない」は29.3%となっている。大阪府全体では、「ともだちが増えた」が35.9%で最も多く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が16.5%、「気軽に話せる大人が増えた」が16.3%、「ほっとできる時間が増えた」が12.8%となっている。一方、「特に変化はない」は28.5%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「ともだちが増えた」が40.9%で最も多く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が18.7%、「気軽に話せる大人が増えた」が14.4%、「ほっとできる時間が増えた」が13.7%となっている。一方、「特に変化はない」は26.9%となっている。大阪府全体では、「ともだちが増えた」が37.8%で最も多く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が19.2%、「気軽に話せる大人が増えた」が18.2%、「ほっとできる時間が増えた」が14.0%となっている。一方、「特に変化はない」は25.7%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「ともだちが増えた」が34.3%で最も多く、次いで「気軽に話せる大人が増えた」が11.5%、「生活の中で楽しみなことが増えた」と「ほっとできる時間が増えた」がそれぞれ8.6%となっている。一方、「特に変化はない」は32.2%となっている。大阪府全体では、「ともだちが増えた」が32.9%で最も多く、次いで「気軽に話せる大人が増えた」が13.4%、「生活の中で楽しみなことが増えた」が12.3%となっている。一方、「特に変化はない」は32.7%となっている。

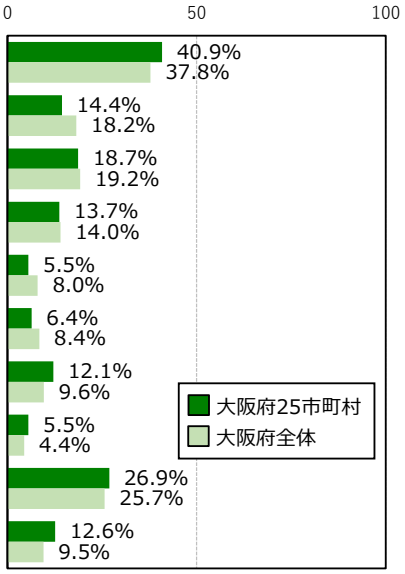
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	784名	100.0%	13,087名	100.0%
ともだちが増えた	300名	38.3%	4,703名	35.9%
気軽に話せる大人が増えた	102名	13.0%	2,135名	16.3%
生活の中で楽しみなことが増えた	111名	14.2%	2,158名	16.5%
ほっとできる時間が増えた	89名	11.4%	1,673名	12.8%
栄養のある食事をとれることが増えた	39名	5.0%	901名	6.9%
勉強がわかるようになった	49名	6.3%	1,033名	7.9%
勉強する時間が増えた	78名	9.9%	1,358名	10.4%
その他	37名	4.7%	559名	4.3%
特に変化はない	230名	29.3%	3,724名	28.5%
無回答	98名	12.5%	1,279名	9.8%



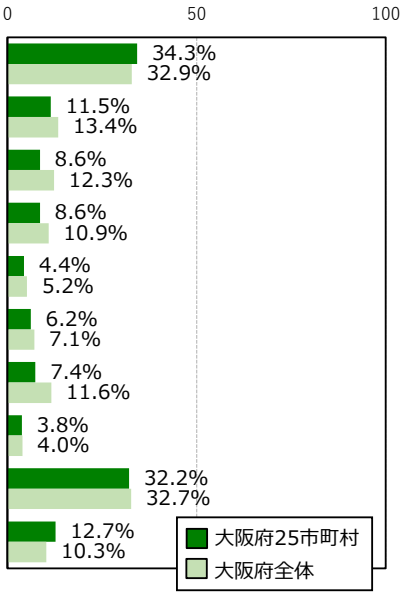
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	438名	100.0%	7,951名	100.0%
ともだちが増えた	179名	40.9%	3,009名	37.8%
気軽に話せる大人が増えた	63名	14.4%	1,444名	18.2%
生活の中で楽しみなことが増えた	82名	18.7%	1,528名	19.2%
ほっとできる時間が増えた	60名	13.7%	1,112名	14.0%
栄養のある食事をとれることが増えた	24名	5.5%	633名	8.0%
勉強がわかるようになった	28名	6.4%	666名	8.4%
勉強する時間が増えた	53名	12.1%	765名	9.6%
その他	24名	5.5%	352名	4.4%
特に変化はない	118名	26.9%	2,044名	25.7%
無回答	55名	12.6%	754名	9.5%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	338名	100.0%	5,099名	100.0%
ともだちが増えた	116名	34.3%	1,680名	32.9%
気軽に話せる大人が増えた	39名	11.5%	683名	13.4%
生活の中で楽しみなことが増えた	29名	8.6%	626名	12.3%
ほっとできる時間が増えた	29名	8.6%	557名	10.9%
栄養のある食事をとれることが増えた	15名	4.4%	267名	5.2%
勉強がわかるようになった	21名	6.2%	363名	7.1%
勉強する時間が増えた	25名	7.4%	590名	11.6%
その他	13名	3.8%	205名	4.0%
特に変化はない	109名	32.2%	1,666名	32.7%
無回答	43名	12.7%	524名	10.3%



あなたのことについて

問25（３）子どもの居場所を利用したことがない理由

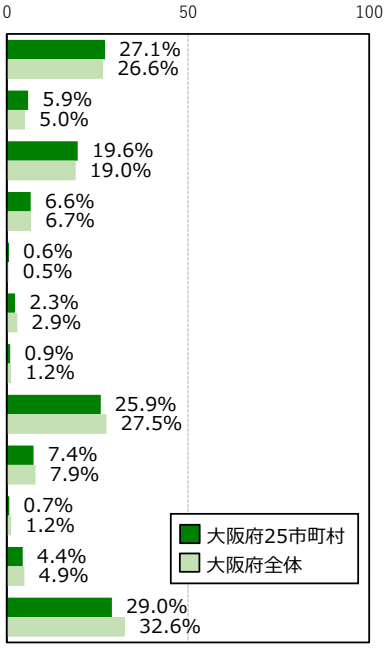
全体は、大阪府25市町村では、「どこにあるか知らないから」が27.1％で最も多く、次いで「行きたいと思わないから」が25.9％、「家で過ごしたいと思うから」が19.6％となっている。大阪府全体では、「行きたいと思わないから」が27.5％で最も多く、次いで「どこにあるか知らないから」が26.6％、「家で過ごしたいと思うから」が19.0％となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「どこにあるか知らないから」が27.1％で最も多く、次いで「行きたいと思わないから」が22.6％、「家で過ごしたいと思うから」が17.9％となっている。大阪府全体では、「どこにあるか知らないから」が26.9％で最も多く、次いで「行きたいと思わないから」が23.5％、「家で過ごしたいと思うから」が18.6％となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「行きたいと思わないから」が29.9％で最も多く、次いで「どこにあるか知らないから」が26.6％、「家で過ごしたいと思うから」が21.4％となっている。大阪府全体では、「行きたいと思わないから」が32.2％で最も多く、次いで「どこにあるか知らないから」が26.3％、「家で過ごしたいと思うから」が19.6％となっている。

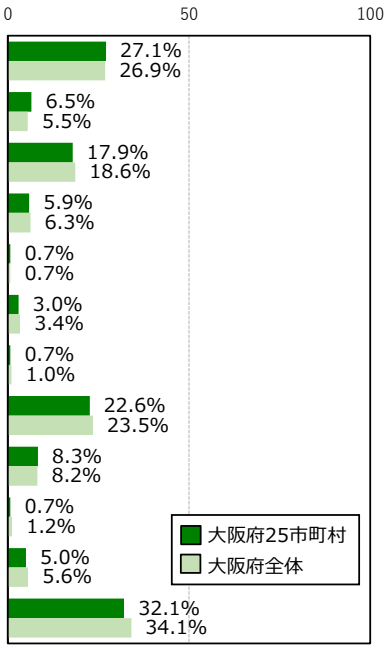
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,271名	100.0%	42,606名	100.0%
どこにあるか知らないから	615名	27.1%	11,335名	26.6%
家の近く（ひとりで行ける場所）にないから	134名	5.9%	2,124名	5.0%
家で過ごしたいと思うから	445名	19.6%	8,116名	19.0%
楽しくなさそうだから	150名	6.6%	2,868名	6.7%
「行ってはいけない」と親などの大人に言われるから	13名	0.6%	213名	0.5%
行きたい日・時間に開いていないから	52名	2.3%	1,250名	2.9%
Wi-fi（インターネット通信環境）がないから	21名	0.9%	492名	1.2%
行きたいと思わないから	589名	25.9%	11,726名	27.5%
何をしているかわからないから	168名	7.4%	3,383名	7.9%
利用していることを近所の人やともだちに知られたくないから	17名	0.7%	529名	1.2%
その他	101名	4.4%	2,073名	4.9%
無回答	658名	29.0%	13,872名	32.6%



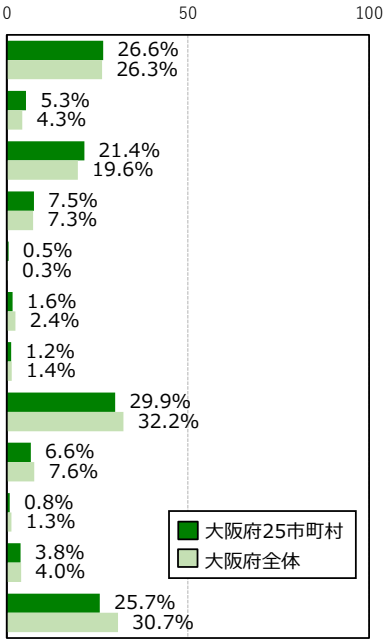
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,185名	100.0%	22,847名	100.0%
どこにあるか知らないから	321名	27.1%	6,139名	26.9%
家の近く（ひとりで行ける場所）にないから	77名	6.5%	1,267名	5.5%
家で過ごしたいと思うから	212名	17.9%	4,244名	18.6%
楽しくなさそうだから	70名	5.9%	1,437名	6.3%
「行ってはいけない」と親などの大人に言われるから	8名	0.7%	160名	0.7%
行きたい日・時間に開いていないから	35名	3.0%	784名	3.4%
Wi-fi（インターネット通信環境）がないから	8名	0.7%	223名	1.0%
行きたいと思わないから	268名	22.6%	5,374名	23.5%
何をしているかわからないから	98名	8.3%	1,879名	8.2%
利用していることを近所の人やともだちに知られたくないから	8名	0.7%	263名	1.2%
その他	59名	5.0%	1,271名	5.6%
無回答	380名	32.1%	7,800名	34.1%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,068名	100.0%	19,674名	100.0%
どこにあるか知らないから	284名	26.6%	5,172名	26.3%
家の近く（ひとりで行ける場所）にないから	57名	5.3%	855名	4.3%
家で過ごしたいと思うから	229名	21.4%	3,857名	19.6%
楽しくなさそうだから	80名	7.5%	1,427名	7.3%
「行ってはいけない」と親などの大人に言われるから	5名	0.5%	53名	0.3%
行きたい日・時間に開いていないから	17名	1.6%	465名	2.4%
Wi-fi（インターネット通信環境）がないから	13名	1.2%	268名	1.4%
行きたいと思わないから	319名	29.9%	6,330名	32.2%
何をしているかわからないから	70名	6.6%	1,496名	7.6%
利用していることを近所の人やともだちに知られたくないから	9名	0.8%	264名	1.3%
その他	41名	3.8%	795名	4.0%
無回答	275名	25.7%	6,044名	30.7%



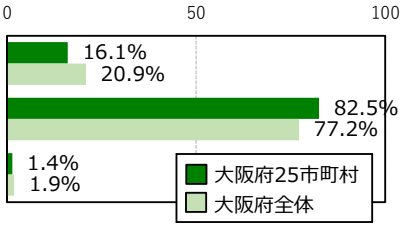
あなたのことについて

問26（１）自分が世話をしている人の有無

全体は、大阪府25市町村では、「いる」が16.1%、「いない」が82.5%となっている。大阪府全体では、「いる」が20.9%、「いない」が77.2%となっている。
小学生は、大阪府25市町村では、「いる」が20.1%で、「いない」が78.7%となっている。大阪府全体では、「いる」が25.7%で、「いない」が72.4%となっている。
中学生は、大阪府25市町村では、「いる」が11.9%で、「いない」が86.5%となっている。大阪府全体では、「いる」が15.2%で、「いない」が82.8%となっている。

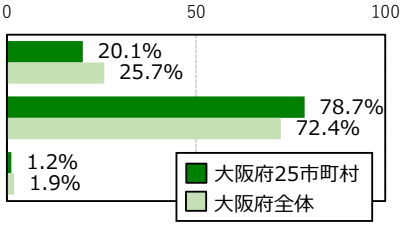
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,308名	100.0%	43,370名	100.0%
いる	372名	16.1%	9,054名	20.9%
いない	1,904名	82.5%	33,476名	77.2%
無回答	32名	1.4%	840名	1.9%



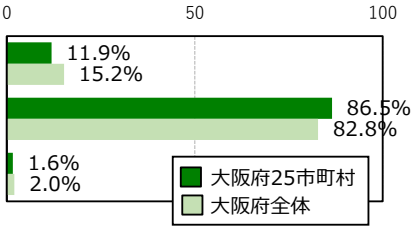
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,201名	100.0%	23,289名	100.0%
いる	241名	20.1%	5,988名	25.7%
いない	945名	78.7%	16,856名	72.4%
無回答	15名	1.2%	445名	1.9%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,089名	100.0%	19,990名	100.0%
いる	130名	11.9%	3,045名	15.2%
いない	942名	86.5%	16,553名	82.8%
無回答	17名	1.6%	392名	2.0%



あなたのことについて

問26（２）世話をしている相手

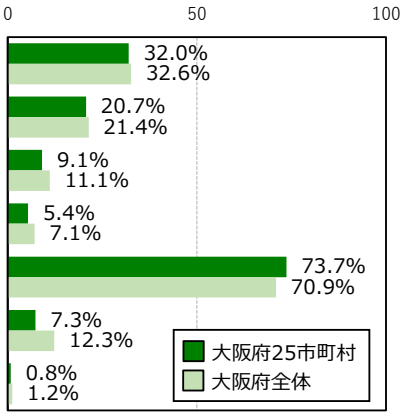
全体は、大阪府25市町村では、「きょうだい」が73.7％で最も多く、次いで「お母さん」が32.0％、「お父さん」が20.7％、「おばあちゃん」が9.1％となっている。大阪府全体では、「きょうだい」が70.9％で最も多く、次いで「お母さん」が32.6％、「お父さん」が21.4％、「おばあちゃん」が11.1％となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「きょうだい」が73.9％で最も多く、次いで「お母さん」が28.2％、「お父さん」が18.3％、「おばあちゃん」が9.1％となっている。大阪府全体では、「きょうだい」が71.5％で最も多く、次いで「お母さん」が33.2％、「お父さん」が22.2％、「おばあちゃん」が12.2％となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「きょうだい」が73.1％で最も多く、次いで「お母さん」が39.2％、「お父さん」が25.4％、「おばあちゃん」が9.2％となっている。大阪府全体では、「きょうだい」が69.8％で最も多く、次いで「お母さん」が31.4％、「お父さん」が19.8％となっている。

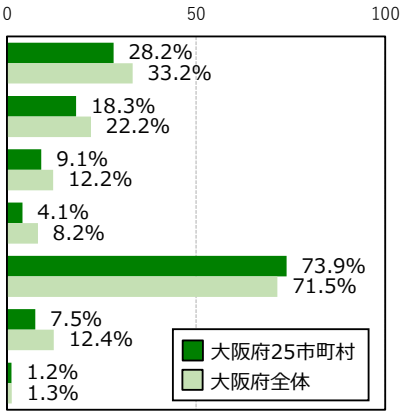
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	372名	100.0%	9,054名	100.0%
お母さん	119名	32.0%	2,954名	32.6%
お父さん	77名	20.7%	1,939名	21.4%
おばあちゃん	34名	9.1%	1,009名	11.1%
おじいちゃん	20名	5.4%	647名	7.1%
きょうだい	274名	73.7%	6,419名	70.9%
その他	27名	7.3%	1,117名	12.3%
無回答	3名	0.8%	112名	1.2%



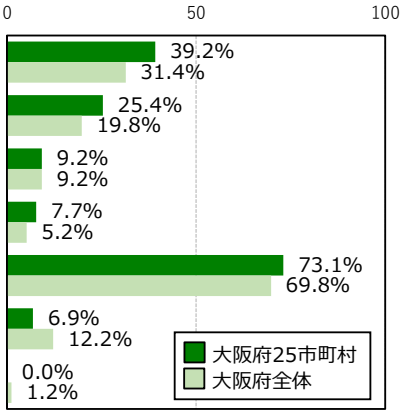
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	241名	100.0%	5,988名	100.0%
お母さん	68名	28.2%	1,990名	33.2%
お父さん	44名	18.3%	1,332名	22.2%
おばあちゃん	22名	9.1%	728名	12.2%
おじいちゃん	10名	4.1%	489名	8.2%
きょうだい	178名	73.9%	4,280名	71.5%
その他	18名	7.5%	741名	12.4%
無回答	3名	1.2%	75名	1.3%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	130名	100.0%	3,045名	100.0%
お母さん	51名	39.2%	957名	31.4%
お父さん	33名	25.4%	604名	19.8%
おばあちゃん	12名	9.2%	280名	9.2%
おじいちゃん	10名	7.7%	157名	5.2%
きょうだい	95名	73.1%	2,125名	69.8%
その他	9名	6.9%	370名	12.2%
無回答	－	－	37名	1.2%



あなたのことについて

問26（３）世話を行っている内容

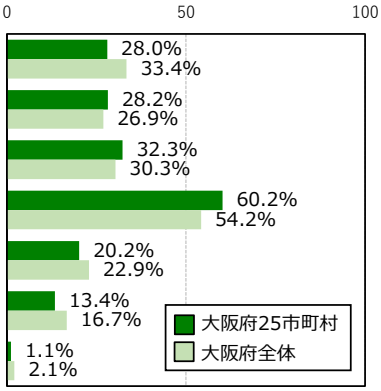
全体は、大阪府25市町村では、「きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど」が60.2%で最も多く、次いで「そうじやゴミ捨てなど」が32.3%、「洗濯など」が28.2%、「料理や買い物、食器洗いなど」が28.0%となっている。大阪府全体では、「きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど」が54.2%で最も多く、次いで「料理や買い物、食器洗いなど」が33.4%、「そうじやゴミ捨てなど」が30.3%、「洗濯など」が26.9%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど」が61.8%で最も多く、次いで「そうじやゴミ捨てなど」が29.5%、「料理や買い物、食器洗いなど」が24.5%、「洗濯など」が23.7%となっている。大阪府全体では、「きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど」が54.8%で最も多く、次いで「料理や買い物、食器洗いなど」が32.6%、「そうじやゴミ捨てなど」が30.2%、「洗濯など」が26.0%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど」が57.7%で最も多く、次いで「そうじやゴミ捨てなど」が37.7%、「洗濯など」が36.2%、「料理や買い物、食器洗いなど」が34.6%となっている。大阪府全体では、「きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど」が53.1%で最も多く、次いで「料理や買い物、食器洗いなど」が34.8%、「そうじやゴミ捨てなど」が30.5%、「洗濯など」が28.9%となっている。

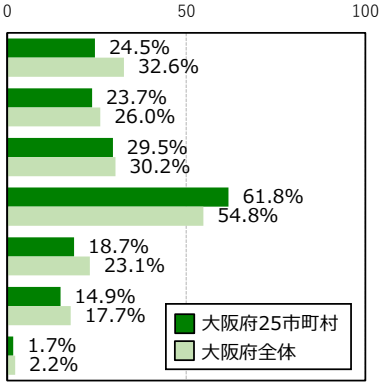
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	372名	100.0%	9,054名	100.0%
料理や買い物、食器洗いなど	104名	28.0%	3,021名	33.4%
洗濯など	105名	28.2%	2,439名	26.9%
そうじやゴミ捨てなど	120名	32.3%	2,746名	30.3%
きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど	224名	60.2%	4,907名	54.2%
病院へ一緒に行くことやお風呂・トイレのお世話、見守りをする、話し相手になる、通訳をする、お金の管理、薬の管理など	75名	20.2%	2,069名	22.9%
その他	50名	13.4%	1,516名	16.7%
無回答	4名	1.1%	189名	2.1%



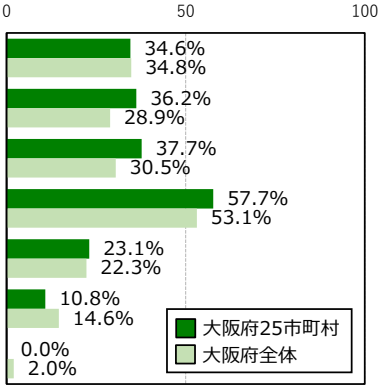
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	241名	100.0%	5,988名	100.0%
料理や買い物、食器洗いなど	59名	24.5%	1,954名	32.6%
洗濯など	57名	23.7%	1,554名	26.0%
そうじやゴミ捨てなど	71名	29.5%	1,810名	30.2%
きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど	149名	61.8%	3,280名	54.8%
病院へ一緒に行くことやお風呂・トイレのお世話、見守りをする、話し相手になる、通訳をする、お金の管理、薬の管理など	45名	18.7%	1,385名	23.1%
その他	36名	14.9%	1,062名	17.7%
無回答	4名	1.7%	129名	2.2%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	130名	100.0%	3,045名	100.0%
料理や買い物、食器洗いなど	45名	34.6%	1,061名	34.8%
洗濯など	47名	36.2%	879名	28.9%
そうじやゴミ捨てなど	49名	37.7%	928名	30.5%
きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど	75名	57.7%	1,617名	53.1%
病院へ一緒に行くことやお風呂・トイレのお世話、見守りをする、話し相手になる、通訳をする、お金の管理、薬の管理など	30名	23.1%	678名	22.3%
その他	14名	10.8%	446名	14.6%
無回答	-	-	60名	2.0%



あなたのことについて

問26（５）世話をする頻度

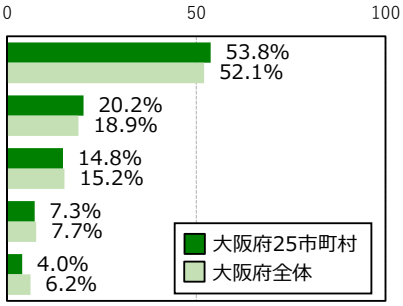
全体は、大阪府25市町村では、「ほぼ毎日」が53.8％で最も多く、次いで「週に３日～５日」が20.2％、「週に１日または２日」が14.8％となっている。大阪府全体では、「ほぼ毎日」が52.1％で最も多く、次いで「週に３日～５日」が18.9％、「週に１日または２日」が15.2％となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「ほぼ毎日」が54.8％で最も多く、次いで「週に３日～５日」が21.2％、「週に１日または２日」が12.9％となっている。大阪府全体では、「ほぼ毎日」が54.2％で最も多く、次いで「週に３日～５日」が18.8％、「週に１日または２日」が13.9％となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「ほぼ毎日」が52.3％で最も多く、次いで「週に３日～５日」が18.5％、「週に１日または２日」が17.7％となっている。大阪府全体では、「ほぼ毎日」が47.8％で最も多く、次いで「週に３日～５日」が19.1％、「週に１日または２日」が17.7％となっている。

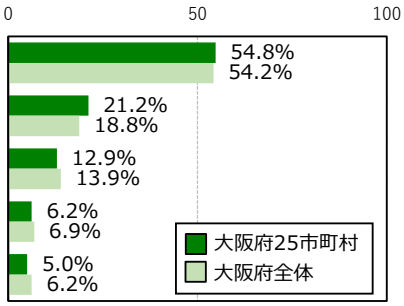
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	372名	100.0%	9,054名	100.0%
ほぼ毎日	200名	53.8%	4,716名	52.1%
週に３日～５日	75名	20.2%	1,708名	18.9%
週に１日または２日	55名	14.8%	1,375名	15.2%
１か月に数日	27名	7.3%	694名	7.7%
無回答	15名	4.0%	561名	6.2%



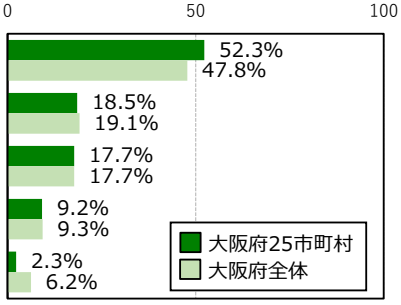
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	241名	100.0%	5,988名	100.0%
ほぼ毎日	132名	54.8%	3,246名	54.2%
週に３日～５日	51名	21.2%	1,125名	18.8%
週に１日または２日	31名	12.9%	832名	13.9%
１か月に数日	15名	6.2%	412名	6.9%
無回答	12名	5.0%	373名	6.2%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	130名	100.0%	3,045名	100.0%
ほぼ毎日	68名	52.3%	1,455名	47.8%
週に３日～５日	24名	18.5%	582名	19.1%
週に１日または２日	23名	17.7%	538名	17.7%
１か月に数日	12名	9.2%	282名	9.3%
無回答	3名	2.3%	188名	6.2%



あなたのことについて

問26（６）学校がある日に世話をする１日の時間

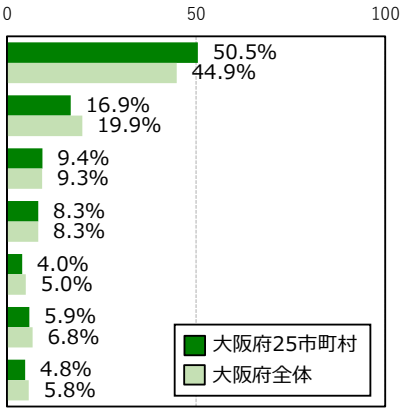
全体は、大阪府25市町村では、「１時間より少ない」が50.5％で最も多く、次いで「１時間以上、２時間より少ない」が16.9％、「２時間以上、３時間より少ない」が9.4％となっている。大阪府全体では、「１時間より少ない」が44.9％で最も多く、次いで「１時間以上、２時間より少ない」が19.9％、「２時間以上、３時間より少ない」が9.3％となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「１時間より少ない」が50.2％で最も多く、次いで「１時間以上、２時間より少ない」が17.8％、「２時間以上、３時間より少ない」が9.1％となっている。大阪府全体では、「１時間より少ない」が45.1％で最も多く、次いで「１時間以上、２時間より少ない」が19.3％、「２時間以上、３時間より少ない」が8.8％となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「１時間より少ない」が50.8％で最も多く、次いで「１時間以上、２時間より少ない」が15.4％、「２時間以上、３時間より少ない」と「３時間以上、５時間より少ない」がそれぞれ10.0％となっている。大阪府全体では、「１時間より少ない」が44.4％で最も多く、次いで「１時間以上、２時間より少ない」が21.1％、「２時間以上、３時間より少ない」が10.4％となっている。

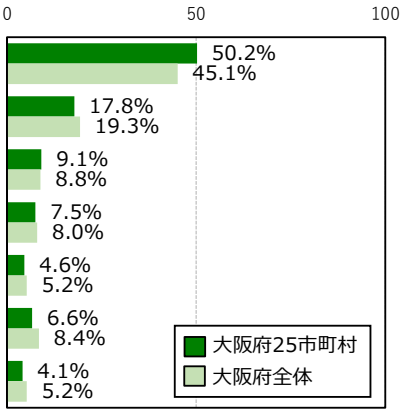
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	372名	100.0%	9,054名	100.0%
１時間より少ない	188名	50.5%	4,062名	44.9%
１時間以上、２時間より少ない	63名	16.9%	1,805名	19.9%
２時間以上、３時間より少ない	35名	9.4%	843名	9.3%
３時間以上、５時間より少ない	31名	8.3%	751名	8.3%
５時間以上、７時間より少ない	15名	4.0%	450名	5.0%
７時間より多い	22名	5.9%	617名	6.8%
無回答	18名	4.8%	526名	5.8%



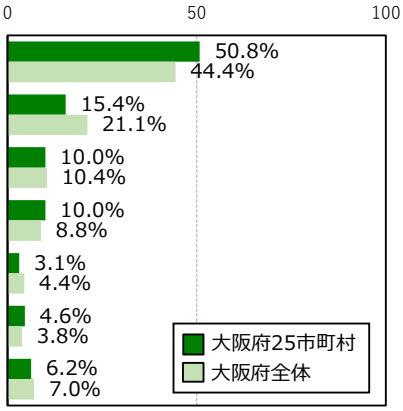
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	241名	100.0%	5,988名	100.0%
１時間より少ない	121名	50.2%	2,700名	45.1%
１時間以上、２時間より少ない	43名	17.8%	1,156名	19.3%
２時間以上、３時間より少ない	22名	9.1%	525名	8.8%
３時間以上、５時間より少ない	18名	7.5%	482名	8.0%
５時間以上、７時間より少ない	11名	4.6%	314名	5.2%
７時間より多い	16名	6.6%	500名	8.4%
無回答	10名	4.1%	311名	5.2%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	130名	100.0%	3,045名	100.0%
１時間より少ない	66名	50.8%	1,353名	44.4%
１時間以上、２時間より少ない	20名	15.4%	644名	21.1%
２時間以上、３時間より少ない	13名	10.0%	316名	10.4%
３時間以上、５時間より少ない	13名	10.0%	267名	8.8%
５時間以上、７時間より少ない	4名	3.1%	135名	4.4%
７時間より多い	6名	4.6%	116名	3.8%
無回答	8名	6.2%	214名	7.0%



あなたのことについて

問26（7）世話をしていることの影響

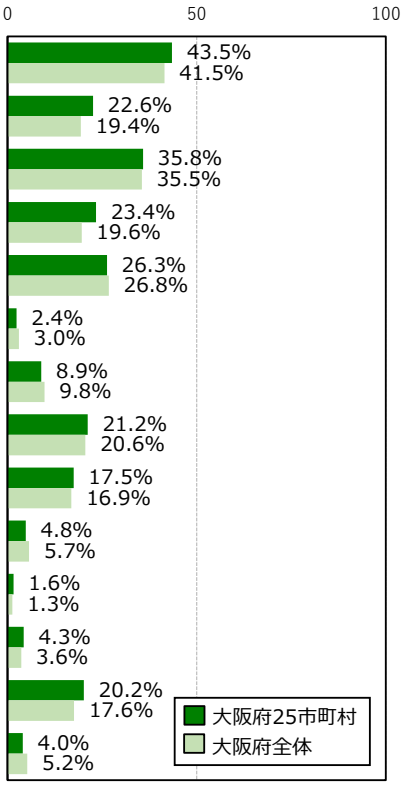
全体は、大阪府25市町村では、「おうちの人と話したり遊んだりすることが増える」が43.5%で最も多く、次いで「家の中で気持ちよく過ごすことができる」が35.8%、「「お世話」にやりがいを感じる」が26.3%、「おうちの人が健康に過ごすことができる」が23.4%となっている。大阪府全体では、「おうちの人と話したり遊んだりすることが増える」が41.5%で最も多く、次いで「家の中で気持ちよく過ごすことができる」が35.5%、「「お世話」にやりがいを感じる」が26.8%、「とても疲れることがある」が20.6%となっている。

小学生は、大阪府25市町村では、「おうちの人と話したり遊んだりすることが増える」が42.3%で最も多く、次いで「家の中で気持ちよく過ごすことができる」が37.8%、「「お世話」にやりがいを感じる」が29.0%、「時間の使い方を工夫できる」が26.1%となっている。大阪府全体では、「おうちの人と話したり遊んだりすることが増える」が42.8%で最も多く、次いで「家の中で気持ちよく過ごすことができる」が39.1%、「「お世話」にやりがいを感じる」が29.7%、「おうちの人が健康に過ごすことができる」が22.0%となっている。

中学生は、大阪府25市町村では、「おうちの人と話したり遊んだりすることが増える」が45.4%で最も多く、次いで「家の中で気持ちよく過ごすことができる」が31.5%、「「お世話」にやりがいを感じる」が21.5%、「おうちの人が健康に過ごすことができる」が19.2%となっている。大阪府全体では「おうちの人と話したり遊んだりすることが増える」が39.0%で最も多く、次いで「家の中で気持ちよく過ごすことができる」が28.3%、「「お世話」にやりがいを感じる」が20.9%、「とても疲れることがある」が20.3%となっている。

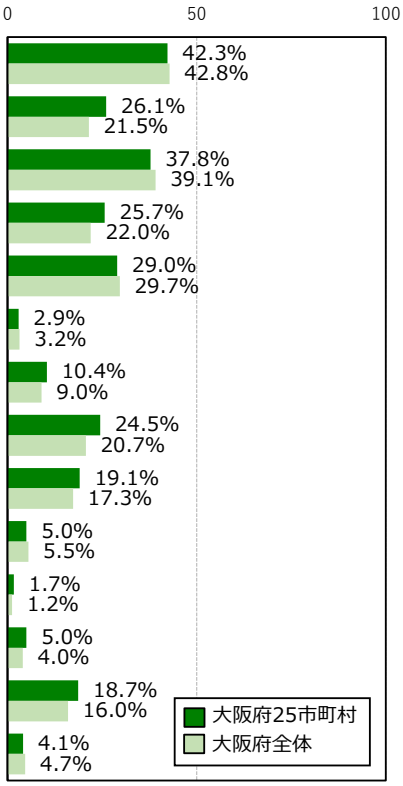
【全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	372名	100.0%	9,054名	100.0%
おうちの人と話したり遊んだりすることが増える	162名	43.5%	3,756名	41.5%
時間の使い方を工夫できる	84名	22.6%	1,754名	19.4%
家の中で気持ちよく過ごすことができる	133名	35.8%	3,214名	35.5%
おうちの人が健康に過ごすことができる	87名	23.4%	1,778名	19.6%
「お世話」にやりがいを感じる	98名	26.3%	2,422名	26.8%
おうちの人以外と話す時間が減る	9名	2.4%	273名	3.0%
自分のことをする時間がない	33名	8.9%	883名	9.8%
とても疲れることがある	79名	21.2%	1,862名	20.6%
いらいらしやすい	65名	17.5%	1,534名	16.9%
気持ちが落ち込む	18名	4.8%	513名	5.7%
学校を欠席や遅刻、早退することがある	6名	1.6%	114名	1.3%
その他	16名	4.3%	326名	3.6%
特にない	75名	20.2%	1,594名	17.6%
無回答	15名	4.0%	471名	5.2%



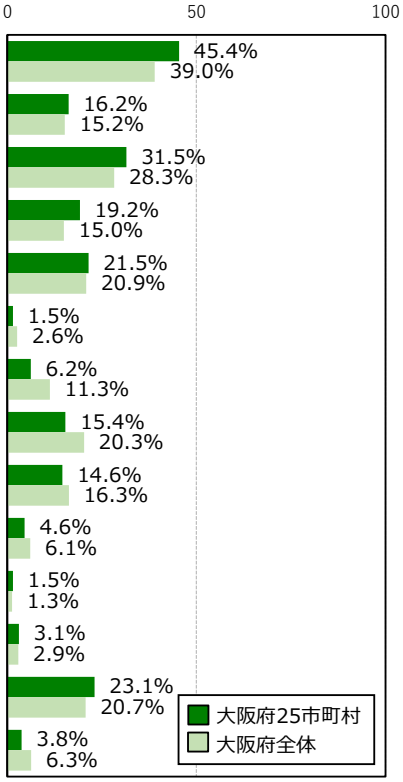
【小学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	241名	100.0%	5,988名	100.0%
おうちの人と話したり遊んだりすることが増える	102名	42.3%	2,560名	42.8%
時間の使い方を工夫できる	63名	26.1%	1,289名	21.5%
家の中で気持ちよく過ごすことができる	91名	37.8%	2,343名	39.1%
おうちの人が健康に過ごすことができる	62名	25.7%	1,318名	22.0%
「お世話」にやりがいを感じる	70名	29.0%	1,778名	29.7%
おうちの人以外と話す時間が減る	7名	2.9%	193名	3.2%
自分のことをする時間がない	25名	10.4%	537名	9.0%
とても疲れることがある	59名	24.5%	1,242名	20.7%
いらいらしやすい	46名	19.1%	1,033名	17.3%
気持ちが落ち込む	12名	5.0%	327名	5.5%
学校を欠席や遅刻、早退することがある	4名	1.7%	74名	1.2%
その他	12名	5.0%	237名	4.0%
特にない	45名	18.7%	958名	16.0%
無回答	10名	4.1%	280名	4.7%



【中学生】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	130名	100.0%	3,045名	100.0%
おうちの人と話したり遊んだりすることが増える	59名	45.4%	1,189名	39.0%
時間の使い方を工夫できる	21名	16.2%	462名	15.2%
家の中で気持ちよく過ごすことができる	41名	31.5%	861名	28.3%
おうちの人が健康に過ごすことができる	25名	19.2%	457名	15.0%
「お世話」にやりがいを感じる	28名	21.5%	637名	20.9%
おうちの人以外と話す時間が減る	2名	1.5%	79名	2.6%
自分のことをする時間がない	8名	6.2%	345名	11.3%
とても疲れることがある	20名	15.4%	617名	20.3%
いらいらしやすい	19名	14.6%	495名	16.3%
気持ちが落ち込む	6名	4.6%	185名	6.1%
学校を欠席や遅刻、早退することがある	2名	1.5%	40名	1.3%
その他	4名	3.1%	88名	2.9%
特にない	30名	23.1%	631名	20.7%
無回答	5名	3.8%	191名	6.3%



２．単純集計結果〔保護者〕

大阪府

子どもとの関係について

問１　子どもとの続柄

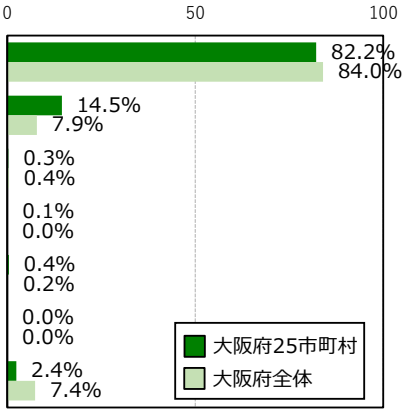
保護者全体は、大阪府25市町村では、「お母さん」が82.2%で最も多く、次いで「お父さん」が14.5%、「施設職員・ファミリーホーム・里親」が0.4%となっている。大阪府全体では、「お母さん」が84.0%で最も多く、次いで「お父さん」が7.9%、「おじいさん・おばあさん」が0.4%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「お母さん」が83.7%で最も多く、次いで「お父さん」が12.9%、「施設職員・ファミリーホーム・里親」が0.4%となっている。大阪府全体では、「お母さん」が84.4%で最も多く、次いで「お父さん」が7.8%、「おじいさん・おばあさん」が0.3%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「お母さん」が83.3%で最も多く、次いで「お父さん」が13.1%、「施設職員・ファミリーホーム・里親」が0.5%となっている。大阪府全体では、「お母さん」が83.6%で最も多く、次いで「お父さん」が7.7%、「おじいさん・おばあさん」が0.4%となっている。

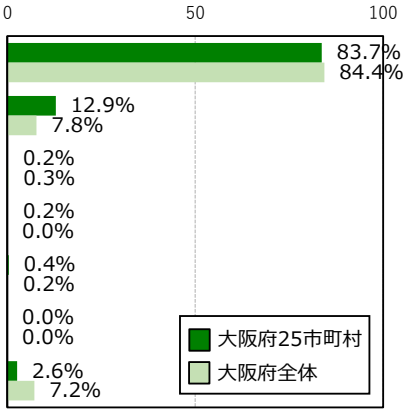
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,358名	100.0%
お母さん	2,019名	82.2%	36,436名	84.0%
お父さん	356名	14.5%	3,426名	7.9%
おじいさん・おばあさん	7名	0.3%	154名	0.4%
おじ、おばなど親戚	2名	0.1%	15名	0.0%
施設職員・ファミリーホーム・里親	10名	0.4%	91名	0.2%
その他の人	1名	0.0%	14名	0.0%
無回答	60名	2.4%	3,222名	7.4%



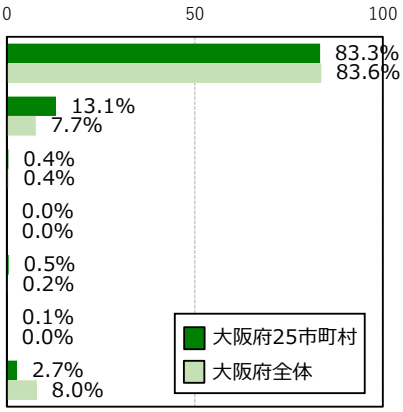
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,819名	100.0%
お母さん	982名	83.7%	19,261名	84.4%
お父さん	151名	12.9%	1,776名	7.8%
おじいさん・おばあさん	2名	0.2%	75名	0.3%
おじ、おばなど親戚	2名	0.2%	7名	0.0%
施設職員・ファミリーホーム・里親	5名	0.4%	47名	0.2%
その他の人	－	－	3名	0.0%
無回答	31名	2.6%	1,650名	7.2%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,390名	100.0%
お母さん	871名	83.3%	16,208名	83.6%
お父さん	137名	13.1%	1,488名	7.7%
おじいさん・おばあさん	4名	0.4%	77名	0.4%
おじ、おばなど親戚	－	－	7名	0.0%
施設職員・ファミリーホーム・里親	5名	0.5%	44名	0.2%
その他の人	1名	0.1%	8名	0.0%
無回答	28名	2.7%	1,558名	8.0%



世帯の状況について

問２　世帯構成　①おばあさん

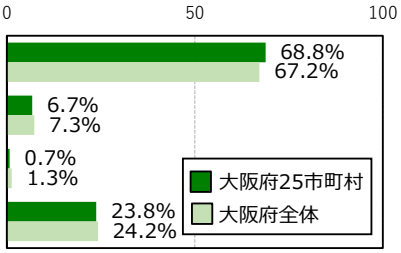
保護者全体は、大阪府25市町村では、「いない」が68.8%で最も多く、次いで「１人」が6.7%、「２人」が0.7%となっている。大阪府全体では、「いない」が67.2%で最も多く、次いで「１人」が7.3%、「２人」が1.3%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いない」が69.3%で最も多く、次いで「１人」が7.7%、「２人」が0.7%となっている。大阪府全体では、「いない」が67.8%で最も多く、次いで「１人」が7.4%、「２人」が1.3%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いない」が68.7%で最も多く、次いで「１人」が5.6%、「２人」が0.7%となっている。大阪府全体では、「いない」が66.8%で最も多く、次いで「１人」が7.3%、「２人」が1.3%となっている。

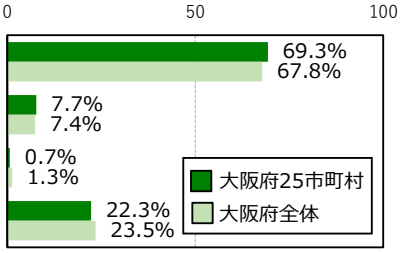
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
いない	1,690名	68.8%	29,081名	67.2%
１人	165名	6.7%	3,181名	7.3%
２人	16名	0.7%	555名	1.3%
無回答	584名	23.8%	10,483名	24.2%



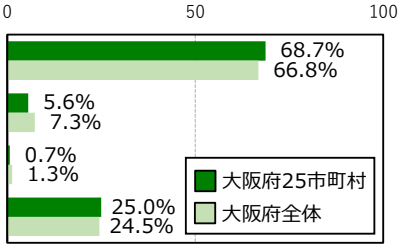
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
いない	813名	69.3%	15,456名	67.8%
１人	90名	7.7%	1,681名	7.4%
２人	8名	0.7%	286名	1.3%
無回答	262名	22.3%	5,363名	23.5%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
いない	719名	68.7%	12,942名	66.8%
１人	59名	5.6%	1,422名	7.3%
２人	7名	0.7%	257名	1.3%
無回答	261名	25.0%	4,744名	24.5%



世帯の状況について

問２　世帯構成　②おじいさん

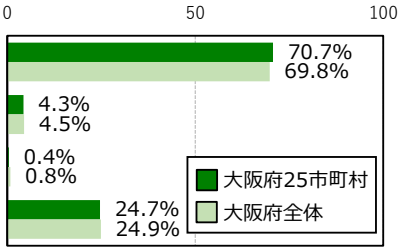
保護者全体は、大阪府25市町村では、「いない」が70.7％で最も多く、次いで「１人」が4.3％、「２人」が0.4％となっている。大阪府全体では、「いない」が69.8％で最も多く、次いで「１人」が4.5％、「２人」が0.8％となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いない」が71.4％で最も多く、次いで「１人」が4.8％、「２人」が0.4％となっている。大阪府全体では、「いない」が70.4％で最も多く、次いで「１人」が4.5％、「２人」が0.8％となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いない」が70.4％で最も多く、次いで「１人」が3.7％、「２人」が0.4％となっている。大阪府全体では、「いない」が69.6％で最も多く、次いで「１人」が4.4％、「２人」が0.8％となっている。

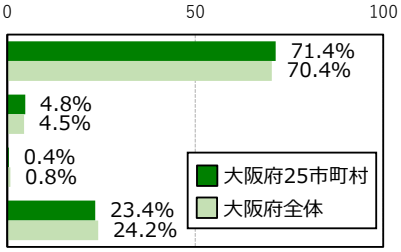
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
いない	1,735名	70.7%	30,230名	69.8%
１人	105名	4.3%	1,932名	4.5%
２人	9名	0.4%	340名	0.8%
無回答	606名	24.7%	10,798名	24.9%



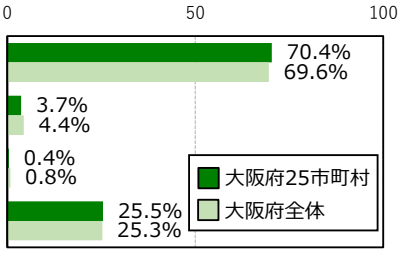
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
いない	837名	71.4%	16,050名	70.4%
１人	56名	4.8%	1,031名	4.5%
２人	5名	0.4%	186名	0.8%
無回答	275名	23.4%	5,519名	24.2%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
いない	736名	70.4%	13,474名	69.6%
１人	39名	3.7%	853名	4.4%
２人	4名	0.4%	148名	0.8%
無回答	267名	25.5%	4,890名	25.3%



世帯の状況について

問２　世帯構成　③お母さん

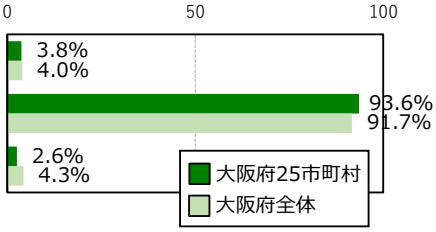
保護者全体は、大阪府25市町村では、「１人」が93.6%で、「いない」が3.8%となっている。大阪府全体では、「１人」が91.7%で、「いない」が4.0%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「１人」が94.2%で、「いない」が3.1%となっている。大阪府全体では、「１人」が92.1%で、「いない」が3.7%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「１人」が91.9%で、「いない」が5.3%となっている。大阪府全体では、「１人」が90.9%で、「いない」が4.5%となっている。

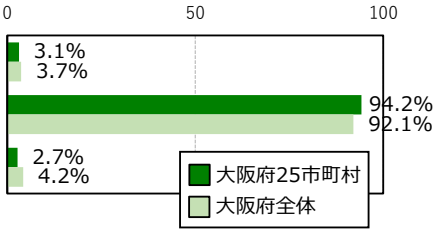
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
いない	94名	3.8%	1,729名	4.0%
１人	2,297名	93.6%	39,706名	91.7%
無回答	64名	2.6%	1,865名	4.3%



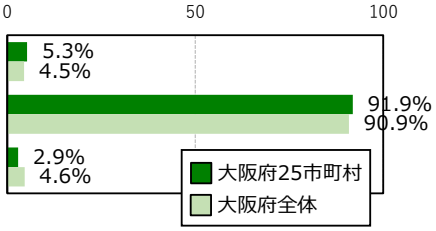
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
いない	36名	3.1%	841名	3.7%
１人	1,105名	94.2%	20,990名	92.1%
無回答	32名	2.7%	955名	4.2%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
いない	55名	5.3%	872名	4.5%
１人	961名	91.9%	17,597名	90.9%
無回答	30名	2.9%	896名	4.6%



世帯の状況について

問２　世帯構成　④お父さん

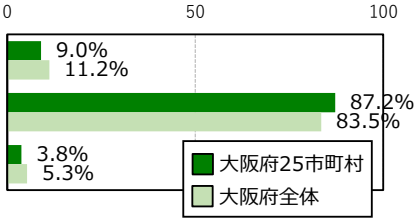
保護者全体は、大阪府25市町村では、「１人」が87.2%で、「いない」が9.0%となっている。大阪府全体では、「１人」が83.5%で、「いない」が11.2%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「１人」が89.3%で、「いない」が7.2%となっている。大阪府全体では、「１人」が84.7%で、「いない」が10.4%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「１人」が84.0%で、「いない」が11.8%となっている。大阪府全体では、「１人」が81.9%で、「いない」が12.4%となっている。

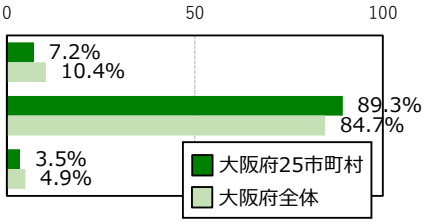
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
いない	222名	9.0%	4,852名	11.2%
１人	2,140名	87.2%	36,166名	83.5%
無回答	93名	3.8%	2,282名	5.3%



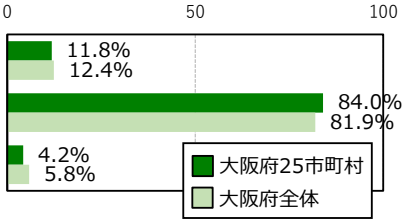
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
いない	85名	7.2%	2,372名	10.4%
１人	1,047名	89.3%	19,301名	84.7%
無回答	41名	3.5%	1,113名	4.9%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
いない	123名	11.8%	2,394名	12.4%
１人	879名	84.0%	15,852名	81.9%
無回答	44名	4.2%	1,119名	5.8%



世帯の状況について

問２　世帯構成　⑤姉・兄

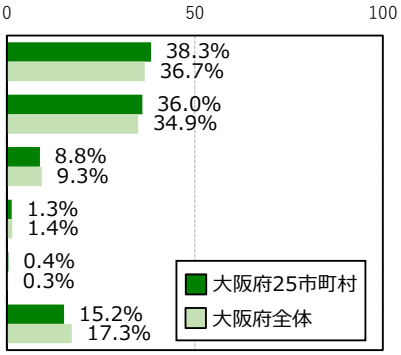
保護者全体は、大阪府25市町村では、「いない」が38.3％で最も多く、次いで「１人」が36.0％、「２人」が8.8％、「３人」が1.3％となっている。大阪府全体では、「いない」が36.7％で最も多く、次いで「１人」が34.9％、「２人」が9.3％、「３人」が1.4％となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いない」が37.5％で最も多く、次いで「１人」が36.8％、「２人」が8.6％、「３人」が1.1％となっている。大阪府全体では、「いない」が37.3％で最も多く、次いで「１人」が34.3％、「２人」が9.4％、「３人」が1.5％となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いない」が38.5％で最も多く、次いで「１人」が35.1％、「２人」が8.8％、「３人」が1.7％となっている。大阪府全体では、「いない」が36.2％で最も多く、次いで「１人」が35.3％、「２人」が9.2％、「３人」が1.2％となっている。

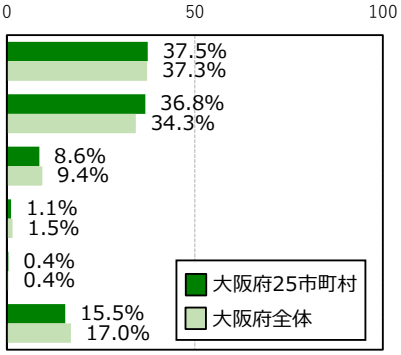
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
いない	941名	38.3%	15,909名	36.7%
１人	884名	36.0%	15,123名	34.9%
２人	215名	8.8%	4,039名	9.3%
３人	32名	1.3%	601名	1.4%
４人以上	11名	0.4%	145名	0.3%
無回答	372名	15.2%	7,483名	17.3%



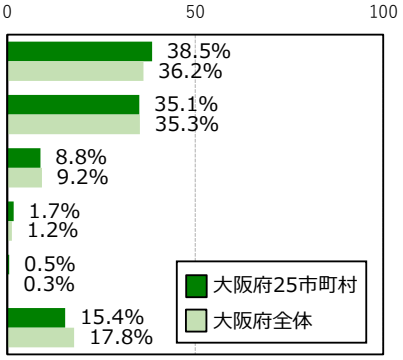
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
いない	440名	37.5%	8,507名	37.3%
１人	432名	36.8%	7,823名	34.3%
２人	101名	8.6%	2,148名	9.4%
３人	13名	1.1%	350名	1.5%
４人以上	5名	0.4%	90名	0.4%
無回答	182名	15.5%	3,868名	17.0%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
いない	403名	38.5%	7,016名	36.2%
１人	367名	35.1%	6,827名	35.3%
２人	92名	8.8%	1,782名	9.2%
３人	18名	1.7%	239名	1.2%
４人以上	5名	0.5%	50名	0.3%
無回答	161名	15.4%	3,451名	17.8%



世帯の状況について

問２　世帯構成　⑥妹・弟

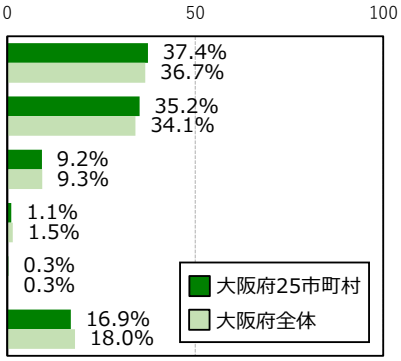
保護者全体は、大阪府25市町村では、「いない」が37.4％で最も多く、次いで「１人」が35.2％、「２人」が9.2％、「３人」が1.1％となっている。大阪府全体では、「いない」が36.7％で最も多く、次いで「１人」が34.1％、「２人」が9.3％、「３人」が1.5％となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いない」が37.9％で最も多く、次いで「１人」が36.8％、「２人」が8.5％、「３人」が0.9％となっている。大阪府全体では、「いない」が37.1％で最も多く、次いで「１人」が34.1％、「２人」が9.1％、「３人」が1.4％となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いない」が37.2％で最も多く、次いで「１人」が32.9％、「２人」が10.0％、「３人」が1.2％となっている。大阪府全体では、「いない」が36.6％で最も多く、次いで「１人」が34.0％、「２人」が9.5％、「３人」が1.7％となっている。

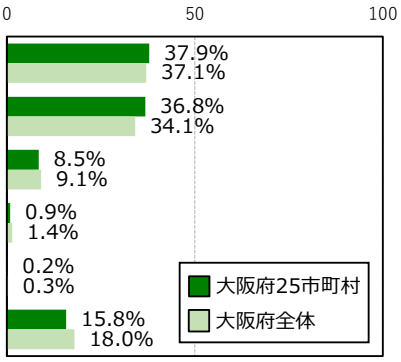
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
いない	917名	37.4%	15,898名	36.7%
１人	863名	35.2%	14,782名	34.1%
２人	226名	9.2%	4,028名	9.3%
３人	26名	1.1%	655名	1.5%
４人以上	8名	0.3%	139名	0.3%
無回答	415名	16.9%	7,798名	18.0%



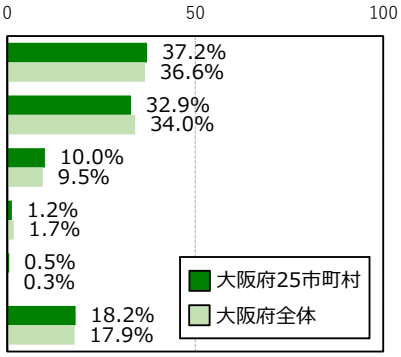
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
いない	444名	37.9%	8,462名	37.1%
１人	432名	36.8%	7,772名	34.1%
２人	100名	8.5%	2,067名	9.1%
３人	10名	0.9%	314名	1.4%
４人以上	2名	0.2%	64名	0.3%
無回答	185名	15.8%	4,107名	18.0%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
いない	389名	37.2%	7,085名	36.6%
１人	344名	32.9%	6,586名	34.0%
２人	105名	10.0%	1,846名	9.5%
３人	13名	1.2%	320名	1.7%
４人以上	5名	0.5%	66名	0.3%
無回答	190名	18.2%	3,462名	17.9%



世帯の状況について

問２　世帯構成　⑦その他

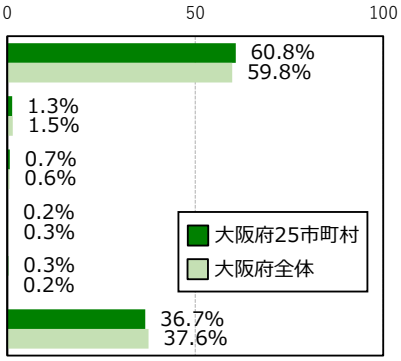
保護者全体は、大阪府25市町村では、「いない」が60.8％で最も多く、次いで「１人」が1.3％、「２人」が0.7％、「４人以上」が0.3％となっている。大阪府全体では、「いない」が59.8％で最も多く、次いで「１人」が1.5％、「２人」が0.6％、「３人」が0.3％となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いない」が61.6％で最も多く、次いで「１人」が1.9％、「２人」と「４人以上」がそれぞれ0.3％となっている。大阪府全体では、「いない」が60.5％で最も多く、次いで「１人」が1.5％、「２人」が0.6％となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いない」が60.2％で最も多く、次いで「２人」が1.1％、「１人」が0.9％となっている。大阪府全体では、「いない」が59.5％で最も多く、次いで「１人」が1.4％、「２人」が0.6％となっている。

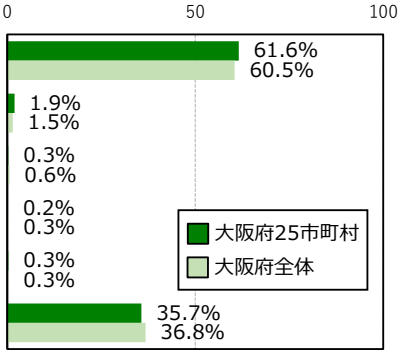
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
いない	1,493名	60.8%	25,890名	59.8%
１人	31名	1.3%	628名	1.5%
２人	17名	0.7%	261名	0.6%
３人	5名	0.2%	133名	0.3%
４人以上	8名	0.3%	98名	0.2%
無回答	901名	36.7%	16,290名	37.6%



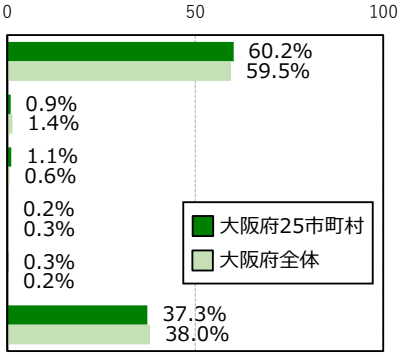
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
いない	722名	61.6%	13,780名	60.5%
１人	22名	1.9%	347名	1.5%
２人	4名	0.3%	139名	0.6%
３人	2名	0.2%	73名	0.3%
４人以上	4名	0.3%	59名	0.3%
無回答	419名	35.7%	8,388名	36.8%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
いない	630名	60.2%	11,529名	59.5%
１人	9名	0.9%	275名	1.4%
２人	12名	1.1%	119名	0.6%
３人	2名	0.2%	55名	0.3%
４人以上	3名	0.3%	36名	0.2%
無回答	390名	37.3%	7,351名	38.0%



世帯の状況について

問２　世帯構成　＜世帯員の続柄＞

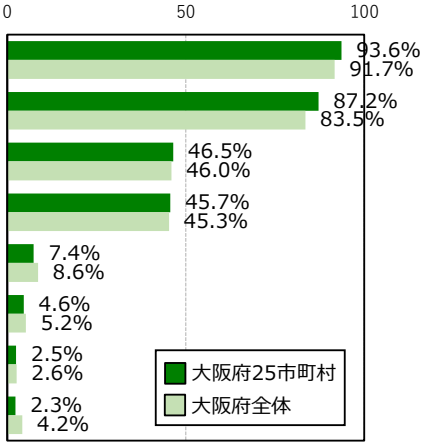
保護者全体は、大阪府25市町村では、「お母さん」が93.6%で最も多く、次いで「お父さん」が87.2%、「姉・兄」が46.5%、「妹・弟」が45.7%となっている。大阪府全体では、「お母さん」が91.7%で最も多く、次いで「お父さん」が83.5%、「姉・兄」が46.0%、「妹・弟」が45.3%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「お母さん」が94.2%で最も多く、次いで「お父さん」が89.3%、「姉・兄」が47.0%、「妹・弟」が46.4%となっている。大阪府全体では、「お母さん」が92.1%で最も多く、次いで「お父さん」が84.7%、「姉・兄」が45.7%、「妹・弟」が44.9%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「お母さん」が91.9%で最も多く、次いで「お父さん」が84.0%、「姉・兄」が46.1%、「妹・弟」が44.6%となっている。大阪府全体では、「お母さん」が90.9%で最も多く、次いで「お父さん」が81.9%、「姉・兄」が45.9%、「妹・弟」が45.5%となっている。

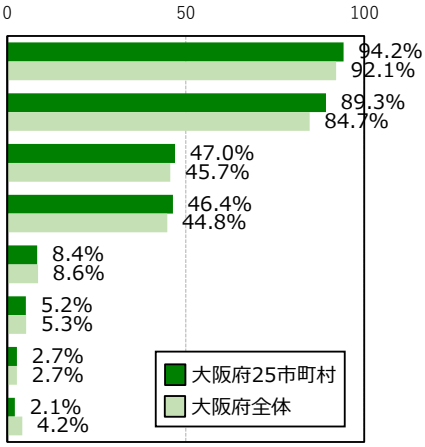
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
お母さん	2,297名	93.6%	39,706名	91.7%
お父さん	2,140名	87.2%	36,166名	83.5%
姉・兄	1,142名	46.5%	19,908名	46.0%
妹・弟	1,123名	45.7%	19,604名	45.3%
おばあさん	181名	7.4%	3,736名	8.6%
おじいさん	114名	4.6%	2,272名	5.2%
その他	61名	2.5%	1,120名	2.6%
無回答	57名	2.3%	1,839名	4.2%



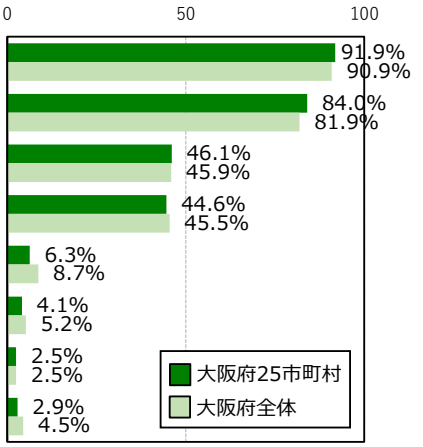
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
お母さん	1,105名	94.2%	20,990名	92.1%
お父さん	1,047名	89.3%	19,301名	84.7%
姉・兄	551名	47.0%	10,411名	45.7%
妹・弟	544名	46.4%	10,217名	44.8%
おばあさん	98名	8.4%	1,967名	8.6%
おじいさん	61名	5.2%	1,217名	5.3%
その他	32名	2.7%	618名	2.7%
無回答	25名	2.1%	953名	4.2%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
お母さん	961名	91.9%	17,597名	90.9%
お父さん	879名	84.0%	15,852名	81.9%
姉・兄	482名	46.1%	8,898名	45.9%
妹・弟	467名	44.6%	8,818名	45.5%
おばあさん	66名	6.3%	1,679名	8.7%
おじいさん	43名	4.1%	1,001名	5.2%
その他	26名	2.5%	485名	2.5%
無回答	30名	2.9%	876名	4.5%



世帯の状況について

問２　世帯構成　⑧世帯人数

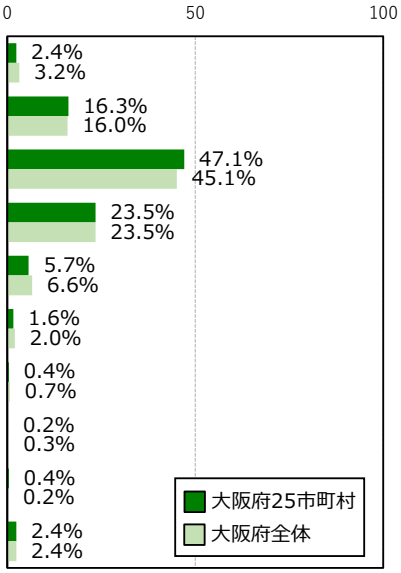
保護者全体は、大阪府25市町村では、「４人」が47.1％で最も多く、次いで「５人」が23.5％、「３人」が16.3％、「６人」が5.7％となっている。大阪府全体では、「４人」が45.1％で最も多く、次いで「５人」が23.5％、「３人」が16.0％、「６人」が6.6％となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「４人」が48.4％で最も多く、次いで「５人」が24.0％、「３人」が14.7％、「６人」が6.2％となっている。大阪府全体では、「４人」が45.6％で最も多く、次いで「５人」が23.4％、「３人」が15.8％、「６人」が6.8％となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「４人」が45.8％で最も多く、次いで「５人」が22.5％、「３人」が18.0％、「６人」が5.5％となっている。大阪府全体では、「４人」が44.5％で最も多く、次いで「５人」が23.5％、「３人」が16.3％、「６人」が6.4％となっている。

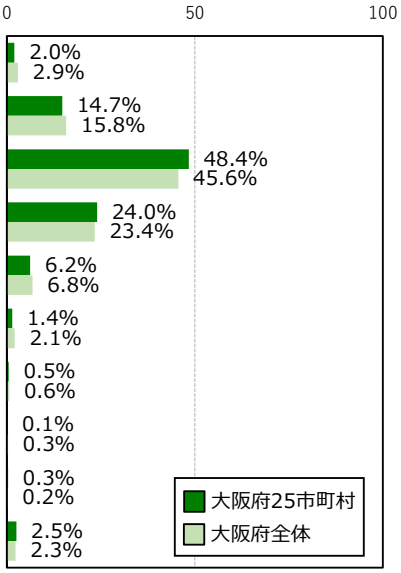
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
２人	60名	2.4%	1,367名	3.2%
３人	399名	16.3%	6,918名	16.0%
４人	1,156名	47.1%	19,537名	45.1%
５人	576名	23.5%	10,172名	23.5%
６人	141名	5.7%	2,865名	6.6%
７人	39名	1.6%	877名	2.0%
８人	11名	0.4%	319名	0.7%
９人	5名	0.2%	112名	0.3%
10人以上	10名	0.4%	96名	0.2%
無回答	58名	2.4%	1,037名	2.4%



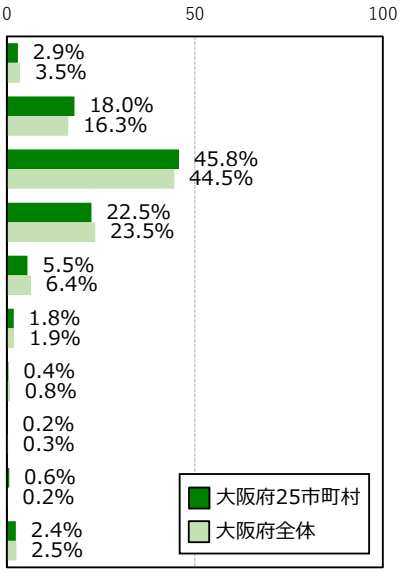
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
２人	23名	2.0%	658名	2.9%
３人	172名	14.7%	3,609名	15.8%
４人	568名	48.4%	10,388名	45.6%
５人	281名	24.0%	5,323名	23.4%
６人	73名	6.2%	1,543名	6.8%
７人	16名	1.4%	481名	2.1%
８人	6名	0.5%	147名	0.6%
９人	1名	0.1%	60名	0.3%
10人以上	4名	0.3%	50名	0.2%
無回答	29名	2.5%	527名	2.3%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
２人	30名	2.9%	680名	3.5%
３人	188名	18.0%	3,151名	16.3%
４人	479名	45.8%	8,626名	44.5%
５人	235名	22.5%	4,559名	23.5%
６人	58名	5.5%	1,237名	6.4%
７人	19名	1.8%	377名	1.9%
８人	4名	0.4%	161名	0.8%
９人	2名	0.2%	50名	0.3%
10人以上	6名	0.6%	45名	0.2%
無回答	25名	2.4%	479名	2.5%



世帯の状況について

問３　親の婚姻状況

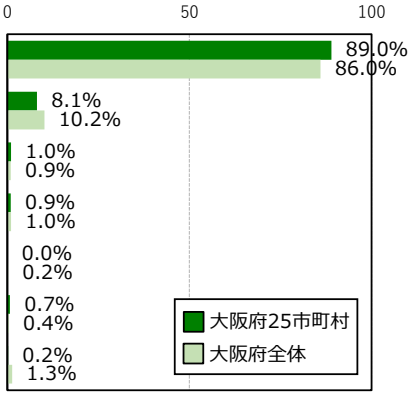
保護者全体は、大阪府25市町村では、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が89.0％で最も多く、次いで「離婚」が8.1％、「死別」が1.0％となっている。大阪府全体では、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が86.0％で最も多く、次いで「離婚」が10.2％、「未婚」が1.0％となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が90.9％で最も多く、次いで「離婚」が6.5％となっている。大阪府全体では、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が87.5％で最も多く、次いで「離婚」が8.9％、「未婚」が1.0％となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が86.0％で最も多く、次いで「離婚」が10.6％、「死別」が1.5％となっている。大阪府全体では、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が84.1％で最も多く、次いで「離婚」が11.7％、「死別」が1.2％となっている。

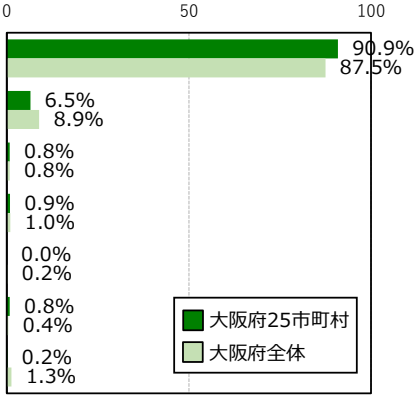
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
結婚している（再婚や事実婚を含む。）	2,185名	89.0%	37,253名	86.0%
離婚	199名	8.1%	4,407名	10.2%
死別	25名	1.0%	400名	0.9%
未婚	23名	0.9%	412名	1.0%
わからない	1名	0.0%	77名	0.2%
いない	16名	0.7%	177名	0.4%
無回答	6名	0.2%	574名	1.3%



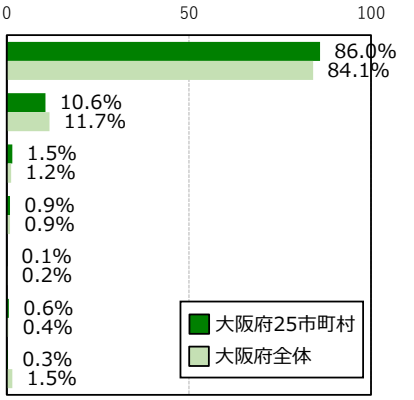
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
結婚している（再婚や事実婚を含む。）	1,066名	90.9%	19,949名	87.5%
離婚	76名	6.5%	2,030名	8.9%
死別	9名	0.8%	172名	0.8%
未婚	11名	0.9%	224名	1.0%
わからない	－	－	39名	0.2%
いない	9名	0.8%	84名	0.4%
無回答	2名	0.2%	288名	1.3%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
結婚している（再婚や事実婚を含む。）	900名	86.0%	16,290名	84.1%
離婚	111名	10.6%	2,273名	11.7%
死別	16名	1.5%	223名	1.2%
未婚	9名	0.9%	181名	0.9%
わからない	1名	0.1%	34名	0.2%
いない	6名	0.6%	82名	0.4%
無回答	3名	0.3%	282名	1.5%



世帯の状況について

問４　離婚相手との養育費の取り決めや受け取り

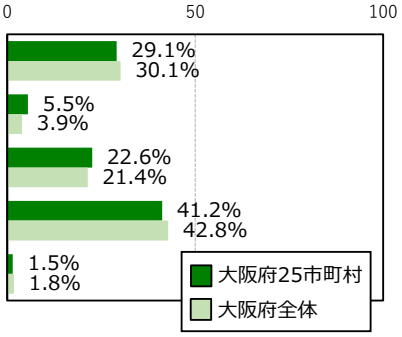
保護者全体は、大阪府25市町村では、「取り決めをしておらず、受け取っていない」が41.2%で最も多く、次いで「取り決めをしており、受け取っている」が29.1%、「取り決めをしているが、受け取っていない」が22.6%となっている。大阪府全体では、「取り決めをしておらず、受け取っていない」が42.8%で最も多く、次いで「取り決めをしており、受け取っている」が30.1%、「取り決めをしているが、受け取っていない」が21.4%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「取り決めをしておらず、受け取っていない」が39.5%で最も多く、次いで「取り決めをしており、受け取っている」が34.2%、「取り決めをしているが、受け取っていない」が19.7%となっている。大阪府全体では、「取り決めをしておらず、受け取っていない」が40.2%で最も多く、次いで「取り決めをしており、受け取っている」が32.7%、「取り決めをしているが、受け取っていない」が21.6%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「取り決めをしておらず、受け取っていない」が41.4%で最も多く、次いで「取り決めをしており、受け取っている」が27.0%、「取り決めをしているが、受け取っていない」が24.3%となっている。大阪府全体では、「取り決めをしておらず、受け取っていない」が44.9%で最も多く、次いで「取り決めをしており、受け取っている」が28.0%、「取り決めをしているが、受け取っていない」が21.1%となっている。

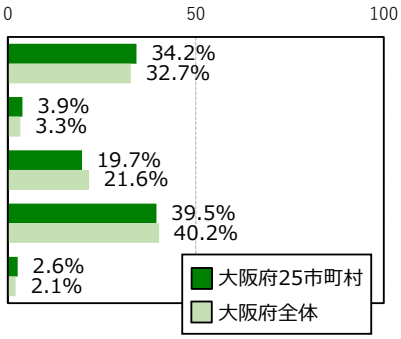
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	199名	100.0%	4,407名	100.0%
取り決めをしており、受け取っている	58名	29.1%	1,325名	30.1%
特に取り決めはしていないが、受け取っている	11名	5.5%	174名	3.9%
取り決めをしているが、受け取っていない	45名	22.6%	941名	21.4%
取り決めをしておらず、受け取っていない	82名	41.2%	1,888名	42.8%
無回答	3名	1.5%	79名	1.8%



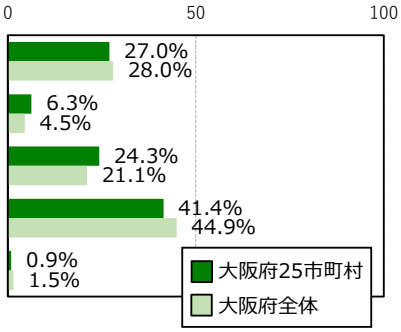
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	76名	100.0%	2,030名	100.0%
取り決めをしており、受け取っている	26名	34.2%	664名	32.7%
特に取り決めはしていないが、受け取っている	3名	3.9%	68名	3.3%
取り決めをしているが、受け取っていない	15名	19.7%	438名	21.6%
取り決めをしておらず、受け取っていない	30名	39.5%	817名	40.2%
無回答	2名	2.6%	43名	2.1%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	111名	100.0%	2,273名	100.0%
取り決めをしており、受け取っている	30名	27.0%	636名	28.0%
特に取り決めはしていないが、受け取っている	7名	6.3%	103名	4.5%
取り決めをしているが、受け取っていない	27名	24.3%	479名	21.1%
取り決めをしておらず、受け取っていない	46名	41.4%	1,020名	44.9%
無回答	1名	0.9%	35名	1.5%



世帯の状況について

問５　住居形態

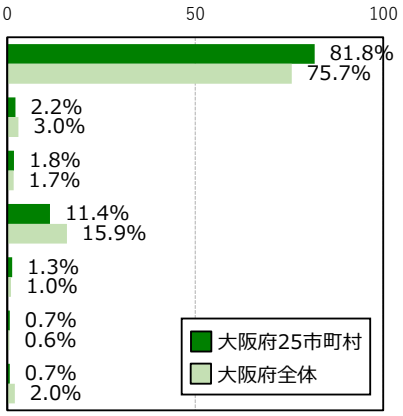
保護者全体は、大阪府25市町村では、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が81.8％で最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が11.4％、「府営・市営・町営の住宅」が2.2％となっている。大阪府全体では、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が75.7％で最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が15.9％、「府営・市営・町営の住宅」が3.0％となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が81.1％で最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が11.7％、「ＵＲ賃貸住宅・公社賃貸住宅」が2.2％となっている。大阪府全体では、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が75.6％で最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が16.4％、「府営・市営・町営の住宅」が2.7％となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が81.9％で最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が11.6％、「府営・市営・町営の住宅」が2.7％となっている。大阪府全体では、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が75.3％で最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が15.7％、「府営・市営・町営の住宅」が3.5％となっている。

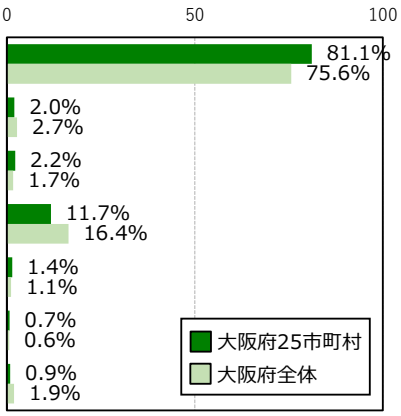
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
持ち家（親・きょうだいの名義を含む）	2,007名	81.8%	32,784名	75.7%
府営・市営・町営の住宅	55名	2.2%	1,316名	3.0%
ＵＲ賃貸住宅・公社賃貸住宅	44名	1.8%	752名	1.7%
民間の賃貸住宅	281名	11.4%	6,890名	15.9%
官舎・社宅	33名	1.3%	438名	1.0%
その他	17名	0.7%	257名	0.6%
無回答	18名	0.7%	863名	2.0%



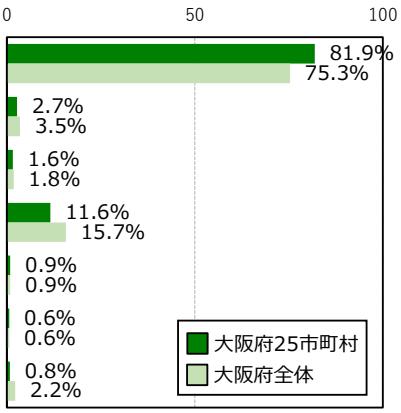
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
持ち家（親・きょうだいの名義を含む）	951名	81.1%	17,221名	75.6%
府営・市営・町営の住宅	24名	2.0%	620名	2.7%
ＵＲ賃貸住宅・公社賃貸住宅	26名	2.2%	386名	1.7%
民間の賃貸住宅	137名	11.7%	3,738名	16.4%
官舎・社宅	17名	1.4%	255名	1.1%
その他	8名	0.7%	129名	0.6%
無回答	10名	0.9%	437名	1.9%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
持ち家（親・きょうだいの名義を含む）	857名	81.9%	14,585名	75.3%
府営・市営・町営の住宅	28名	2.7%	676名	3.5%
ＵＲ賃貸住宅・公社賃貸住宅	17名	1.6%	356名	1.8%
民間の賃貸住宅	121名	11.6%	3,036名	15.7%
官舎・社宅	9名	0.9%	171名	0.9%
その他	6名	0.6%	121名	0.6%
無回答	8名	0.8%	420名	2.2%



世帯の状況について

問６（１）家計の状況

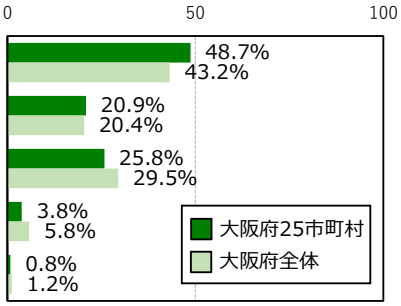
保護者全体は、大阪府25市町村では、「貯蓄ができている」が48.7%で最も多く、次いで「赤字でもなく黒字でもない」が25.8%、「赤字である」が20.9%となっている。大阪府全体では、「貯蓄ができている」が43.2%で最も多く、次いで「赤字でもなく黒字でもない」が29.5%、「赤字である」が20.4%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「貯蓄ができている」が50.1%で最も多く、次いで「赤字でもなく黒字でもない」が25.5%、「赤字である」が20.0%となっている。大阪府全体では、「貯蓄ができている」が45.5%で最も多く、次いで「赤字でもなく黒字でもない」が28.7%、「赤字である」が19.0%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「貯蓄ができている」が46.4%で最も多く、次いで「赤字でもなく黒字でもない」が25.9%、「赤字である」が22.8%となっている。大阪府全体では、「貯蓄ができている」が40.2%で最も多く、次いで「赤字でもなく黒字でもない」が30.5%、「赤字である」が22.0%となっている。

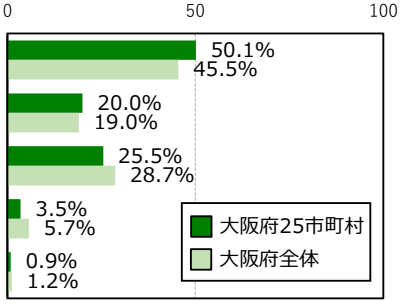
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
貯蓄ができている	1,196名	48.7%	18,686名	43.2%
赤字である	513名	20.9%	8,818名	20.4%
赤字でもなく黒字でもない	633名	25.8%	12,767名	29.5%
わからない	93名	3.8%	2,523名	5.8%
無回答	20名	0.8%	506名	1.2%



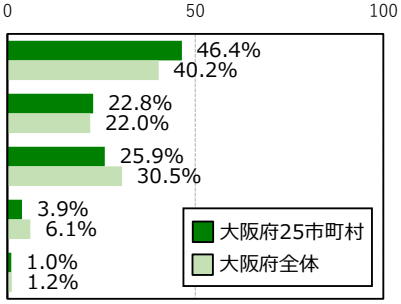
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
貯蓄ができている	588名	50.1%	10,376名	45.5%
赤字である	235名	20.0%	4,319名	19.0%
赤字でもなく黒字でもない	299名	25.5%	6,535名	28.7%
わからない	41名	3.5%	1,292名	5.7%
無回答	10名	0.9%	264名	1.2%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
貯蓄ができている	485名	46.4%	7,790名	40.2%
赤字である	239名	22.8%	4,255名	22.0%
赤字でもなく黒字でもない	271名	25.9%	5,912名	30.5%
わからない	41名	3.9%	1,173名	6.1%
無回答	10名	1.0%	235名	1.2%



世帯の状況について

問６（２）子どもの将来のための貯蓄状況

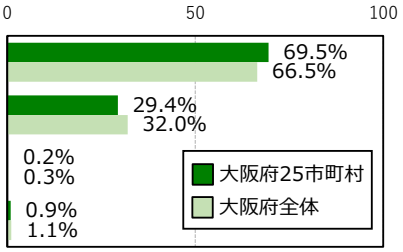
保護者全体は、大阪府25市町村では、「貯蓄をしている」が69.5%で最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が29.4%、「貯蓄をするつもりはない」が0.2%となっている。大阪府全体では、「貯蓄をしている」が66.5%で最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が32.0%、「貯蓄をするつもりはない」が0.3%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「貯蓄をしている」が71.1%で最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が27.7%、「貯蓄をするつもりはない」が0.2%となっている。大阪府全体では、「貯蓄をしている」が69.2%で最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が29.4%、「貯蓄をするつもりはない」が0.3%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「貯蓄をしている」が67.5%で最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が31.4%、「貯蓄をするつもりはない」が0.2%となっている。大阪府全体では、「貯蓄をしている」が63.4%で最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が35.1%、「貯蓄をするつもりはない」が0.3%となっている。

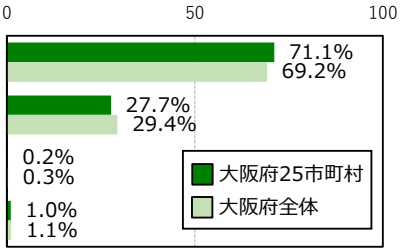
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
貯蓄をしている	1,707名	69.5%	28,802名	66.5%
貯蓄をしたいが、できていない	722名	29.4%	13,877名	32.0%
貯蓄をするつもりはない	4名	0.2%	138名	0.3%
無回答	22名	0.9%	483名	1.1%



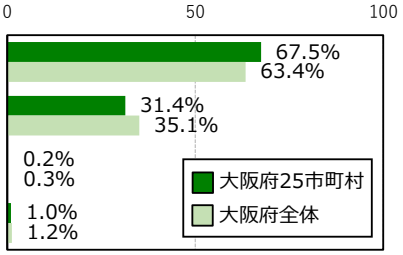
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
貯蓄をしている	834名	71.1%	15,765名	69.2%
貯蓄をしたいが、できていない	325名	27.7%	6,698名	29.4%
貯蓄をするつもりはない	2名	0.2%	74名	0.3%
無回答	12名	1.0%	249名	1.1%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
貯蓄をしている	706名	67.5%	12,277名	63.4%
貯蓄をしたいが、できていない	328名	31.4%	6,798名	35.1%
貯蓄をするつもりはない	2名	0.2%	63名	0.3%
無回答	10名	1.0%	227名	1.2%



世帯の状況について

問７　経済的な理由による経験

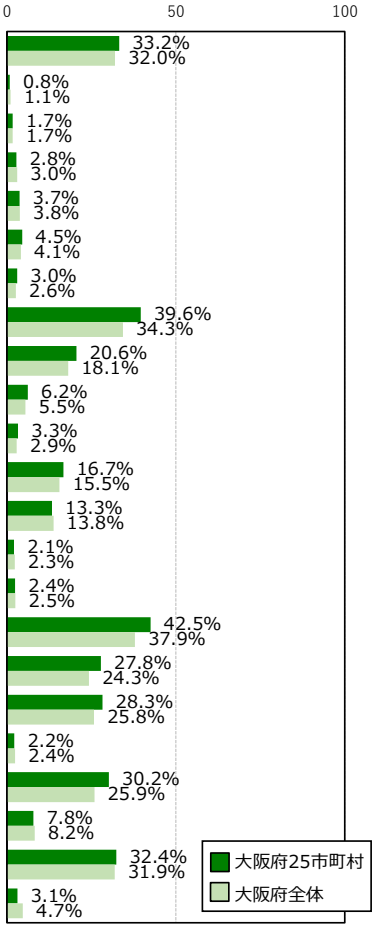
保護者全体は、大阪府25市町村では、「趣味やレジャーの出費を減らした」が42.5％で最も多く、次いで「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が39.6％、「食費を切りつめた」が33.2％となっている。一方、「どれもあてはまらない」が32.4％となっている。大阪府全体では、「趣味やレジャーの出費を減らした」が37.9％で最も多く、次いで「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が34.3％、「食費を切りつめた」が32.0％となっている。一方、「どれもあてはまらない」が31.9％となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「趣味やレジャーの出費を減らした」が41.5％で最も多く、次いで「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が37.4％、「食費を切りつめた」が32.1％となっている。一方、「どれもあてはまらない」が34.8％となっている。大阪府全体では、「趣味やレジャーの出費を減らした」が36.3％で最も多く、次いで「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が32.9％、「食費を切りつめた」が30.2％となっている。一方、「どれもあてはまらない」が33.7％となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「趣味やレジャーの出費を減らした」が43.6％で最も多く、次いで「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が41.7％、「食費を切りつめた」が34.6％となっている。一方、「どれもあてはまらない」が29.4％となっている。大阪府全体では、「趣味やレジャーの出費を減らした」が39.5％で最も多く、次いで「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が35.6％、「食費を切りつめた」が33.9％となっている。一方、「どれもあてはまらない」が29.9％となっている。

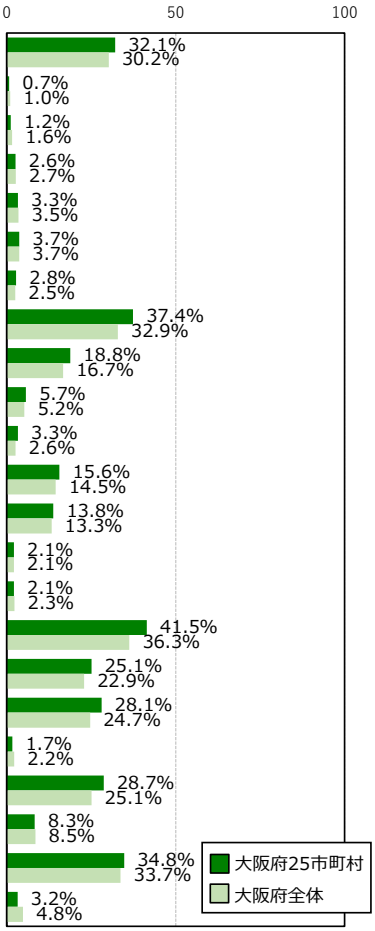
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
食費を切りつめた	816名	33.2%	13,842名	32.0%
電気・ガス・水道などが止められた	20名	0.8%	479名	1.1%
医療機関を受診できなかった	42名	1.7%	731名	1.7%
国民健康保険料の支払いが滞ったことがある	69名	2.8%	1,281名	3.0%
国民年金の支払いが滞ったことがある	91名	3.7%	1,659名	3.8%
金融機関などに借金をしたことがある	111名	4.5%	1,781名	4.1%
クレジットカードの利用が停止になったことがある	74名	3.0%	1,138名	2.6%
新しい衣服・靴を買うのを控えた	971名	39.6%	14,859名	34.3%
新聞や雑誌を買うのを控えた	505名	20.6%	7,839名	18.1%
スマートフォンへの切替・利用を断念した	153名	6.2%	2,378名	5.5%
冠婚葬祭のつきあいを控えた	82名	3.3%	1,241名	2.9%
生活の見通しがたたなくて不安になったことがある	411名	16.7%	6,729名	15.5%
鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした	327名	13.3%	5,976名	13.8%
電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある	51名	2.1%	1,000名	2.3%
家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある	58名	2.4%	1,064名	2.5%
趣味やレジャーの出費を減らした	1,044名	42.5%	16,416名	37.9%
冷暖房の使用を控えた	683名	27.8%	10,541名	24.3%
友人・知人との外食を控えた	695名	28.3%	11,177名	25.8%
敷金・保証金などを用意できないので、住み替え・転居を断念した	54名	2.2%	1,031名	2.4%
理髪店・美容院に行く回数を減らした	742名	30.2%	11,196名	25.9%
子ども部屋が欲しかったがつくれなかった	192名	7.8%	3,568名	8.2%
どれもあてはまらない	795名	32.4%	13,812名	31.9%
無回答	77名	3.1%	2,053名	4.7%



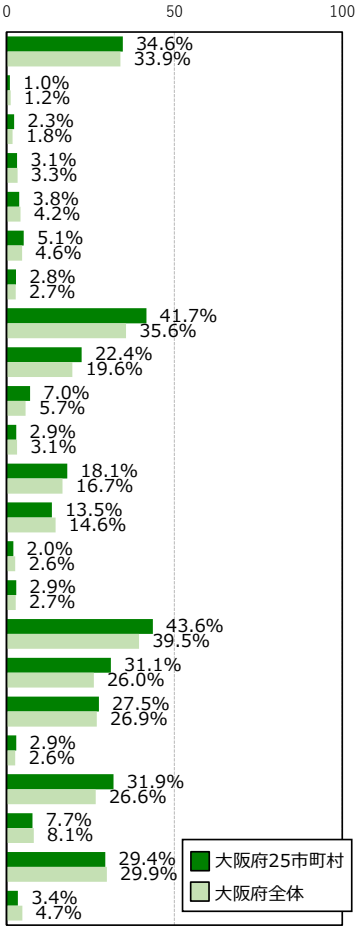
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
食費を切りつめた	377名	32.1%	6,880名	30.2%
電気・ガス・水道などが止められた	8名	0.7%	227名	1.0%
医療機関を受診できなかった	14名	1.2%	357名	1.6%
国民健康保険料の支払いが滞ったことがある	31名	2.6%	609名	2.7%
国民年金の支払いが滞ったことがある	39名	3.3%	805名	3.5%
金融機関などに借金をしたことがある	43名	3.7%	837名	3.7%
クレジットカードの利用が停止になったことがある	33名	2.8%	562名	2.5%
新しい衣服・靴を買うのを控えた	439名	37.4%	7,507名	32.9%
新聞や雑誌を買うのを控えた	221名	18.8%	3,815名	16.7%
スマートフォンへの切替・利用を断念した	67名	5.7%	1,194名	5.2%
冠婚葬祭のつきあいを控えた	39名	3.3%	600名	2.6%
生活の見通しがたたなくて不安になったことがある	183名	15.6%	3,296名	14.5%
鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした	162名	13.8%	3,025名	13.3%
電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある	25名	2.1%	475名	2.1%
家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある	25名	2.1%	517名	2.3%
趣味やレジャーの出費を減らした	487名	41.5%	8,281名	36.3%
冷暖房の使用を控えた	294名	25.1%	5,226名	22.9%
友人・知人との外食を控えた	330名	28.1%	5,618名	24.7%
敷金・保証金などを用意できないので、住み替え・転居を断念した	20名	1.7%	503名	2.2%
理髪店・美容院に行く回数を減らした	337名	28.7%	5,727名	25.1%
子ども部屋が欲しかったがつくれなかった	97名	8.3%	1,927名	8.5%
どれもあてはまらない	408名	34.8%	7,672名	33.7%
無回答	37名	3.2%	1,102名	4.8%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
食費を切りつめた	362名	34.6%	6,570名	33.9%
電気・ガス・水道などが止められた	10名	1.0%	240名	1.2%
医療機関を受診できなかった	24名	2.3%	353名	1.8%
国民健康保険料の支払いが滞ったことがある	32名	3.1%	635名	3.3%
国民年金の支払いが滞ったことがある	40名	3.8%	812名	4.2%
金融機関などに借金をしたことがある	53名	5.1%	895名	4.6%
クレジットカードの利用が停止になったことがある	29名	2.8%	532名	2.7%
新しい衣服・靴を買うのを控えた	436名	41.7%	6,896名	35.6%
新聞や雑誌を買うのを控えた	234名	22.4%	3,787名	19.6%
スマートフォンへの切替・利用を断念した	73名	7.0%	1,108名	5.7%
冠婚葬祭のつきあいを控えた	30名	2.9%	598名	3.1%
生活の見通しがたたなくて不安になったことがある	189名	18.1%	3,240名	16.7%
鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした	141名	13.5%	2,830名	14.6%
電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある	21名	2.0%	501名	2.6%
家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある	30名	2.9%	526名	2.7%
趣味やレジャーの出費を減らした	456名	43.6%	7,644名	39.5%
冷暖房の使用を控えた	325名	31.1%	5,029名	26.0%
友人・知人との外食を控えた	288名	27.5%	5,217名	26.9%
敷金・保証金などを用意できないので、住み替え・転居を断念した	30名	2.9%	510名	2.6%
理髪店・美容院に行く回数を減らした	334名	31.9%	5,146名	26.6%
子ども部屋が欲しかったがつくれなかった	81名	7.7%	1,565名	8.1%
どれもあてはまらない	308名	29.4%	5,789名	29.9%
無回答	36名	3.4%	913名	4.7%



●2016年度　調査結果〔参考データ〕

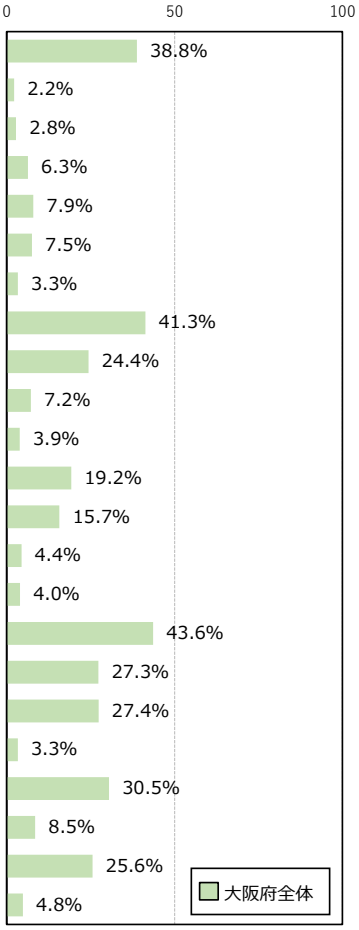
大阪府全体を2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が7.0ポイント、「食費を切りつめた」が6.8ポイント、「新聞や雑誌を買うのを控えた」が6.3ポイント、それぞれ低くなっている。

小学生は、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」、「新聞や雑誌を買うのを控えた」がいずれも7.3ポイント、「食費を切りつめた」が7.2ポイント、それぞれ低くなっている。

中学生は、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が7.1ポイント、「食費を切りつめた」が6.5ポイント、それぞれ低くなっている。

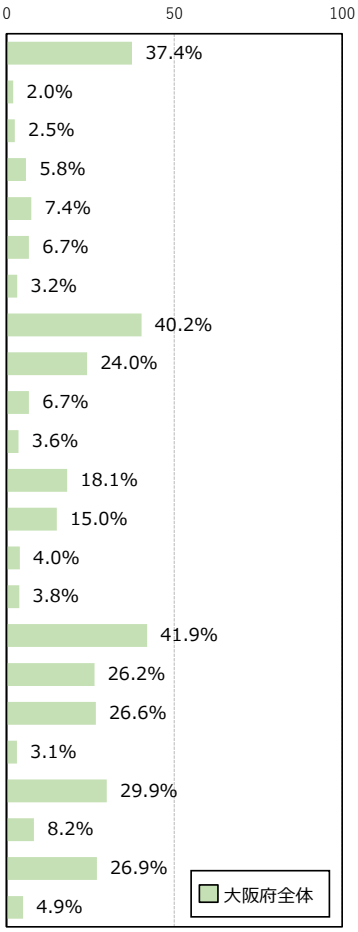
【保護者全体】

	大阪府全体	
	49,703名	100.0%
食費を切りつめた	19,278名	38.8%
電気・ガス・水道などが止められた	1,074名	2.2%
医療機関を受診できなかった	1,392名	2.8%
国民健康保険料の支払いが滞ったことがある	3,132名	6.3%
国民年金の支払いが滞ったことがある	3,916名	7.9%
金融機関などに借金をしたことがある	3,734名	7.5%
クレジットカードの利用が停止になったことがある	1,656名	3.3%
新しい衣服・靴を買うのを控えた	20,550名	41.3%
新聞や雑誌を買うのを控えた	12,139名	24.4%
スマートフォンへの切替・利用を断念した	3,560名	7.2%
冠婚葬祭のつきあいを控えた	1,923名	3.9%
生活の見通しがたたなくて不安になったことがある	9,541名	19.2%
鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした	7,823名	15.7%
電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある	2,171名	4.4%
家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある	1,996名	4.0%
趣味やレジャーの出費を減らした	21,678名	43.6%
冷暖房の使用を控えた	13,591名	27.3%
友人・知人との外食を控えた	13,602名	27.4%
敷金・保証金などを用意できないので、住み替え・転居を断念した	1,635名	3.3%
理髪店・美容院に行く回数を減らした	15,167名	30.5%
子ども部屋が欲しかったがつくれなかった	4,225名	8.5%
どれもあてはまらない	12,707名	25.6%
無回答	2,409名	4.8%



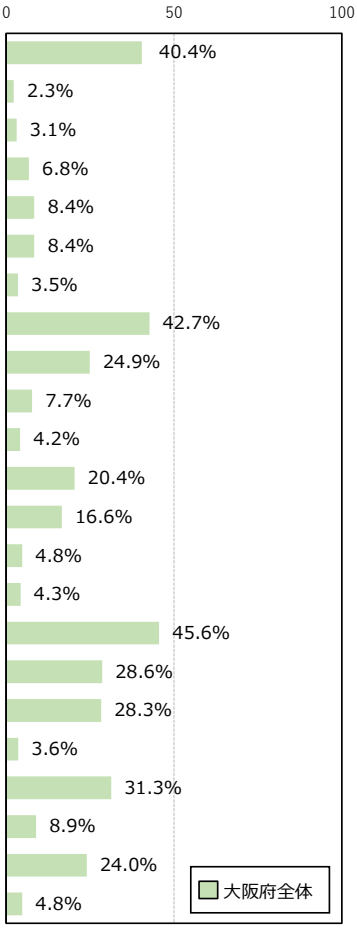
【小学生の保護者】

	大阪府全体	
	26,342名	100.0%
食費を切りつめた	9,845名	37.4%
電気・ガス・水道などが止められた	539名	2.0%
医療機関を受診できなかった	660名	2.5%
国民健康保険料の支払いが滞ったことがある	1,541名	5.8%
国民年金の支払いが滞ったことがある	1,962名	7.4%
金融機関などに借金をしたことがある	1,775名	6.7%
クレジットカードの利用が停止になったことがある	845名	3.2%
新しい衣服・靴を買うのを控えた	10,584名	40.2%
新聞や雑誌を買うのを控えた	6,313名	24.0%
スマートフォンへの切替・利用を断念した	1,763名	6.7%
冠婚葬祭のつきあいを控えた	952名	3.6%
生活の見通しがたたなくて不安になったことがある	4,781名	18.1%
鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした	3,946名	15.0%
電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある	1,053名	4.0%
家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある	997名	3.8%
趣味やレジャーの出費を減らした	11,031名	41.9%
冷暖房の使用を控えた	6,913名	26.2%
友人・知人との外食を控えた	6,995名	26.6%
敷金・保証金などを用意できないので、住み替え・転居を断念した	805名	3.1%
理髪店・美容院に行く回数を減らした	7,866名	29.9%
子ども部屋が欲しかったがつくれなかった	2,149名	8.2%
どれもあてはまらない	7,090名	26.9%
無回答	1,283名	4.9%



【中学生の保護者】

	大阪府全体	
	23,323名	100.0%
食費を切りつめた	9,418名	40.4%
電気・ガス・水道などが止められた	535名	2.3%
医療機関を受診できなかった	732名	3.1%
国民健康保険料の支払いが滞ったことがある	1,587名	6.8%
国民年金の支払いが滞ったことがある	1,952名	8.4%
金融機関などに借金をしたことがある	1,956名	8.4%
クレジットカードの利用が停止になったことがある	811名	3.5%
新しい衣服・靴を買うのを控えた	9,948名	42.7%
新聞や雑誌を買うのを控えた	5,816名	24.9%
スマートフォンへの切替・利用を断念した	1,793名	7.7%
冠婚葬祭のつきあいを控えた	970名	4.2%
生活の見通しがたたなくて不安になったことがある	4,747名	20.4%
鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした	3,867名	16.6%
電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある	1,118名	4.8%
家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある	998名	4.3%
趣味やレジャーの出費を減らした	10,630名	45.6%
冷暖房の使用を控えた	6,671名	28.6%
友人・知人との外食を控えた	6,593名	28.3%
敷金・保証金などを用意できないので、住み替え・転居を断念した	829名	3.6%
理髪店・美容院に行く回数を減らした	7,291名	31.3%
子ども部屋が欲しかったがつくれなかった	2,076名	8.9%
どれもあてはまらない	5,608名	24.0%
無回答	1,121名	4.8%



世帯の状況について

問７　経済的な理由による経験（はく奪指標）

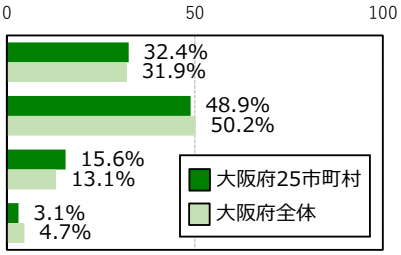
経済的な理由による経験について、はく奪指標でみると、保護者全体は、大阪府25市町村では、「１～６個に該当」が48.9％で最も多く、次いで「該当なし」が32.4％、「７個以上に該当」が15.6％となっている。大阪府全体では、「１～６個に該当」が50.2％で最も多く、次いで「該当なし」が31.9％、「７個以上に該当」が13.1％となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「１～６個に該当」が47.1％で最も多く、次いで「該当なし」が34.8％、「７個以上に該当」が14.9％となっている。大阪府全体では、「１～６個に該当」が49.5％で最も多く、次いで「該当なし」が33.7％、「７個以上に該当」が12.0％となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「１～６個に該当」が51.0％で最も多く、次いで「該当なし」が29.4％、「７個以上に該当」が16.2％となっている。大阪府全体では、「１～６個に該当」が51.1％で最も多く、次いで「該当なし」が29.9％、「７個以上に該当」が14.3％となっている。

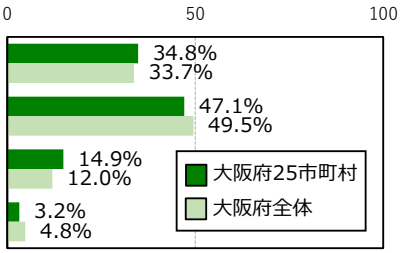
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
該当なし	795名	32.4%	13,812名	31.9%
１～６個に該当	1,201名	48.9%	21,747名	50.2%
７個以上に該当	382名	15.6%	5,688名	13.1%
無回答	77名	3.1%	2,053名	4.7%



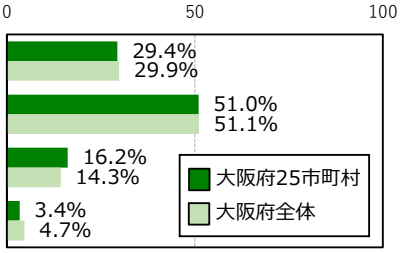
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
該当なし	408名	34.8%	7,672名	33.7%
１～６個に該当	553名	47.1%	11,270名	49.5%
７個以上に該当	175名	14.9%	2,742名	12.0%
無回答	37名	3.2%	1,102名	4.8%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
該当なし	308名	29.4%	5,789名	29.9%
１～６個に該当	533名	51.0%	9,888名	51.1%
７個以上に該当	169名	16.2%	2,775名	14.3%
無回答	36名	3.4%	913名	4.7%

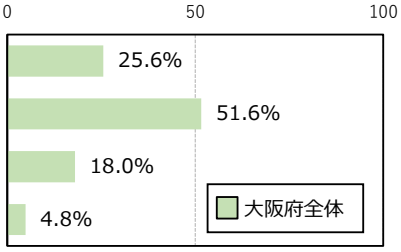


●2016年度　調査結果〔参考データ〕

大阪府全体を2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「該当なし」が6.3ポイント高いが、「７個以上に該当」が4.9ポイント低くなっている。
小学生の保護者は、「該当なし」が6.8ポイント高いが、「７個以上に該当」が4.8ポイント低くなっている。
中学生の保護者は、「該当なし」が5.9ポイント高いが、「７個以上に該当」が5.0ポイント低くなっている。

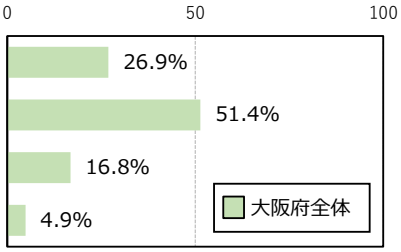
【保護者全体】

	大阪府全体	
	49,703名	100.0%
該当なし	12,707名	25.6%
１～６個に該当	25,649名	51.6%
７個以上に該当	8,938名	18.0%
無回答	2,409名	4.8%



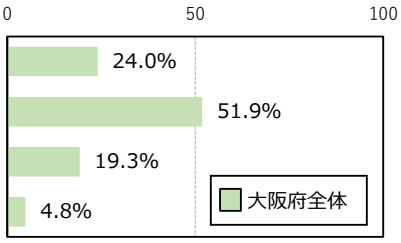
【小学生の保護者】

	大阪府全体	
	26,342名	100.0%
該当なし	7,090名	26.9%
１～６個に該当	13,535名	51.4%
７個以上に該当	4,434名	16.8%
無回答	1,283名	4.9%



【中学生の保護者】

	大阪府全体	
	23,323名	100.0%
該当なし	5,608名	24.0%
１～６個に該当	12,098名	51.9%
７個以上に該当	4,496名	19.3%
無回答	1,121名	4.8%



世帯の状況について

問８　お母さんの最終学歴

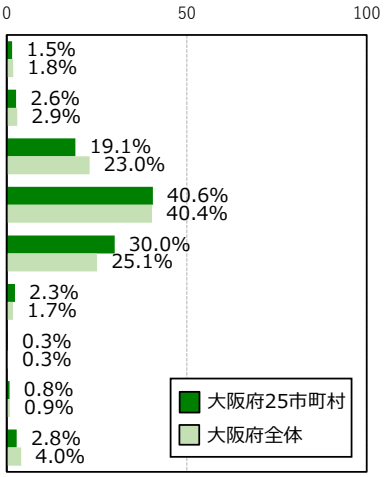
保護者全体は、大阪府25市町村では、「高専、短大、専門学校等卒業」が40.6％で最も多く、次いで「大学卒業」が30.0％、「高等学校卒業」が19.1％となっている。大阪府全体では、「高専、短大、専門学校等卒業」が40.4％で最も多く、次いで「大学卒業」が25.1％、「高等学校卒業」が23.0％となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「高専、短大、専門学校等卒業」が39.1％で最も多く、次いで「大学卒業」が32.1％、「高等学校卒業」が18.5％となっている。大阪府全体では、「高専、短大、専門学校等卒業」が39.0％で最も多く、次いで「大学卒業」が28.1％、「高等学校卒業」が21.4％となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「高専、短大、専門学校等卒業」が41.5％で最も多く、次いで「大学卒業」が28.0％、「高等学校卒業」が19.3％となっている。大阪府全体では、「高専、短大、専門学校等卒業」が41.9％で最も多く、次いで「高等学校卒業」が25.0％、「大学卒業」が21.3％となっている。

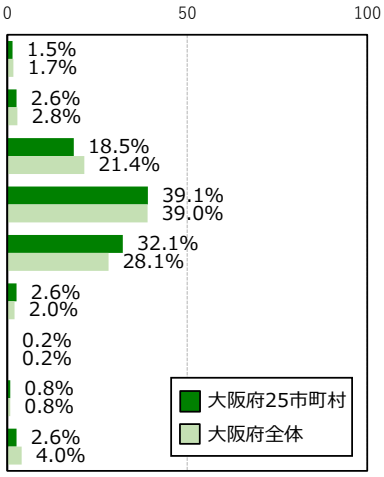
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	41,472名	100.0%
中学校卒業	38名	1.5%	729名	1.8%
高等学校中途退学	65名	2.6%	1,211名	2.9%
高等学校卒業	468名	19.1%	9,539名	23.0%
高専、短大、専門学校等卒業	996名	40.6%	16,755名	40.4%
大学卒業	736名	30.0%	10,392名	25.1%
大学院修了	56名	2.3%	703名	1.7%
その他の教育機関卒業	8名	0.3%	116名	0.3%
答えたくない	19名	0.8%	376名	0.9%
無回答	69名	2.8%	1,651名	4.0%



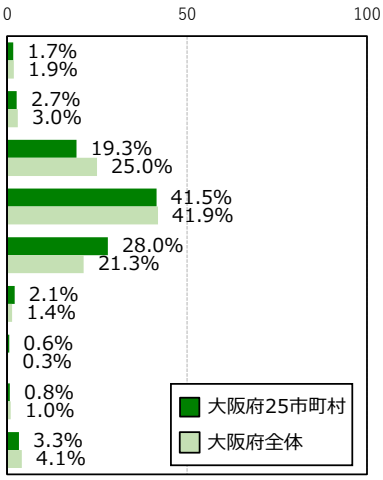
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	21,824名	100.0%
中学校卒業	18名	1.5%	365名	1.7%
高等学校中途退学	31名	2.6%	620名	2.8%
高等学校卒業	217名	18.5%	4,673名	21.4%
高専、短大、専門学校等卒業	459名	39.1%	8,501名	39.0%
大学卒業	377名	32.1%	6,142名	28.1%
大学院修了	30名	2.6%	433名	2.0%
その他の教育機関卒業	2名	0.2%	53名	0.2%
答えたくない	9名	0.8%	170名	0.8%
無回答	30名	2.6%	867名	4.0%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	18,499名	100.0%
中学校卒業	18名	1.7%	349名	1.9%
高等学校中途退学	28名	2.7%	560名	3.0%
高等学校卒業	202名	19.3%	4,623名	25.0%
高専、短大、専門学校等卒業	434名	41.5%	7,751名	41.9%
大学卒業	293名	28.0%	3,947名	21.3%
大学院修了	22名	2.1%	255名	1.4%
その他の教育機関卒業	6名	0.6%	60名	0.3%
答えたくない	8名	0.8%	194名	1.0%
無回答	35名	3.3%	760名	4.1%



世帯の状況について

問８　お父さんの最終学歴

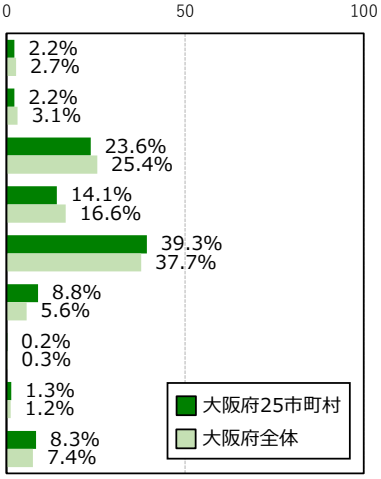
保護者全体は、大阪府25市町村では、「大学卒業」が39.3％で最も多く、次いで「高等学校卒業」が23.6％、「高専、短大、専門学校等卒業」が14.1％となっている。大阪府全体では、「大学卒業」が37.7％で最も多く、次いで「高等学校卒業」が25.4％、「高専、短大、専門学校等卒業」が16.6％となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「大学卒業」が41.0％で最も多く、次いで「高等学校卒業」が22.1％、「高専、短大、専門学校等卒業」が14.1％となっている。大阪府全体では、「大学卒業」が39.4％で最も多く、次いで「高等学校卒業」が23.7％、「高専、短大、専門学校等卒業」が16.6％となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「大学卒業」が37.2％で最も多く、次いで「高等学校卒業」が25.0％、「高専、短大、専門学校等卒業」が14.0％となっている。大阪府全体では、「大学卒業」が35.6％で最も多く、次いで「高等学校卒業」が27.6％、「高専、短大、専門学校等卒業」が16.7％となっている。

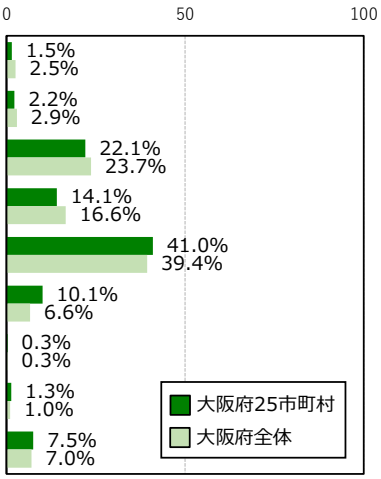
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	39,336名	100.0%
中学校卒業	53名	2.2%	1,048名	2.7%
高等学校中途退学	54名	2.2%	1,205名	3.1%
高等学校卒業	580名	23.6%	10,006名	25.4%
高専、短大、専門学校等卒業	347名	14.1%	6,549名	16.6%
大学卒業	965名	39.3%	14,832名	37.7%
大学院修了	217名	8.8%	2,219名	5.6%
その他の教育機関卒業	5名	0.2%	104名	0.3%
答えたくない	31名	1.3%	477名	1.2%
無回答	203名	8.3%	2,896名	7.4%



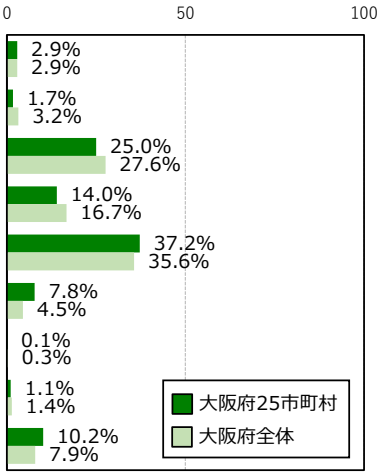
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	20,863名	100.0%
中学校卒業	18名	1.5%	524名	2.5%
高等学校中途退学	26名	2.2%	603名	2.9%
高等学校卒業	259名	22.1%	4,950名	23.7%
高専、短大、専門学校等卒業	165名	14.1%	3,468名	16.6%
大学卒業	481名	41.0%	8,211名	39.4%
大学院修了	118名	10.1%	1,384名	6.6%
その他の教育機関卒業	3名	0.3%	56名	0.3%
答えたくない	15名	1.3%	217名	1.0%
無回答	88名	7.5%	1,450名	7.0%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	17,324名	100.0%
中学校卒業	30名	2.9%	500名	2.9%
高等学校中途退学	18名	1.7%	561名	3.2%
高等学校卒業	261名	25.0%	4,775名	27.6%
高専、短大、専門学校等卒業	146名	14.0%	2,900名	16.7%
大学卒業	389名	37.2%	6,169名	35.6%
大学院修了	82名	7.8%	772名	4.5%
その他の教育機関卒業	1名	0.1%	45名	0.3%
答えたくない	12名	1.1%	235名	1.4%
無回答	107名	10.2%	1,367名	7.9%



世帯の状況について

問９　お母さんの有無

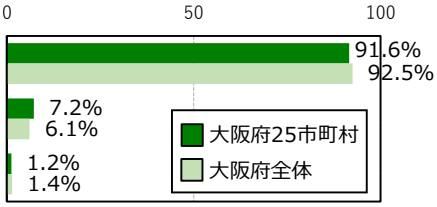
保護者全体は、大阪府25市町村では、「いる」が91.6%、「いない」が7.2%となっている。大阪府全体では、「いる」が92.5%、「いない」が6.1%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いる」が91.9%で、「いない」が7.1%となっている。大阪府全体では、「いる」が92.7%、「いない」が6.0%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いる」が91.3%で、「いない」が7.4%となっている。大阪府全体では、「いる」が92.3%、「いない」が6.2%となっている。

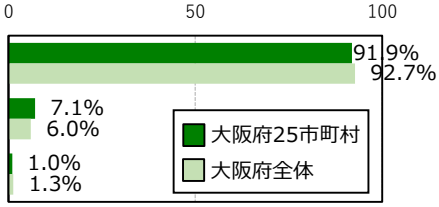
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	2,248名	91.6%	40,053名	92.5%
いない	177名	7.2%	2,634名	6.1%
無回答	30名	1.2%	613名	1.4%



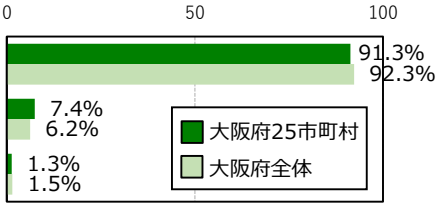
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	1,078名	91.9%	21,115名	92.7%
いない	83名	7.1%	1,368名	6.0%
無回答	12名	1.0%	303名	1.3%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	955名	91.3%	17,877名	92.3%
いない	77名	7.4%	1,192名	6.2%
無回答	14名	1.3%	296名	1.5%



世帯の状況について

問９　お母さんの就業状況

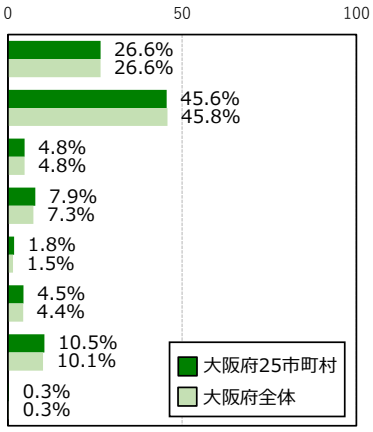
保護者全体は、大阪府25市町村では、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）」が45.6％で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」が26.6％、「仕事を探していない」が10.5％となっている。大阪府全体では、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）」が45.8％で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」が26.6％、「仕事を探していない」が10.1％となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）」が43.6％で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」が26.0％、「仕事を探していない」が13.0％となっている。大阪府全体では、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）」が43.7％で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」が27.0％、「仕事を探していない」が11.3％となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）」が47.5％で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」が27.3％、「自営業・家業」が8.4％となっている。大阪府全体では、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）」が48.1％で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」が26.1％、「仕事を探していない」が8.8％となっている。

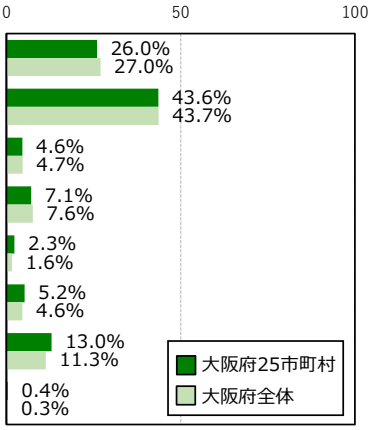
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,248名	100.0%	40,053名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	599名	26.6%	10,673名	26.6%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	1,025名	45.6%	18,336名	45.8%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	108名	4.8%	1,932名	4.8%
自営業・家業	177名	7.9%	2,943名	7.3%
その他の就業形態	41名	1.8%	592名	1.5%
仕事を探している	101名	4.5%	1,761名	4.4%
仕事を探していない	235名	10.5%	4,027名	10.1%
無回答	6名	0.3%	111名	0.3%



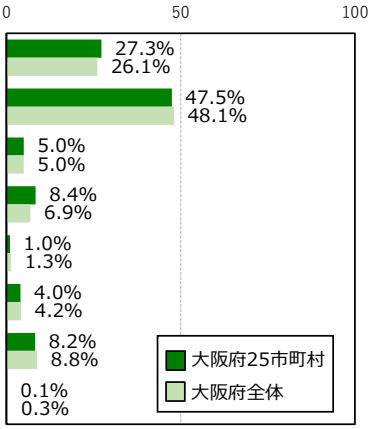
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,078名	100.0%	21,115名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	280名	26.0%	5,704名	27.0%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	470名	43.6%	9,234名	43.7%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	50名	4.6%	999名	4.7%
自営業・家業	77名	7.1%	1,615名	7.6%
その他の就業形態	25名	2.3%	339名	1.6%
仕事を探している	56名	5.2%	971名	4.6%
仕事を探していない	140名	13.0%	2,381名	11.3%
無回答	4名	0.4%	54名	0.3%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	955名	100.0%	17,877名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	261名	27.3%	4,670名	26.1%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	454名	47.5%	8,596名	48.1%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	48名	5.0%	895名	5.0%
自営業・家業	80名	8.4%	1,237名	6.9%
その他の就業形態	10名	1.0%	235名	1.3%
仕事を探している	38名	4.0%	744名	4.2%
仕事を探していない	78名	8.2%	1,570名	8.8%
無回答	1名	0.1%	51名	0.3%

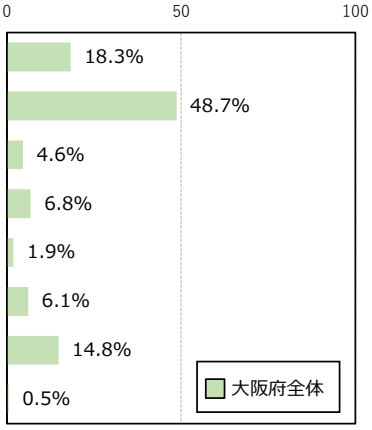


●2016年度　調査結果〔参考データ〕

大阪府全体を2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「勤め（常勤・正規職員）」が8.3ポイント高くなっている。
小学生の保護者は、「勤め（常勤・正規職員）」が9.0ポイント高くなっている。
中学生の保護者は、「勤め（常勤・正規職員）」が7.5ポイント高くなっている。

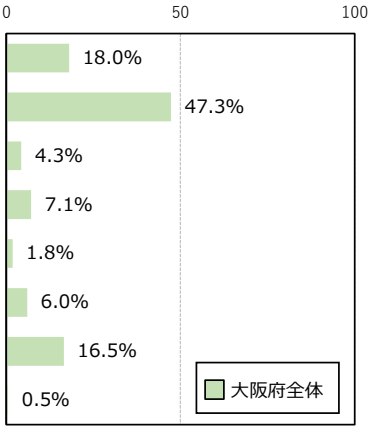
【保護者全体】

	大阪府全体	
	46,466名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	8,505名	18.3%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	22,634名	48.7%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	2,138名	4.6%
自営業・家業	3,162名	6.8%
その他の就業形態	861名	1.9%
仕事を探している	2,825名	6.1%
仕事を探していない	6,870名	14.8%
無回答	220名	0.5%



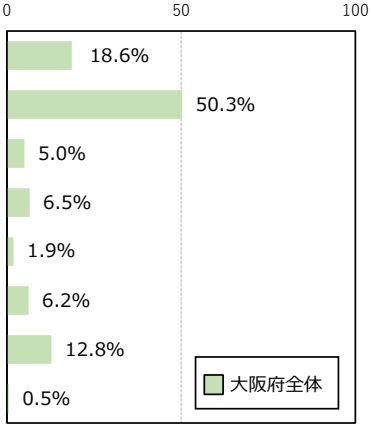
【小学生の保護者】

	大阪府全体	
	24,698名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	4,449名	18.0%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	11,693名	47.3%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	1,060名	4.3%
自営業・家業	1,742名	7.1%
その他の就業形態	446名	1.8%
仕事を探している	1,479名	6.0%
仕事を探していない	4,084名	16.5%
無回答	116名	0.5%



【中学生の保護者】

	大阪府全体	
	21,737名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	4,053名	18.6%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	10,927名	50.3%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	1,076名	5.0%
自営業・家業	1,419名	6.5%
その他の就業形態	414名	1.9%
仕事を探している	1,344名	6.2%
仕事を探していない	2,778名	12.8%
無回答	104名	0.5%



世帯の状況について

問９　お母さんが仕事を探していない理由

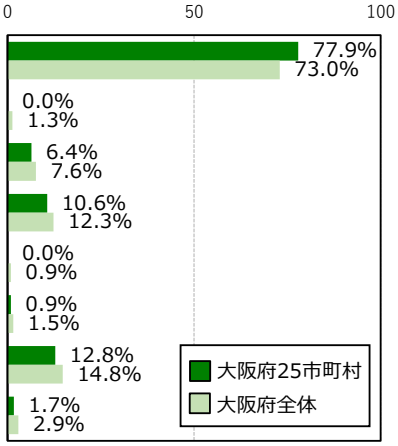
保護者全体は、大阪府25市町村では、「家事や育児に専念したいため」が77.9％で最も多く、次いで「病気療養のため」が10.6％、「おうちの人の介護や介助のため」が6.4％となっている。大阪府全体では、「家事や育児に専念したいため」が73.0％で最も多く、次いで「病気療養のため」が12.3％、「おうちの人の介護や介助のため」が7.6％となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「家事や育児に専念したいため」が82.9％で最も多く、次いで「病気療養のため」が10.0％、「おうちの人の介護や介助のため」が5.0％となっている。大阪府全体では、「家事や育児に専念したいため」が76.4％で最も多く、次いで「病気療養のため」が10.6％、「おうちの人の介護や介助のため」が6.7％となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「家事や育児に専念したいため」が69.2％で最も多く、次いで「病気療養のため」が12.8％、「おうちの人の介護や介助のため」が7.7％となっている。大阪府全体では、「家事や育児に専念したいため」が67.8％で最も多く、次いで「病気療養のため」が14.8％、「おうちの人の介護や介助のため」が9.0％となっている。

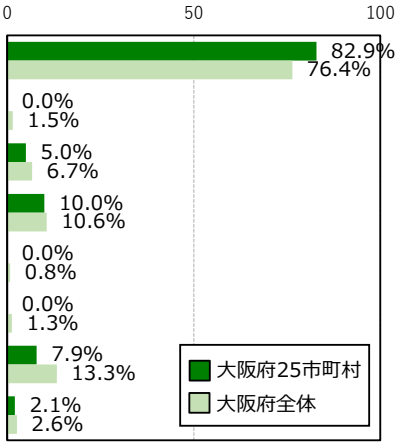
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	235名	100.0%	4,027名	100.0%
家事や育児に専念したいため	183名	77.9%	2,939名	73.0%
学生のため	－	－	51名	1.3%
おうちの人の介護や介助のため	15名	6.4%	307名	7.6%
病気療養のため	25名	10.6%	496名	12.3%
年金収入があるため	－	－	35名	0.9%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	2名	0.9%	62名	1.5%
その他	30名	12.8%	595名	14.8%
無回答	4名	1.7%	115名	2.9%



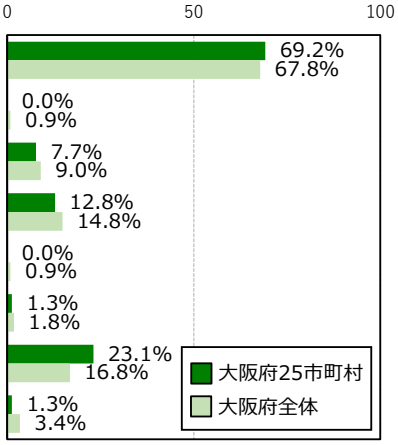
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	140名	100.0%	2,381名	100.0%
家事や育児に専念したいため	116名	82.9%	1,820名	76.4%
学生のため	－	－	36名	1.5%
おうちの人の介護や介助のため	7名	5.0%	160名	6.7%
病気療養のため	14名	10.0%	252名	10.6%
年金収入があるため	－	－	20名	0.8%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	－	－	32名	1.3%
その他	11名	7.9%	317名	13.3%
無回答	3名	2.1%	61名	2.6%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	78名	100.0%	1,570名	100.0%
家事や育児に専念したいため	54名	69.2%	1,064名	67.8%
学生のため	－	－	14名	0.9%
おうちの人の介護や介助のため	6名	7.7%	141名	9.0%
病気療養のため	10名	12.8%	232名	14.8%
年金収入があるため	－	－	14名	0.9%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	1名	1.3%	29名	1.8%
その他	18名	23.1%	263名	16.8%
無回答	1名	1.3%	54名	3.4%



世帯の状況について

問９　お父さんの有無

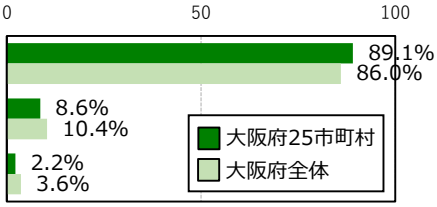
保護者全体は、大阪府25市町村では、「いる」が89.1%、「いない」が8.6%となっている。大阪府全体では、「いる」が86.0%、「いない」が10.4%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いる」が91.1%で、「いない」が7.1%となっている。大阪府全体では、「いる」が87.3%、「いない」が9.4%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いる」が86.4%で、「いない」が11.0%となっている。大阪府全体では、「いる」が84.4%、「いない」が11.7%となっている。

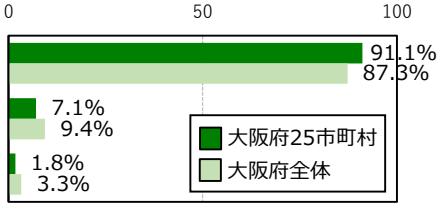
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	2,188名	89.1%	37,256名	86.0%
いない	212名	8.6%	4,504名	10.4%
無回答	55名	2.2%	1,540名	3.6%



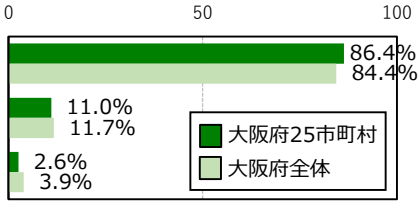
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	1,069名	91.1%	19,882名	87.3%
いない	83名	7.1%	2,149名	9.4%
無回答	21名	1.8%	755名	3.3%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	904名	86.4%	16,352名	84.4%
いない	115名	11.0%	2,261名	11.7%
無回答	27名	2.6%	752名	3.9%



世帯の状況について

問９　お父さんの就業状況

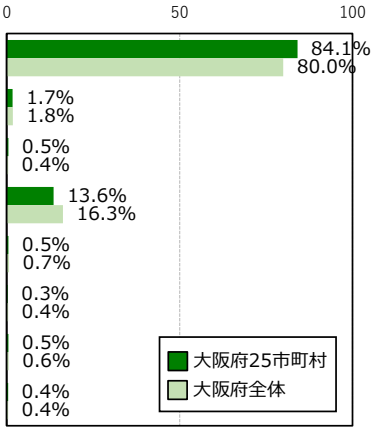
保護者全体は、大阪府25市町村では、「勤め（常勤・正規職員）」が84.1％で最も多く、次いで「自営業・家業」が13.6％、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）」が1.7％となっている。大阪府全体では、「勤め（常勤・正規職員）」が80.0％で最も多く、次いで「自営業・家業」が16.3％、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）」が1.8％となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「勤め（常勤・正規職員）」が84.5％で最も多く、次いで「自営業・家業」が13.3％、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）」が1.5％となっている。大阪府全体では、「勤め（常勤・正規職員）」が80.2％で最も多く、次いで「自営業・家業」が16.3％、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）」が1.6％となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「勤め（常勤・正規職員）」が84.0％で最も多く、次いで「自営業・家業」が13.5％、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）」が2.0％となっている。大阪府全体では、「勤め（常勤・正規職員）」が79.4％で最も多く、次いで「自営業・家業」が16.4％、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）」が2.0％となっている。

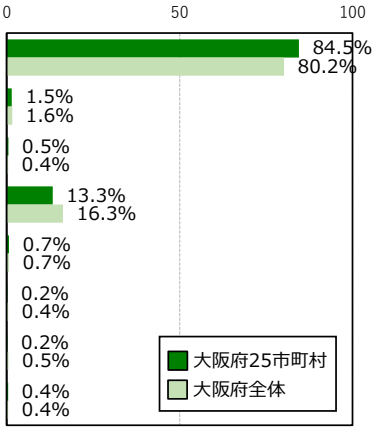
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,188名	100.0%	37,256名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	1,840名	84.1%	29,790名	80.0%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	38名	1.7%	660名	1.8%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	11名	0.5%	161名	0.4%
自営業・家業	298名	13.6%	6,063名	16.3%
その他の就業形態	12名	0.5%	258名	0.7%
仕事を探している	6名	0.3%	154名	0.4%
仕事を探していない	10名	0.5%	206名	0.6%
無回答	8名	0.4%	163名	0.4%



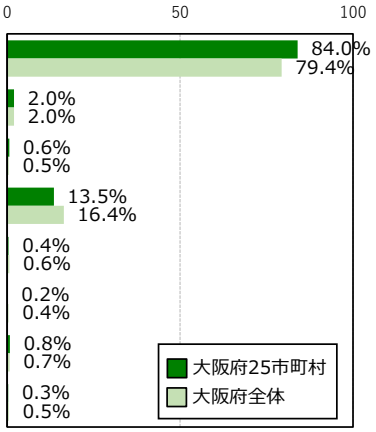
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,069名	100.0%	19,882名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	903名	84.5%	15,955名	80.2%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	16名	1.5%	324名	1.6%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	5名	0.5%	80名	0.4%
自営業・家業	142名	13.3%	3,232名	16.3%
その他の就業形態	7名	0.7%	143名	0.7%
仕事を探している	2名	0.2%	80名	0.4%
仕事を探していない	2名	0.2%	95名	0.5%
無回答	4名	0.4%	77名	0.4%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	904名	100.0%	16,352名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	759名	84.0%	12,988名	79.4%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	18名	2.0%	323名	2.0%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	5名	0.6%	79名	0.5%
自営業・家業	122名	13.5%	2,675名	16.4%
その他の就業形態	4名	0.4%	106名	0.6%
仕事を探している	2名	0.2%	72名	0.4%
仕事を探していない	7名	0.8%	109名	0.7%
無回答	3名	0.3%	82名	0.5%

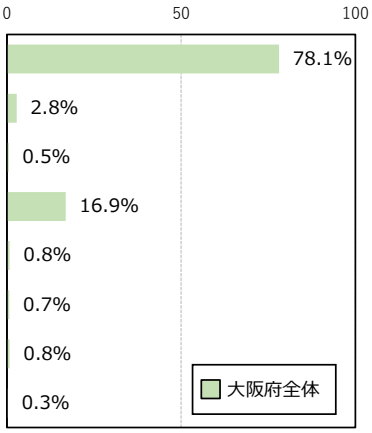


●2016年度　調査結果〔参考データ〕

大阪府全体を2016年度調査と比較しても、いずれも大きな差はみられない。

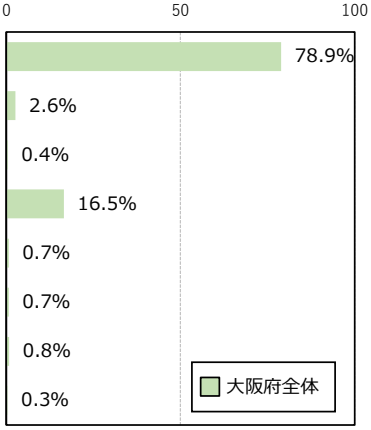
【保護者全体】

	大阪府全体	
	41,890名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	32,731名	78.1%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	1,162名	2.8%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	195名	0.5%
自営業・家業	7,077名	16.9%
その他の就業形態	327名	0.8%
仕事を探している	303名	0.7%
仕事を探していない	347名	0.8%
無回答	139名	0.3%



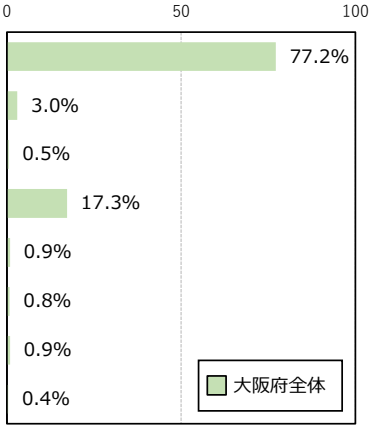
【小学生の保護者】

	大阪府全体	
	22,633名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	17,856名	78.9%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	589名	2.6%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	96名	0.4%
自営業・家業	3,740名	16.5%
その他の就業形態	159名	0.7%
仕事を探している	156名	0.7%
仕事を探していない	177名	0.8%
無回答	65名	0.3%



【中学生の保護者】

	大阪府全体	
	19,230名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	14,852名	77.2%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	571名	3.0%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	99名	0.5%
自営業・家業	3,334名	17.3%
その他の就業形態	168名	0.9%
仕事を探している	147名	0.8%
仕事を探していない	170名	0.9%
無回答	74名	0.4%



世帯の状況について

問９　お父さんが仕事を探していない理由

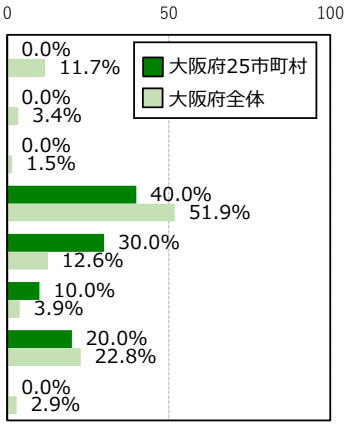
保護者全体は、大阪府25市町村では、「病気療養のため」が40.0％(4名) で最も多く、次いで「年金収入があるため」が30.0％(3名)、「家賃収入、株式運用などの収入があるため」が10.0％(1名)となっている。大阪府全体では、「病気療養のため」が51.9％で最も多く、次いで「年金収入があるため」が12.6％、「家事や育児に専念したいため」が11.7％となっている。

小学生の保護者は、大阪府全体では、「病気療養のため」が57.9％で最も多く、次いで「家事や育児に専念したいため」が11.6％、「年金収入があるため」が10.5％となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「病気療養のため」と「年金収入があるため」がそれぞれ42.9％(3名)で最も多く、次いで「家賃収入、株式運用などの収入があるため」が14.3％(1名)となっている。大阪府全体では、「病気療養のため」が46.8％で最も多く、次いで「年金収入があるため」が14.7％、「家事や育児に専念したいため」が11.9％となっている。

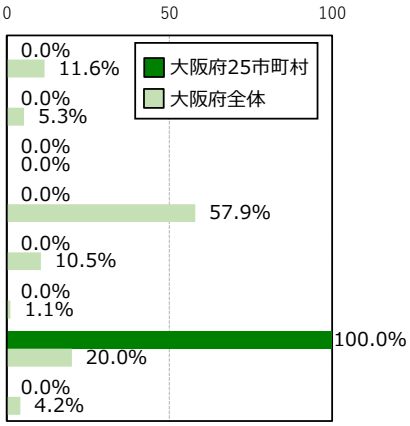
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	10名	100.0%	206名	100.0%
家事や育児に専念したいため	－	－	24名	11.7%
学生のため	－	－	7名	3.4%
おうちの人の介護や介助のため	－	－	3名	1.5%
病気療養のため	4名	40.0%	107名	51.9%
年金収入があるため	3名	30.0%	26名	12.6%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	1名	10.0%	8名	3.9%
その他	2名	20.0%	47名	22.8%
無回答	－	－	6名	2.9%



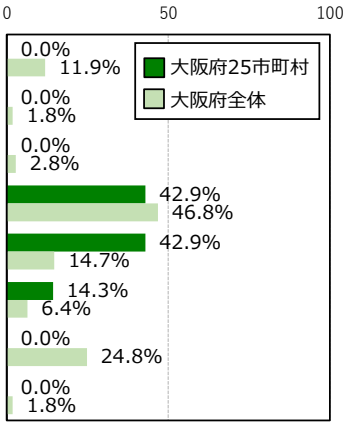
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2名	100.0%	95名	100.0%
家事や育児に専念したいため	－	－	11名	11.6%
学生のため	－	－	5名	5.3%
おうちの人の介護や介助のため	－	－	－	－
病気療養のため	－	－	55名	57.9%
年金収入があるため	－	－	10名	10.5%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	－	－	1名	1.1%
その他	2名	100.0%	19名	20.0%
無回答	－	－	4名	4.2%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	7名	100.0%	109名	100.0%
家事や育児に専念したいため	－	－	13名	11.9%
学生のため	－	－	2名	1.8%
おうちの人の介護や介助のため	－	－	3名	2.8%
病気療養のため	3名	42.9%	51名	46.8%
年金収入があるため	3名	42.9%	16名	14.7%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	1名	14.3%	7名	6.4%
その他	－	－	27名	24.8%
無回答	－	－	2名	1.8%



世帯の状況について

問９　親以外に主として家計を支えている人の有無

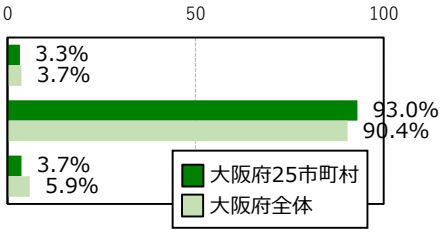
保護者全体は、大阪府25市町村では、「いる」が3.3%、「いない」が93.0%となっている。大阪府全体では、「いる」が3.7%、「いない」が90.4%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いる」が3.8%、「いない」が93.2%となっている。大阪府全体では、「いる」が3.7%、「いない」が90.7%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いる」が2.9%、「いない」が93.1%となっている。大阪府全体では、「いる」が3.7%、「いない」が90.0%となっている。

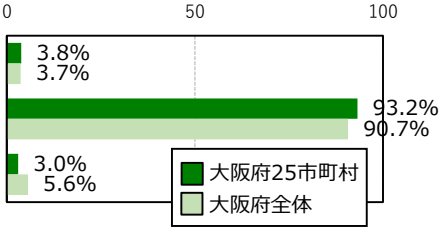
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	82名	3.3%	1,611名	3.7%
いない	2,282名	93.0%	39,140名	90.4%
無回答	91名	3.7%	2,549名	5.9%



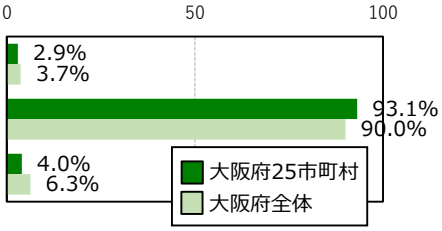
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	45名	3.8%	854名	3.7%
いない	1,093名	93.2%	20,666名	90.7%
無回答	35名	3.0%	1,266名	5.6%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	30名	2.9%	718名	3.7%
いない	974名	93.1%	17,432名	90.0%
無回答	42名	4.0%	1,215名	6.3%



世帯の状況について

問９　親以外に主として家計を支えている人の就業状況

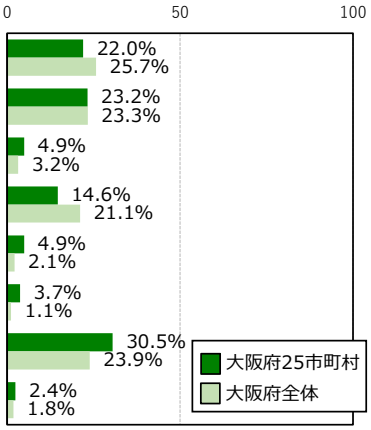
保護者全体は、大阪府25市町村では、「仕事を探していない」が30.5%で最も多く、次いで「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）」が23.2%、「勤め（常勤・正規職員）」が22.0%、「自営業・家業」が14.6%となっている。大阪府全体では、「勤め（常勤・正規職員）」が25.7%で最も多く、次いで「仕事を探していない」が23.9%、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）」が23.3%、「自営業・家業」が21.1%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「勤め（常勤・正規職員）」と「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）」がそれぞれ26.7%で最も多く、次いで「仕事を探していない」が24.4%、「自営業・家業」が17.8%となっている。大阪府全体では、「勤め（常勤・正規職員）」が28.0%で最も多く、次いで「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）」が23.2%、「仕事を探していない」が21.9%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「仕事を探していない」が40.0%で最も多く、次いで「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）」が23.3%、「自営業・家業」が13.3%となっている。大阪府全体では、「仕事を探していない」が26.2%で最も多く、次いで「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）」が23.4%、「勤め（常勤・正規職員）」が23.0%となっている。

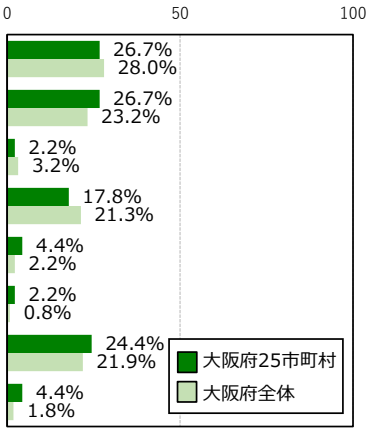
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	82名	100.0%	1,611名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	18名	22.0%	414名	25.7%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	19名	23.2%	375名	23.3%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	4名	4.9%	51名	3.2%
自営業・家業	12名	14.6%	340名	21.1%
その他の就業形態	4名	4.9%	34名	2.1%
仕事を探している	3名	3.7%	18名	1.1%
仕事を探していない	25名	30.5%	385名	23.9%
無回答	2名	2.4%	29名	1.8%



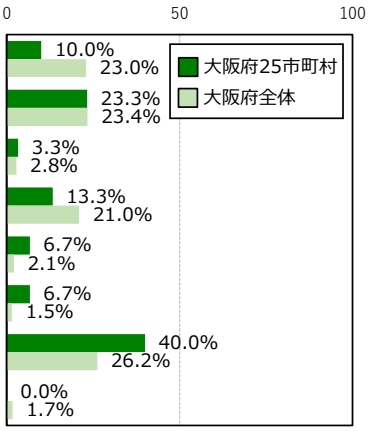
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	45名	100.0%	854名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	12名	26.7%	239名	28.0%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	12名	26.7%	198名	23.2%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	1名	2.2%	27名	3.2%
自営業・家業	8名	17.8%	182名	21.3%
その他の就業形態	2名	4.4%	19名	2.2%
仕事を探している	1名	2.2%	7名	0.8%
仕事を探していない	11名	24.4%	187名	21.9%
無回答	2名	4.4%	15名	1.8%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	30名	100.0%	718名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	3名	10.0%	165名	23.0%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	7名	23.3%	168名	23.4%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	1名	3.3%	20名	2.8%
自営業・家業	4名	13.3%	151名	21.0%
その他の就業形態	2名	6.7%	15名	2.1%
仕事を探している	2名	6.7%	11名	1.5%
仕事を探していない	12名	40.0%	188名	26.2%
無回答	－	－	12名	1.7%

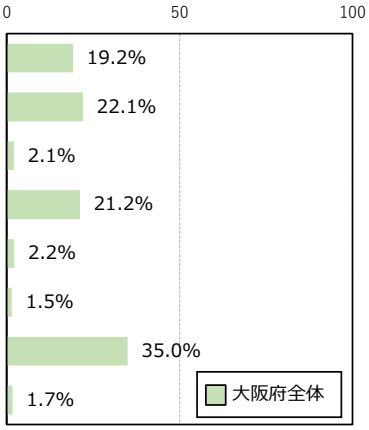


●2016年度　調査結果〔参考データ〕

大阪府全体を2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「勤め（常勤・正規職員）」が6.7ポイント高く、「仕事を探していない」が11.3ポイント低くなっている。
小学生の保護者は、「勤め（常勤・正規職員）」が7.2ポイント高く、「仕事を探していない」が11.4ポイント低くなっている。
中学生の保護者は、「勤め（常勤・正規職員）」が5.8ポイント高く、「仕事を探していない」が10.6ポイント低くなっている。

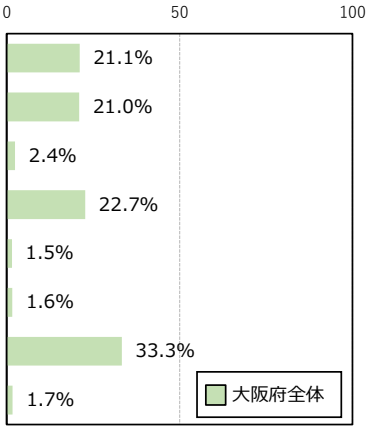
【保護者全体】

	大阪府全体	
	2,960名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	567名	19.2%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	654名	22.1%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	63名	2.1%
自営業・家業	628名	21.2%
その他の就業形態	66名	2.2%
仕事を探している	43名	1.5%
仕事を探していない	1,036名	35.0%
無回答	49名	1.7%



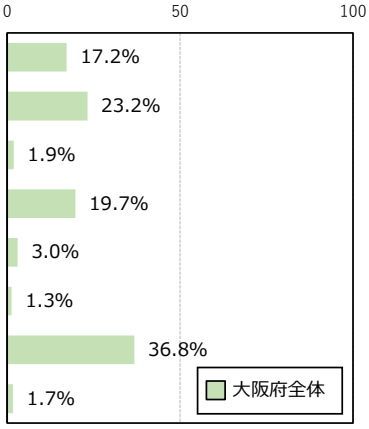
【小学生の保護者】

	大阪府全体	
	1,509名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	318名	21.1%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	317名	21.0%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	36名	2.4%
自営業・家業	343名	22.7%
その他の就業形態	22名	1.5%
仕事を探している	24名	1.6%
仕事を探していない	502名	33.3%
無回答	25名	1.7%



【中学生の保護者】

	大阪府全体	
	1,450名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	249名	17.2%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	337名	23.2%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	27名	1.9%
自営業・家業	285名	19.7%
その他の就業形態	43名	3.0%
仕事を探している	19名	1.3%
仕事を探していない	534名	36.8%
無回答	24名	1.7%



世帯の状況について

問９　親以外に主として家計を支えている人が仕事を探していない理由

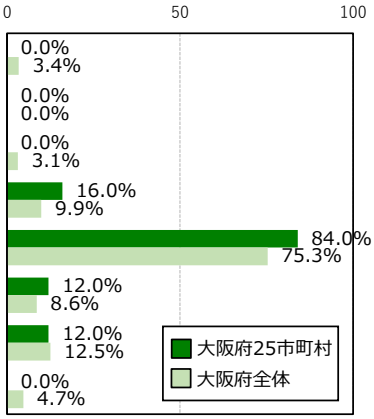
保護者全体は、大阪府25市町村では、「年金収入があるため」が84.0%(21名)で最も多く、次いで「病気療養のため」が16.0%(4名)、「家賃収入、株式運用などの収入があるため」が12.0%(3名)となっている。大阪府全体では、「年金収入があるため」が75.3%で最も多く、次いで「病気療養のため」が9.9%、「家賃収入、株式運用などの収入があるため」が8.6%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「年金収入があるため」が81.8%(9名)で最も多く、次いで「病気療養のため」が27.3%(3名)、「家賃収入、株式運用などの収入があるため」が18.2%(2名)となっている。大阪府全体では、「年金収入があるため」が75.9%で最も多く、次いで「家賃収入、株式運用などの収入があるため」が11.2%、「病気療養のため」が8.0%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「年金収入があるため」が83.3%(10名)で最も多く、次いで「病気療養のため」が8.3%(1名)となっている。大阪府全体では、「年金収入があるため」が75.0%で最も多く、次いで「病気療養のため」が12.2%、「家賃収入、株式運用などの収入があるため」が5.3%となっている。

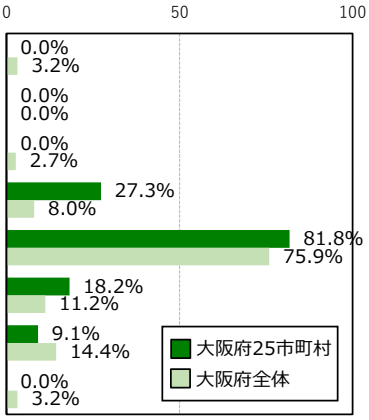
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	25名	100.0%	385名	100.0%
家事や育児に専念したいため	-	-	13名	3.4%
学生のため	-	-	-	-
おうちの人の介護や介助のため	-	-	12名	3.1%
病気療養のため	4名	16.0%	38名	9.9%
年金収入があるため	21名	84.0%	290名	75.3%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	3名	12.0%	33名	8.6%
その他	3名	12.0%	48名	12.5%
無回答	-	-	18名	4.7%



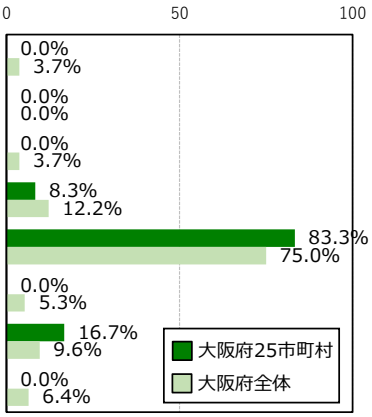
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	11名	100.0%	187名	100.0%
家事や育児に専念したいため	-	-	6名	3.2%
学生のため	-	-	-	-
おうちの人の介護や介助のため	-	-	5名	2.7%
病気療養のため	3名	27.3%	15名	8.0%
年金収入があるため	9名	81.8%	142名	75.9%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	2名	18.2%	21名	11.2%
その他	1名	9.1%	27名	14.4%
無回答	-	-	6名	3.2%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	12名	100.0%	188名	100.0%
家事や育児に専念したいため	-	-	7名	3.7%
学生のため	-	-	-	-
おうちの人の介護や介助のため	-	-	7名	3.7%
病気療養のため	1名	8.3%	23名	12.2%
年金収入があるため	10名	83.3%	141名	75.0%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	-	-	10名	5.3%
その他	2名	16.7%	18名	9.6%
無回答	-	-	12名	6.4%



世帯の状況について

問10　保護者が家にいる時間帯

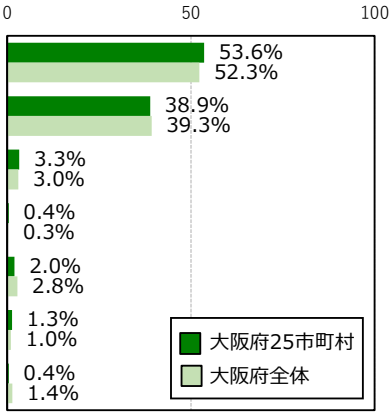
保護者全体は、大阪府25市町村では、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が53.6%で最も多く、次いで「お子さんの夕食時間には家にいる」が38.9%、「お子さんの寝る時間には家にいる」が3.3%となっている。大阪府全体では、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が52.3%で最も多く、次いで「お子さんの夕食時間には家にいる」が39.3%、「お子さんの寝る時間には家にいる」が3.0%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が56.4%で最も多く、次いで「お子さんの夕食時間には家にいる」が37.9%、「お子さんの寝る時間には家にいる」が2.0%となっている。大阪府全体では、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が54.5%で最も多く、次いで「お子さんの夕食時間には家にいる」が38.6%、「帰宅時間が決まっていない」が2.2%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が51.3%で最も多く、次いで「お子さんの夕食時間には家にいる」が39.9%、「お子さんの寝る時間には家にいる」が4.3%となっている。大阪府全体では、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が50.0%で最も多く、次いで「お子さんの夕食時間には家にいる」が40.0%、「お子さんの寝る時間には家にいる」が3.9%となっている。

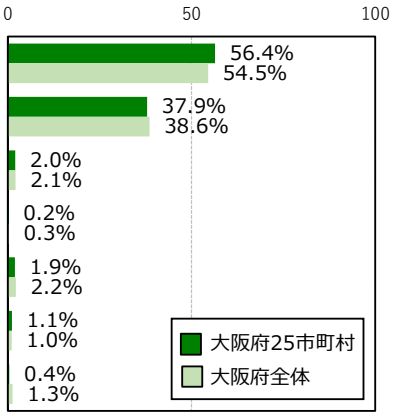
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる	1,316名	53.6%	22,638名	52.3%
お子さんの夕食時間には家にいる	956名	38.9%	17,029名	39.3%
お子さんの寝る時間には家にいる	80名	3.3%	1,283名	3.0%
お子さんが寝た後に帰ってくる	9名	0.4%	129名	0.3%
帰宅時間が決まっていない	50名	2.0%	1,212名	2.8%
その他	33名	1.3%	416名	1.0%
無回答	11名	0.4%	593名	1.4%



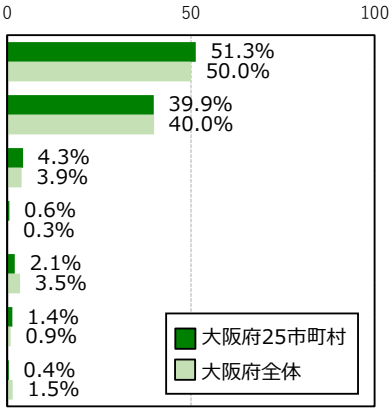
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる	662名	56.4%	12,408名	54.5%
お子さんの夕食時間には家にいる	445名	37.9%	8,796名	38.6%
お子さんの寝る時間には家にいる	24名	2.0%	489名	2.1%
お子さんが寝た後に帰ってくる	2名	0.2%	66名	0.3%
帰宅時間が決まっていない	22名	1.9%	505名	2.2%
その他	13名	1.1%	222名	1.0%
無回答	5名	0.4%	300名	1.3%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる	537名	51.3%	9,674名	50.0%
お子さんの夕食時間には家にいる	417名	39.9%	7,739名	40.0%
お子さんの寝る時間には家にいる	45名	4.3%	747名	3.9%
お子さんが寝た後に帰ってくる	6名	0.6%	61名	0.3%
帰宅時間が決まっていない	22名	2.1%	676名	3.5%
その他	15名	1.4%	182名	0.9%
無回答	4名	0.4%	286名	1.5%



世帯の状況について

問11　日本語以外の言語の使用状況

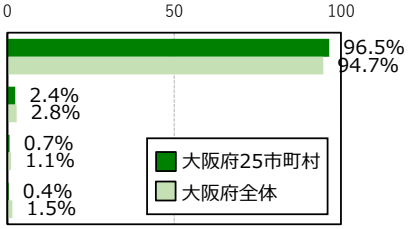
保護者全体は、大阪府25市町村では、「日本語のみを使用している」が96.5%で最も多く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が2.4%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が0.7%となっている。大阪府全体では、「日本語のみを使用している」が94.7%で最も多く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が2.8%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が1.1%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「日本語のみを使用している」が97.1%で最も多く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が2.2%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が0.4%となっている。大阪府全体では、「日本語のみを使用している」が94.2%で最も多く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が3.2%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が1.2%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「日本語のみを使用している」が95.8%で最も多く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が2.9%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が0.9%となっている。大阪府全体では、「日本語のみを使用している」が95.2%で最も多く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が2.3%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が1.0%となっている。

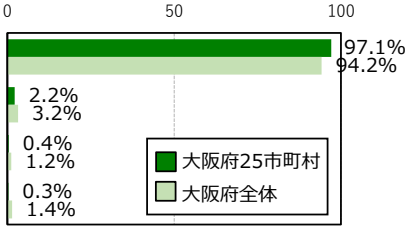
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
日本語のみを使用している	2,368名	96.5%	40,991名	94.7%
日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	60名	2.4%	1,201名	2.8%
日本語以外の言語を使うことが多い	17名	0.7%	476名	1.1%
無回答	10名	0.4%	632名	1.5%



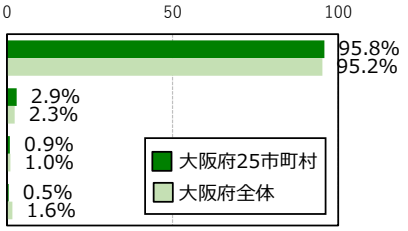
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
日本語のみを使用している	1,139名	97.1%	21,457名	94.2%
日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	26名	2.2%	729名	3.2%
日本語以外の言語を使うことが多い	5名	0.4%	280名	1.2%
無回答	3名	0.3%	320名	1.4%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
日本語のみを使用している	1,002名	95.8%	18,426名	95.2%
日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	30名	2.9%	446名	2.3%
日本語以外の言語を使うことが多い	9名	0.9%	188名	1.0%
無回答	5名	0.5%	305名	1.6%



子どもに関することについて

問12　経済的な理由による子どもに関する経験

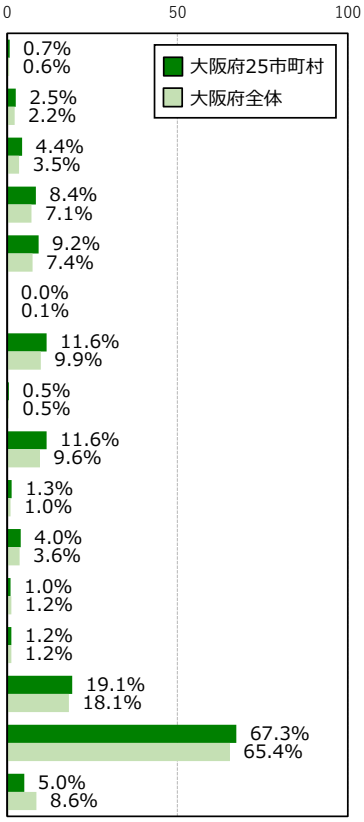
保護者全体は、大阪府25市町村では、「どれにもあてはまらない」が67.3%で最も多く、次いで「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が19.1%、「お子さんを習い事に通わすことができなかった」と「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」がそれぞれ11.6%となっている。大阪府全体では、「どれにもあてはまらない」が65.4%で最も多く、次いで「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が18.1%、「お子さんを習い事に通わすことができなかった」が9.9%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「どれにもあてはまらない」が69.1%で最も多いが、経験がある人では「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が17.7%で最も多く、次いで「お子さんを習い事に通わすことができなかった」が10.5%、「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」が10.3%となっている。大阪府全体では、「どれにもあてはまらない」が67.4%で最も多く、次いで「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が16.2%、「お子さんを習い事に通わすことができなかった」が9.5%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「どれにもあてはまらない」が65.0%で最も多いが、経験がある人では「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が20.8%で最も多く、次いで「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」が13.9%、「お子さんを習い事に通わすことができなかった」が13.1%となっている。大阪府全体では、「どれにもあてはまらない」が63.1%で最も多く、次いで「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が20.2%、「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」が10.6%となっている。

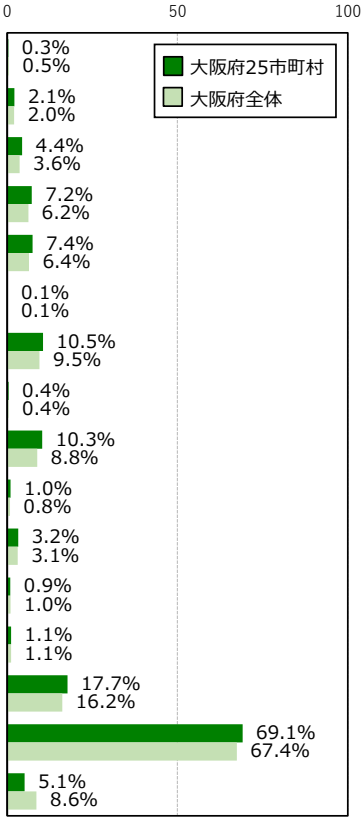
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,358名	100.0%
お子さんを医療機関に受診させることができなかった	16名	0.7%	264名	0.6%
お子さんの進路を変更した	62名	2.5%	953名	2.2%
お子さんのための本や絵本が買えなかった	107名	4.4%	1,509名	3.5%
お子さんにおこづかいを渡すことができなかった	207名	8.4%	3,090名	7.1%
お子さんに新しい服や靴を買うことができなかった	225名	9.2%	3,199名	7.4%
お子さんを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	1名	0.0%	47名	0.1%
お子さんを習い事に通わすことができなかった	284名	11.6%	4,308名	9.9%
お子さんを学校のクラブ活動・部活動に参加させられなかった	13名	0.5%	197名	0.5%
お子さんを学習塾に通わせることができなかった	285名	11.6%	4,184名	9.6%
お子さんの誕生日を祝えなかった	32名	1.3%	425名	1.0%
お子さんにお年玉をあげることができなかった	98名	4.0%	1,542名	3.6%
お子さんの学校行事などに参加することができなかった	25名	1.0%	540名	1.2%
子ども会、地域の行事(祭りなど)の活動に参加することができなかった	29名	1.2%	519名	1.2%
家族旅行(ﾃｰﾏﾊﾟｰｸなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった	470名	19.1%	7,844名	18.1%
どれにもあてはまらない	1,653名	67.3%	28,369名	65.4%
無回答	123名	5.0%	3,728名	8.6%



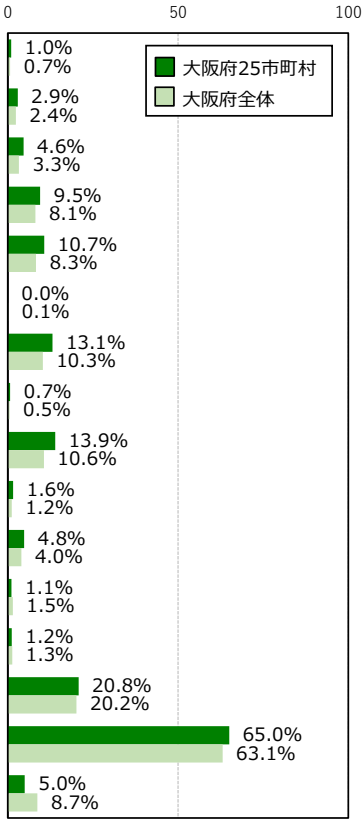
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,819名	100.0%
お子さんを医療機関に受診させることができなかった	4名	0.3%	122名	0.5%
お子さんの進路を変更した	25名	2.1%	456名	2.0%
お子さんのための本や絵本が買えなかった	52名	4.4%	817名	3.6%
お子さんにおこづかいを渡すことができなかった	85名	7.2%	1,413名	6.2%
お子さんに新しい服や靴を買うことができなかった	87名	7.4%	1,464名	6.4%
お子さんを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	1名	0.1%	24名	0.1%
お子さんを習い事に通わすことができなかった	123名	10.5%	2,175名	9.5%
お子さんを学校のクラブ活動・部活動に参加させられなかった	5名	0.4%	96名	0.4%
お子さんを学習塾に通わせることができなかった	121名	10.3%	2,006名	8.8%
お子さんの誕生日を祝えなかった	12名	1.0%	180名	0.8%
お子さんにお年玉をあげることができなかった	38名	3.2%	718名	3.1%
お子さんの学校行事などに参加することができなかった	10名	0.9%	239名	1.0%
子ども会、地域の行事(祭りなど)の活動に参加することができなかった	13名	1.1%	245名	1.1%
家族旅行(ﾃｰﾏﾊﾟｰｸなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった	208名	17.7%	3,694名	16.2%
どれにもあてはまらない	811名	69.1%	15,385名	67.4%
無回答	60名	5.1%	1,971名	8.6%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,390名	100.0%
お子さんを医療機関に受診させることができなかった	10名	1.0%	135名	0.7%
お子さんの進路を変更した	30名	2.9%	472名	2.4%
お子さんのための本や絵本が買えなかった	48名	4.6%	636名	3.3%
お子さんにおこづかいを渡すことができなかった	99名	9.5%	1,575名	8.1%
お子さんに新しい服や靴を買うことができなかった	112名	10.7%	1,608名	8.3%
お子さんを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	-	-	22名	0.1%
お子さんを習い事に通わすことができなかった	137名	13.1%	1,990名	10.3%
お子さんを学校のクラブ活動・部活動に参加させられなかった	7名	0.7%	96名	0.5%
お子さんを学習塾に通わせることができなかった	145名	13.9%	2,054名	10.6%
お子さんの誕生日を祝えなかった	17名	1.6%	237名	1.2%
お子さんにお年玉をあげることができなかった	50名	4.8%	777名	4.0%
お子さんの学校行事などに参加することができなかった	12名	1.1%	286名	1.5%
子ども会、地域の行事(祭りなど)の活動に参加することができなかった	13名	1.2%	259名	1.3%
家族旅行(ﾃｰﾏﾊﾟｰｸなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった	218名	20.8%	3,926名	20.2%
どれにもあてはまらない	680名	65.0%	12,238名	63.1%
無回答	52名	5.0%	1,685名	8.7%

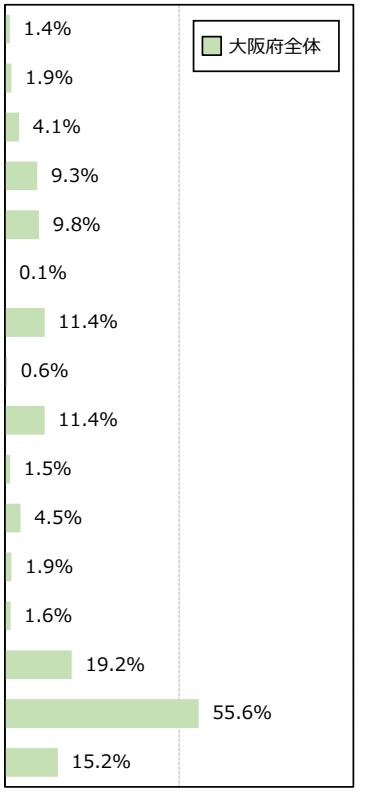


●2016年度　調査結果〔参考データ〕

大阪府全体を2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「どれにもあてはまらない」が9.8ポイント高くなっている。
小学生の保護者は、「どれにもあてはまらない」が9.6ポイント高くなっている。
中学生の保護者は、「どれにもあてはまらない」が9.9ポイント高くなっている。

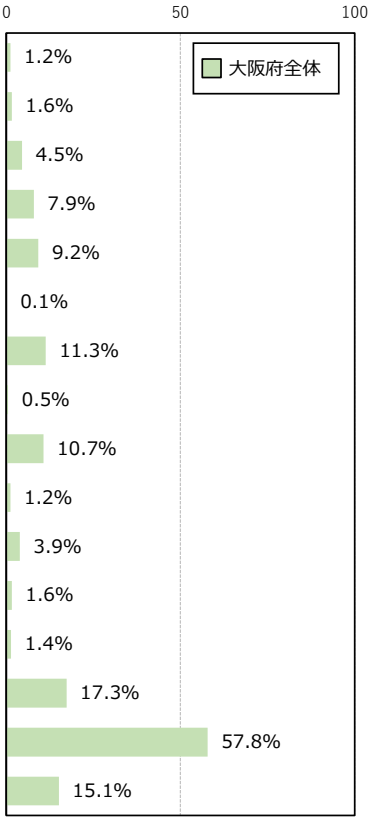
【保護者全体】

	大阪府全体	
	49,703名	100.0%
子どもを医療機関に受診させることができなかった	719名	1.4%
子どもの進路を変更した	935名	1.9%
子どものための本や絵本が買えなかった	2,061名	4.1%
子どもにおこづかいを渡すことができなかった	4,598名	9.3%
子どもに新しい服や靴を買うことができなかった	4,895名	9.8%
子どもを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	66名	0.1%
子どもを習い事に通わすことができなかった	5,689名	11.4%
子どもを学校のクラブ活動に参加させられなかった	299名	0.6%
子どもを学習塾に通わすことができなかった	5,684名	11.4%
子どもの誕生日を祝えなかった	750名	1.5%
子どもにお年玉をあげることができなかった	2,221名	4.5%
子どもの学校行事などに参加することができなかった	947名	1.9%
子ども会、地域の行事(祭りなど)の活動に参加することができなかった	773名	1.6%
家族旅行(ﾃｰﾏﾊﾟｰｸなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった	9,526名	19.2%
どれにもあてはまらない	27,652名	55.6%
無回答	7,561名	15.2%



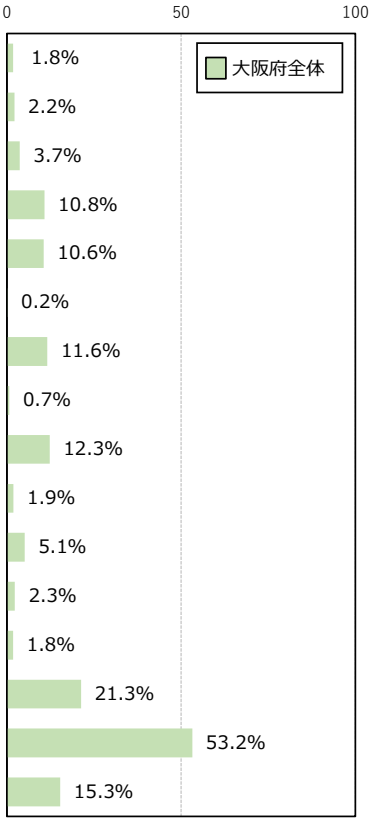
【小学生の保護者】

	大阪府全体	
	26,342名	100.0%
子どもを医療機関に受診させることができなかった	310名	1.2%
子どもの進路を変更した	418名	1.6%
子どものための本や絵本が買えなかった	1,195名	4.5%
子どもにおこづかいを渡すことができなかった	2,086名	7.9%
子どもに新しい服や靴を買うことができなかった	2,416名	9.2%
子どもを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	28名	0.1%
子どもを習い事に通わすことができなかった	2,982名	11.3%
子どもを学校のクラブ活動に参加させられなかった	137名	0.5%
子どもを学習塾に通わすことができなかった	2,821名	10.7%
子どもの誕生日を祝えなかった	313名	1.2%
子どもにお年玉をあげることができなかった	1,027名	3.9%
子どもの学校行事などに参加することができなかった	411名	1.6%
子ども会、地域の行事(祭りなど)の活動に参加することができなかった	361名	1.4%
家族旅行(ﾃｰﾏﾊﾟｰｸなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった	4,559名	17.3%
どれにもあてはまらない	15,229名	57.8%
無回答	3,978名	15.1%



【中学生の保護者】

	大阪府全体	
	23,323名	100.0%
子どもを医療機関に受診させることができなかった	409名	1.8%
子どもの進路を変更した	517名	2.2%
子どものための本や絵本が買えなかった	863名	3.7%
子どもにおこづかいを渡すことができなかった	2,510名	10.8%
子どもに新しい服や靴を買うことができなかった	2,474名	10.6%
子どもを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	37名	0.2%
子どもを習い事に通わすことができなかった	2,704名	11.6%
子どもを学校のクラブ活動に参加させられなかった	162名	0.7%
子どもを学習塾に通わすことができなかった	2,861名	12.3%
子どもの誕生日を祝えなかった	437名	1.9%
子どもにお年玉をあげることができなかった	1,193名	5.1%
子どもの学校行事などに参加することができなかった	535名	2.3%
子ども会、地域の行事(祭りなど)の活動に参加することができなかった	412名	1.8%
家族旅行(ﾃｰﾏﾊﾟｰｸなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった	4,958名	21.3%
どれにもあてはまらない	12,400名	53.2%
無回答	3,578名	15.3%



子どもに関することについて

問13（１）子どもへの信頼度

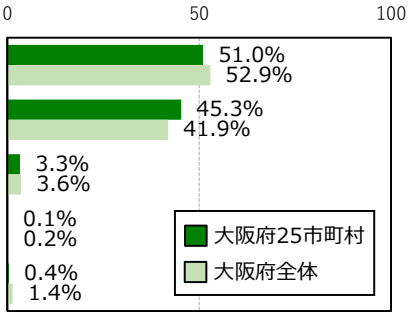
保護者全体は、大阪府25市町村では、「とても信頼している」が51.0％で最も多く、次いで「信頼している」が45.3％、「あまり信頼していない」が3.3％となっている。大阪府全体では、「とても信頼している」が52.9％で最も多く、次いで「信頼している」が41.9％、「あまり信頼していない」が3.6％となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「とても信頼している」が52.7％で最も多く、次いで「信頼している」が44.1％、「あまり信頼していない」が2.9％となっている。大阪府全体では、「とても信頼している」が55.0％で最も多く、次いで「信頼している」が40.3％、「あまり信頼していない」が3.2％となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「とても信頼している」が48.5％で最も多く、次いで「信頼している」が47.8％、「あまり信頼していない」が3.2％となっている。大阪府全体では、「とても信頼している」が50.7％で最も多く、次いで「信頼している」が43.5％、「あまり信頼していない」が4.1％となっている。

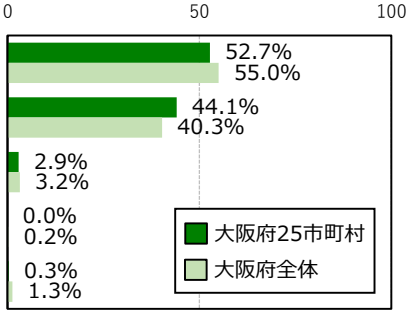
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,358名	100.0%
とても信頼している	1,253名	51.0%	22,948名	52.9%
信頼している	1,111名	45.3%	18,151名	41.9%
あまり信頼していない	80名	3.3%	1,566名	3.6%
信頼していない	2名	0.1%	101名	0.2%
無回答	9名	0.4%	592名	1.4%



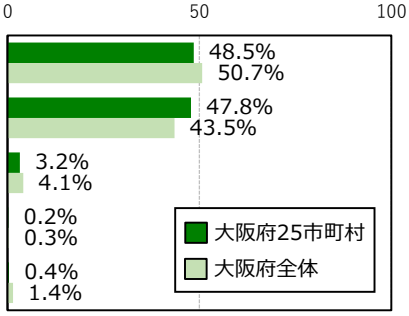
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,819名	100.0%
とても信頼している	618名	52.7%	12,553名	55.0%
信頼している	517名	44.1%	9,191名	40.3%
あまり信頼していない	34名	2.9%	720名	3.2%
信頼していない	－	－	48名	0.2%
無回答	4名	0.3%	307名	1.3%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,390名	100.0%
とても信頼している	507名	48.5%	9,835名	50.7%
信頼している	500名	47.8%	8,429名	43.5%
あまり信頼していない	33名	3.2%	796名	4.1%
信頼していない	2名	0.2%	50名	0.3%
無回答	4名	0.4%	280名	1.4%



子どもに関することについて

問13（２）子どもとの会話頻度

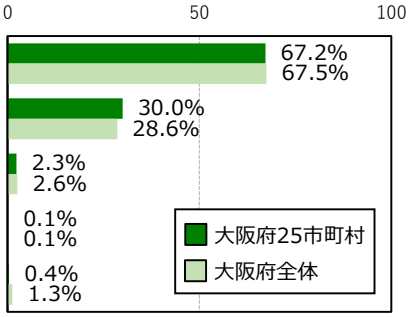
保護者全体は、大阪府25市町村では、「よくする」が67.2%で最も多く、次いで「する」が30.0%、「あまりしない」が2.3%となっている。大阪府全体では、「よくする」が67.5%で最も多く、次いで「する」が28.6%、「あまりしない」が2.6%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「よくする」が70.5%で最も多く、次いで「する」が27.6%、「あまりしない」が1.4%となっている。大阪府全体では、「よくする」が71.6%で最も多く、次いで「する」が25.5%、「あまりしない」が1.5%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「よくする」が63.9%で最も多く、次いで「する」が32.6%、「あまりしない」が3.1%となっている。大阪府全体では、「よくする」が63.0%で最も多く、次いで「する」が31.9%、「あまりしない」が3.7%となっている。

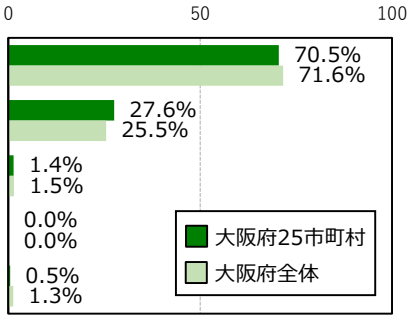
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,358名	100.0%
よくする	1,650名	67.2%	29,262名	67.5%
する	736名	30.0%	12,391名	28.6%
あまりしない	56名	2.3%	1,110名	2.6%
しない	2名	0.1%	30名	0.1%
無回答	11名	0.4%	565名	1.3%



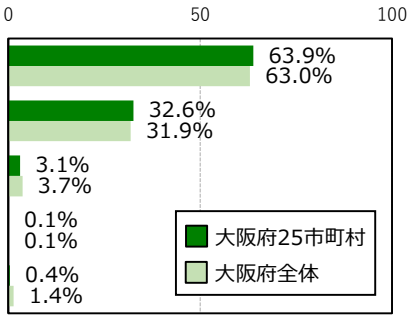
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,819名	100.0%
よくする	827名	70.5%	16,345名	71.6%
する	324名	27.6%	5,827名	25.5%
あまりしない	16名	1.4%	337名	1.5%
しない	-	-	10名	0.0%
無回答	6名	0.5%	300名	1.3%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,390名	100.0%
よくする	668名	63.9%	12,214名	63.0%
する	341名	32.6%	6,176名	31.9%
あまりしない	32名	3.1%	719名	3.7%
しない	1名	0.1%	19名	0.1%
無回答	4名	0.4%	262名	1.4%



子どもに関することについて

問13（３）平日での子どもとの関わり時間

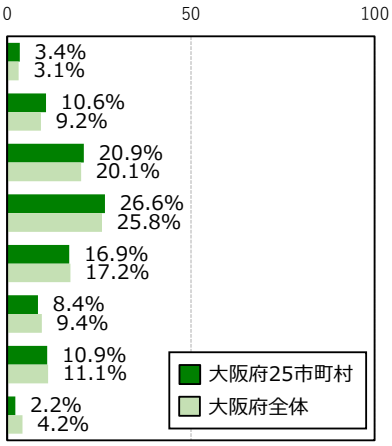
保護者全体は、大阪府25市町村では、「１時間～２時間未満」が26.6％で最も多く、次いで「30分～１時間未満」が20.9％、「２時間～３時間未満」が16.9％となっている。大阪府全体では、「１時間～２時間未満」が25.8％で最も多く、次いで「30分～１時間未満」が20.1％、「２時間～３時間未満」が17.2％となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「１時間～２時間未満」が27.5％で最も多く、次いで「30分～１時間未満」と「２時間～３時間未満」がそれぞれ18.7％、「４時間以上」が12.6％となっている。大阪府全体では、「１時間～２時間未満」が24.8％で最も多く、次いで「２時間～３時間未満」が18.5％、「30分～１時間未満」が18.0％、「４時間以上」が13.6％となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「１時間～２時間未満」が26.1％で最も多く、次いで「30分～１時間未満」が23.3％、「２時間～３時間未満」が15.4％となっている。大阪府全体では、「１時間～２時間未満」が26.8％で最も多く、次いで「30分～１時間未満」が22.3％、「２時間～３時間未満」が15.9％となっている。

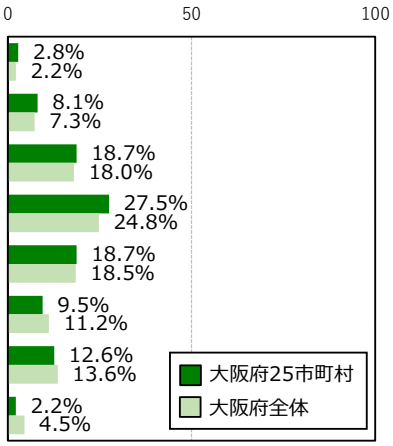
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,358名	100.0%
０～15分未満	84名	3.4%	1,323名	3.1%
15分～30分未満	261名	10.6%	3,978名	9.2%
30分～１時間未満	514名	20.9%	8,701名	20.1%
１時間～２時間未満	654名	26.6%	11,171名	25.8%
２時間～３時間未満	416名	16.9%	7,479名	17.2%
３時間～４時間未満	206名	8.4%	4,091名	9.4%
４時間以上	267名	10.9%	4,813名	11.1%
無回答	53名	2.2%	1,802名	4.2%



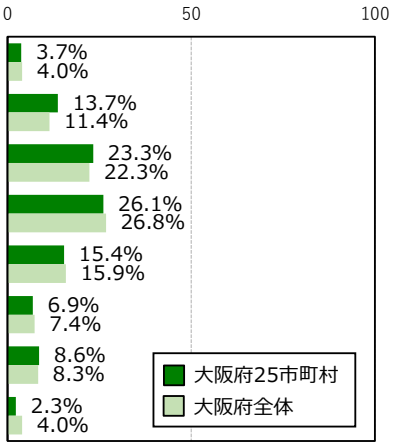
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,819名	100.0%
０～15分未満	33名	2.8%	494名	2.2%
15分～30分未満	95名	8.1%	1,662名	7.3%
30分～１時間未満	219名	18.7%	4,099名	18.0%
１時間～２時間未満	322名	27.5%	5,657名	24.8%
２時間～３時間未満	219名	18.7%	4,224名	18.5%
３時間～４時間未満	111名	9.5%	2,561名	11.2%
４時間以上	148名	12.6%	3,100名	13.6%
無回答	26名	2.2%	1,022名	4.5%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,390名	100.0%
０～15分未満	39名	3.7%	771名	4.0%
15分～30分未満	143名	13.7%	2,205名	11.4%
30分～１時間未満	244名	23.3%	4,316名	22.3%
１時間～２時間未満	273名	26.1%	5,203名	26.8%
２時間～３時間未満	161名	15.4%	3,075名	15.9%
３時間～４時間未満	72名	6.9%	1,435名	7.4%
４時間以上	90名	8.6%	1,617名	8.3%
無回答	24名	2.3%	768名	4.0%



子どもに関することについて

問13（３）休日での子どもとの関わり時間

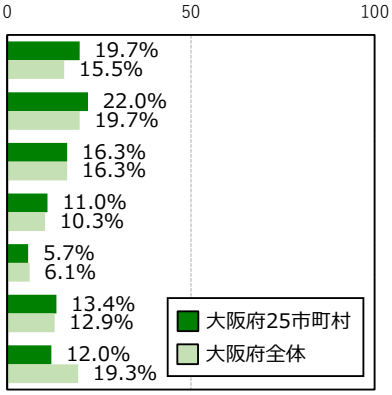
保護者全体は、大阪府25市町村では、「２時間～４時間未満」が22.0％で最も多く、次いで「２時間未満」が19.7％、「４時間～６時間未満」が16.3％となっている。大阪府全体では、「２時間～４時間未満」が19.7％で最も多く、次いで「４時間～６時間未満」が16.3％、「２時間未満」が15.5％となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「２時間～４時間未満」が21.1％で最も多く、次いで「４時間～６時間未満」が17.7％、「10時間以上」が17.2％となっている。大阪府全体では、「２時間～４時間未満」が17.7％で最も多く、次いで「４時間～６時間未満」が17.4％、「10時間以上」が17.1％となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「２時間未満」が26.1％で最も多く、次いで「２時間～４時間未満」が22.6％、「４時間～６時間未満」が15.0％となっている。大阪府全体では、「２時間～４時間未満」が21.7％で最も多く、次いで「２時間未満」が21.0％、「４時間～６時間未満」が14.8％となっている。

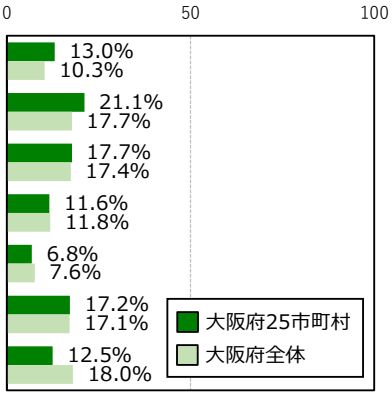
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,358名	100.0%
２時間未満	483名	19.7%	6,723名	15.5%
２時間～４時間未満	541名	22.0%	8,521名	19.7%
４時間～６時間未満	399名	16.3%	7,050名	16.3%
６時間～８時間未満	269名	11.0%	4,454名	10.3%
８時間～10時間未満	140名	5.7%	2,659名	6.1%
10時間以上	329名	13.4%	5,577名	12.9%
無回答	294名	12.0%	8,374名	19.3%



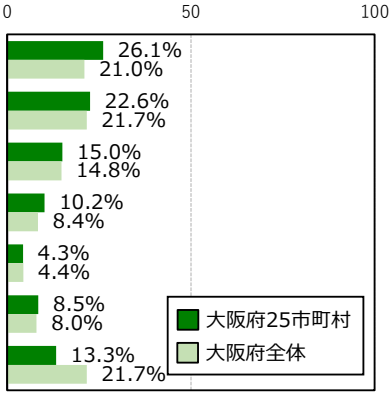
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,819名	100.0%
２時間未満	152名	13.0%	2,357名	10.3%
２時間～４時間未満	248名	21.1%	4,031名	17.7%
４時間～６時間未満	208名	17.7%	3,977名	17.4%
６時間～８時間未満	136名	11.6%	2,700名	11.8%
８時間～10時間未満	80名	6.8%	1,740名	7.6%
10時間以上	202名	17.2%	3,896名	17.1%
無回答	147名	12.5%	4,118名	18.0%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,390名	100.0%
２時間未満	273名	26.1%	4,070名	21.0%
２時間～４時間未満	236名	22.6%	4,216名	21.7%
４時間～６時間未満	157名	15.0%	2,876名	14.8%
６時間～８時間未満	107名	10.2%	1,632名	8.4%
８時間～10時間未満	45名	4.3%	845名	4.4%
10時間以上	89名	8.5%	1,542名	8.0%
無回答	139名	13.3%	4,209名	21.7%



子どもに関することについて

問13（４）子どもの将来への期待度

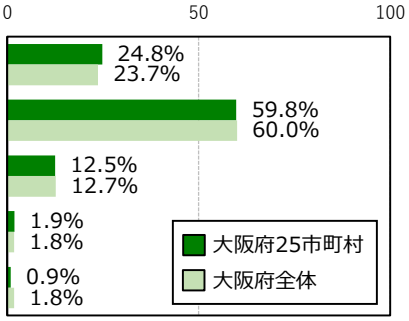
保護者全体は、大阪府25市町村では、「期待している」が59.8％で最も多く、次いで「とても期待している」が24.8％、「あまり期待していない」が12.5％となっている。大阪府全体では、「期待している」が60.0％で最も多く、次いで「とても期待している」が23.7％、「あまり期待していない」が12.7％となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「期待している」が59.2％で最も多く、次いで「とても期待している」が26.1％、「あまり期待していない」が11.8％となっている。大阪府全体では、「期待している」が59.6％で最も多く、次いで「とても期待している」が25.6％、「あまり期待していない」が11.4％となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「期待している」が60.0％で最も多く、次いで「とても期待している」が23.5％、「あまり期待していない」が14.1％となっている。大阪府全体では、「期待している」が60.4％で最も多く、次いで「とても期待している」が21.7％、「あまり期待していない」が14.0％となっている。

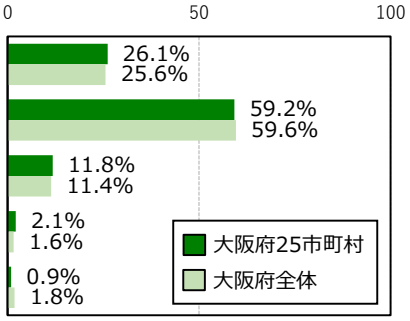
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,358名	100.0%
とても期待している	610名	24.8%	10,264名	23.7%
期待している	1,468名	59.8%	26,035名	60.0%
あまり期待していない	308名	12.5%	5,485名	12.7%
期待していない	46名	1.9%	779名	1.8%
無回答	23名	0.9%	795名	1.8%



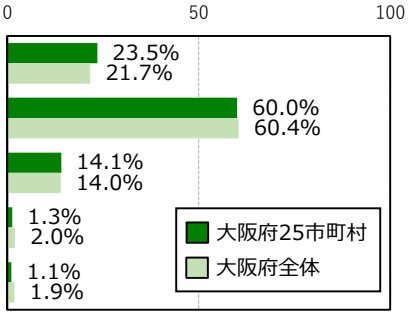
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,819名	100.0%
とても期待している	306名	26.1%	5,831名	25.6%
期待している	694名	59.2%	13,610名	59.6%
あまり期待していない	138名	11.8%	2,603名	11.4%
期待していない	25名	2.1%	363名	1.6%
無回答	10名	0.9%	412名	1.8%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,390名	100.0%
とても期待している	246名	23.5%	4,207名	21.7%
期待している	628名	60.0%	11,704名	60.4%
あまり期待していない	147名	14.1%	2,717名	14.0%
期待していない	14名	1.3%	388名	2.0%
無回答	11名	1.1%	374名	1.9%



子どもに関することについて

問13（５）子どもの授業参観や運動会などの学校行事への参加状況

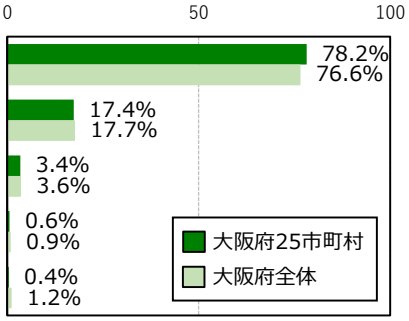
保護者全体は、大阪府25市町村では、「よく参加している」が78.2％で最も多く、次いで「ときどき参加している」が17.4％、「あまり参加していない」が3.4％となっている。大阪府全体では、「よく参加している」が76.6％で最も多く、次いで「ときどき参加している」が17.7％、「あまり参加していない」が3.6％となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「よく参加している」が87.3％で最も多く、次いで「ときどき参加している」が10.2％、「あまり参加していない」が1.8％となっている。大阪府全体では、「よく参加している」が86.3％で最も多く、次いで「ときどき参加している」が10.9％、「あまり参加していない」が1.4％となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「よく参加している」が69.4％で最も多く、次いで「ときどき参加している」が23.8％、「あまり参加していない」が5.4％となっている。大阪府全体では、「よく参加している」が65.3％で最も多く、次いで「ときどき参加している」が25.7％、「あまり参加していない」が6.2％となっている。

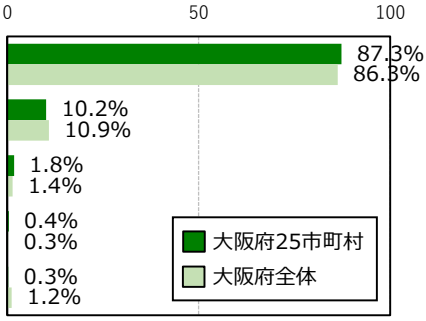
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,358名	100.0%
よく参加している	1,920名	78.2%	33,215名	76.6%
ときどき参加している	426名	17.4%	7,691名	17.7%
あまり参加していない	84名	3.4%	1,550名	3.6%
まったく参加していない	14名	0.6%	376名	0.9%
無回答	11名	0.4%	526名	1.2%



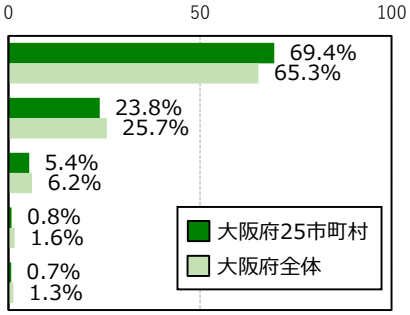
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,819名	100.0%
よく参加している	1,024名	87.3%	19,697名	86.3%
ときどき参加している	120名	10.2%	2,477名	10.9%
あまり参加していない	21名	1.8%	309名	1.4%
まったく参加していない	5名	0.4%	58名	0.3%
無回答	3名	0.3%	278名	1.2%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,390名	100.0%
よく参加している	726名	69.4%	12,665名	65.3%
ときどき参加している	249名	23.8%	4,975名	25.7%
あまり参加していない	56名	5.4%	1,202名	6.2%
まったく参加していない	8名	0.8%	304名	1.6%
無回答	7名	0.7%	244名	1.3%



子どもに関することについて

問14　子どもに希望する進学

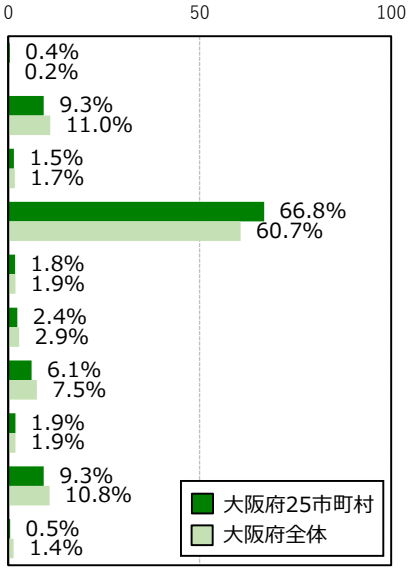
保護者全体は、大阪府25市町村では、「大学」が66.8%で最も多く、次いで「高校」が9.3%、「専門学校・高等専門学校」が6.1%、「留学」が2.4%となっている。大阪府全体では、「大学」が60.7%で最も多く、次いで「高校」が11.0%、「専門学校・高等専門学校」が7.5%、「留学」が2.9%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「大学」が66.2%で最も多く、次いで「高校」が7.6%、「専門学校・高等専門学校」が6.0%となっている。大阪府全体では、「大学」が60.8%で最も多く、次いで「高校」が9.2%、「専門学校・高等専門学校」が7.1%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「大学」が67.8%で最も多く、次いで「高校」が10.6%、「専門学校・高等専門学校」が6.1%となっている。大阪府全体では、「大学」が60.6%で最も多く、次いで「高校」が13.2%、「専門学校・高等専門学校」が8.0%となっている。

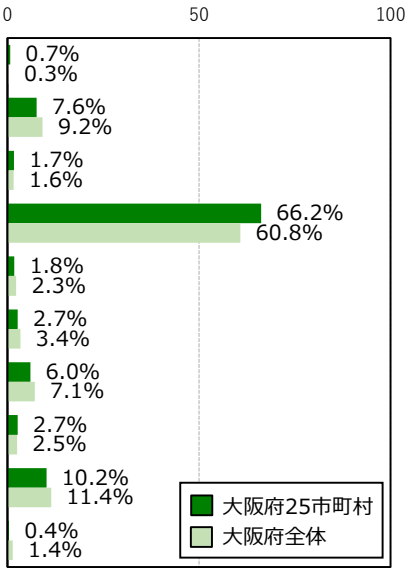
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,358名	100.0%
中学校	11名	0.4%	106名	0.2%
高校	229名	9.3%	4,765名	11.0%
短期大学	37名	1.5%	716名	1.7%
大学	1,641名	66.8%	26,334名	60.7%
大学院	44名	1.8%	827名	1.9%
留学	58名	2.4%	1,261名	2.9%
専門学校・高等専門学校	149名	6.1%	3,262名	7.5%
考えたことがない	46名	1.9%	818名	1.9%
わからない	228名	9.3%	4,674名	10.8%
無回答	12名	0.5%	595名	1.4%



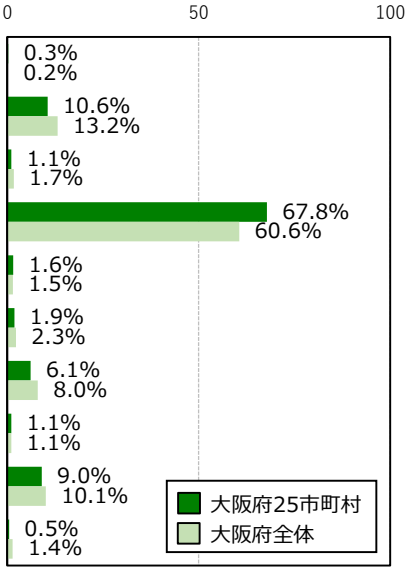
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,819名	100.0%
中学校	8名	0.7%	72名	0.3%
高校	89名	7.6%	2,090名	9.2%
短期大学	20名	1.7%	366名	1.6%
大学	776名	66.2%	13,868名	60.8%
大学院	21名	1.8%	519名	2.3%
留学	32名	2.7%	786名	3.4%
専門学校・高等専門学校	70名	6.0%	1,631名	7.1%
考えたことがない	32名	2.7%	579名	2.5%
わからない	120名	10.2%	2,592名	11.4%
無回答	5名	0.4%	316名	1.4%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,390名	100.0%
中学校	3名	0.3%	31名	0.2%
高校	111名	10.6%	2,557名	13.2%
短期大学	12名	1.1%	322名	1.7%
大学	709名	67.8%	11,753名	60.6%
大学院	17名	1.6%	285名	1.5%
留学	20名	1.9%	451名	2.3%
専門学校・高等専門学校	64名	6.1%	1,548名	8.0%
考えたことがない	11名	1.1%	219名	1.1%
わからない	94名	9.0%	1,951名	10.1%
無回答	5名	0.5%	273名	1.4%



子どもに関することについて

問15　子どもの通学状況

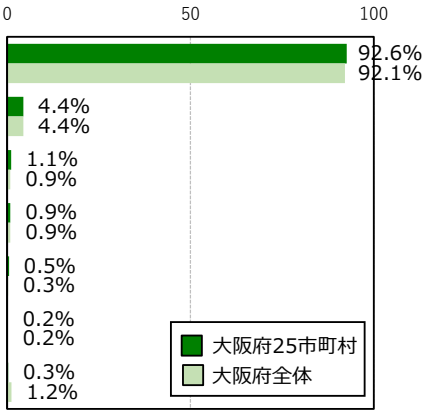
保護者全体は、大阪府25市町村では、「ほぼ毎日通っている」が92.6%で最も多く、次いで「欠席は年間30日未満である」が4.4%、「欠席が年間30日以上、60日未満である」が1.1%となっている。大阪府全体では、「ほぼ毎日通っている」が92.1%で最も多く、次いで「欠席は年間30日未満である」が4.4%、「欠席が年間30日以上、60日未満である」と「欠席が年間60日以上、１年未満である」がそれぞれ0.9%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「ほぼ毎日通っている」が94.5%で最も多く、次いで「欠席は年間30日未満である」が3.9%、「欠席が年間30日以上、60日未満である」が0.6%となっている。大阪府全体では、「ほぼ毎日通っている」が93.3%で最も多く、次いで「欠席は年間30日未満である」が3.9%、「欠席が年間30日以上、60日未満である」が0.7%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「ほぼ毎日通っている」が90.6%で最も多く、次いで「欠席は年間30日未満である」が4.7%、「欠席が年間30日以上、60日未満である」が1.7%となっている。大阪府全体では、「ほぼ毎日通っている」が90.6%で最も多く、次いで「欠席は年間30日未満である」が4.9%、「欠席が年間60日以上、１年未満である」が1.3%となっている。

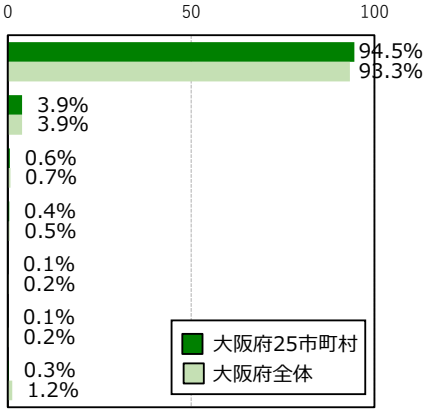
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,358名	100.0%
ほぼ毎日通っている	2,273名	92.6%	39,916名	92.1%
欠席は年間30日未満である	109名	4.4%	1,900名	4.4%
欠席が年間30日以上、60日未満である	27名	1.1%	406名	0.9%
欠席が年間60日以上、１年未満である	21名	0.9%	379名	0.9%
欠席が１年以上続いている	12名	0.5%	127名	0.3%
わからない	5名	0.2%	108名	0.2%
無回答	8名	0.3%	522名	1.2%



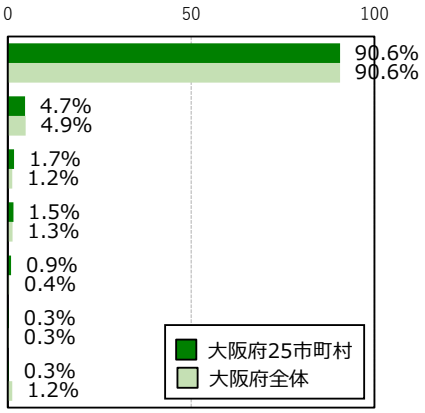
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,819名	100.0%
ほぼ毎日通っている	1,109名	94.5%	21,301名	93.3%
欠席は年間30日未満である	46名	3.9%	895名	3.9%
欠席が年間30日以上、60日未満である	7名	0.6%	158名	0.7%
欠席が年間60日以上、１年未満である	5名	0.4%	107名	0.5%
欠席が１年以上続いている	1名	0.1%	36名	0.2%
わからない	1名	0.1%	44名	0.2%
無回答	4名	0.3%	278名	1.2%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,390名	100.0%
ほぼ毎日通っている	948名	90.6%	17,568名	90.6%
欠席は年間30日未満である	49名	4.7%	945名	4.9%
欠席が年間30日以上、60日未満である	18名	1.7%	232名	1.2%
欠席が年間60日以上、１年未満である	16名	1.5%	257名	1.3%
欠席が１年以上続いている	9名	0.9%	86名	0.4%
わからない	3名	0.3%	62名	0.3%
無回答	3名	0.3%	240名	1.2%



子どもに関することについて

問16（１）子どもの居場所の利用経験

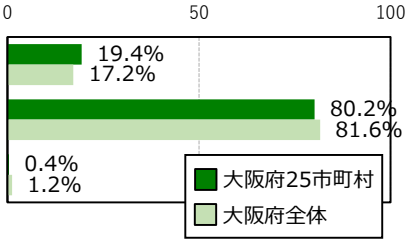
保護者全体は、大阪府25市町村では、「利用したことがない」が80.2％で、「利用したことがある」が19.4％となっている。大阪府全体では、「利用したことがない」が81.6％で、「利用したことがある」が17.2％となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「利用したことがない」が76.8％で、「利用したことがある」が22.8％となっている。大阪府全体では、「利用したことがない」が78.6％で、「利用したことがある」が20.2％となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「利用したことがない」が83.6％で、「利用したことがある」が16.1％となっている。大阪府全体では、「利用したことがない」が85.0％で、「利用したことがある」が13.8％となっている。

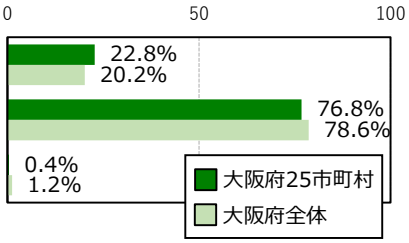
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,358名	100.0%
利用したことがある	477名	19.4%	7,459名	17.2%
利用したことがない	1,968名	80.2%	35,367名	81.6%
無回答	10名	0.4%	532名	1.2%



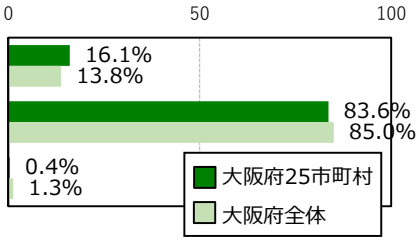
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,819名	100.0%
利用したことがある	267名	22.8%	4,599名	20.2%
利用したことがない	901名	76.8%	17,945名	78.6%
無回答	5名	0.4%	275名	1.2%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,390名	100.0%
利用したことがある	168名	16.1%	2,667名	13.8%
利用したことがない	874名	83.6%	16,472名	85.0%
無回答	4名	0.4%	251名	1.3%



子どもに関することについて

問16（２）子どもの居場所を利用することで良いと思うこと

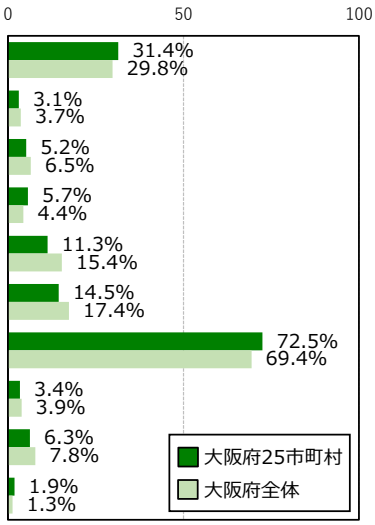
保護者全体は、大阪府25市町村では、「お子さんが楽しんでいるから」が72.5%で最も多く、次いで「地域の人とつながれるから」が31.4%、「宿題など勉強を見てくれるから」が14.5%、「低額（または無料）でご飯が食べられるから」が11.3%となっている。大阪府全体では、「お子さんが楽しんでいるから」が69.4%で最も多く、次いで「地域の人とつながれるから」が29.8%、「宿題など勉強を見てくれるから」が17.4%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「お子さんが楽しんでいるから」が77.5%で最も多く、次いで「地域の人とつながれるから」が33.0%、「宿題など勉強を見てくれるから」が15.4%、「低額（または無料）でご飯が食べられるから」が9.7%となっている。大阪府全体では、「お子さんが楽しんでいるから」が73.7%で最も多く、次いで「地域の人とつながれるから」が29.2%、「低額（または無料）でご飯が食べられるから」が16.9%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「お子さんが楽しんでいるから」が63.7%で最も多く、次いで「地域の人とつながれるから」が30.4%、「宿題など勉強を見てくれるから」が11.3%、「低額（または無料）でご飯が食べられるから」が10.7%となっている。大阪府全体では、「お子さんが楽しんでいるから」が62.4%で最も多く、次いで「地域の人とつながれるから」が30.3%、「宿題など勉強を見てくれるから」が18.1%となっている。

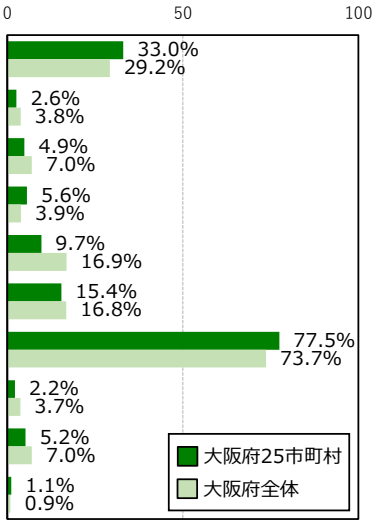
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	477名	100.0%	7,459名	100.0%
地域の人とつながれるから	150名	31.4%	2,226名	29.8%
お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから	15名	3.1%	275名	3.7%
栄養バランスがとれた食事がとれるから	25名	5.2%	484名	6.5%
運営者が相談に乗ってくれるから	27名	5.7%	329名	4.4%
低額（または無料）でご飯が食べられるから	54名	11.3%	1,152名	15.4%
宿題など勉強を見てくれるから	69名	14.5%	1,301名	17.4%
お子さんが楽しんでいるから	346名	72.5%	5,178名	69.4%
特になし	16名	3.4%	291名	3.9%
その他	30名	6.3%	579名	7.8%
無回答	9名	1.9%	95名	1.3%



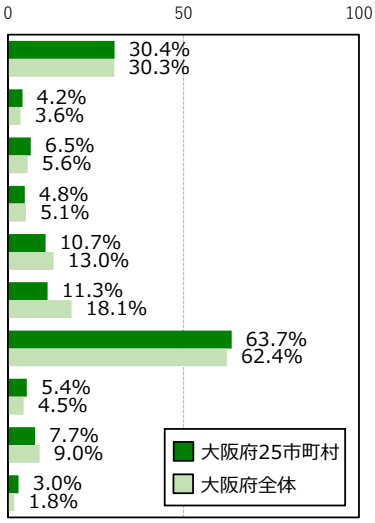
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	267名	100.0%	4,599名	100.0%
地域の人とつながれるから	88名	33.0%	1,344名	29.2%
お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから	7名	2.6%	173名	3.8%
栄養バランスがとれた食事がとれるから	13名	4.9%	322名	7.0%
運営者が相談に乗ってくれるから	15名	5.6%	180名	3.9%
低額（または無料）でご飯が食べられるから	26名	9.7%	778名	16.9%
宿題など勉強を見てくれるから	41名	15.4%	773名	16.8%
お子さんが楽しんでいるから	207名	77.5%	3,388名	73.7%
特になし	6名	2.2%	168名	3.7%
その他	14名	5.2%	324名	7.0%
無回答	3名	1.1%	43名	0.9%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	168名	100.0%	2,667名	100.0%
地域の人とつながれるから	51名	30.4%	808名	30.3%
お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから	7名	4.2%	97名	3.6%
栄養バランスがとれた食事がとれるから	11名	6.5%	150名	5.6%
運営者が相談に乗ってくれるから	8名	4.8%	136名	5.1%
低額（または無料）でご飯が食べられるから	18名	10.7%	348名	13.0%
宿題など勉強を見てくれるから	19名	11.3%	482名	18.1%
お子さんが楽しんでいるから	107名	63.7%	1,664名	62.4%
特になし	9名	5.4%	120名	4.5%
その他	13名	7.7%	241名	9.0%
無回答	5名	3.0%	47名	1.8%



子どもに関することについて

問16（３）子どもの居場所を利用しない理由

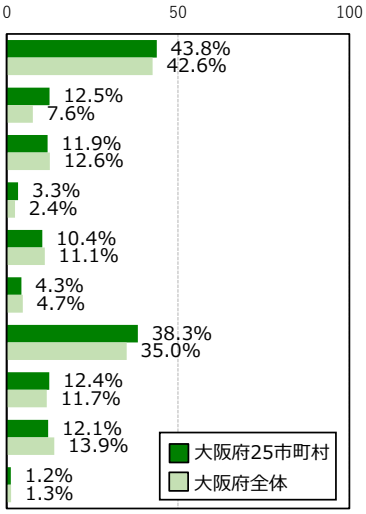
保護者全体は、大阪府25市町村では、「どこにあるか知らないから」が43.8%で最も多く、次いで「利用したいと思わないから」が38.3%、「家の近く（小学校区内）にないから」が12.5%、「何をしているかわからないから」が12.4%となっている。大阪府全体では、「どこにあるか知らないから」が42.6%で最も多く、次いで「利用したいと思わないから」が35.0%、「家で過ごしてほしいと思うから」が12.6%、「何をしているかわからないから」が11.7%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「どこにあるか知らないから」が45.3%で最も多く、次いで「利用したいと思わないから」が34.7%、「家の近く（小学校区内）にないから」が14.5%、「何をしているかわからないから」が13.4%となっている。大阪府全体では、「どこにあるか知らないから」が44.8%で最も多く、次いで「利用したいと思わないから」が32.6%、「家で過ごしてほしいと思うから」が12.9%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「どこにあるか知らないから」が42.1%で最も多く、次いで「利用したいと思わないから」が40.5%、「家で過ごしてほしいと思うから」が11.8%、「何をしているかわからないから」が11.1%となっている。大阪府全体では、「どこにあるか知らないから」が39.8%で最も多く、次いで「利用したいと思わないから」が37.8%、「家で過ごしてほしいと思うから」が12.3%となっている。

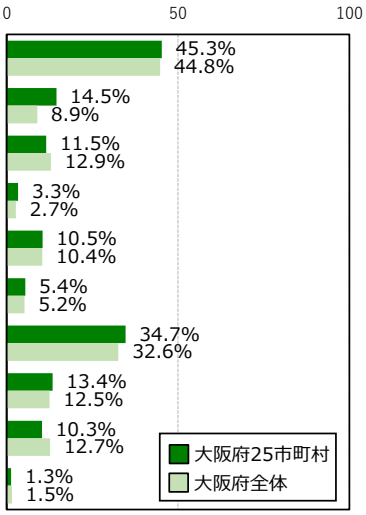
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,968名	100.0%	35,367名	100.0%
どこにあるか知らないから	862名	43.8%	15,060名	42.6%
家の近く（小学校区内）にないから	246名	12.5%	2,697名	7.6%
家で過ごしてほしいと思うから	235名	11.9%	4,452名	12.6%
居場所のイメージがよくないから	64名	3.3%	862名	2.4%
お子さんが「行きたくない」と言っているから	205名	10.4%	3,936名	11.1%
行きたい日・時間に開いていないから	84名	4.3%	1,647名	4.7%
利用したいと思わないから	753名	38.3%	12,386名	35.0%
何をしているかわからないから	245名	12.4%	4,149名	11.7%
その他	239名	12.1%	4,908名	13.9%
無回答	24名	1.2%	473名	1.3%



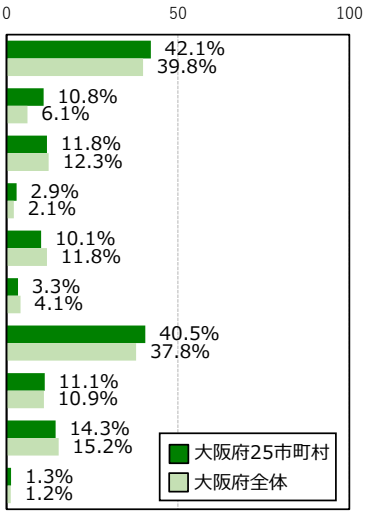
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	901名	100.0%	17,945名	100.0%
どこにあるか知らないから	408名	45.3%	8,048名	44.8%
家の近く（小学校区内）にないから	131名	14.5%	1,594名	8.9%
家で過ごしてほしいと思うから	104名	11.5%	2,318名	12.9%
居場所のイメージがよくないから	30名	3.3%	476名	2.7%
お子さんが「行きたくない」と言っているから	95名	10.5%	1,873名	10.4%
行きたい日・時間に開いていないから	49名	5.4%	936名	5.2%
利用したいと思わないから	313名	34.7%	5,849名	32.6%
何をしているかわからないから	121名	13.4%	2,243名	12.5%
その他	93名	10.3%	2,278名	12.7%
無回答	12名	1.3%	261名	1.5%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	874名	100.0%	16,472名	100.0%
どこにあるか知らないから	368名	42.1%	6,563名	39.8%
家の近く（小学校区内）にないから	94名	10.8%	1,006名	6.1%
家で過ごしてほしいと思うから	103名	11.8%	2,030名	12.3%
居場所のイメージがよくないから	25名	2.9%	347名	2.1%
お子さんが「行きたくない」と言っているから	88名	10.1%	1,950名	11.8%
行きたい日・時間に開いていないから	29名	3.3%	673名	4.1%
利用したいと思わないから	354名	40.5%	6,227名	37.8%
何をしているかわからないから	97名	11.1%	1,797名	10.9%
その他	125名	14.3%	2,509名	15.2%
無回答	11名	1.3%	195名	1.2%



保護者のことについて

問17　初めて親となった年齢

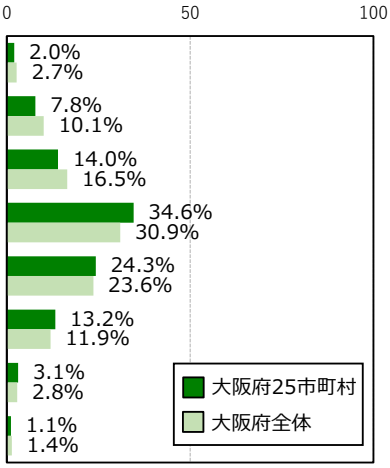
保護者全体は、大阪府25市町村では、「27～30歳」が34.6%で最も多く、次いで「31～34歳」が24.3%、「24～26歳」が14.0%、「35～39歳」が13.2%となっている。大阪府全体では、「27～30歳」が30.9%で最も多く、次いで「31～34歳」が23.6%、「24～26歳」が16.5%、「35～39歳」が11.9%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「27～30歳」が34.5%で最も多く、次いで「31～34歳」が23.9%、「35～39歳」が14.8%、「24～26歳」が13.6%となっている。大阪府全体では、「27～30歳」が30.5%で最も多く、次いで「31～34歳」が24.5%、「24～26歳」が15.6%、「35～39歳」が13.0%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「27～30歳」が34.6%で最も多く、次いで「31～34歳」が25.4%、「24～26歳」が14.0%、「35～39歳」が11.9%となっている。大阪府全体では、「27～30歳」が31.2%で最も多く、次いで「31～34歳」が22.8%、「24～26歳」が17.5%、「20～23歳」が11.1%となっている。

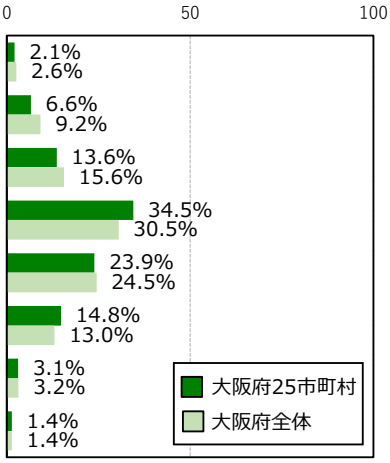
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
10代	48名	2.0%	1,166名	2.7%
20～23歳	191名	7.8%	4,373名	10.1%
24～26歳	343名	14.0%	7,159名	16.5%
27～30歳	849名	34.6%	13,389名	30.9%
31～34歳	597名	24.3%	10,233名	23.6%
35～39歳	324名	13.2%	5,150名	11.9%
40歳以上	75名	3.1%	1,206名	2.8%
無回答	28名	1.1%	624名	1.4%



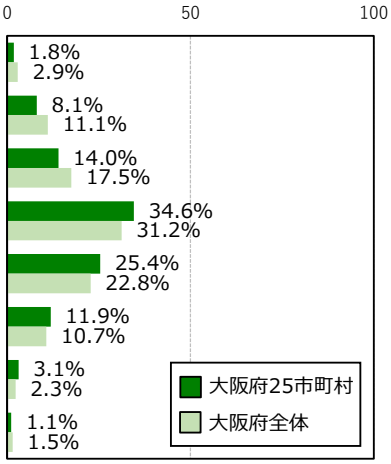
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
10代	25名	2.1%	587名	2.6%
20～23歳	78名	6.6%	2,104名	9.2%
24～26歳	159名	13.6%	3,559名	15.6%
27～30歳	405名	34.5%	6,941名	30.5%
31～34歳	280名	23.9%	5,575名	24.5%
35～39歳	174名	14.8%	2,969名	13.0%
40歳以上	36名	3.1%	735名	3.2%
無回答	16名	1.4%	316名	1.4%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
10代	19名	1.8%	552名	2.9%
20～23歳	85名	8.1%	2,142名	11.1%
24～26歳	146名	14.0%	3,389名	17.5%
27～30歳	362名	34.6%	6,049名	31.2%
31～34歳	266名	25.4%	4,419名	22.8%
35～39歳	124名	11.9%	2,069名	10.7%
40歳以上	32名	3.1%	447名	2.3%
無回答	12名	1.1%	298名	1.5%



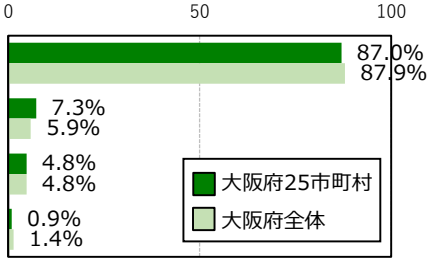
保護者のことについて

問18　支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無
①心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人

保護者全体は、大阪府25市町村では、「いる」が87.0%、「いない」が7.3%となっている。大阪府全体では、「いる」が87.9%、「いない」が5.9%となっている。
小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いる」が87.0%で、「いない」が7.5%となっている。大阪府全体では、「いる」が88.4%、「いない」が5.7%となっている。
中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いる」が86.9%で、「いない」が7.2%となっている。大阪府全体では、「いる」が87.2%、「いない」が6.1%となっている。

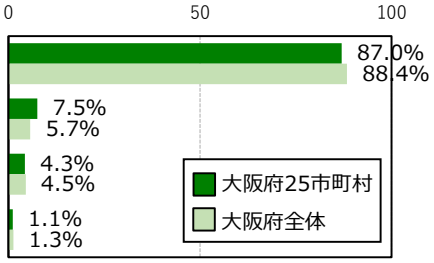
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	2,137名	87.0%	38,049名	87.9%
いない	178名	7.3%	2,548名	5.9%
わからない	118名	4.8%	2,099名	4.8%
無回答	22名	0.9%	604名	1.4%



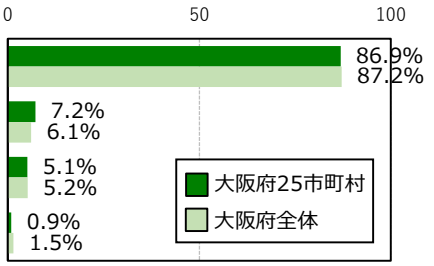
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	1,021名	87.0%	20,150名	88.4%
いない	88名	7.5%	1,304名	5.7%
わからない	51名	4.3%	1,026名	4.5%
無回答	13名	1.1%	306名	1.3%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	909名	86.9%	16,885名	87.2%
いない	75名	7.2%	1,173名	6.1%
わからない	53名	5.1%	1,016名	5.2%
無回答	9名	0.9%	291名	1.5%



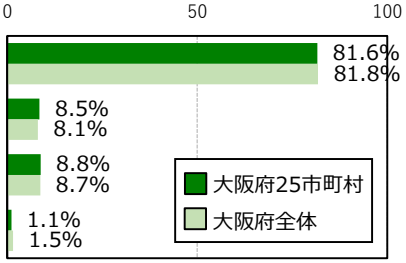
保護者のことについて

問18　支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無
②気持ちを察して思いやってくれる人

保護者全体は、大阪府25市町村では、「いる」が81.6%、「いない」が8.5%となっている。大阪府全体では、「いる」が81.8%、「いない」が8.1%となっている。
小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いる」が81.8%で、「いない」が8.5%となっている。大阪府全体では、「いる」が82.4%、「いない」が7.9%となっている。
中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いる」が80.8%で、「いない」が8.9%となっている。大阪府全体では、「いる」が81.0%、「いない」が8.3%となっている。

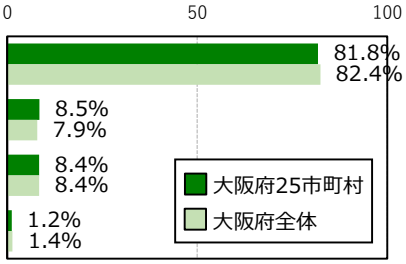
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	2,004名	81.6%	35,406名	81.8%
いない	209名	8.5%	3,491名	8.1%
わからない	216名	8.8%	3,748名	8.7%
無回答	26名	1.1%	655名	1.5%



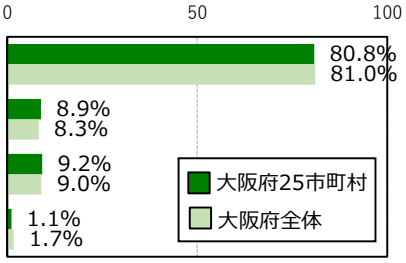
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	960名	81.8%	18,767名	82.4%
いない	100名	8.5%	1,791名	7.9%
わからない	99名	8.4%	1,904名	8.4%
無回答	14名	1.2%	324名	1.4%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	845名	80.8%	15,691名	81.0%
いない	93名	8.9%	1,610名	8.3%
わからない	96名	9.2%	1,741名	9.0%
無回答	12名	1.1%	323名	1.7%



保護者のことについて

問18　支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無
③趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人

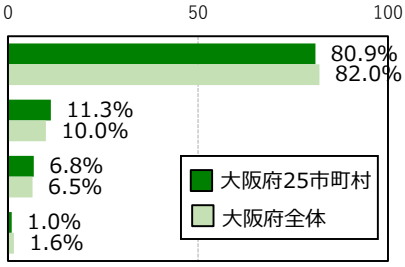
保護者全体は、大阪府25市町村では、「いる」が80.9%、「いない」が11.3%となっている。大阪府全体では、「いる」が82.0%、「いない」が10.0%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いる」が81.6%で、「いない」が11.1%となっている。大阪府全体では、「いる」が82.4%、「いない」が9.7%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いる」が79.7%で、「いない」が11.8%となっている。大阪府全体では、「いる」が81.5%、「いない」が10.3%となっている。

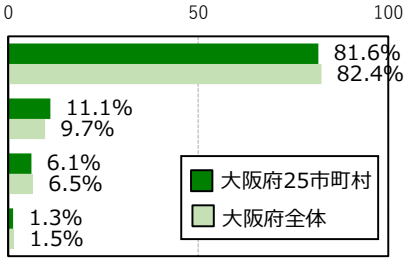
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	1,985名	80.9%	35,496名	82.0%
いない	278名	11.3%	4,317名	10.0%
わからない	167名	6.8%	2,806名	6.5%
無回答	25名	1.0%	681名	1.6%



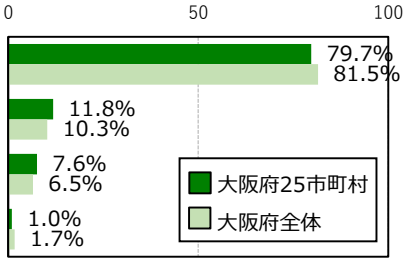
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	957名	81.6%	18,771名	82.4%
いない	130名	11.1%	2,201名	9.7%
わからない	71名	6.1%	1,474名	6.5%
無回答	15名	1.3%	340名	1.5%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	834名	79.7%	15,782名	81.5%
いない	123名	11.8%	1,990名	10.3%
わからない	79名	7.6%	1,259名	6.5%
無回答	10名	1.0%	334名	1.7%



保護者のことについて

問18　支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無
④子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

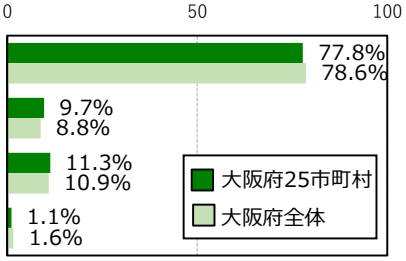
保護者全体は、大阪府25市町村では、「いる」が77.8%、「いない」が9.7%となっている。大阪府全体では、「いる」が78.6%、「いない」が8.8%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いる」が79.0%で、「いない」が9.3%となっている。大阪府全体では、「いる」が79.6%、「いない」が8.4%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いる」が75.7%で、「いない」が10.9%となっている。大阪府全体では、「いる」が77.3%、「いない」が9.4%となっている。

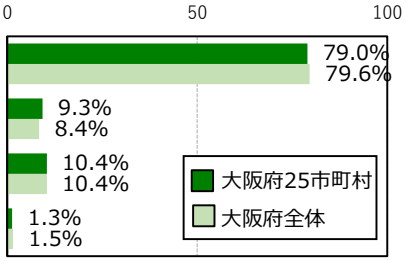
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	1,911名	77.8%	34,034名	78.6%
いない	239名	9.7%	3,824名	8.8%
わからない	278名	11.3%	4,731名	10.9%
無回答	27名	1.1%	711名	1.6%



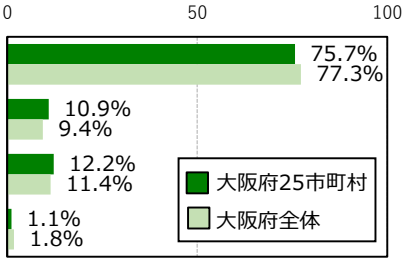
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	927名	79.0%	18,149名	79.6%
いない	109名	9.3%	1,912名	8.4%
わからない	122名	10.4%	2,381名	10.4%
無回答	15名	1.3%	344名	1.5%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	792名	75.7%	14,966名	77.3%
いない	114名	10.9%	1,826名	9.4%
わからない	128名	12.2%	2,217名	11.4%
無回答	12名	1.1%	356名	1.8%



保護者のことについて

問18　支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無
⑤子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）

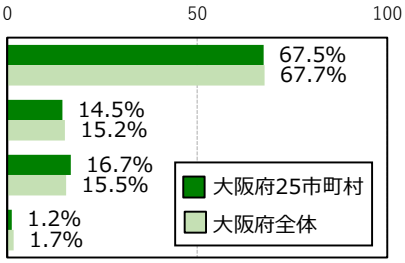
保護者全体は、大阪府25市町村では、「いる」が67.5%、「いない」が14.5%となっている。大阪府全体では、「いる」が67.7%、「いない」が15.2%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いる」が70.4%で、「いない」が13.5%となっている。大阪府全体では、「いる」が69.8%、「いない」が14.0%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いる」が64.1%で、「いない」が16.2%となっている。大阪府全体では、「いる」が65.2%、「いない」が16.6%となっている。

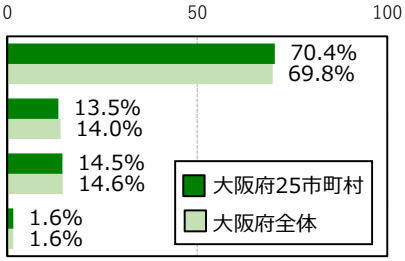
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	1,658名	67.5%	29,297名	67.7%
いない	356名	14.5%	6,570名	15.2%
わからない	411名	16.7%	6,713名	15.5%
無回答	30名	1.2%	720名	1.7%



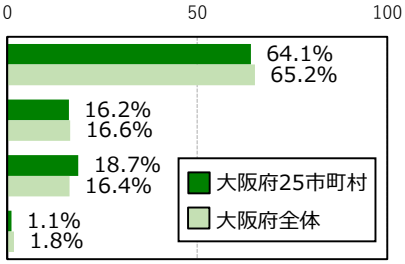
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	826名	70.4%	15,896名	69.8%
いない	158名	13.5%	3,195名	14.0%
わからない	170名	14.5%	3,334名	14.6%
無回答	19名	1.6%	361名	1.6%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	670名	64.1%	12,629名	65.2%
いない	169名	16.2%	3,218名	16.6%
わからない	196名	18.7%	3,167名	16.4%
無回答	11名	1.1%	351名	1.8%



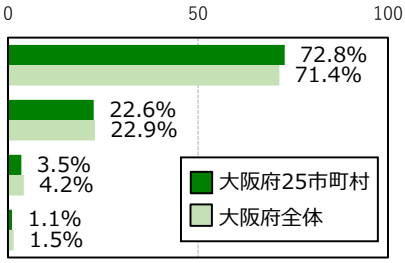
保護者のことについて

問18　支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無
⑥子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

保護者全体は、大阪府25市町村では、「いる」が72.8%、「いない」が22.6%となっている。大阪府全体では、「いる」が71.4%、「いない」が22.9%となっている。
小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いる」が72.4%で、「いない」が23.2%となっている。大阪府全体では、「いる」が71.8%、「いない」が22.7%となっている。
中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いる」が71.6%で、「いない」が23.6%となっている。大阪府全体では、「いる」が70.7%、「いない」が23.3%となっている。

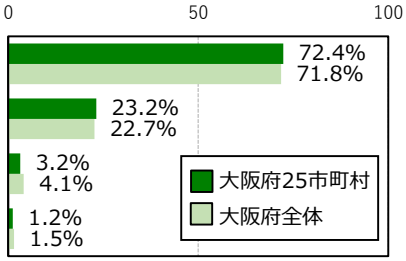
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	1,788名	72.8%	30,902名	71.4%
いない	555名	22.6%	9,922名	22.9%
わからない	86名	3.5%	1,822名	4.2%
無回答	26名	1.1%	654名	1.5%



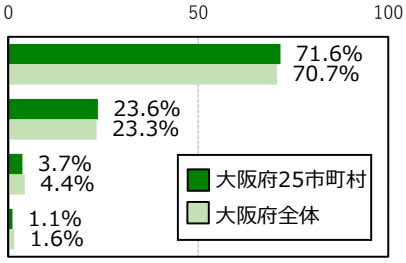
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	849名	72.4%	16,360名	71.8%
いない	272名	23.2%	5,164名	22.7%
わからない	38名	3.2%	930名	4.1%
無回答	14名	1.2%	332名	1.5%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	749名	71.6%	13,687名	70.7%
いない	247名	23.6%	4,519名	23.3%
わからない	39名	3.7%	850名	4.4%
無回答	11名	1.1%	309名	1.6%



保護者のことについて

問18　支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無
⑦留守を頼める人

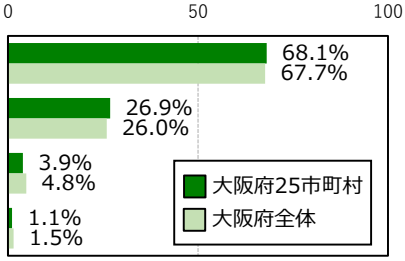
保護者全体は、大阪府25市町村では、「いる」が68.1%、「いない」が26.9%となっている。大阪府全体では、「いる」が67.7%、「いない」が26.0%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いる」が68.3%で、「いない」が26.9%となっている。大阪府全体では、「いる」が68.8%、「いない」が25.2%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いる」が67.2%で、「いない」が27.4%となっている。大阪府全体では、「いる」が66.4%、「いない」が26.8%となっている。

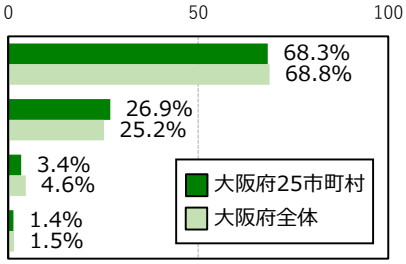
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	1,672名	68.1%	29,312名	67.7%
いない	660名	26.9%	11,256名	26.0%
わからない	96名	3.9%	2,066名	4.8%
無回答	27名	1.1%	666名	1.5%



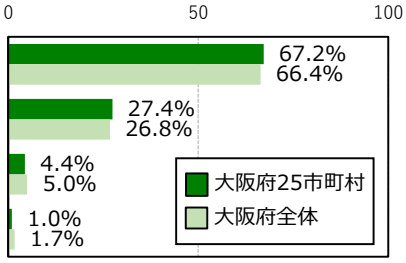
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	801名	68.3%	15,668名	68.8%
いない	315名	26.9%	5,746名	25.2%
わからない	40名	3.4%	1,037名	4.6%
無回答	17名	1.4%	335名	1.5%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	703名	67.2%	12,868名	66.4%
いない	287名	27.4%	5,198名	26.8%
わからない	46名	4.4%	977名	5.0%
無回答	10名	1.0%	322名	1.7%



保護者のことについて

問19　本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

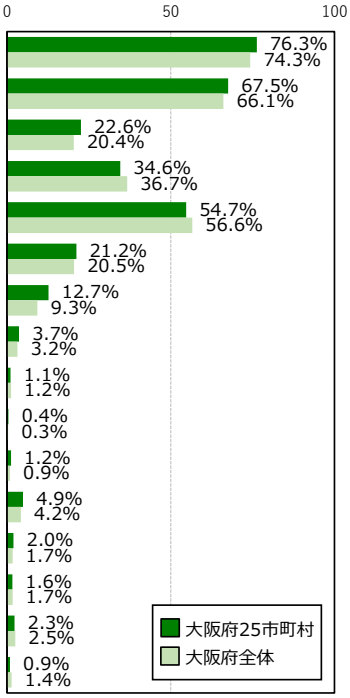
保護者全体は、大阪府25市町村では、「配偶者・パートナー」が76.3%で最も多く、次いで「自分の親」が67.5%、「知人や友人」が54.7%、「きょうだい・その他の親戚」が34.6%となっている。大阪府全体では、「配偶者・パートナー」が74.3%で最も多く、次いで「自分の親」が66.1%、「知人や友人」が56.6%、「きょうだい・その他の親戚」が36.7%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「配偶者・パートナー」が78.2%で最も多く、次いで「自分の親」が70.2%、「知人や友人」が56.5%、「きょうだい・その他の親戚」が34.7%となっている。大阪府全体では、「配偶者・パートナー」が76.2%で最も多く、次いで「自分の親」が68.3%、「知人や友人」が57.4%、「きょうだい・その他の親戚」が36.8%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「配偶者・パートナー」が72.9%で最も多く、次いで「自分の親」が65.1%、「知人や友人」が53.2%、「きょうだい・その他の親戚」が34.5%となっている。大阪府全体では、「配偶者・パートナー」が71.9%で最も多く、次いで「自分の親」が63.4%、「知人や友人」が55.8%、「きょうだい・その他の親戚」が36.6%となっている。

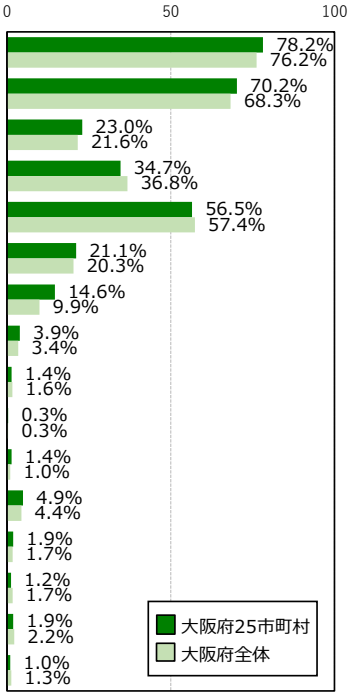
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
配偶者・パートナー	1,874名	76.3%	32,160名	74.3%
自分の親	1,656名	67.5%	28,615名	66.1%
配偶者・パートナーの親	554名	22.6%	8,825名	20.4%
きょうだい・その他の親戚	850名	34.6%	15,893名	36.7%
知人や友人（※1）	1,343名	54.7%	24,497名	56.6%
職場関係者	521名	21.2%	8,895名	20.5%
学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー（※2）	313名	12.7%	4,012名	9.3%
公的機関や役所の相談員	90名	3.7%	1,370名	3.2%
学童保育の指導員	27名	1.1%	499名	1.2%
地域の民生委員・児童委員	9名	0.4%	121名	0.3%
民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む）（※3）	30名	1.2%	393名	0.9%
医療機関の医師や看護師	120名	4.9%	1,805名	4.2%
インターネットのサイトへの書き込み、SNSやLINEによる相談（※4）	48名	2.0%	718名	1.7%
その他	39名	1.6%	753名	1.7%
相談できる相手がいない	57名	2.3%	1,074名	2.5%
無回答	23名	0.9%	594名	1.4%



【小学生の保護者】

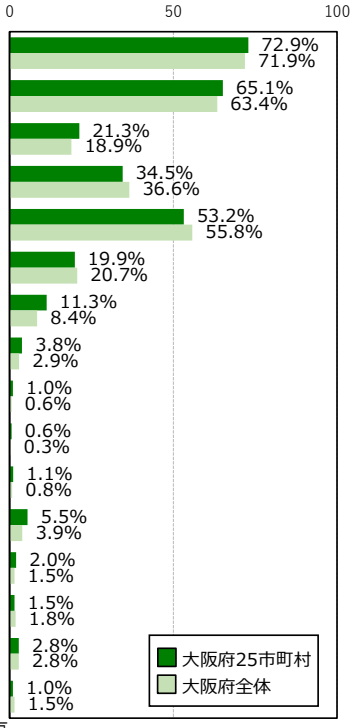
	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
配偶者・パートナー	917名	78.2%	17,361名	76.2%
自分の親	823名	70.2%	15,573名	68.3%
配偶者・パートナーの親	270名	23.0%	4,929名	21.6%
きょうだい・その他の親戚	407名	34.7%	8,396名	36.8%
知人や友人（※1）	663名	56.5%	13,079名	57.4%
職場関係者	247名	21.1%	4,623名	20.3%
学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー（※2）	171名	14.6%	2,265名	9.9%
公的機関や役所の相談員	46名	3.9%	778名	3.4%
学童保育の指導員	17名	1.4%	367名	1.6%
地域の民生委員・児童委員	3名	0.3%	70名	0.3%
民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む）（※3）	16名	1.4%	226名	1.0%
医療機関の医師や看護師	58名	4.9%	999名	4.4%
インターネットのサイトへの書き込み、SNSやLINEによる相談（※4）	22名	1.9%	394名	1.7%
その他	14名	1.2%	378名	1.7%
相談できる相手がいない	22名	1.9%	512名	2.2%
無回答	12名	1.0%	298名	1.3%



※1　2016年度調査の「近隣に住む知人や友人」と「近隣に住んでいない知人や友人」を「知人や友人」に変更
※2　2016年度調査では「学校の先生やスクールカウンセラー」
※3　2016年度調査の「民間の支援団体」と「民間のカウンセラー・電話相談」を「民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む）」に変更
※4　2016年度調査では「インターネットのサイトへの書き込み」

【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
配偶者・パートナー	763名	72.9%	13,928名	71.9%
自分の親	681名	65.1%	12,272名	63.4%
配偶者・パートナーの親	223名	21.3%	3,659名	18.9%
きょうだい・その他の親戚	361名	34.5%	7,086名	36.6%
知人や友人（※1）	556名	53.2%	10,808名	55.8%
職場関係者	208名	19.9%	4,004名	20.7%
学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー（※2）	118名	11.3%	1,618名	8.4%
公的機関や役所の相談員	40名	3.8%	564名	2.9%
学童保育の指導員	10名	1.0%	122名	0.6%
地域の民生委員・児童委員	6名	0.6%	49名	0.3%
民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む）（※3）	12名	1.1%	153名	0.8%
医療機関の医師や看護師	58名	5.5%	759名	3.9%
インターネットのサイトへの書き込み、SNSやLINEによる相談（※4）	21名	2.0%	300名	1.5%
その他	16名	1.5%	346名	1.8%
相談できる相手がいない	29名	2.8%	536名	2.8%
無回答	10名	1.0%	290名	1.5%



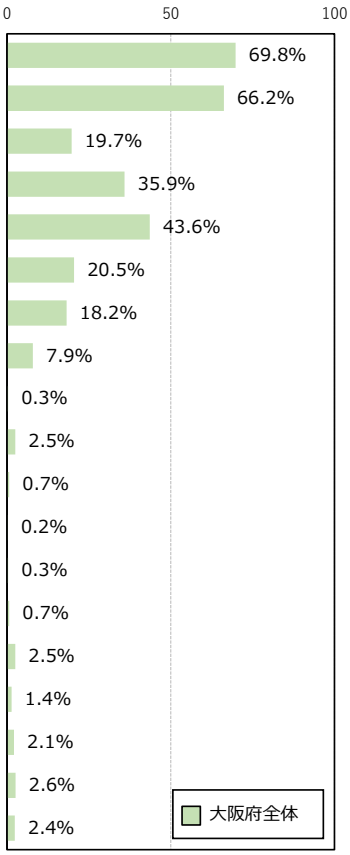
※1　2016年度調査の「近隣に住む知人や友人」と「近隣に住んでいない知人や友人」を「知人や友人」に変更
※2　2016年度調査では「学校の先生やスクールカウンセラー」
※3　2016年度調査の「民間の支援団体」と「民間のカウンセラー・電話相談」を「民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む）」に変更
※4　2016年度調査では「インターネットのサイトへの書き込み」

●2016年度　調査結果〔参考データ〕

大阪府全体を2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「知人や友人」（2016年度は「近隣に住む知人や友人」と「近隣に住んでいない知人や友人」の合計）が7.5ポイント低くなっている。
小学生の保護者は、「知人や友人」が9.4ポイント低く、「配偶者・パートナー」が3.8ポイント高くなっている。
中学生の保護者は、「知人や友人」が5.3ポイント低く、「配偶者・パートナー」が5.0ポイント高くなっている。

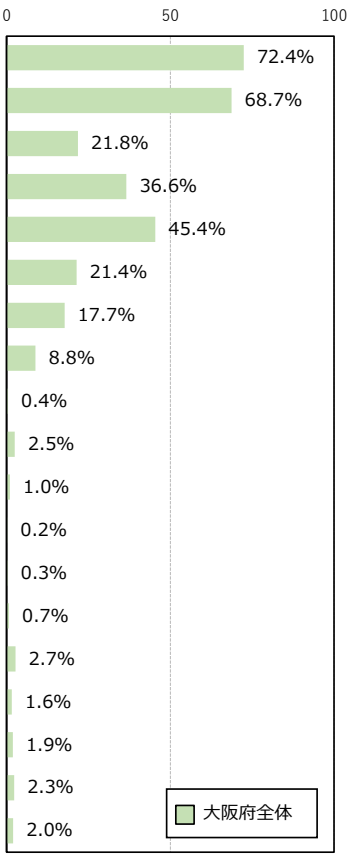
【保護者全体】

	大阪府全体	
	49,703名	100.0%
配偶者・パートナー	34,711名	69.8%
自分の親	32,884名	66.2%
配偶者・パートナーの親	9,808名	19.7%
きょうだい・その他の親戚	17,831名	35.9%
近隣に住む知人や友人	21,691名	43.6%
近隣に住んでいない知人や友人	10,172名	20.5%
職場関係者	9,052名	18.2%
学校の先生やスクールカウンセラー	3,938名	7.9%
子育て講座（小・中学生を持つ保護者を対象）等を担当するリーダーや職員等	145名	0.3%
公的機関や役所の相談員	1,227名	2.5%
学童保育の指導員	360名	0.7%
地域の民生委員・児童委員	105名	0.2%
民間の支援団体	145名	0.3%
民間のカウンセラー・電話相談	360名	0.7%
医療機関の医師や看護師	1,251名	2.5%
インターネットのサイトへの書き込み	694名	1.4%
その他	1,029名	2.1%
相談できる相手がいない	1,281名	2.6%
無回答	1,176名	2.4%



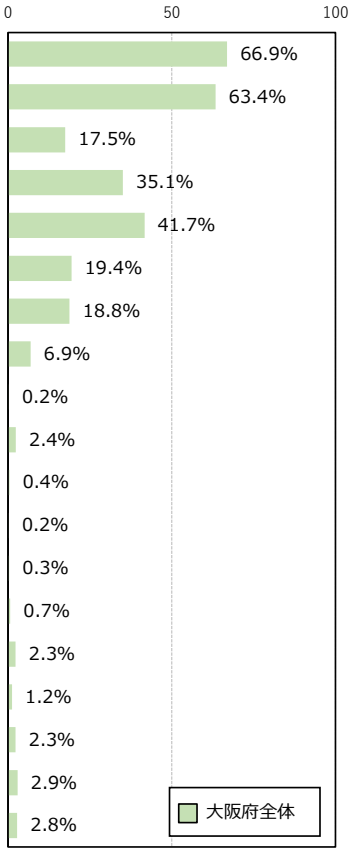
【小学生の保護者】

	大阪府全体	
	26,342名	100.0%
配偶者・パートナー	19,075名	72.4%
自分の親	18,092名	68.7%
配偶者・パートナーの親	5,732名	21.8%
きょうだい・その他の親戚	9,630名	36.6%
近隣に住む知人や友人	11,951名	45.4%
近隣に住んでいない知人や友人	5,632名	21.4%
職場関係者	4,655名	17.7%
学校の先生やスクールカウンセラー	2,327名	8.8%
子育て講座（小・中学生を持つ保護者を対象）等を担当するリーダーや職員等	97名	0.4%
公的機関や役所の相談員	657名	2.5%
学童保育の指導員	273名	1.0%
地域の民生委員・児童委員	59名	0.2%
民間の支援団体	79名	0.3%
民間のカウンセラー・電話相談	195名	0.7%
医療機関の医師や看護師	710名	2.7%
インターネットのサイトへの書き込み	413名	1.6%
その他	493名	1.9%
相談できる相手がいない	612名	2.3%
無回答	519名	2.0%



【中学生の保護者】

	大阪府全体	
	23,323名	100.0%
配偶者・パートナー	15,612名	66.9%
自分の親	14,777名	63.4%
配偶者・パートナーの親	4,074名	17.5%
きょうだい・その他の親戚	8,194名	35.1%
近隣に住む知人や友人	9,732名	41.7%
近隣に住んでいない知人や友人	4,536名	19.4%
職場関係者	4,395名	18.8%
学校の先生やスクールカウンセラー	1,605名	6.9%
子育て講座（小・中学生を持つ保護者を対象）等を担当するリーダーや職員等	48名	0.2%
公的機関や役所の相談員	563名	2.4%
学童保育の指導員	87名	0.4%
地域の民生委員・児童委員	46名	0.2%
民間の支援団体	64名	0.3%
民間のカウンセラー・電話相談	165名	0.7%
医療機関の医師や看護師	537名	2.3%
インターネットのサイトへの書き込み	281名	1.2%
その他	534名	2.3%
相談できる相手がいない	668名	2.9%
無回答	653名	2.8%



保護者のことについて

問20　身近にあるといいと思うこと

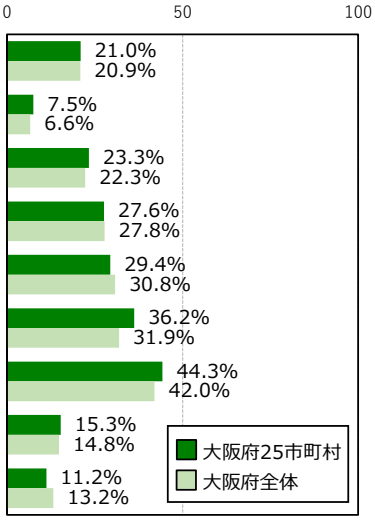
保護者全体は、大阪府25市町村では、「お子さんが無料で学習支援を受けられる場所」が44.3%で最も多く、次いで「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が36.2%、「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」が29.4%となっている。大阪府全体では、「お子さんが無料で学習支援を受けられる場所」が42.0%で最も多く、次いで「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が31.9%、「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」が30.8%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「お子さんが無料で学習支援を受けられる場所」が44.4%で最も多く、次いで「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が41.5%、「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」が29.9%となっている。大阪府全体では、「お子さんが無料で学習支援を受けられる場所」が42.9%で最も多く、次いで「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が35.6%、「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」が31.5%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「お子さんが無料で学習支援を受けられる場所」が44.5%で最も多く、次いで「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が30.8%、「支援制度など必要な情報を届けてくれること」が29.5%となっている。大阪府全体では、「お子さんが無料で学習支援を受けられる場所」が40.8%で最も多く、次いで「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」が30.1%、「支援制度など必要な情報を届けてくれること」が28.8%となっている。

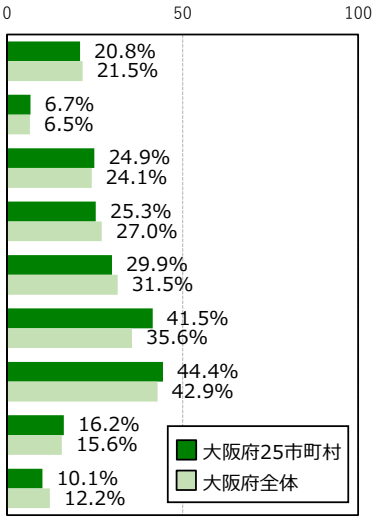
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
保護者どうしで気軽に話せる場	516名	21.0%	9,044名	20.9%
ＳＮＳなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ	184名	7.5%	2,876名	6.6%
家事の援助が受けられること	573名	23.3%	9,636名	22.3%
支援制度など必要な情報を届けてくれること	678名	27.6%	12,054名	27.8%
困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス	721名	29.4%	13,345名	30.8%
お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること	888名	36.2%	13,796名	31.9%
お子さんが無料で学習支援を受けられる場所	1,087名	44.3%	18,191名	42.0%
お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること	375名	15.3%	6,387名	14.8%
無回答	275名	11.2%	5,723名	13.2%



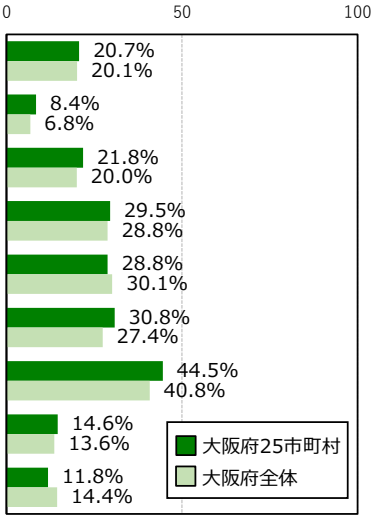
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
保護者どうしで気軽に話せる場	244名	20.8%	4,890名	21.5%
ＳＮＳなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ	79名	6.7%	1,475名	6.5%
家事の援助が受けられること	292名	24.9%	5,491名	24.1%
支援制度など必要な情報を届けてくれること	297名	25.3%	6,145名	27.0%
困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス	351名	29.9%	7,171名	31.5%
お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること	487名	41.5%	8,107名	35.6%
お子さんが無料で学習支援を受けられる場所	521名	44.4%	9,769名	42.9%
お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること	190名	16.2%	3,559名	15.6%
無回答	118名	10.1%	2,776名	12.2%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
保護者どうしで気軽に話せる場	216名	20.7%	3,898名	20.1%
ＳＮＳなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ	88名	8.4%	1,312名	6.8%
家事の援助が受けられること	228名	21.8%	3,872名	20.0%
支援制度など必要な情報を届けてくれること	309名	29.5%	5,580名	28.8%
困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス	301名	28.8%	5,831名	30.1%
お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること	322名	30.8%	5,315名	27.4%
お子さんが無料で学習支援を受けられる場所	465名	44.5%	7,901名	40.8%
お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること	153名	14.6%	2,641名	13.6%
無回答	123名	11.8%	2,789名	14.4%



保護者のことについて

問21（１）生活を楽しんでいるか

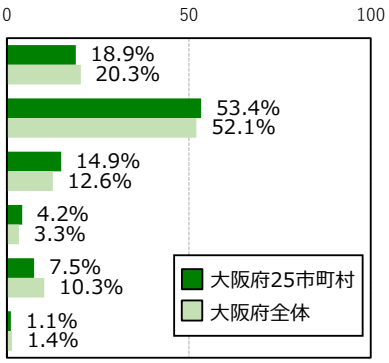
保護者全体は、大阪府25市町村では、「楽しんでいる」が53.4％で最も多く、次いで「とても楽しんでいる」が18.9％、「あまり楽しんでいない」が14.9％となっている。大阪府全体では、「楽しんでいる」が52.1％で最も多く、次いで「とても楽しんでいる」が20.3％、「あまり楽しんでいない」が12.6％となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「楽しんでいる」が54.9％で最も多く、次いで「とても楽しんでいる」が18.9％、「あまり楽しんでいない」が14.5％となっている。大阪府全体では、「楽しんでいる」が52.4％で最も多く、次いで「とても楽しんでいる」が21.2％、「あまり楽しんでいない」が11.8％となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「楽しんでいる」が51.6％で最も多く、次いで「とても楽しんでいる」が17.7％、「あまり楽しんでいない」が16.0％となっている。大阪府全体では、「楽しんでいる」が51.6％で最も多く、次いで「とても楽しんでいる」が19.2％、「あまり楽しんでいない」が13.4％となっている。

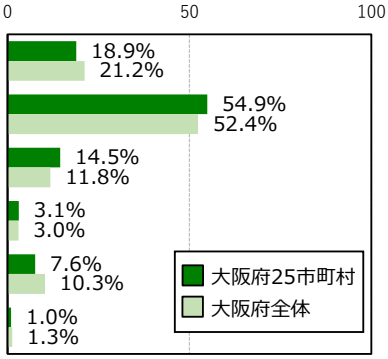
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
とても楽しんでいる	463名	18.9%	8,791名	20.3%
楽しんでいる	1,311名	53.4%	22,555名	52.1%
あまり楽しんでいない	367名	14.9%	5,466名	12.6%
楽しんでいない	104名	4.2%	1,411名	3.3%
わからない	183名	7.5%	4,473名	10.3%
無回答	27名	1.1%	604名	1.4%



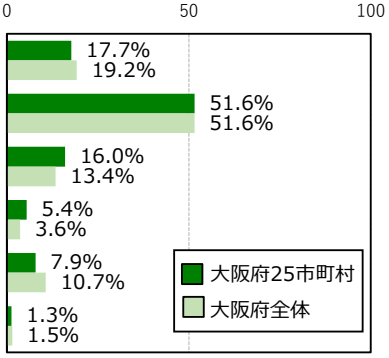
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
とても楽しんでいる	222名	18.9%	4,835名	21.2%
楽しんでいる	644名	54.9%	11,934名	52.4%
あまり楽しんでいない	170名	14.5%	2,699名	11.8%
楽しんでいない	36名	3.1%	680名	3.0%
わからない	89名	7.6%	2,340名	10.3%
無回答	12名	1.0%	298名	1.3%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
とても楽しんでいる	185名	17.7%	3,719名	19.2%
楽しんでいる	540名	51.6%	9,994名	51.6%
あまり楽しんでいない	167名	16.0%	2,592名	13.4%
楽しんでいない	57名	5.4%	690名	3.6%
わからない	83名	7.9%	2,070名	10.7%
無回答	14名	1.3%	300名	1.5%



保護者のことについて

問21（２）将来に対して希望を持っているか

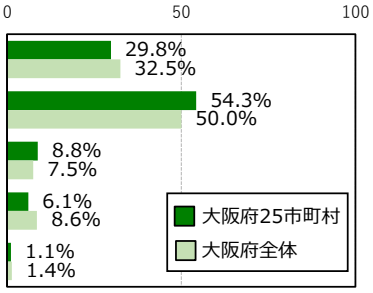
保護者全体は、大阪府25市町村では、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」が54.3%で最も多く、次いで「希望が持てる」が29.8%、「希望が持てない」が8.8%となっている。大阪府全体では、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」が50.0%で最も多く、次いで「希望が持てる」が32.5%、「希望が持てない」が7.5%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」が53.8%で最も多く、次いで「希望が持てる」が31.7%、「希望が持てない」が8.0%となっている。大阪府全体では、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」が48.9%で最も多く、次いで「希望が持てる」が34.7%、「希望が持てない」が6.9%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」が54.4%で最も多く、次いで「希望が持てる」が27.5%、「希望が持てない」が9.8%となっている。大阪府全体では、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」が51.1%で最も多く、次いで「希望が持てる」が30.1%、「希望が持てない」が8.1%となっている。

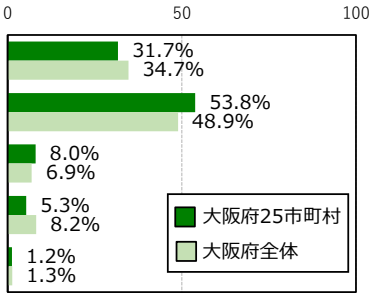
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
希望が持てる	731名	29.8%	14,080名	32.5%
希望が持てるときもあれば、持てないときもある	1,334名	54.3%	21,662名	50.0%
希望が持てない	215名	8.8%	3,239名	7.5%
わからない	149名	6.1%	3,718名	8.6%
無回答	26名	1.1%	601名	1.4%



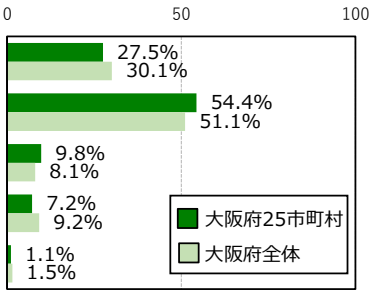
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
希望が持てる	372名	31.7%	7,896名	34.7%
希望が持てるときもあれば、持てないときもある	631名	53.8%	11,142名	48.9%
希望が持てない	94名	8.0%	1,575名	6.9%
わからない	62名	5.3%	1,874名	8.2%
無回答	14名	1.2%	299名	1.3%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
希望が持てる	288名	27.5%	5,831名	30.1%
希望が持てるときもあれば、持てないときもある	569名	54.4%	9,890名	51.1%
希望が持てない	102名	9.8%	1,574名	8.1%
わからない	75名	7.2%	1,774名	9.2%
無回答	12名	1.1%	296名	1.5%



保護者のことについて

問21（３）ストレスを発散できるものがあるか

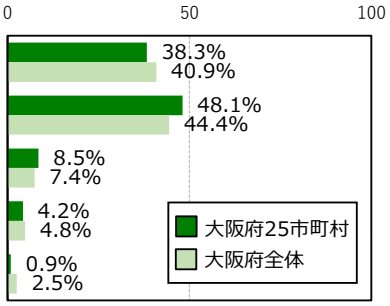
保護者全体は、大阪府25市町村では、「あるときもあれば、ないときもある」が48.1％で最も多く、次いで「ある」が38.3％、「ない」が8.5％となっている。大阪府全体では、「あるときもあれば、ないときもある」が44.4％で最も多く、次いで「ある」が40.9％、「ない」が7.4％となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「あるときもあれば、ないときもある」が48.6％で最も多く、次いで「ある」が38.2％、「ない」が7.9％となっている。大阪府全体では、「あるときもあれば、ないときもある」が44.3％で最も多く、次いで「ある」が41.5％、「ない」が7.3％となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「あるときもあれば、ないときもある」が48.2％で最も多く、次いで「ある」が36.7％、「ない」が9.5％となっている。大阪府全体では、「あるときもあれば、ないときもある」が44.3％で最も多く、次いで「ある」が40.3％、「ない」が7.6％となっている。

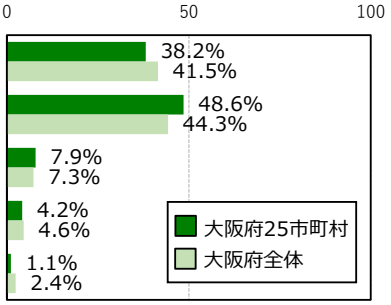
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
ある	940名	38.3%	17,707名	40.9%
あるときもあれば、ないときもある	1,182名	48.1%	19,240名	44.4%
ない	208名	8.5%	3,221名	7.4%
わからない	102名	4.2%	2,061名	4.8%
無回答	23名	0.9%	1,071名	2.5%



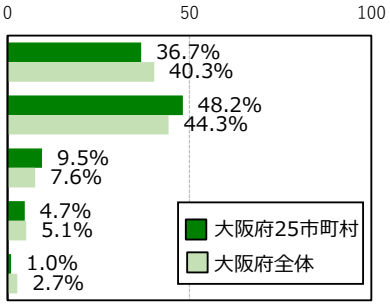
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
ある	448名	38.2%	9,455名	41.5%
あるときもあれば、ないときもある	570名	48.6%	10,090名	44.3%
ない	93名	7.9%	1,668名	7.3%
わからない	49名	4.2%	1,037名	4.6%
無回答	13名	1.1%	536名	2.4%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
ある	384名	36.7%	7,803名	40.3%
あるときもあれば、ないときもある	504名	48.2%	8,576名	44.3%
ない	99名	9.5%	1,467名	7.6%
わからない	49名	4.7%	990名	5.1%
無回答	10名	1.0%	529名	2.7%



保護者のことについて

問21（４）自分が幸せだと思うか

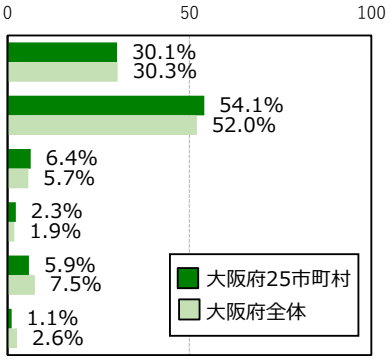
保護者全体は、大阪府25市町村では、「幸せだと思う」が54.1％で最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が30.1％、「あまり幸せだと思わない」が6.4％、「幸せだと思わない」が2.3％となっている。大阪府全体では、「幸せだと思う」が52.0％で最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が30.3％、「あまり幸せだと思わない」が5.7％、「幸せだと思わない」が1.9％となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「幸せだと思う」が53.0％で最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が31.6％、「あまり幸せだと思わない」が6.2％、「幸せだと思わない」が2.2％となっている。大阪府全体では、「幸せだと思う」が51.2％で最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が32.1％、「あまり幸せだと思わない」が5.2％となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「幸せだと思う」が55.2％で最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が27.8％、「あまり幸せだと思わない」が6.8％、「幸せだと思わない」が2.3％となっている。大阪府全体では、「幸せだと思う」が52.8％で最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が28.1％、「あまり幸せだと思わない」が6.3％となっている。

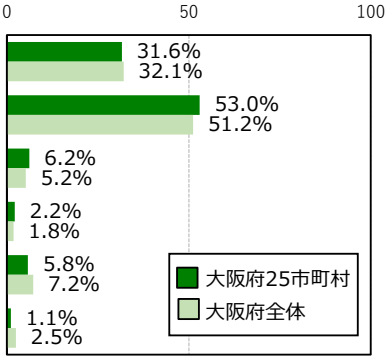
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
とても幸せだと思う	740名	30.1%	13,119名	30.3%
幸せだと思う	1,329名	54.1%	22,517名	52.0%
あまり幸せだと思わない	158名	6.4%	2,464名	5.7%
幸せだと思わない	56名	2.3%	819名	1.9%
わからない	145名	5.9%	3,246名	7.5%
無回答	27名	1.1%	1,135名	2.6%



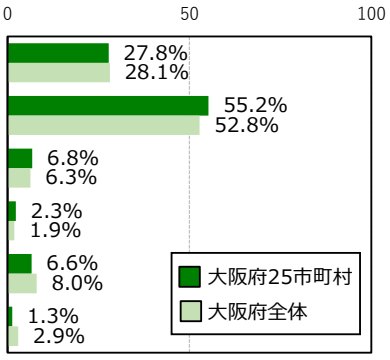
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
とても幸せだと思う	371名	31.6%	7,323名	32.1%
幸せだと思う	622名	53.0%	11,664名	51.2%
あまり幸せだと思わない	73名	6.2%	1,176名	5.2%
幸せだと思わない	26名	2.2%	413名	1.8%
わからない	68名	5.8%	1,640名	7.2%
無回答	13名	1.1%	570名	2.5%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
とても幸せだと思う	291名	27.8%	5,439名	28.1%
幸せだと思う	577名	55.2%	10,225名	52.8%
あまり幸せだと思わない	71名	6.8%	1,211名	6.3%
幸せだと思わない	24名	2.3%	376名	1.9%
わからない	69名	6.6%	1,555名	8.0%
無回答	14名	1.3%	559名	2.9%



保護者のことについて

問22　自分の体や気持ちで気になること

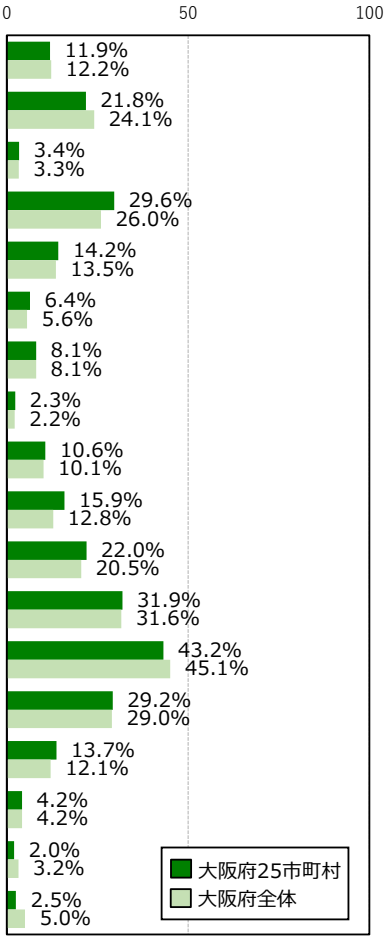
保護者全体は、大阪府25市町村では、「よく肩がこる」が43.2%で最も多く、次いで「イライラする」が31.9%、「不安な気持ちになる」が29.6%、「よく腰がいたくなる」が29.2%となっている。大阪府全体では、「よく肩がこる」が45.1%で最も多く、次いで「イライラする」が31.6%、「よく腰がいたくなる」が29.0%、「不安な気持ちになる」が26.0%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「よく肩がこる」が44.1%で最も多く、次いで「イライラする」が35.2%、「不安な気持ちになる」が29.8%、「よく腰がいたくなる」が29.4%となっている。大阪府全体では、「よく肩がこる」が45.5%で最も多く、次いで「イライラする」が34.3%、「よく腰がいたくなる」が28.6%、「不安な気持ちになる」が25.8%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「よく肩がこる」が43.7%で最も多く、次いで「よく腰がいたくなる」が30.0%、「不安な気持ちになる」が29.3%、「イライラする」が28.7%となっている。大阪府全体では、「よく肩がこる」が44.7%で最も多く、次いで「よく腰がいたくなる」が29.6%、「イライラする」が28.3%、「不安な気持ちになる」が25.9%となっている。

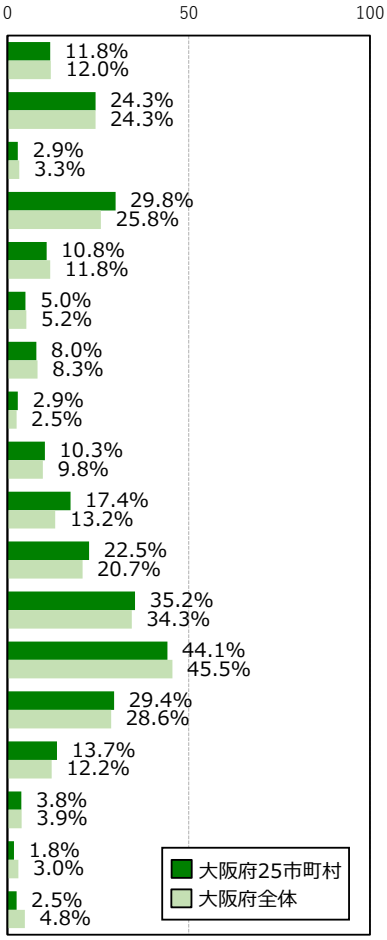
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
ねむれない	291名	11.9%	5,304名	12.2%
よく頭がいたくなる	536名	21.8%	10,446名	24.1%
歯がいたい	83名	3.4%	1,443名	3.3%
不安な気持ちになる	726名	29.6%	11,237名	26.0%
ものを見づらい	349名	14.2%	5,840名	13.5%
聞こえにくい	158名	6.4%	2,442名	5.6%
よくおなかがいたくなる	199名	8.1%	3,528名	8.1%
よくかぜをひく	56名	2.3%	937名	2.2%
よくかゆくなる	260名	10.6%	4,377名	10.1%
まわりが気になる	391名	15.9%	5,553名	12.8%
やる気が起きない	540名	22.0%	8,864名	20.5%
イライラする	784名	31.9%	13,687名	31.6%
よく肩がこる	1,060名	43.2%	19,531名	45.1%
よく腰がいたくなる	716名	29.2%	12,563名	29.0%
とくに気になるところはない	337名	13.7%	5,235名	12.1%
その他	104名	4.2%	1,805名	4.2%
わからない	50名	2.0%	1,376名	3.2%
無回答	61名	2.5%	2,175名	5.0%



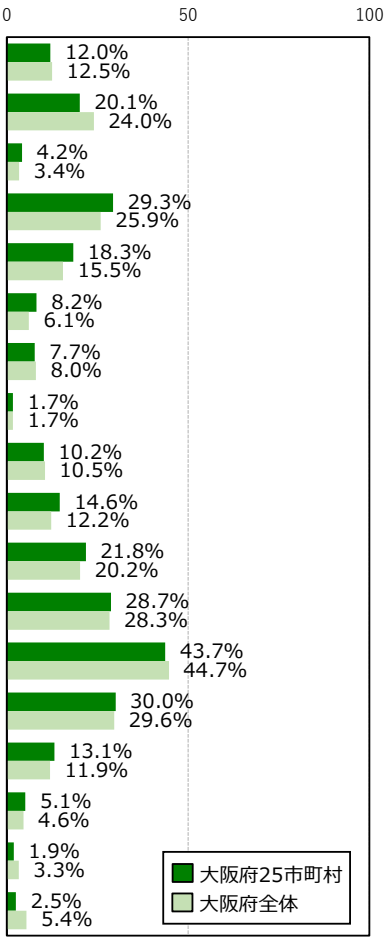
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
ねむれない	138名	11.8%	2,729名	12.0%
よく頭がいたくなる	285名	24.3%	5,527名	24.3%
歯がいたい	34名	2.9%	743名	3.3%
不安な気持ちになる	350名	29.8%	5,889名	25.8%
ものを見づらい	127名	10.8%	2,690名	11.8%
聞こえにくい	59名	5.0%	1,177名	5.2%
よくおなかがいたくなる	94名	8.0%	1,881名	8.3%
よくかぜをひく	34名	2.9%	579名	2.5%
よくかゆくなる	121名	10.3%	2,233名	9.8%
まわりが気になる	204名	17.4%	3,007名	13.2%
やる気が起きない	264名	22.5%	4,720名	20.7%
イライラする	413名	35.2%	7,824名	34.3%
よく肩がこる	517名	44.1%	10,371名	45.5%
よく腰がいたくなる	345名	29.4%	6,526名	28.6%
とくに気になるところはない	161名	13.7%	2,788名	12.2%
その他	44名	3.8%	886名	3.9%
わからない	21名	1.8%	684名	3.0%
無回答	29名	2.5%	1,097名	4.8%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
ねむれない	125名	12.0%	2,419名	12.5%
よく頭がいたくなる	210名	20.1%	4,640名	24.0%
歯がいたい	44名	4.2%	654名	3.4%
不安な気持ちになる	306名	29.3%	5,022名	25.9%
ものを見づらい	191名	18.3%	3,003名	15.5%
聞こえにくい	86名	8.2%	1,190名	6.1%
よくおなかがいたくなる	81名	7.7%	1,542名	8.0%
よくかぜをひく	18名	1.7%	331名	1.7%
よくかゆくなる	107名	10.2%	2,028名	10.5%
まわりが気になる	153名	14.6%	2,367名	12.2%
やる気が起きない	228名	21.8%	3,909名	20.2%
イライラする	300名	28.7%	5,480名	28.3%
よく肩がこる	457名	43.7%	8,655名	44.7%
よく腰がいたくなる	314名	30.0%	5,734名	29.6%
とくに気になるところはない	137名	13.1%	2,295名	11.9%
その他	53名	5.1%	889名	4.6%
わからない	20名	1.9%	646名	3.3%
無回答	26名	2.5%	1,038名	5.4%



保護者のことについて

問23　支援制度の利用状況　a　就学援助

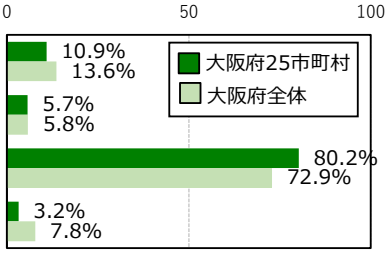
保護者全体は、大阪府25市町村では、「利用したことがない」が80.2%で最も多く、次いで「現在利用している」が10.9%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が5.7%となっている。大阪府全体では、「利用したことがない」が72.9%で最も多く、次いで「現在利用している」が13.6%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が5.8%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「利用したことがない」が82.7%で最も多く、次いで「現在利用している」が9.5%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が5.0%となっている。大阪府全体では、「利用したことがない」が75.5%で最も多く、次いで「現在利用している」が11.9%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が4.9%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「利用したことがない」が76.8%で最も多く、次いで「現在利用している」が13.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が6.1%となっている。大阪府全体では、「利用したことがない」が69.5%で最も多く、次いで「現在利用している」が15.6%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が6.8%となっている。

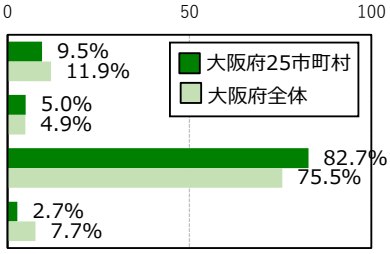
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	268名	10.9%	5,869名	13.6%
現在利用していないが、以前利用したことがある	140名	5.7%	2,503名	5.8%
利用したことがない	1,968名	80.2%	31,557名	72.9%
無回答	79名	3.2%	3,371名	7.8%



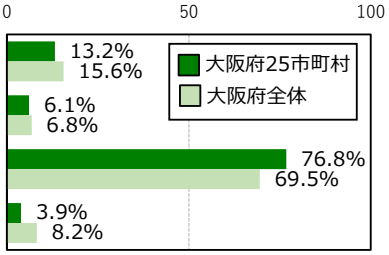
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	112名	9.5%	2,714名	11.9%
現在利用していないが、以前利用したことがある	59名	5.0%	1,110名	4.9%
利用したことがない	970名	82.7%	17,198名	75.5%
無回答	32名	2.7%	1,764名	7.7%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	138名	13.2%	3,020名	15.6%
現在利用していないが、以前利用したことがある	64名	6.1%	1,308名	6.8%
利用したことがない	803名	76.8%	13,453名	69.5%
無回答	41名	3.9%	1,584名	8.2%



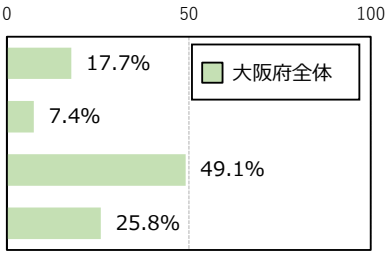
※　2016年度調査では「受けている」「受けたことがある」「受けたことはない」

●2016年度　調査結果〔参考データ〕

大阪府全体を2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「利用したことがない」（2016年度は「受けたことはない」）が23.8ポイント高くなっている。
小学生の保護者は、「利用したことがない」が23.5ポイント高くなっている。
中学生の保護者は、「利用したことがない」が23.5ポイント高くなっている。

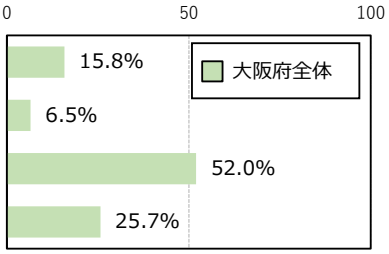
【保護者全体】

	大阪府全体	
	49,703名	100.0%
受けている	8,792名	17.7%
受けたことがある	3,669名	7.4%
受けたことはない	24,429名	49.1%
無回答	12,813名	25.8%



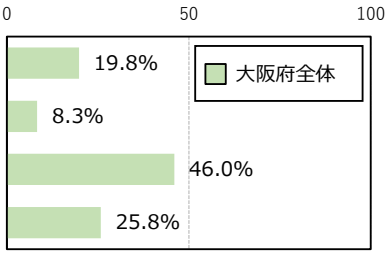
【小学生の保護者】

	大阪府全体	
	26,342名	100.0%
受けている	4,154名	15.8%
受けたことがある	1,724名	6.5%
受けたことはない	13,686名	52.0%
無回答	6,778名	25.7%



【中学生の保護者】

	大阪府全体	
	23,323名	100.0%
受けている	4,628名	19.8%
受けたことがある	1,942名	8.3%
受けたことはない	10,733名	46.0%
無回答	6,020名	25.8%



保護者のことについて

問23　支援制度の利用状況　a 就学援助 ＜利用したことがない理由＞

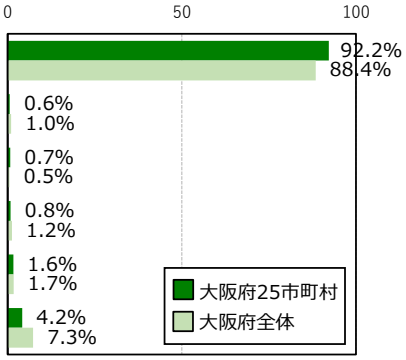
保護者全体は、大阪府25市町村では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が92.2%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が1.6%となっている。大阪府全体では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が88.4%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が1.7%、「利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから」が1.2%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が93.2%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が0.8%となっている。大阪府全体では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が88.4%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が1.6%、「利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから」が1.2%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が90.9%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.5%となっている。大阪府全体では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が88.1%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が1.8%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」と「利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから」がそれぞれ1.2%となっている。

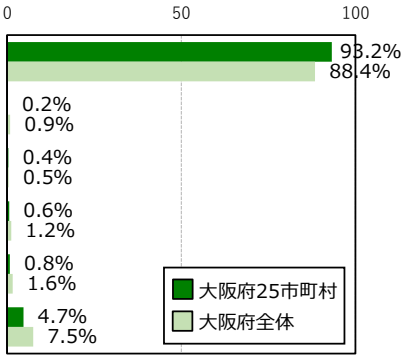
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,968名	100.0%	31,557名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	1,814名	92.2%	27,883名	88.4%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	12名	0.6%	315名	1.0%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	14名	0.7%	161名	0.5%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	15名	0.8%	382名	1.2%
それ以外の理由	31名	1.6%	524名	1.7%
無回答	82名	4.2%	2,292名	7.3%



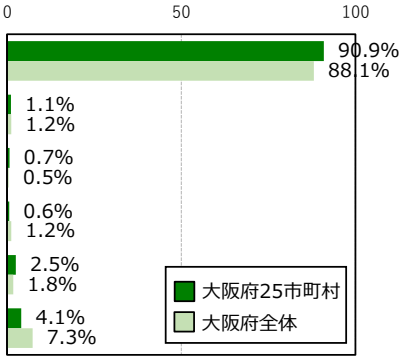
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	970名	100.0%	17,198名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	904名	93.2%	15,195名	88.4%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	2名	0.2%	153名	0.9%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	4名	0.4%	87名	0.5%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	6名	0.6%	209名	1.2%
それ以外の理由	8名	0.8%	270名	1.6%
無回答	46名	4.7%	1,284名	7.5%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	803名	100.0%	13,453名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	730名	90.9%	11,847名	88.1%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	9名	1.1%	157名	1.2%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	6名	0.7%	69名	0.5%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	5名	0.6%	156名	1.2%
それ以外の理由	20名	2.5%	236名	1.8%
無回答	33名	4.1%	988名	7.3%



保護者のことについて

問23　支援制度の利用状況　b　生活保護

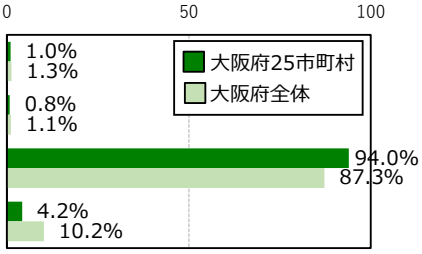
保護者全体は、大阪府25市町村では、「利用したことがない」が94.0%で最も多く、次いで「現在利用している」が1.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.8%となっている。大阪府全体では、「利用したことがない」が87.3%で最も多く、次いで「現在利用している」が1.3%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.1%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「利用したことがない」が94.8%で最も多く、次いで「現在利用している」が0.7%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.5%となっている。大阪府全体では、「利用したことがない」が88.2%で最も多く、次いで「現在利用している」が1.1%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.0%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「利用したことがない」が92.6%で最も多く、次いで「現在利用している」と「現在利用していないが、以前利用したことがある」がそれぞれ1.2%となっている。大阪府全体では、「利用したことがない」が85.8%で最も多く、次いで「現在利用している」が1.6%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.4%となっている。

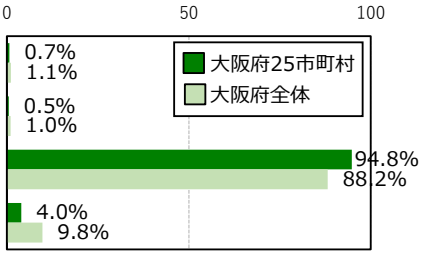
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	25名	1.0%	580名	1.3%
現在利用していないが、以前利用したことがある	19名	0.8%	497名	1.1%
利用したことがない	2,307名	94.0%	37,793名	87.3%
無回答	104名	4.2%	4,430名	10.2%



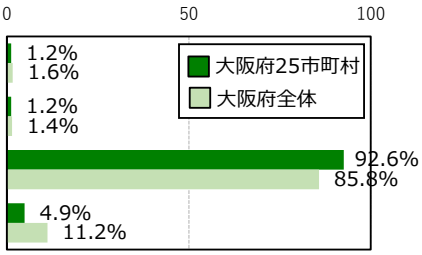
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	8名	0.7%	254名	1.1%
現在利用していないが、以前利用したことがある	6名	0.5%	218名	1.0%
利用したことがない	1,112名	94.8%	20,090名	88.2%
無回答	47名	4.0%	2,224名	9.8%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	13名	1.2%	316名	1.6%
現在利用していないが、以前利用したことがある	13名	1.2%	267名	1.4%
利用したことがない	969名	92.6%	16,608名	85.8%
無回答	51名	4.9%	2,174名	11.2%



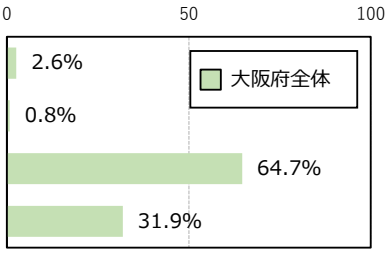
※　2016年度調査では「受けている」「受けたことがある」「受けたことはない」

●2016年度　調査結果〔参考データ〕

大阪府全体を2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「利用したことがない」（2016年度は「受けたことはない」）が22.6ポイント高くなっている。
小学生の保護者は、「利用したことがない」が22.6ポイント高くなっている。
中学生の保護者は、「利用したことがない」が22.1ポイント高くなっている。

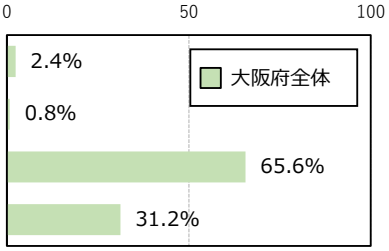
【保護者全体】

	大阪府全体	
	49,703名	100.0%
受けている	1,274名	2.6%
受けたことがある	422名	0.8%
受けたことはない	32,160名	64.7%
無回答	15,847名	31.9%



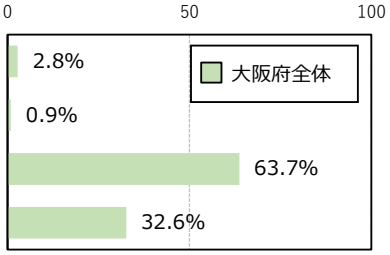
【小学生の保護者】

	大阪府全体	
	26,342名	100.0%
受けている	622名	2.4%
受けたことがある	211名	0.8%
受けたことはない	17,286名	65.6%
無回答	8,223名	31.2%



【中学生の保護者】

	大阪府全体	
	23,323名	100.0%
受けている	650名	2.8%
受けたことがある	211名	0.9%
受けたことはない	14,855名	63.7%
無回答	7,607名	32.6%



保護者のことについて

問23　支援制度の利用状況　b 生活保護 ＜利用したことがない理由＞

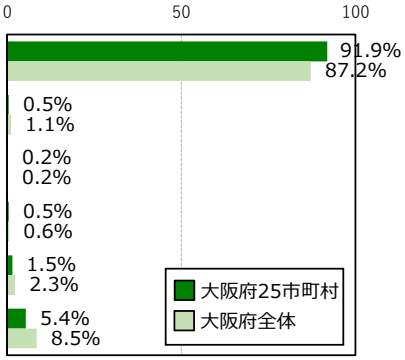
保護者全体は、大阪府25市町村では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が91.9%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が1.5%となっている。大阪府全体では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が87.2%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.3%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.1%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が92.4%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が1.3%となっている。大阪府全体では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が87.4%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.2%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.1%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が90.6%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が1.9%となっている。大阪府全体では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が86.5%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.5%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.3%となっている。

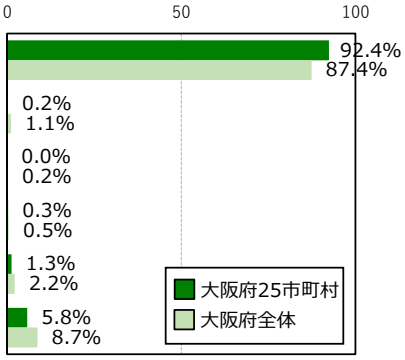
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,307名	100.0%	37,793名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	2,119名	91.9%	32,964名	87.2%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	12名	0.5%	434名	1.1%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	5名	0.2%	73名	0.2%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	12名	0.5%	230名	0.6%
それ以外の理由	35名	1.5%	867名	2.3%
無回答	124名	5.4%	3,225名	8.5%



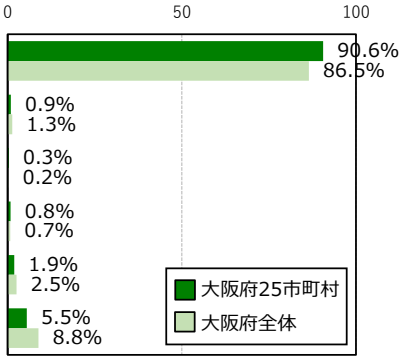
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,112名	100.0%	20,090名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	1,027名	92.4%	17,567名	87.4%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	2名	0.2%	211名	1.1%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	-	-	31名	0.2%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	3名	0.3%	104名	0.5%
それ以外の理由	15名	1.3%	433名	2.2%
無回答	65名	5.8%	1,744名	8.7%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	969名	100.0%	16,608名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	878名	90.6%	14,367名	86.5%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	9名	0.9%	219名	1.3%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	3名	0.3%	40名	0.2%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	8名	0.8%	117名	0.7%
それ以外の理由	18名	1.9%	411名	2.5%
無回答	53名	5.5%	1,454名	8.8%



保護者のことについて

問23　支援制度の利用状況　c 生活困窮者の自立支援相談窓口

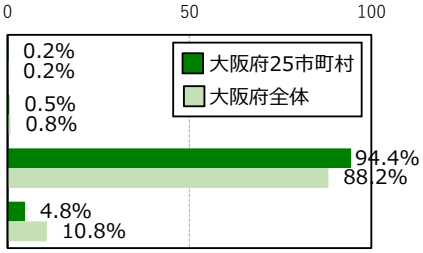
保護者全体は、大阪府25市町村では、「利用したことがない」が94.4%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.5%、「現在利用している」が0.2%となっている。大阪府全体では、「利用したことがない」が88.2%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.8%、「現在利用している」が0.2%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「利用したことがない」が95.1%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.5%、「現在利用している」が0.2%となっている。大阪府全体では、「利用したことがない」が88.7%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.7%、「現在利用している」が0.2%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「利用したことがない」が93.2%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.6%、「現在利用している」が0.3%となっている。大阪府全体では、「利用したことがない」が87.0%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.8%、「現在利用している」が0.2%となっている。

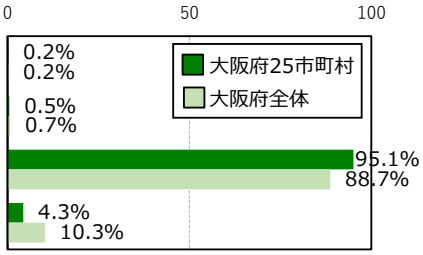
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	5名	0.2%	101名	0.2%
現在利用していないが、以前利用したことがある	13名	0.5%	338名	0.8%
利用したことがない	2,318名	94.4%	38,173名	88.2%
無回答	119名	4.8%	4,688名	10.8%



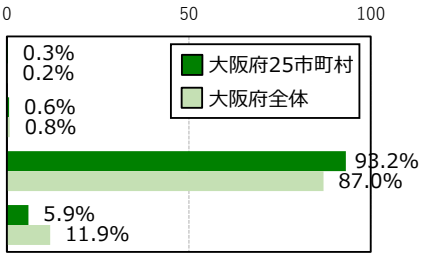
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	2名	0.2%	55名	0.2%
現在利用していないが、以前利用したことがある	6名	0.5%	163名	0.7%
利用したことがない	1,115名	95.1%	20,220名	88.7%
無回答	50名	4.3%	2,348名	10.3%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	3名	0.3%	44名	0.2%
現在利用していないが、以前利用したことがある	6名	0.6%	162名	0.8%
利用したことがない	975名	93.2%	16,851名	87.0%
無回答	62名	5.9%	2,308名	11.9%



保護者のことについて

問23　支援制度の利用状況　c 生活困窮者の自立支援相談窓口 ＜利用したことがない理由＞

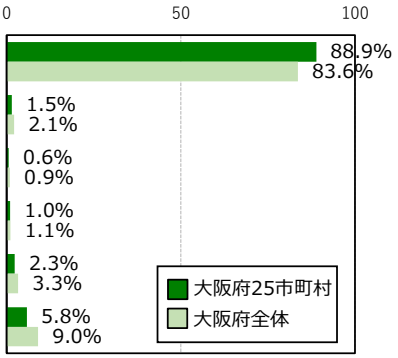
保護者全体は、大阪府25市町村では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が88.9%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.3%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.5%となっている。大阪府全体では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が83.6%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.3%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が2.1%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が90.2%で最も多く、次いで「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」と「それ以外の理由」がそれぞれ1.6%となっている。大阪府全体では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が84.4%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.0%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.9%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が86.7%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.0%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」と「利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから」がそれぞれ1.4%となっている。大阪府全体では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が82.3%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.7%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が2.4%となっている。

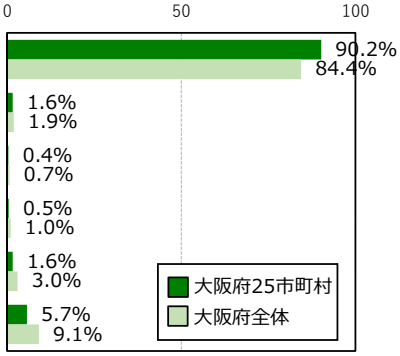
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,318名	100.0%	38,173名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	2,060名	88.9%	31,919名	83.6%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	34名	1.5%	790名	2.1%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	13名	0.6%	332名	0.9%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	24名	1.0%	410名	1.1%
それ以外の理由	53名	2.3%	1,275名	3.3%
無回答	134名	5.8%	3,447名	9.0%



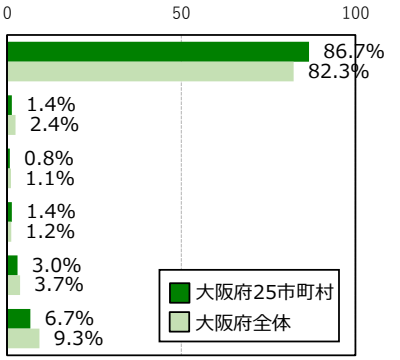
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,115名	100.0%	20,220名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	1,006名	90.2%	17,059名	84.4%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	18名	1.6%	382名	1.9%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	4名	0.4%	134名	0.7%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	6名	0.5%	193名	1.0%
それ以外の理由	18名	1.6%	609名	3.0%
無回答	63名	5.7%	1,843名	9.1%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	975名	100.0%	16,851名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	845名	86.7%	13,863名	82.3%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	14名	1.4%	397名	2.4%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	8名	0.8%	192名	1.1%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	14名	1.4%	204名	1.2%
それ以外の理由	29名	3.0%	625名	3.7%
無回答	65名	6.7%	1,570名	9.3%



保護者のことについて

問23　支援制度の利用状況　d 児童扶養手当（ひとり親世帯）

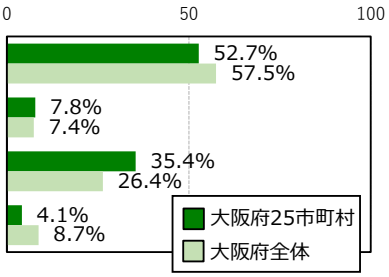
保護者全体は、大阪府25市町村では、「現在利用している」が52.7%で最も多く、次いで「利用したことがない」が35.4%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が7.8%となっている。大阪府全体では、「現在利用している」が57.5%で最も多く、次いで「利用したことがない」が26.4%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が7.4%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「現在利用している」が51.0%で最も多く、次いで「利用したことがない」が38.8%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が6.1%となっている。大阪府全体では、「現在利用している」が56.6%で最も多く、次いで「利用したことがない」が28.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が6.9%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「現在利用している」が57.3%で最も多く、次いで「利用したことがない」が30.6%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が8.9%となっている。大阪府全体では、「現在利用している」が58.2%で最も多く、次いで「利用したことがない」が25.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が7.7%となっている。

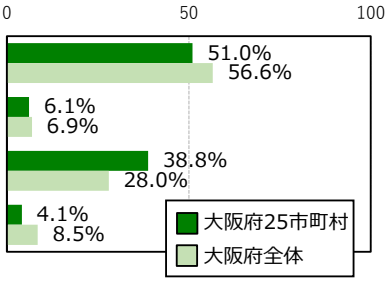
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	243名	100.0%	5,126名	100.0%
現在利用している	128名	52.7%	2,948名	57.5%
現在利用していないが、以前利用したことがある	19名	7.8%	380名	7.4%
利用したことがない	86名	35.4%	1,354名	26.4%
無回答	10名	4.1%	444名	8.7%



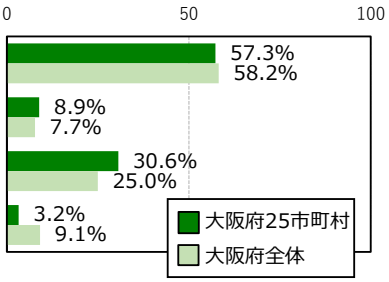
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	98名	100.0%	2,447名	100.0%
現在利用している	50名	51.0%	1,385名	56.6%
現在利用していないが、以前利用したことがある	6名	6.1%	168名	6.9%
利用したことがない	38名	38.8%	686名	28.0%
無回答	4名	4.1%	208名	8.5%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	124名	100.0%	2,547名	100.0%
現在利用している	71名	57.3%	1,483名	58.2%
現在利用していないが、以前利用したことがある	11名	8.9%	196名	7.7%
利用したことがない	38名	30.6%	636名	25.0%
無回答	4名	3.2%	232名	9.1%



※　2016年度調査では「受けている」「受けたことがある」「受けたことはない」

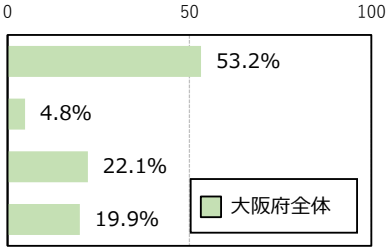
※　ひとり親世帯のみで集計。

●2016年度　調査結果〔参考データ〕

大阪府全体を2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「利用したことがある」（2016年度は「受けている」）、「利用したことがない」（2016年度は「受けたことはない」）ともそれぞれ4.3ポイント高くなっている。
小学生の保護者は、「利用したことがない」が5.2ポイント高くなっている。
中学生の保護者は、「利用したことがある」が5.7ポイント高くなっている。

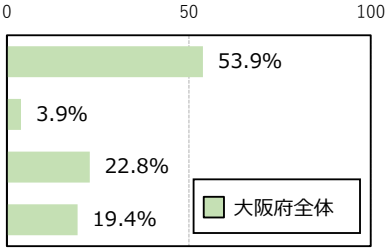
【保護者全体】

	大阪府全体	
	8,765名	100.0%
受けている	4,663名	53.2%
受けたことがある	421名	4.8%
受けたことはない	1,937名	22.1%
無回答	1,744名	19.9%



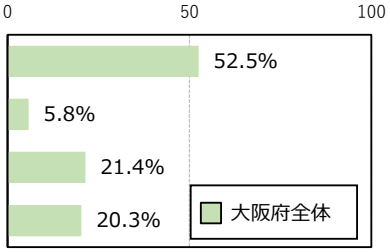
【小学生の保護者】

	大阪府全体	
	4,263名	100.0%
受けている	2,298名	53.9%
受けたことがある	166名	3.9%
受けたことはない	972名	22.8%
無回答	827名	19.4%



【中学生の保護者】

	大阪府全体	
	4,497名	100.0%
受けている	2,361名	52.5%
受けたことがある	261名	5.8%
受けたことはない	962名	21.4%
無回答	913名	20.3%



※　ひとり親世帯のみで集計。

保護者のことについて

問23　支援制度の利用状況　d 児童扶養手当 ＜利用したことがない理由＞（ひとり親世帯）

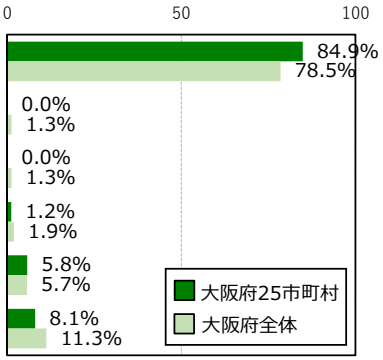
保護者全体は、大阪府25市町村では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が84.9%と最も多く、次いで、「それ以外の理由」が5.8%、「利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから」が1.2%となっている。大阪府全体では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が78.5%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が5.7%、「利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから」が1.9%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が84.2%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が5.3%となっている。大阪府全体では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が79.6%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が5.5%、「利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから」が2.0%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が89.5%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.6%となっている。大阪府全体では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が77.2%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が5.5%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が2.2%となっている。

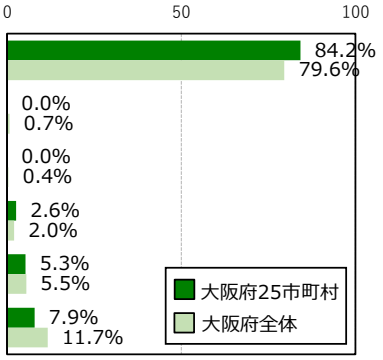
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	86名	100.0%	1,354名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	73名	84.9%	1,063名	78.5%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	－	－	17名	1.3%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	－	－	18名	1.3%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	1名	1.2%	26名	1.9%
それ以外の理由	5名	5.8%	77名	5.7%
無回答	7名	8.1%	153名	11.3%



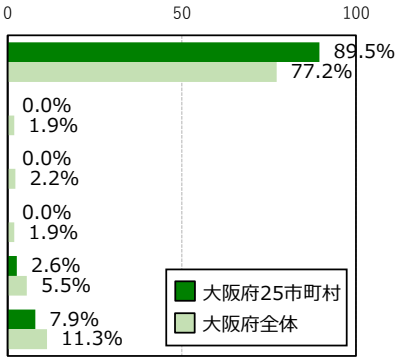
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	38名	100.0%	686名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	32名	84.2%	546名	79.6%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	－	－	5名	0.7%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	－	－	3名	0.4%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	1名	2.6%	14名	2.0%
それ以外の理由	2名	5.3%	38名	5.5%
無回答	3名	7.9%	80名	11.7%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	38名	100.0%	636名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	34名	89.5%	491名	77.2%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	－	－	12名	1.9%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	－	－	14名	2.2%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	－	－	12名	1.9%
それ以外の理由	1名	2.6%	35名	5.5%
無回答	3名	7.9%	72名	11.3%



※　ひとり親世帯のみで集計。

保護者のことについて

問23　支援制度の利用状況　e 母子家庭等就業・自立支援センター

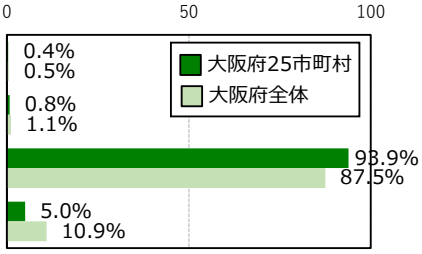
保護者全体は、大阪府25市町村では、「利用したことがない」が93.9%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.8%、「現在利用している」が0.4%となっている。大阪府全体では、「利用したことがない」が87.5%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.1%、「現在利用している」が0.5%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「利用したことがない」が95.0%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.4%、「現在利用している」が0.3%となっている。大阪府全体では、「利用したことがない」が88.2%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.0%、「現在利用している」が0.4%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「利用したことがない」が92.4%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.1%、「現在利用している」が0.6%となっている。大阪府全体では、「利用したことがない」が86.3%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.3%、「現在利用している」が0.5%となっている。

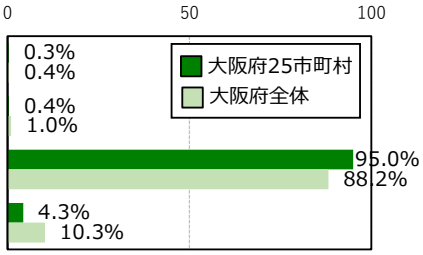
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	9名	0.4%	200名	0.5%
現在利用していないが、以前利用したことがある	19名	0.8%	496名	1.1%
利用したことがない	2,305名	93.9%	37,904名	87.5%
無回答	122名	5.0%	4,700名	10.9%



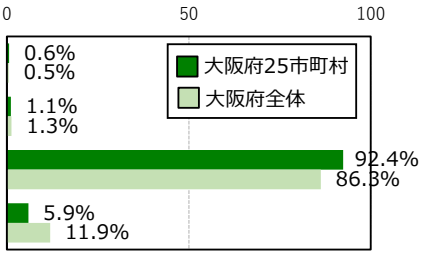
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	3名	0.3%	100名	0.4%
現在利用していないが、以前利用したことがある	5名	0.4%	236名	1.0%
利用したことがない	1,114名	95.0%	20,103名	88.2%
無回答	51名	4.3%	2,347名	10.3%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	6名	0.6%	98名	0.5%
現在利用していないが、以前利用したことがある	12名	1.1%	246名	1.3%
利用したことがない	966名	92.4%	16,713名	86.3%
無回答	62名	5.9%	2,308名	11.9%



保護者のことについて

問23　支援制度の利用状況　e 母子家庭等就業・自立支援センター ＜利用したことがない理由＞

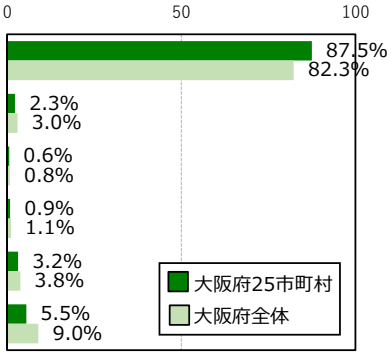
保護者全体は、大阪府25市町村では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が87.5%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.2%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が2.3%となっている。大阪府全体では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が82.3%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.8%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が3.0%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が89.0%で最も多く、次いで「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」と「それ以外の理由」がそれぞれ2.1%となっている。大阪府全体では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が83.2%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.4%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が2.7%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が84.8%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が4.3%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が2.8%となっている。大阪府全体では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が80.9%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が4.3%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が3.4%となっている。

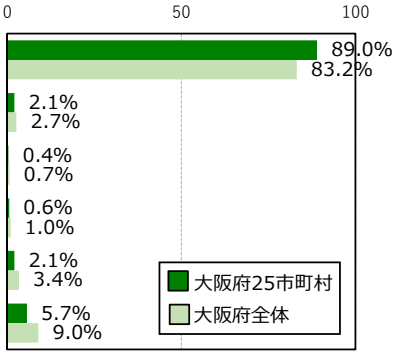
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,305名	100.0%	37,904名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	2,016名	87.5%	31,197名	82.3%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	53名	2.3%	1,139名	3.0%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	14名	0.6%	316名	0.8%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	21名	0.9%	401名	1.1%
それ以外の理由	74名	3.2%	1,448名	3.8%
無回答	127名	5.5%	3,403名	9.0%



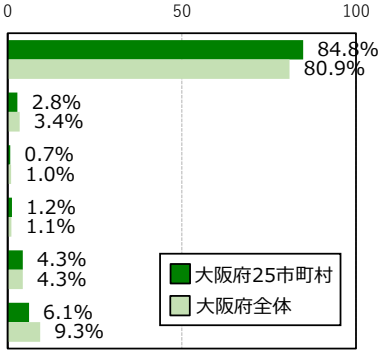
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,114名	100.0%	20,103名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	992名	89.0%	16,718名	83.2%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	23名	2.1%	540名	2.7%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	5名	0.4%	138名	0.7%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	7名	0.6%	203名	1.0%
それ以外の理由	23名	2.1%	686名	3.4%
無回答	64名	5.7%	1,818名	9.0%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	966名	100.0%	16,713名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	819名	84.8%	13,516名	80.9%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	27名	2.8%	572名	3.4%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	7名	0.7%	169名	1.0%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	12名	1.2%	188名	1.1%
それ以外の理由	42名	4.3%	714名	4.3%
無回答	59名	6.1%	1,554名	9.3%



保護者のことについて

問23　支援制度の利用状況　f 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金

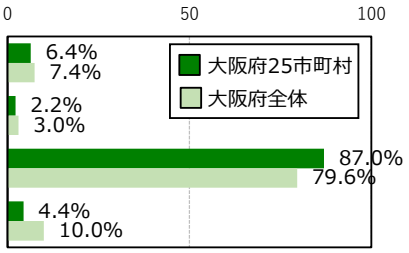
保護者全体は、大阪府25市町村では、「利用したことがない」が87.0%で最も多く、次いで「現在利用している」が6.4%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.2%となっている。大阪府全体では、「利用したことがない」が79.6%で最も多く、次いで「現在利用している」が7.4%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が3.0%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「利用したことがない」が88.5%で最も多く、次いで「現在利用している」が5.6%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.2%となっている。大阪府全体では、「利用したことがない」が80.7%で最も多く、次いで「現在利用している」が6.9%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.9%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「利用したことがない」が84.7%で最も多く、次いで「現在利用している」が7.4%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.5%となっている。大阪府全体では、「利用したことがない」が77.9%で最も多く、次いで「現在利用している」が8.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が3.0%となっている。

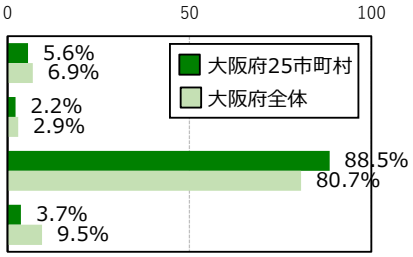
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	157名	6.4%	3,205名	7.4%
現在利用していないが、以前利用したことがある	55名	2.2%	1,293名	3.0%
利用したことがない	2,135名	87.0%	34,472名	79.6%
無回答	108名	4.4%	4,330名	10.0%



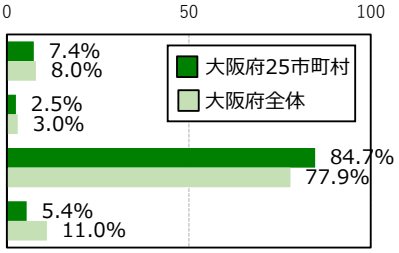
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	66名	5.6%	1,562名	6.9%
現在利用していないが、以前利用したことがある	26名	2.2%	672名	2.9%
利用したことがない	1,038名	88.5%	18,390名	80.7%
無回答	43名	3.7%	2,162名	9.5%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	77名	7.4%	1,557名	8.0%
現在利用していないが、以前利用したことがある	26名	2.5%	588名	3.0%
利用したことがない	886名	84.7%	15,094名	77.9%
無回答	57名	5.4%	2,126名	11.0%



保護者のことについて

問23　支援制度の利用状況　ｆ 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金
＜利用したことがない理由＞

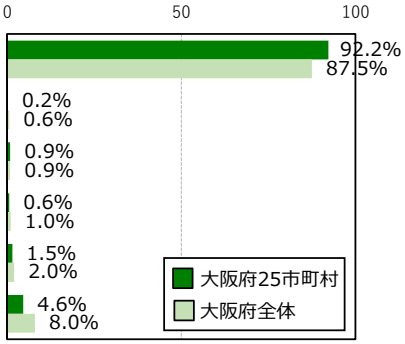
保護者全体は、大阪府25市町村では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が92.2%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が1.5%となっている。大阪府全体では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が87.5%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.0%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が92.7%で最も多く、次いで「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が0.9%となっている。大阪府全体では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が87.9%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が1.8%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が90.6%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.4%となっている。大阪府全体では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が86.5%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.3%となっている。

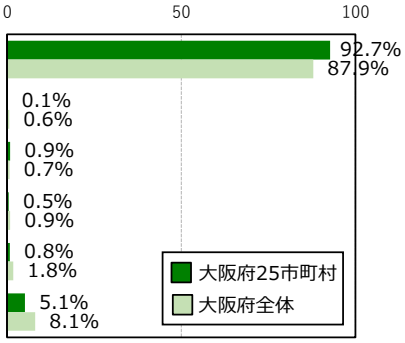
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,135名	100.0%	34,472名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	1,968名	92.2%	30,150名	87.5%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	4名	0.2%	201名	0.6%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	19名	0.9%	322名	0.9%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	13名	0.6%	336名	1.0%
それ以外の理由	32名	1.5%	696名	2.0%
無回答	99名	4.6%	2,767名	8.0%



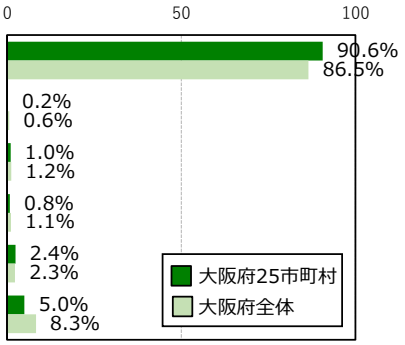
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,038名	100.0%	18,390名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	962名	92.7%	16,160名	87.9%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	1名	0.1%	102名	0.6%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	9名	0.9%	133名	0.7%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	5名	0.5%	168名	0.9%
それ以外の理由	8名	0.8%	338名	1.8%
無回答	53名	5.1%	1,489名	8.1%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	886名	100.0%	15,094名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	803名	90.6%	13,056名	86.5%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	2名	0.2%	98名	0.6%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	9名	1.0%	182名	1.2%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	7名	0.8%	162名	1.1%
それ以外の理由	21名	2.4%	343名	2.3%
無回答	44名	5.0%	1,253名	8.3%



保護者のことについて

問23　支援制度の利用状況　g 新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）

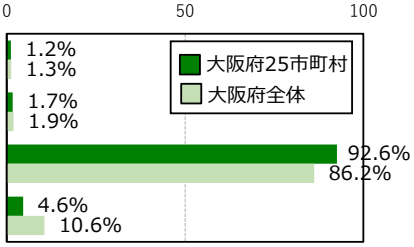
保護者全体は、大阪府25市町村では、「利用したことがない」が92.6%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.7%、「現在利用している」が1.2%となっている。大阪府全体では、「利用したことがない」が86.2%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.9%、「現在利用している」が1.3%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「利用したことがない」が93.4%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.5%、「現在利用している」が1.2%となっている。大阪府全体では、「利用したことがない」が86.8%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.8%、「現在利用している」が1.3%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「利用したことがない」が91.6%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.8%、「現在利用している」が1.1%となっている。大阪府全体では、「利用したことがない」が85.0%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.9%、「現在利用している」が1.3%となっている。

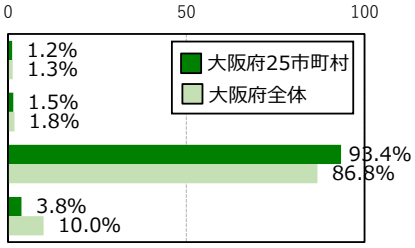
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	29名	1.2%	569名	1.3%
現在利用していないが、以前利用したことがある	41名	1.7%	814名	1.9%
利用したことがない	2,273名	92.6%	37,313名	86.2%
無回答	112名	4.6%	4,604名	10.6%



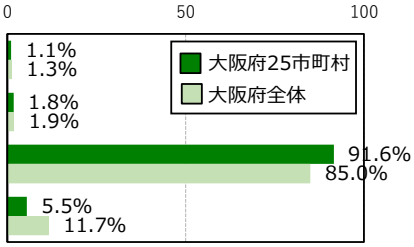
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	14名	1.2%	298名	1.3%
現在利用していないが、以前利用したことがある	18名	1.5%	419名	1.8%
利用したことがない	1,096名	93.4%	19,782名	86.8%
無回答	45名	3.8%	2,287名	10.0%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	11名	1.1%	258名	1.3%
現在利用していないが、以前利用したことがある	19名	1.8%	372名	1.9%
利用したことがない	958名	91.6%	16,467名	85.0%
無回答	58名	5.5%	2,268名	11.7%



保護者のことについて

問23　支援制度の利用状況　g 新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）＜利用したことがない理由＞

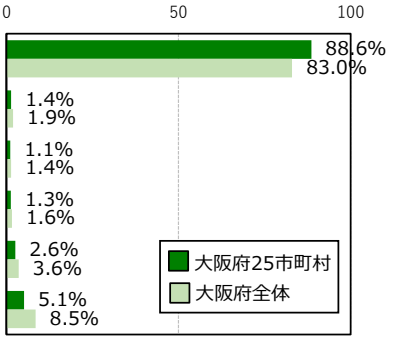
保護者全体は、大阪府25市町村では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が88.6%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.6%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.4%となっている。大阪府全体では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が83.0%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.6%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.9%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が89.6%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が1.4%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が1.3%となっている。大阪府全体では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が83.7%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.1%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.7%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が86.8%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.5%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.7%となっている。大阪府全体では、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が81.8%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が4.1%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が2.1%となっている。

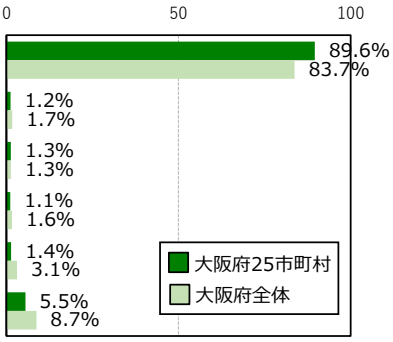
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,273名	100.0%	37,313名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	2,015名	88.6%	30,971名	83.0%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	31名	1.4%	708名	1.9%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	24名	1.1%	529名	1.4%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	30名	1.3%	611名	1.6%
それ以外の理由	58名	2.6%	1,331名	3.6%
無回答	115名	5.1%	3,163名	8.5%



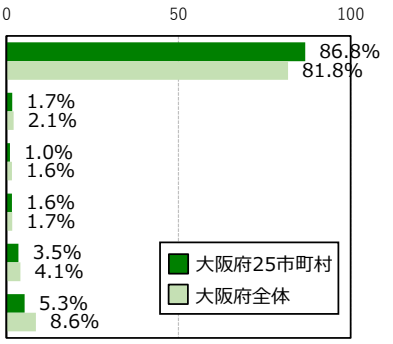
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,096名	100.0%	19,782名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	982名	89.6%	16,548名	83.7%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	13名	1.2%	343名	1.7%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	14名	1.3%	258名	1.3%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	12名	1.1%	308名	1.6%
それ以外の理由	15名	1.4%	613名	3.1%
無回答	60名	5.5%	1,712名	8.7%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	958名	100.0%	16,467名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	832名	86.8%	13,474名	81.8%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	16名	1.7%	350名	2.1%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	10名	1.0%	263名	1.6%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	15名	1.6%	284名	1.7%
それ以外の理由	34名	3.5%	675名	4.1%
無回答	51名	5.3%	1,421名	8.6%



保護者のことについて

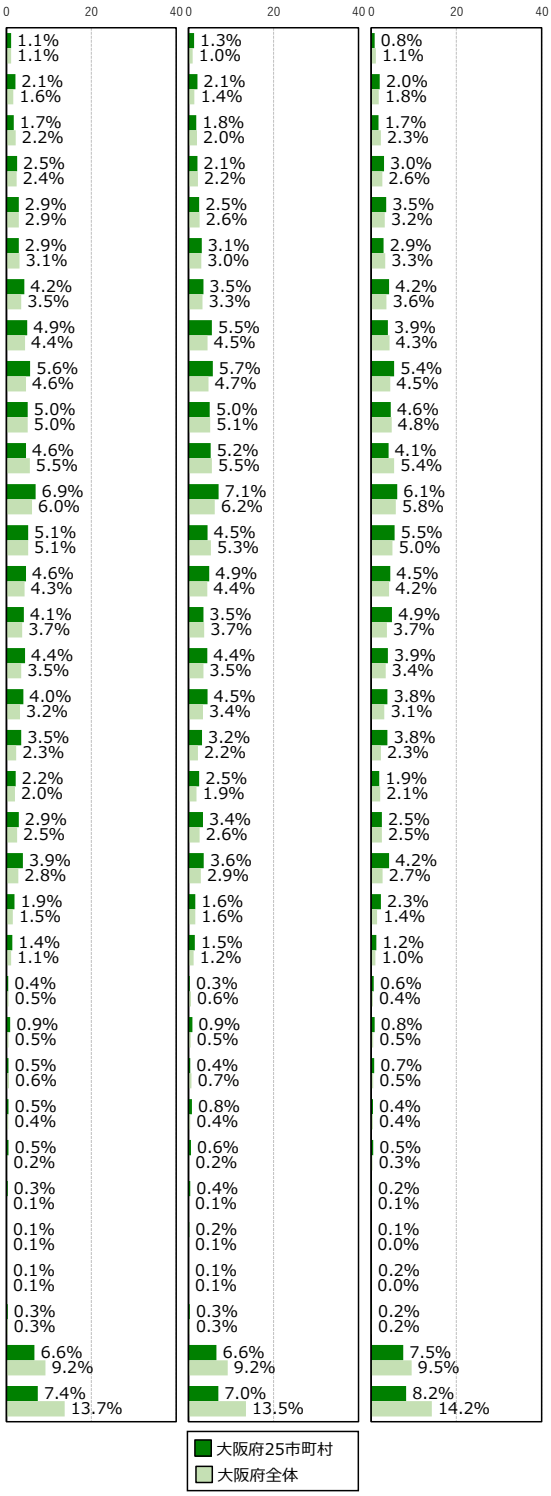
問24　世帯収入

保護者全体は、大阪府25市町村では、「550～600万円未満」が6.9%で最も多く、次いで「400～450万円未満」が5.6%、「600～650万円未満」が5.1%となっている。大阪府全体では、「550～600万円未満」が6.0%で最も多く、次いで「500～550万円未満」が5.5%、「600～650万円未満」が5.1%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「550～600万円未満」が7.1%で最も多く、次いで「400～450万円未満」が5.7%、「350～400万円未満」が5.5%となっている。大阪府全体では、「550～600万円未満」が6.2%で最も多く、次いで「500～550万円未満」が5.5%、「600～650万円未満」が5.3%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「550～600万円未満」が6.1%で最も多く、次いで「600～650万円未満」が5.5%、「400～450万円未満」が5.4%となっている。大阪府全体では、「550～600万円未満」が5.8%で最も多く、次いで「500～550万円未満」が5.4%、「600～650万円未満」が5.0%となっている。

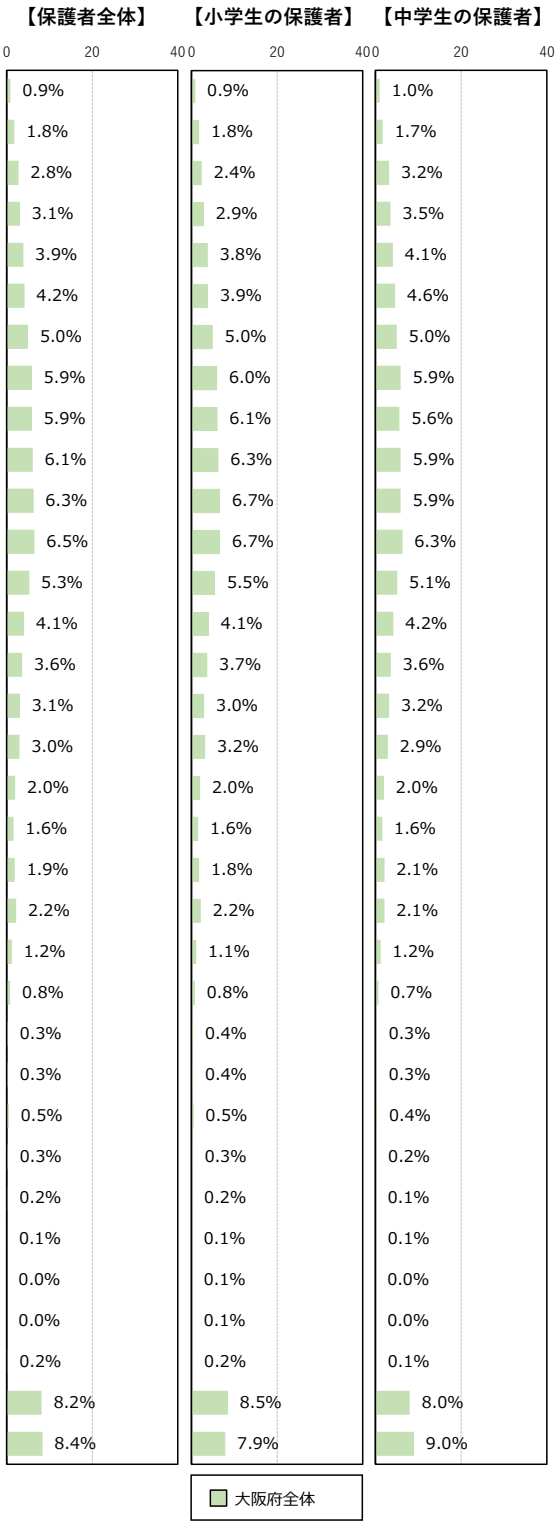
	【保護者全体】				【小学生の保護者】				【中学生の保護者】			
	大阪府25市町村		大阪府全体		大阪府25市町村		大阪府全体		大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
50万円未満	27名	1.1%	475名	1.1%	15名	1.3%	239名	1.0%	8名	0.8%	220名	1.1%
50～100万円未満	51名	2.1%	692名	1.6%	25名	2.1%	323名	1.4%	21名	2.0%	349名	1.8%
100～150万円未満	41名	1.7%	931名	2.2%	21名	1.8%	463名	2.0%	18名	1.7%	439名	2.3%
150～200万円未満	62名	2.5%	1,041名	2.4%	25名	2.1%	502名	2.2%	31名	3.0%	513名	2.6%
200～250万円未満	72名	2.9%	1,248名	2.9%	29名	2.5%	601名	2.6%	37名	3.5%	619名	3.2%
250～300万円未満	72名	2.9%	1,348名	3.1%	36名	3.1%	687名	3.0%	30名	2.9%	631名	3.3%
300～350万円未満	103名	4.2%	1,524名	3.5%	41名	3.5%	759名	3.3%	44名	4.2%	705名	3.6%
350～400万円未満	120名	4.9%	1,907名	4.4%	64名	5.5%	1,022名	4.5%	41名	3.9%	824名	4.3%
400～450万円未満	137名	5.6%	1,996名	4.6%	67名	5.7%	1,060名	4.7%	56名	5.4%	868名	4.5%
450～500万円未満	122名	5.0%	2,150名	5.0%	59名	5.0%	1,160名	5.1%	48名	4.6%	923名	4.8%
500～550万円未満	112名	4.6%	2,360名	5.5%	61名	5.2%	1,246名	5.5%	43名	4.1%	1,055名	5.4%
550～600万円未満	169名	6.9%	2,591名	6.0%	83名	7.1%	1,406名	6.2%	64名	6.1%	1,119名	5.8%
600～650万円未満	125名	5.1%	2,227名	5.1%	53名	4.5%	1,198名	5.3%	58名	5.5%	967名	5.0%
650～700万円未満	113名	4.6%	1,852名	4.3%	57名	4.9%	1,007名	4.4%	47名	4.5%	808名	4.2%
700～750万円未満	101名	4.1%	1,606名	3.7%	41名	3.5%	849名	3.7%	51名	4.9%	710名	3.7%
750～800万円未満	108名	4.4%	1,501名	3.5%	52名	4.4%	793名	3.5%	41名	3.9%	657名	3.4%
800～850万円未満	98名	4.0%	1,404名	3.2%	53名	4.5%	771名	3.4%	40名	3.8%	592名	3.1%
850～900万円未満	87名	3.5%	994名	2.3%	37名	3.2%	509名	2.2%	40名	3.8%	446名	2.3%
900～950万円未満	55名	2.2%	860名	2.0%	29名	2.5%	429名	1.9%	20名	1.9%	406名	2.1%
950～1,000万円未満	72名	2.9%	1,102名	2.5%	40名	3.4%	590名	2.6%	26名	2.5%	480名	2.5%
1,000～1,100万円未満	95名	3.9%	1,215名	2.8%	42名	3.6%	656名	2.9%	44名	4.2%	518名	2.7%
1,100～1,200万円未満	46名	1.9%	654名	1.5%	19名	1.6%	355名	1.6%	24名	2.3%	279名	1.4%
1,200～1,300万円未満	34名	1.4%	478名	1.1%	18名	1.5%	270名	1.2%	13名	1.2%	197名	1.0%
1,300～1,400万円未満	10名	0.4%	221名	0.5%	4名	0.3%	139名	0.6%	6名	0.6%	79名	0.4%
1,400～1,500万円未満	23名	0.9%	230名	0.5%	11名	0.9%	125名	0.5%	8名	0.8%	95名	0.5%
1,500～1,750万円未満	12名	0.5%	259名	0.6%	5名	0.4%	165名	0.7%	7名	0.7%	92名	0.5%
1,750～2,000万円未満	13名	0.5%	171名	0.4%	9名	0.8%	98名	0.4%	4名	0.4%	69名	0.4%
2,000～2,250万円未満	12名	0.5%	105名	0.2%	7名	0.6%	53名	0.2%	5名	0.5%	50名	0.3%
2,250～2,500万円未満	7名	0.3%	54名	0.1%	5名	0.4%	31名	0.1%	2名	0.2%	22名	0.1%
2,500～2,750万円未満	3名	0.1%	31名	0.1%	2名	0.2%	23名	0.1%	1名	0.1%	8名	0.0%
2,750～3,000万円未満	3名	0.1%	25名	0.1%	1名	0.1%	16名	0.1%	2名	0.2%	9名	0.0%
3,000万円以上	7名	0.3%	110名	0.3%	3名	0.3%	67名	0.3%	2名	0.2%	41名	0.2%
わからない	162名	6.6%	4,000名	9.2%	77名	6.6%	2,090名	9.2%	78名	7.5%	1,832名	9.5%
無回答	181名	7.4%	5,938名	13.7%	82名	7.0%	3,084名	13.5%	86名	8.2%	2,743名	14.2%



●2016年度　調査結果〔参考データ〕

大阪府全体を2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「300～350万円未満」と「350～400万円未満」はいずれも1.5ポイントそれぞれ低くなっている。
小学生の保護者は、「300～350万円未満」が1.7ポイント低くなっている。
中学生の保護者は、「350～400万円未満」が1.6ポイント低くなっている。

	【保護者全体】		【小学生の保護者】		【中学生の保護者】	
	大阪府全体		大阪府全体		大阪府全体	
	49,703名	100.0%	26,342名	100.0%	23,323名	100.0%
50万円未満	468名	0.9%	230名	0.9%	238名	1.0%
50～100万円未満	883名	1.8%	485名	1.8%	397名	1.7%
100～150万円未満	1,375名	2.8%	623名	2.4%	751名	3.2%
150～200万円未満	1,565名	3.1%	755名	2.9%	810名	3.5%
200～250万円未満	1,956名	3.9%	999名	3.8%	955名	4.1%
250～300万円未満	2,110名	4.2%	1,034名	3.9%	1,074名	4.6%
300～350万円未満	2,492名	5.0%	1,326名	5.0%	1,165名	5.0%
350～400万円未満	2,951名	5.9%	1,572名	6.0%	1,377名	5.9%
400～450万円未満	2,929名	5.9%	1,615名	6.1%	1,309名	5.6%
450～500万円未満	3,018名	6.1%	1,652名	6.3%	1,365名	5.9%
500～550万円未満	3,142名	6.3%	1,755名	6.7%	1,387名	5.9%
550～600万円未満	3,236名	6.5%	1,752名	6.7%	1,481名	6.3%
600～650万円未満	2,636名	5.3%	1,438名	5.5%	1,197名	5.1%
650～700万円未満	2,056名	4.1%	1,078名	4.1%	977名	4.2%
700～750万円未満	1,803名	3.6%	968名	3.7%	834名	3.6%
750～800万円未満	1,549名	3.1%	796名	3.0%	752名	3.2%
800～850万円未満	1,511名	3.0%	846名	3.2%	665名	2.9%
850～900万円未満	987名	2.0%	530名	2.0%	457名	2.0%
900～950万円未満	779名	1.6%	414名	1.6%	365名	1.6%
950～1,000万円未満	962名	1.9%	482名	1.8%	480名	2.1%
1,000～1,100万円未満	1,087名	2.2%	590名	2.2%	497名	2.1%
1,100～1,200万円未満	592名	1.2%	301名	1.1%	291名	1.2%
1,200～1,300万円未満	373名	0.8%	209名	0.8%	164名	0.7%
1,300～1,400万円未満	172名	0.3%	105名	0.4%	67名	0.3%
1,400～1,500万円未満	171名	0.3%	93名	0.4%	78名	0.3%
1,500～1,750万円未満	225名	0.5%	133名	0.5%	92名	0.4%
1,750～2,000万円未満	139名	0.3%	83名	0.3%	56名	0.2%
2,000～2,250万円未満	85名	0.2%	57名	0.2%	28名	0.1%
2,250～2,500万円未満	36名	0.1%	20名	0.1%	16名	0.1%
2,500～2,750万円未満	23名	0.0%	17名	0.1%	6名	0.0%
2,750～3,000万円未満	21名	0.0%	14名	0.1%	7名	0.0%
3,000万円以上	88名	0.2%	55名	0.2%	33名	0.1%
わからない	4,092名	8.2%	2,230名	8.5%	1,857名	8.0%
無回答	4,191名	8.4%	2,085名	7.9%	2,095名	9.0%



世帯収入額と世帯人数に基づく等価可処分所得

今回の調査において世帯所得をたずねているが、この回答のみで世帯の困窮の状態を測ることはできない。実際の生活上の体験や困りごとを把握するため、多面的に貧困を測る指標として、「等価可処分所得」およびそれらを基に区分した「困窮度」を用いている。

国民生活基礎調査における相対的貧困率は、一定基準（貧困線）を下回る等価可処分所得しか得ていない者の割合をいう。貧困線とは、等価可処分所得（世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分の額をいう。算出方法は、OECD（経済協力開発機構）の作成基準に基づく。EU、ユニセフ（ただし、常に60%基準採用ではない）は60%を採用している。

世帯の可処分所得はその世帯の世帯人員数に影響されるので、世帯人員数で調整する必要がある。最も簡単なのは「世帯の可処分所得÷世帯人員数」とすることであるが、生活水準を考えた場合、世帯人員数が少ない方が生活コストが割高になることを考慮する必要があり、このため、世帯人員数の違いを調整するにあたって「世帯人員数の平方根」を用いている。

出典：厚生労働省 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/20-21a-01.pdf

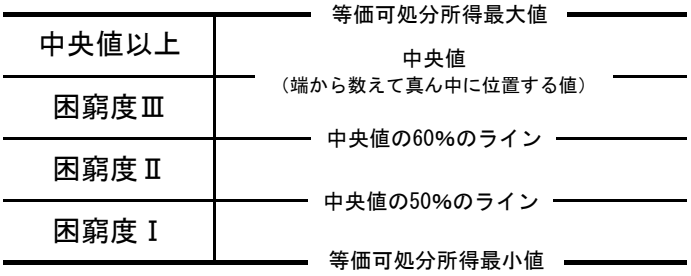
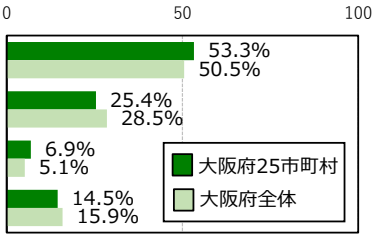


図　困窮度の分類と基準

中央値は288万円、国の定める基準で行くと相対的貧困率は14.5%であった。
なお、大阪府内全自治体における相対的貧困率は15.9%であった。

【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,109名	100.0%	33,035名	100.0%
中央値以上	1,124名	53.3%	16,687名	50.5%
困窮度Ⅲ	535名	25.4%	9,408名	28.5%
困窮度Ⅱ	145名	6.9%	1,694名	5.1%
困窮度Ⅰ	305名	14.5%	5,246名	15.9%



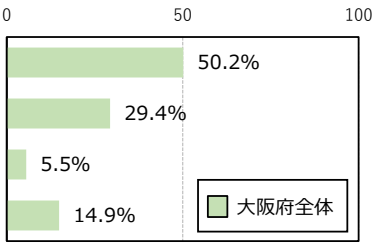
保護者全体は、大阪府25市町村では、「中央値以上」が53.5%で最も多く、次いで「困窮度Ⅲ」が25.4%、「困窮度Ⅰ」が14.5%、「困窮度Ⅱ」が6.9%となっている。大阪府全体では、「中央値以上」が50.5%で最も多く、次いで「困窮度Ⅲ」が28.5%、「困窮度Ⅰ」が15.9%、「困窮度Ⅱ」が5.1%となっている。

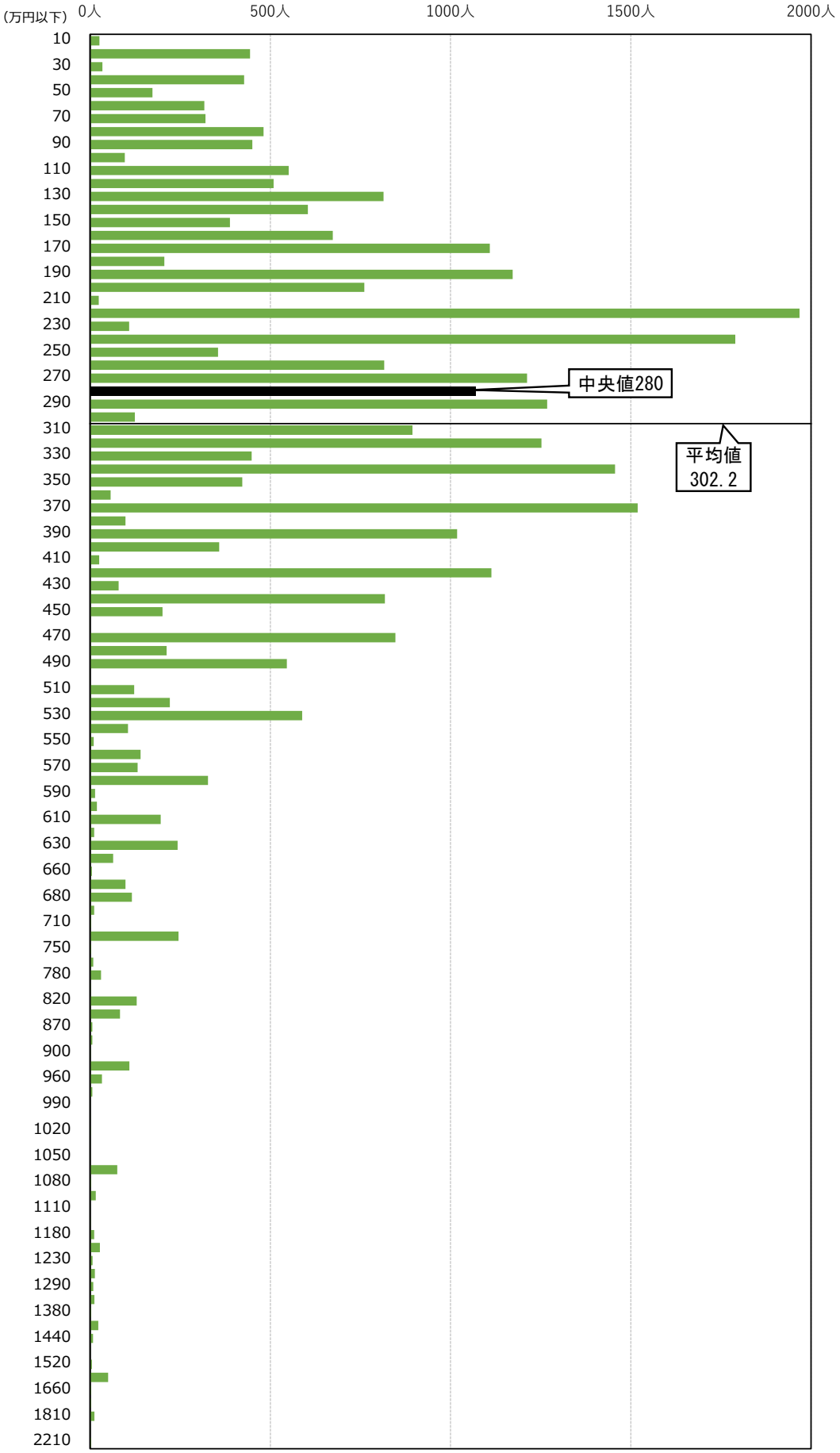
●2016年度　調査結果〔参考データ〕

大阪府全体を2016年度調査と比較しても、大きな差はみられない。

【保護者全体】

	大阪府全体	
	40,996名	100.0%
中央値以上	20,570名	50.2%
困窮度Ⅲ	12,057名	29.4%
困窮度Ⅱ	2,245名	5.5%
困窮度Ⅰ	6,124名	14.9%





※ 2016年度調査では、中央値255万円、平均値272.7万円であった。
注）2023年度調査ではグラフ作成方法を改訂している。

図　大阪府内全自治体における等価可処分所得の分布

保護者のことについて

問25　同居家族が新型コロナウイルスに感染した延べ回数

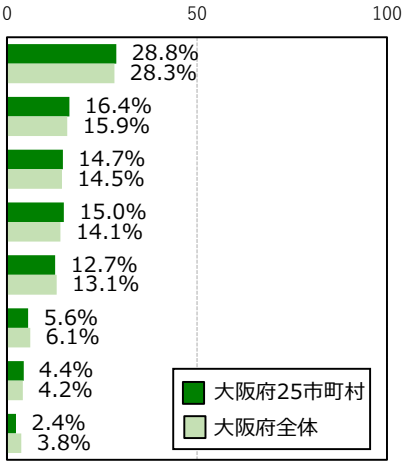
保護者全体は、大阪府25市町村では、「いない」が28.8％で最も多く、次いで「１回」が16.4％、「３回」が15.0％、「２回」が14.7％となっている。大阪府全体では、「いない」が28.3％で最も多く、次いで「１回」が15.9％、「２回」が14.5％、「３回」が14.1％となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いない」が28.8％で最も多く、次いで「１回」が16.3％、「３回」が14.2％、「２回」と「４回」がそれぞれ13.6％となっている。大阪府全体では、「いない」が28.8％で最も多く、次いで「１回」が15.4％、「２回」が13.8％、「３回」が13.7％となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「いない」が29.8％で最も多く、次いで「１回」が16.3％、「３回」が16.1％、「２回」が15.8％となっている。大阪府全体では、「いない」が28.0％で最も多く、次いで「１回」が16.5％、「２回」が15.2％、「３回」が14.4％となっている。

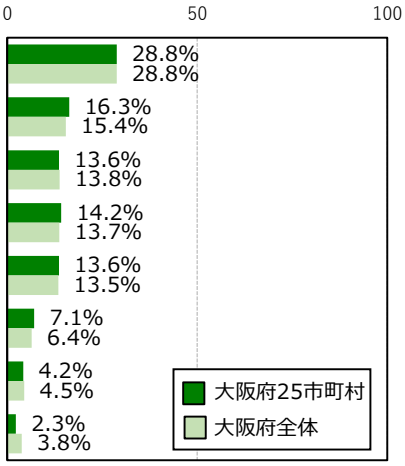
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
いない	707名	28.8%	12,265名	28.3%
１回	402名	16.4%	6,894名	15.9%
２回	361名	14.7%	6,279名	14.5%
３回	368名	15.0%	6,098名	14.1%
４回	312名	12.7%	5,651名	13.1%
５回	138名	5.6%	2,637名	6.1%
６回以上	109名	4.4%	1,828名	4.2%
無回答	58名	2.4%	1,648名	3.8%



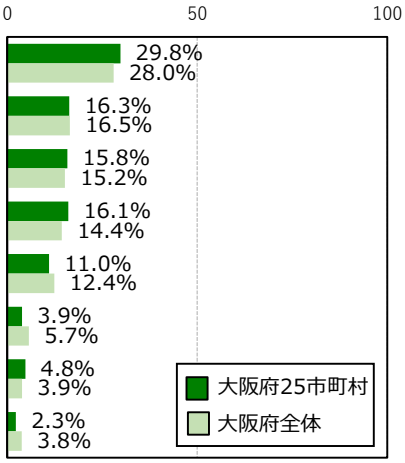
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
いない	338名	28.8%	6,573名	28.8%
１回	191名	16.3%	3,508名	15.4%
２回	159名	13.6%	3,152名	13.8%
３回	167名	14.2%	3,119名	13.7%
４回	159名	13.6%	3,085名	13.5%
５回	83名	7.1%	1,457名	6.4%
６回以上	49名	4.2%	1,029名	4.5%
無回答	27名	2.3%	863名	3.8%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
いない	312名	29.8%	5,415名	28.0%
１回	171名	16.3%	3,195名	16.5%
２回	165名	15.8%	2,948名	15.2%
３回	168名	16.1%	2,796名	14.4%
４回	115名	11.0%	2,410名	12.4%
５回	41名	3.9%	1,107名	5.7%
６回以上	50名	4.8%	758名	3.9%
無回答	24名	2.3%	736名	3.8%



保護者のことについて

問26（１）住居の間取り

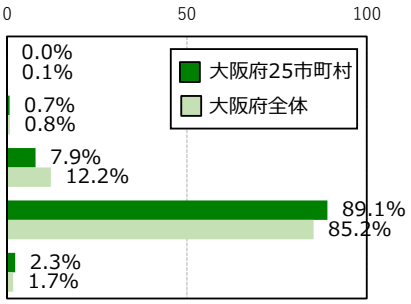
保護者全体は、大阪府25市町村では、「居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上」が89.1%で最も多く、次いで「居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）」が7.9%、「居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）」が0.7%となっている。大阪府全体では、「居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上」が85.2%で最も多く、次いで「居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）」が12.2%、「居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）」が0.8%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上」が88.3%で最も多く、次いで「居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）」が8.6%、「居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）」が0.9%となっている。大阪府全体では、「居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上」が84.3%で最も多く、次いで「居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）」が13.0%、「居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）」が1.0%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上」が89.4%で最も多く、次いで「居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）」が7.5%、「居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）」が0.6%となっている。大阪府全体では、「居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上」が85.9%で最も多く、次いで「居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）」が11.5%、「居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）」が0.7%となっている。

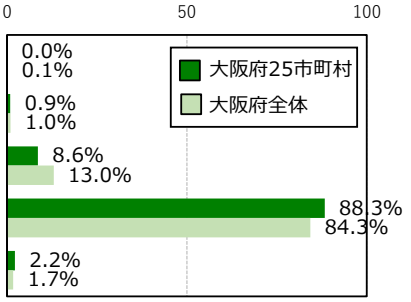
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
ワンルーム	－	－	43名	0.1%
居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）	17名	0.7%	358名	0.8%
居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）	193名	7.9%	5,272名	12.2%
居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上	2,188名	89.1%	36,876名	85.2%
無回答	57名	2.3%	751名	1.7%



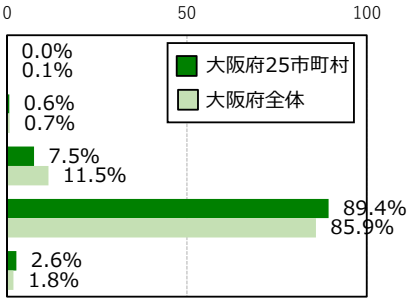
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
ワンルーム	－	－	21名	0.1%
居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）	10名	0.9%	217名	1.0%
居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）	101名	8.6%	2,951名	13.0%
居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上	1,036名	88.3%	19,206名	84.3%
無回答	26名	2.2%	391名	1.7%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
ワンルーム	－	－	21名	0.1%
居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）	6名	0.6%	134名	0.7%
居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）	78名	7.5%	2,233名	11.5%
居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上	935名	89.4%	16,638名	85.9%
無回答	27名	2.6%	339名	1.8%



保護者のことについて

問26（２）同居人数

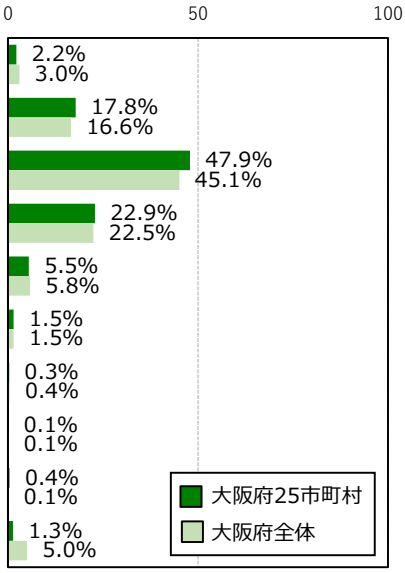
保護者全体は、大阪府25市町村では、「４人」が47.9%で最も多く、次いで「５人」が22.9%、「３人」が17.8%、「６人」が5.5%となっている。大阪府全体では、「４人」が45.1%で最も多く、次いで「５人」が22.5%、「３人」が16.6%、「６人」が5.8%となっている。

小学生の保護者は、大阪府25市町村では、「４人」が49.3%で最も多く、次いで「５人」が23.8%、「３人」が16.2%、「６人」が5.5%となっている。大阪府全体では、「４人」が45.4%で最も多く、次いで「５人」が22.4%、「３人」が16.3%、「６人」が5.9%となっている。

中学生の保護者は、大阪府25市町村では、「４人」が46.6%で最も多く、次いで「５人」が21.7%、「３人」が19.3%、「６人」が5.7%となっている。大阪府全体では、「４人」が44.5%で最も多く、次いで「５人」が22.5%、「３人」が17.0%、「６人」が5.6%となっている。

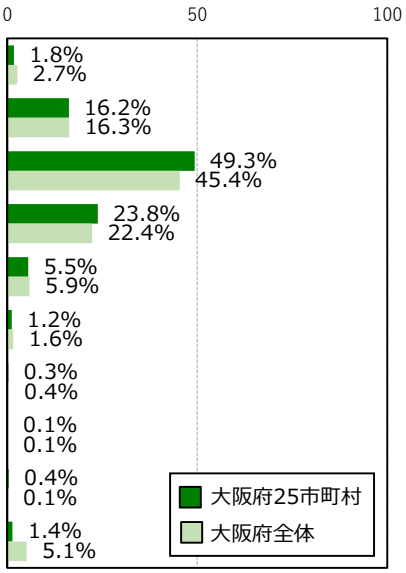
【保護者全体】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	2,455名	100.0%	43,300名	100.0%
２人	55名	2.2%	1,311名	3.0%
３人	438名	17.8%	7,168名	16.6%
４人	1,176名	47.9%	19,512名	45.1%
５人	561名	22.9%	9,732名	22.5%
６人	135名	5.5%	2,503名	5.8%
７人	37名	1.5%	662名	1.5%
８人	8名	0.3%	188名	0.4%
９人	3名	0.1%	46名	0.1%
10人以上	10名	0.4%	33名	0.1%
無回答	32名	1.3%	2,145名	5.0%



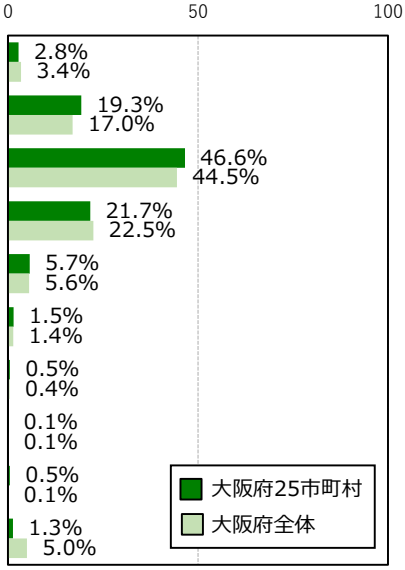
【小学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,173名	100.0%	22,786名	100.0%
２人	21名	1.8%	621名	2.7%
３人	190名	16.2%	3,703名	16.3%
４人	578名	49.3%	10,353名	45.4%
５人	279名	23.8%	5,100名	22.4%
６人	65名	5.5%	1,341名	5.9%
７人	14名	1.2%	366名	1.6%
８人	3名	0.3%	94名	0.4%
９人	1名	0.1%	26名	0.1%
10人以上	5名	0.4%	18名	0.1%
無回答	17名	1.4%	1,164名	5.1%



【中学生の保護者】

	大阪府25市町村		大阪府全体	
	1,046名	100.0%	19,365名	100.0%
２人	29名	2.8%	661名	3.4%
３人	202名	19.3%	3,292名	17.0%
４人	487名	46.6%	8,626名	44.5%
５人	227名	21.7%	4,348名	22.5%
６人	60名	5.7%	1,078名	5.6%
７人	16名	1.5%	277名	1.4%
８人	5名	0.5%	86名	0.4%
９人	1名	0.1%	19名	0.1%
10人以上	5名	0.5%	14名	0.1%
無回答	14名	1.3%	964名	5.0%



３．クロス集計および分析結果

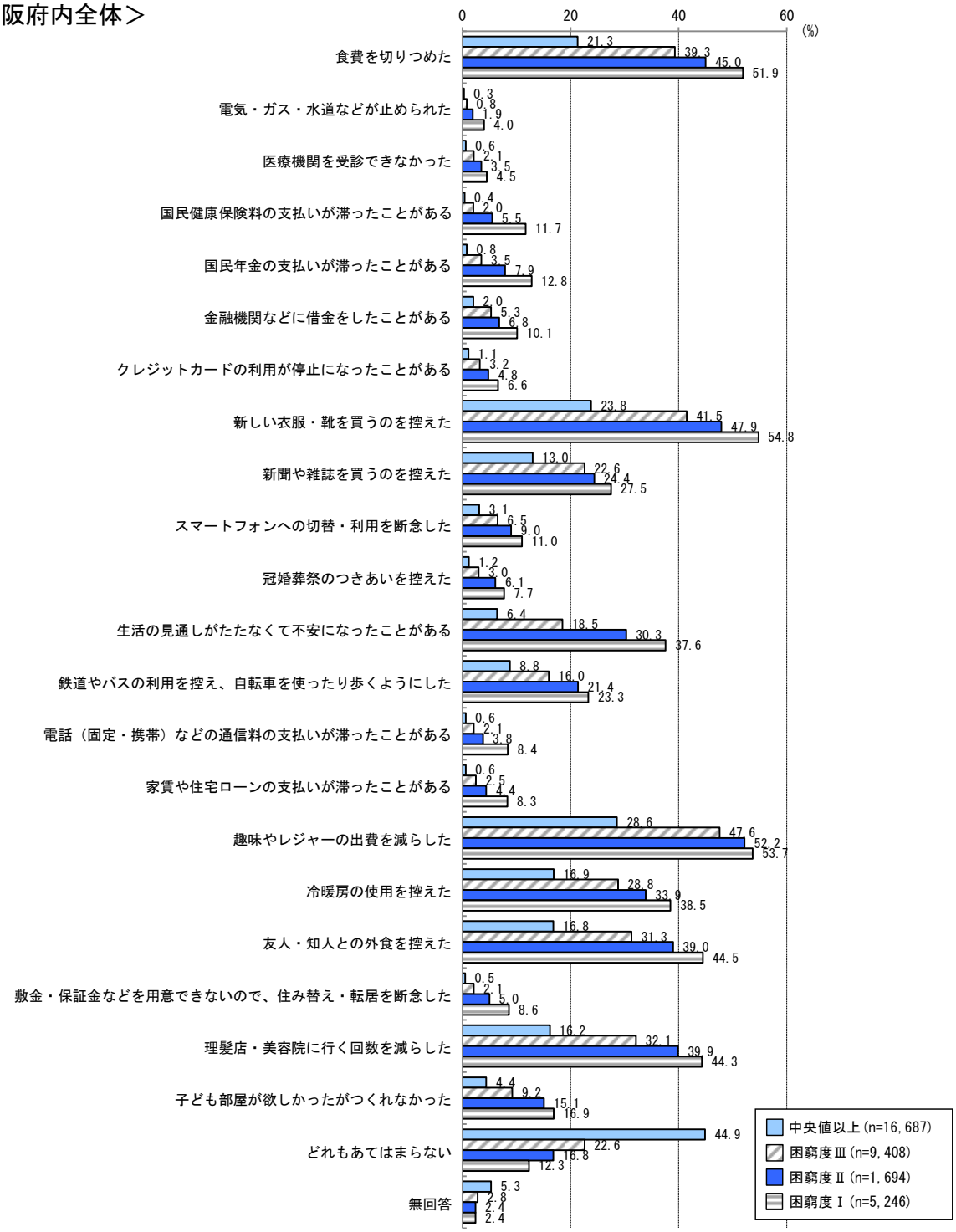
以下のグラフは、主に困窮度別に示している。大阪府内全自治体の傾向については記述していないが、多くにおいて、本自治体調査結果と同様の傾向が見られる。さらに顕著な傾向が見られるものもある。

３－１．基本情報

（１）経済状況

困窮度別に見た、経済的な理由による経験（保護者票問７）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

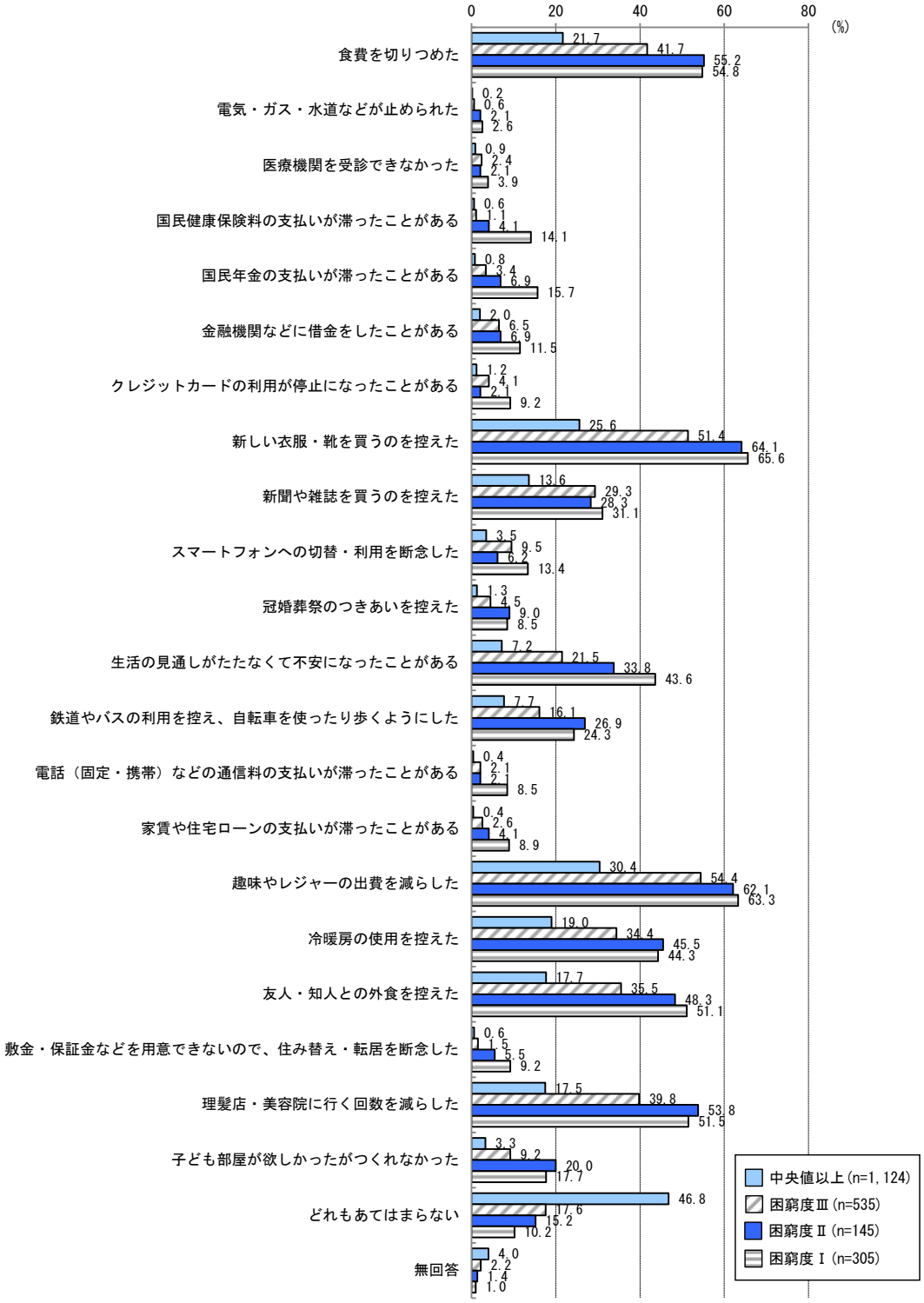
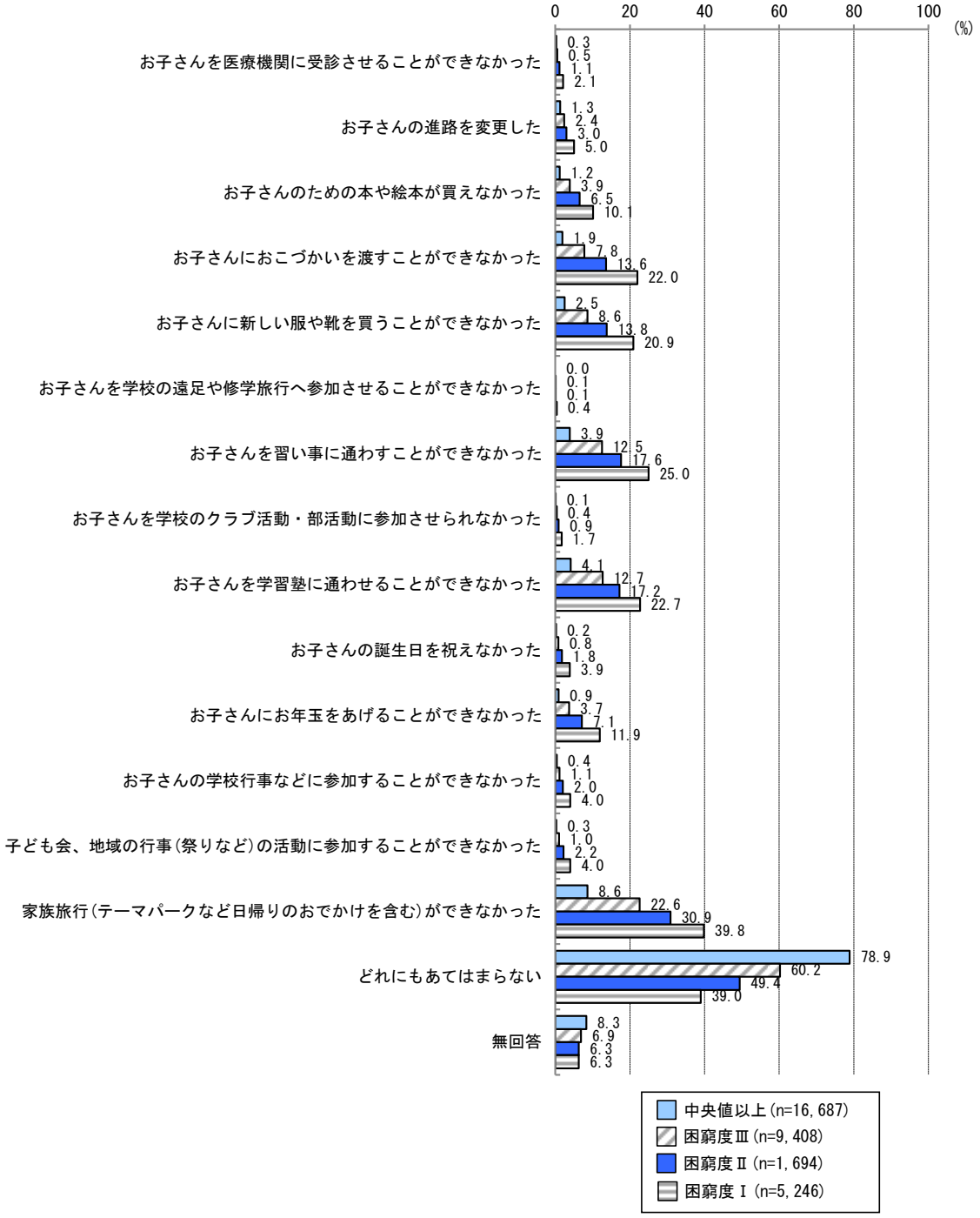


図 1. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験

困窮度別に経済的な理由による経験を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群を見ると、「国民健康保険料の支払いが滞ったことがある」が14.1%（中央値以上群に対して23.5倍）、「家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある」が8.9%（同じく22.3倍）、「電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある」が8.5%（同じく21.3倍）となり、困窮度Ⅰ群において高い項目が複数みられた。また「どれもあてはまらない」は中央値以上群で46.8%に対して、困窮度Ⅰ群において10.2%だった。

困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験（保護者票問 12）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

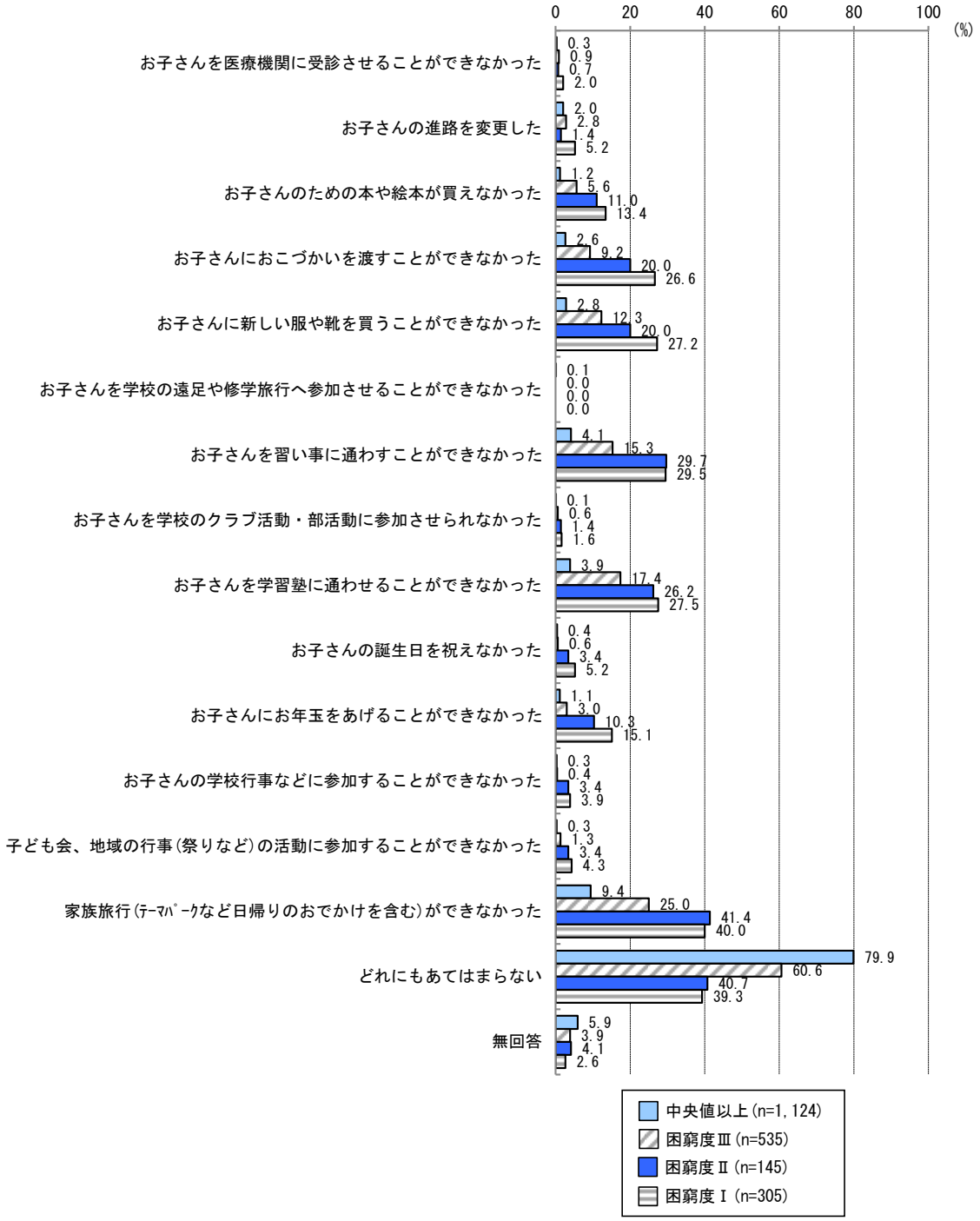


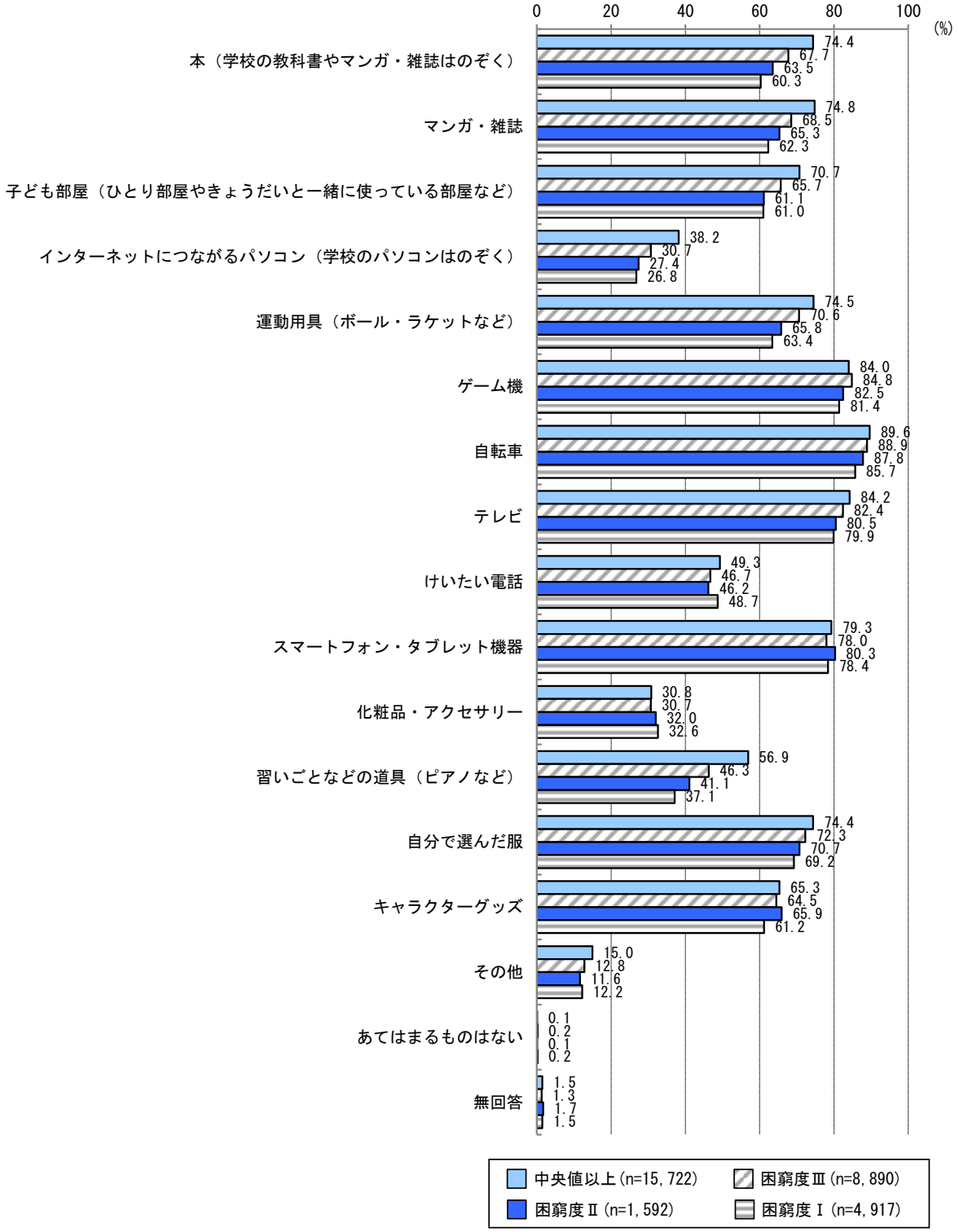
図 2. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験

困窮度別に子どもへの経済的な理由による経験を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群を見ると、「お子さんを学校のクラブ活動・部活動に参加させられなかった」が1.6%（中央値以上群に対して16.0倍）、「子ども会、地域の行事(祭りなど)の活動に参加することができなかった」が4.3%（同じく14.3倍）、「お子さんにお年玉をあげることができなかった」が15.1%（同じく13.7倍）となっている。

また、「どれにもあてはまらない」は中央値以上群で79.9%に対して、困窮度Ⅰ群において39.3%だった。

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの（子ども票問 21）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

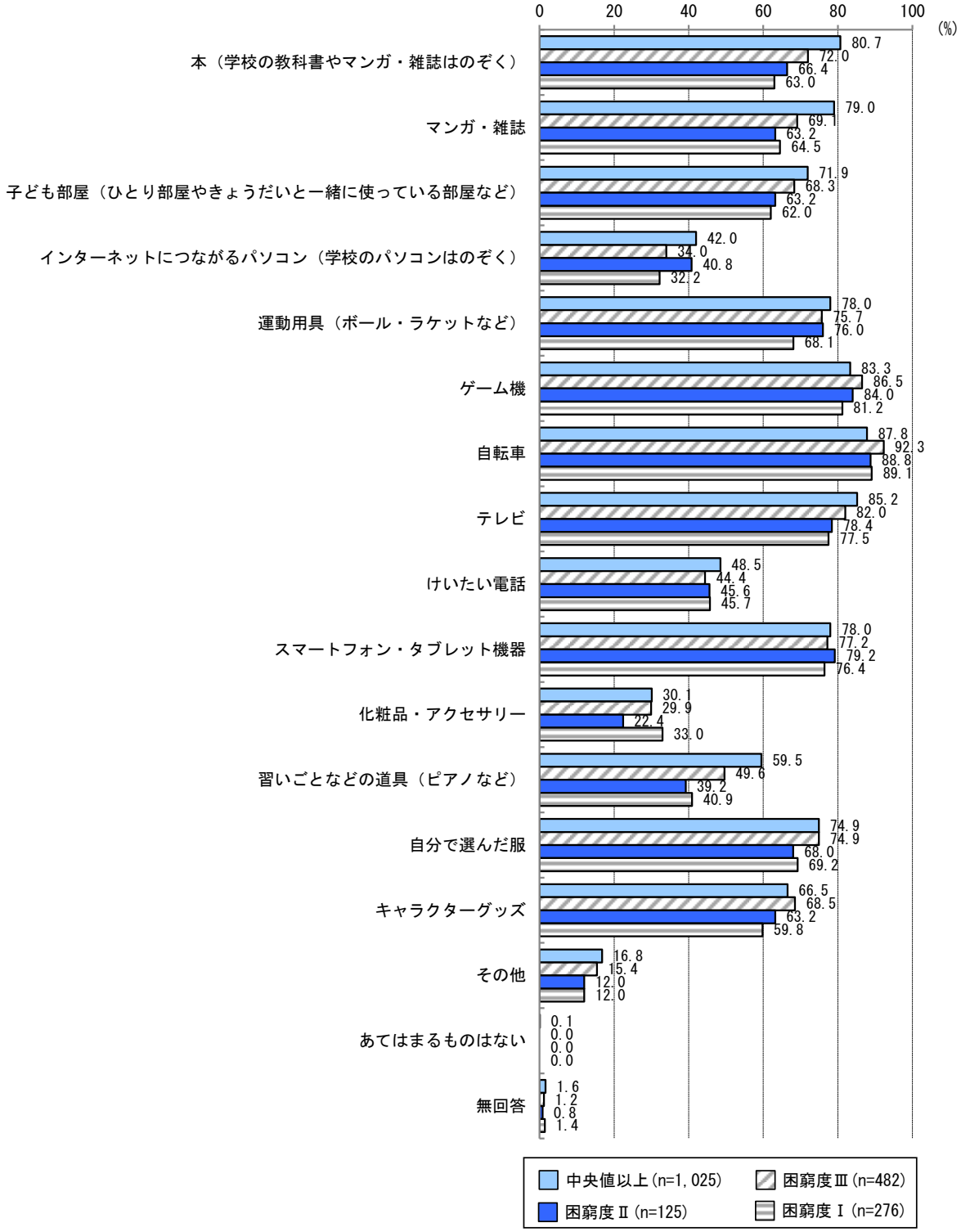
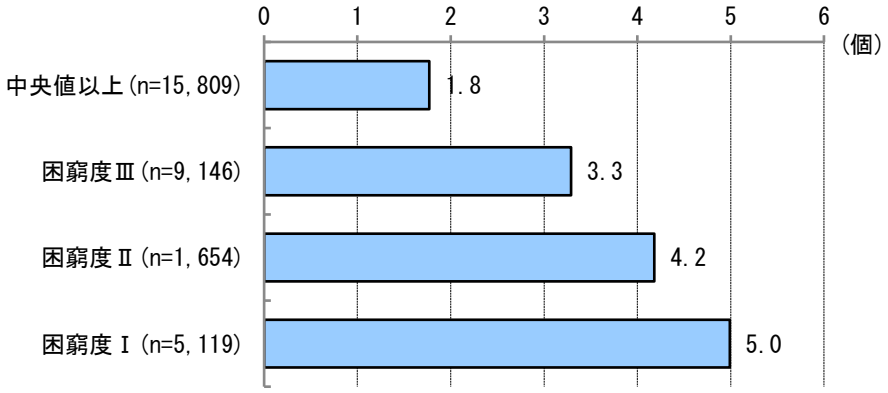


図 3. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの

困窮度別に持っているもの、使うことができるものを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、中央値以上群を見ると、「習いごとなどの道具（ピアノなど）」が59.5%（困窮度Ⅰ群に対して1.5倍）、「インターネットにつながるパソコン（学校のパソコンはのぞく）」が42.0%（同じく1.3倍）、「本（学校の教科書やマンガ・雑誌はのぞく）」が80.7%（同じく1.3倍）となり、中央値以上群において高い項目、すなわち困窮度Ⅰ群においては低い項目が複数みられた。

困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均（保護者票問７）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

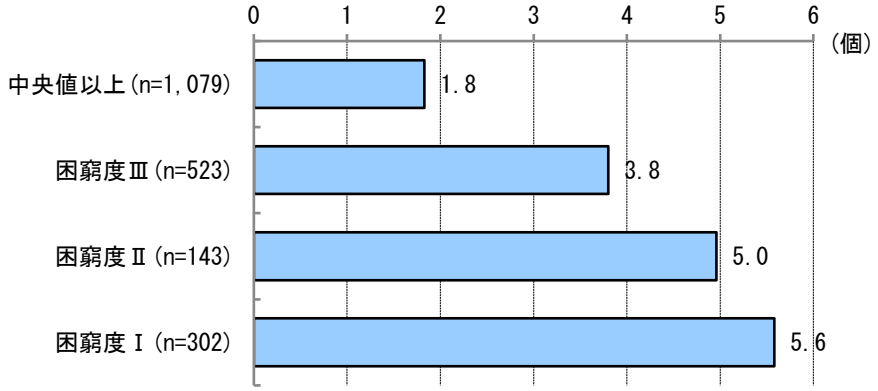


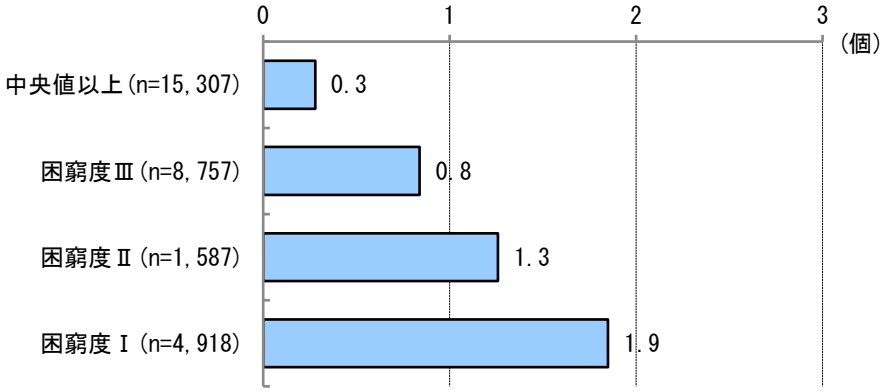
図 4. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均

経済的な理由による経験として示した21個の項目のうち､該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、困窮度が高くなるにつれ、経済的な理由による経験の該当数は多くなっていることがみられた。

困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均（保護者票問 12）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

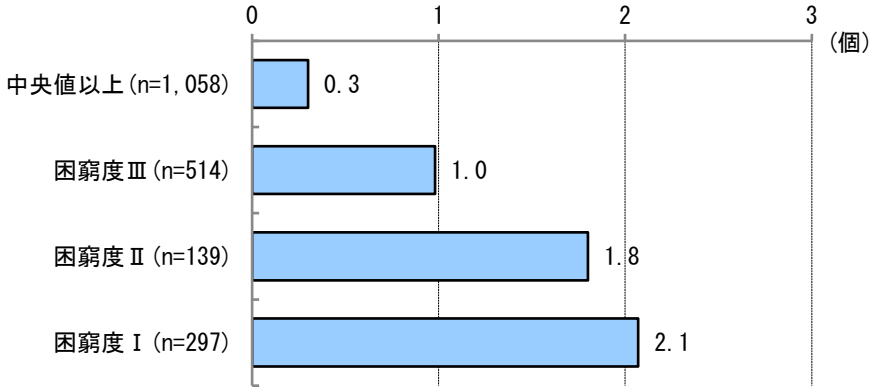


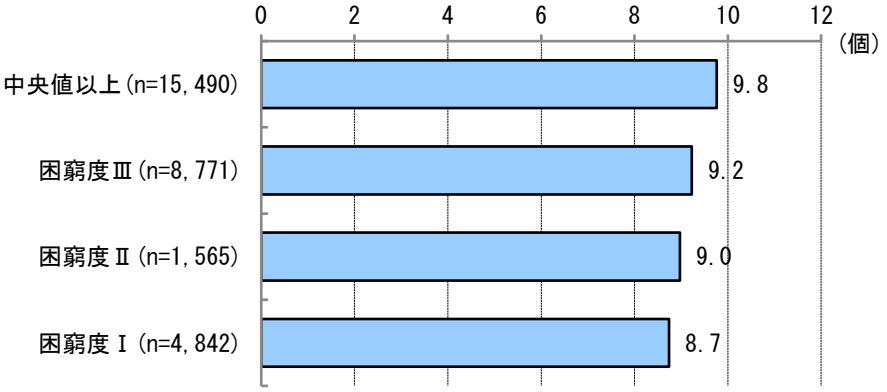
図 5. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均

子どもに関して経済的な理由による経験として示した14個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、困窮度が高くなるにつれ、経済的な理由で子どもにできなかったことの該当数は多くなっていることがみられた。

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均（子ども票問 21）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

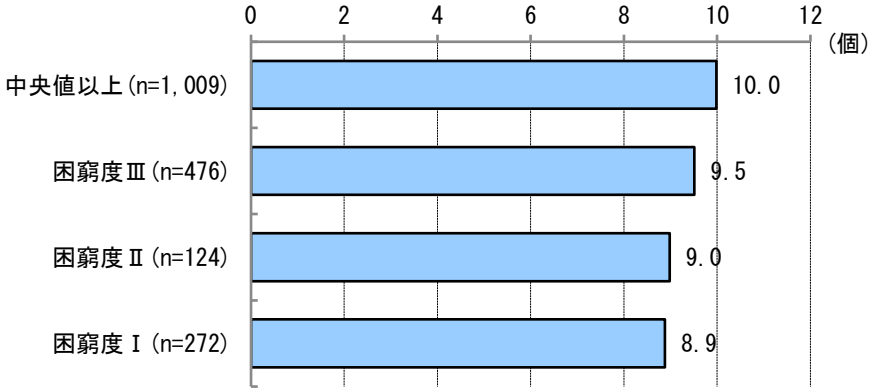


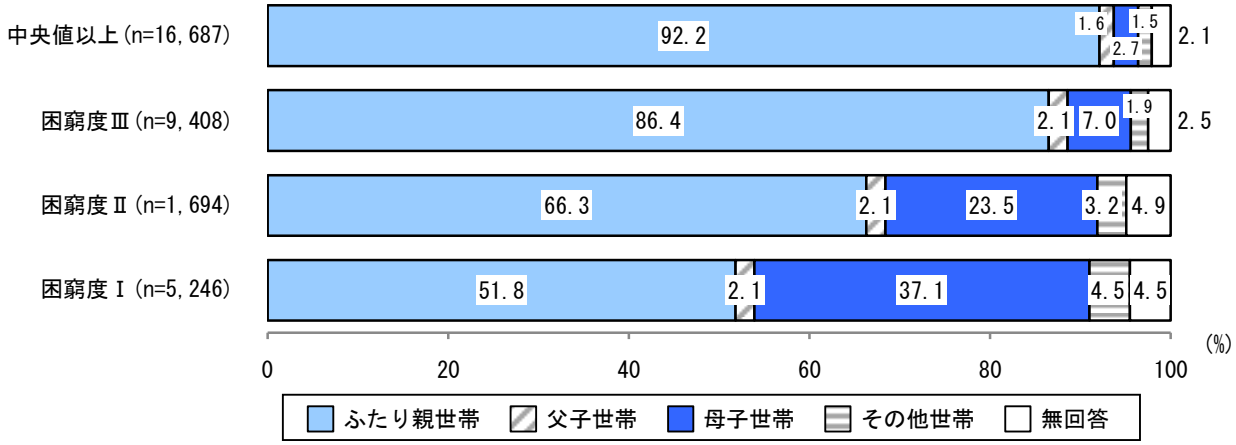
図 6. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均

子どもの持っているもの、使うことができるものとして示した14個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果､困窮度によって子どもの持ちもの､使えるものの該当数に大きな差は見られなかった。

困窮度別に見た、世帯員の構成（保護者票問２より）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

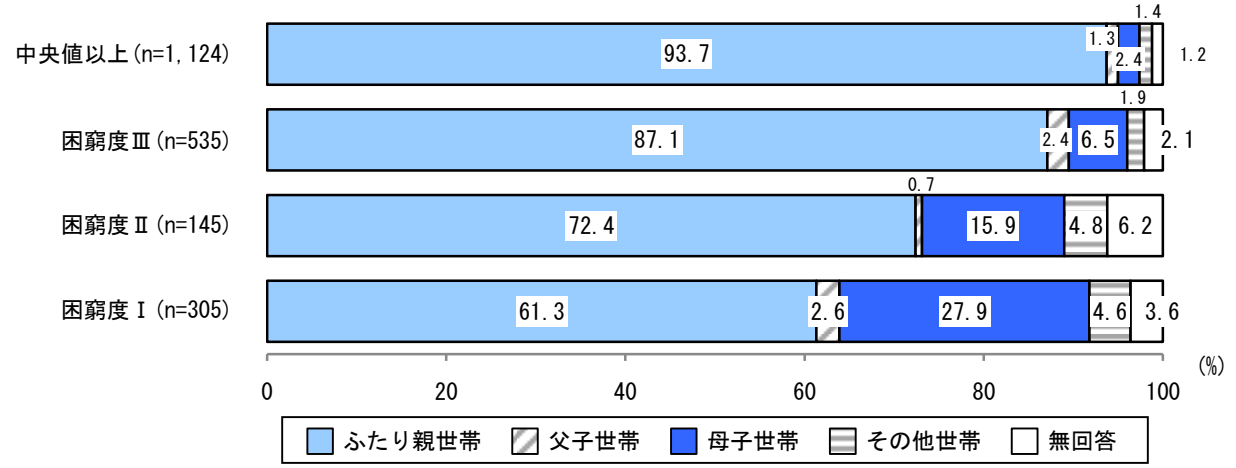
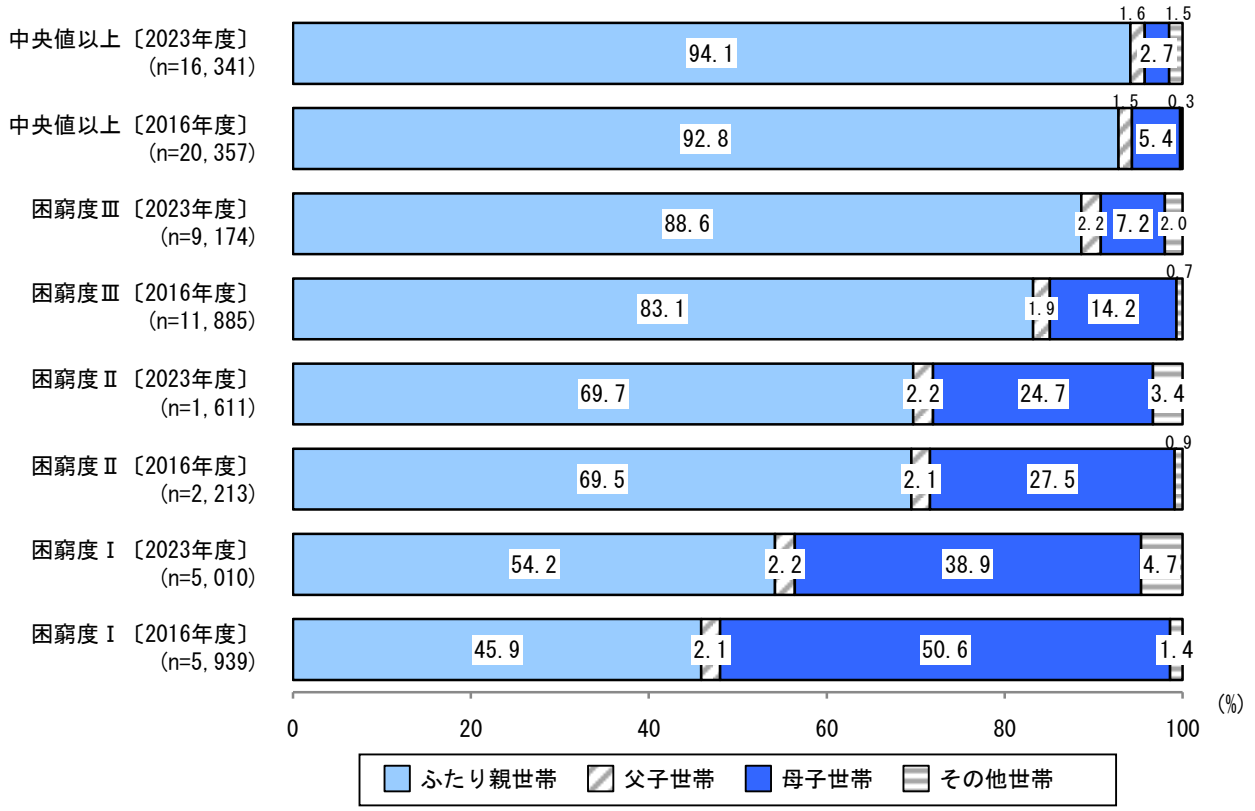


図 7. 困窮度別に見た、世帯員の構成

困窮度別に世帯員の構成を見ると、「ふたり親世帯」と回答したのは、中央値以上群が93.7%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は61.3%だった。また、「母子世帯」と回答したのは、中央値以上群が2.4%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は27.9%だった。

＜2016年度調査との比較／大阪府内全体＞



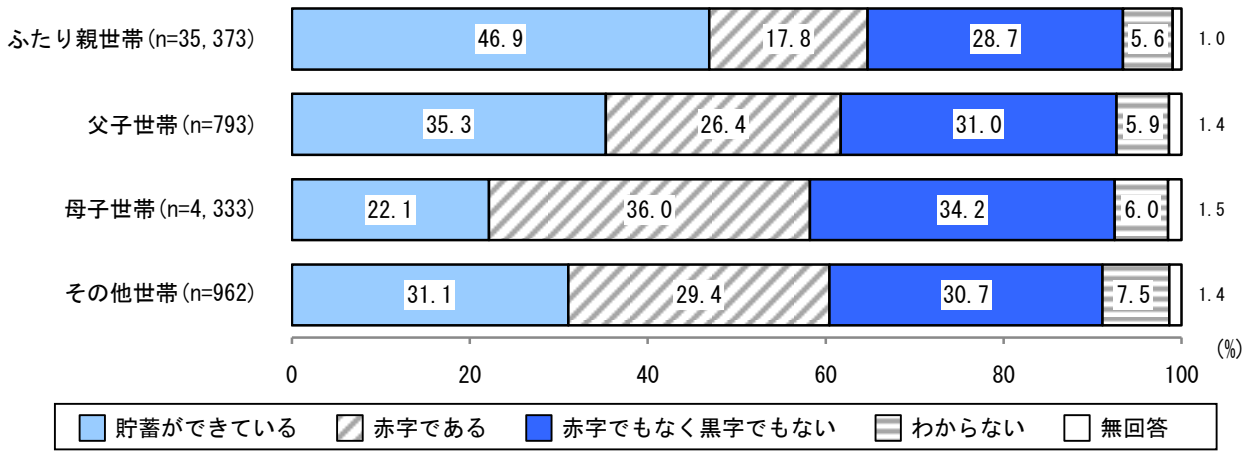
※無回答を除いて算出

図 8. 困窮度別に見た、世帯員の構成（2016 年度調査との比較）

2016年度調査と比較すると、「ふたり親世帯」と回答した割合は、いずれの困窮度も2016年度調査に比べて高くなっており、一方で、「母子世帯」は2016年度調査に比べて割合が低くなっている。

世帯構成別に見た、家計の状況（保護者票問６(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

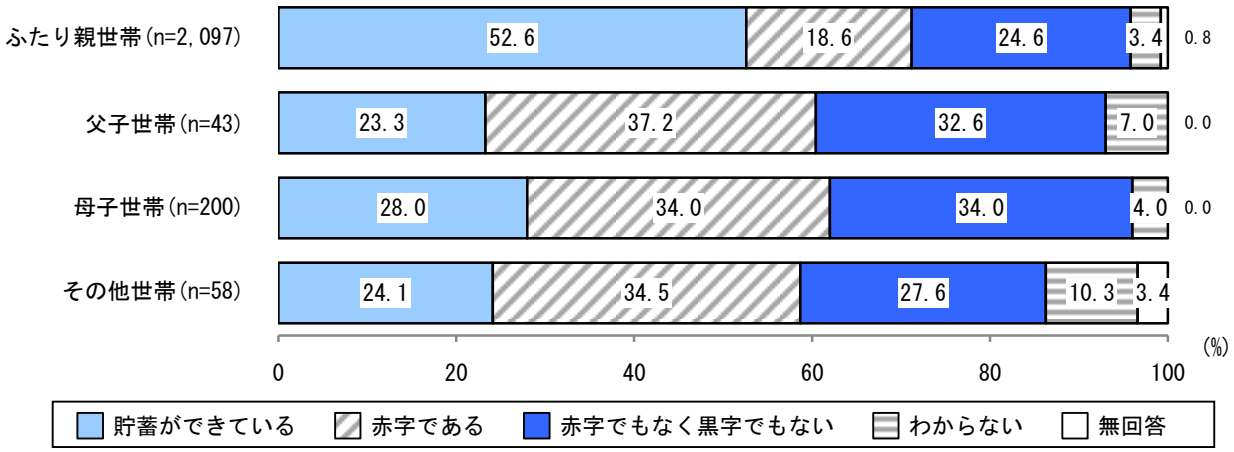
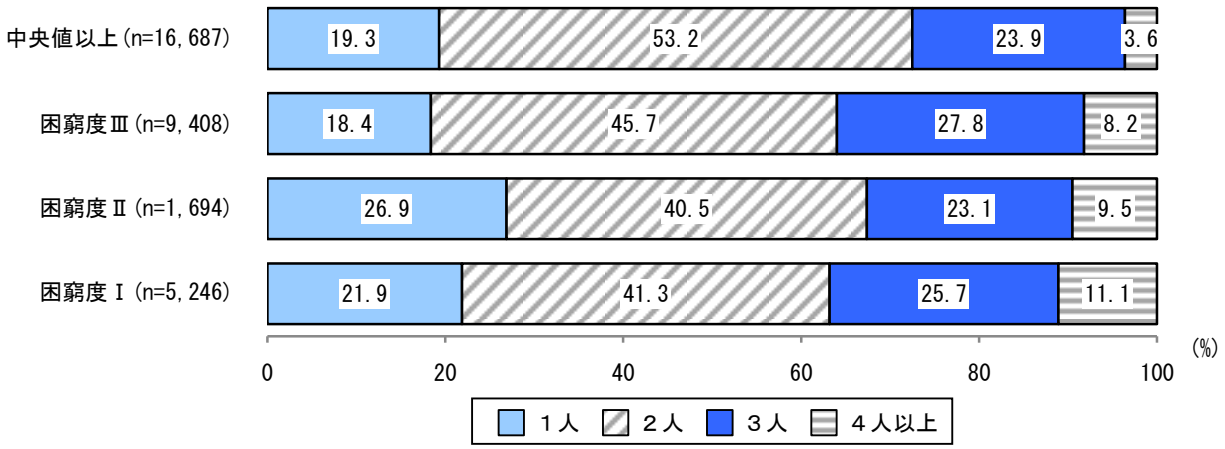


図 9. 世帯構成別に見た、家計の状況

世帯構成別に家計の状況を見ると、「貯蓄ができている」と回答した割合は、ふたり親世帯が52.6%なのに対して、母子世帯28.0%、父子世帯23.3%だった。また、「赤字である」と回答したのは、ふたり親世帯が18.6%なのに対して、父子世帯は37.2%だった。

困窮度別に見た、子どもの人数（保護者票問２より）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

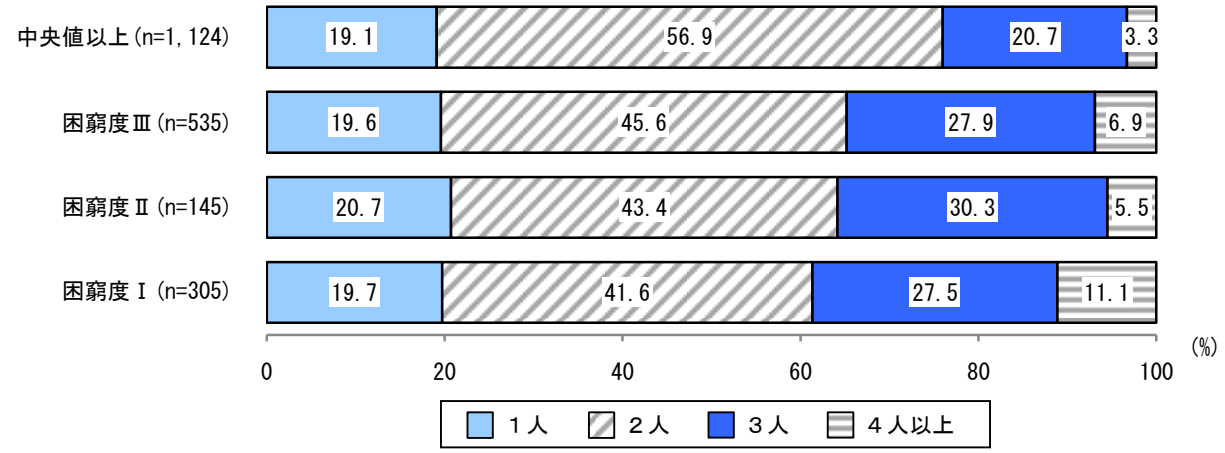
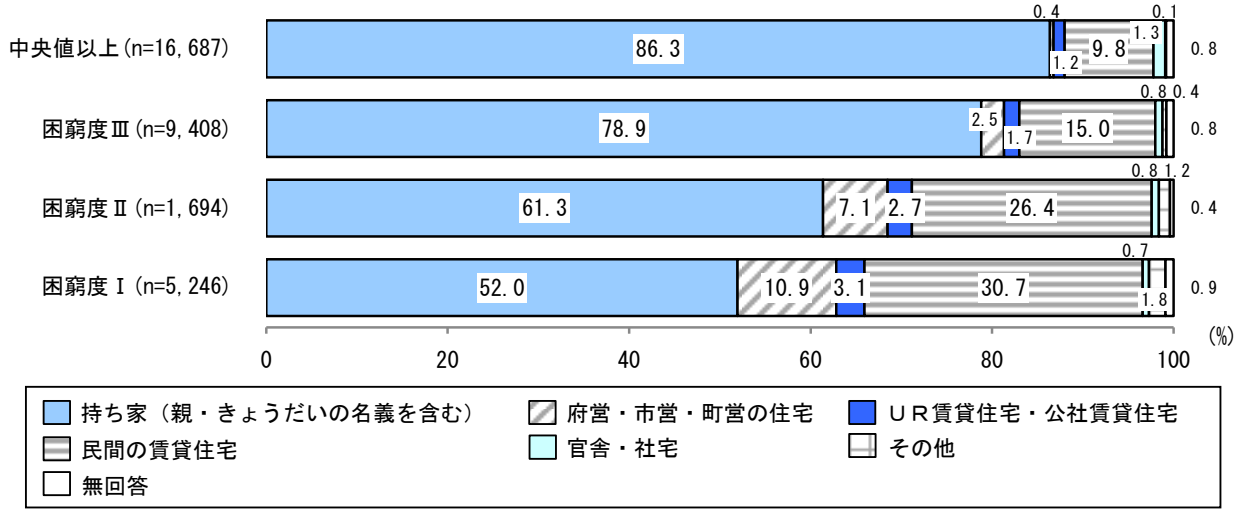


図 10. 困窮度別に見た、子どもの人数

困窮度別に子どもの人数を見ると、中央値以上群において３人以上が24.0%（３人20.7%、４人以上3.3%）であるのに対して、困窮度Ⅰ群では、３人以上が38.6%（３人27.5%、４人以上11.1%）と高くなっている。

困窮度別に見た、住居形態（保護者票問５）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

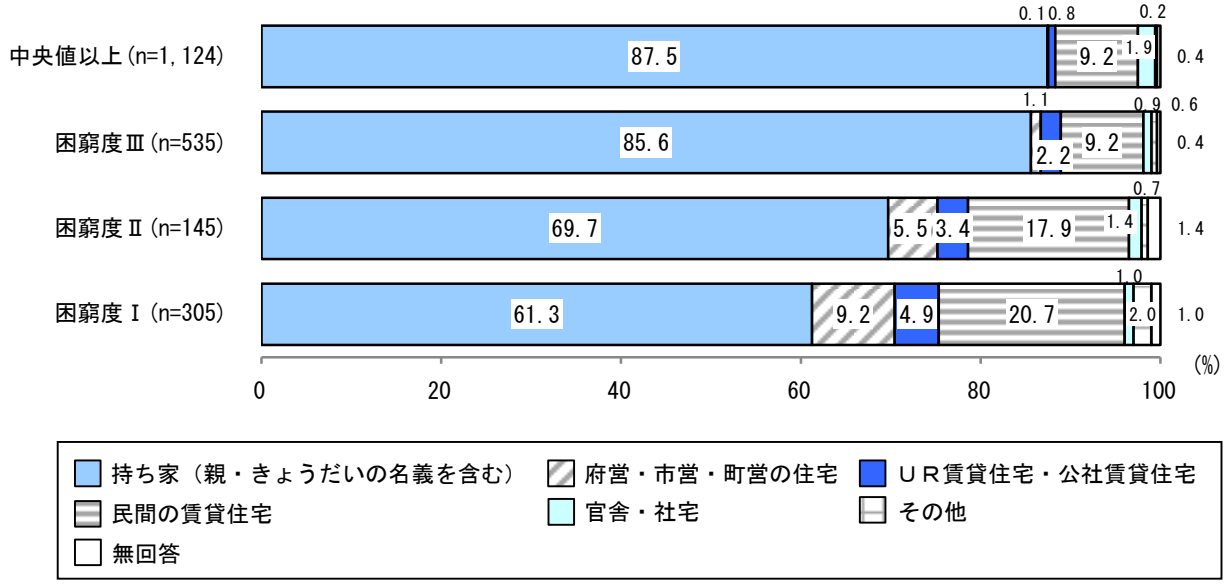
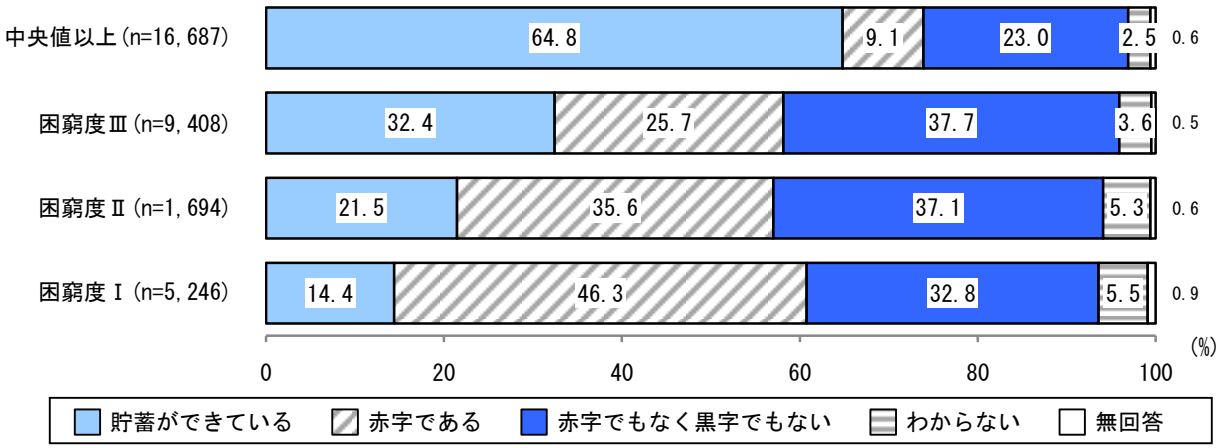


図 11. 困窮度別に見た、住居形態

困窮度別に住居形態を見ると、困窮度が高まるにつれ、持ち家の保有率は低くなっている。中央値以上群では、「持ち家」と回答した割合は87.5%であるのに対して、困窮度Ⅰ群では、61.3%にととどまっている。

困窮度別に見た、家計の状況（保護者票問６(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

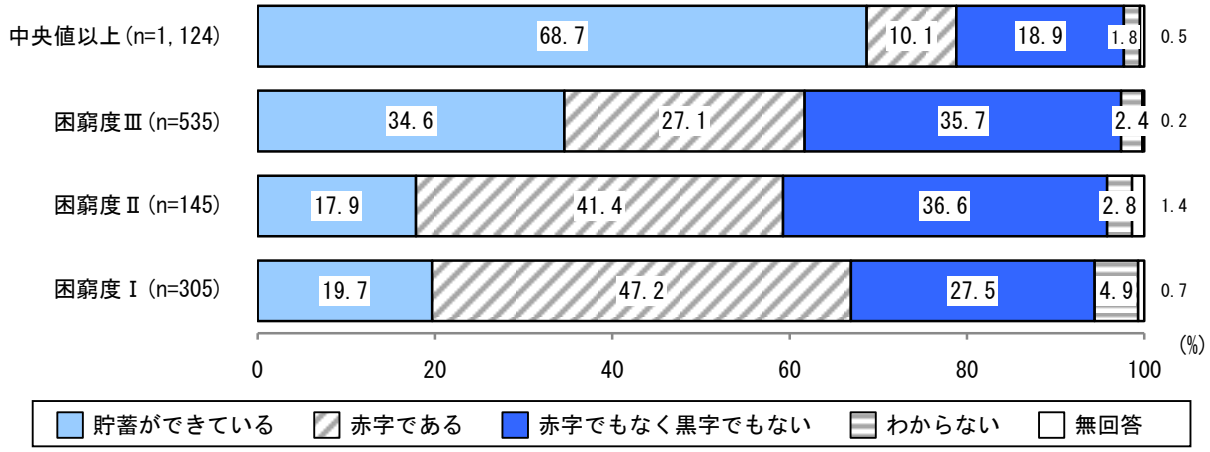
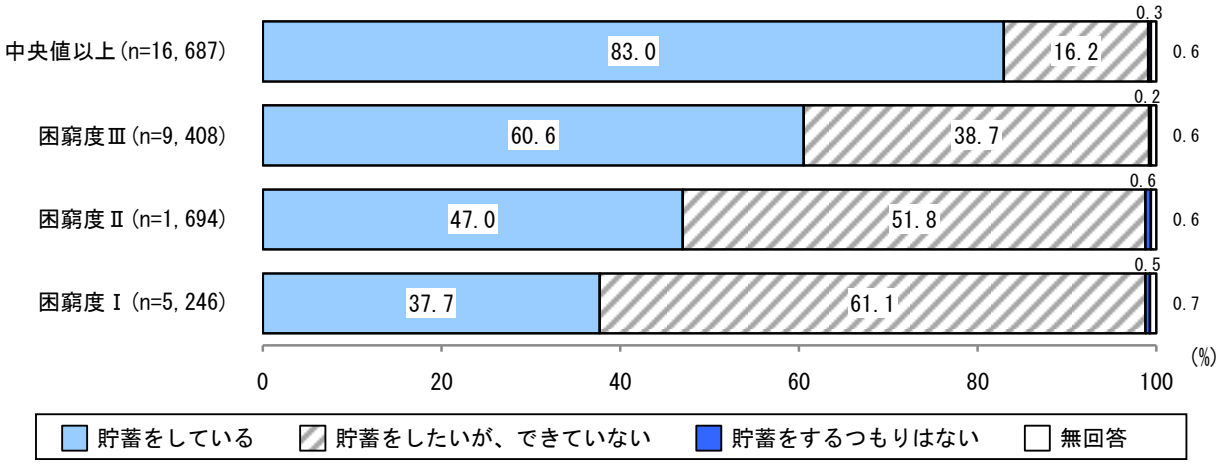


図 12. 困窮度別に見た、家計の状況

困窮度別に家計の状況を見ると、困窮度が高まるにつれて、「貯蓄ができている」と回答する割合が低くなる傾向にあるが、困窮度Ⅱ群が17.9%で最も低くなっている。逆に、「赤字である」という回答は、困窮度が高まるにつれ高くなっている。中央値以上群では、「赤字である」と回答した世帯の割合は、10.1%であるのに対して、困窮度Ⅰ群では、47.2%となり、困窮度Ⅰ・Ⅱ群で４割を超えている。

困窮度別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況（保護者票問６(2)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

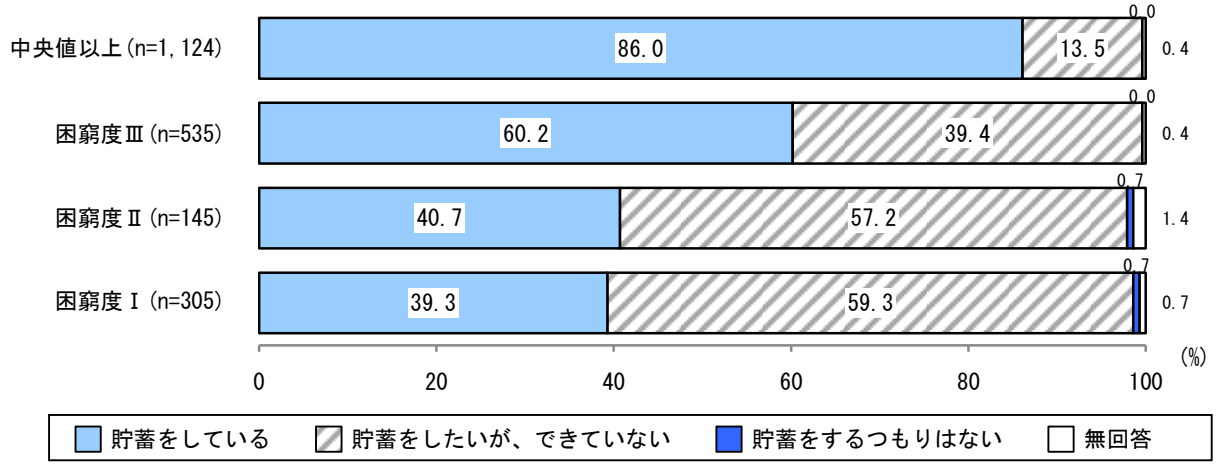
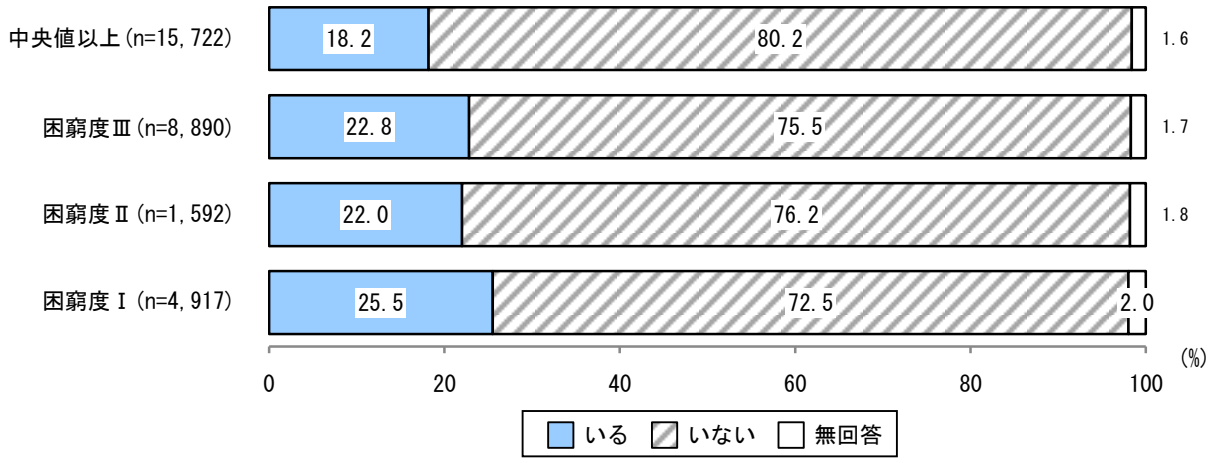


図 13. 困窮度別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況

困窮度別に子どもの将来のための貯蓄状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「貯蓄をしたいが、できていない」という回答が高くなっている。中央値以上群では、「貯蓄をしている」と回答する割合が86.0％を占めたが、困窮度Ⅰ群では39.3％にとどまり、約６割が「貯蓄をしたいが、できていない」と回答している。

困窮度別に見た、自分が世話をしている人の有無（子ども票問 26(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

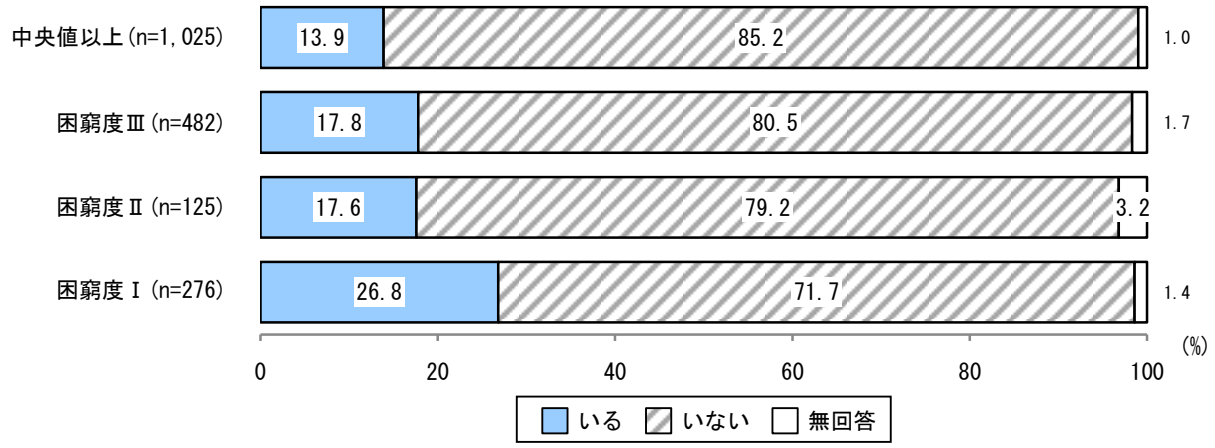


図 14. 困窮度別に見た、自分が世話をしている人の有無

困窮度別に自分が世話をしている人の有無を見ると、自分が世話をしている人が「いる」と回答した割合は困窮度Ⅰ群で26.8%と最も高くなっている。中央値以上群では、「いない」と回答する割合が85.2%を占め、最も高くなっている。

＜経済状況に関する考察＞

経済的理由で生じた生活上の困難についての質問項目は、現在の日本社会において、「通常であれば可能な生活」を基準に設定している。「どれもあてはまらない」という回答は、その基準に達していることを示すものであるが、中央値以上群で46.8%に対して、困窮度Ⅰ群では10.2%にすぎない。一方、困窮度が深刻化するにしたがい経済的理由から生活面での困難は増す傾向にあり、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「電気・ガス・水道などが止められた」（2.6%対0.2%）、「家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある」（8.9%対0.4%）、「電話（固定・携帯）など通信料の支払いが滞ったことがある」（8.5%対0.4%）と回答した割合が高くなっており、生活面で大きな格差が存在する。また、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「国民年金の支払いが滞ったことがある」（15.7%対0.8%）と回答した割合が高くなっており、子どもの親（保護者）の将来（老後）の生活困窮を示唆するデータであると言える。さらに、こういった経済状況は、親の心理的な面にも影響しており、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「生活の見通しがたたなくて不安になったことがある」（43.6%対7.2%）と回答した割合が高くなっている。これらの結果から、経済的困難な家庭では、生活インフラへの支払いの滞りや年金支払いの義務が果たせなくなることに加え、将来への不安感が多いことが示唆される。

世帯の経済状況は、子どもの教育にも影響を及ぼしていることが確認できる。主な項目をあげると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「お子さんの進路を変更した」（5.2%対2.0%）、「お子さんを習い事に通わすことができなかった」（29.5%対4.1%）、「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」（27.5%対3.9%）と回答した割合が高くなっており、子どもに与える教育の格差が示されている。これらの結果から、経済状況によって、子どもの進路や学習環境、家族以外の社会的交流を行う機会が制限されることが示唆される。

同様に、学校以外での子どもの多様な「体験」の有無は、子どものヒューマンキャピタルの形成に影響を与えることが予想されるが、調査結果では、所得階群によって体験の機会に格差があることが示されている。具体的には、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「家族旅行（日帰りのおでかけを含む）ができなかった」（40.0%対9.4%）といった経験に大きな差がある。その一方、「どれにもあてはまらない」が、中央値以上群では79.9%であり、困窮度Ⅰ群でも39.3%ある。所得階群によって体験の機会に差が見られるが、どの階群においても子どもに対して様々な体験や勉強の機会が提供できている世帯も多数いるという点がデータから読み取れる。

また、「子どもの将来のための貯蓄状況」という質問項目に対して、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「している」と回答した割合が高くなっている（86.0%対39.3%）。また、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「貯蓄をしたいが、できていない」と回答した割合が高くなっており（59.3%対13.5%）、貯蓄の状況に大きな差があることが確認できる。これらの結果から、経済的困難な家庭では、貯蓄不足により、将来子どもに起こり得るリスク（病気や進路選択など）に備えることや、子どもに対しての投資が難しくなると予想される。

近年、子どもの貧困やヤングケアラーへの社会的関心が深まりつつあり、厚生労働省と文部科学省が連携して行った全国調査では、ヤングケアラーと思われる子どもは小学6年生で6.5%（令和3年度実施）、中学2年生で5.7%（令和2年度実施）と報告されている（『ヤングケアラーの支援に向けた福祉・介護・医療・教育の連携プロジェクトチーム報告（令和3年5月17日）』）。全国調査の結果より、回答した小学6年生の15人に１人程度、中学2年生の17人に1人程度が家族の世話をしていることが明らかになった。

大阪府が令和５年に実施した、小学5年生、中学2年生を対象とする本調査では、「自分が世話をしている人の有無」という質問に対して「いる」と答えている割合は、全体においては16.1%で

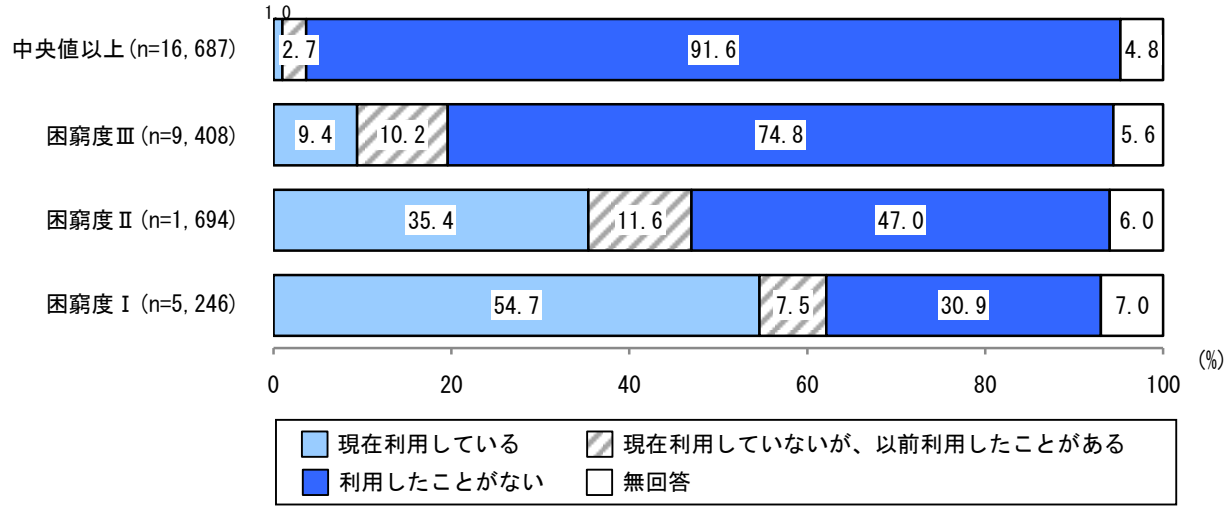
あるが、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べて「いる」と答えた割合が高くなっている（26.8%対13.9%）。これは、困窮度Ⅰ群では、回答した4人に1人程度が、中央値以上群では、7人に1人程度が世話をしている人が「いる」と回答していることになる。これらの結果から、大阪府ではヤングケアラーと思われる子どもの割合が高く、特に経済的困難な家庭ではその割合が高いことが読み取れる。

最後に、所得階群によって世帯構成の特徴も示されている。困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「母子世帯」の割合が約25ポイント高くなっており（27.9%対2.4%）、一方、「ふたり親世帯」の割合が約30ポイント低くなっている（61.3%対93.7%）。これらの結果から、「母子世帯」の家庭は、経済的困難に当たる可能性が高くなっていると示唆される。

（２）家庭状況（制度等）

困窮度別に見た、就学援助の利用状況（保護者票問 23-a）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

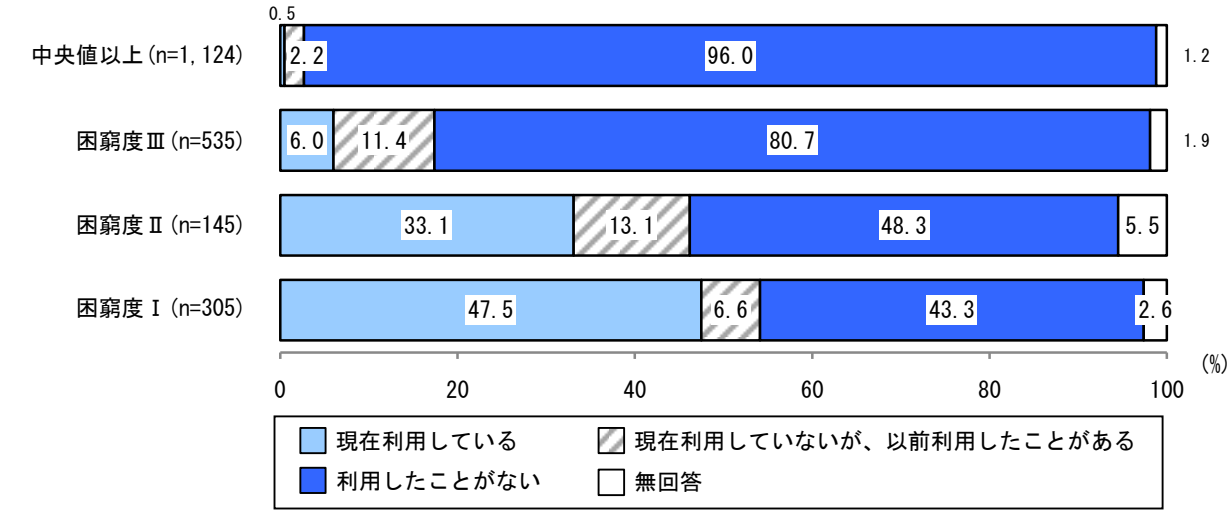
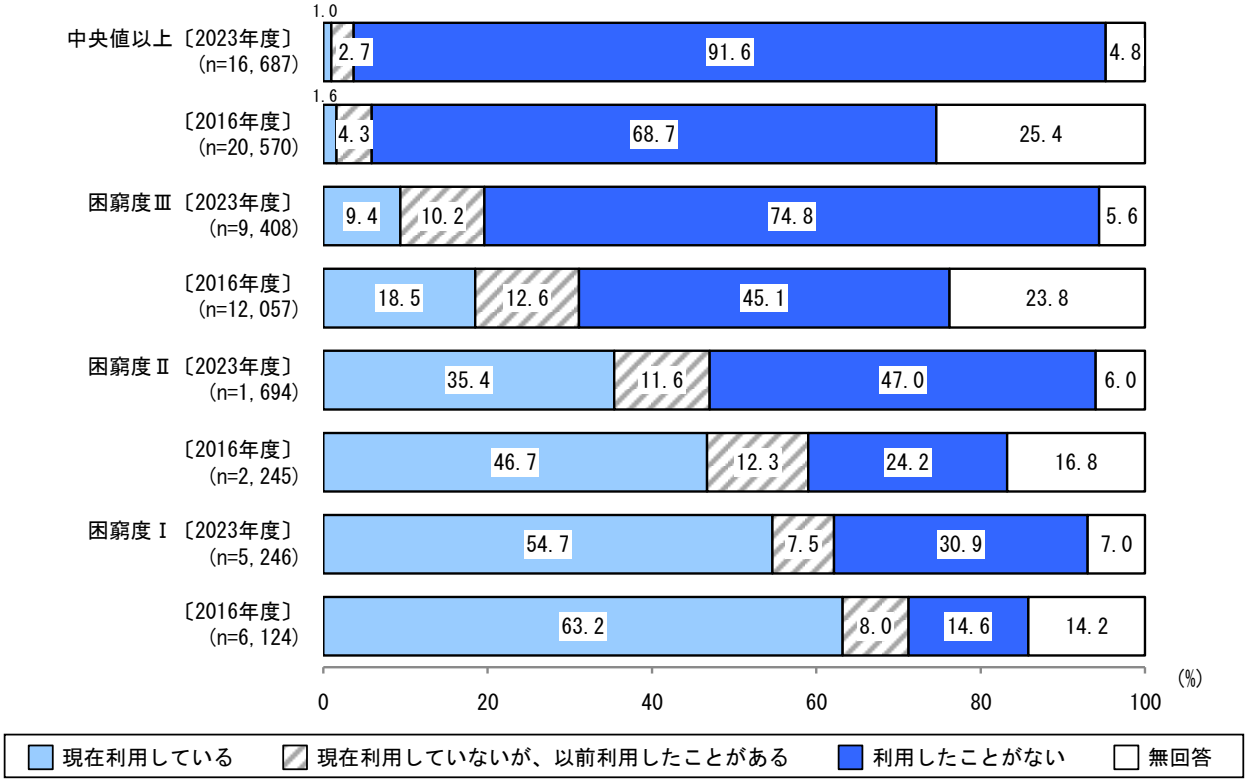


図 15. 困窮度別に見た、就学援助の利用状況

困窮度別に就学援助の利用状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「現在利用している」と回答した割合が高くなっている。

＜2016年度調査との比較／大阪府内全体＞



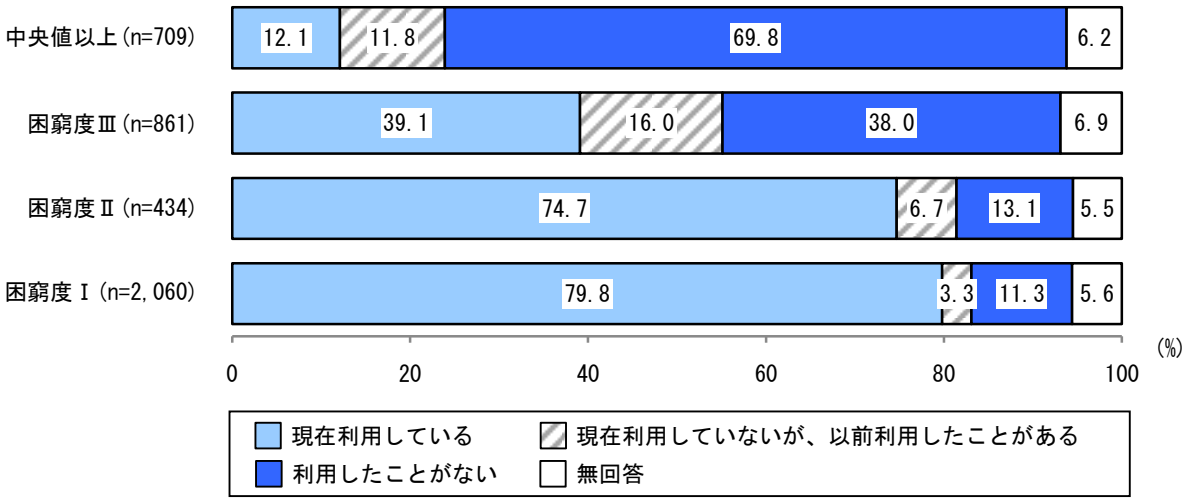
※　2016 年度調査では「受けている」「受けたことがある」「受けたことはない」

図 16. 困窮度別に見た、就学援助の利用状況（2016 年度調査との比較）

2016年度調査と比較すると、「現在利用している」と回答した割合は、いずれの困窮度も2016年度調査に比べて低くなっており、一方で、「利用したことがない」は2016年度調査に比べて割合が高くなっている。

困窮度別に見た、児童扶養手当の利用状況（保護者票問 23-d）・ひとり親世帯のみ

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

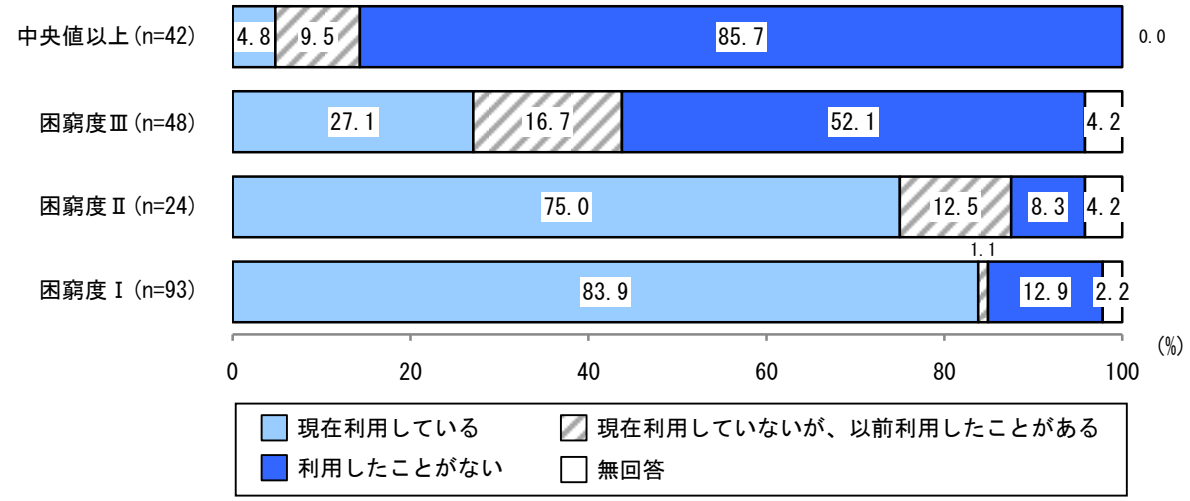
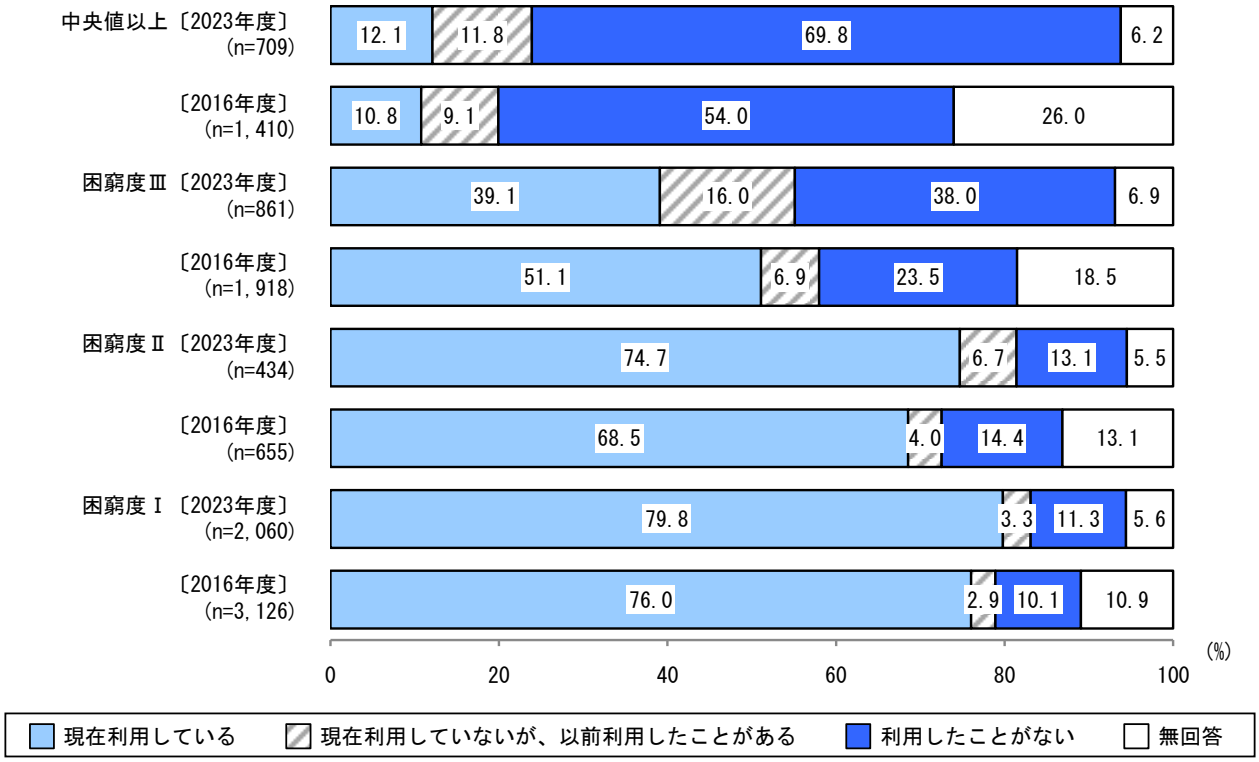


図 17. 困窮度別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）

ひとり親世帯の困窮度別に児童扶養手当の利用状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「現在利用している」と回答した割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群では「利用したことがない」と回答した割合が12.9%を占めている。

＜2016年度調査との比較／大阪府内全体＞



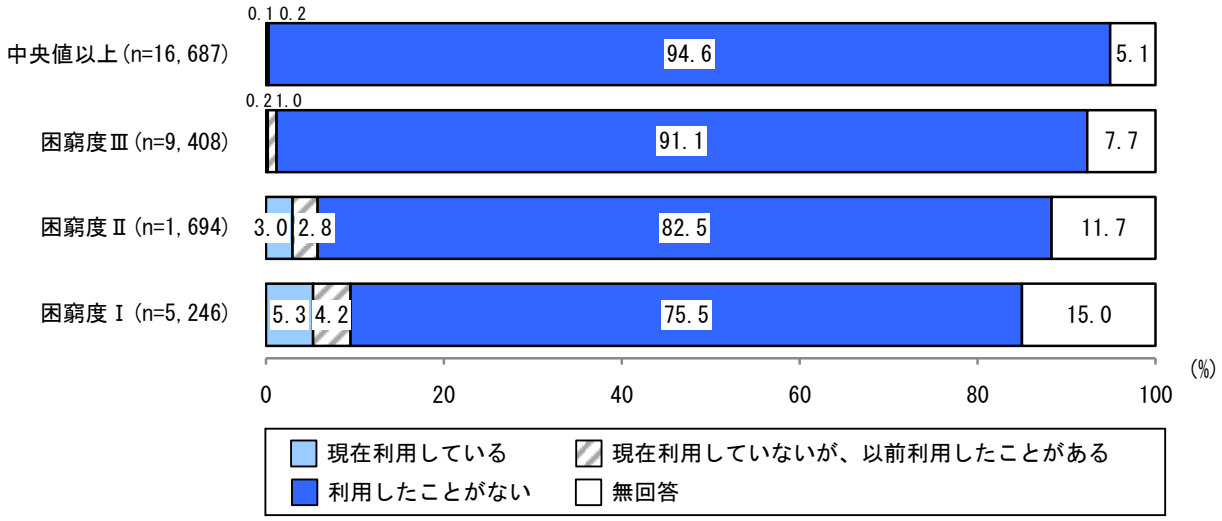
※　2016 年度調査では「受けている」「受けたことがある」「受けたことはない」

図 18.　困窮度別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）（2016年度調査との比較）

2016年度調査と比較すると、「現在利用している」と回答した割合は、困窮度Ⅲでは2016年度調査より割合が低いが、それ以外の困窮度では2016年度調査よりも高くなっている。

困窮度別に見た、生活保護の利用状況（保護者票問 23-b）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

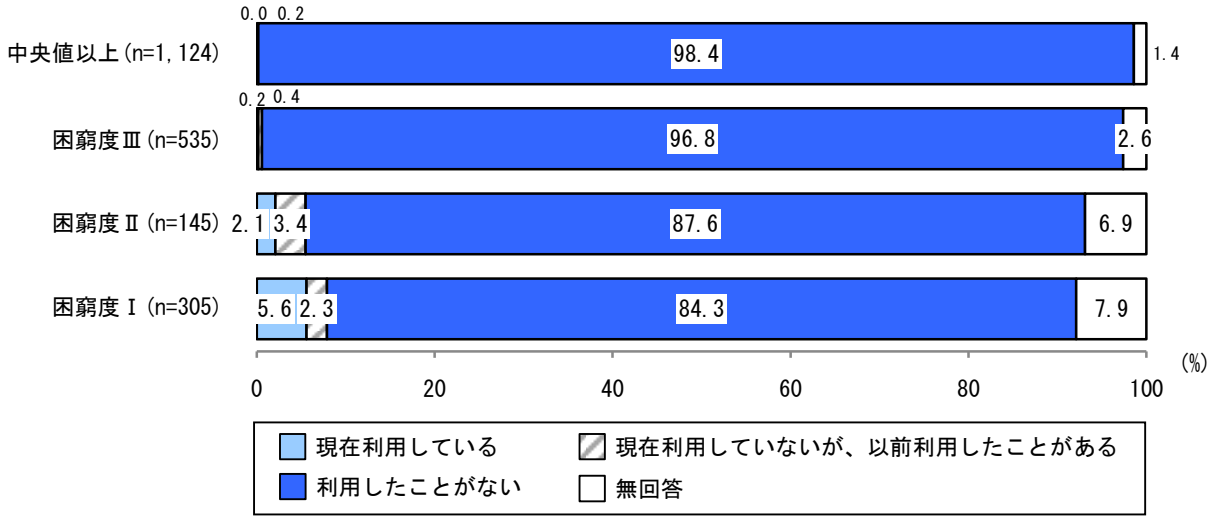
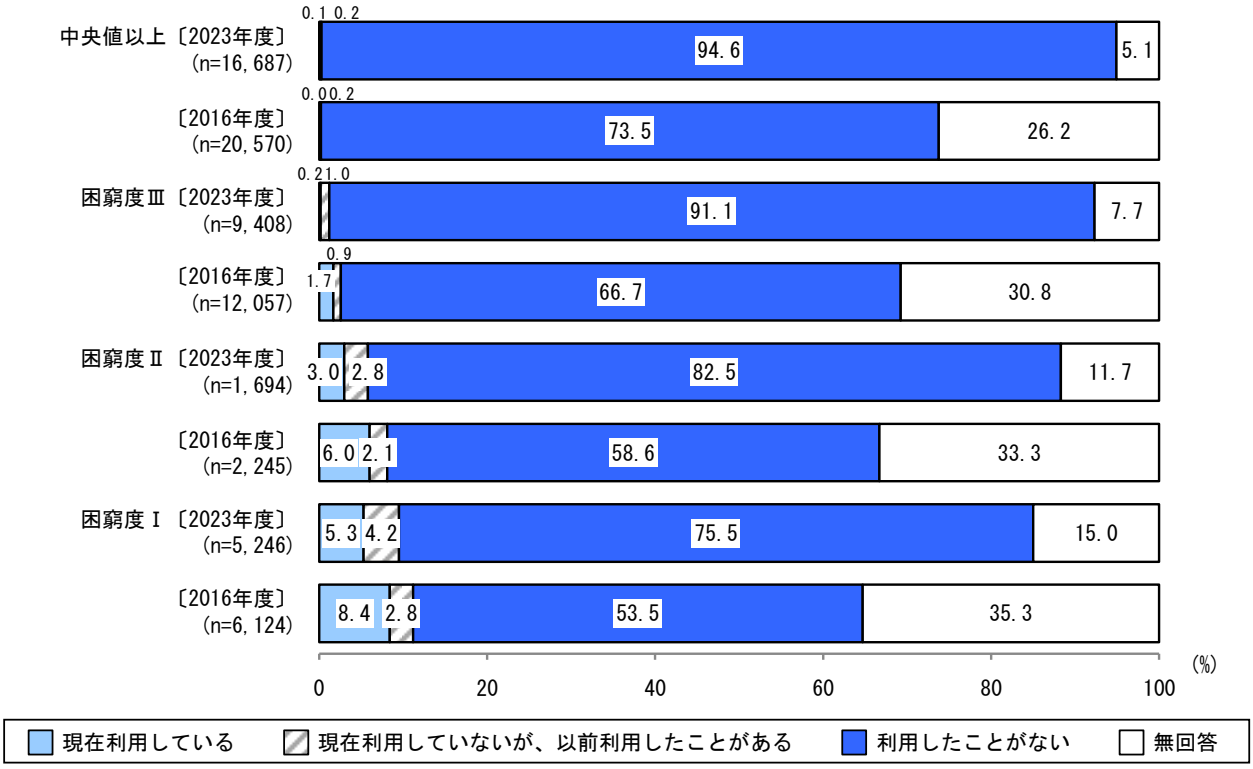


図 19. 困窮度別に見た、生活保護の利用状況

困窮度別に生活保護の利用状況を見ると、困窮度Ⅰ群においては「現在利用している」と回答した割合は5.6%であった。困窮度が高まるにつれ、「現在利用している」の割合が高くなっている。

＜2016年度調査との比較／大阪府内全体＞



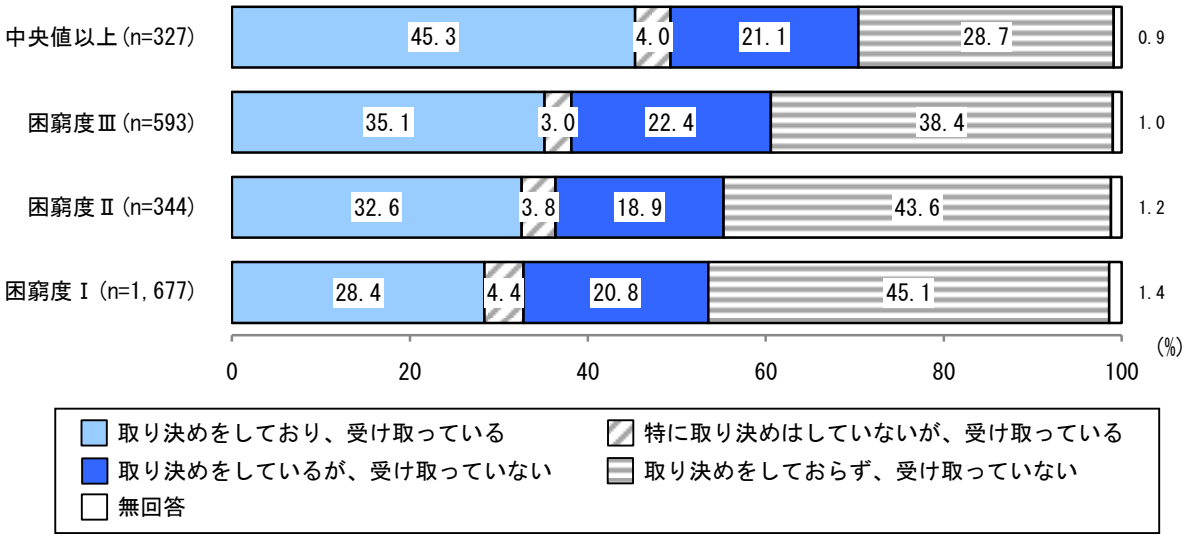
※　2016 年度調査では「受けている」「受けたことがある」「受けたことはない」

図 20. 困窮度別に見た、生活保護の利用状況（2016年度調査との比較）

2016年度調査と比較すると、「現在利用している」と回答した割合は、困窮度Ⅰ・Ⅱ・Ⅲとも2016年度調査より割合が低くなっている。

困窮度別に見た、離婚相手との養育費の取り決めや受け取り（保護者票問４）・ひとり親世帯のみ

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

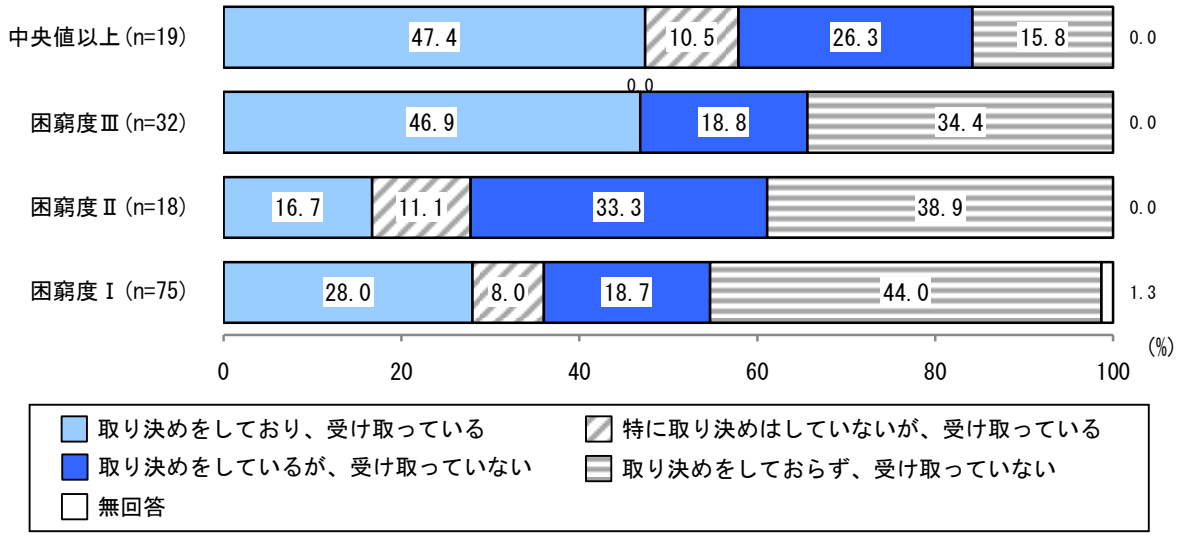
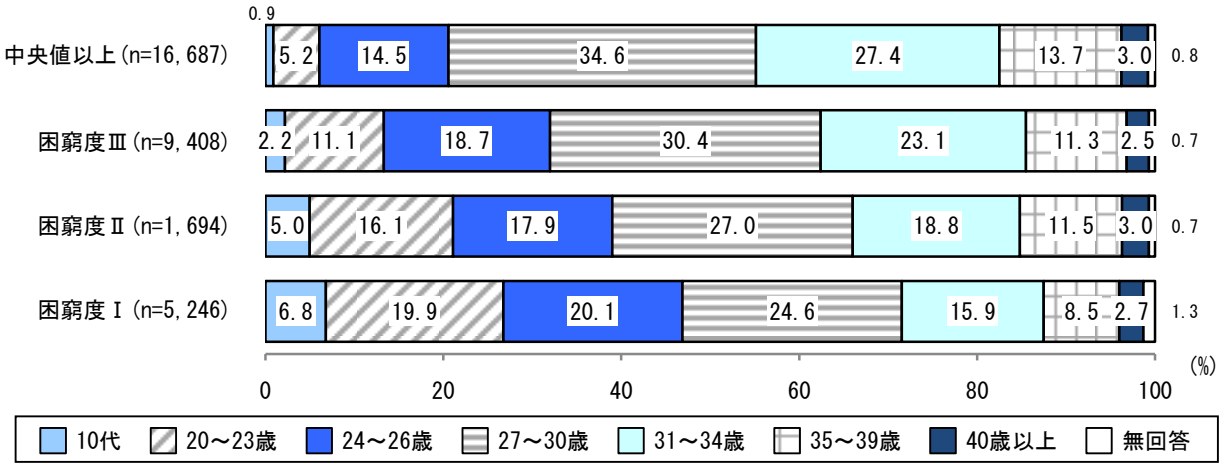


図 21. 困窮度別に見た、離婚相手との養育費の取り決めや受け取り（ひとり親世帯のみ）

ひとり親世帯の困窮度別に離婚相手との養育費の取り決めや受け取りを見ると、困窮度Ⅰ群においては「取り決めをしており、受け取っている」と回答した割合は28.0％であり、「取り決めをしておらず、受け取っていない」が44.0％と高く「取り決めをしているが、受け取っていない」の18.7％をあわせた養育費を受け取っていない人が62.7％となっている。

困窮度別に見た、初めて親となった年齢（保護者票問 17）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

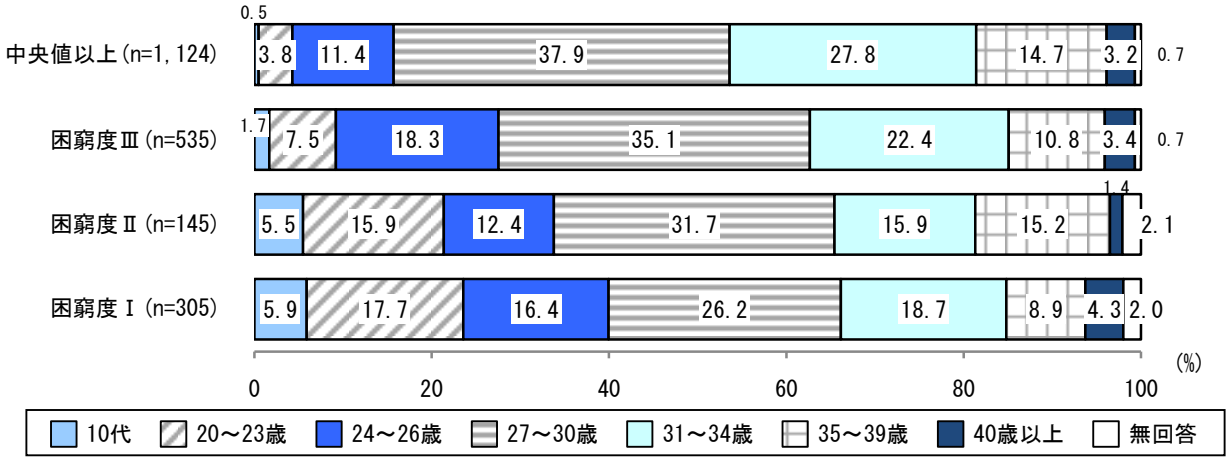
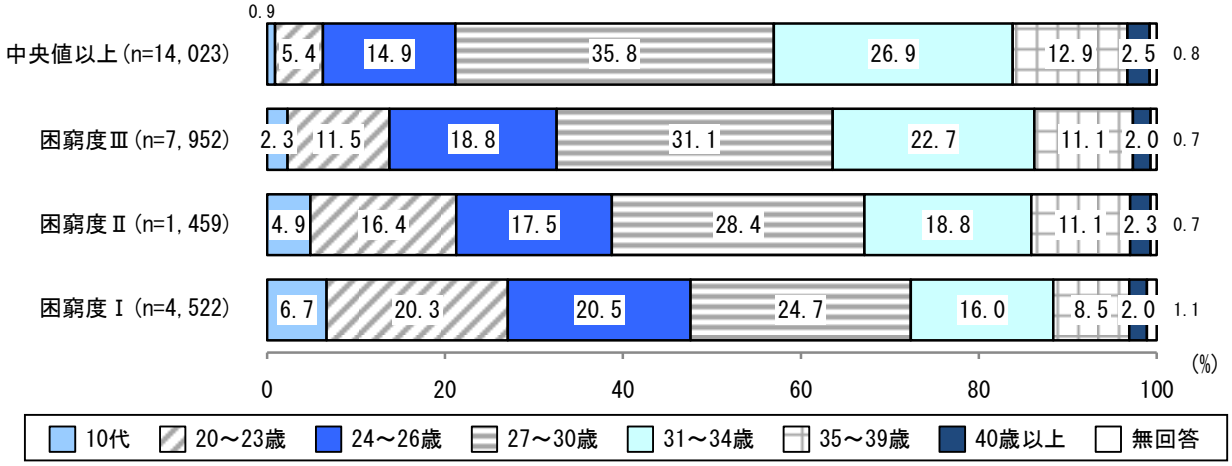


図 22. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢

全ての回答者を対象として、困窮度別に初めて親となった年齢を見ると、困窮度が高まるにつれ、10代で初めて親となったと答えた割合が高くなっている。

困窮度別に見た、初めて親となった年齢（保護者票問 17）・母親の回答者のみ

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

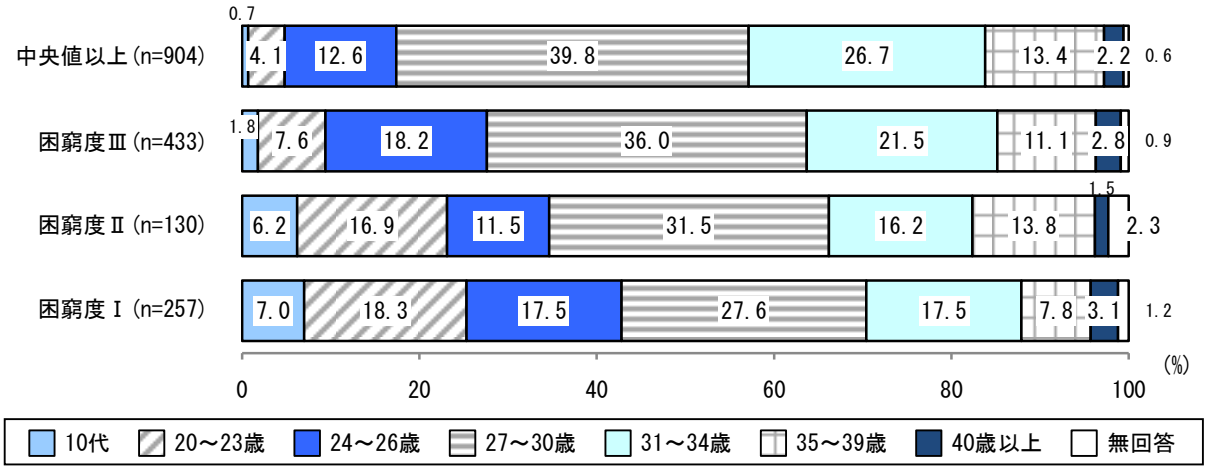
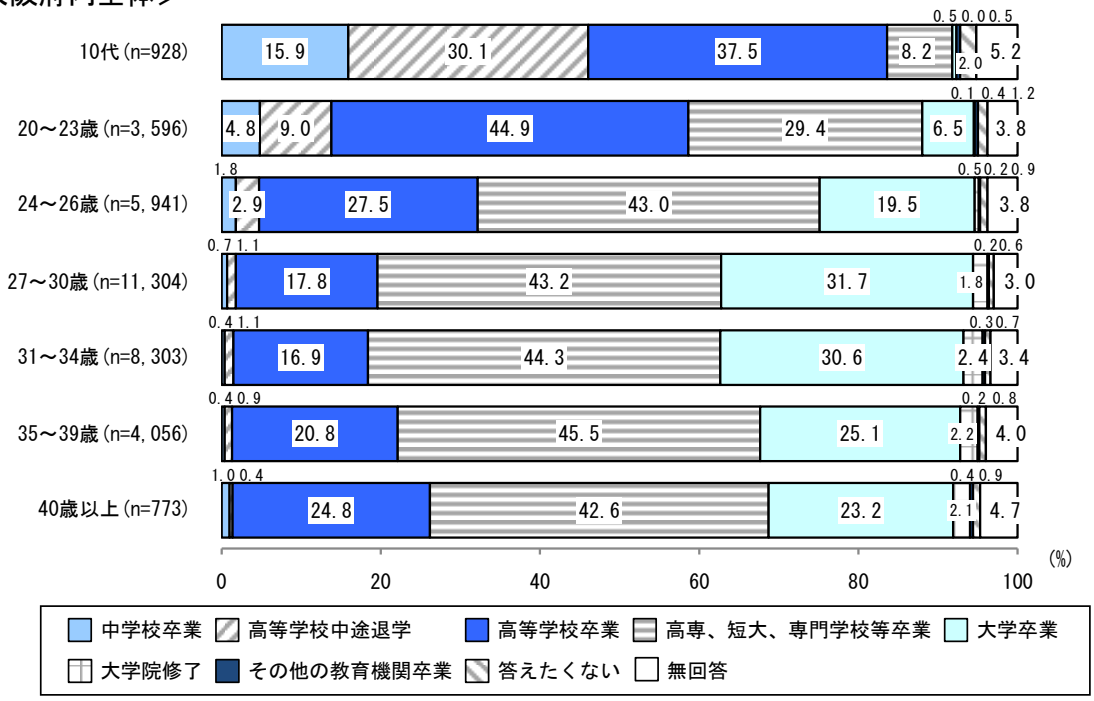


図 23. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢（母親の回答者のみ）

母親回答者を対象として、困窮度別に初めて親となった年齢を見ると、困窮度が高まるにつれ、10代で初めて親となったと答えた割合が高くなっている。若くして母親となった人ほど、経済的な問題を抱えている可能性が考えられる。

初めて親となった年齢別に見た、お母さんの最終学歴（保護者票問 17×保護者票問８）
※母親の回答者のみ

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

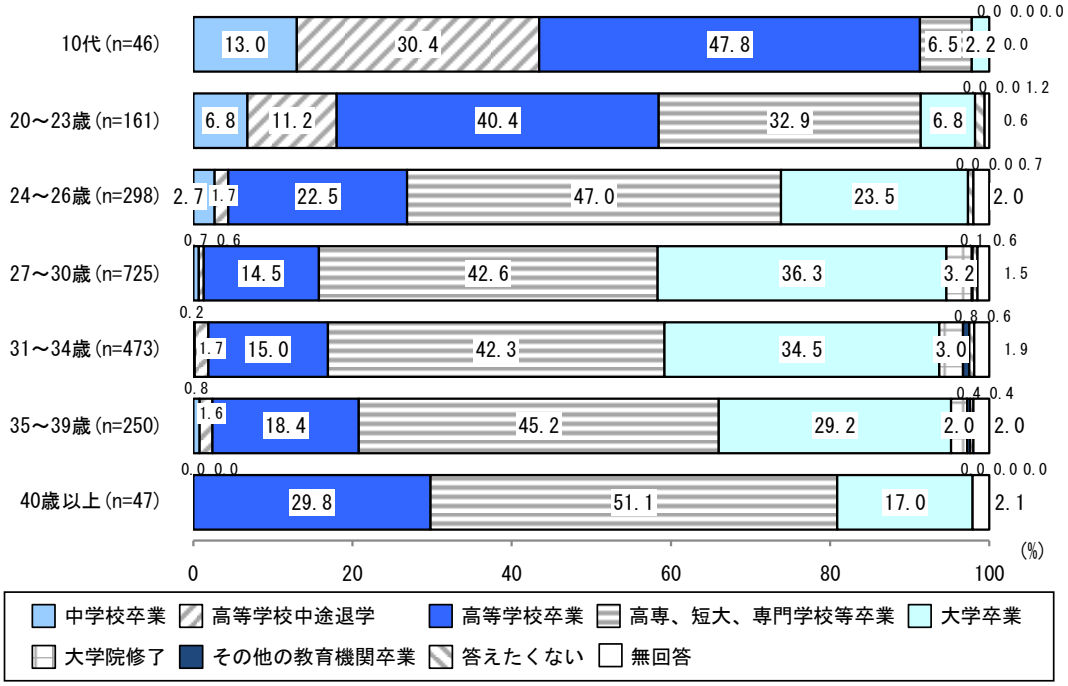
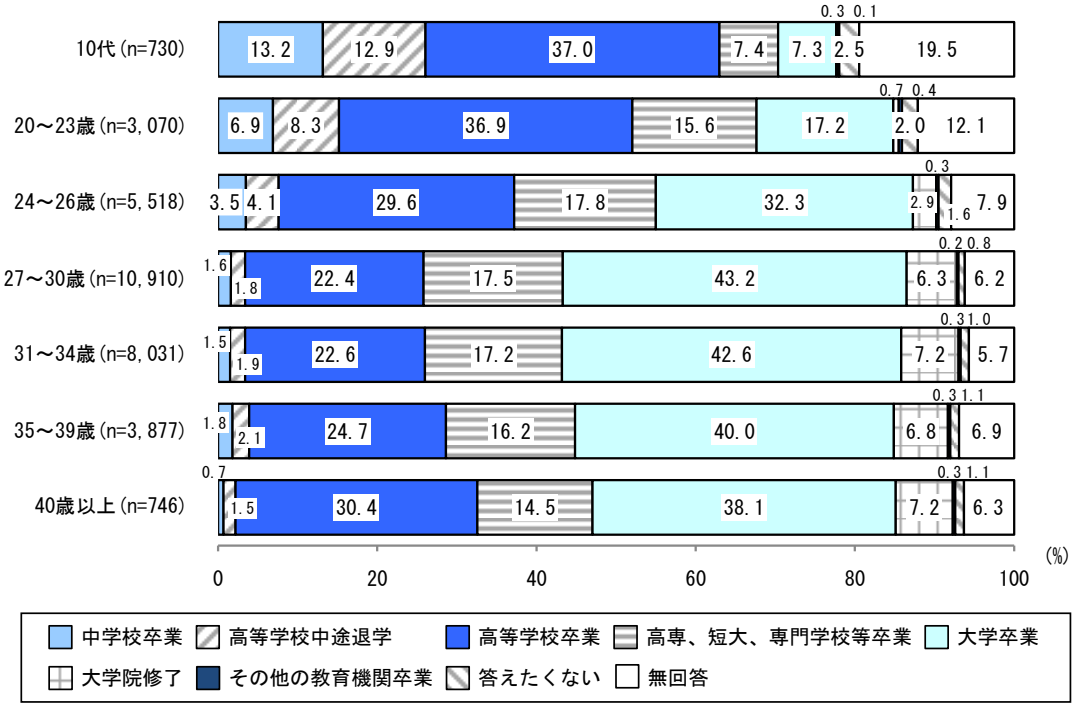


図 24. 初めて親となった年齢別に見た、お母さんの最終学歴（母親の回答者のみ）

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に母親自身の最終学歴を見ると、10代において「中学校卒業」(13.0%）または「高等学校中途退学」(30.4%）と回答した割合が高かった。

初めて親となった年齢別に見た、お父さんの最終学歴（保護者票問 17×保護者票問８）
※母親の回答者のみ

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

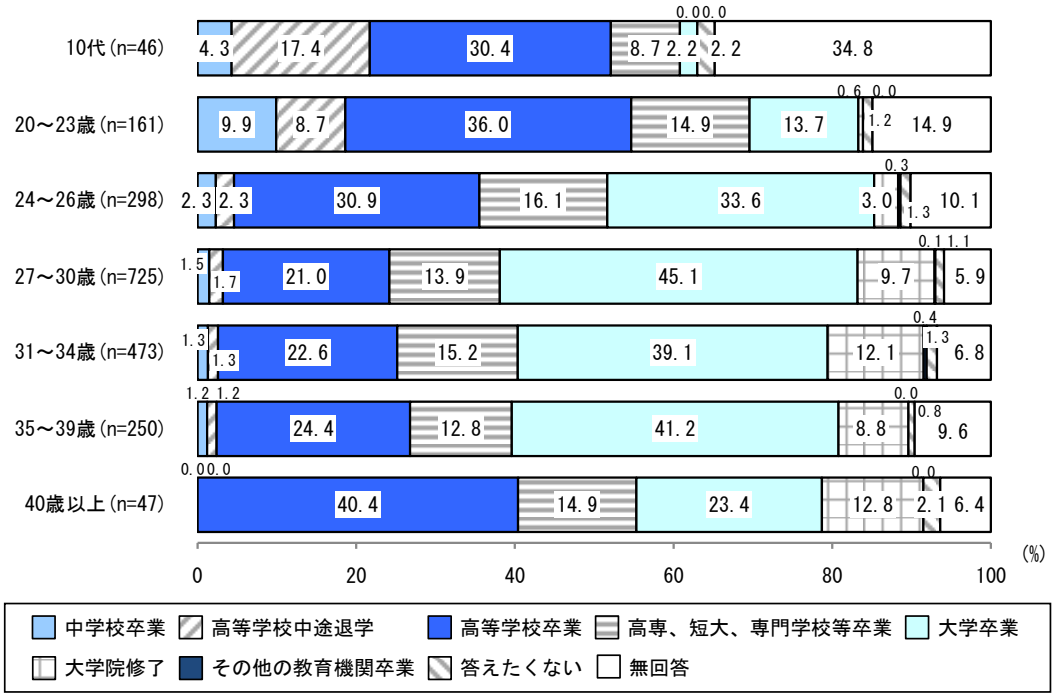
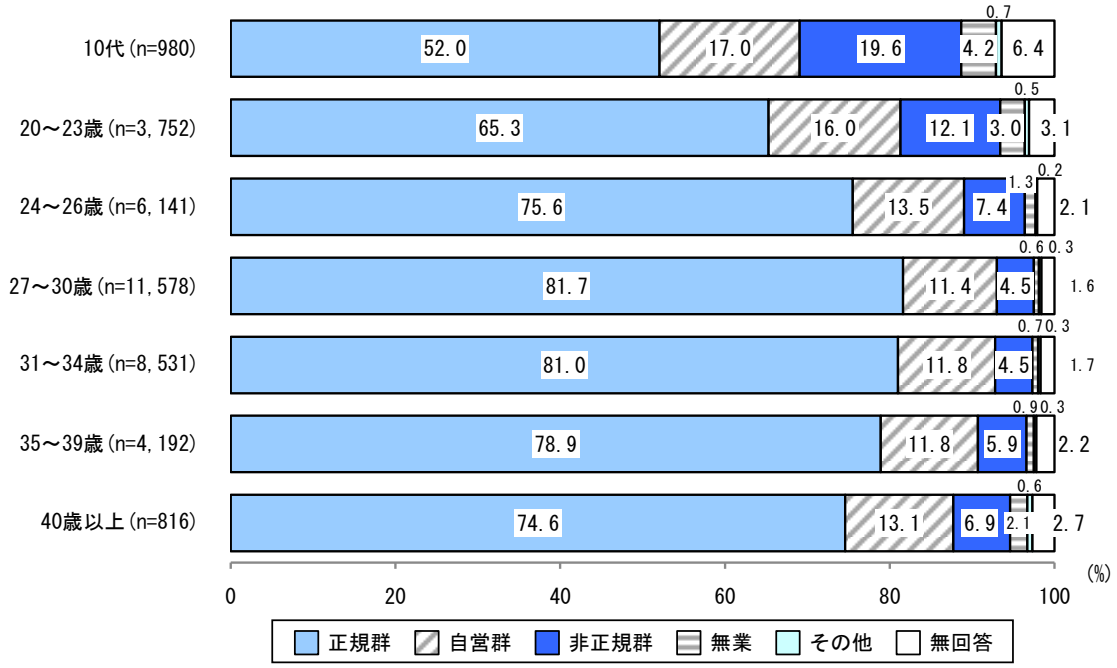


図 25. 初めて親となった年齢別に見た、お父さんの最終学歴（母親の回答者のみ）

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に父親の最終学歴を見ると、10代において「高等学校中途退学」（17.4%）と回答した割合が高かった。

初めて親となった年齢別に見た、就労状況（保護者票問 17×保護者票問９）
※母親の回答者のみ

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

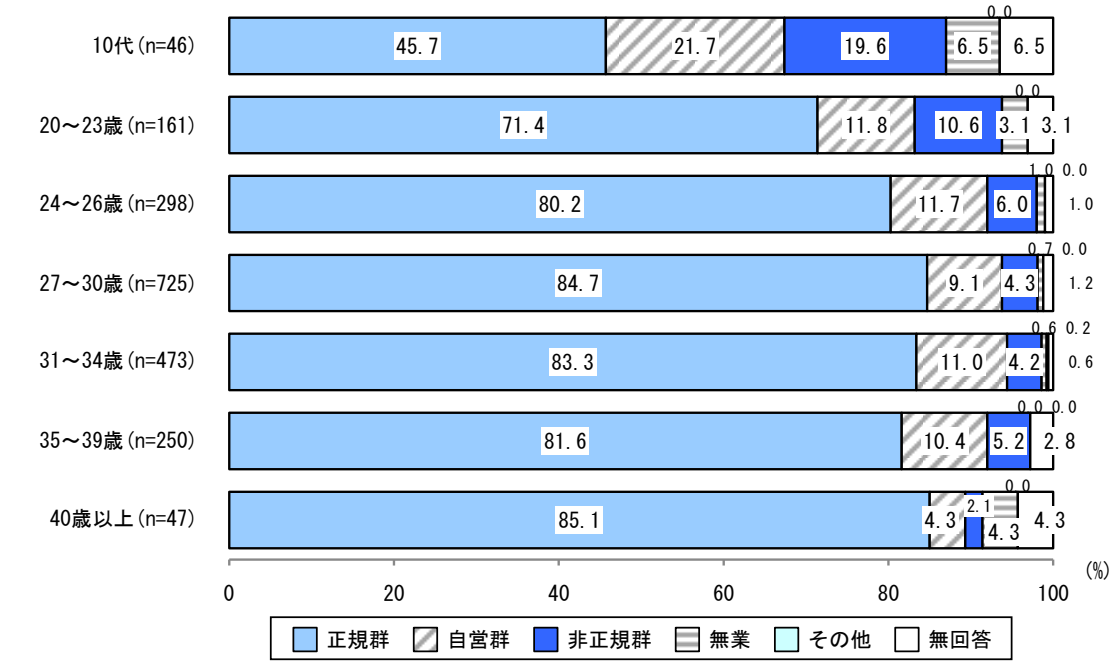
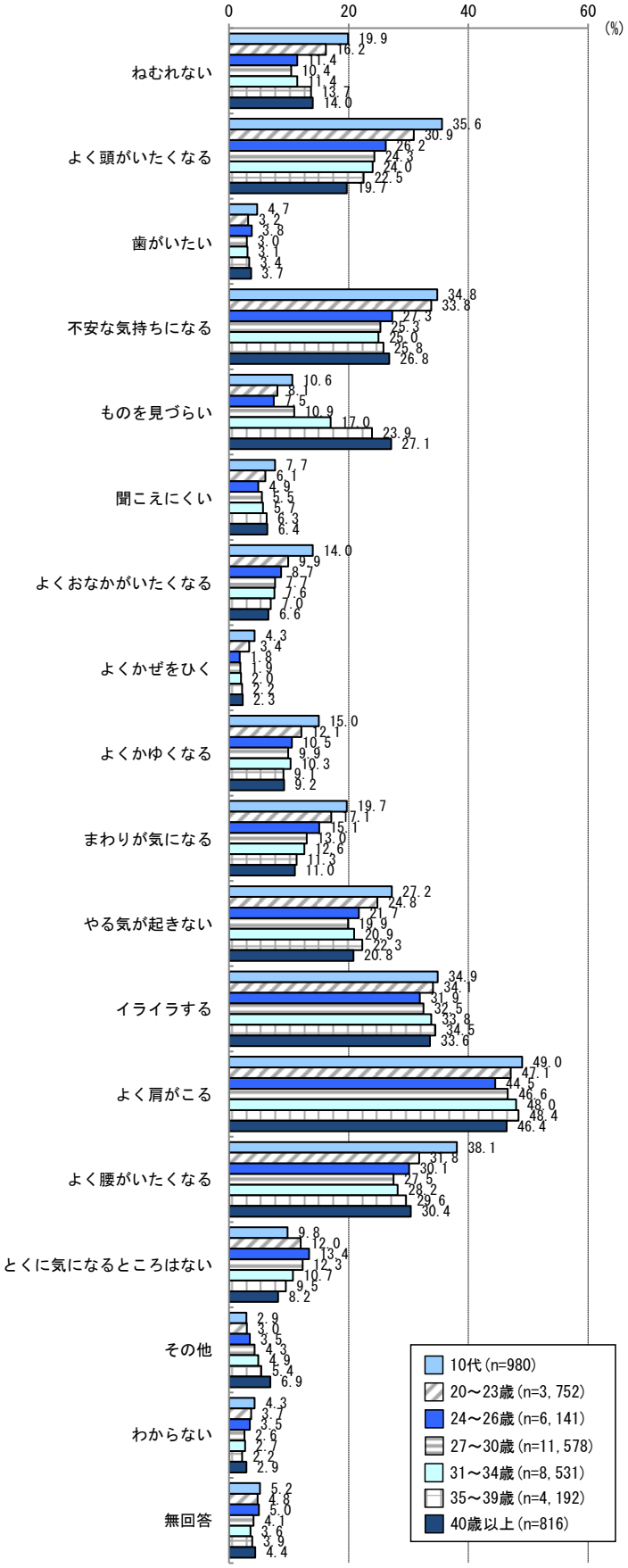


図 26. 初めて親となった年齢別に見た、就労状況（母親の回答者のみ）

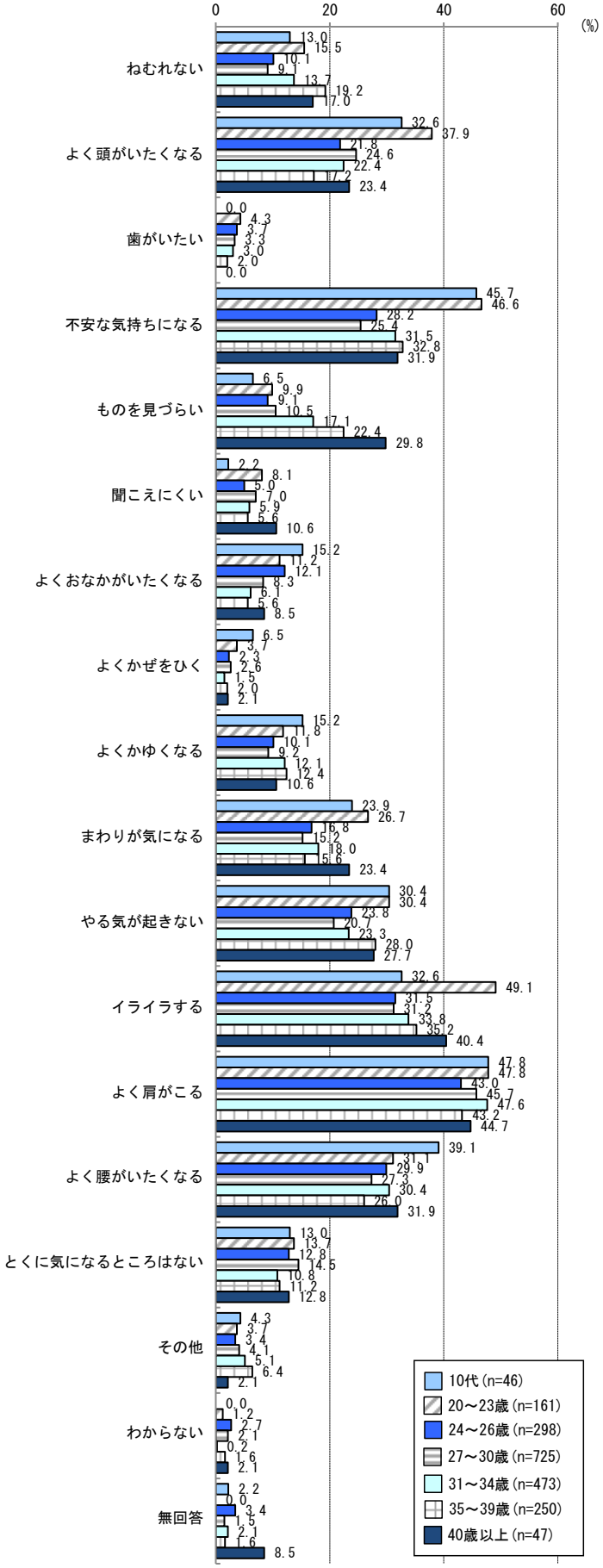
母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に就労状況を見ると、10代は他の群と比較して「正規群」の割合が低く、「非正規群」の割合が高かった。

初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること
（保護者票問 17×保護者票問 22）　※母親の回答者のみ

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

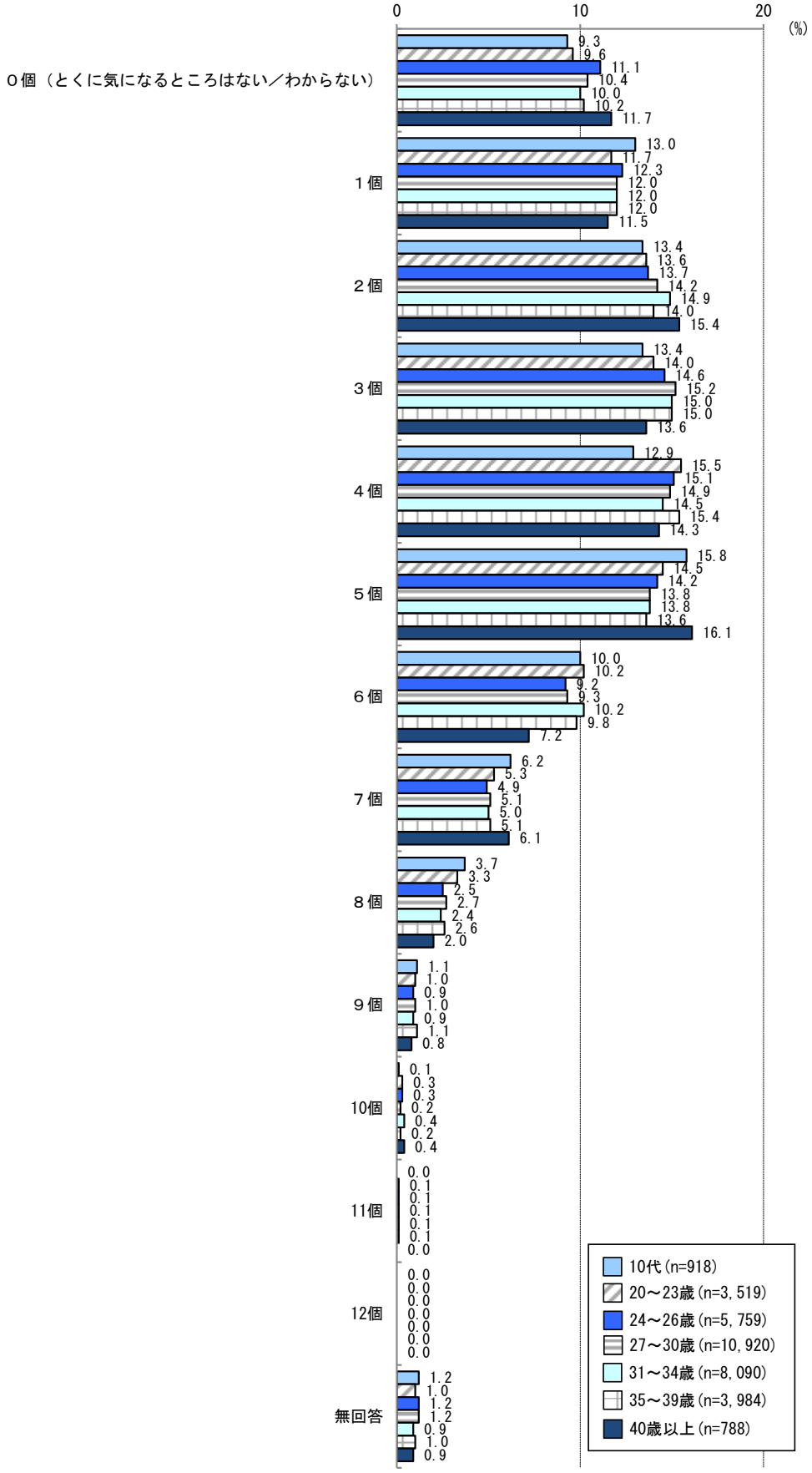


母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に自分の体や気持ちで気になることを見ると、20～23歳は他の年代と比較して「よく頭がいたくなる」や「不安な気持ちになる」、「まわりが気になる」、「やる気が起きない」、「イライラする」、「よく肩がこる」の割合が高かった。

図 27. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること（母親の回答者のみ）

初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（保護者票問 17×子ども票問 19・20）　※母親の回答者のみ

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

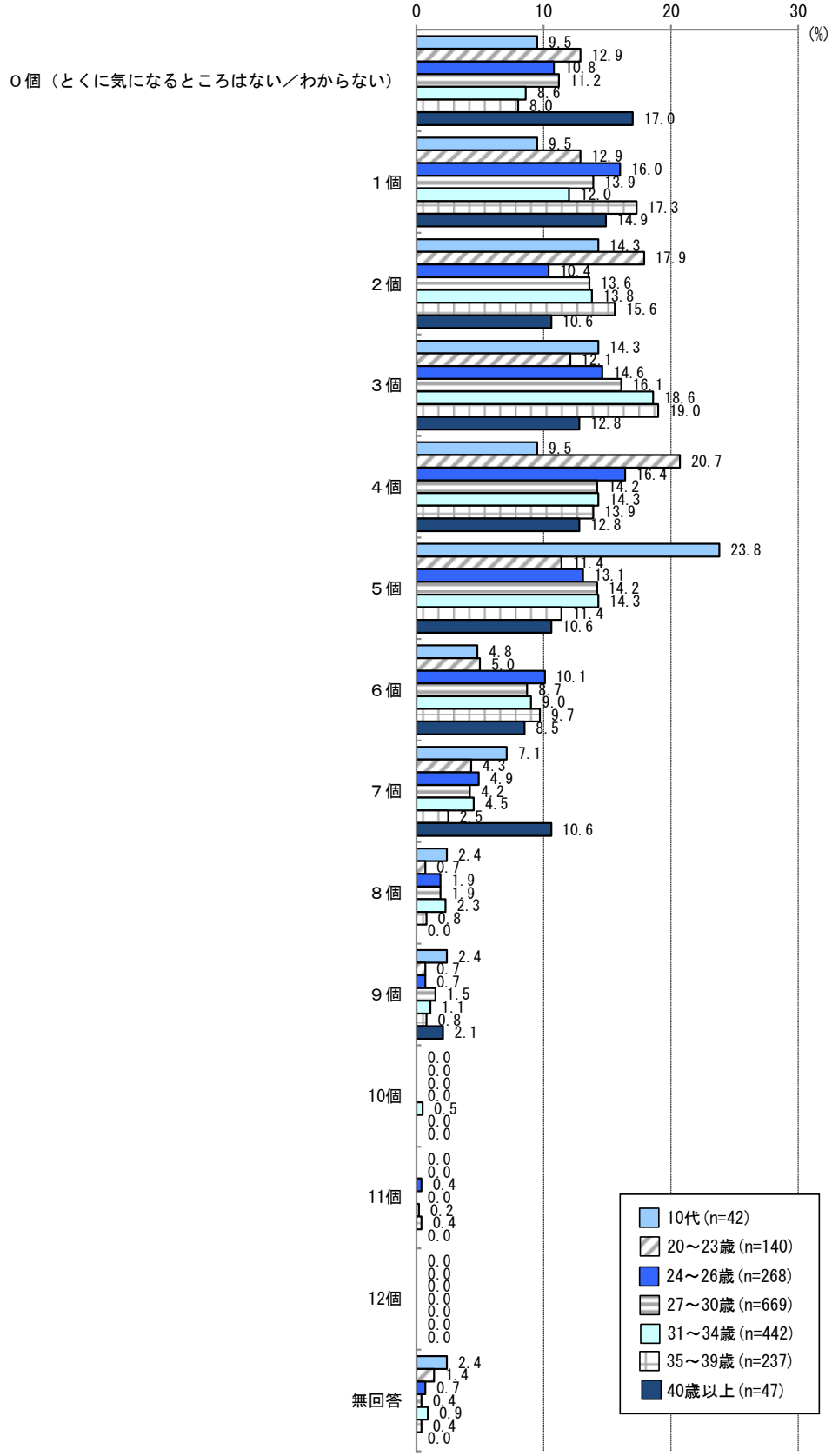
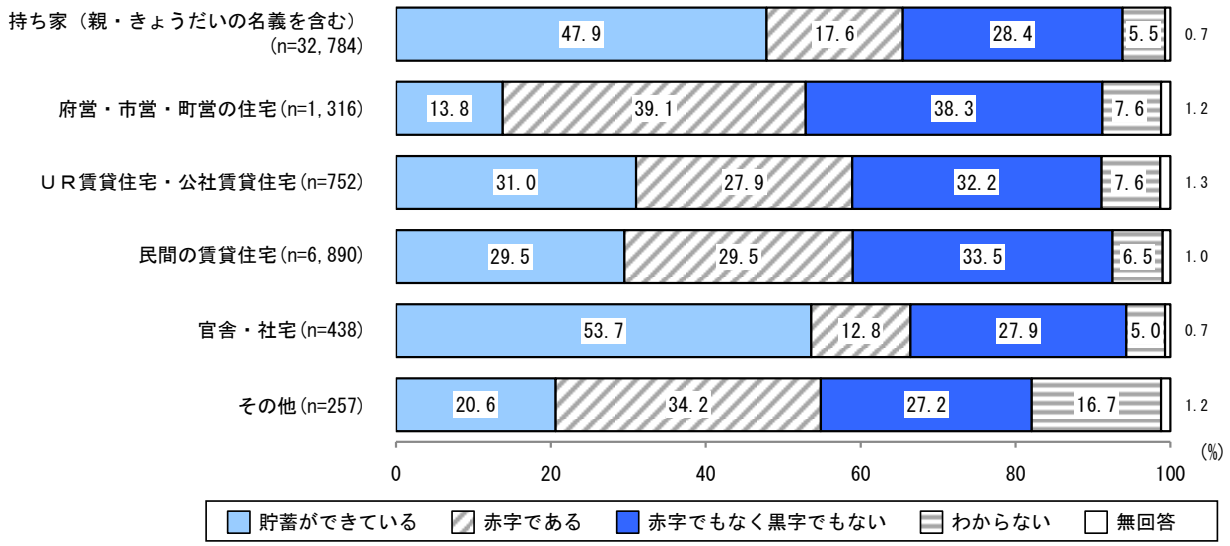


図 28. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（母親の回答者のみ）

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に自分の体や気持ちで気になることの該当数を見ると、10代は、他の年齢と比較して「５個」（23.8%）の割合が最も高かった。

住居形態別に見た、家計の状況（保護者票問５×保護者票問６(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

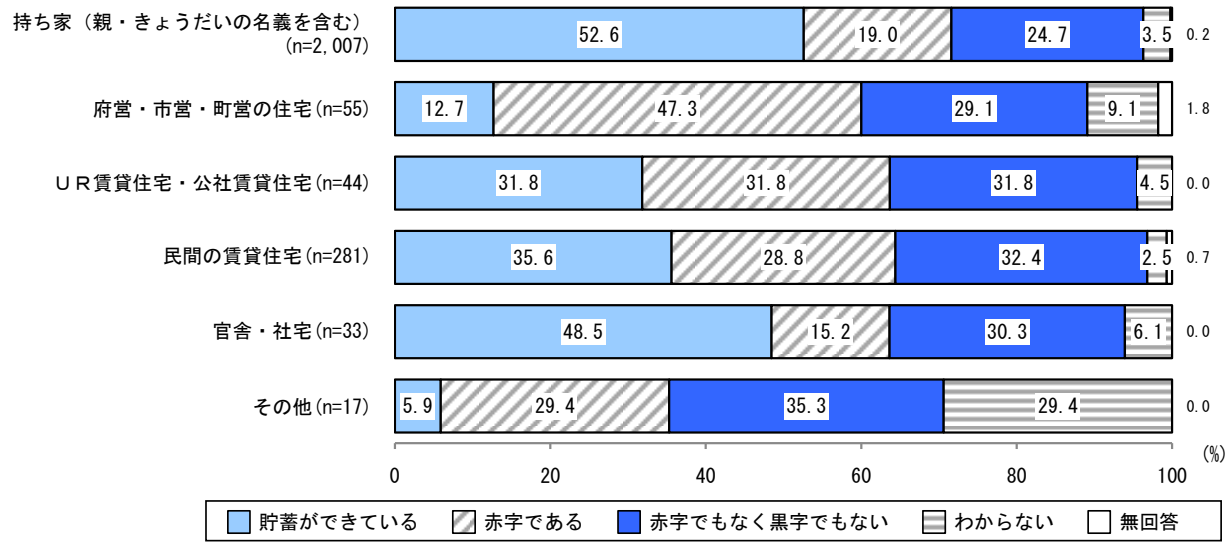
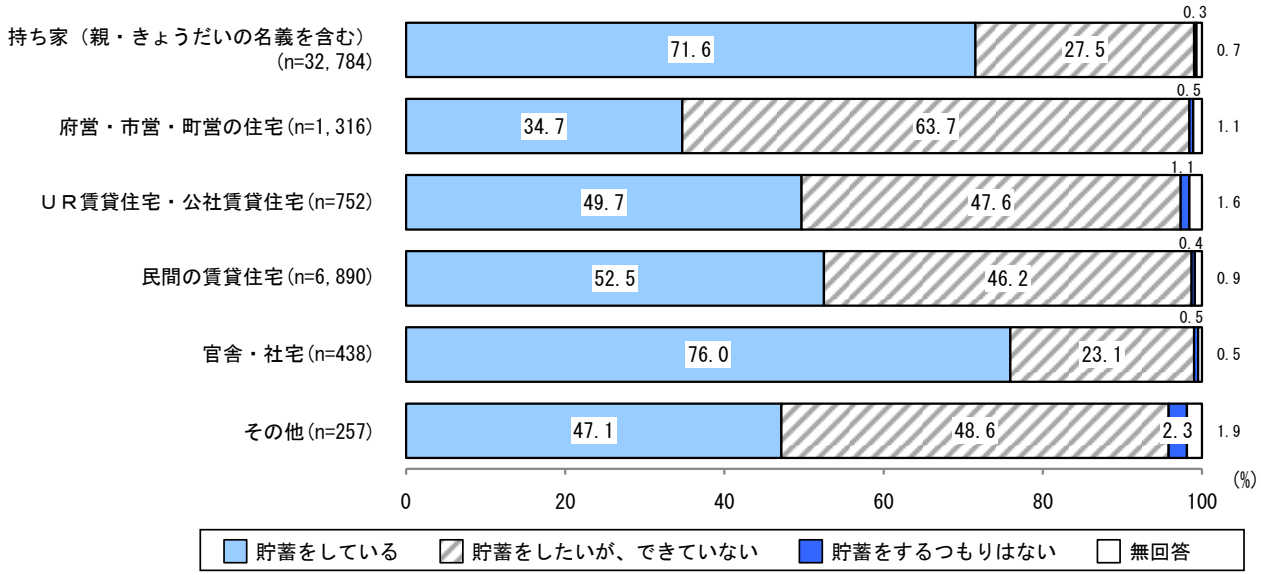


図 29. 住居形態別に見た、家計の状況

住居別に家計状況を見ると、府営・市営・町営の住宅（47.3%）、ＵＲ賃貸住宅・公社賃貸住宅（31.8%）に住む人で、「赤字である」と回答した割合が高かった。また、持ち家に住む人で「赤字である」と回答した割合は19.0%であった。

住居形態別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況（保護者票問５×保護者票問６(2)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

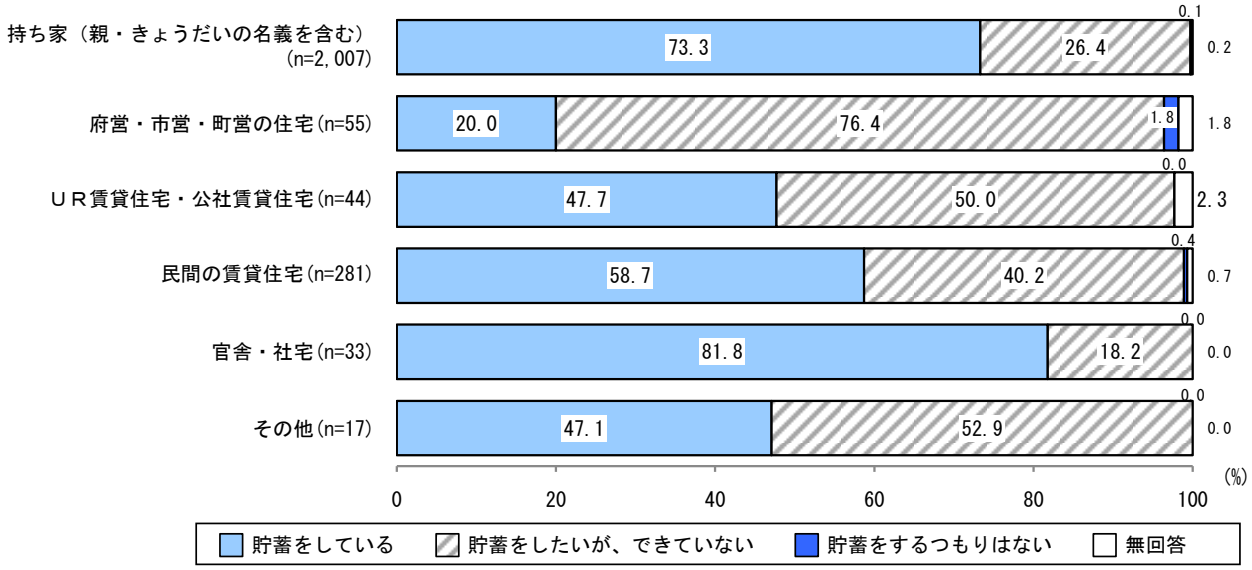
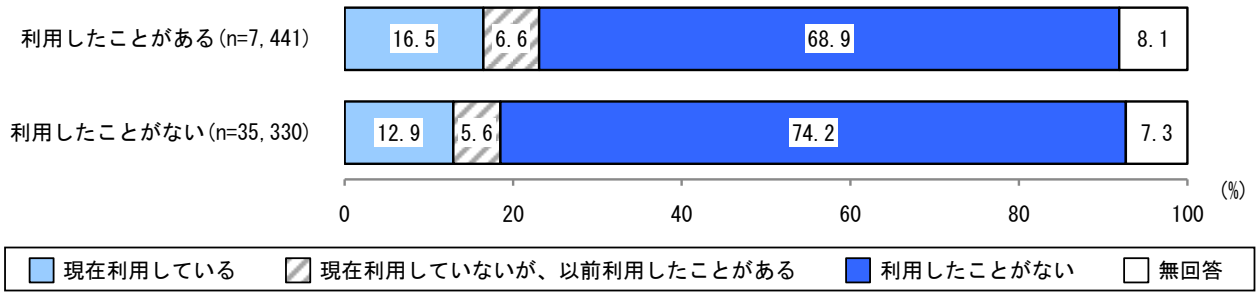


図 30. 住居形態別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況

住居形態別に子どもの将来のための貯蓄状況を見ると、府営・市営・町営の住宅（76.4%）、ＵＲ賃貸住宅・公社賃貸住宅（50.0%）、民間の賃貸住宅（40.2%）に住む人で、「貯蓄をしたいが、できていない」と回答した割合が高かった。

子どもの居場所の利用経験別に見た、就学援助の利用状況
（保護者票問 16(1)×保護者票問 23-a）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

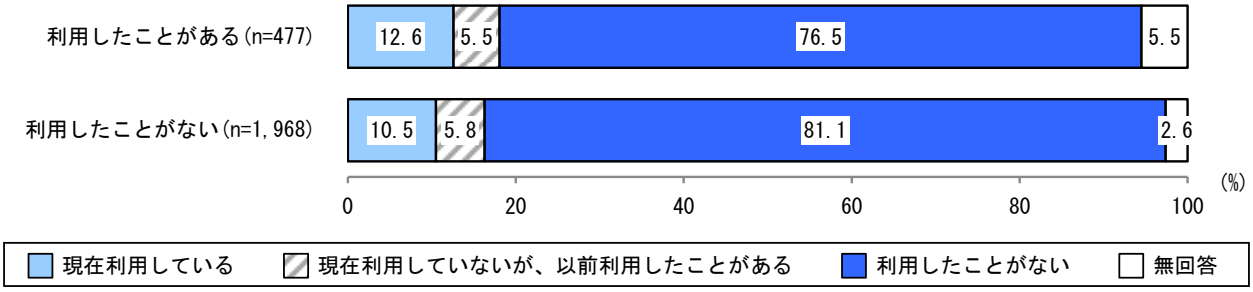
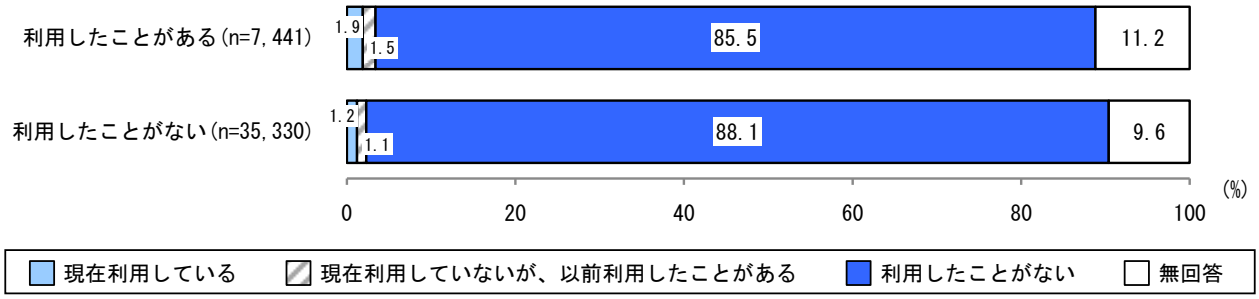


図 31. 子どもの居場所の利用経験別に見た、就学援助の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に就学援助の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがない」人より「利用したことがある」人のほうが就学援助を「現在利用している」と回答した割合がやや高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、生活保護の利用状況
（保護者票問 16(1)×保護者票問 23-b）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

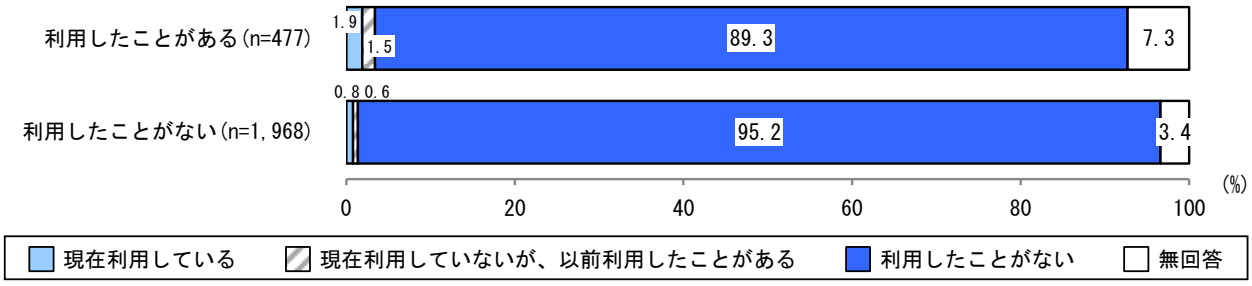
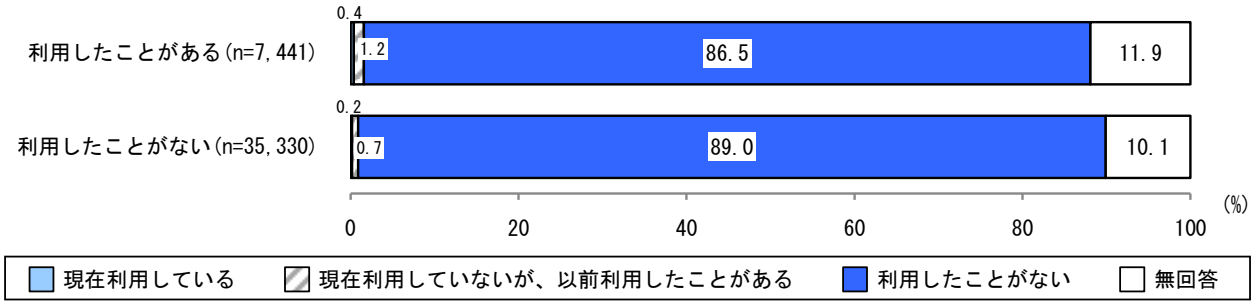


図 32. 子どもの居場所の利用経験別に見た、生活保護の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に生活保護の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが生活保護を「利用したことがない」と回答した割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況
（保護者票問 16(1)×保護者票問 23-c）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

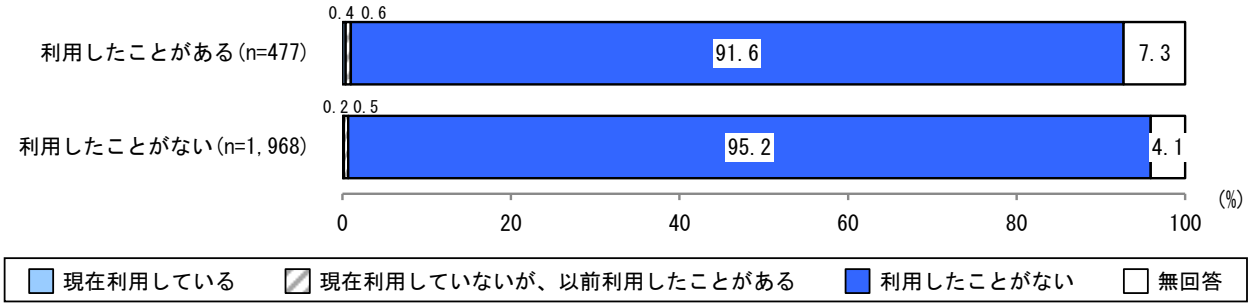
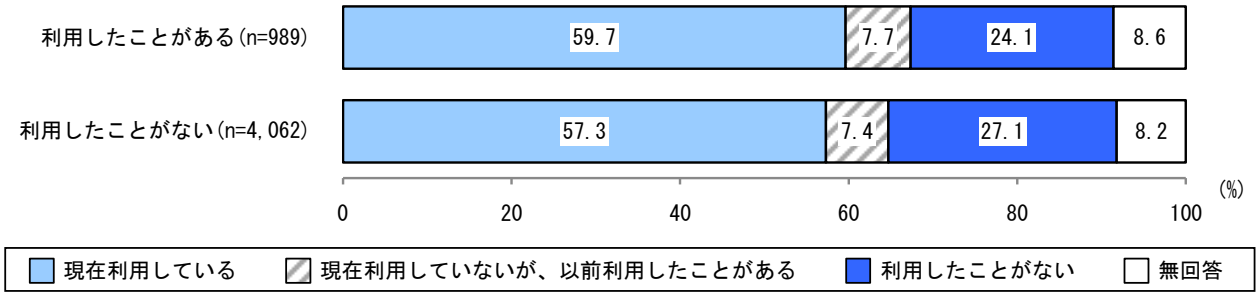


図 33. 子どもの居場所の利用経験別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが生活困窮者の自立支援相談窓口を「利用したことがない」と回答した割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）
（保護者票問 16(1)×保護者票問 23-d）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

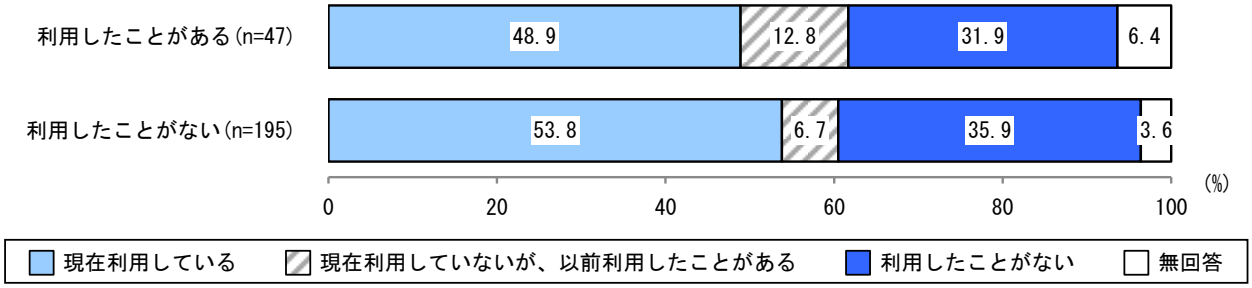
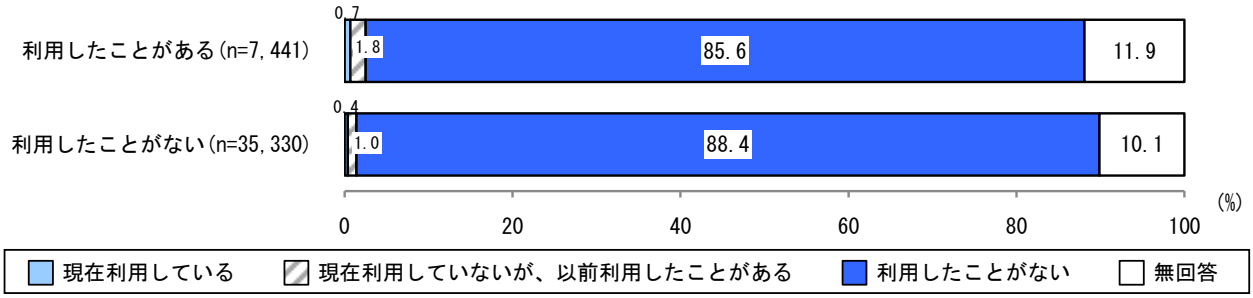


図 34. 子どもの居場所の利用経験別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）

子どもの居場所の利用経験別に児童扶養手当の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが児童扶養手当を「現在利用している」と回答した割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況
（保護者票問 16(1)×保護者票問 23-e）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

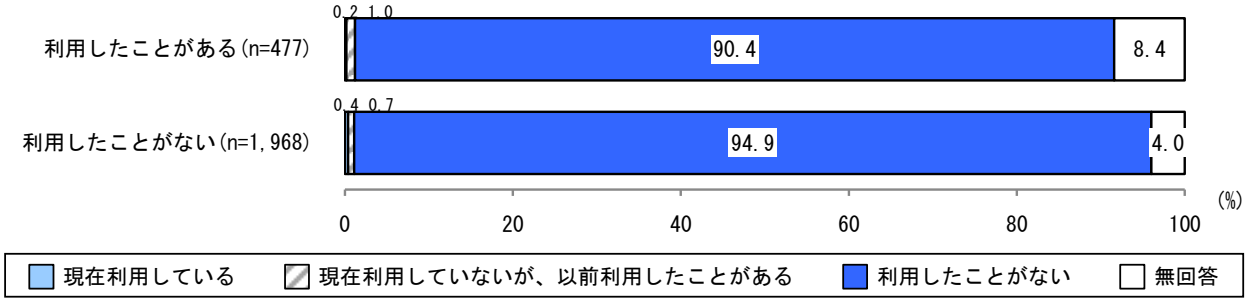
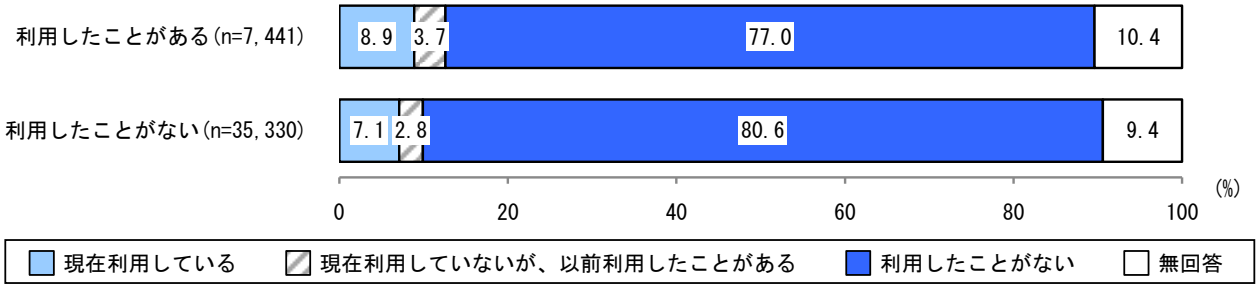


図 35. 子どもの居場所の利用経験別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況

子どもの居場所の利用経験別に母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが母子家庭等就業・自立支援センターを「利用したことがない」と回答した割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況（保護者票問 16(1)×保護者票問 23-f）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

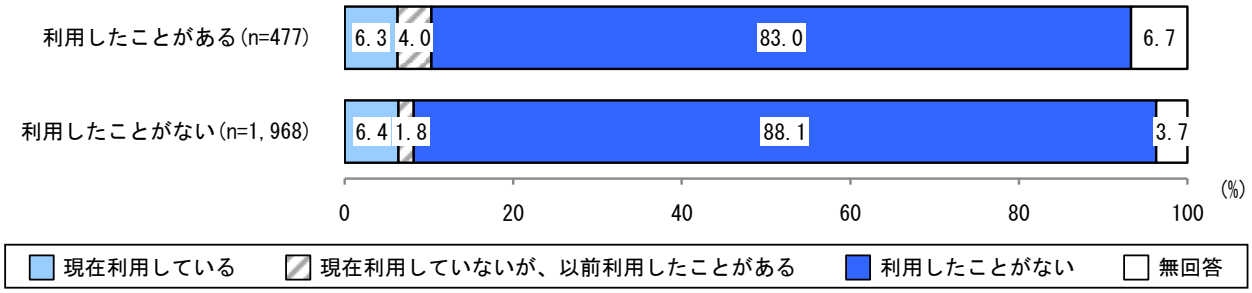
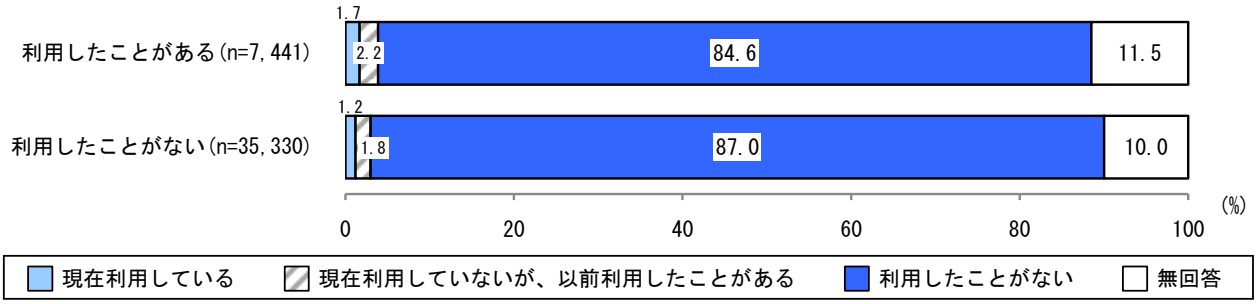


図 36. 子どもの居場所の利用経験別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金を「利用したことがない」と回答した割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況（保護者票問 16(1)×保護者票問 23-g）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

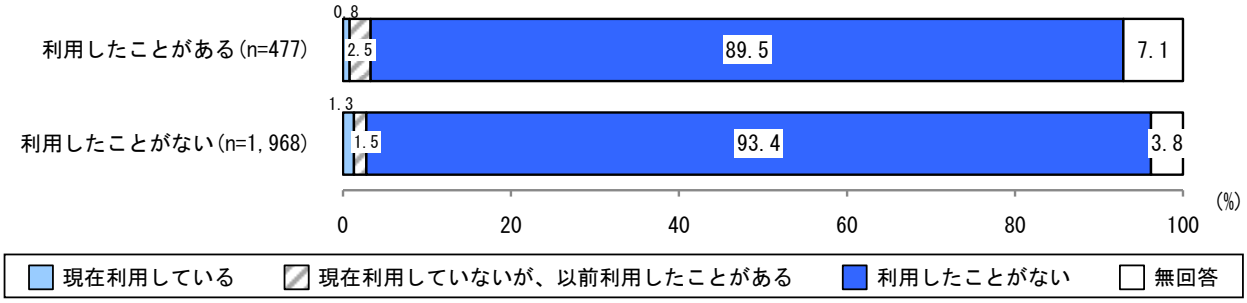
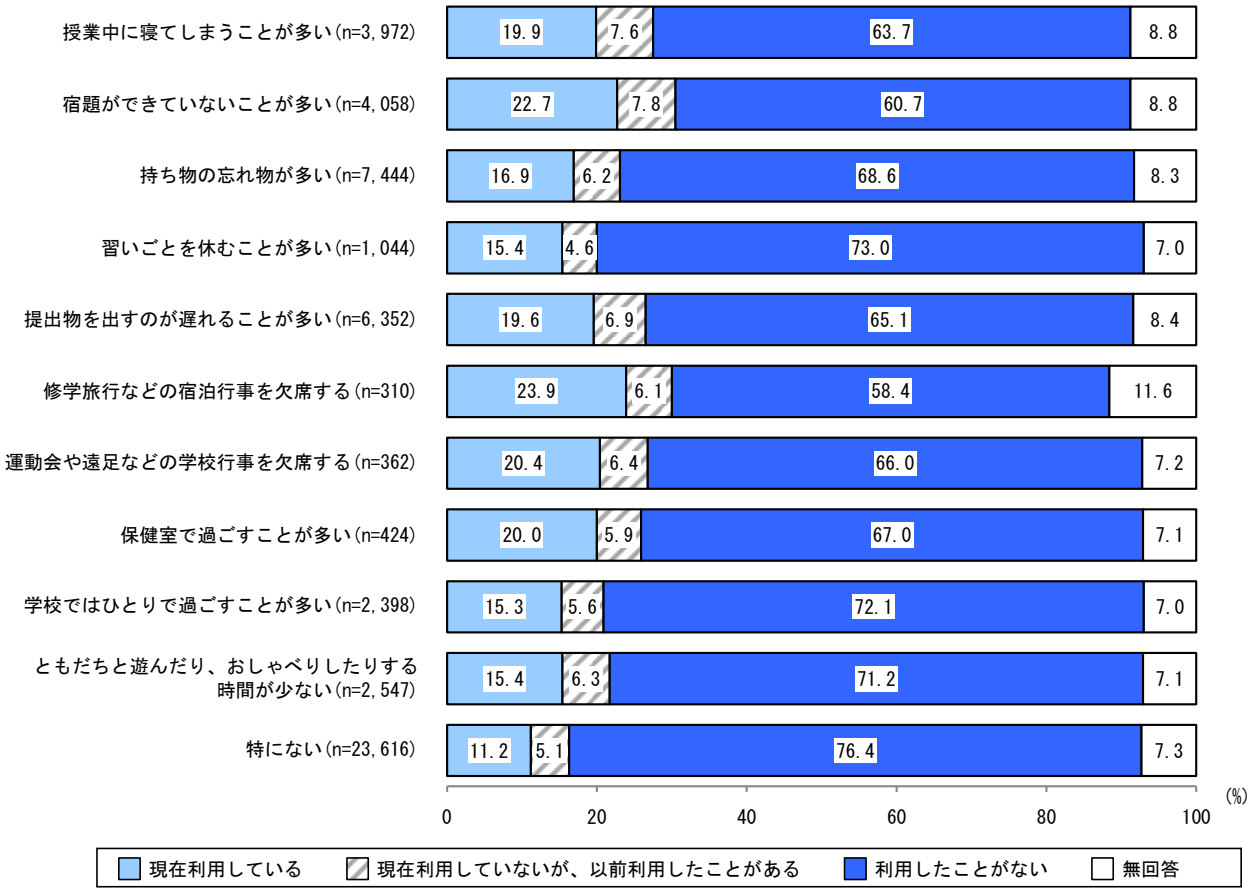


図 37. 子どもの居場所の利用経験別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）を「利用したことがない」と回答した割合が高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、就学援助の利用状況（子ども票問 16×保護者票問 23-a）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

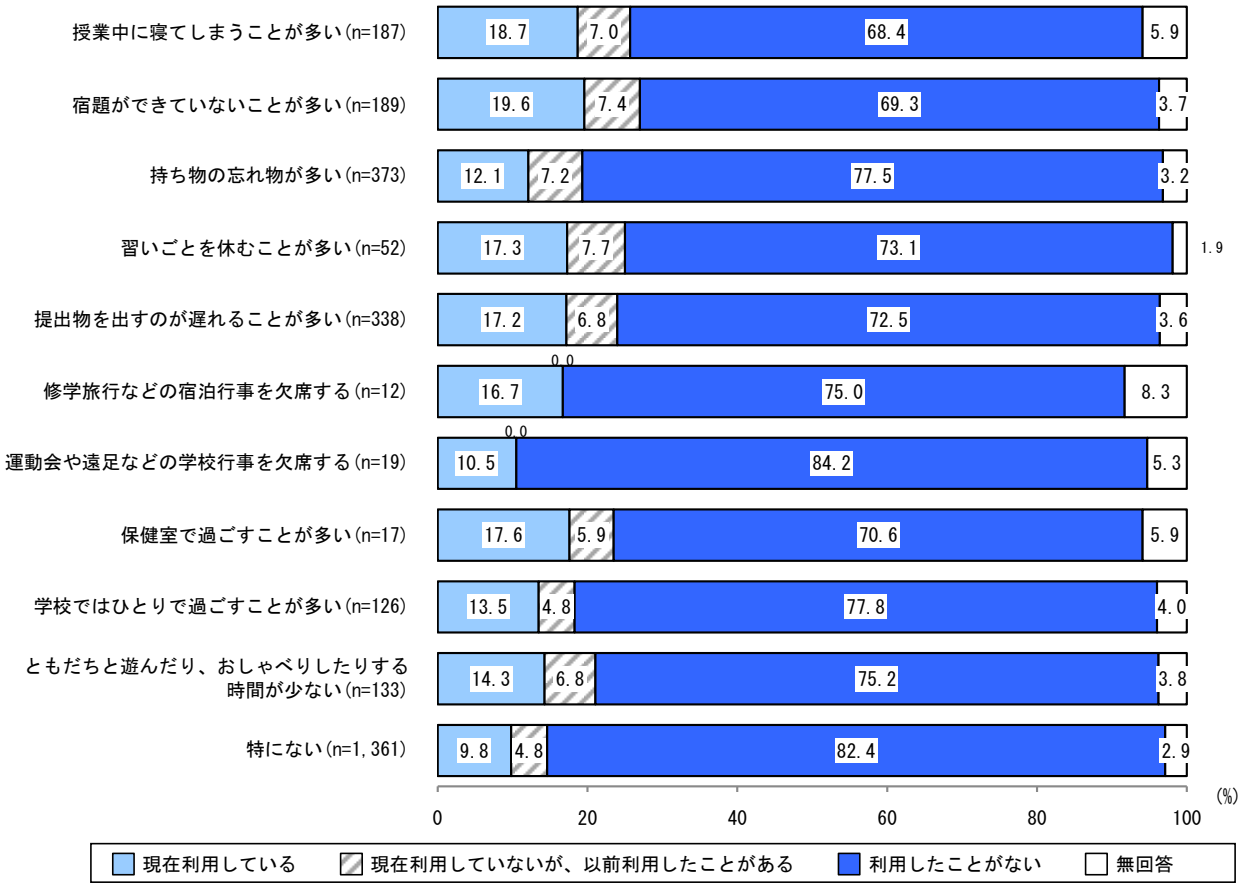
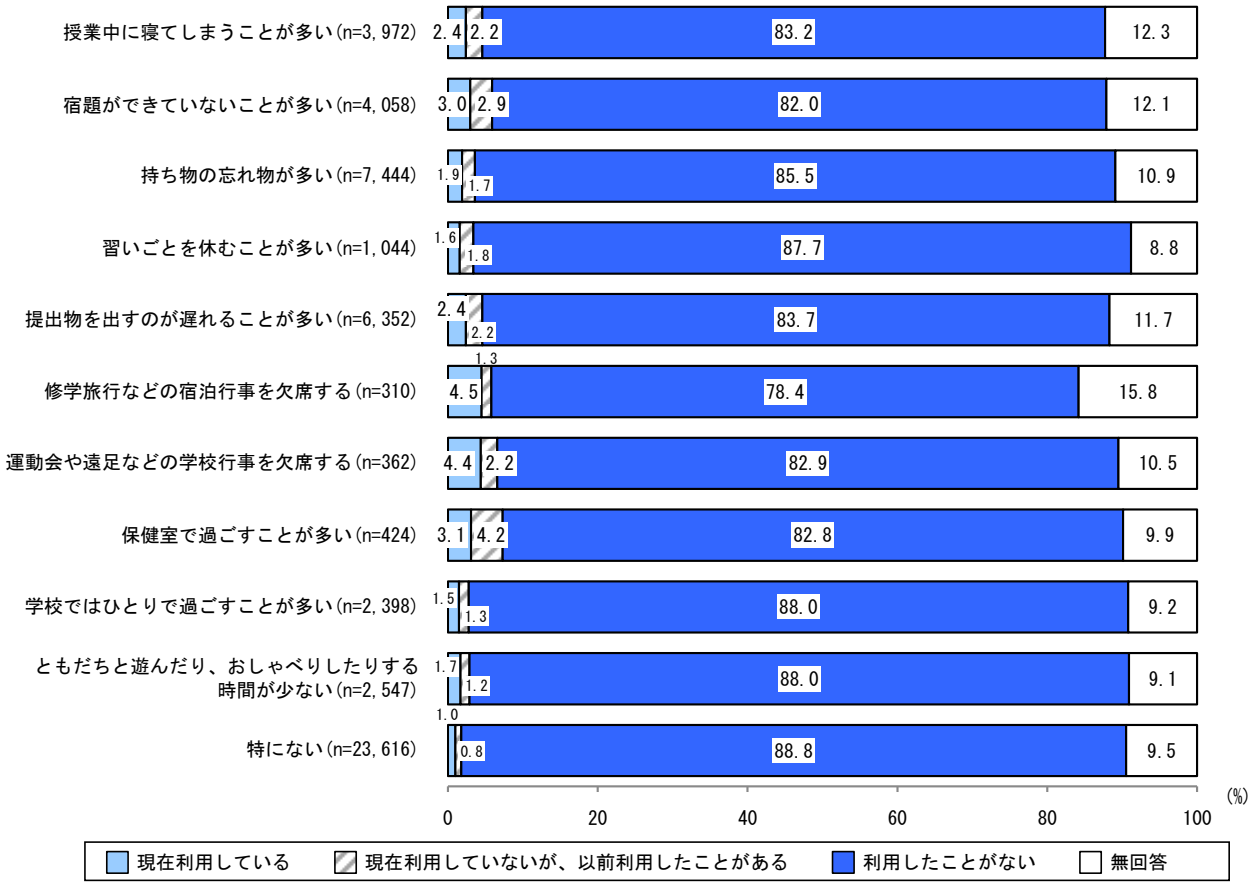


図 38. 学校や学校の行事等の状況別に見た、就学援助の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に就学援助の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「宿題ができていないことが多い」と回答した割合が19.6%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、生活保護の利用状況（子ども票問 16×保護者票問 23-b）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

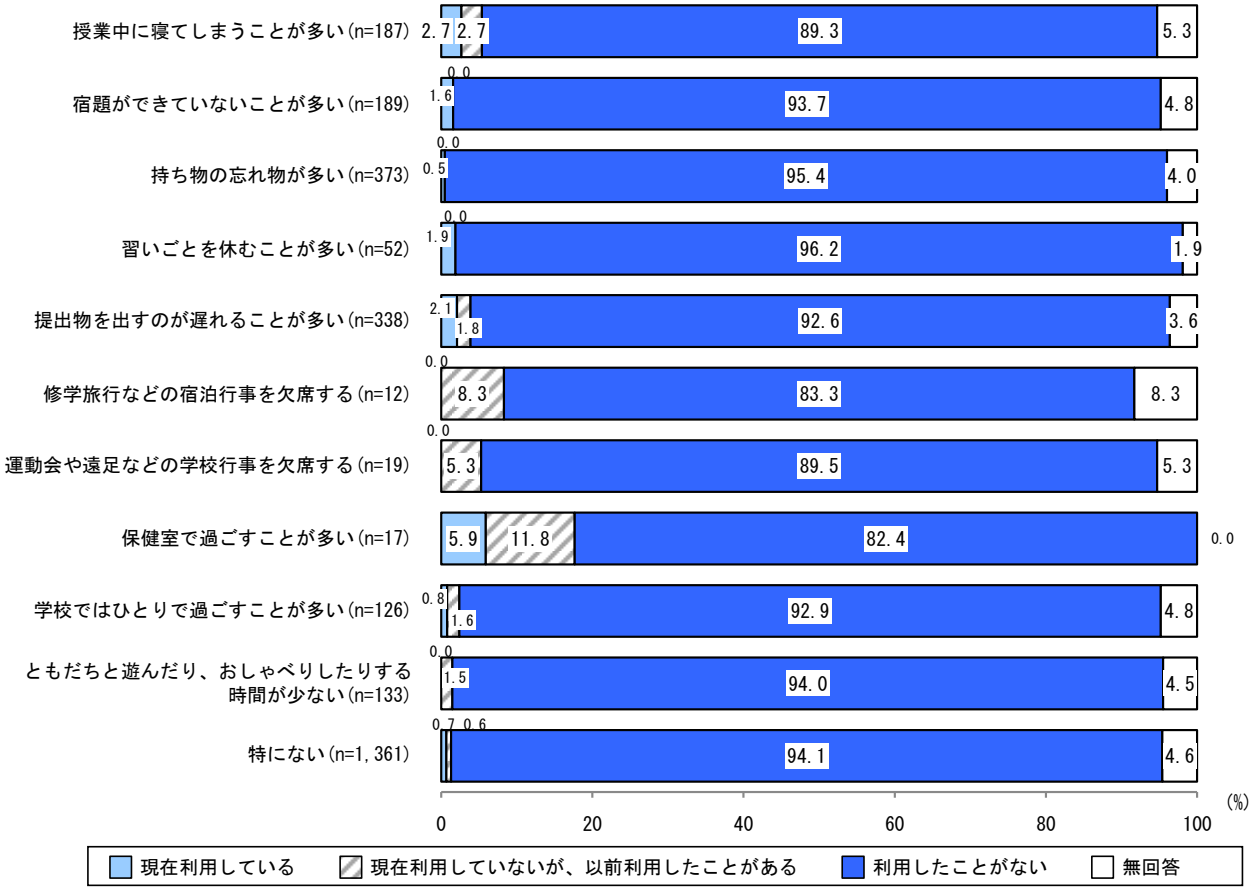
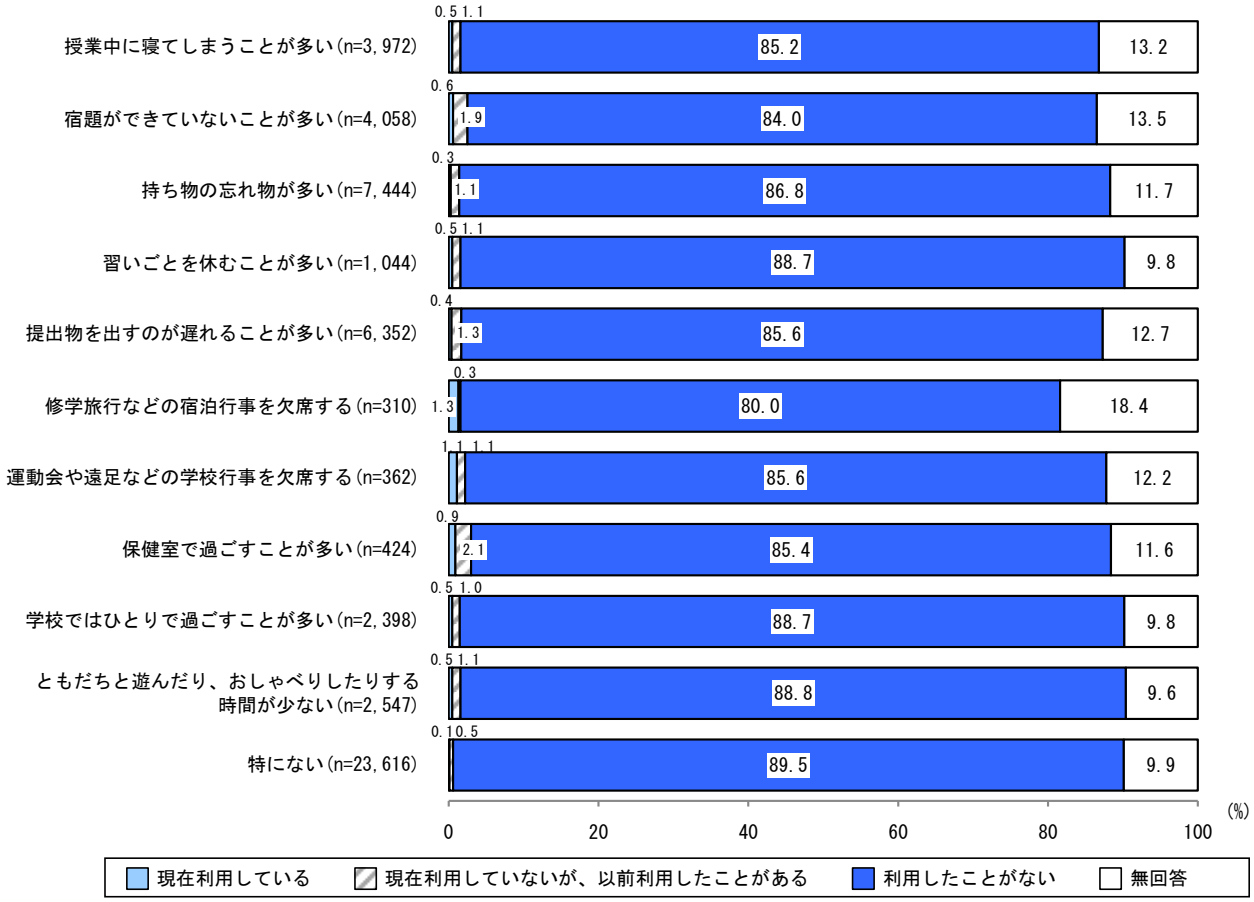


図 39. 学校や学校の行事等の状況別に見た、生活保護の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に生活保護の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「保健室で過ごすことが多い」と回答した割合が5.9%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況
（子ども票問 16×保護者票問 23-c）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

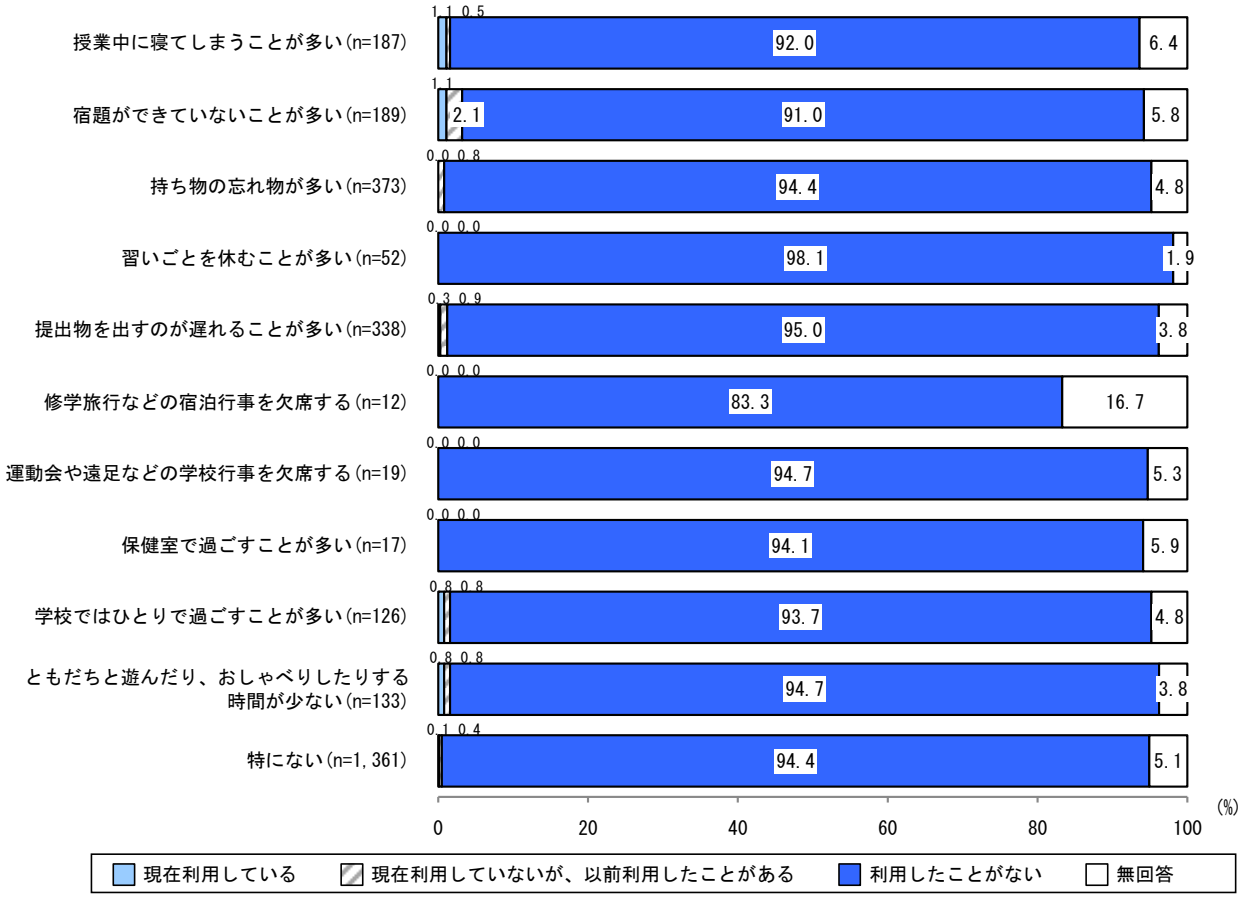
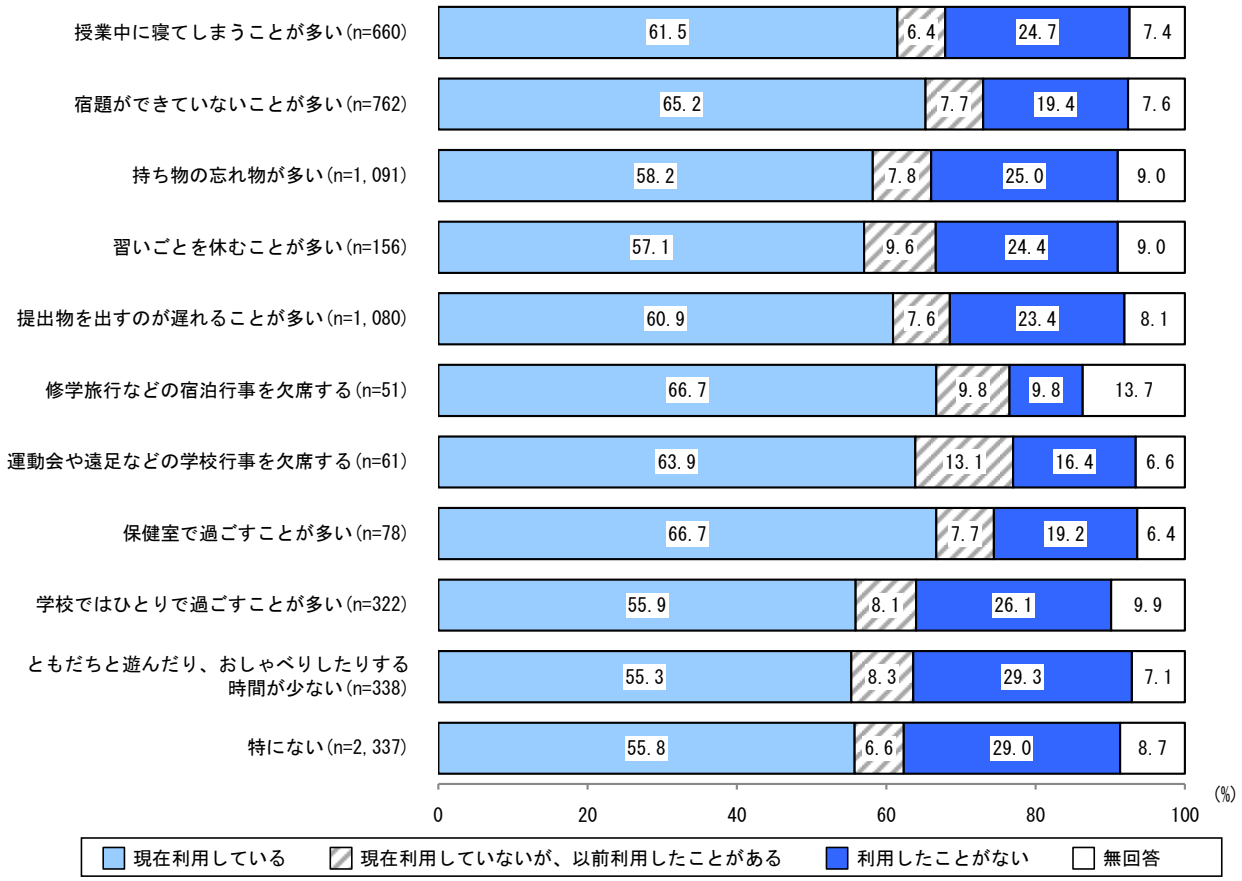


図 40. 学校や学校の行事等の状況別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況を見ても、大きな差はみられない。

学校や学校の行事等の状況別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）
（子ども票問 16×保護者票問 23-d）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

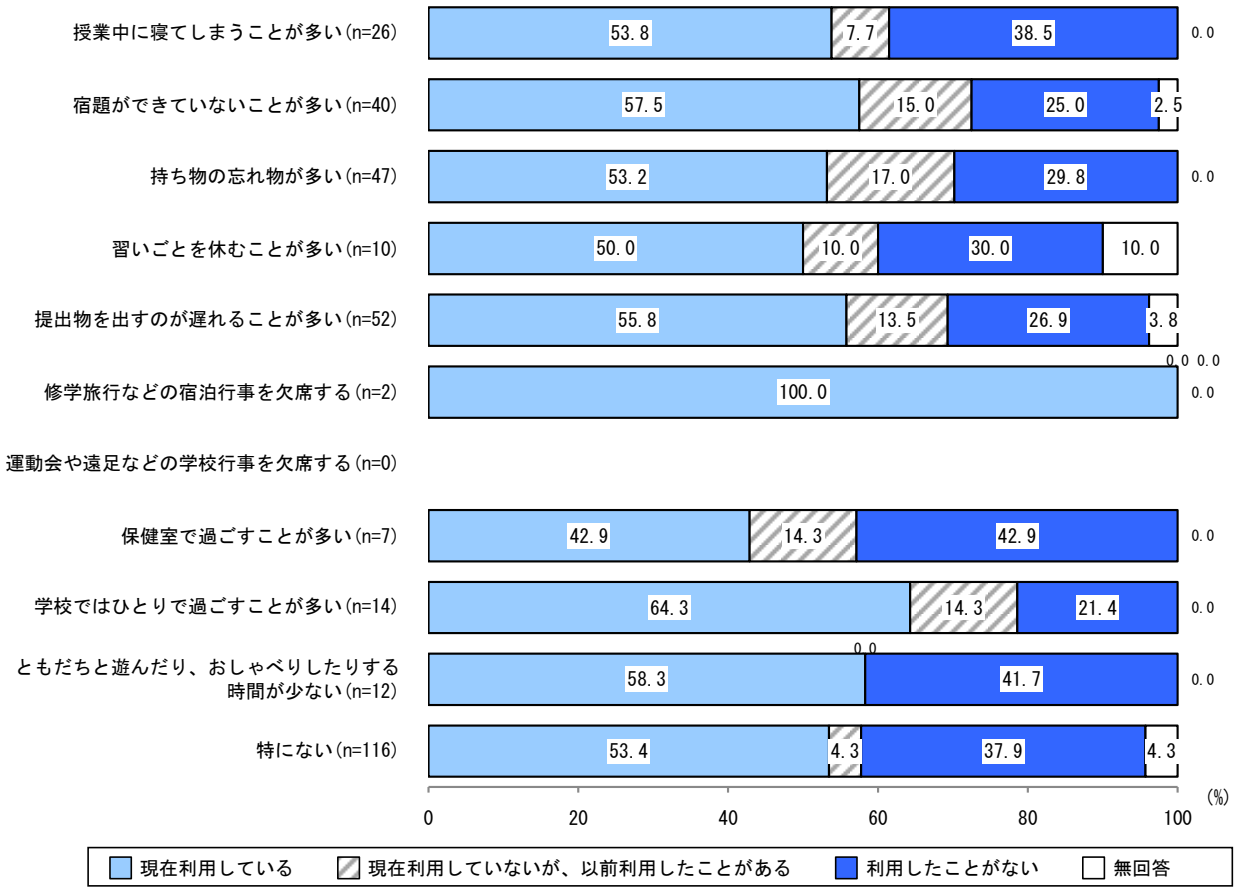
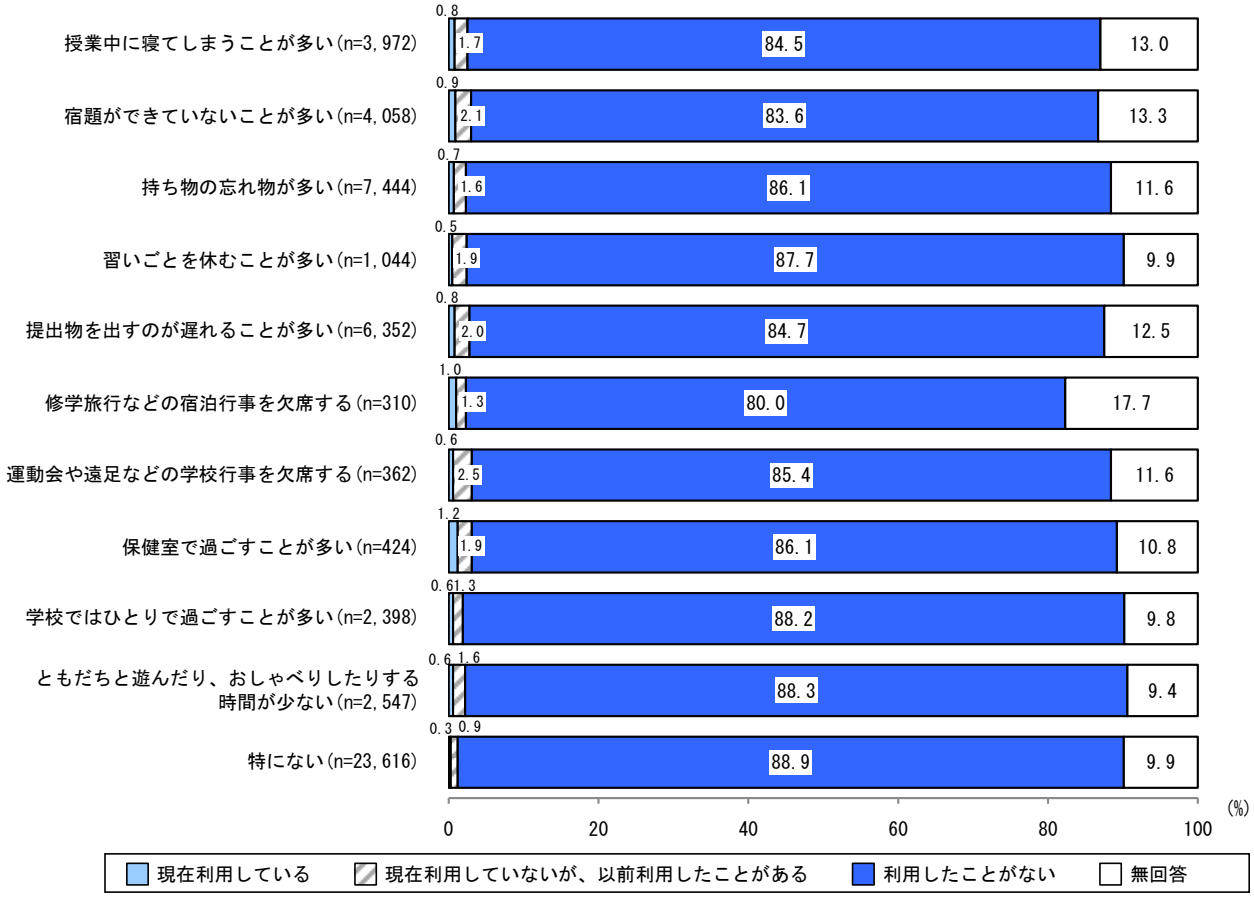


図 41. 学校や学校の行事等の状況別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）

学校や学校の行事等の状況別に児童扶養手当の利用状況を見ると、母数が少ないため一概には言えないが、「現在利用している」と回答した人の割合は、「保健室で過ごすことが多い」と回答した割合が42.9%で最も低くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況
（子ども票問 16×保護者票問 23-e）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

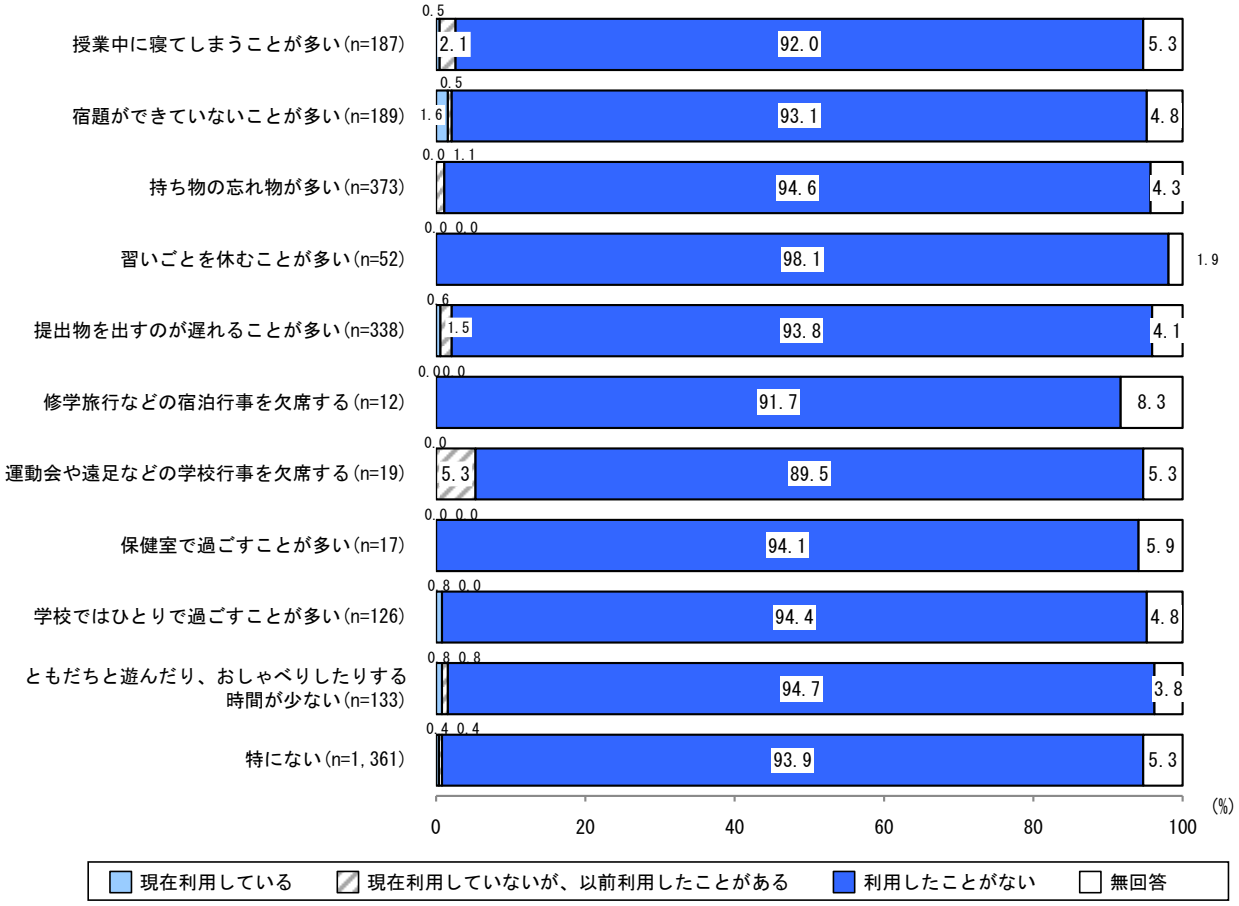
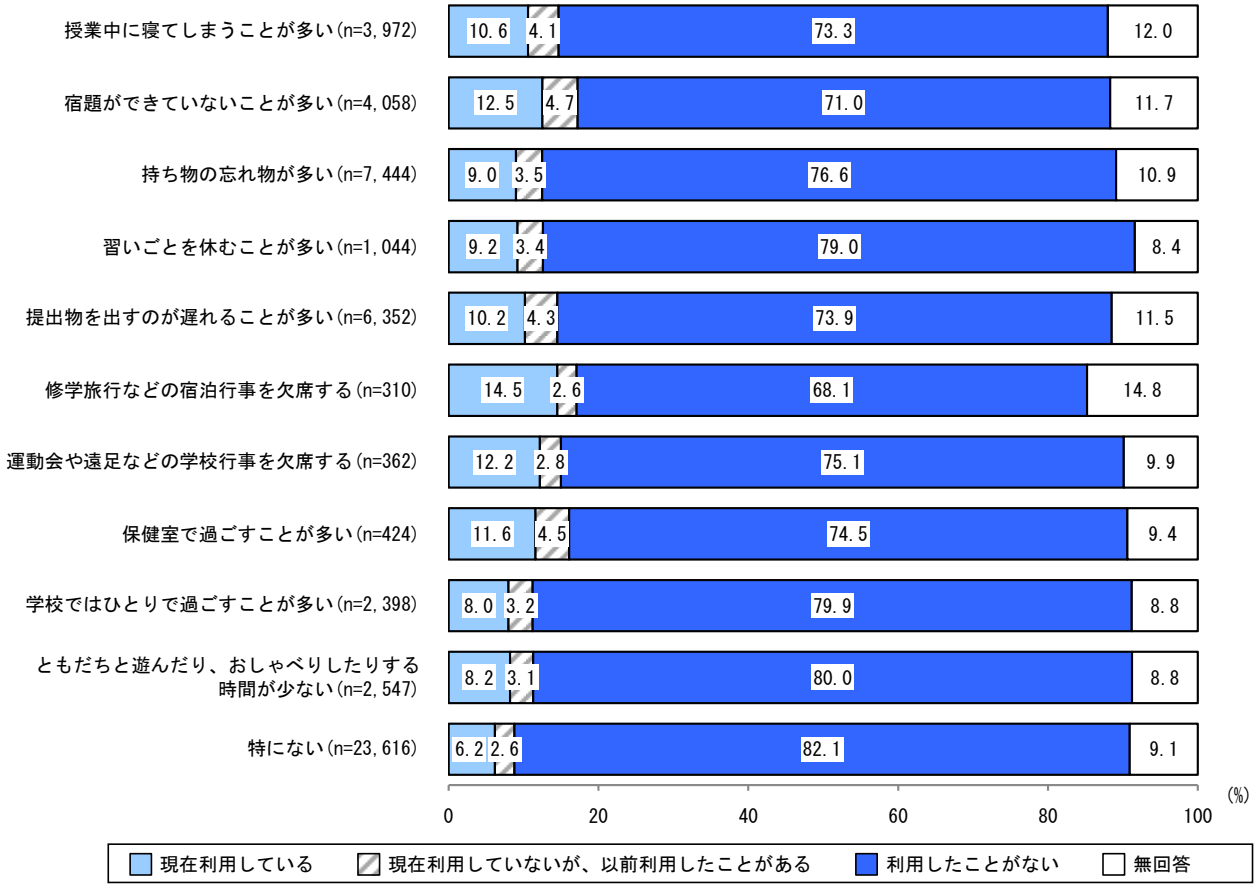


図 42. 学校や学校の行事等の状況別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況

学校や学校の行事等の状況別に母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「宿題ができていないことが多い」と回答した割合が1.6%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況（子ども票問 16×保護者票問 23-f）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

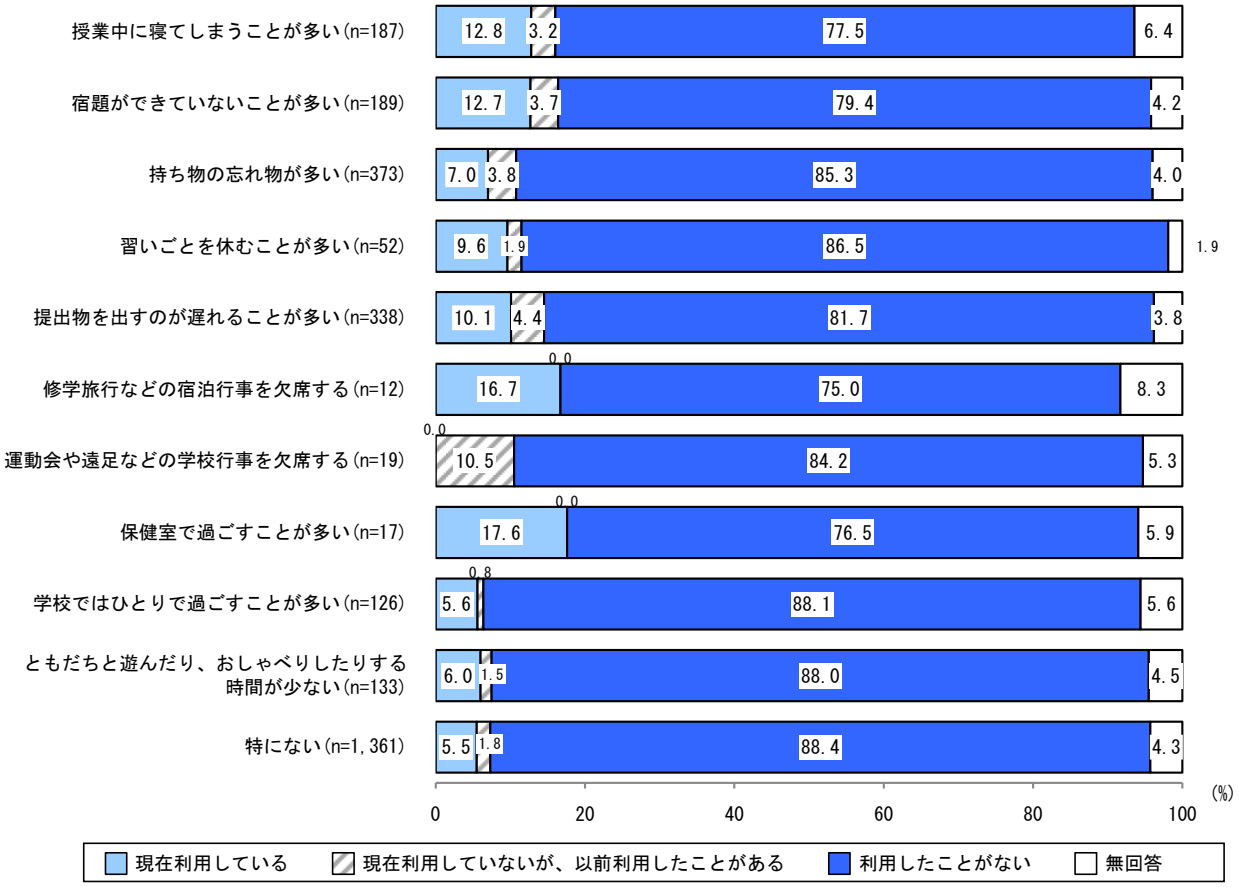
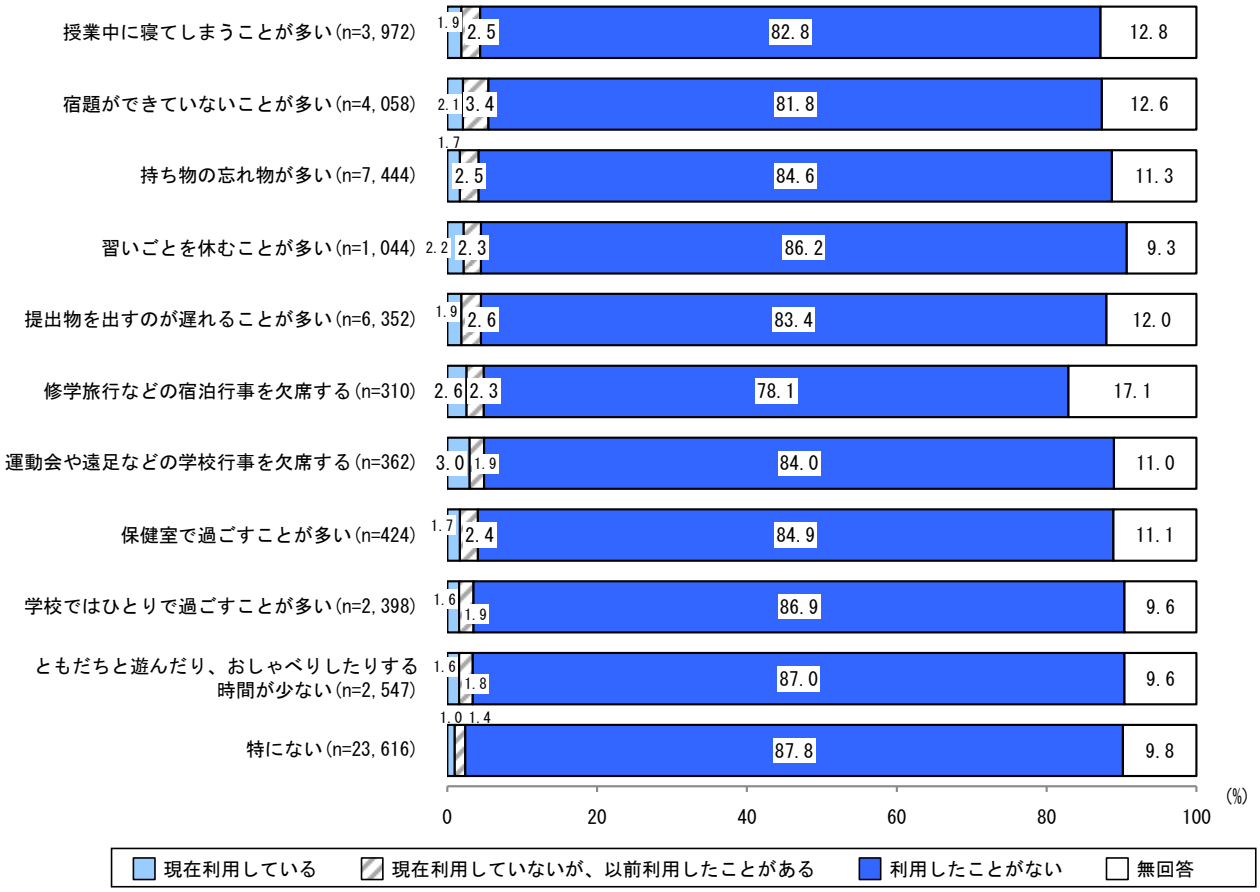


図 43. 学校や学校の行事等の状況別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況を見ると、母数が少ないため一概には言えないが、「現在利用している」と回答した人の割合は、「保健室で過ごすことが多い」と回答した割合が17.6%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況（子ども票問 16×保護者票問 23-g）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

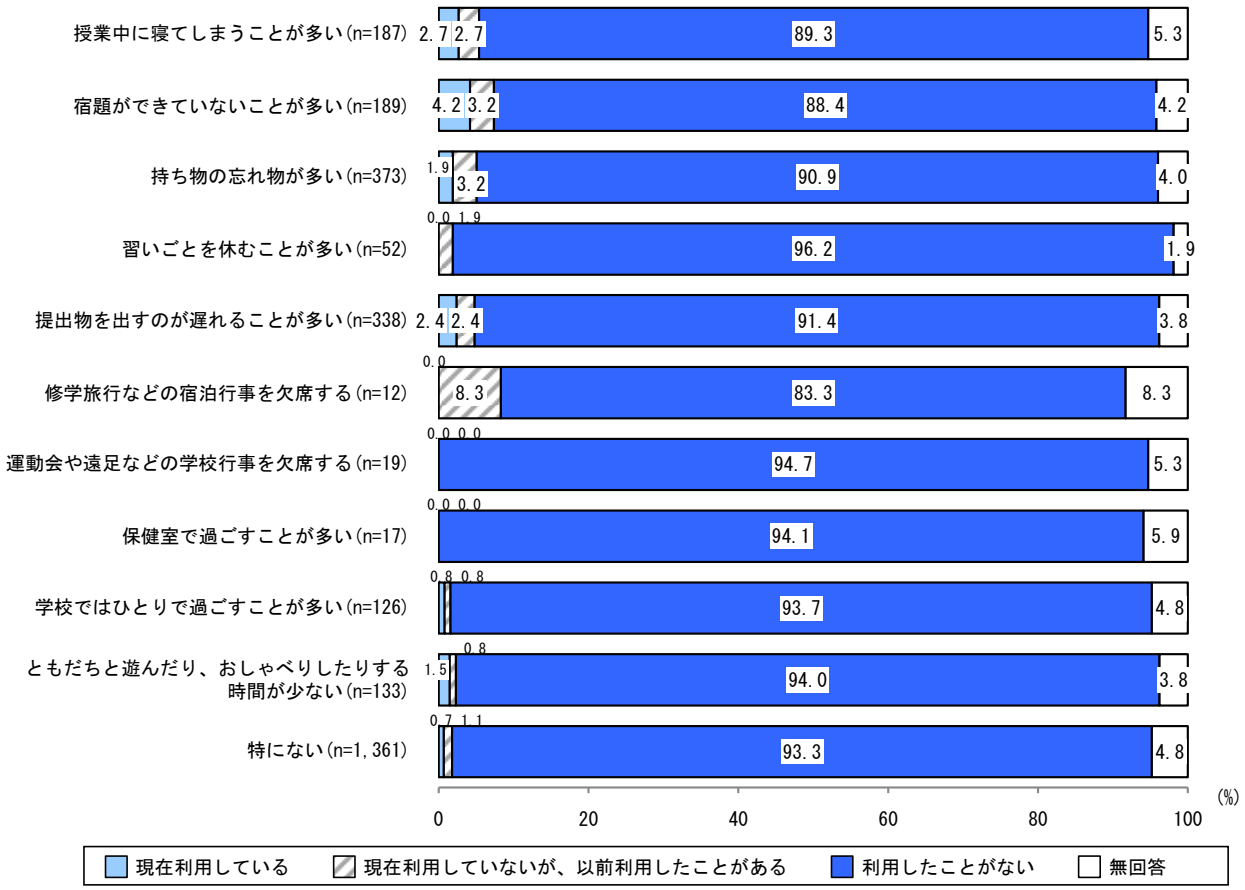
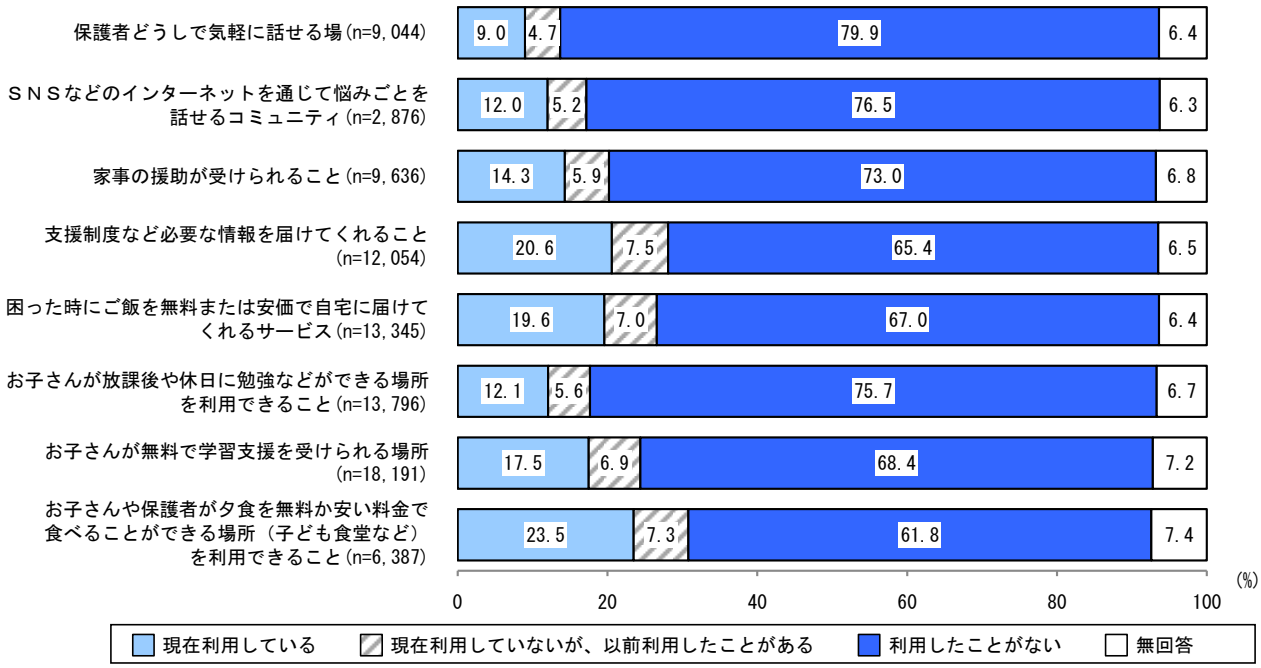


図 44. 学校や学校の行事等の状況別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「宿題ができていないことが多い」と回答した割合が4.2%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、就学援助の利用状況
（保護者票問 20×保護者票問 23-a）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

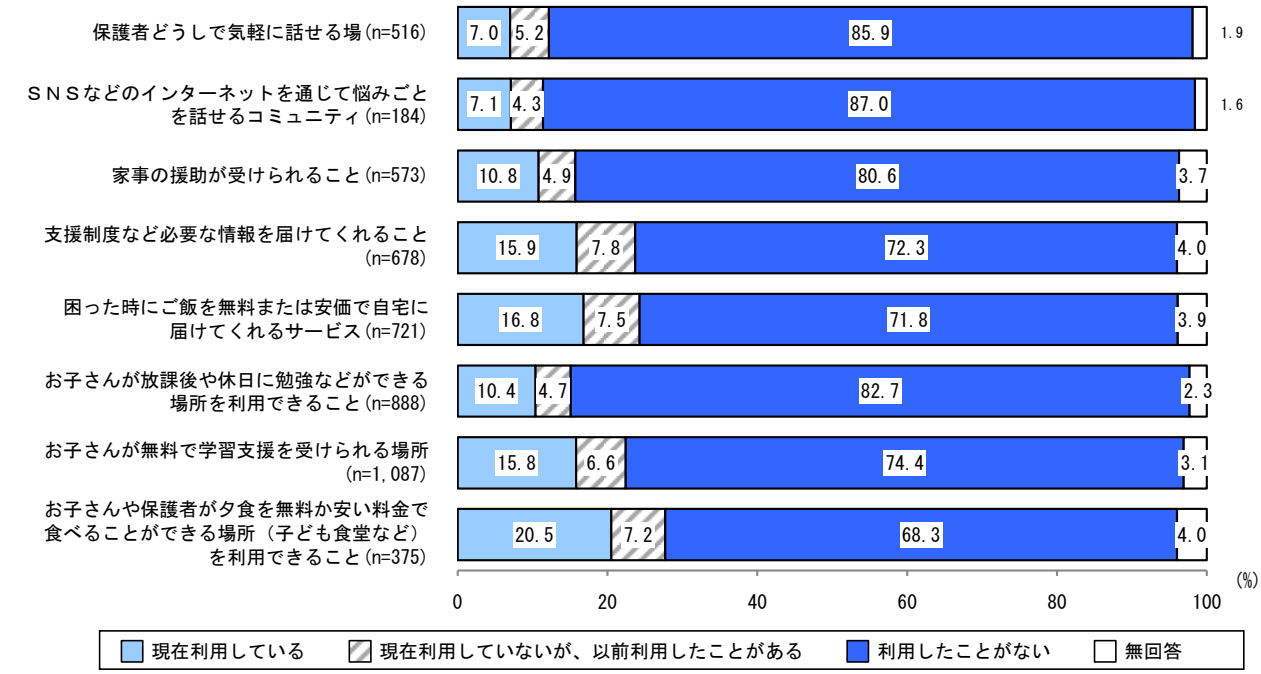
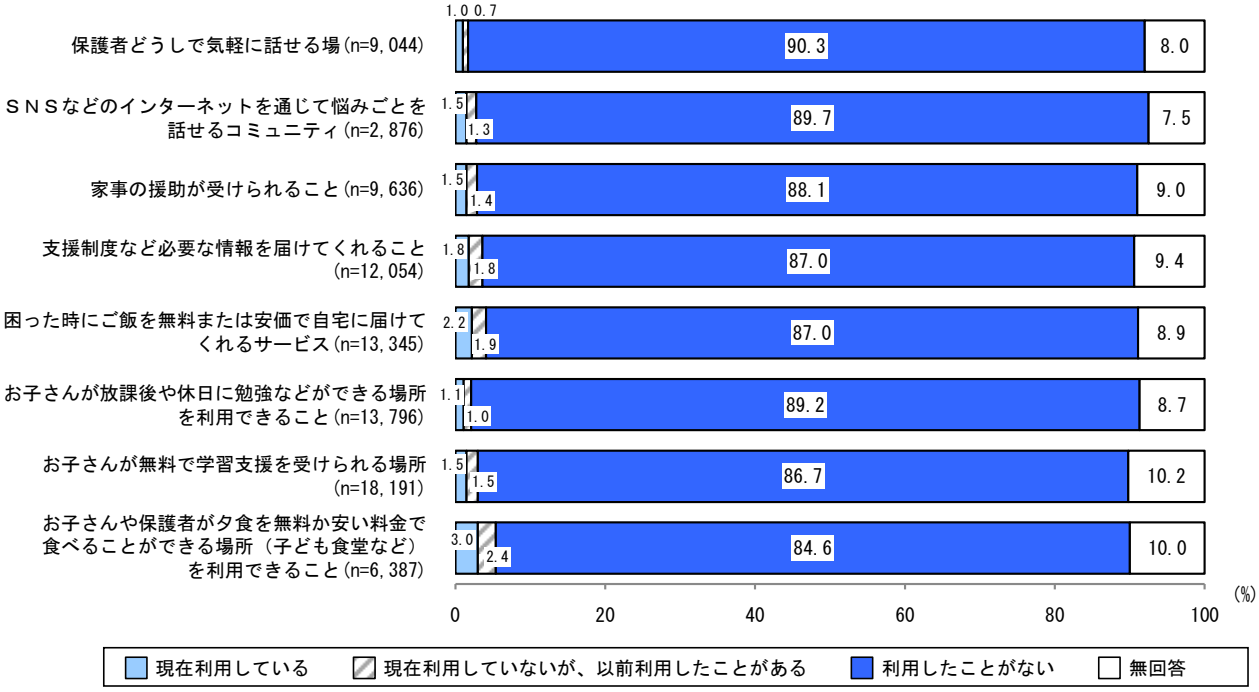


図 45. 身近にあるといいと思うこと別に見た、就学援助の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に就学援助の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」と回答した割合が20.5%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、生活保護の利用状況
（保護者票問 20×保護者票問 23-b）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

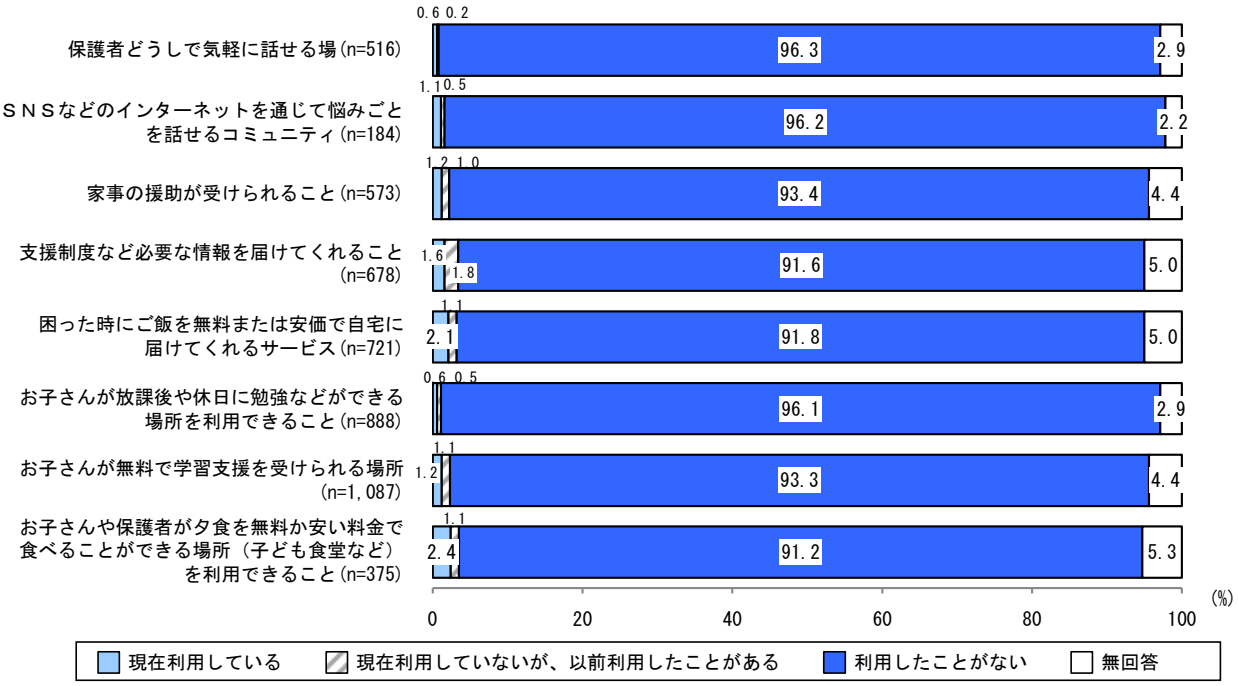
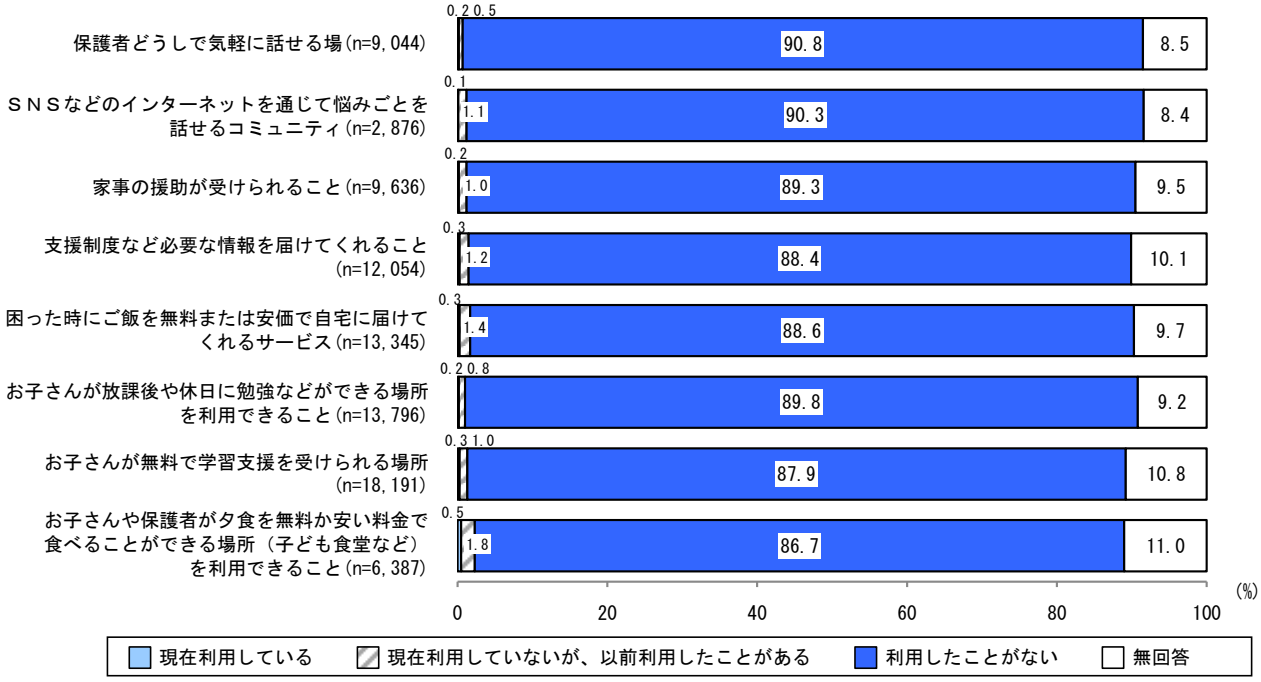


図 46. 身近にあるといいと思うこと別に見た、生活保護の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に生活保護の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」と回答した割合が2.4%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況
（保護者票問 20×保護者票問 23-c）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

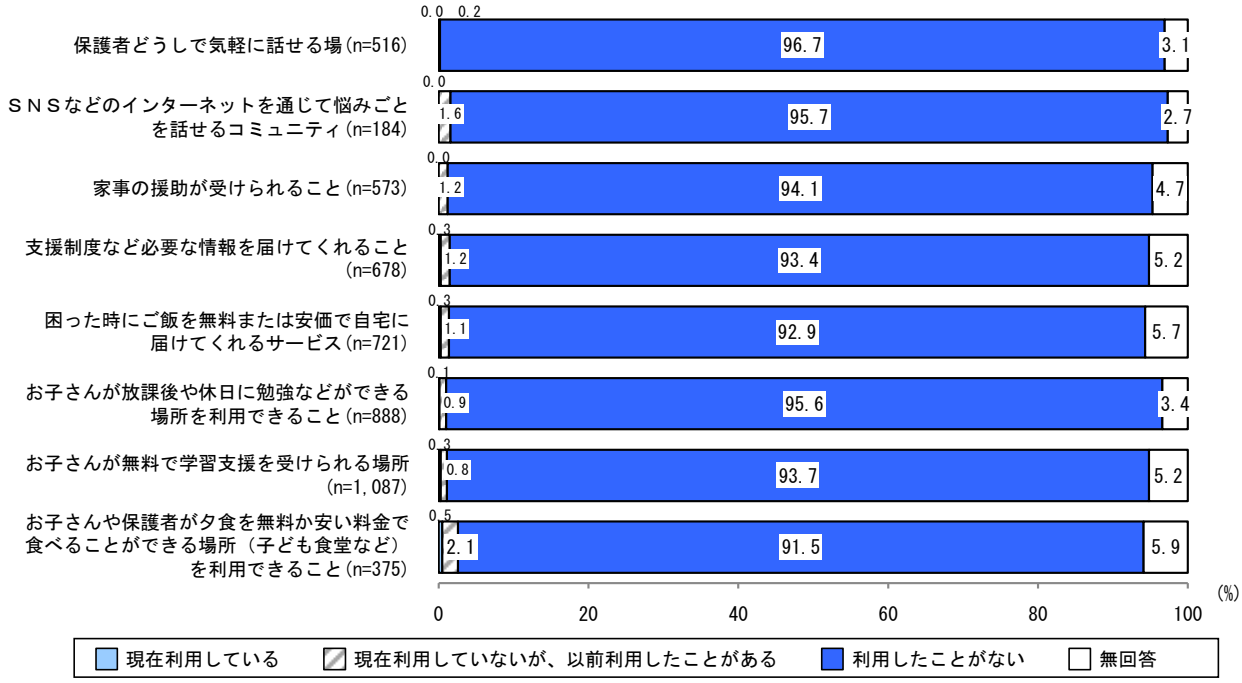
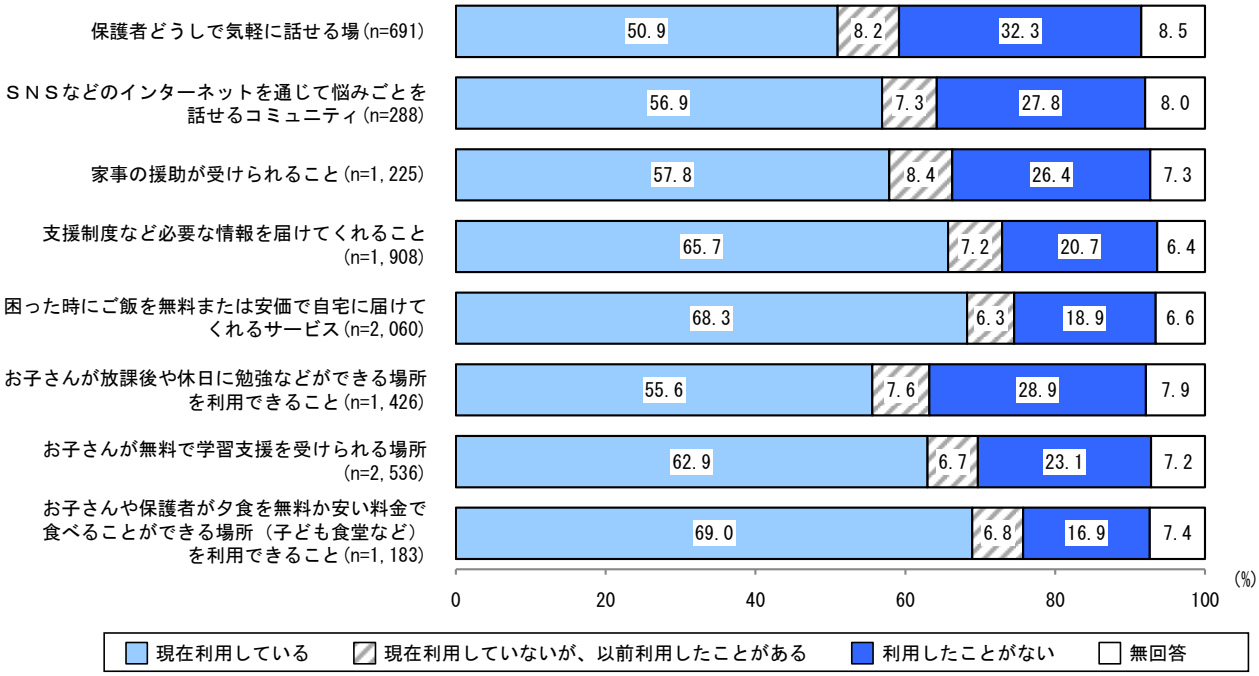


図 47. 身近にあるといいと思うこと別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況を見ても、大きな差はみられない。

身近にあるといいと思うこと別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）
（保護者票問 20×保護者票問 23-d）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

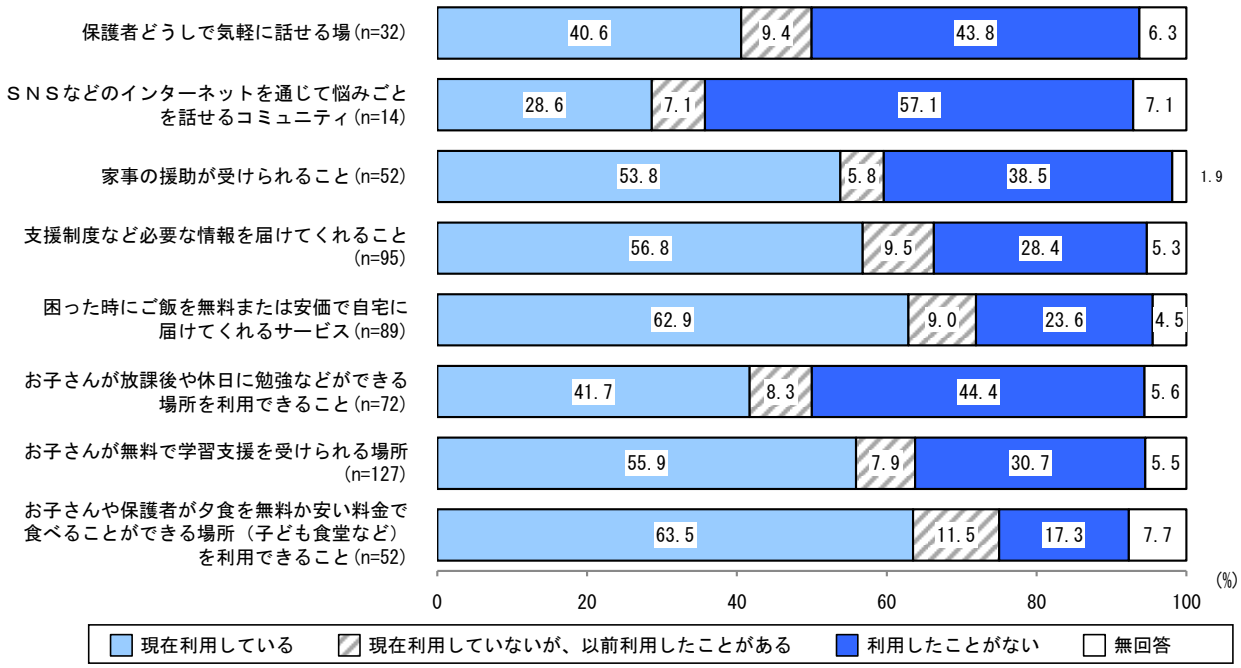
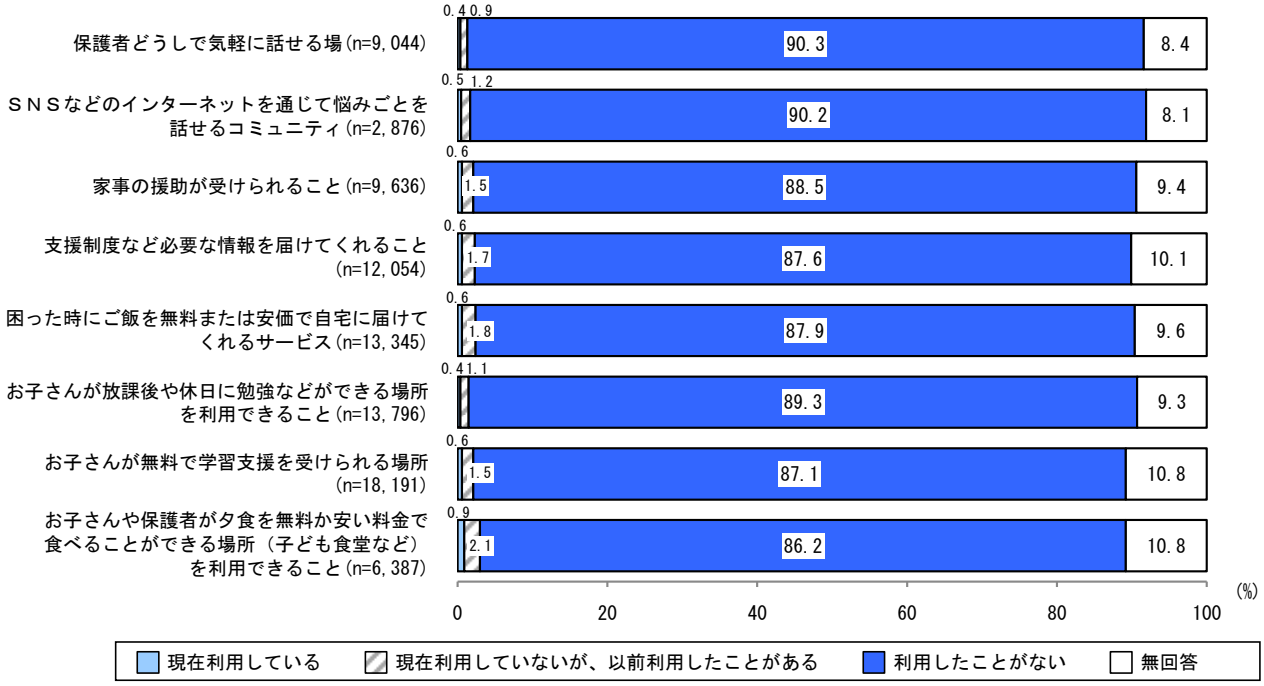


図 48. 身近にあるといいと思うこと別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）

身近にあるといいと思うこと別に児童扶養手当の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」と回答した割合が63.5%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況
（保護者票問 20×保護者票問 23-e）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

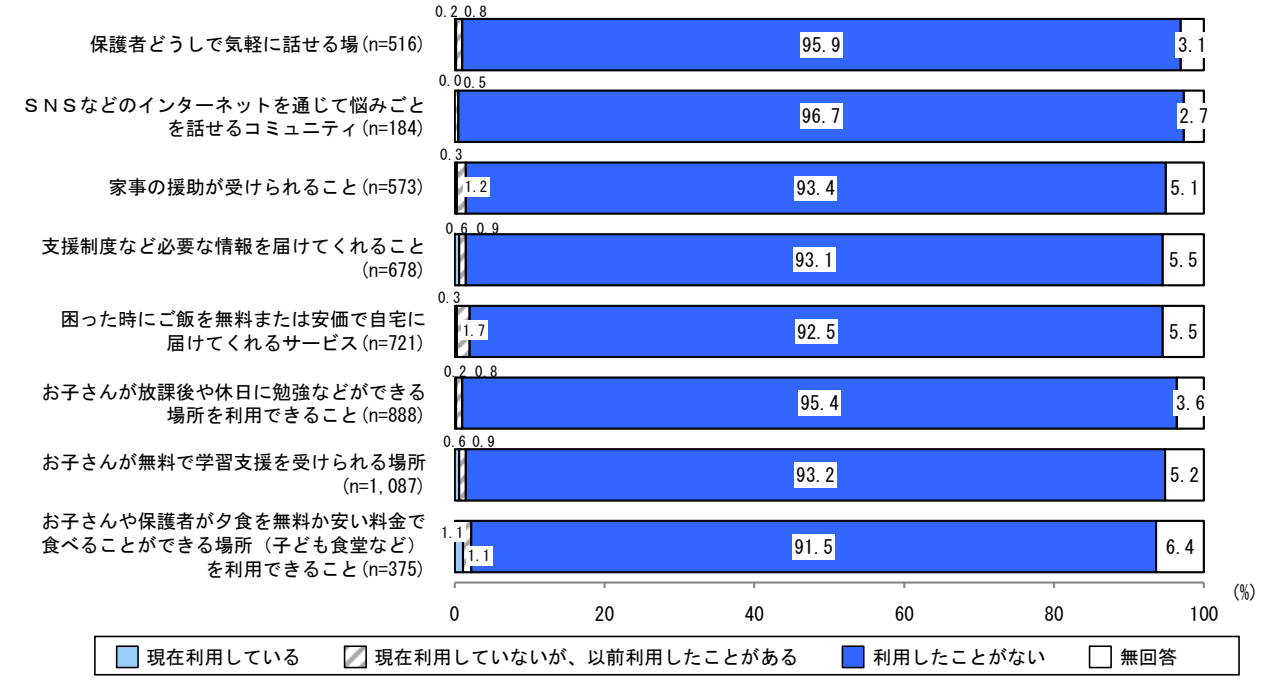
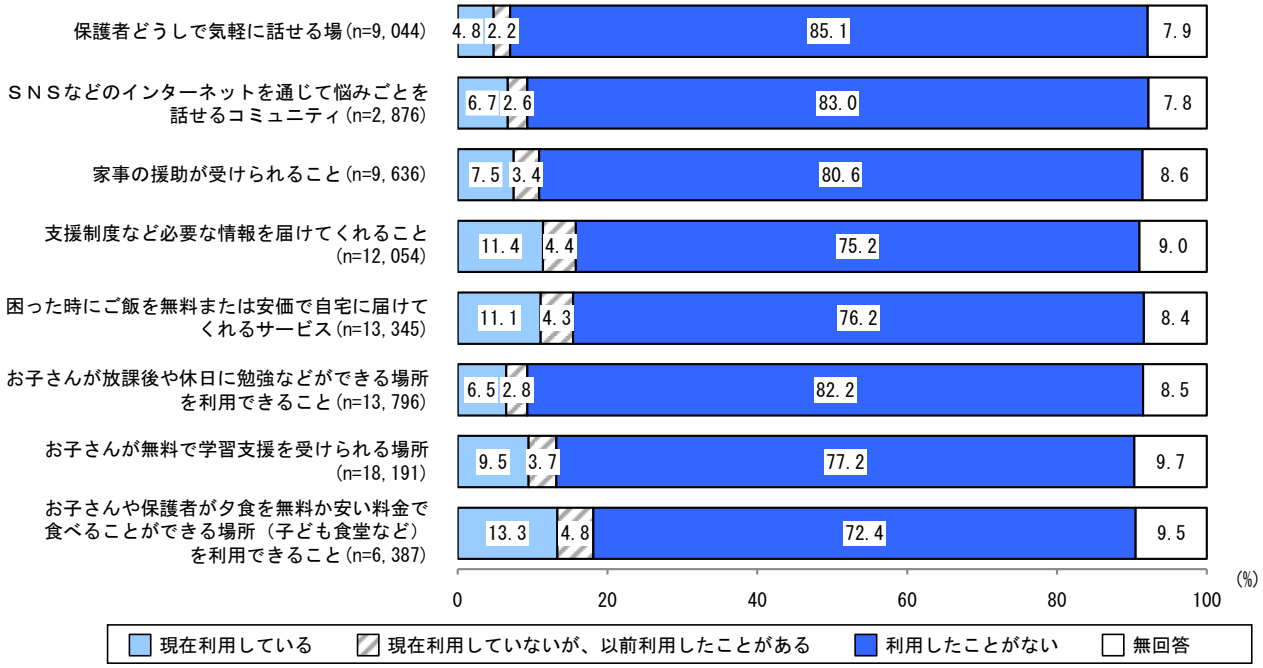


図 49. 身近にあるといいと思うこと別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況

身近にあるといいと思うこと別に母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況を見ても、大きな差はみられない。

身近にあるといいと思うこと別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況（保護者票問 20×保護者票問 23-f）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

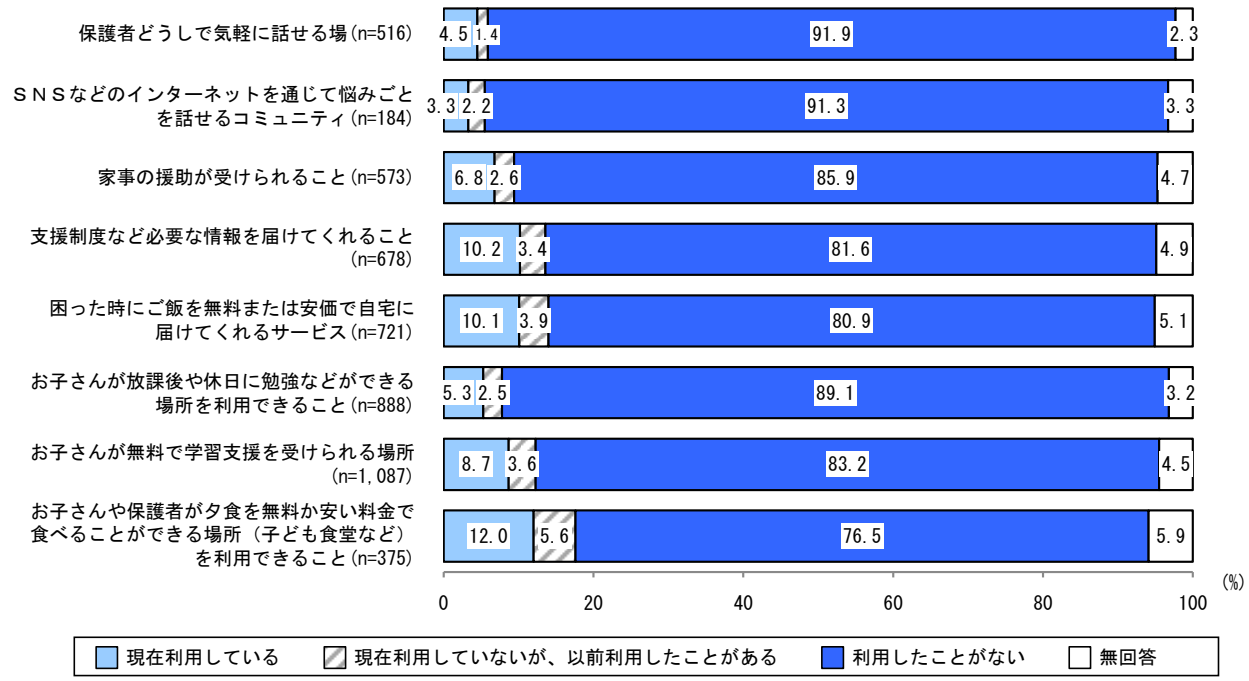
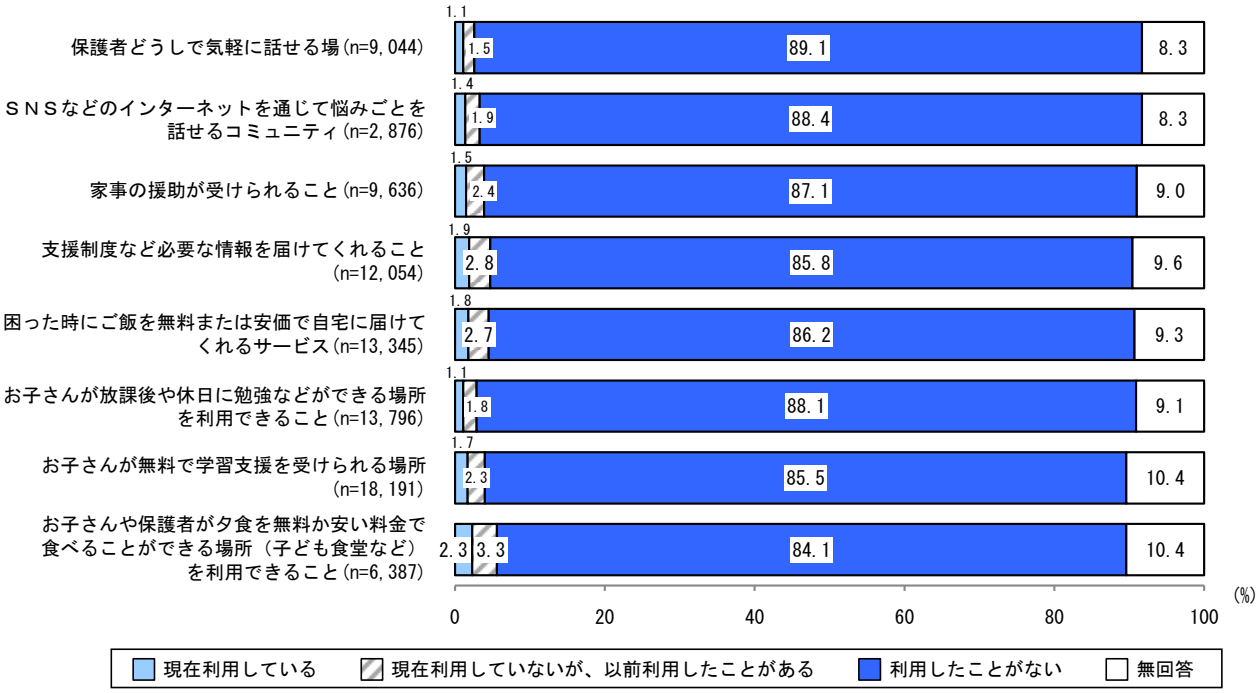


図 50. 身近にあるといいと思うこと別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」と回答した割合が12.0%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況（保護者票問 20×保護者票問 23-g）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

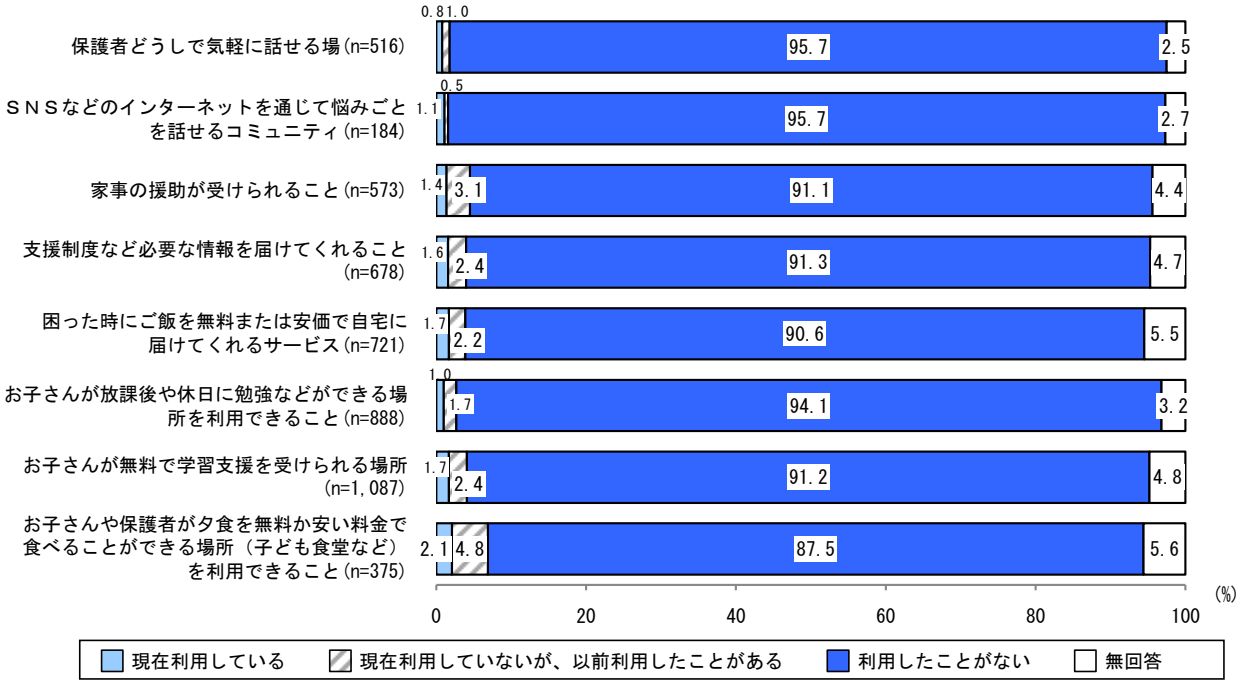


図 51. 身近にあるといいと思うこと別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」と回答した割合が2.1%で最も高くなっている。

＜家庭状況（制度等）の考察＞

就学援助の利用状況については、全体で、「現在利用している」が10.9％となっている。困窮度Ⅰ群では、47.5％、困窮度Ⅱ群では、33.1％を占めている。次にひとり親世帯を対象とする児童扶養手当の利用状況は、全体で52.7％、困窮度Ⅰ群で83.9％、困窮度Ⅱ群で75.0％となっている。生活保護制度の利用状況は、全体で1.0％と低水準にとどまっている。困窮度Ⅰ群では、5.6％、困窮度Ⅱ群では2.1％となっている。参考までに、大阪府全体（大阪市等の政令指定都市・中核市を含む）の教育扶助率（令和元年度）を推計すると、府内小学生・中学生の在籍人数654,439人（大阪府総務部統計課「令和元年度大阪の学校統計」）で、そのうち教育扶助受給人員は15,841人（大阪府福祉部地域福祉推進室社会援護課「令和元年大阪府の生活援護」）であることから、大阪府の小学校・中学生の教育扶助率は、2.4％と推計できる。この推計値を参考にすると、今回調査の回答者から一定層の貧困層が漏れ落ちている可能性についても留意しておく必要がある。いずれにしても、社会保障制度の捕捉率を上げるために、給付が必要な世帯にとって利用しやすいような各制度の要件緩和、手続きの簡素化等の施策が求められている。

ひとり親世帯について、養育費の取り決めや受け取りをしている世帯は、全体で31.7％にとどまっている。「取り決めをしておらず、受け取っていない」と回答した割合は、困窮度Ⅰ群で44.0％、困窮度Ⅱ群で38.9％となっている。離別の場合、生活状況の激変のなか、ひとり親自身が養育費の取り決めを行うことは容易なことではないため、相談機関等の支援策の充実が求められる。

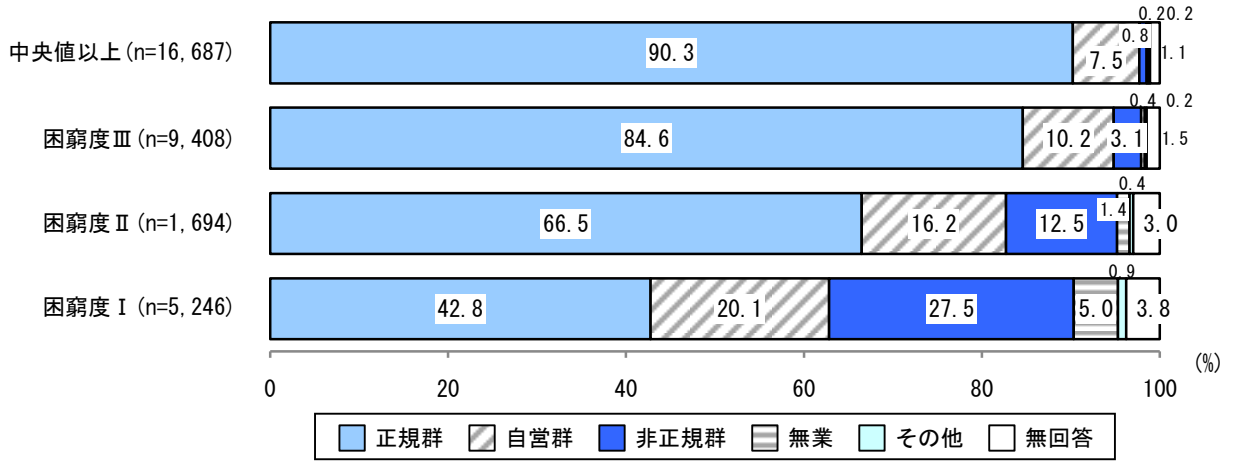
初めて親となった年齢と最終学歴について、特に母親に着目すると、「10代」で中学校卒業が13.0％、高等学校中途退学が30.4％と、他の年齢階層に比べて高くなっている。妊娠・出産しても学修を中断せず継続できるような学修面でのサポート体制、子育て支援が求められる。また学びを一時中断した者についても、あとからでも「学び直し」を可能にするような学修機会の提供等が求められる。

住居形態別に家計の状況をみると、「府営・市営の住宅」において「赤字である」と回答した者の割合が47.3％と半数弱を占める。同様に、府営・市営の住宅については、「子どもの将来のための貯蓄状況」についても「貯蓄をしたいが、できていない」が76.4％と経済的余裕のなさが示されている。家賃分の負担軽減に加えて、生活費部分の経済的支援の必要性が示されている。

３－２．雇用

困窮度別に見た、就労状況（保護者票問９より）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

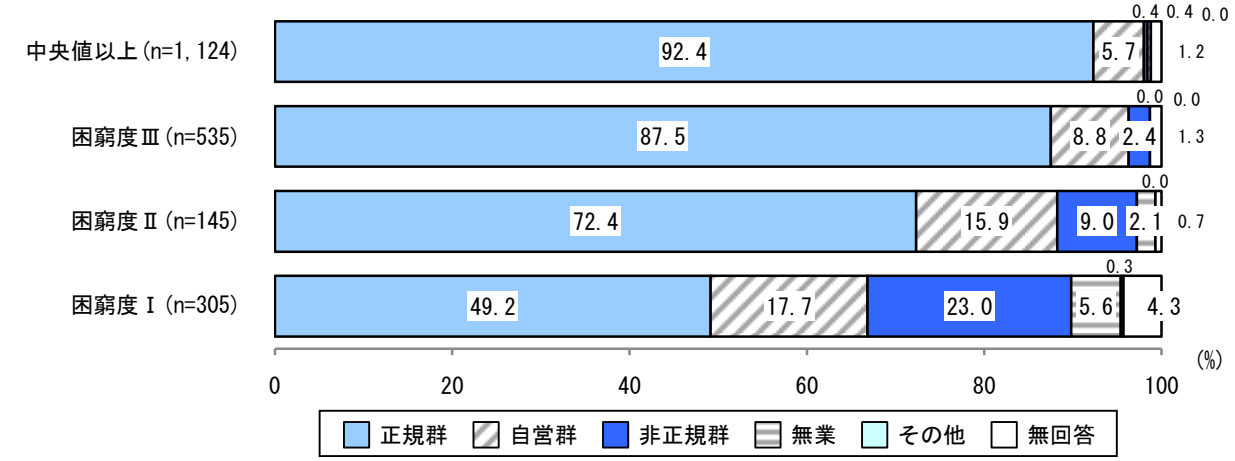


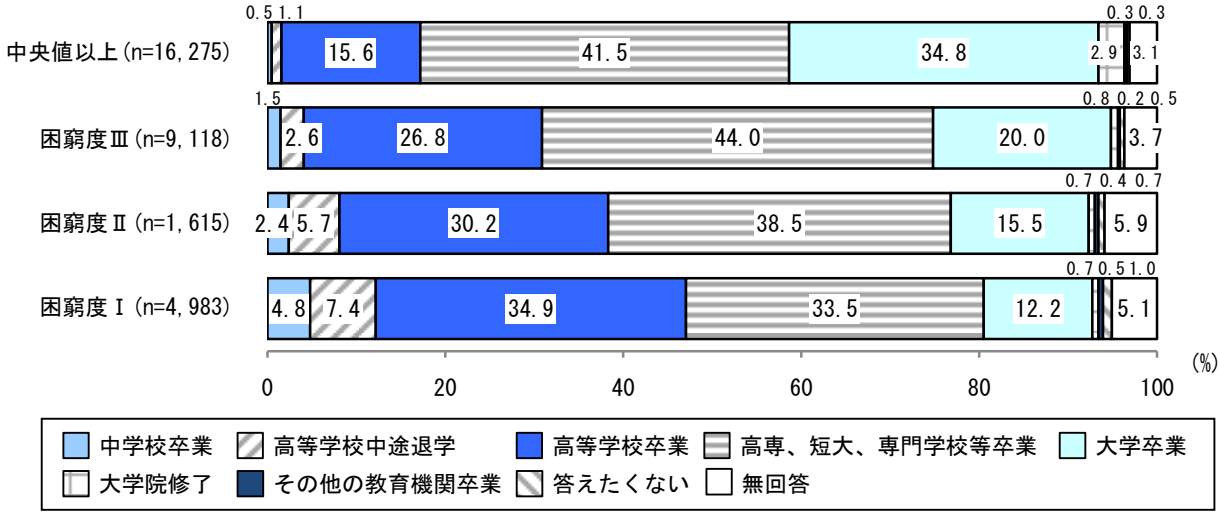
図 52. 困窮度別に見た、就労状況

困窮度別に就労状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「正規群」の割合が低くなり、「自営群」、「非正規群」、「無業」の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群においては他と比べて「非正規群」、「無業」の割合がやや高く、それぞれ23.0%、5.6%となっている。

※分類方法は以下の通り。
父母あるいは主たる生計者に正規が含まれれば「正規群」（問９選択肢１）、
上記以外で、父母あるいは主たる生計者に自営が含まれれば「自営群」（問９選択肢４）、
上記以外で、父母あるいは主たる生計者に非正規が含まれれば「非正規群」（問９選択肢２、３）、
上記以外で、誰も働いていなければ「無業」（問９選択肢６、７）。
上記以外が「その他」となる。
ここでの無業とは、「ふだん仕事をしていない者、すなわち、ふだん全く仕事をしていない者及び臨時的にしか仕事をして いない者」を指す（就業構造基本調査による）。 クロス集計で「就労状況」を用いる時は、上記区分による。

困窮度別に見た、お母さんの最終学歴（保護者票問８）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

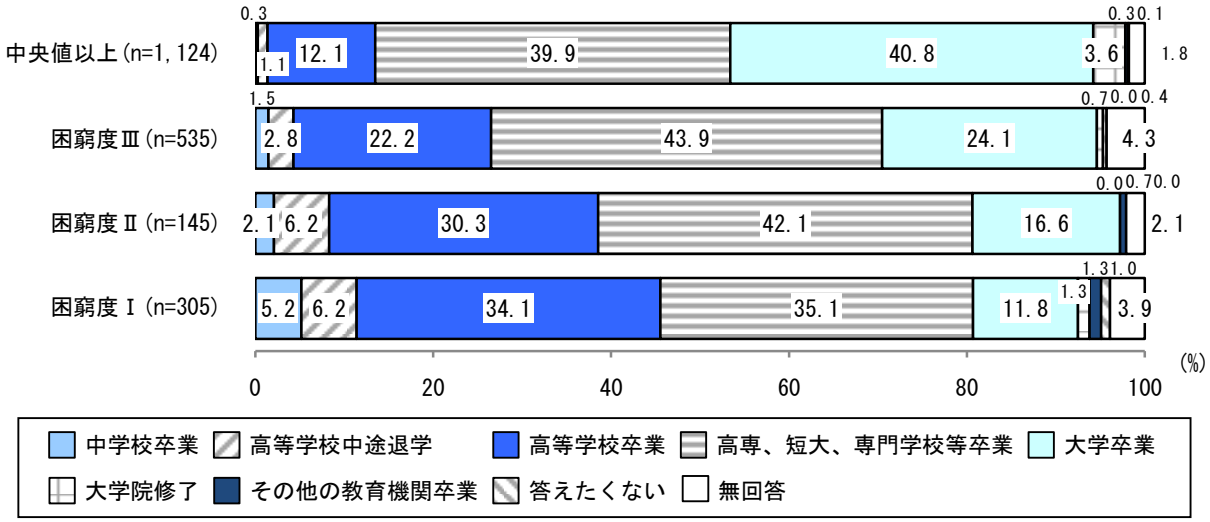
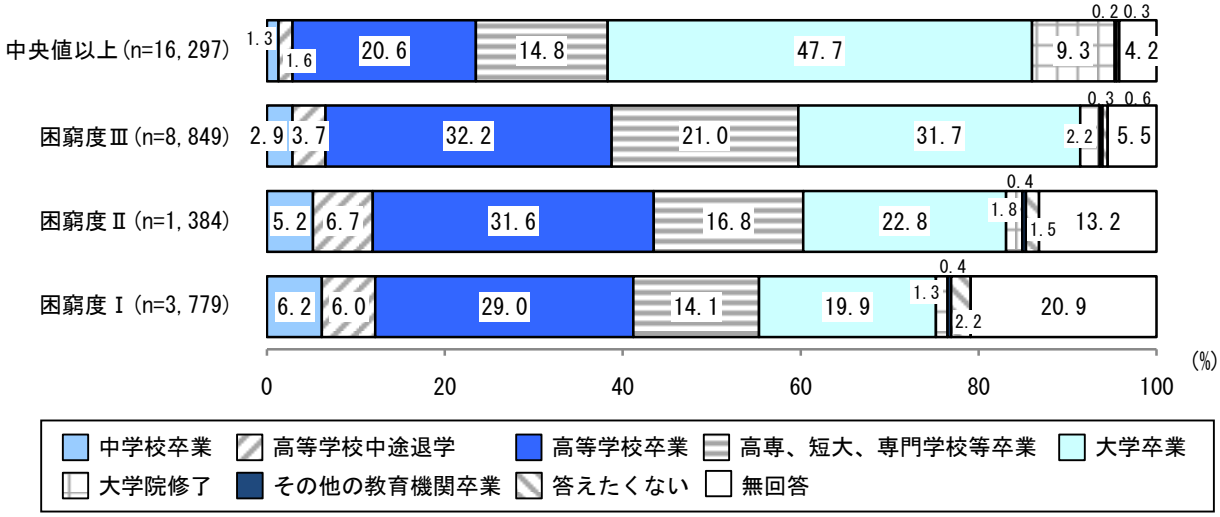


図 53. 困窮度別に見た、お母さんの最終学歴

困窮度別に母親の最終学歴を見ると、困窮度が高まるにつれ、「中学校卒業」と「高校学校中途退学」、「高等学校卒業」の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ～Ⅲ群では中央値以上群に比べ、「大学卒業」の割合が低い。

困窮度別に見た、お父さんの最終学歴（保護者票問８）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

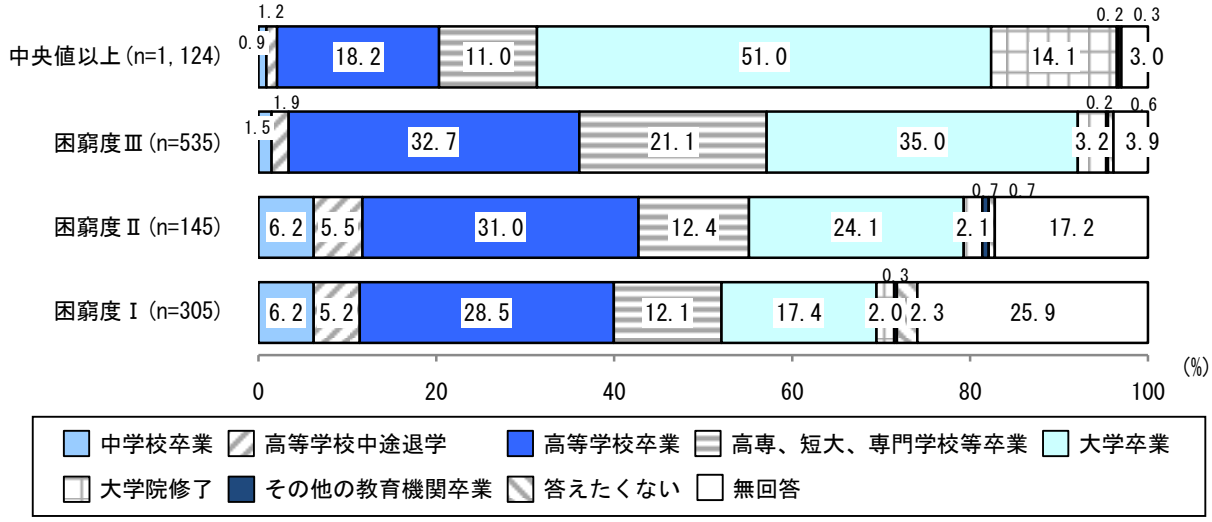
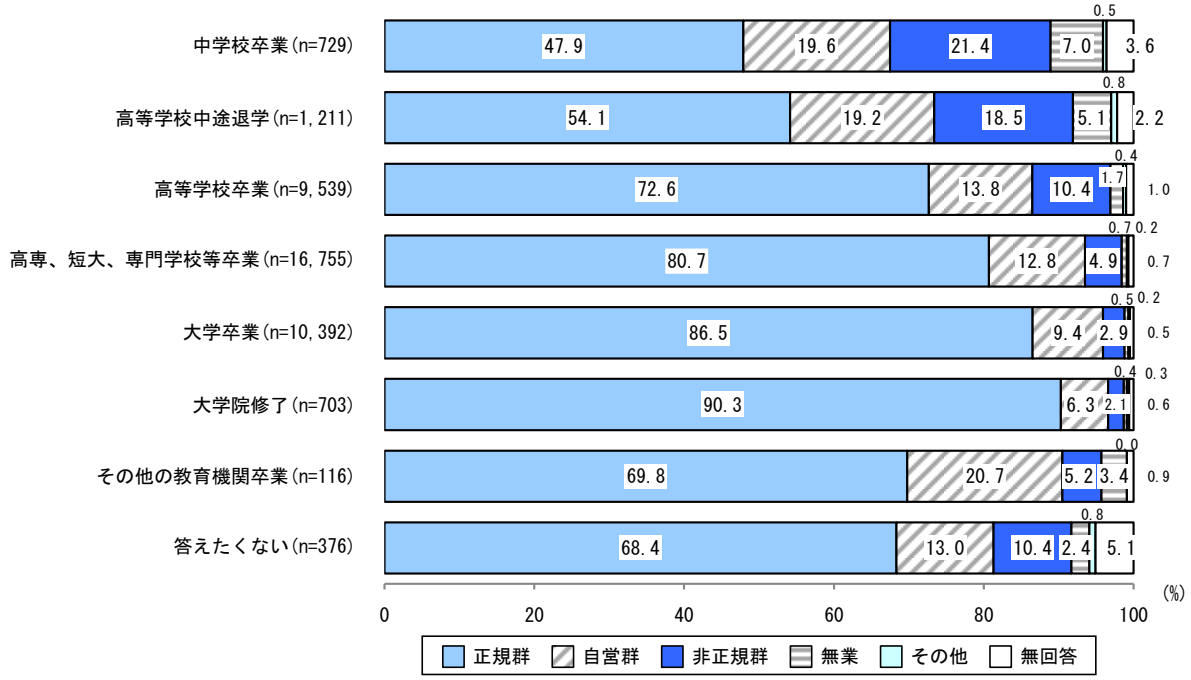


図 54. 困窮度別に見た、お父さんの最終学歴

困窮度別に父親の最終学歴を見ると、困窮度が高まるにつれ、「中学校卒業」と「高等学校中途退学」の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群において、「中学校卒業」と「高等学校中途退学」の割合はそれぞれ6.2%、5.2%である。また、困窮度Ⅰ群では無回答（25.9%）の割合も高い。

お母さんの最終学歴別に見た、就労状況（保護者票問８×保護者票問９）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

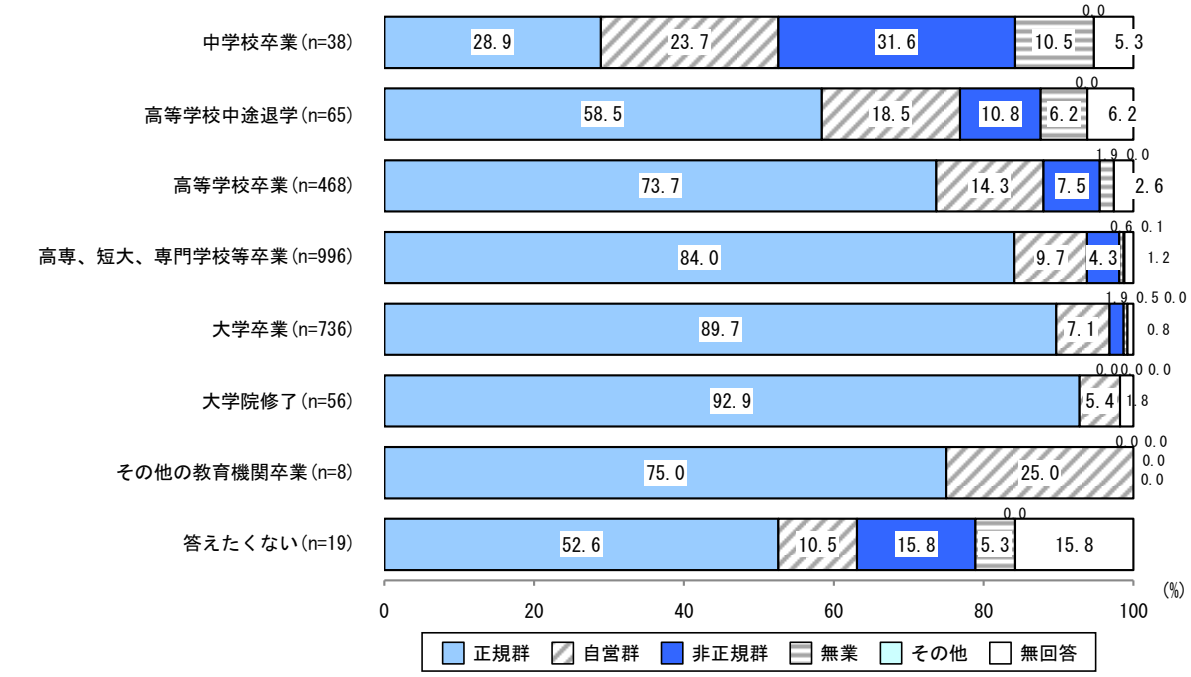
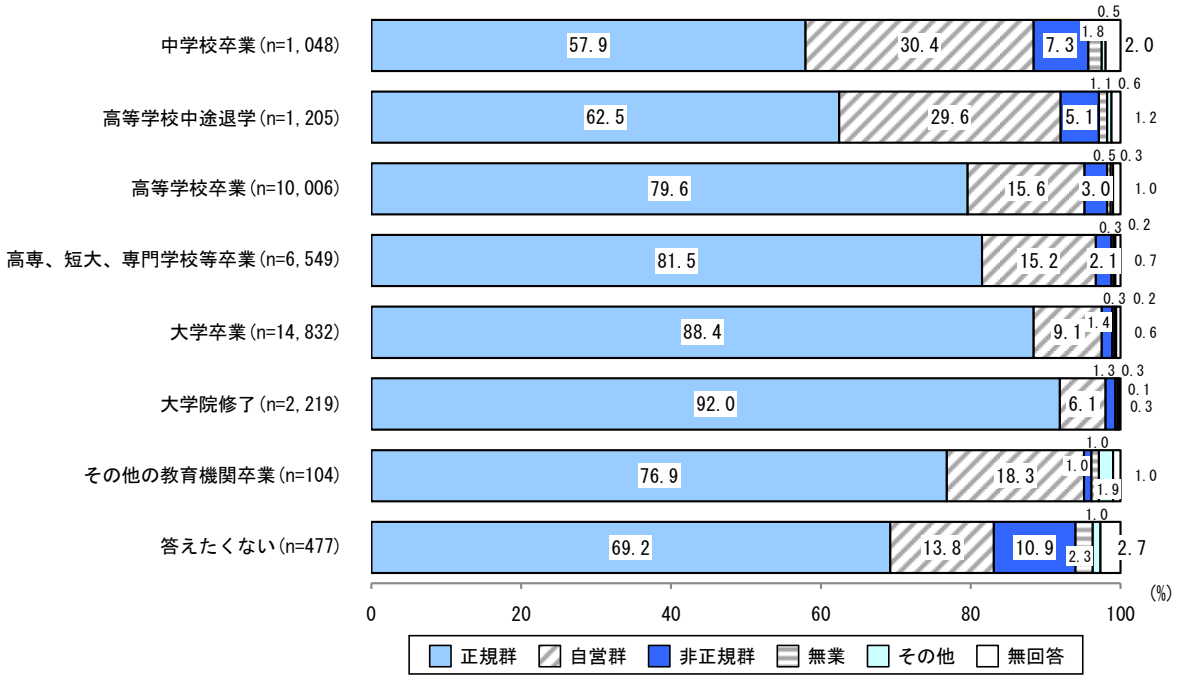


図 55. お母さんの最終学歴別に見た、就労状況

母親の最終学歴別に就労状況を見ると、概ね、「母親の最終学歴」が高くなるにつれて「正規群」の割合が高くなる。

お父さんの最終学歴別に見た、就労状況（保護者票問８×保護者票問９）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

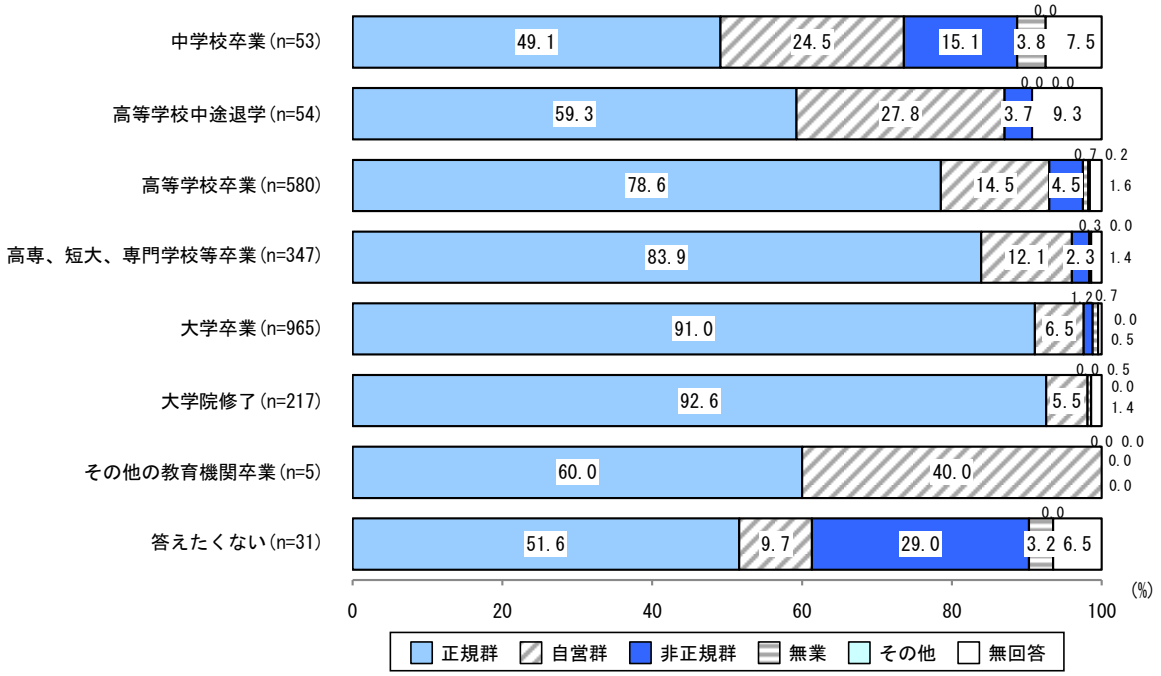
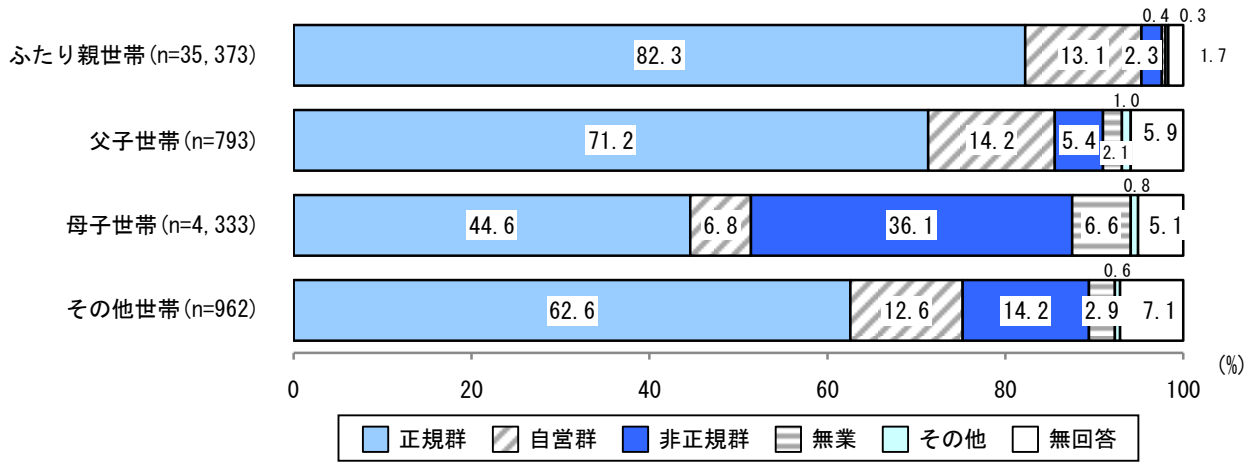


図 56. お父さんの最終学歴別に見た、就労状況

父親の最終学歴別に就労状況を見ると、概ね、父親の最終学歴が高くなるにつれて「正規群」の割合が高くなる。

世帯構成別に見た、就労状況（保護者票問２×保護者票問９）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

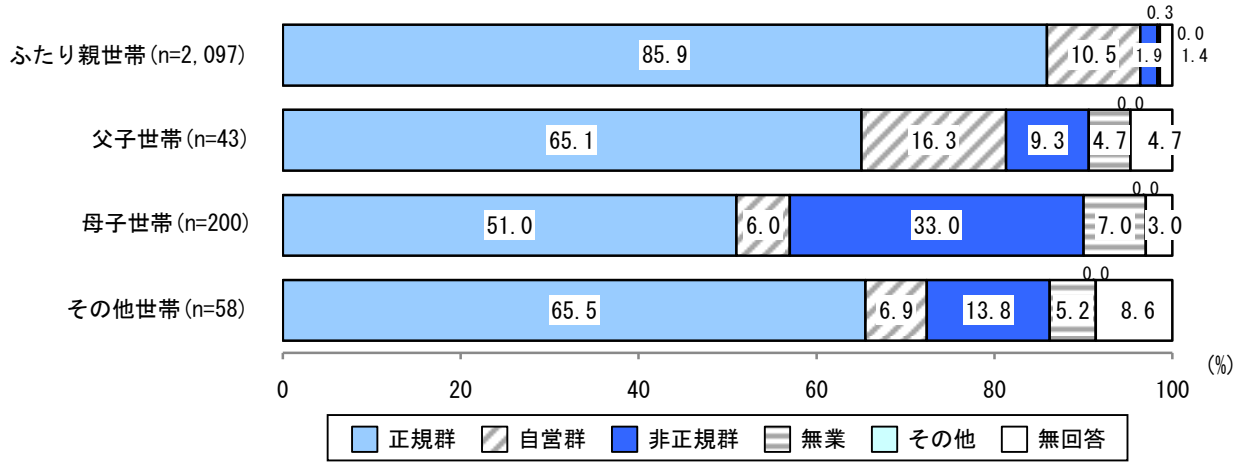
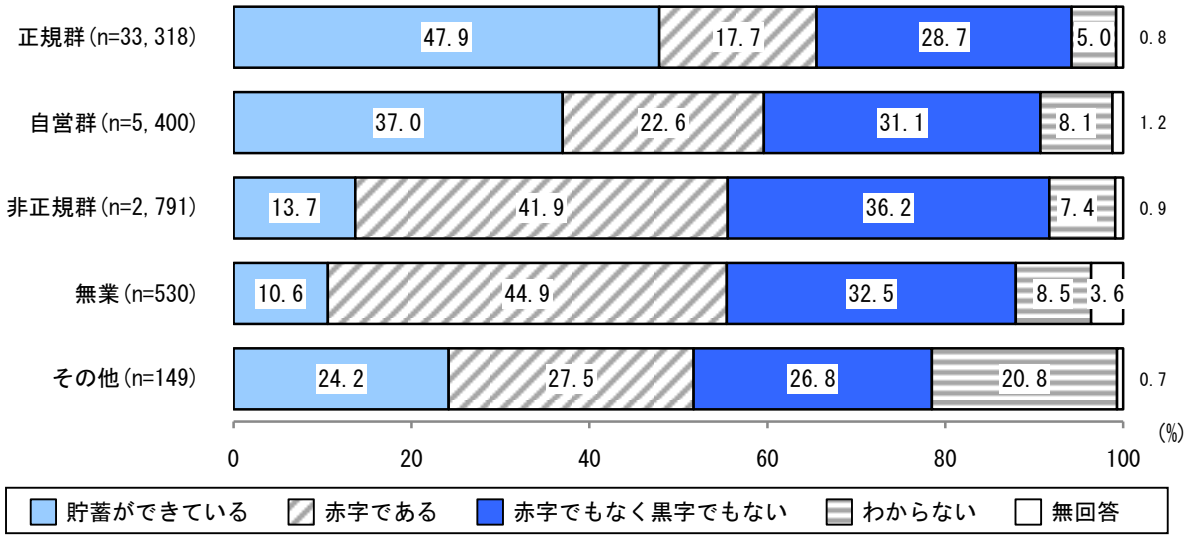


図 57. 世帯構成別に見た、就労状況

世帯構成別に就労状況を見ると、「ふたり親世帯」では「正規群」の割合が85.9%であるが、「父子世帯」では65.1%、「母子世帯」では51.0%と低くなる。「非正規群」は、「父子世帯」では9.3%、「母子世帯」では33.0%となっている。

就労状況別に見た、家計の状況（保護者票問９×保護者票問６(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

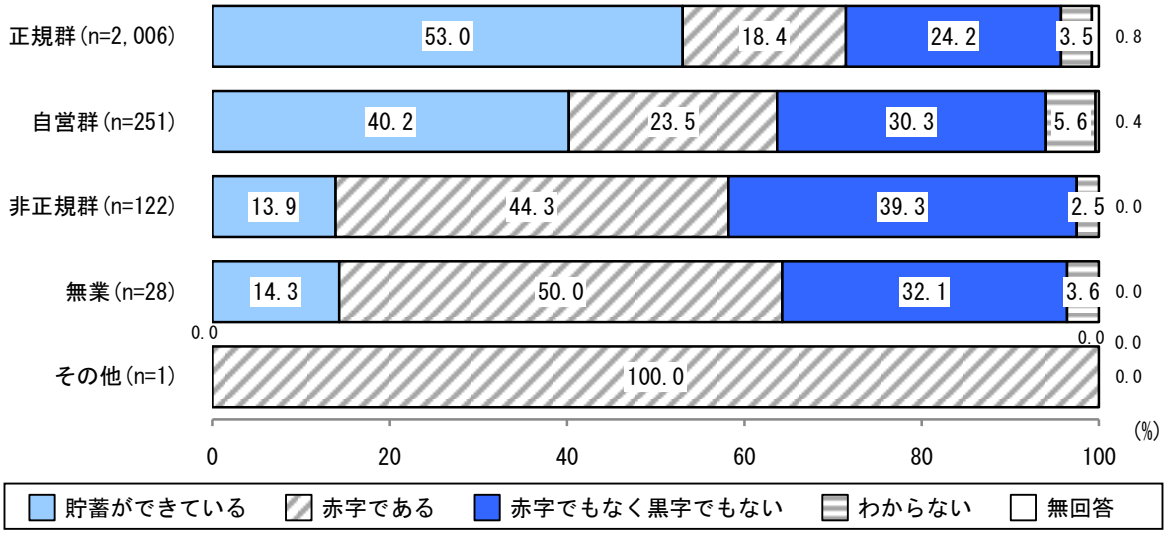


図 58. 就労状況別に見た、家計の状況

就労状況別に家計状況を見ると、「正規群」・「自営群」では「貯蓄ができている」割合がそれぞれ、53.0%、40.2%である。「無業」では「赤字である」と回答した人が50.0%にのぼっている。

＜雇用に関する考察＞

はじめに、困窮度別の保護者の就労状況と最終学歴について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群の間で差が大きい項目に着目して述べる。就労状況を困窮度別に見ると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「正規」群（92.4%対49.2%）が約43ポイント高く、大きな開きがある。一方で、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「非正規」群（23.0%対0.4%）が22ポイント以上高くなっている。母親の最終学歴を困窮度別に見ると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「中学校卒業」群（5.2%対0.3%）と「高等学校中途退学」群（6.2%対1.1%）がいずれも約5ポイント、「高等学校卒業」群（34.1%対12.1%）は20ポイント以上高くなっている。一方で、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「大学卒業」群（40.8%対11.8%）や「大学院修了」群（3.6%対1.3%）は約3倍である。同様に、父親の最終学歴においても、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「中学校卒業」群（6.2%対0.9%）は約5ポイント、「高等学校卒業」群（28.5%対18.2%）は約10ポイント高くなっている。また、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「大学卒業」群（51.0%対17.4%）は約3倍であり、「大学院修了」群（14.1%対2.0%）は約7倍となっている。これらの結果から、経済的に困難な世帯の保護者の雇用形態が所得階層の分布に反映されていることが示された。また、困窮度が高い群では学歴が低い傾向が見られる。

次に、保護者の最終学歴別に就業状況を確認する。母親の最終学歴別に見ると、大学以上（「大学卒業」および「大学院修了」）群は「高等学校卒業」群と比べ、「正規」群（89.7%および92.9%対73.7%）は16ポイント以上高くなっている。父親の最終学歴別においても、大学以上（「大学卒業」および「大学院修了」）群は「高等学校卒業」群と比べ、「正規」群（91.0%および92.6%対78.6%）は約12ポイント高く、同様の傾向が見られた。この結果から、学歴が高い群ほど正規雇用の割合が高いことを示唆している。

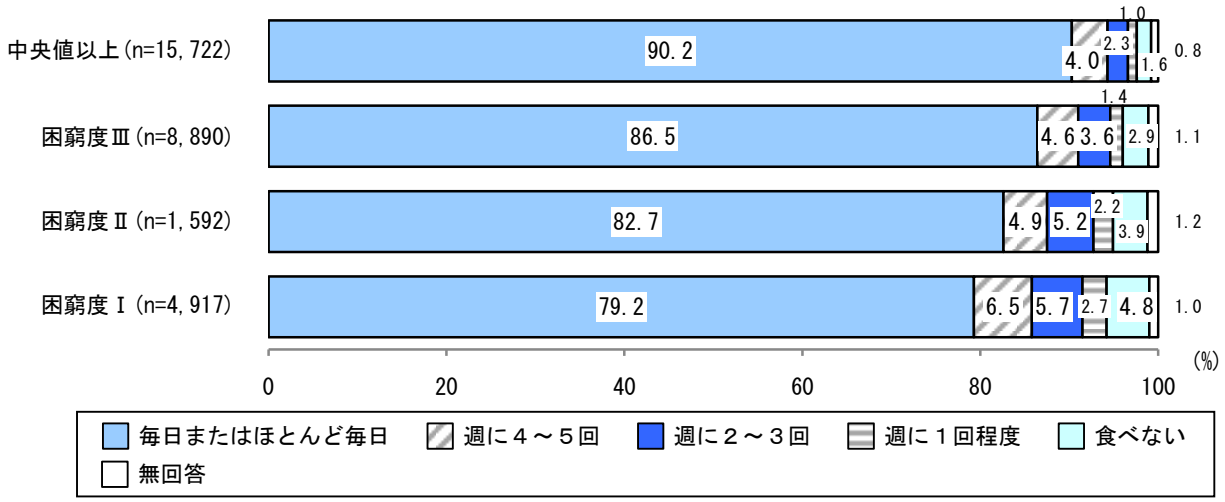
また、世帯構成別に保護者の就労状況を見ると、ふたり親世帯は母子世帯と比べ、「正規」群（85.9%対51.0%）が約35ポイント高くなっており、母子世帯の正規雇用の割合の低さが顕著である。また、母子世帯は、「非正規」群（33.0%）の割合が他の世帯構成に比べて極めて高くなっており、不安定な就労状況にあることが示唆される。

最後に、保護者の就労状況別に見る家計の状況に着目する。「正規」群は「非正規」群と比べ、「貯蓄が出来ている」（53.0%対13.9%）割合は約4倍で、大きな差がある。また、「非正規」群は「正規」群と比べ、家計状況が「赤字である」（44.3%対18.4%）は約2倍である。この結果から、保護者の就業状況が正規雇用であるほど、貯蓄ができるなど生活が安定している傾向が見られる。

３－３．健康

困窮度別に見た、朝食の頻度（子ども票問４(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

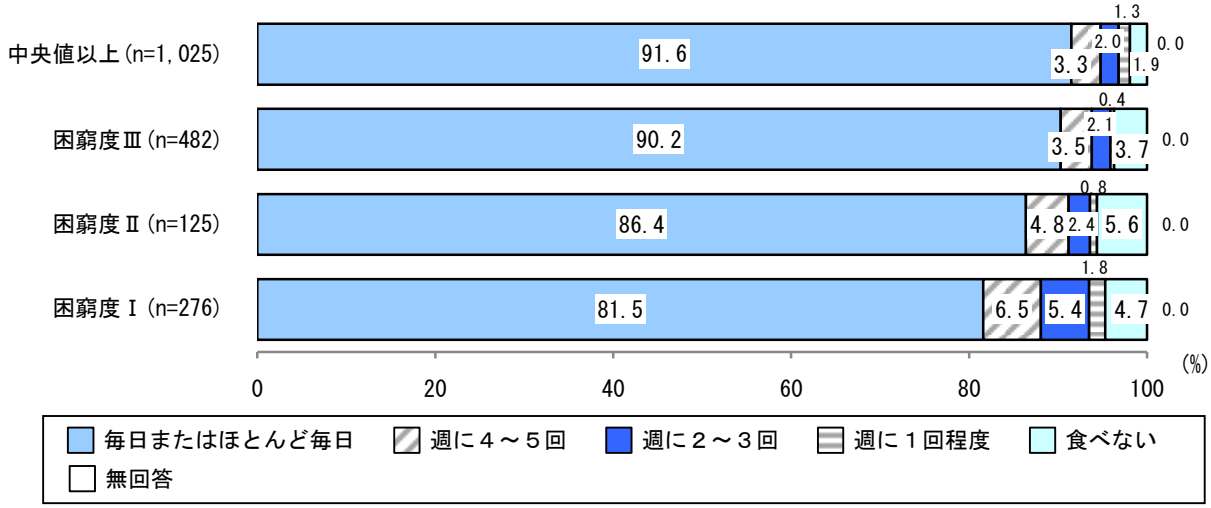
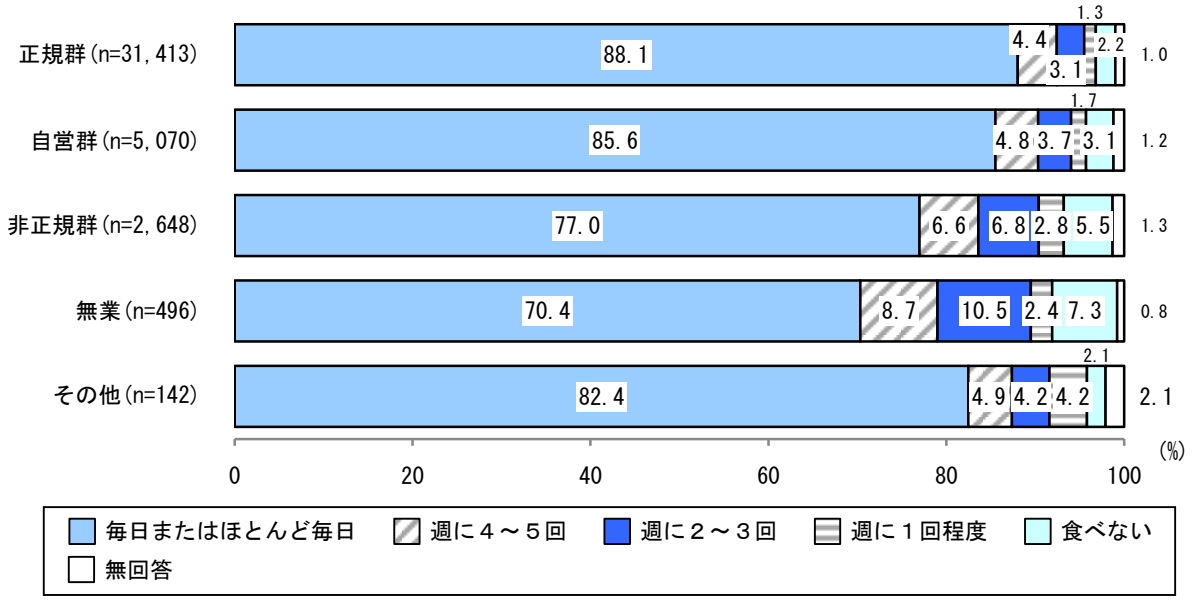


図 59. 困窮度別に見た、朝食の頻度

困窮度別に朝食の頻度を見ると、困窮度が高くなるにしたがって、「毎日またはほとんど毎日」朝食を食べる頻度が減る傾向が見られた。困窮度Ⅰ群では、18.5%が「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていないと回答した。

就労状況別に見た、朝食の頻度（子ども票問４(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

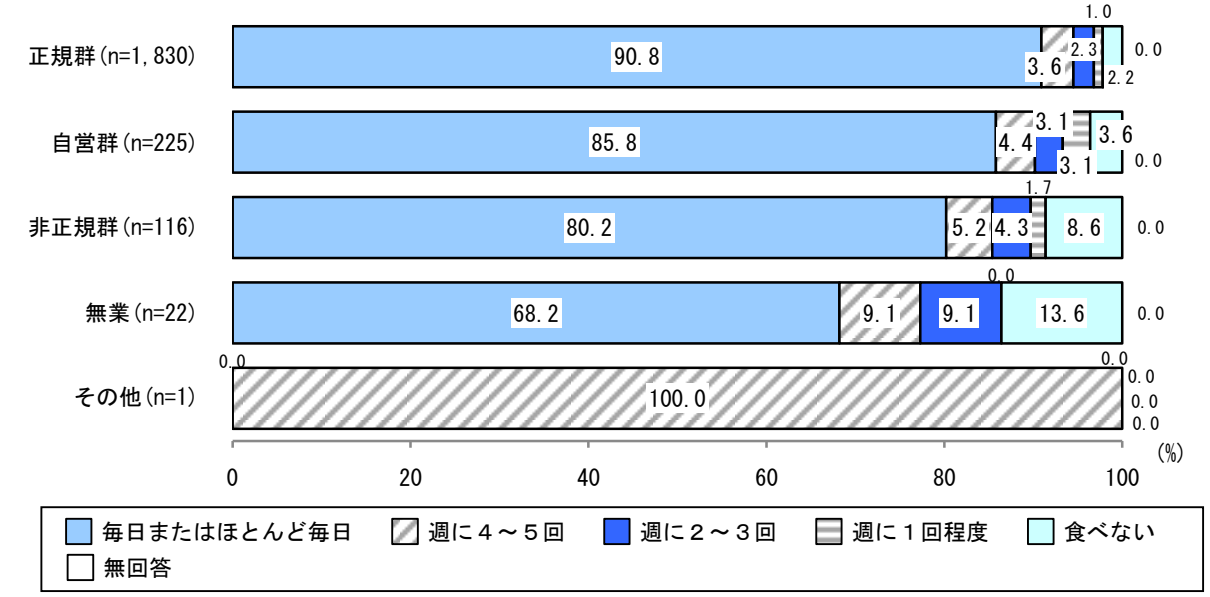
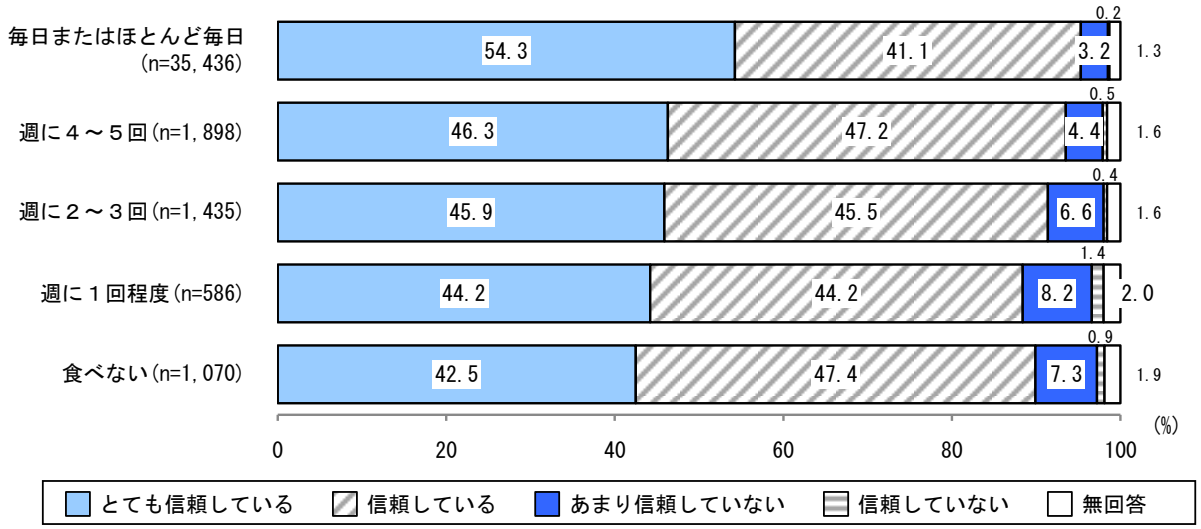


図 60. 就労状況別に見た、朝食の頻度

就労状況別に朝食の頻度を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとる割合は、「正規群」（90.8%）が最も高く、次いで、「自営群」（85.8%）、「非正規群」（80.2%）、「無業」（68.2%）の順で朝食の頻度が低くなる。

朝食の頻度別に見た、子どもへの信頼度（子ども票問４(1)×保護者票問13(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

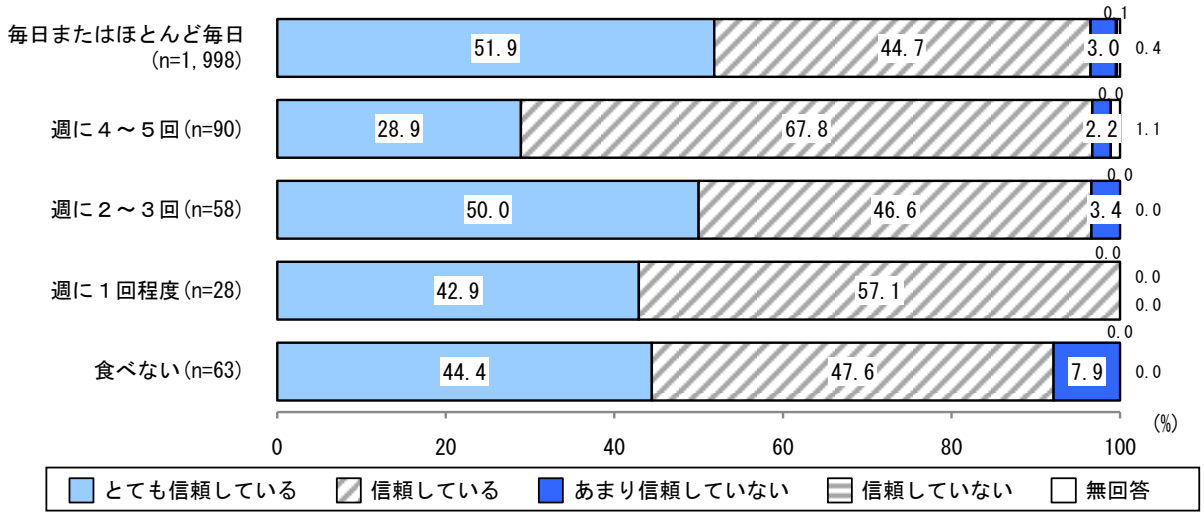
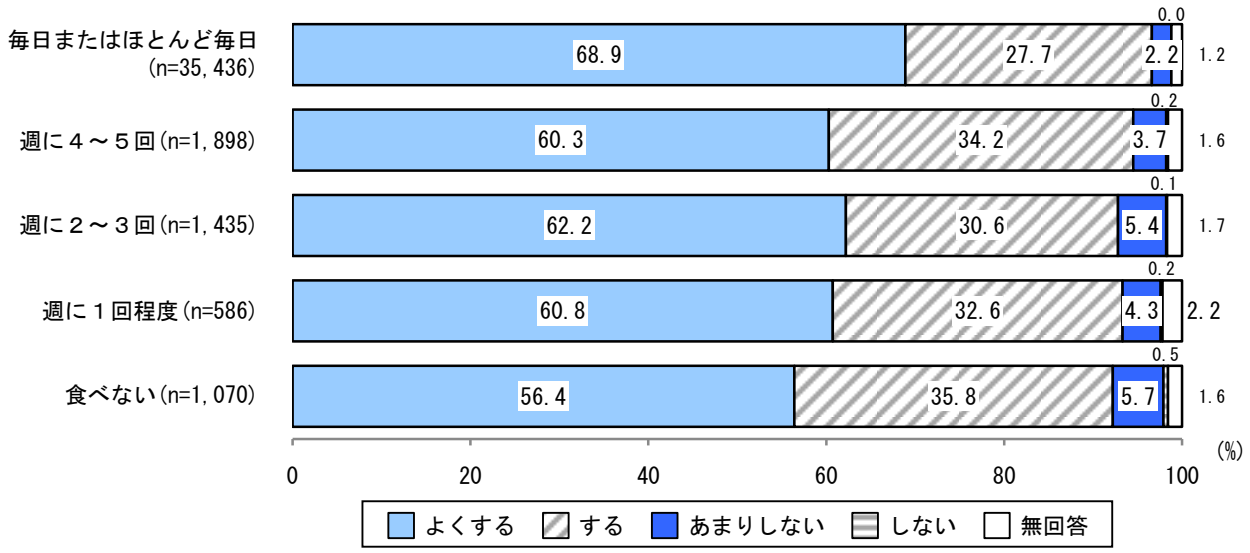


図 61. 朝食の頻度別に見た、子どもへの信頼度

朝食の頻度別に子どもへの信頼度を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した人では、子どもを「とても信頼している」との回答が51.9%であるのに対し、「週４～５回」では、「とても信頼している」と回答した人は28.9%と低い。

朝食の頻度別に見た、子どもとの会話頻度（子ども票問４(1)×保護者票問 13(2)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

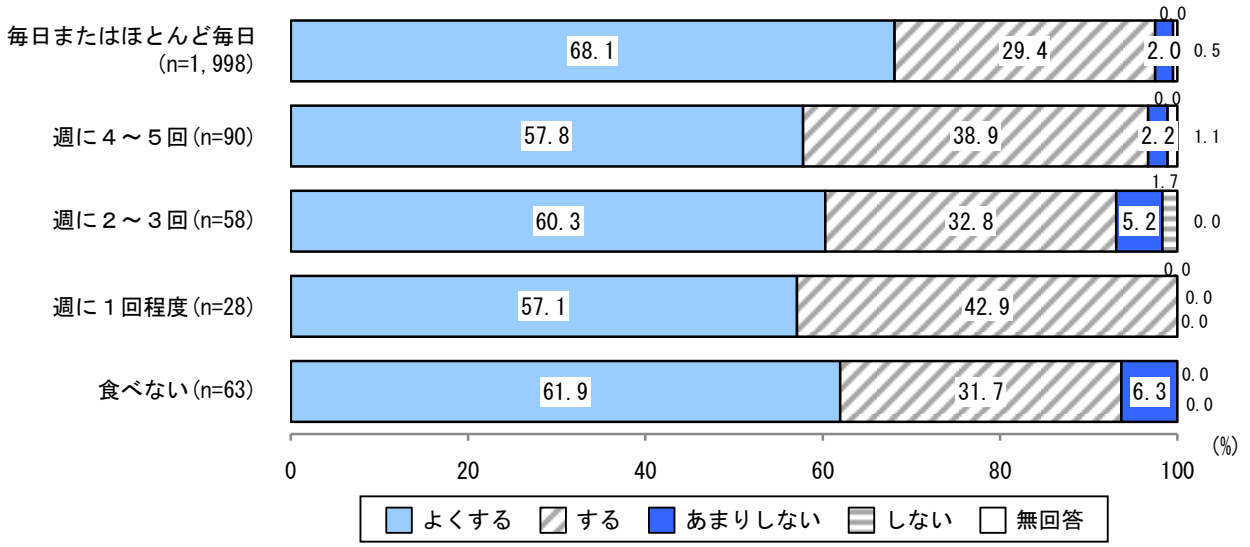
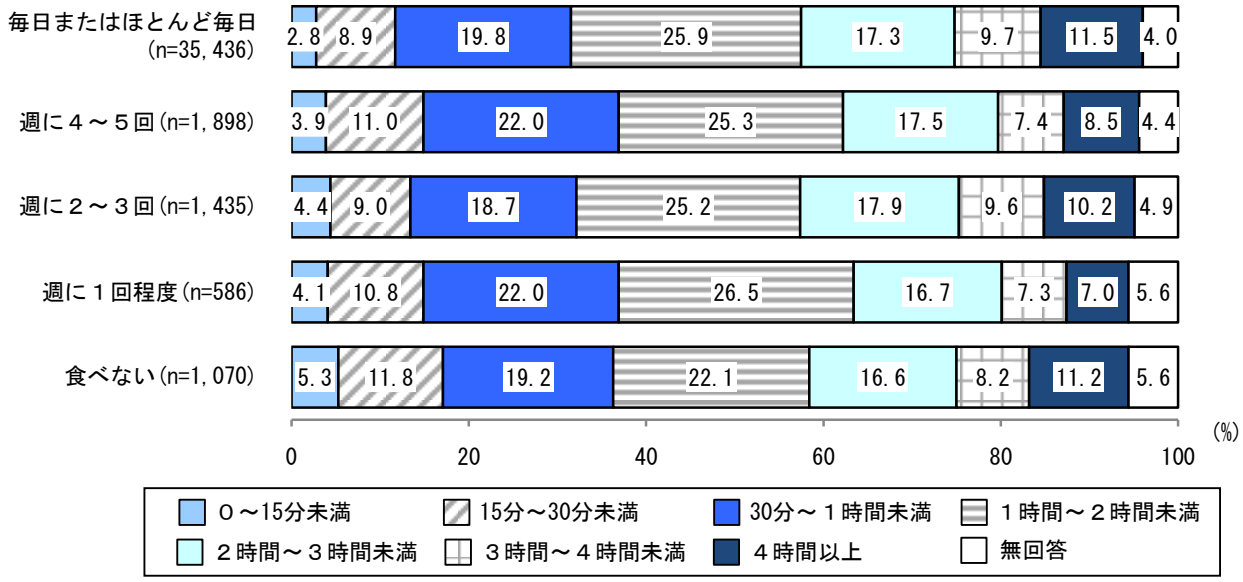


図 62. 朝食の頻度別に見た、子どもとの会話頻度

朝食の頻度別に子どもと会話頻度を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した人では、会話を「よくする」との回答が68.1%であるのに対し、「週に１回程度」では、「よくする」と回答した人は57.1%と低い。

朝食の頻度別に見た、平日での子どもとの関わり時間（子ども票問４(1)×保護者票問 13(3)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

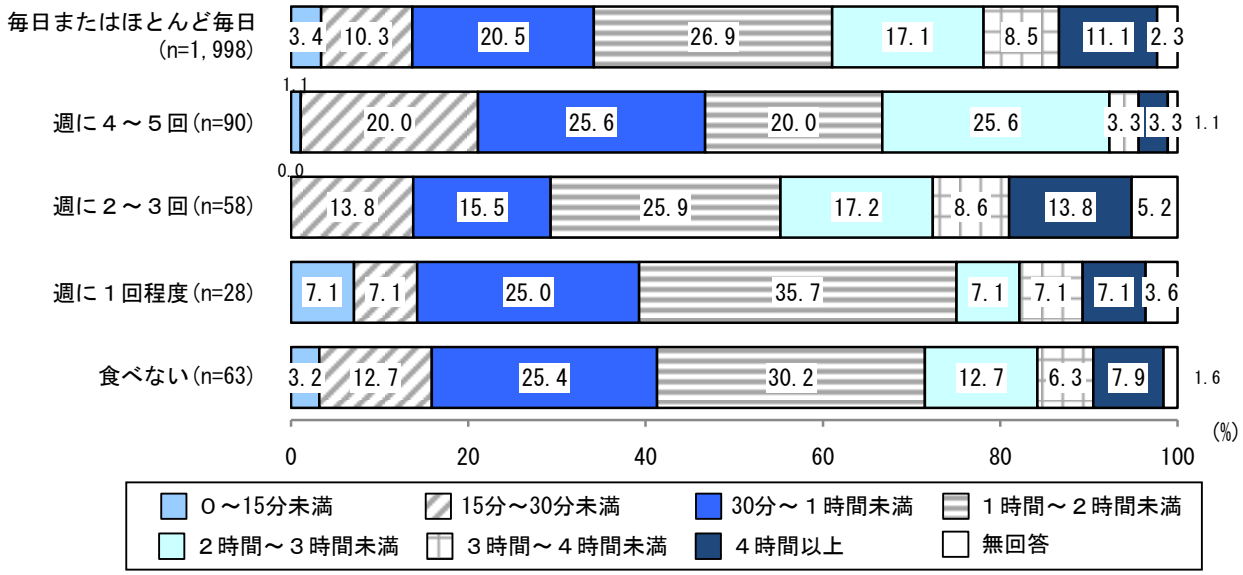
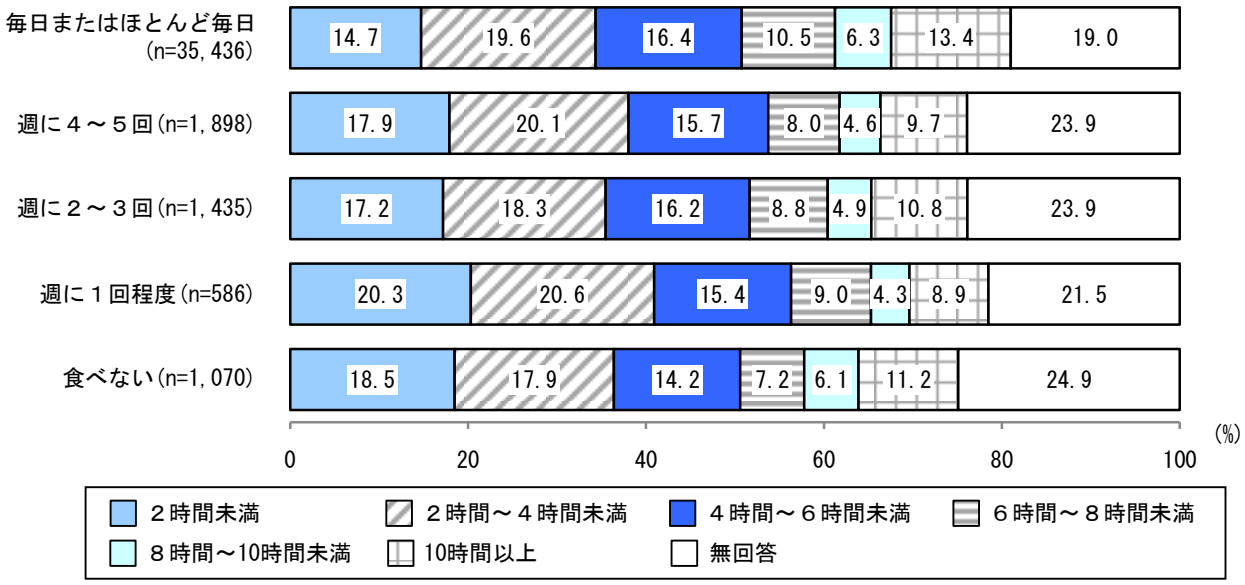


図 63. 朝食の頻度別に見た、平日での子どもとの関わり時間

朝食の頻度別に平日での子どもとの関わり時間を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっている人のほうが「食べない」の人よりも平日に子どもと一緒にいる時間が長くなっている。

朝食の頻度別に見た、休日での子どもとの関わり時間（子ども票問４(1)×保護者票問 13(3)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

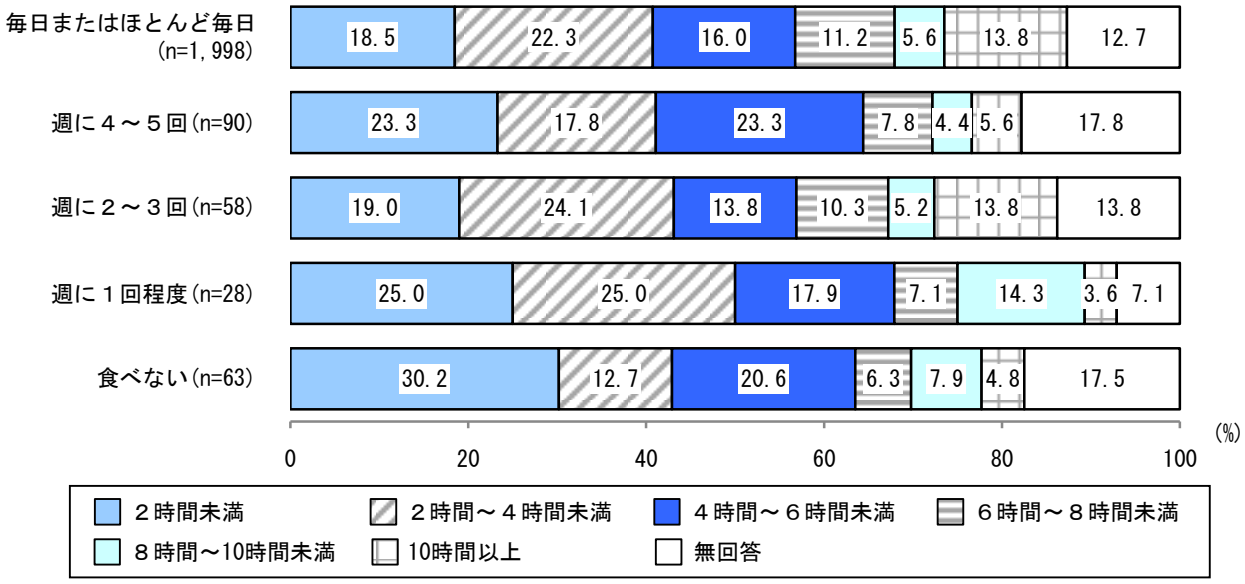
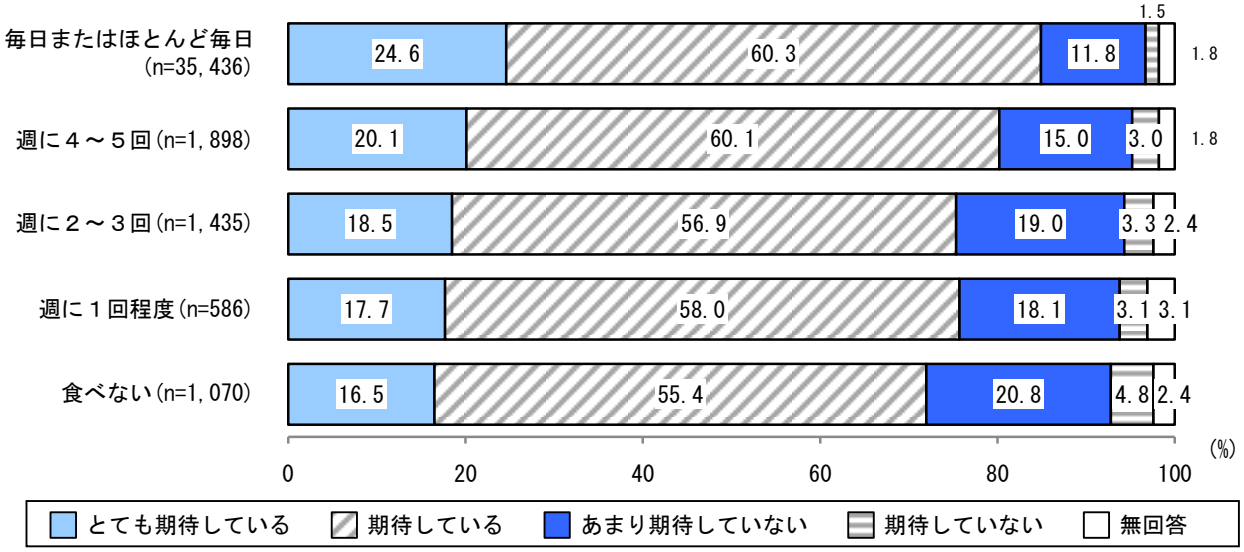


図 64. 朝食の頻度別に見た、休日での子どもとの関わり時間

朝食の頻度別に休日での子どもとの関わり時間を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっている人のほうが、「食べない」の人よりも休日に子どもと一緒にいる時間が長くなっている。

朝食の頻度別に見た、子どもの将来への期待度（子ども票問４(1)×保護者票問 13(4)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

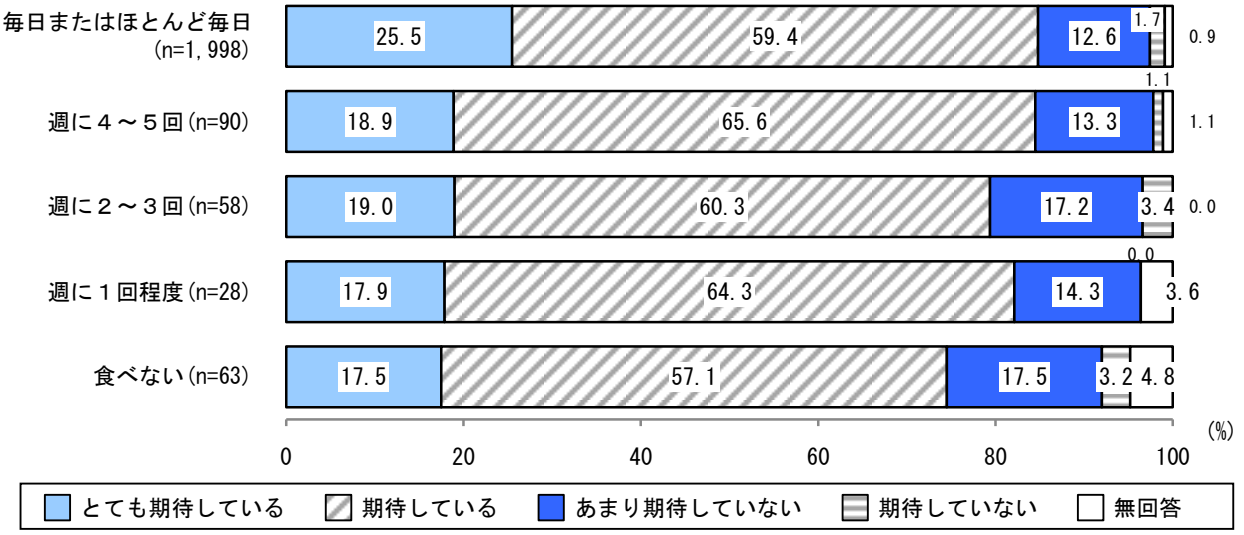


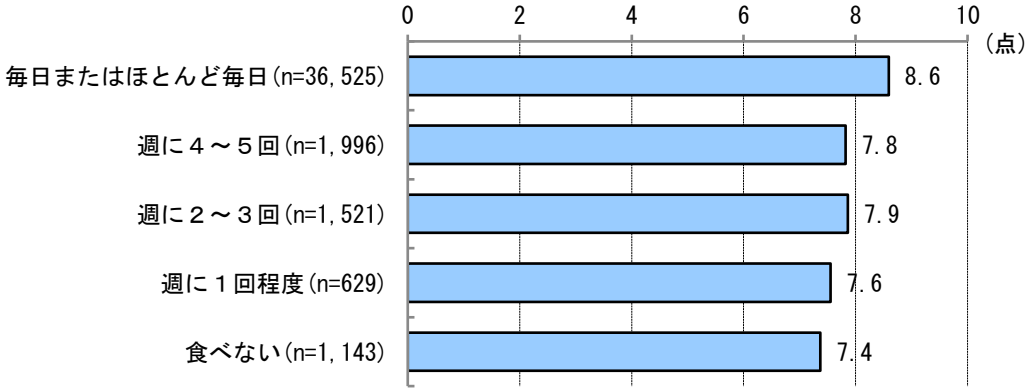
図 65. 朝食の頻度別に見た、子どもの将来への期待度

朝食の頻度別に子どもの将来への期待度を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっている人では、「とても期待している」「期待している」をあわせて、84.9%であるのに対して、「食べない」の人では、「とても期待している」「期待している」と回答した人をあわせて74.6%と、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっている人のほうが子どもの将来に対する期待が高い結果となった。

朝食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問４(1)×子ども票問23）

※「自分に自信がある」「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」「自分の将来の夢や目標を持っている」の３項目について、それぞれ４段階で評価させ、その値を合計した得点を、セルフ・エフィカシー得点とした。得点が高いほど、自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高いことを表す。

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

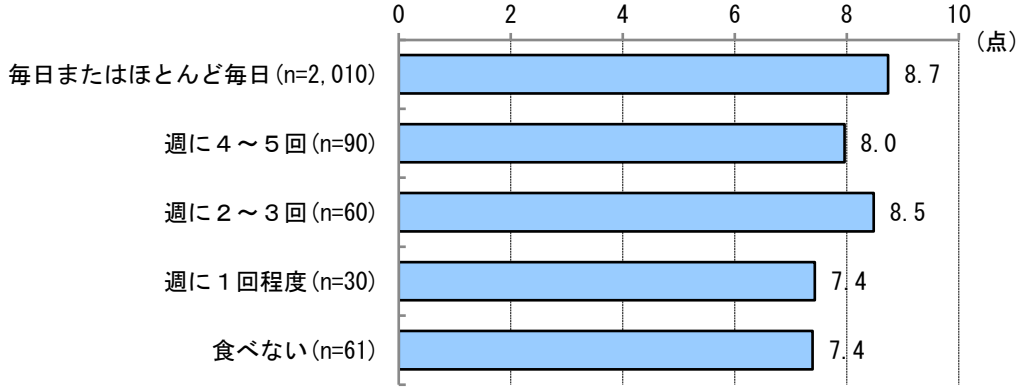
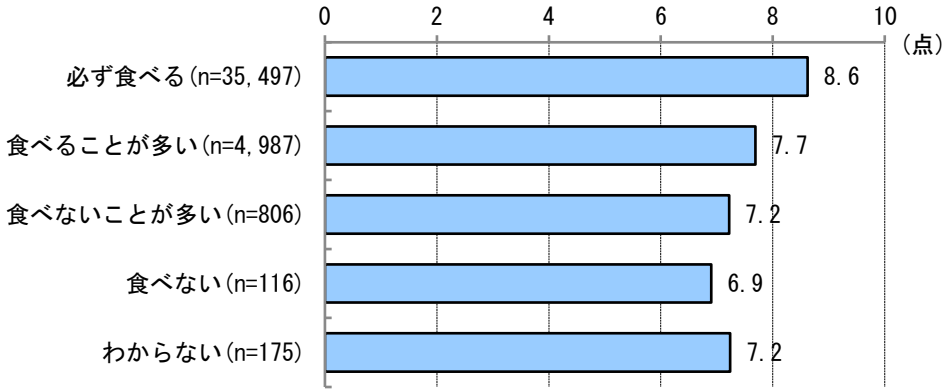


図 66. 朝食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

朝食の頻度別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した人では、8.7点であるのに対して、「食べない」では、7.4点と、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した人のほうが子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高い結果となった。

休日の昼食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問６(1)×子ども票問 23）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

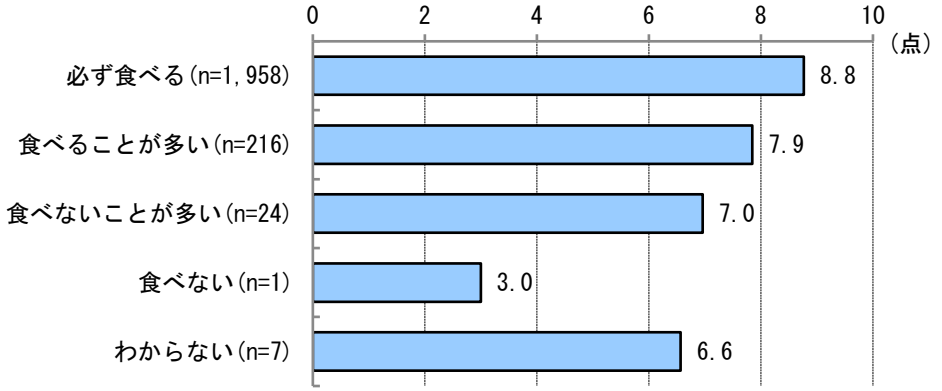
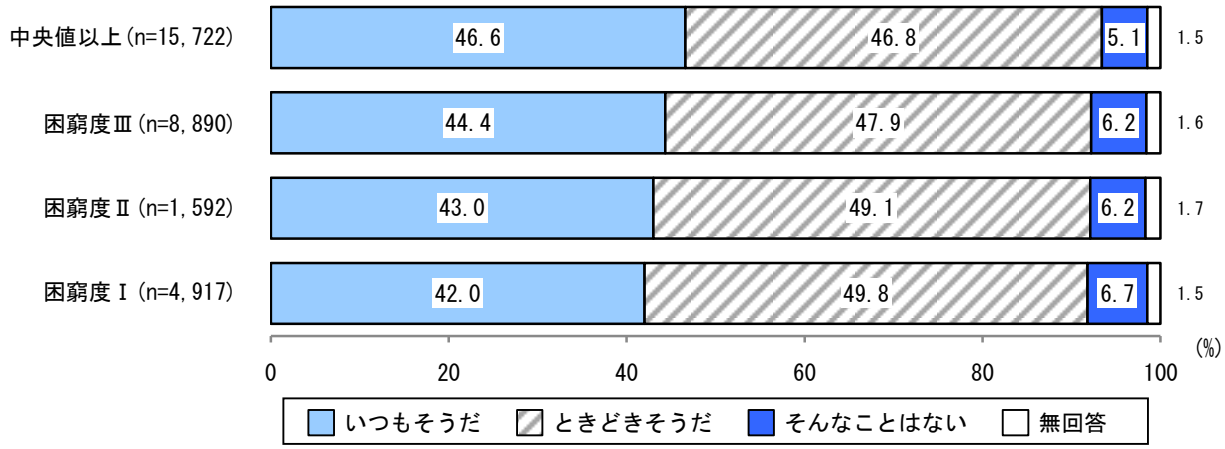


図 67. 休日の昼食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

休日の昼食の頻度別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「必ず食べる」と回答した人の得点が8.8点であるのに対して、「食べない」と回答した人は3.0点と昼食を「必ず食べる」と回答した人のほうが、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高い結果となった。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　①楽しみにしていることがたくさんある
（子ども票問 19①）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

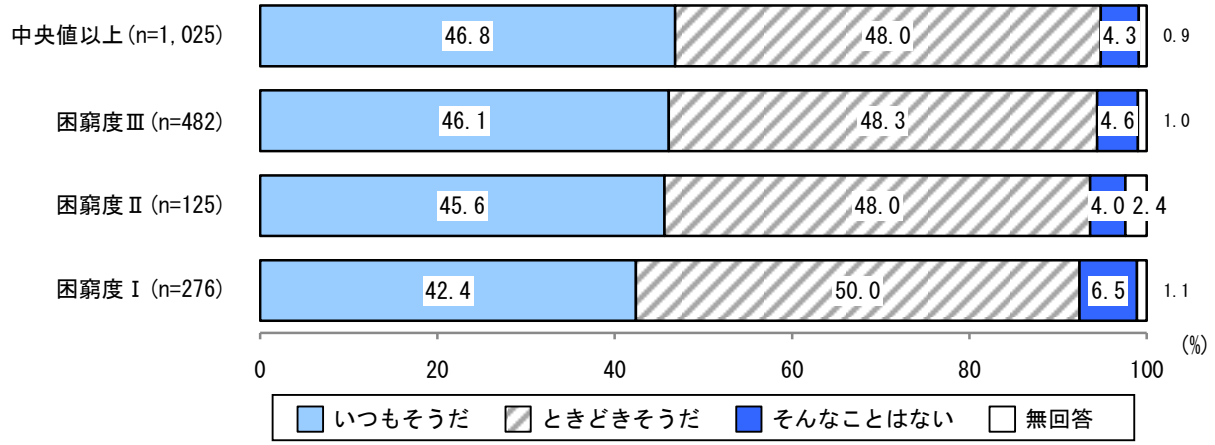
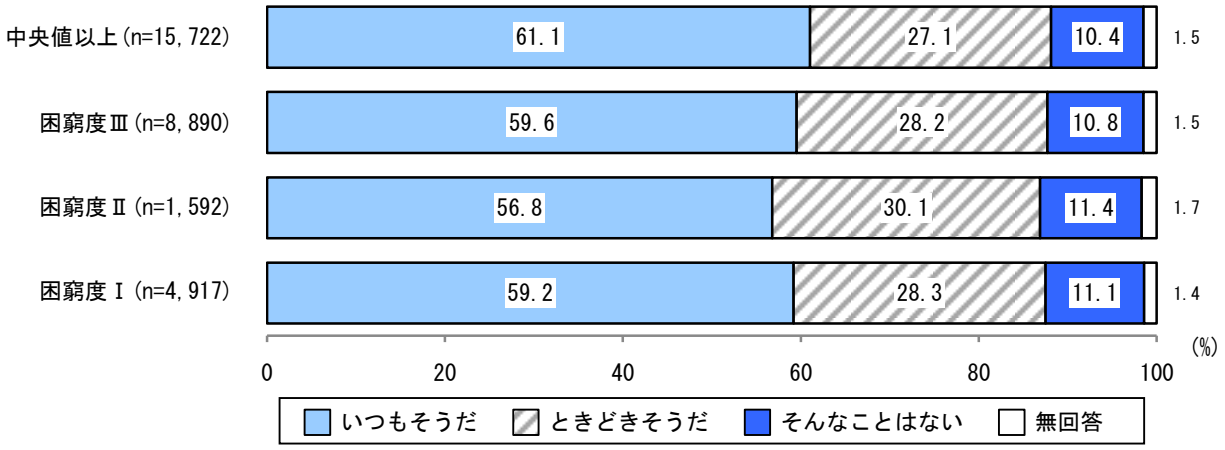


図 68. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　①楽しみにしていることがたくさんある

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で楽しみにしていることがたくさんあるを見ると、困窮度が高まるにつれ、「いつもそうだ」と回答する割合が低くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　②遊びにでかけるのが好きだ（子ども票問 19②）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

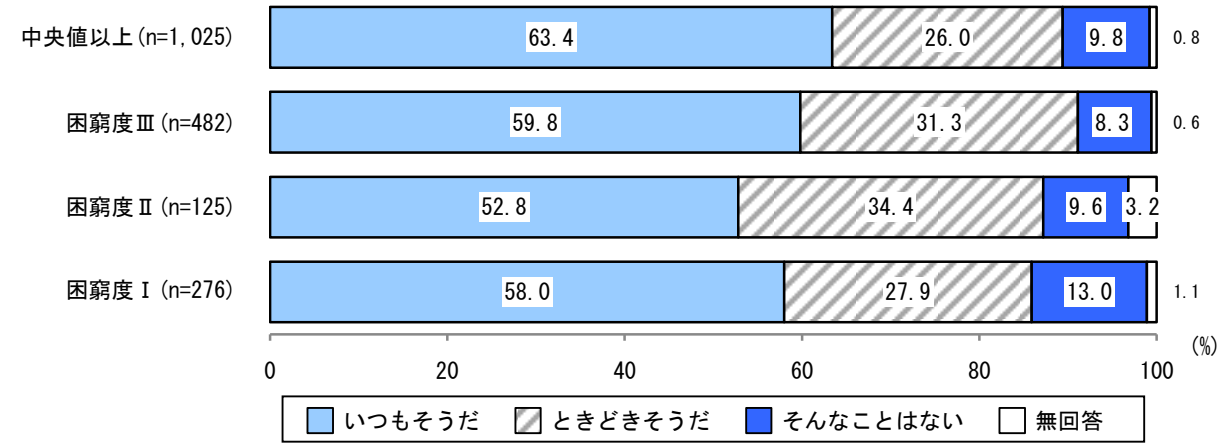
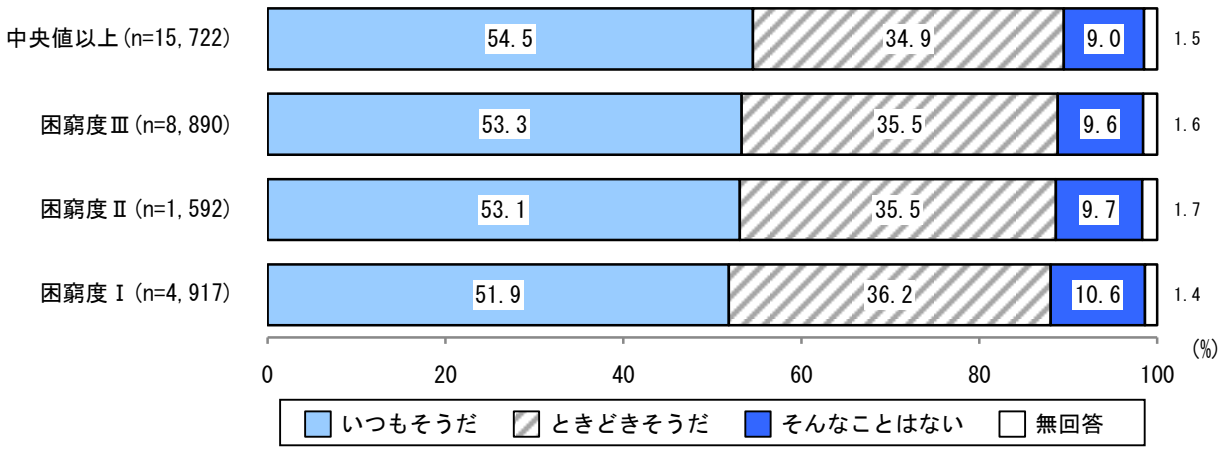


図 69. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　②遊びにでかけるのが好きだ

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で遊びにでかけるのが好きだを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅱ群（52.8%）で最も低くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　③元気いっぱいだ（子ども票問 19③）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

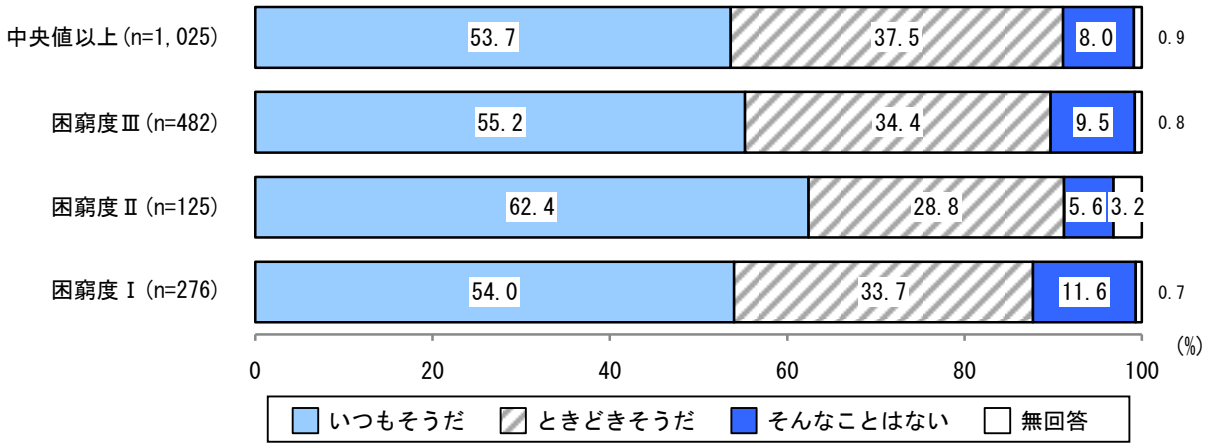
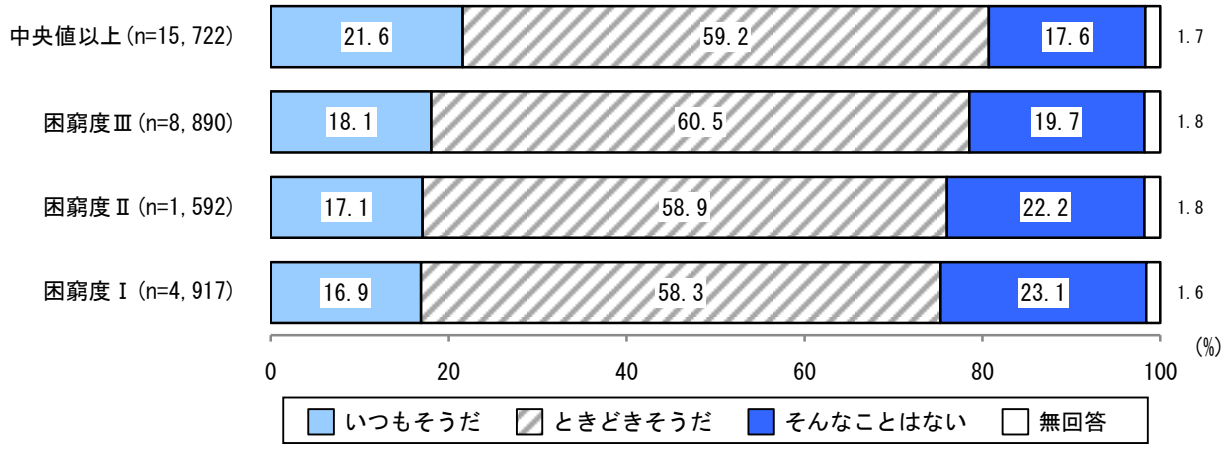


図 70. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　③元気いっぱいだ

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で元気いっぱいだを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は中央値以上群（53.7%）で最も低くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　④やろうと思ったことがうまくできる
（子ども票問 19④）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

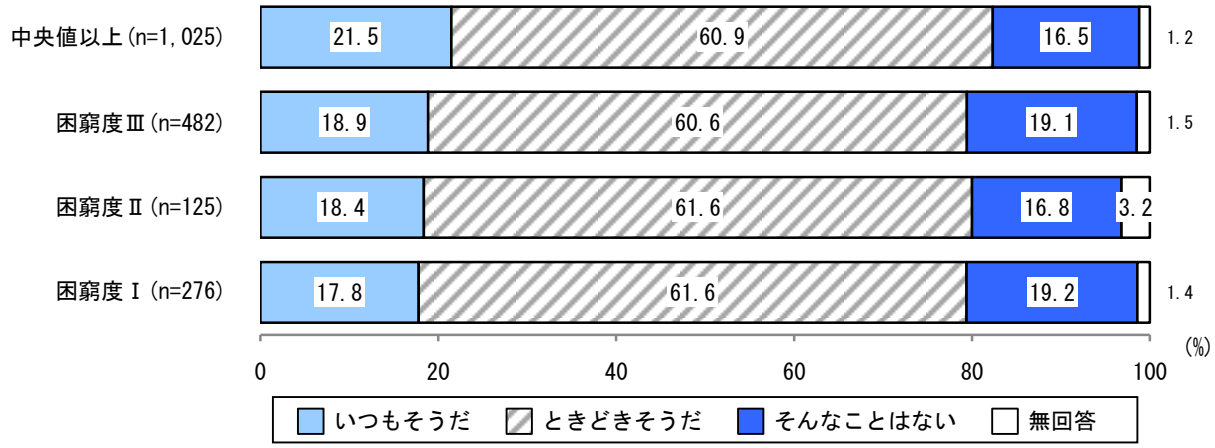
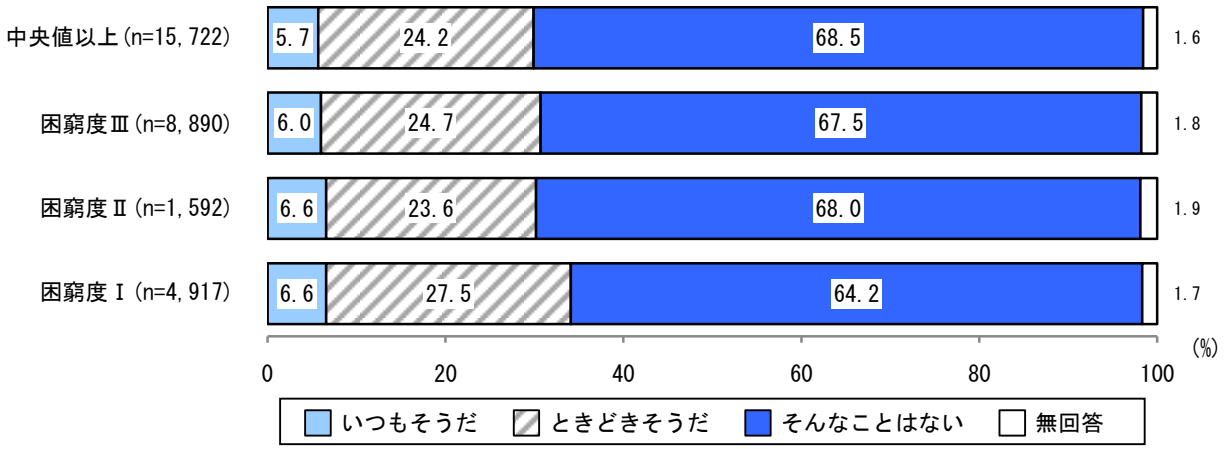


図 71. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　④やろうと思ったことがうまくできる

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況でやろうと思ったことがうまくできるを見ると、困窮度が高まるにつれ、「いつもそうだ」と回答する割合が低くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑤一人ぼっちのような気がする
（子ども票問 19⑤）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

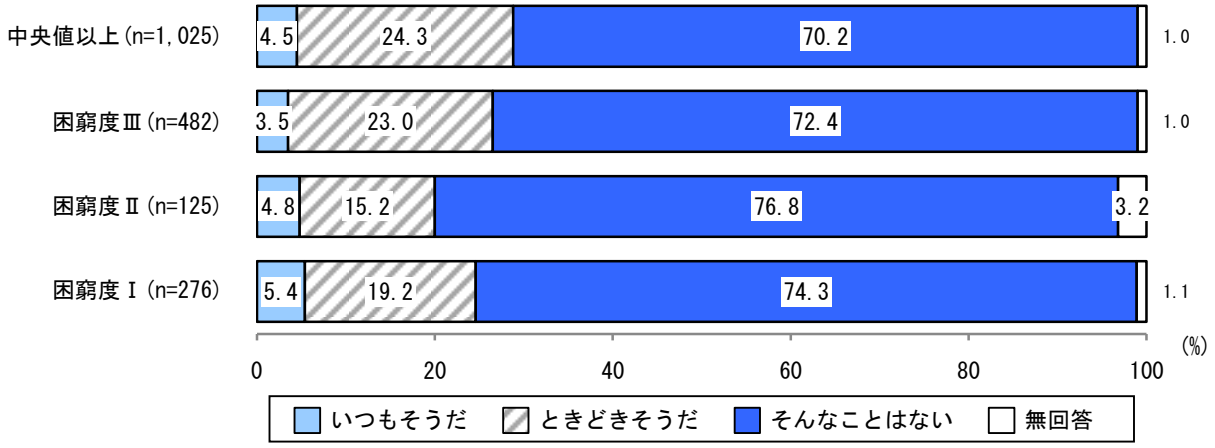
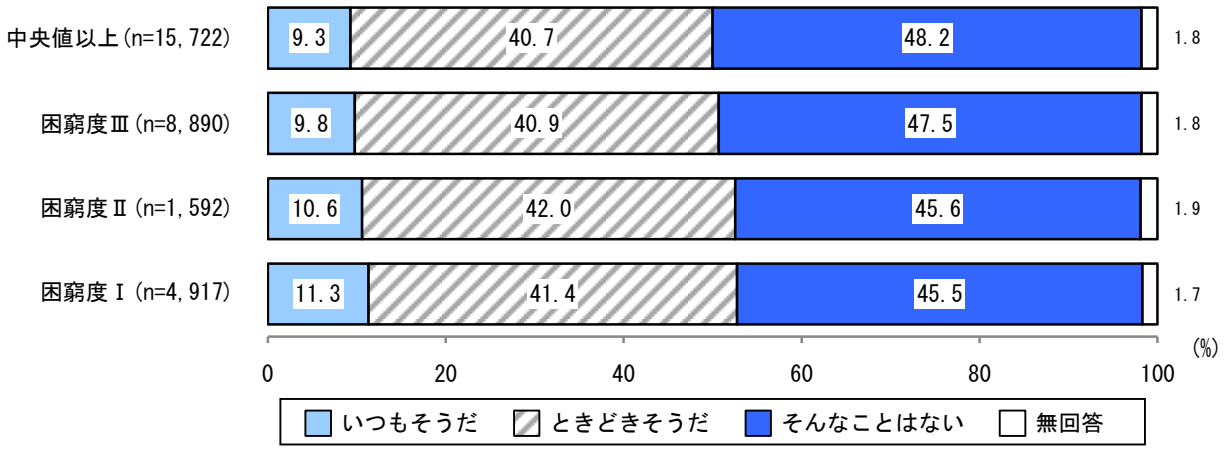


図 72. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑤一人ぼっちのような気がする

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で一人ぼっちのような気がするを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅰ群（5.4%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑥不安な気持ちになる（子ども票問 19⑥）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

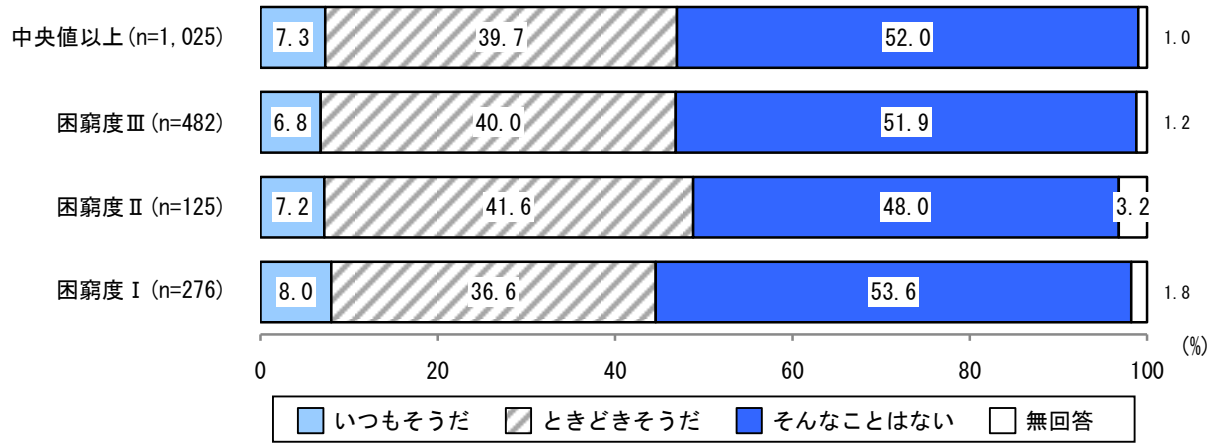
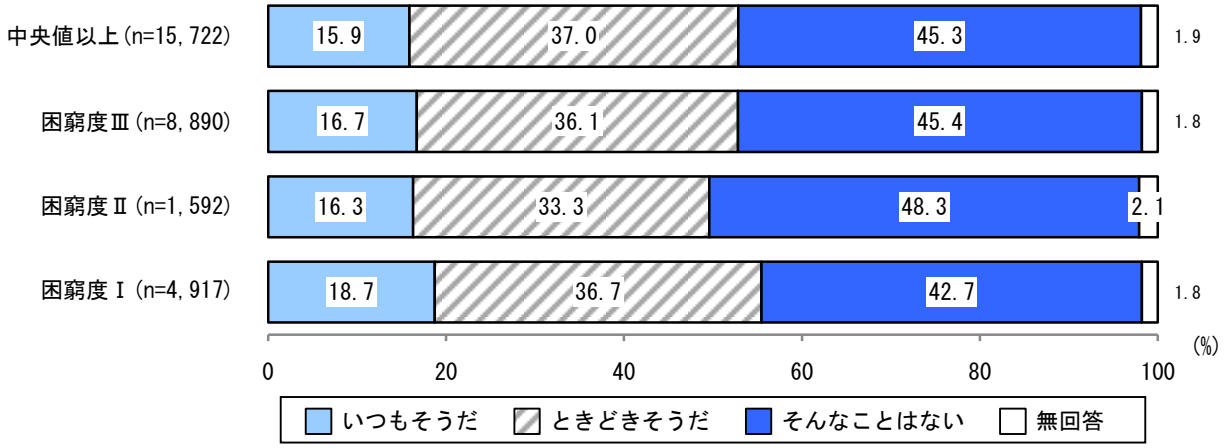


図 73. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑥不安な気持ちになる

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で不安な気持ちになるを見ると、困窮度別で大きな差はみられない。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑦まわりが気になる（子ども票問 19⑦）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

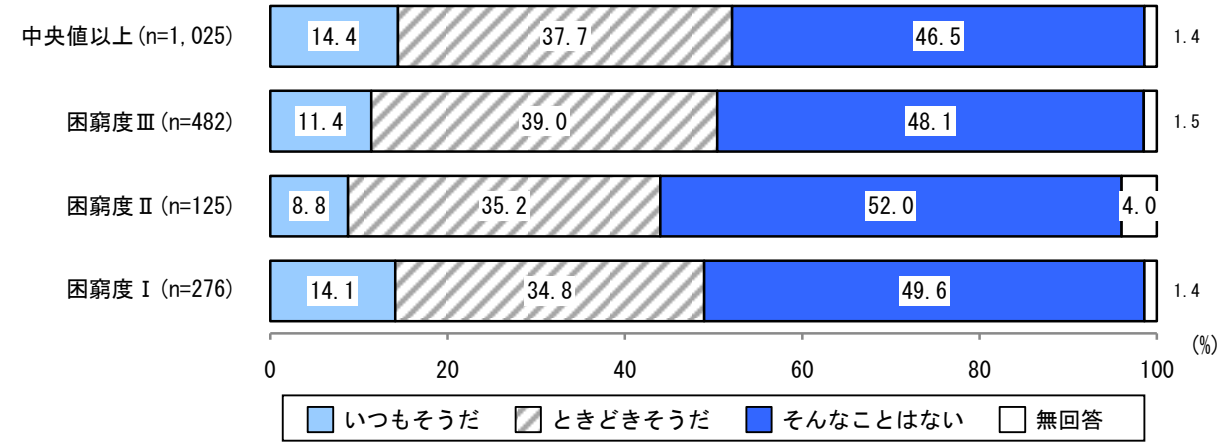
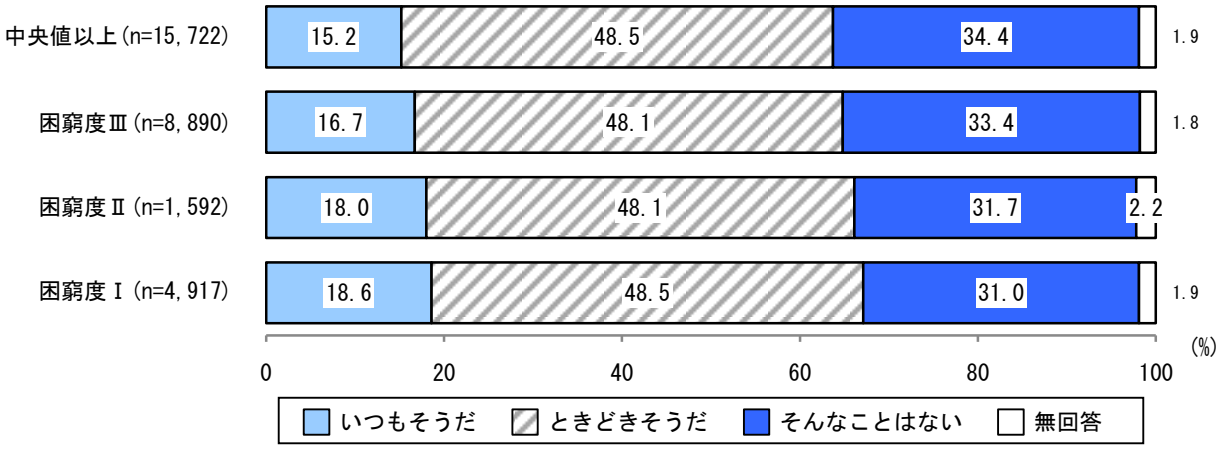


図 74. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑦まわりが気になる

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況でまわりが気になるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は中央値以上群（14.4%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑧やる気が起きない（子ども票問 19⑧）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

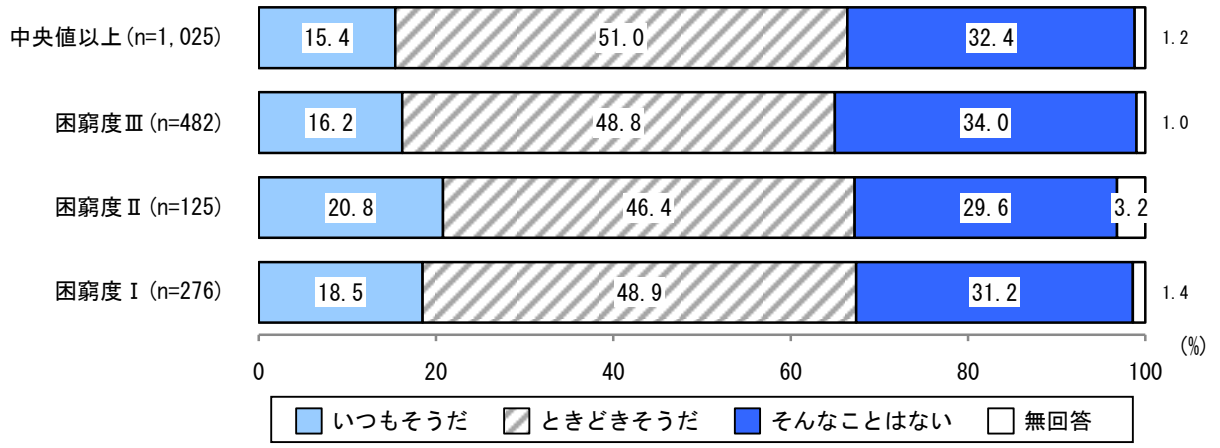
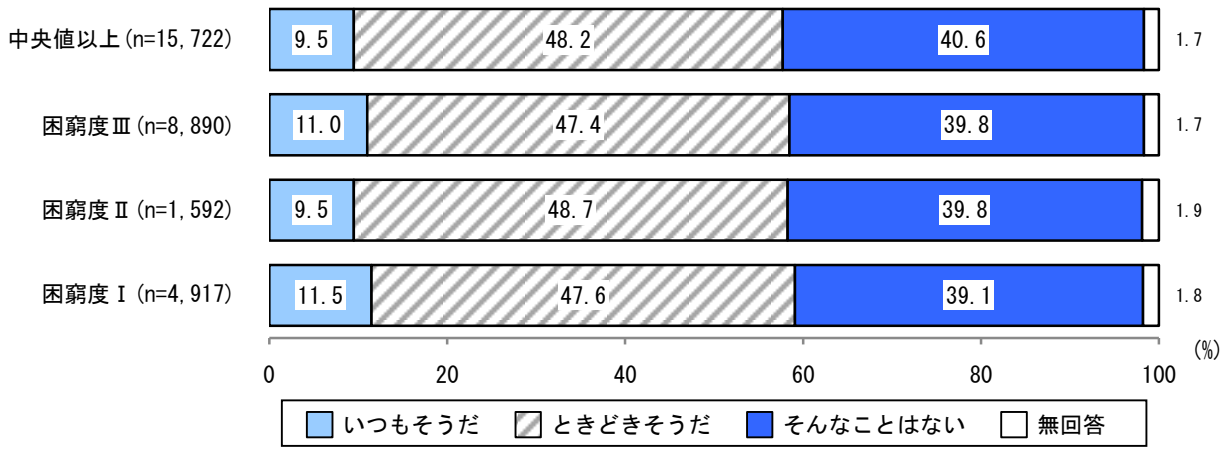


図 75. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑧やる気が起きない

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況でやる気が起きないを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅱ群（20.8%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑨いらいらする（子ども票問 19⑨）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

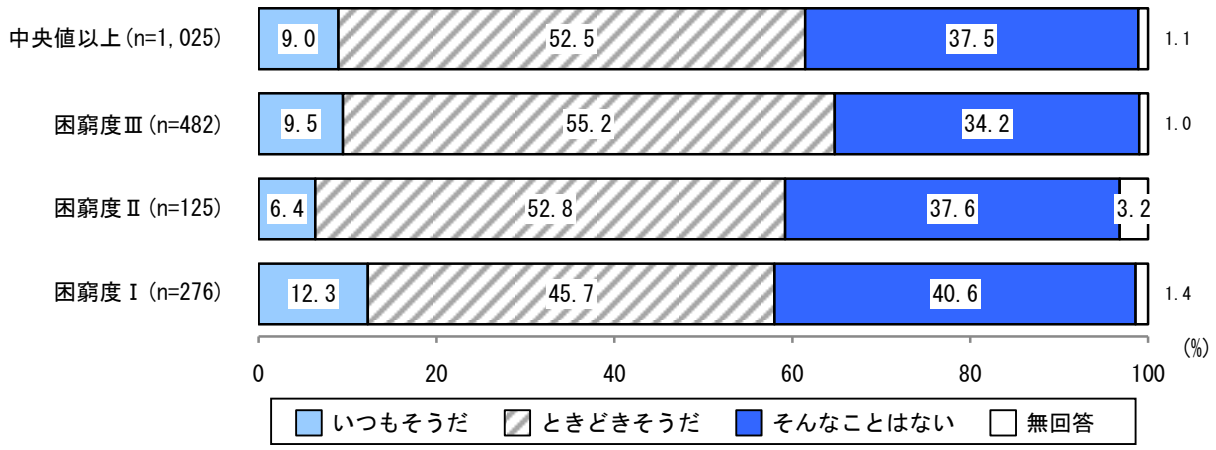
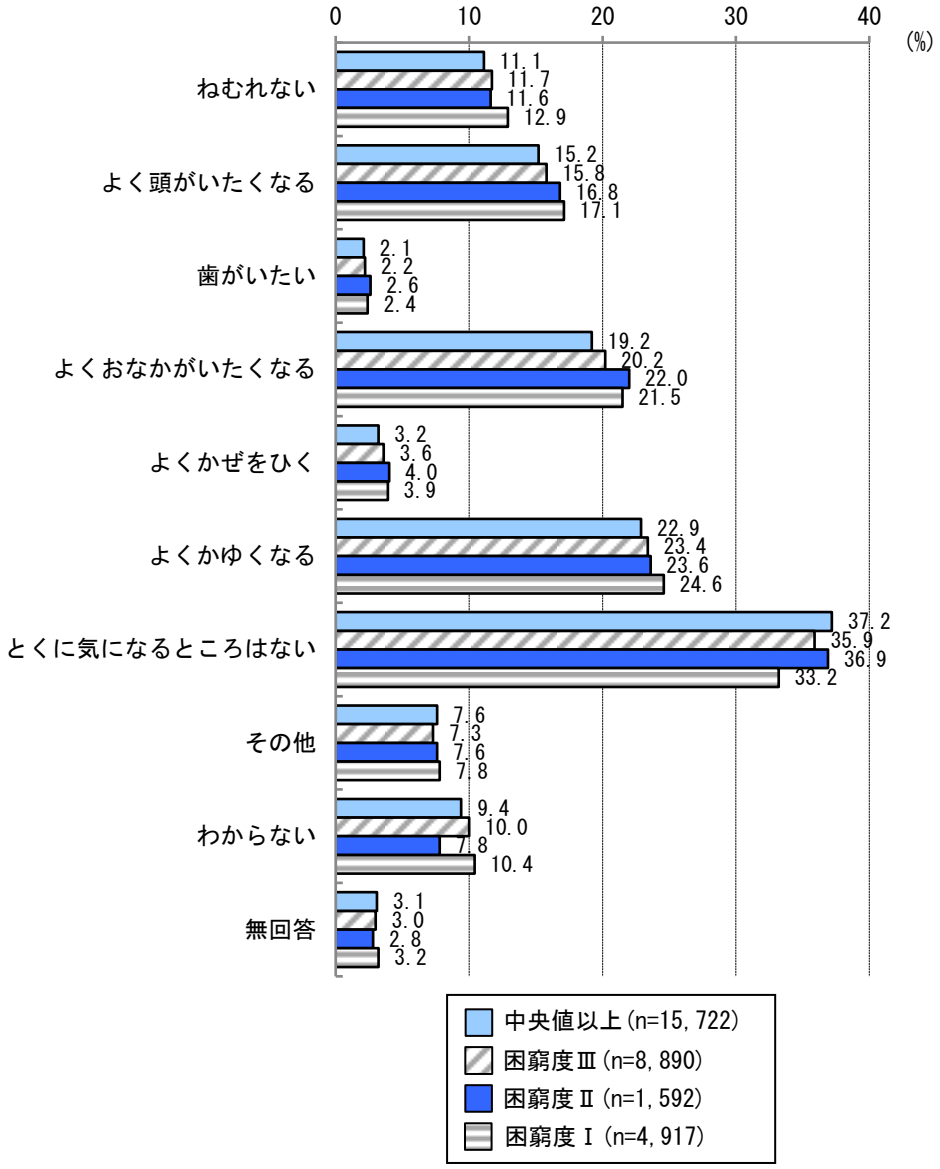


図 76. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑨いらいらする

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況でいらいらするを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅰ群（12.3%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、自分の体の状態で気になること（子ども票問 20）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

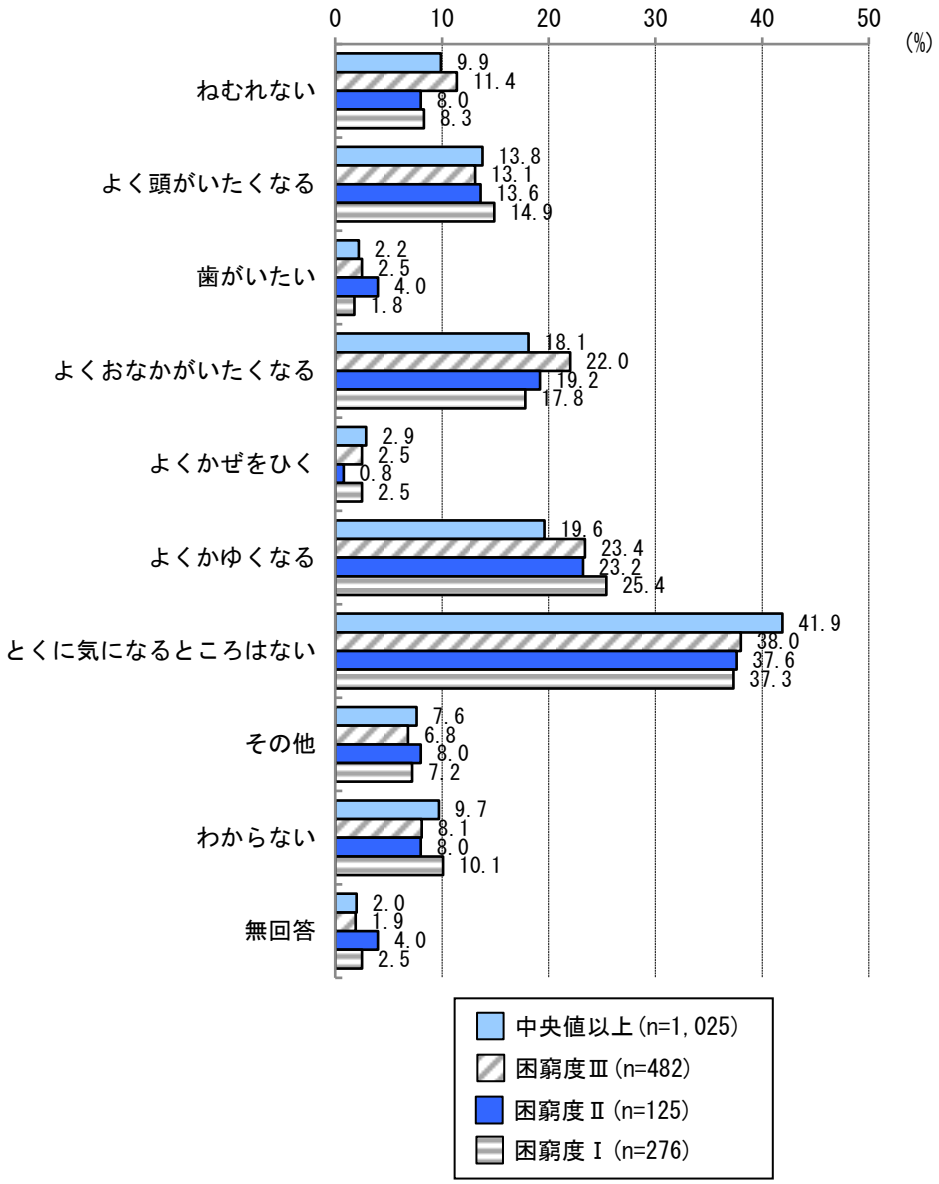
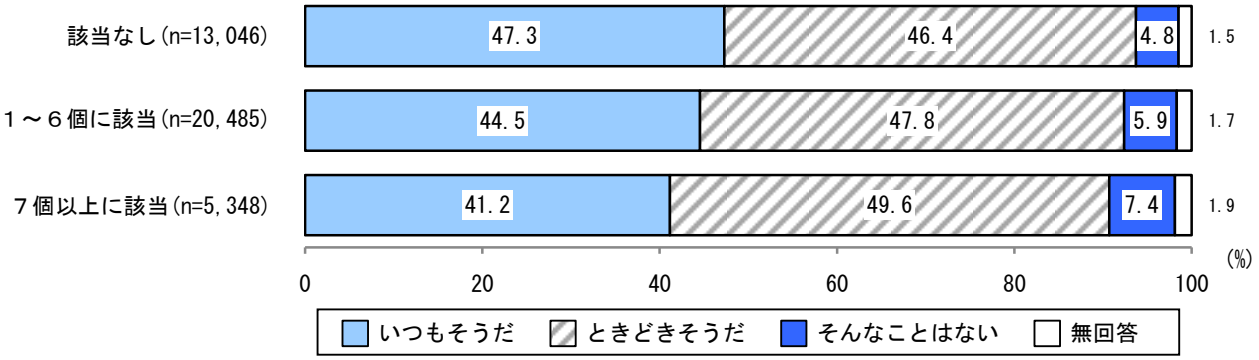


図 77. 困窮度別に見た、自分の体の状態で気になること

困窮度別に自分の体の状態で気になることを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「よくかゆくなる」25.4%（中央値以上群に対して1.3倍）、「よく頭がいたくなる」14.9%（同じく1.1倍）となっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　①楽しみにしていることがたくさんある（保護者票問７×子ども票問 19①）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

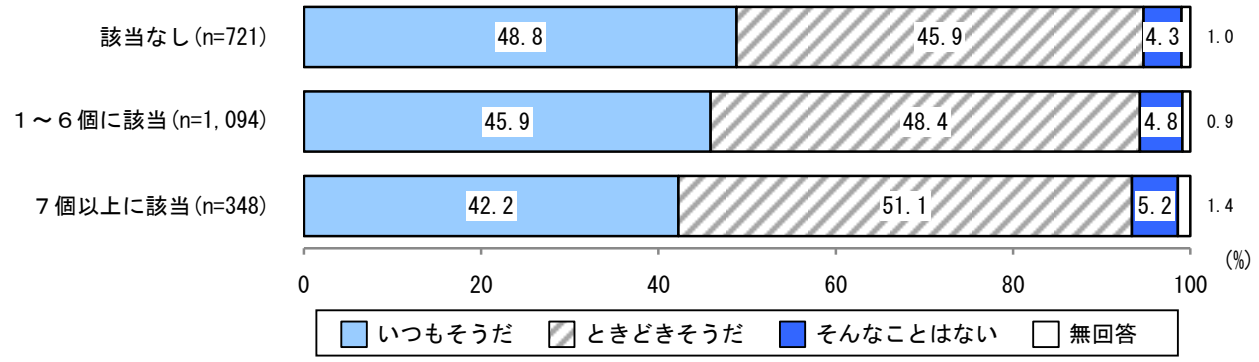
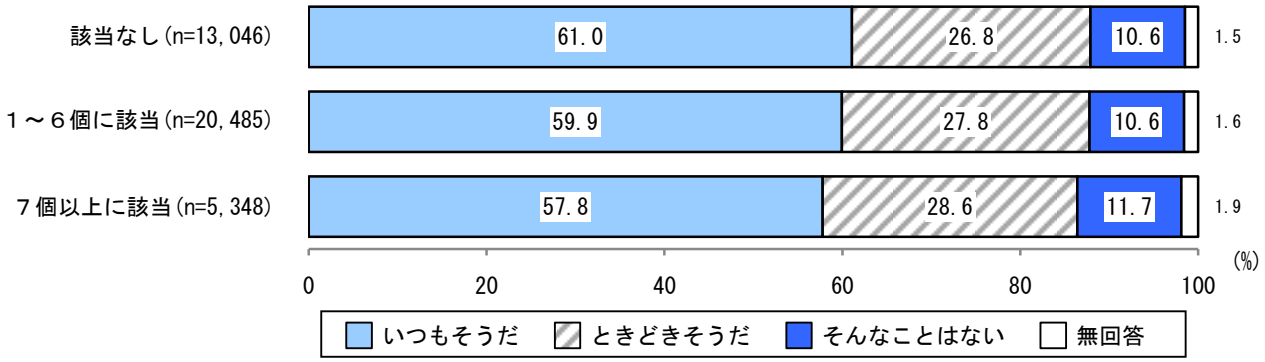


図 78. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
①楽しみにしていることがたくさんある

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で楽しみにしていることがたくさんあるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は該当数が多い人ほど割合が低く、「７個以上に該当」（42.2%）で最も低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　②遊びにでかけるのが好きだ（保護者票問７×子ども票問 19②）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

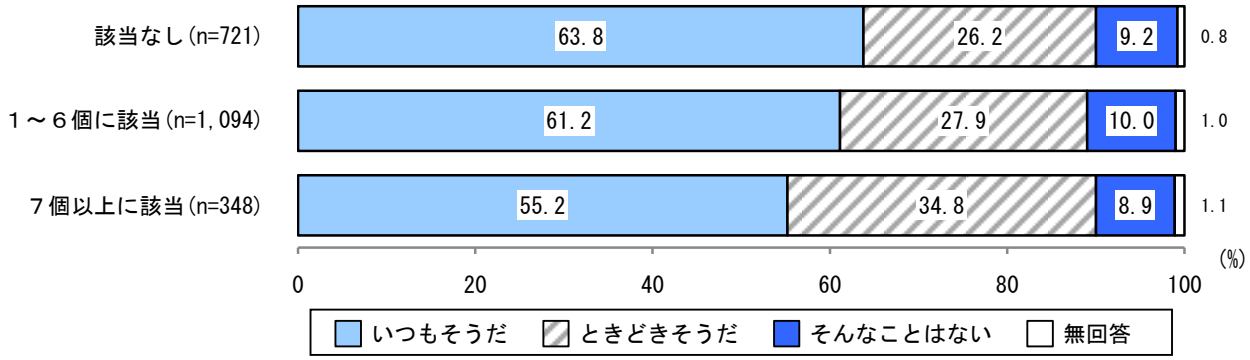
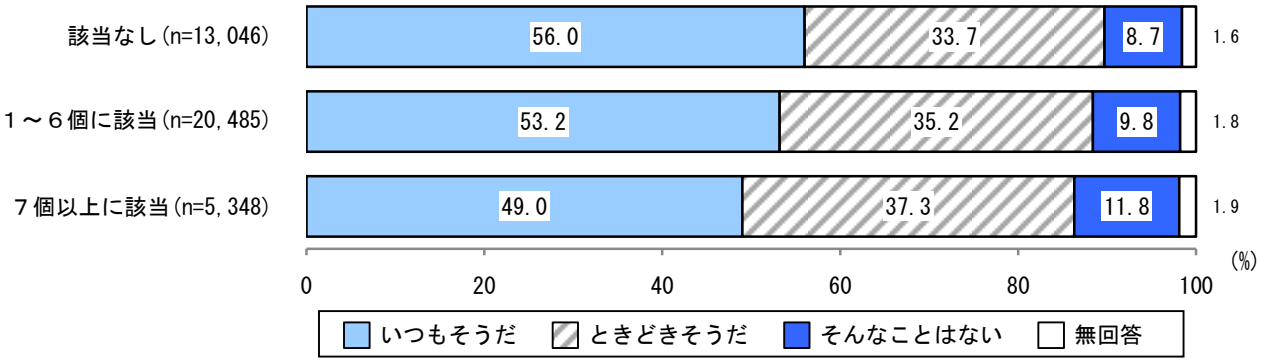


図 79. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
②遊びにでかけるのが好きだ

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で遊びにでかけるのが好きだを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は該当数が多い人ほど割合が低く、「７個以上に該当」（55.2%）で最も低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　③元気いっぱいだ
（保護者票問７×子ども票問 19③）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

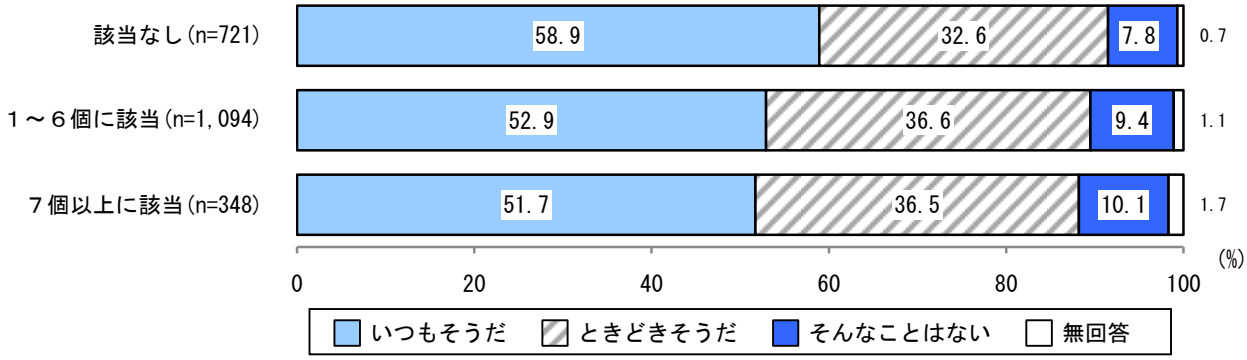
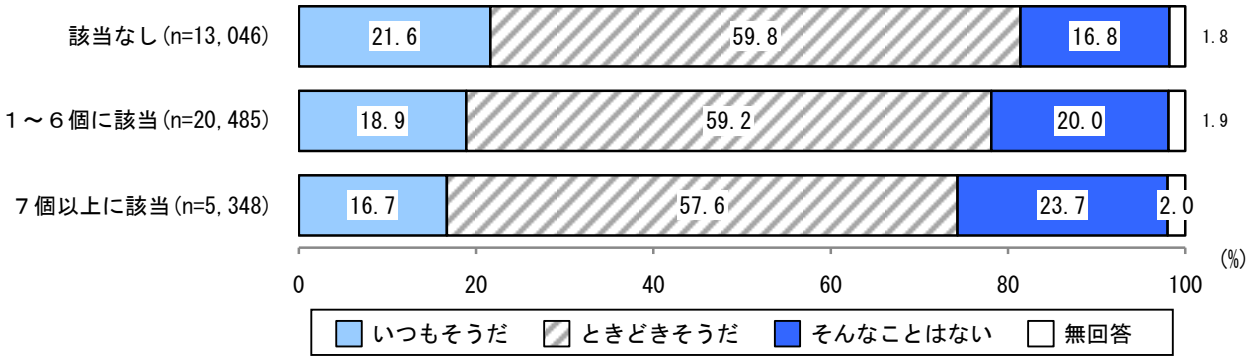


図 80. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　③元気いっぱいだ

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で元気いっぱいだを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は概ね、該当数が多い人ほど割合が低く、「７個以上に該当」が51.7％となっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　④やろうと思ったことがうまくできる（保護者票問７×子ども票問 19④）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

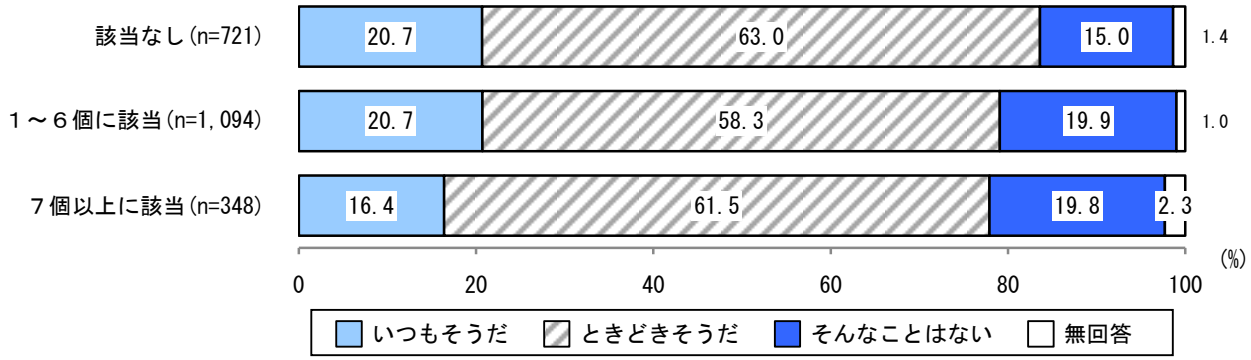
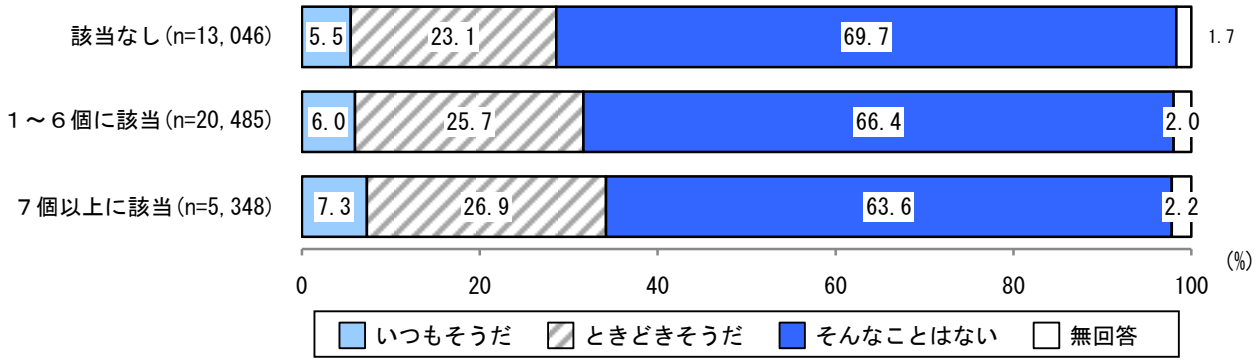


図 81. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
④やろうと思ったことがうまくできる

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況でやろうと思ったことがうまくできるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「７個以上に該当」（16.4%）で最も低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑤一人ぼっちのような気がする（保護者票問７×子ども票問 19⑤）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

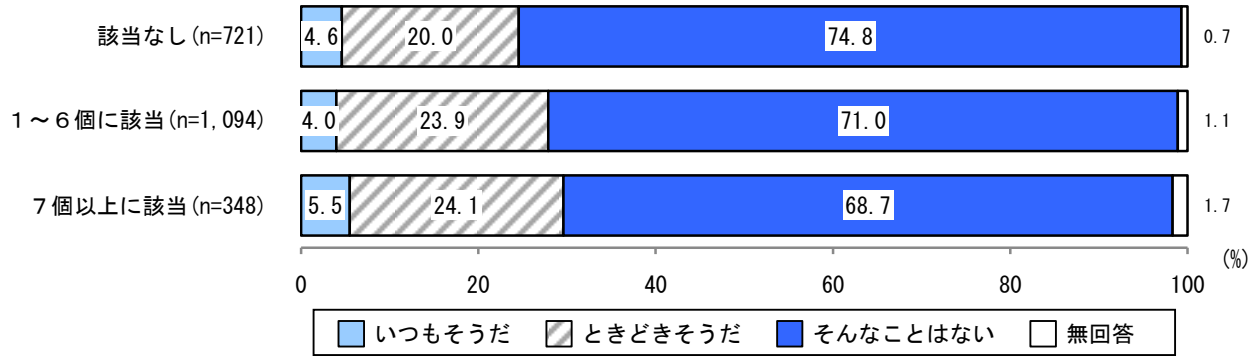
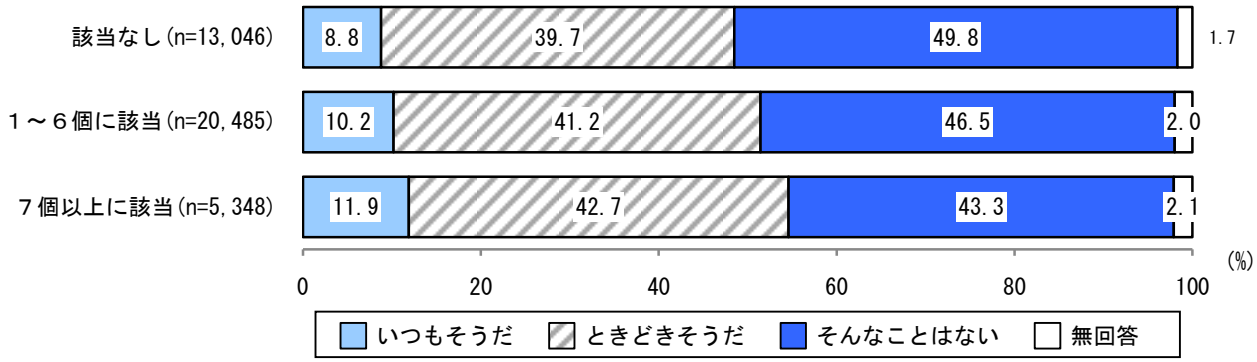


図 82. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
⑤一人ぼっちのような気がする

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で一人ぼっちのような気がするを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「７個以上に該当」（5.5%）で最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
⑥不安な気持ちになる（保護者票問７×子ども票問 19⑥）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

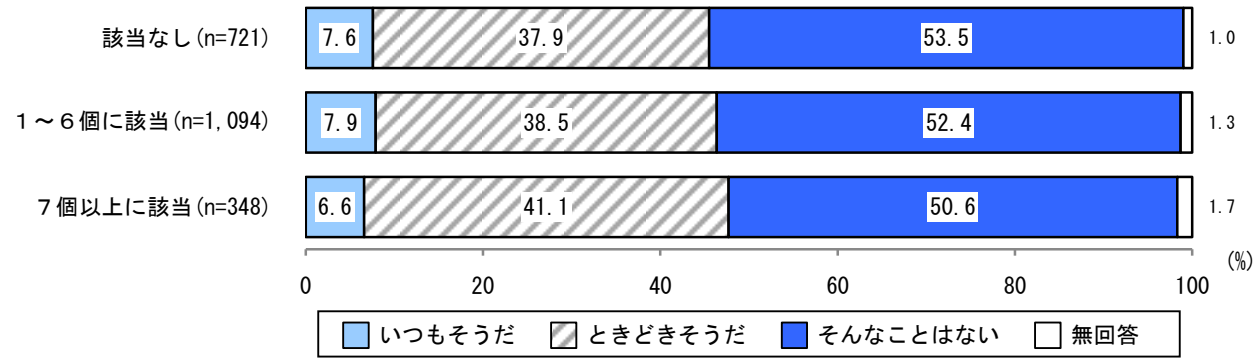
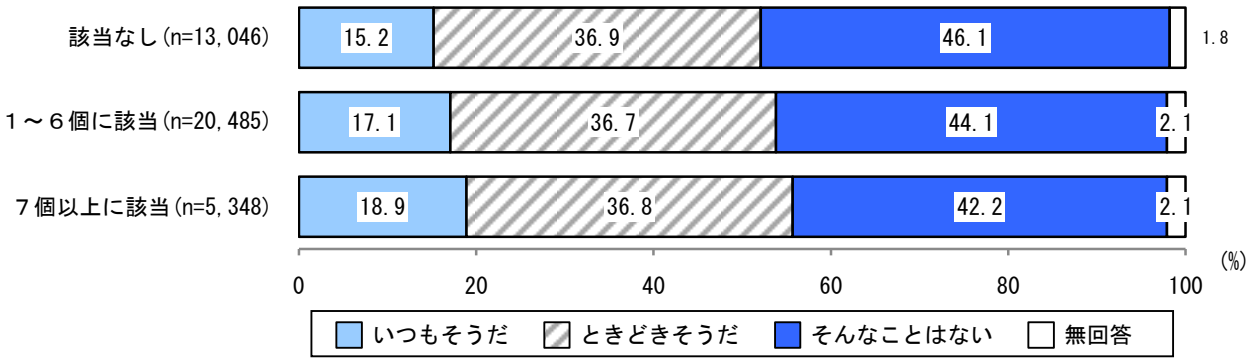


図 83. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑥不安な気持ちになる

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で不安な気持ちになるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「１～６個に該当」（7.9%）で最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑦まわりが気になる
（保護者票問７×子ども票問 19⑦）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

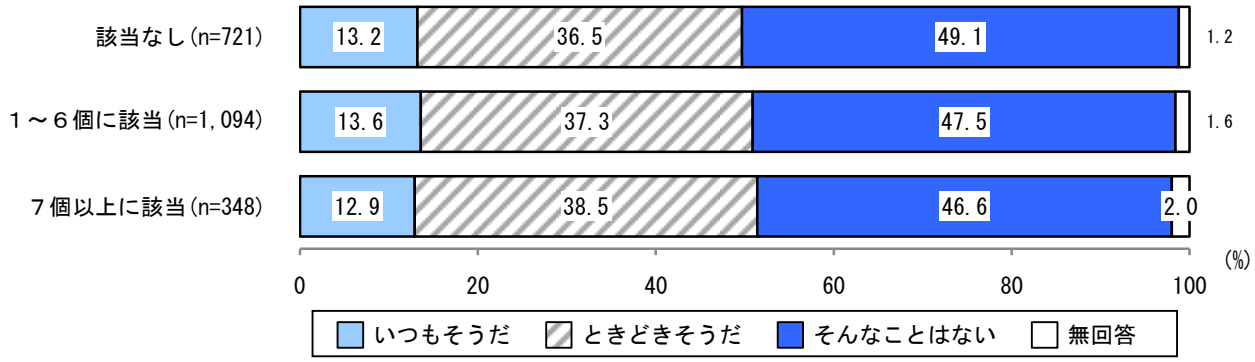
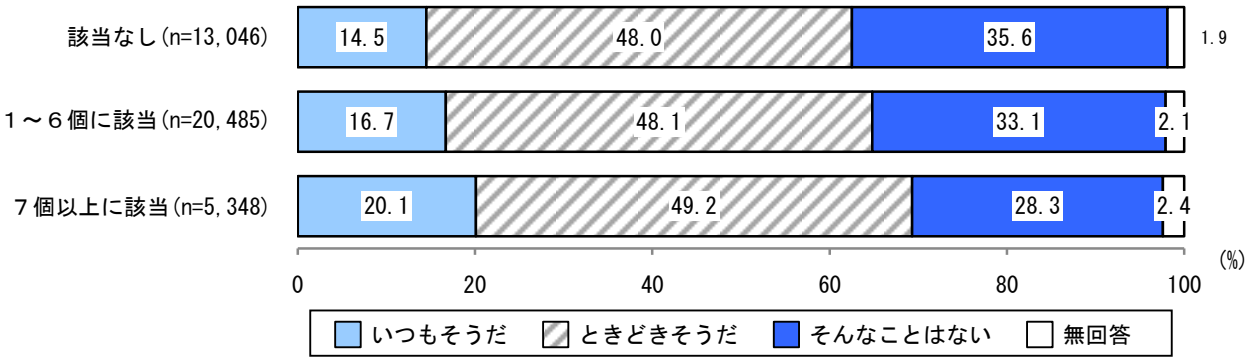


図 84. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑦まわりが気になる

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況でまわりが気になるを見ても、大きな差はみられない。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑧やる気が起きない
（保護者票問７×子ども票問 19⑧）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

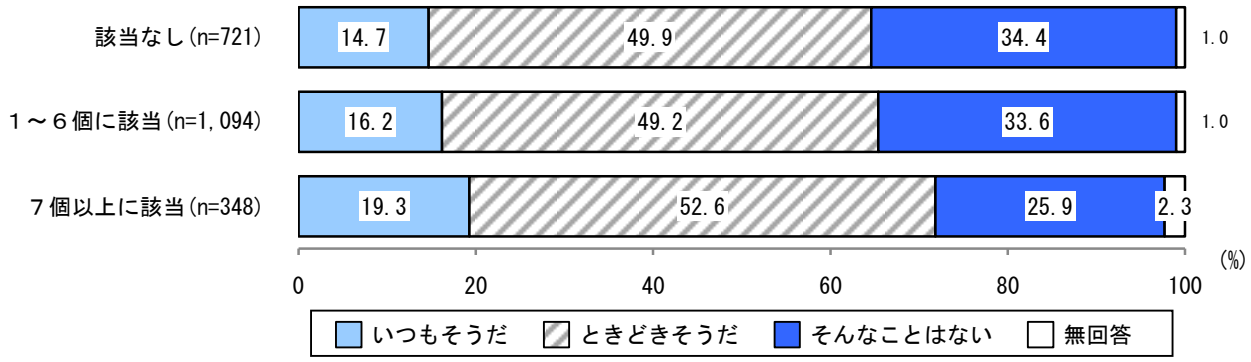
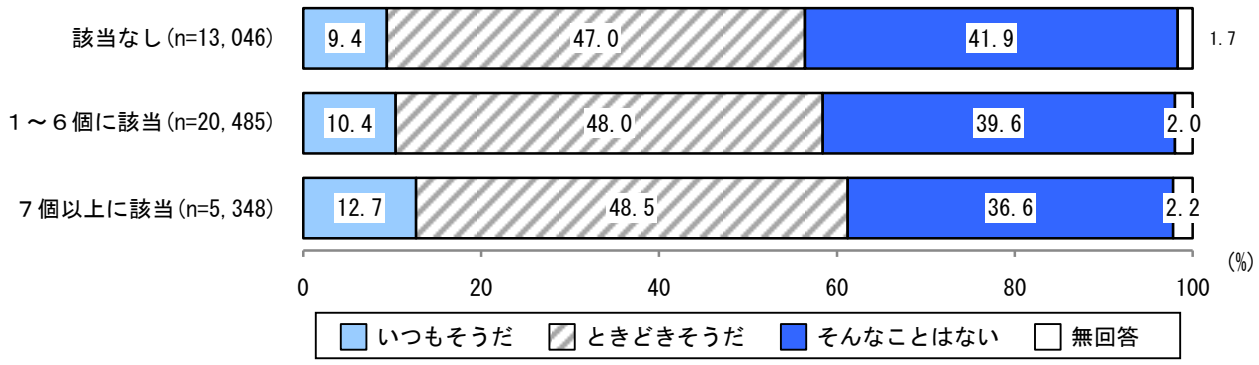


図 85. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑧やる気が起きない

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況でやる気が起きないを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は該当数が多い人ほど割合が高く、「７個以上に該当」が19.3%で最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑨いらいらする
（保護者票問７×子ども票問 19⑨）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

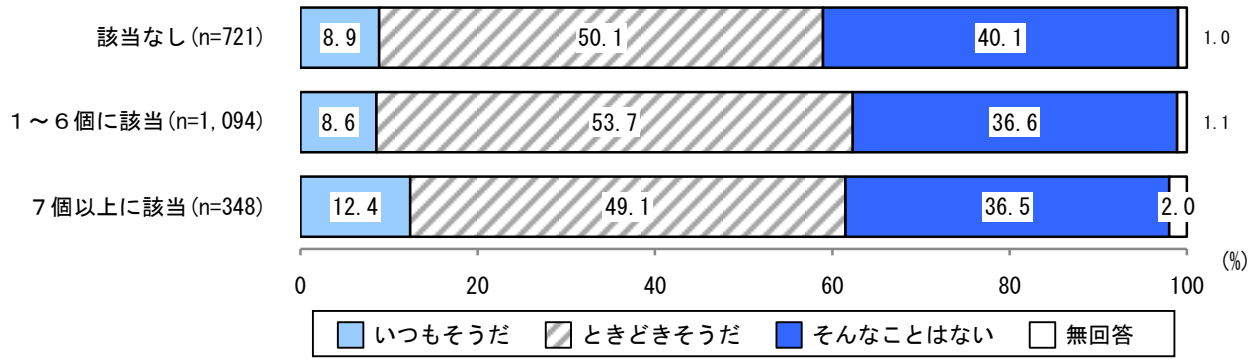
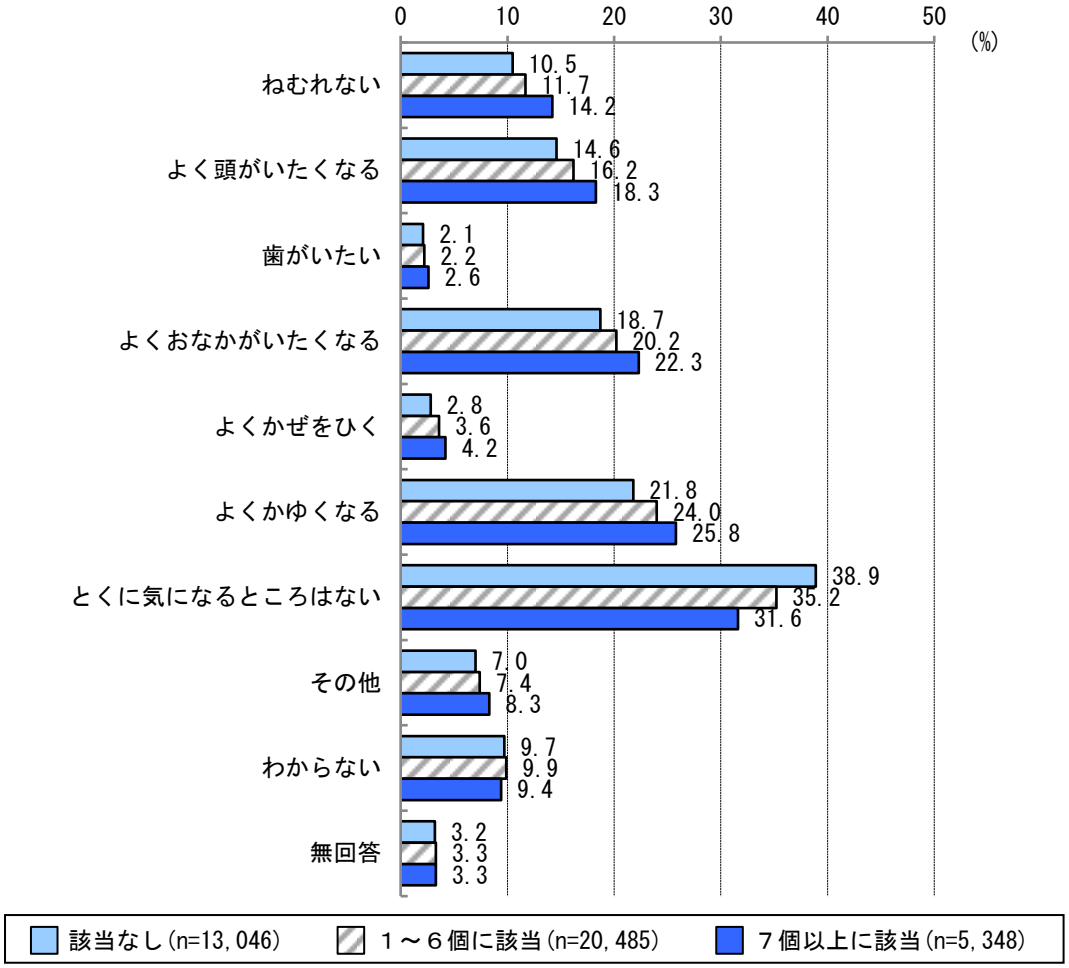


図 86. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑨いらいらする

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況でいらいらするを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「７個以上に該当」が12.4%で最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体の状態で気になること
（保護者票問７×子ども票問 20）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

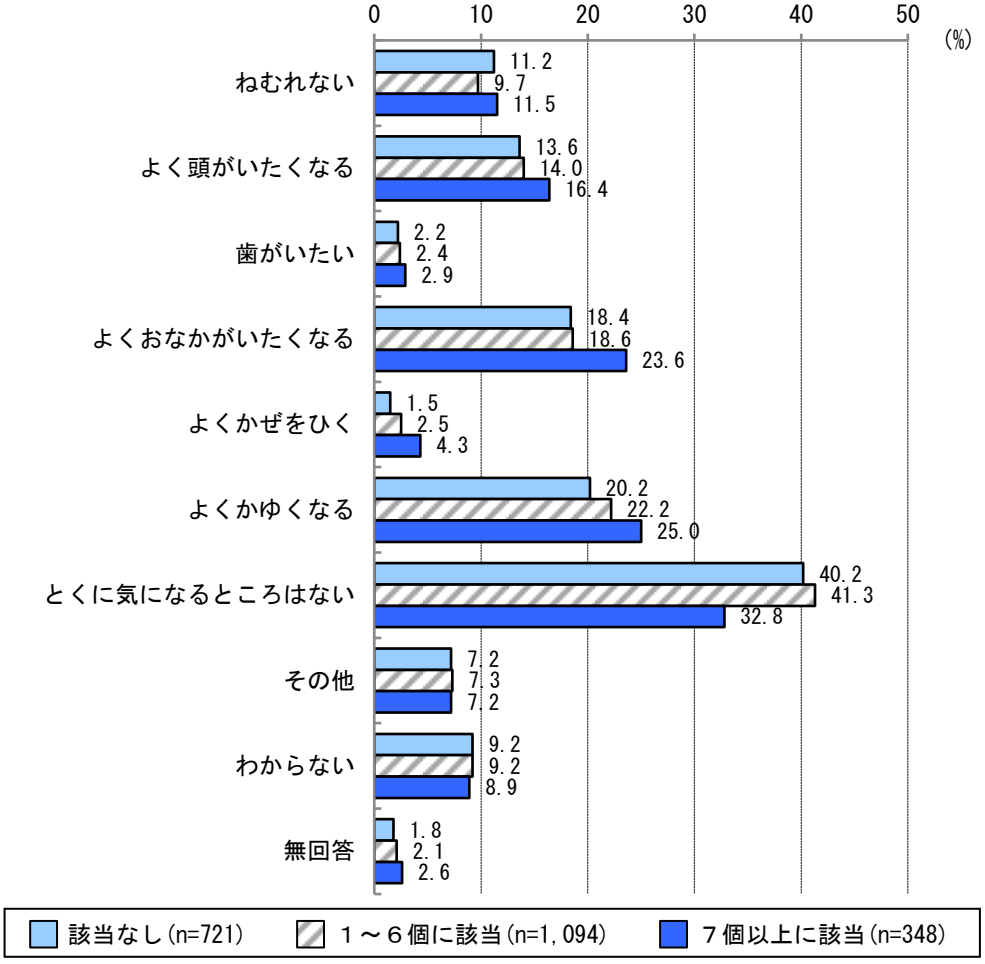
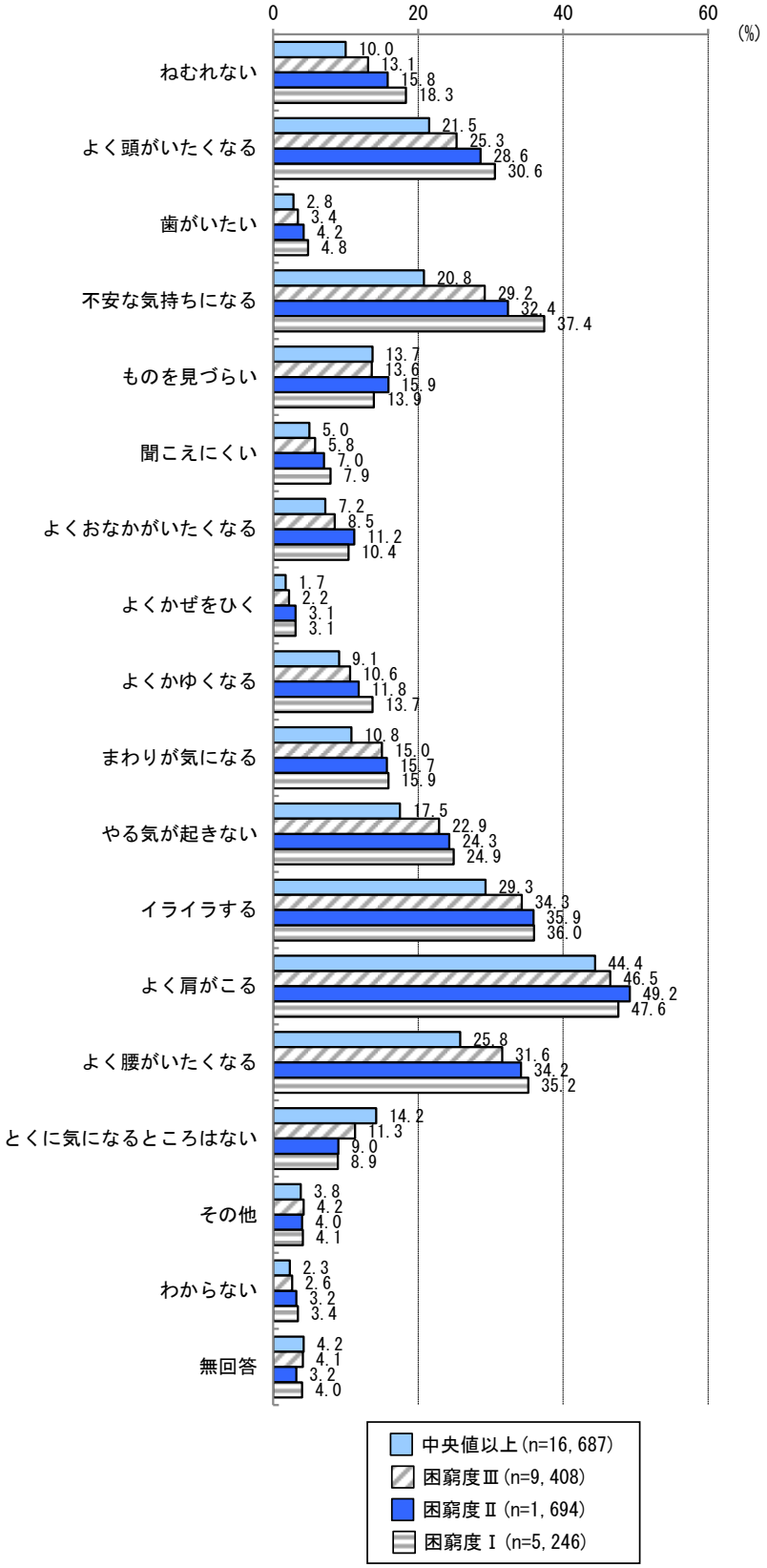


図 87. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体の状態で気になること

経済的な理由による経験の該当数別に自分の体の状態で気になることを見ると、「７個以上に該当」群と「該当なし」群間で差が大きい項目に着目しながら、「７個以上に該当」群の数値を挙げると、「よくかぜをひく」4.3%（「該当なし」群に対して2.9倍）、「歯がいたい」2.9%（同じく1.32倍）、「よくおなかがいたくなる」23.6%（同じく1.28倍）となっている。

困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること（保護者票問 22）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

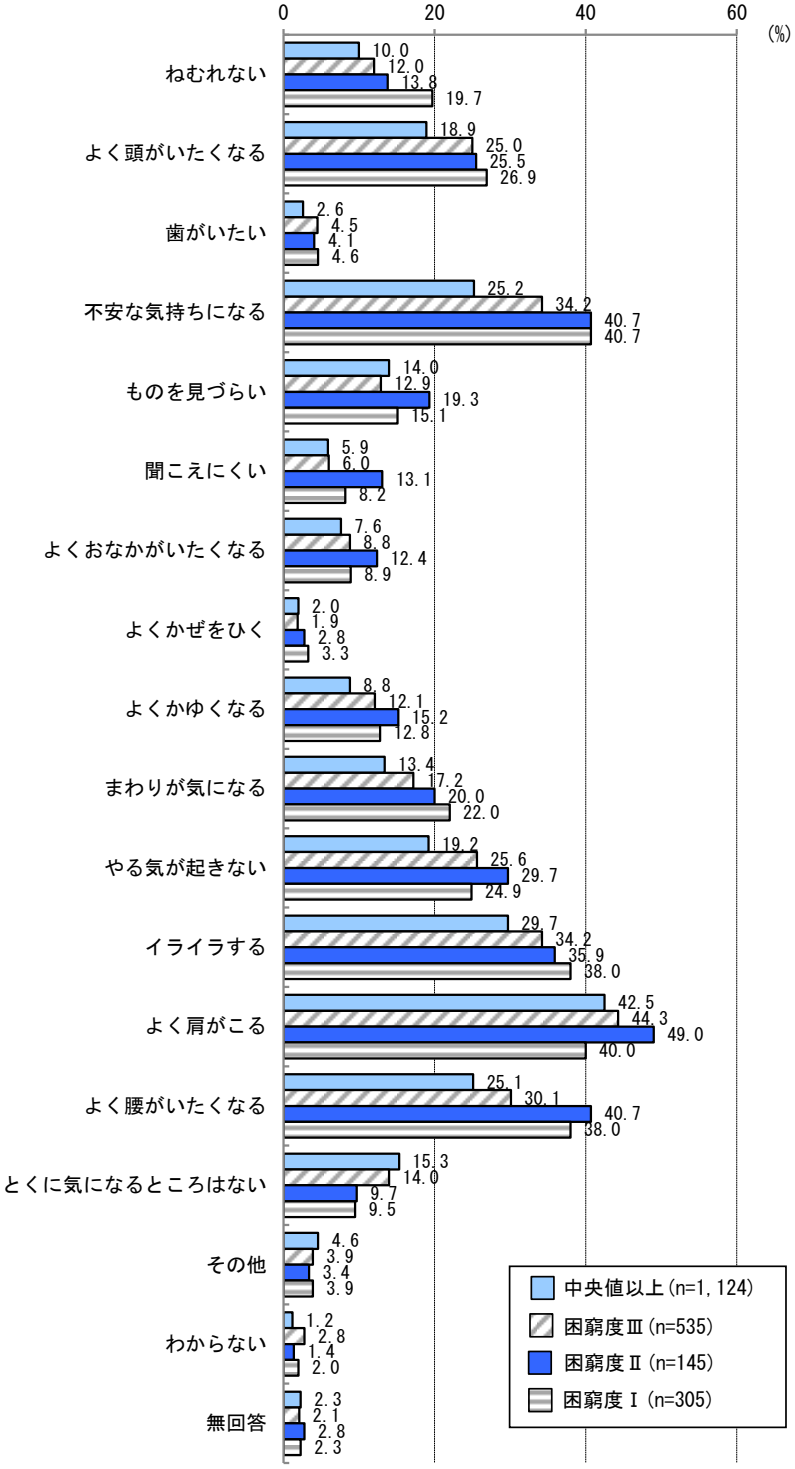
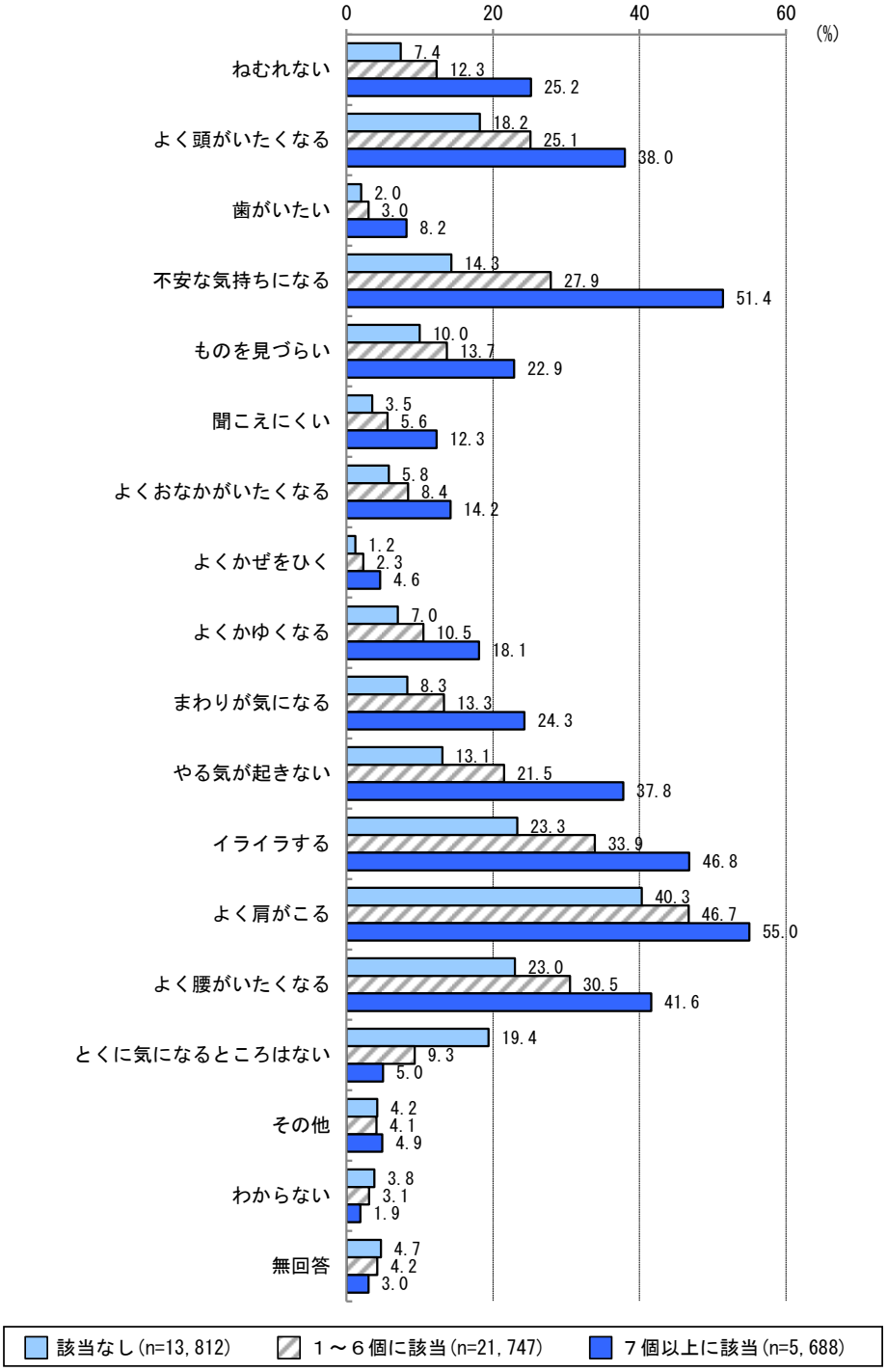


図 88. 困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること

困窮度別に自分の体や気持ちで気になること（保護者）を見ると、多くの項目において、困窮度が高まるにつれ、自分の体や気持ちで気になることのそれぞれの項目が高くなっている。特に、困窮度Ⅰ群に着目して、中央値以上群との差が大きい順に挙げると、「ねむれない」19.7%（中央値以上群に対し2.0倍）、「歯がいたい」4.6%（同じく1.8倍）、「よくかぜをひく」3.3%（同じく1.7倍）となっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること
（保護者票問７×保護者票問 22）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

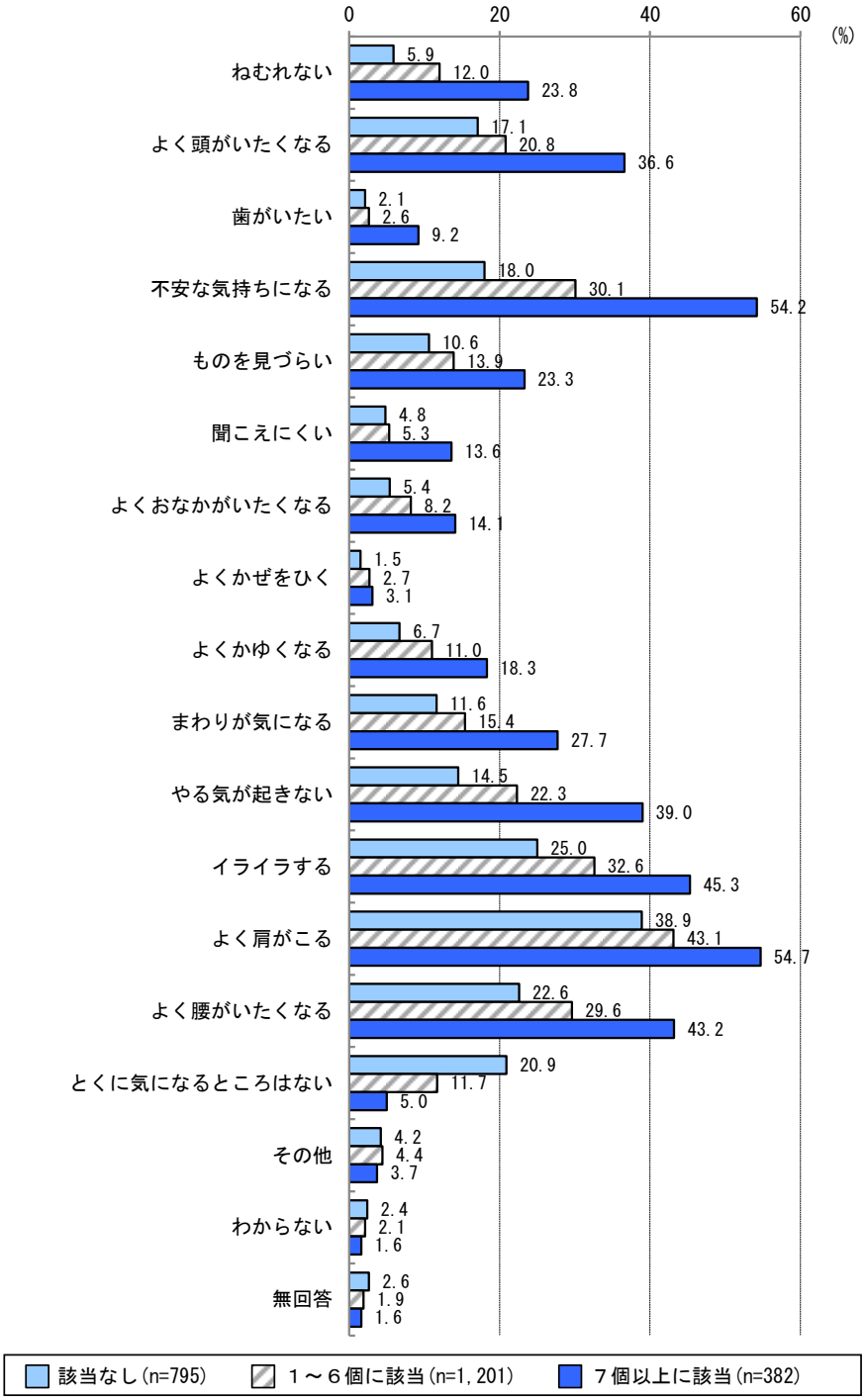
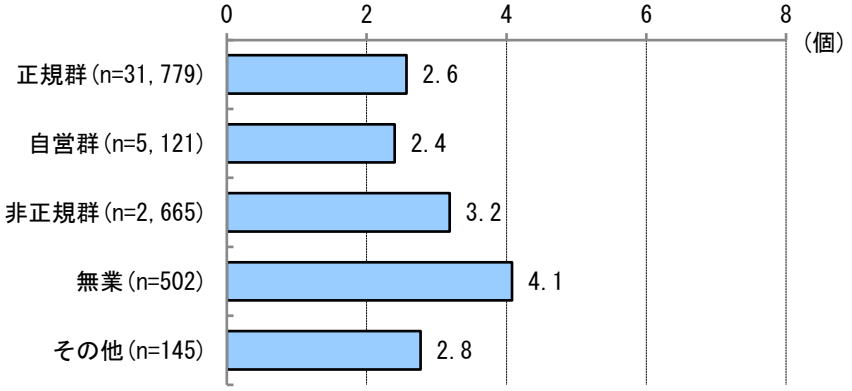


図 89. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること

経済的な理由による経験の該当数別に自分の体や気持ちで気になること(保護者)を見ると、すべての項目において、経済的な理由による経験の該当数が多くなるにつれて、自分の体や気持ちで気になることのそれぞれの項目が高くなっている。特に、「７個以上に該当」した人と「該当なし」と回答した人との差が大きく開いている。「７個以上に該当」群について、「該当なし」との差が大きい順に挙げると、「歯がいたい」9.2%（「該当なし」に対して4.4倍)、「ねむれない」23.8%（同じく4.0倍)、「不安な気持ちになる」54.2%（同じく3.0倍）となっている。

就労状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（保護者票問 22）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

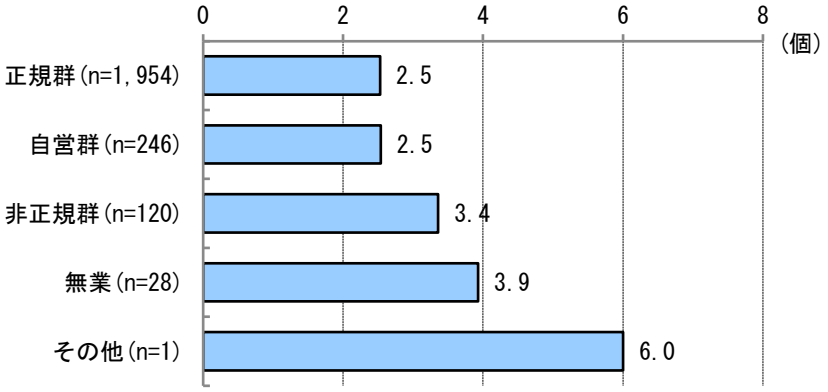


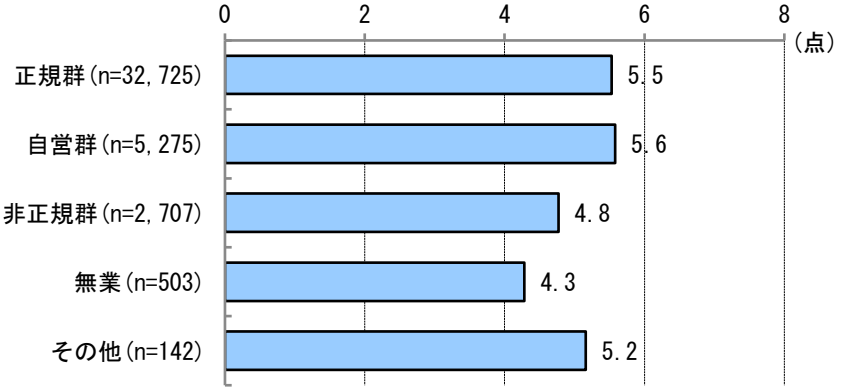
図 90. 就労状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数

就労状況別に自分の体や気持ちで気になることの該当数を見ると、「正規群」、「自営業」に対して、「非正規群」、「無業」、「その他」群において、自分の体や気持ちで気になることの該当個数が増える結果となった。

就労状況別に見た、支えてくれる人得点（保護者票問18）

※「あなたを支え、手伝ってくれる人はいますか」という質問について、「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」「あなたの気持ちを察して思いやってくれる人」「趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人」「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」「子どもの学びや遊びを豊かにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）」「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」「留守を頼める人」の７項目を提示した。それぞれの人物が「いる」か「いない」かで評定させたうえで、「いない」を０点、「いる」を１点とし、７項目の合計得点を「支えてくれる人得点」とした。得点が高いほど、身近に支えてくれる人が多く存在することを表す。

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

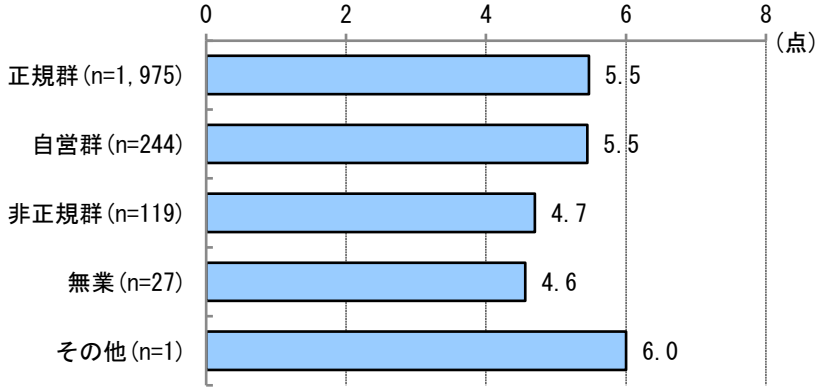
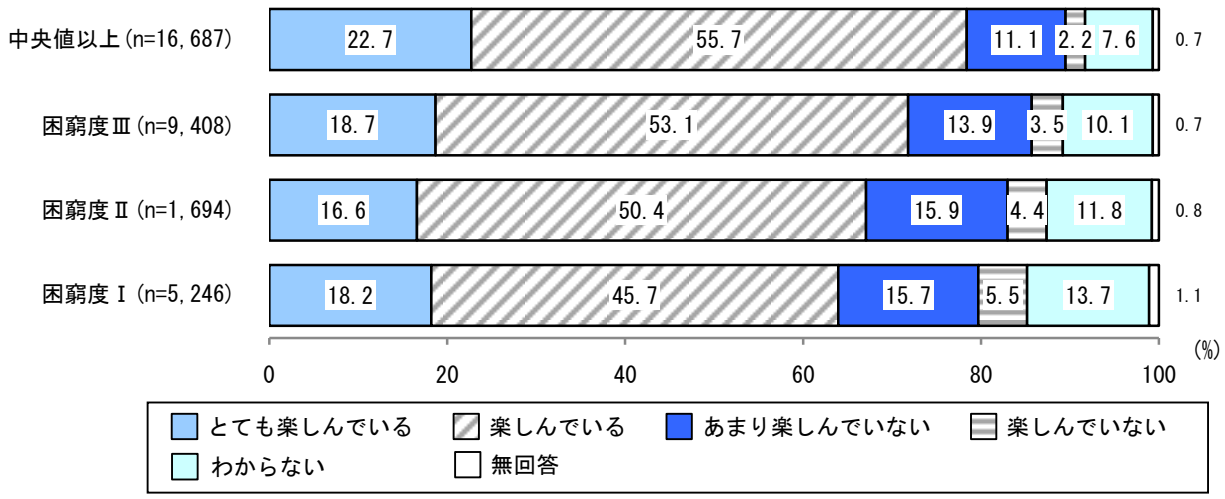


図 91. 就労状況別に見た、支えてくれる人得点

就労状況別に「支えてくれる人」の有無を得点化し、その平均値を見ると、「正規群」(5.5点)、「自営群」（5.5点）が高く、「非正規群」で4.7点と低下し、「無業」で4.6点と最も低い結果となった。

困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）（保護者票問 21(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

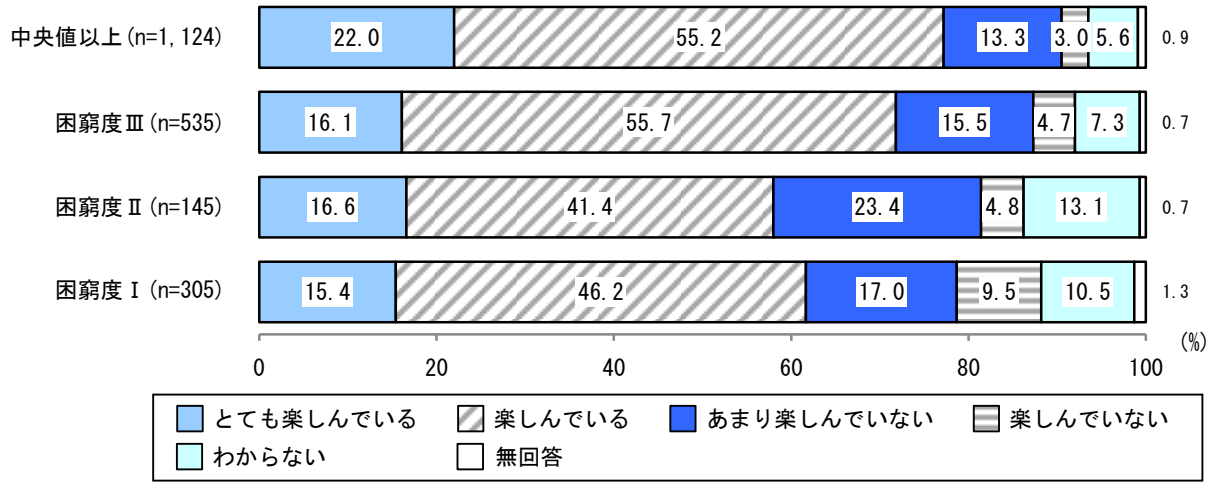
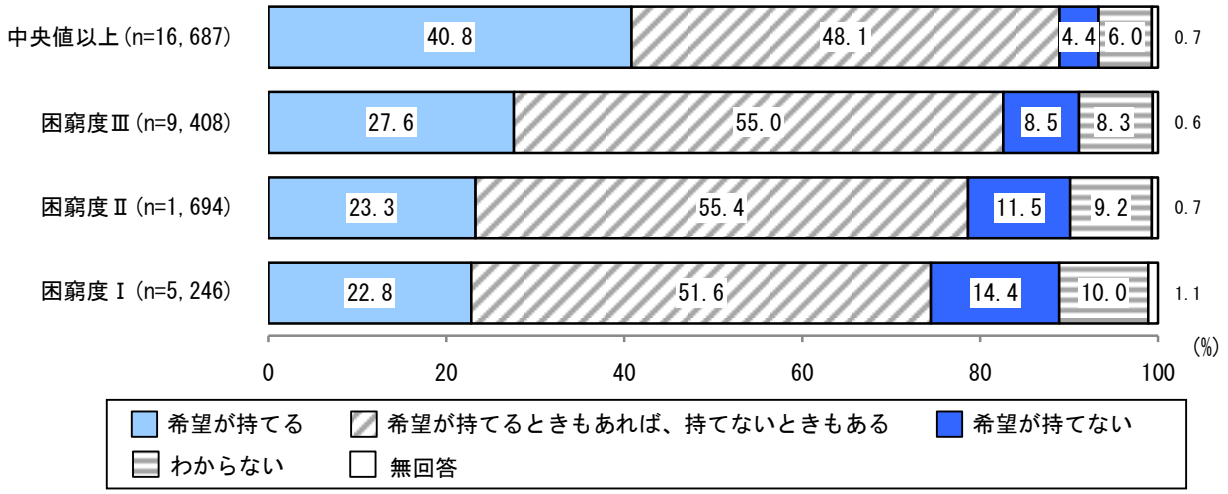


図 92. 困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）

困窮度別に生活を楽しんでいるかを見ると、「とても楽しんでいる」「楽しんでいる」をあわせてなんらか『楽しんでいる』割合では、中央値以上群で77.2%と最も高く、それ以外の群では、なんらか『楽しんでいる』割合が低くなった。続いて、困窮度Ⅲ群で71.8%、ここでは困窮度Ⅰ群と困窮度Ⅱ群では逆転し、困窮度Ⅰ群が61.6%、困窮度Ⅱ群において58.0%と最も低くなった。逆に、「楽しんでいない」と回答した割合は、困窮度が高まるにつれて多くなっている。中央値以上群が3.0%と最も低く、次いで、困窮度Ⅲ群で4.7%、困窮度Ⅱ群で4.8%、困窮度Ⅰ群で9.5%となった。

困窮度別に見た、心の状態（将来に対して希望を持っているか）（保護者票問 21(2)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

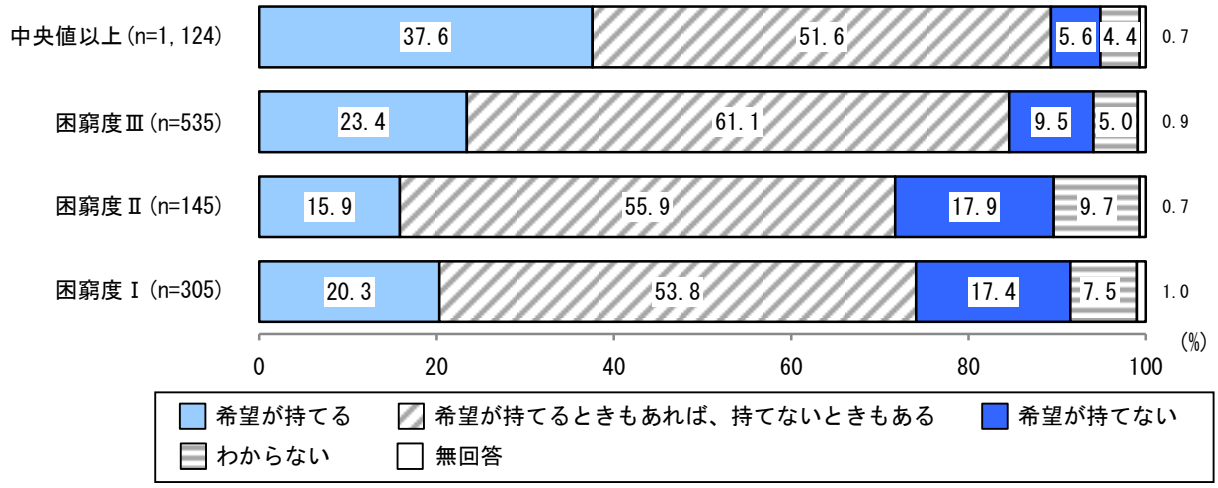
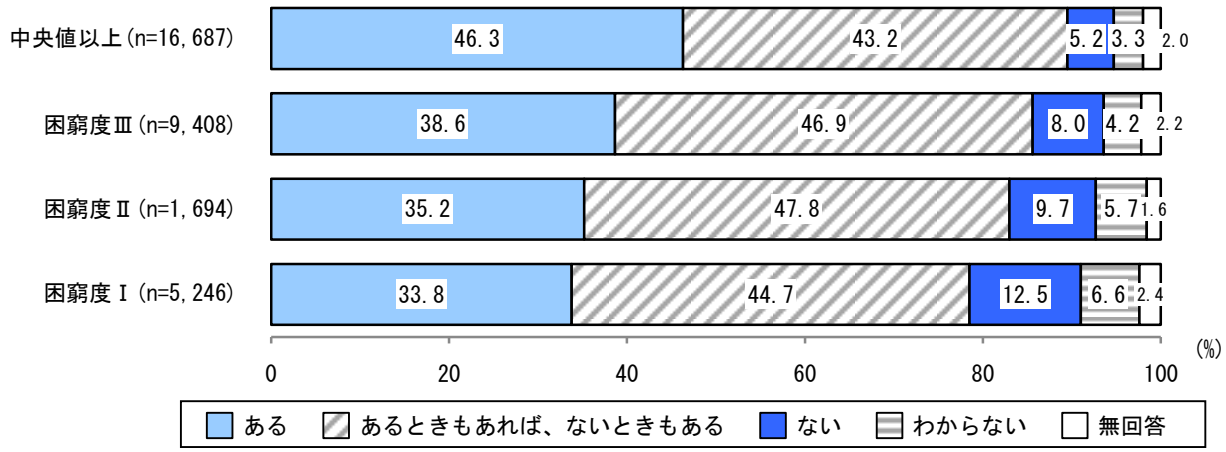


図 93. 困窮度別に見た、心の状態（将来に対して希望を持っているか）

困窮度別に将来への希望を見ると「希望が持てる」と回答する割合は、中央値以上群では、37.6%であるのに対し、困窮度Ⅲ群では23.4%、ここでは困窮度Ⅰ群と困窮度Ⅱ群では逆転し、困窮度Ⅰ群が20.3%、困窮度Ⅱ群において15.9%と最も低くなった。

困窮度別に見た、心の状態（ストレスを発散できるものがあるか）（保護者票問 21(3)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

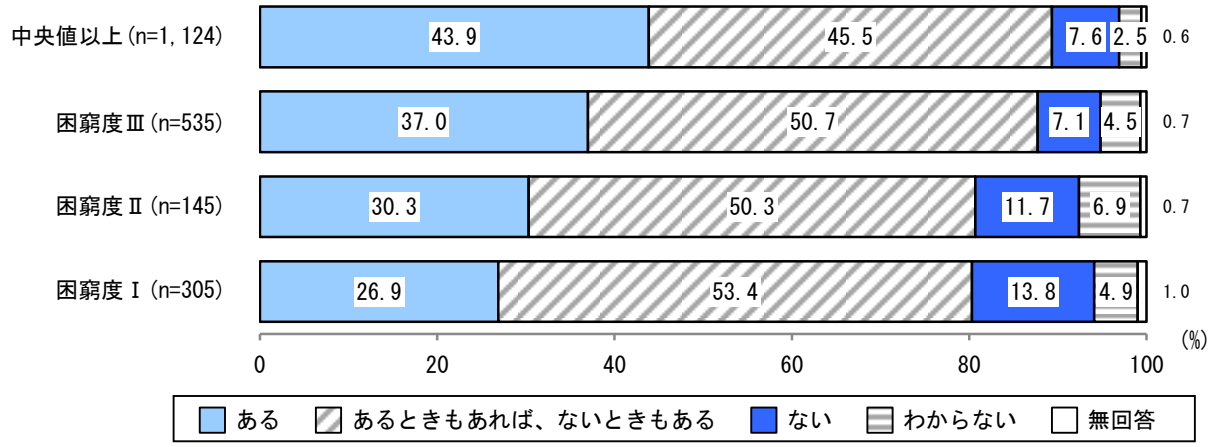
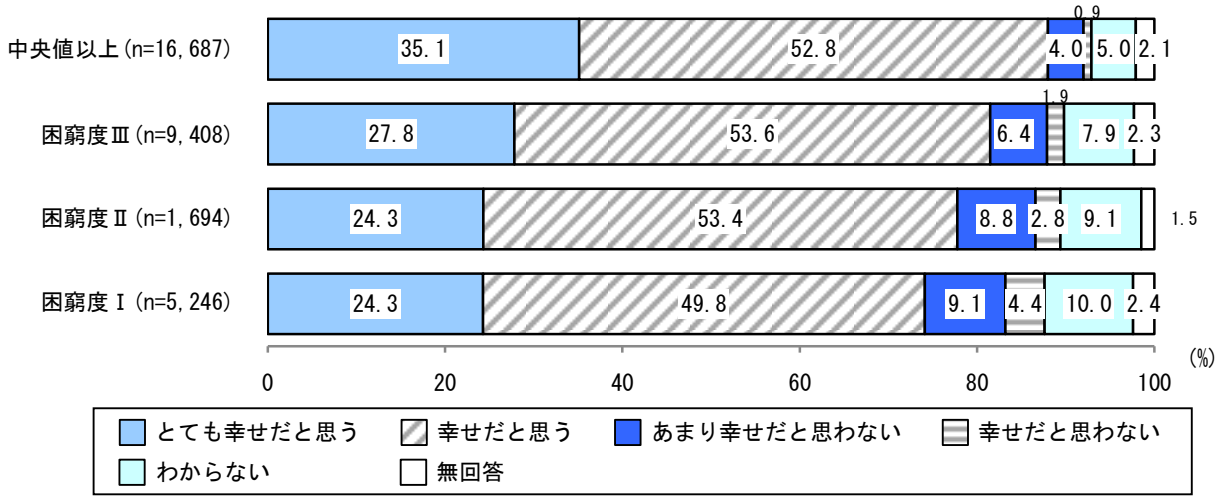


図 94. 困窮度別に見た、心の状態（ストレスを発散できるものがあるか）

困窮度別にストレスを発散できるものについて、ストレスが発散できるものが「ない」という回答に着目すると、困窮度Ⅰ群が13.8%と、「ない」と回答する割合が最も高くなっている。困窮度Ⅲ群では、7.1%で最も低く、中央値以上群7.6%、困窮度Ⅱ群11.7%となっている。

困窮度別に見た、心の状態（自分が幸せだと思うか）（保護者票問 21(4)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

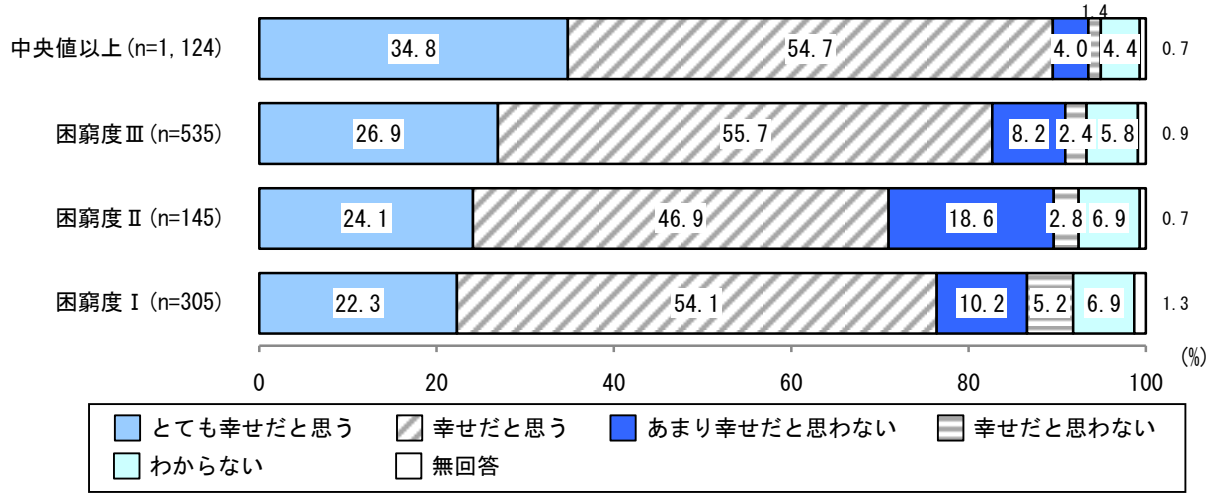


図 95. 困窮度別に見た、心の状態（自分が幸せだと思うか）

困窮度別に幸せだと思うかを見ると、「とても幸せだと思う」と「幸せだと思う」をあわせて、なんらか『幸せと思う』と回答した割合は、困窮度が高まるにつれて低くなり、困窮度Ⅱ群（71.0%）で最も低くなっている。逆に、なんらか『幸せではない』（「あまり幸せだと思わない」と「幸せだと思わない」をあわせた割合）と回答する割合は、中央値以上群で5.4%にとどまるのに対して、困窮度Ⅱ群で21.4%、困窮度Ⅲ群で15.4%、困窮度Ⅰ群で10.6%となっている。

＜健康に関する考察＞

まず、困窮度別に生活習慣と健康状態について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目して述べる。朝食の頻度では、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「毎日またはほとんど毎日」(91.6%対81.5%）が約10ポイント高くなっている。子どもの自覚症状では、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「よくかゆくなる」(25.4%対19.6%）が5ポイント以上高く、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「とくに気になるところはない」(41.9%対37.3%）が約5ポイント高くなっている。保護者の自覚症状では、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「ねむれない」(19.7%対10.0%）「よく頭がいたくなる」(26.9%対18.9%）「まわりが気になる」(22.0%対13.4%）「イライラする」(38.0%対29.7%）がいずれも8ポイント以上、「よく腰がいたくなる」(38.0%対25.1%)、「不安な気持ちになる」(40.7%対25.2%）では12ポイント高くなっている。また、保護者の心の状態を見ると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、生活を「楽しんでいない」(9.5%対3.0%）が5ポイント以上、将来に対して「希望が持てない」(17.4%対5.6%）が10ポイント以上高くなっており、一方で中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、ストレスを発散できるものが「ある」(43.9%対26.9%）が15ポイント以上、自分が「とても幸せだと思う」(34.8%対22.3%）が10ポイント以上高くなっている。

次に、経済的な理由による経験の該当数を見ると、個数が増えるにしたがって、「元気いっぱいだ」で「いつもそうだ」の割合が低くなる傾向にある。自覚症状では、個数が増えるにしたがって子どもは「よくかゆくなる」の割合が高くなる傾向にあり、保護者では「ねむれない」「よく頭がいたくなる」「不安な気持ちになる」「よくかゆくなる」「まわりが気になる」「やる気が起きない」「イライラする」「よく肩がこる」「よく腰がいたくなる」の割合が高くなる傾向にある。これらの結果から、経済的に困難な世帯では、保護者では不安やイライラなどのメンタルヘルスに影響が出ている可能性があり、同時に肩こりや腰痛が多く、心身の休養が不十分である可能性がうかがえる。また、経済的に困難な世帯では、保護者・子どもいずれもかゆみを感じており、アトピーやあせも、シラミなどの症状が推測され、衛生状態が懸念される。いずれの症状に関しても、医療機関を受診できていない可能性があり、何らかのサポートが必要である。一方で経済的に困難のない世帯の保護者は、ストレス発散ができていたり、幸福感を感じていたりするなど、望ましい状態で過ごすことができている。

続いて、保護者の就労状況別の生活習慣を見てみる。正規群では朝食を「毎日またはほとんど毎日」食べる割合が高く（90.8%)、正規群以外の群はいずれも90%未満であり（「その他」群は該当なし)、特に無業群では68.2%となっている。この結果から、正規の職に就いている保護者がいない世帯では、食事が不十分であることがうかがえる。この背景には、経済的困難だけでなく、毎日決まった働き方をしていないことで基本的な生活習慣が整っていない可能性も挙げられる。

また、食事習慣別の親子関係や健康状態に着目する。朝食の頻度別に見ると、朝食を「毎日またはほとんど毎日」食べている群では、「食べない」群と比べ、子どもを「とても信頼している」（51.9%対44.4%)、子どもと会話を「よくする」(68.1%対61.9%)、子どもの将来に「とても期待している」(25.5%対17.5%)がいずれも5ポイント以上高くなっている。また、「食べない」群では「毎日またはほとんど毎日」食べている群に比べ、休日に子どもと関わる時間が「２時間未満」(30.2%対18.5%)が10ポイント以上高くなっている。子どもの自己効力感では、朝食を「毎日またはほとんど毎日」食べている群では、「食べない」群と比べ、1点以上高くなっており、学校が休みの日の昼食を「必ず食べる」群では他の群に比べ高い傾向がある。これらの結果から、ほぼ毎日規則正しく朝食・昼食を摂ることは、保護者と子どもの関係をよりよくするとともに、子どもの自己効力感を高める可能性が示唆された。

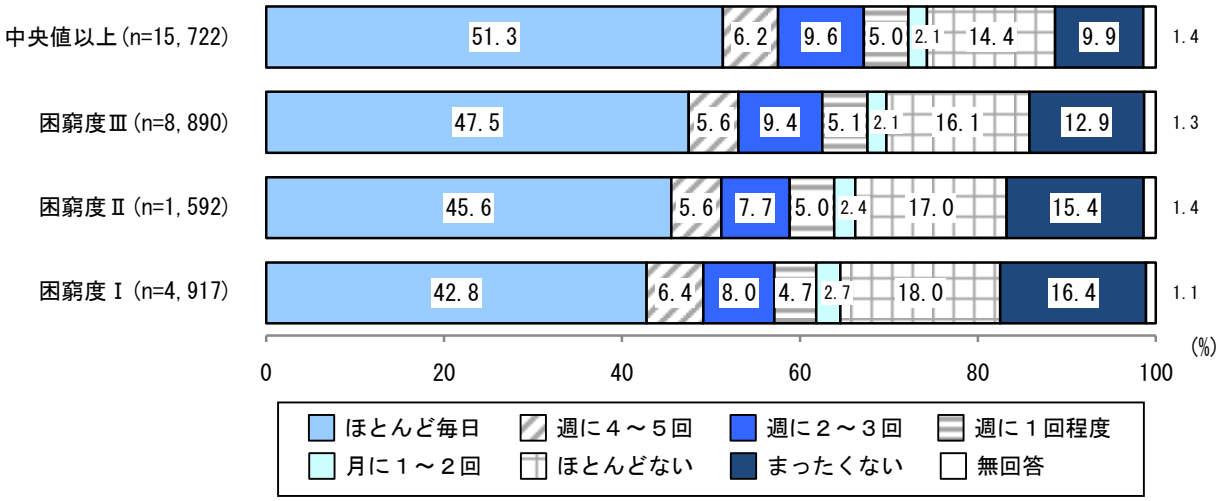
最後に、自己肯定感と将来の展望や気持ちとの関わりに注目する。自己肯定感別に自分の将来の夢や目標を持っているかをみると、「自信がある」は全体と比べ、「持っている」(44.7%対67.1%)割合が約22ポイントも高くなっている。また自己肯定感別に元気があるかどうかをみると、「自信がある」は全体と比べ、「いつもそうだ（元気がある)」(54.8%対81.2%）割合が約26ポイントも高くなっている。さらに、夢や目標の有無別に元気があるかどうかをみると、「夢や目標を持っていない」は全体と比べ、「いつもそうだ(元気がある)」(54.8%対33.8%）割合が21ポイントも低くなっている。これらの結果から、自己肯定感や将来の夢や目標がある子どもは、日常生活の中で元気に過ごしている傾向があるということがうかがえる。

※参照データについては一部資料編に掲載

３－４．家庭生活、学習

困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか（子ども票問８①）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

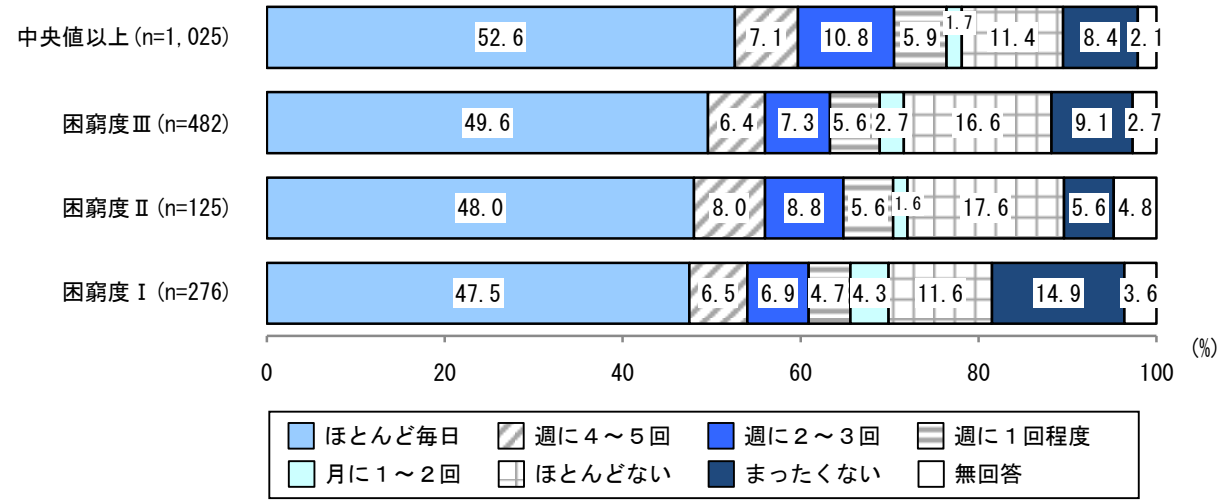
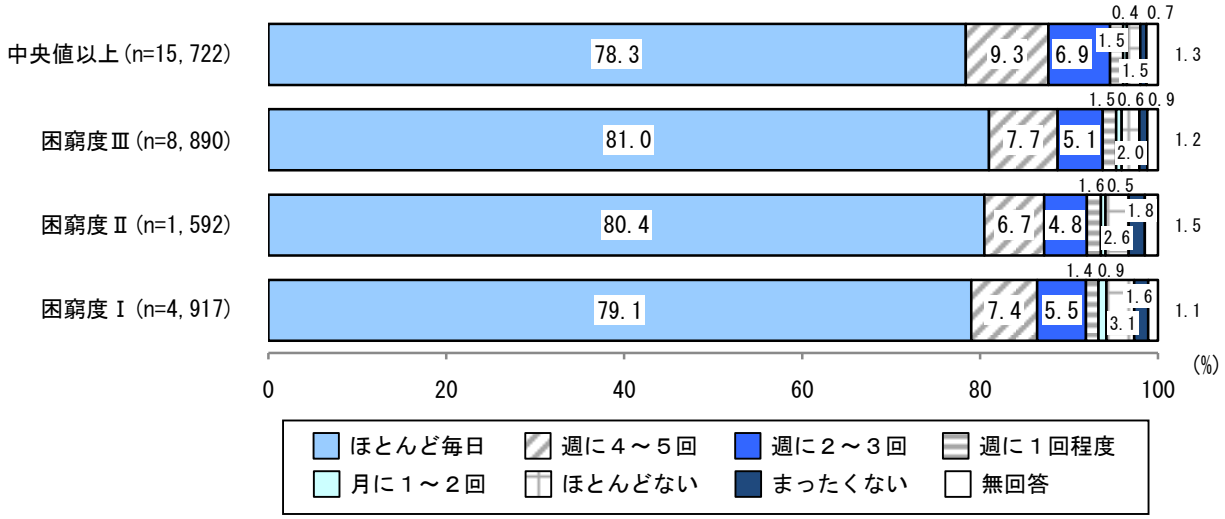


図 96. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか

困窮度別におうちの大人の人と一緒に朝食を食べているかを見ると、困窮度が高まるにつれ「ほとんど毎日」の回答の割合が低くなっている。「ほとんど毎日」の割合は中央値以上群が52.6%と最も高くなっている。一方、「まったくない」の割合は困窮度Ⅰ群が14.9%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか（子ども票問８②）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

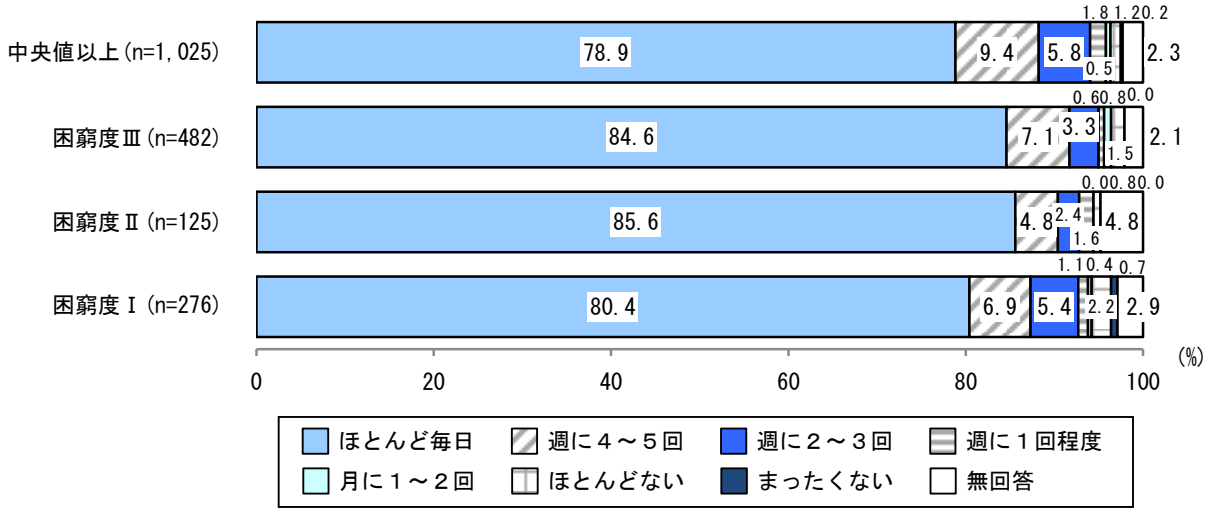
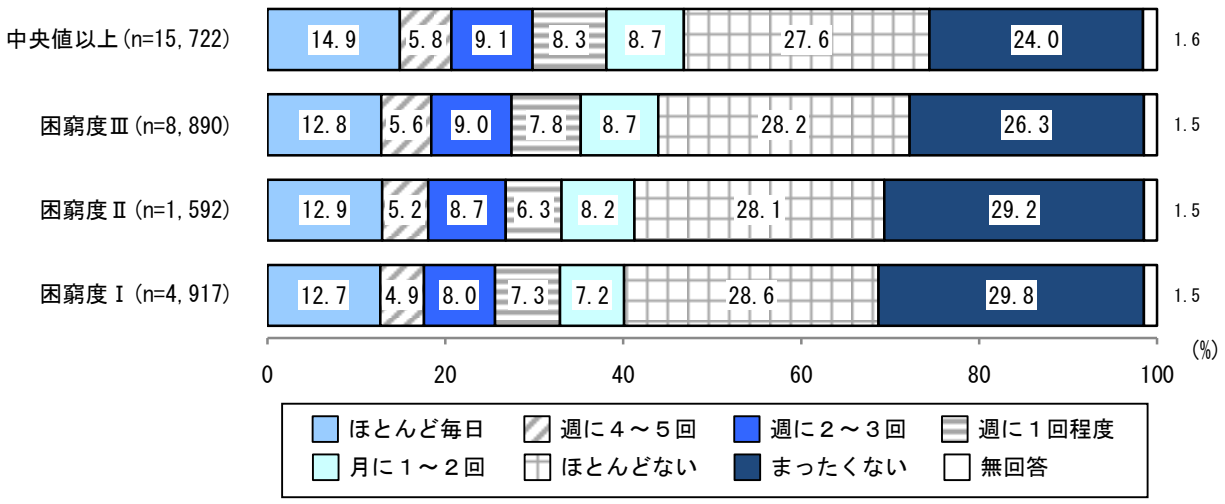


図 97. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか

困窮度別におうちの大人の人と一緒に夕食を食べているかを見ると、困窮度Ⅱ群において、「ほとんど毎日」の割合が85.6%と高くなっている。

困窮度別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか（子ども票問８⑤）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

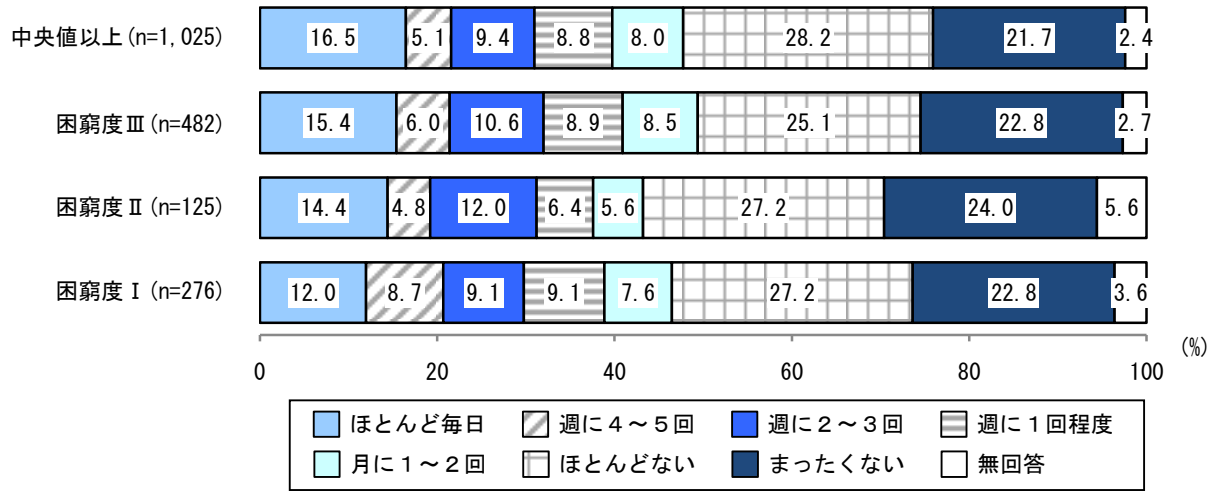
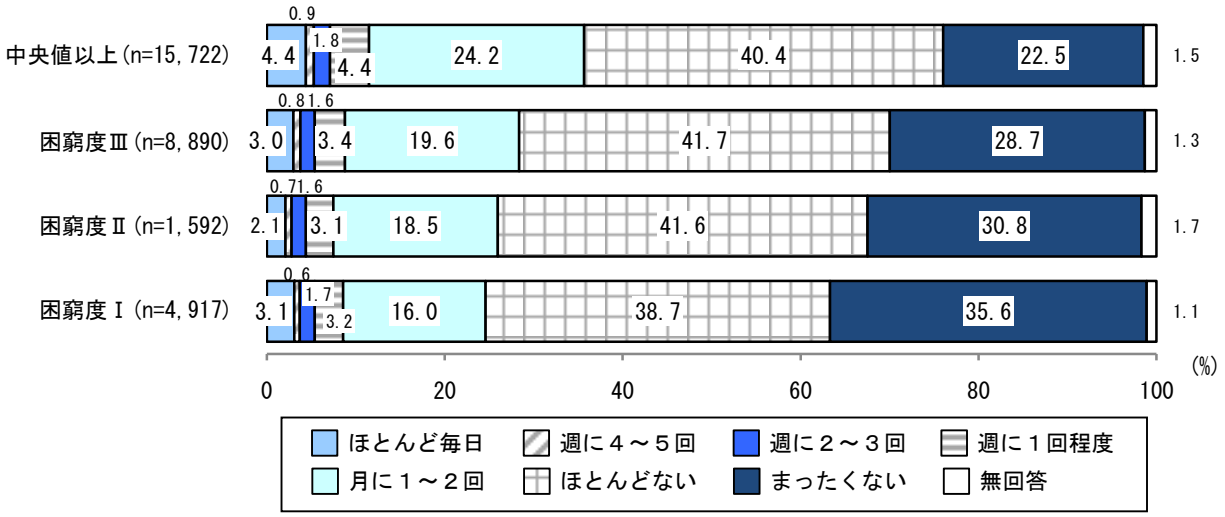


図 98. 困窮度別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか

困窮度別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）を見ると、困窮度Ⅱ群では、「まったくない」と回答した人は24.0%で最も高くなっている。また、困窮度が高まるにつれ、「ほとんど毎日」と回答した人の割合が低くなっている。

困窮度別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか（子ども票問８⑨）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

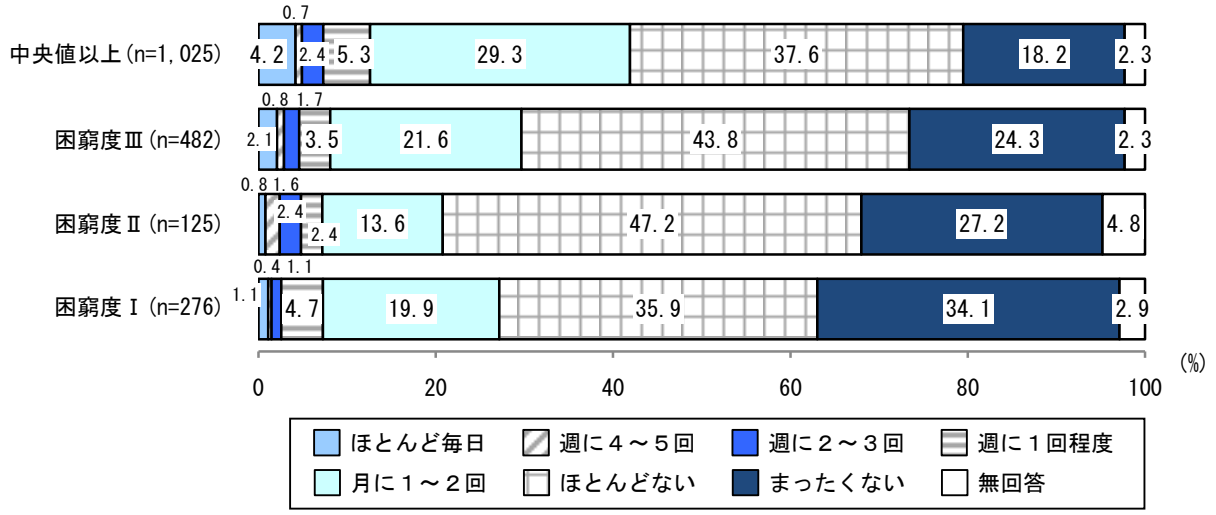
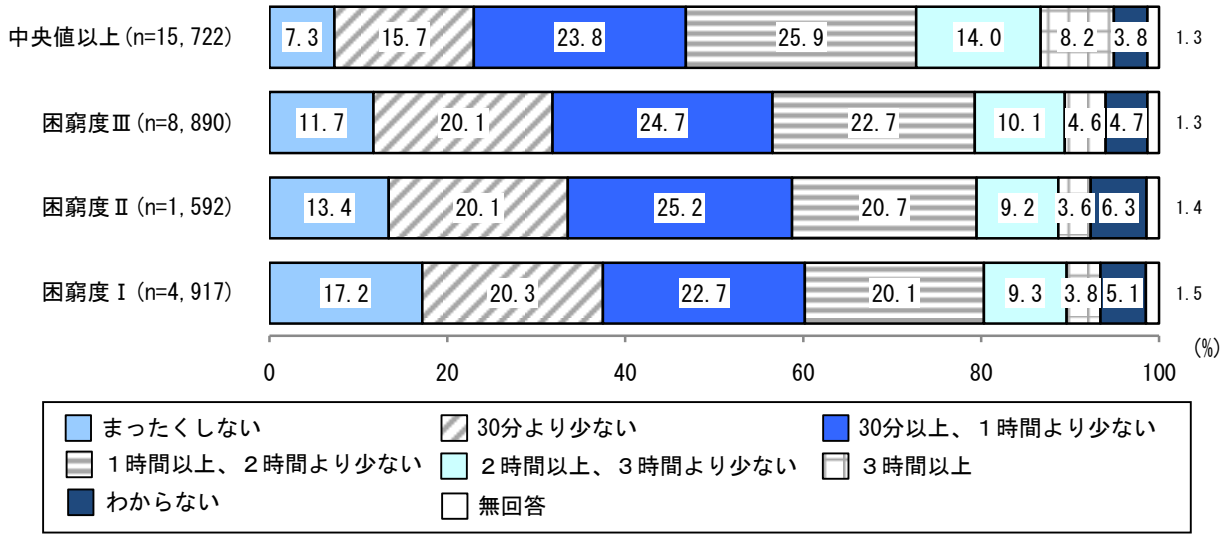


図 99. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか

困窮度別におうちの大人の人と文化活動をするかを見ると、困窮度が高まるにつれ、「まったくない」と回答した人の割合が高い。困窮度Ⅰ群では、「ほとんどない」と回答した人は35.9%、「まったくない」と回答した人は34.1%である。

困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間　①学校がある日（月～金曜日）
（子ども票問 13①）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

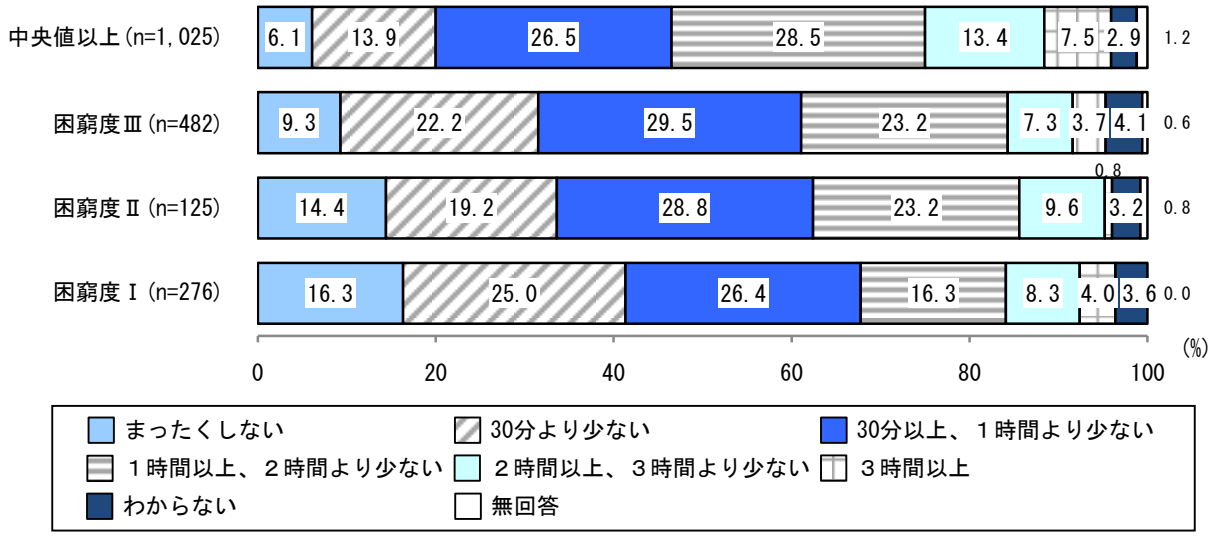
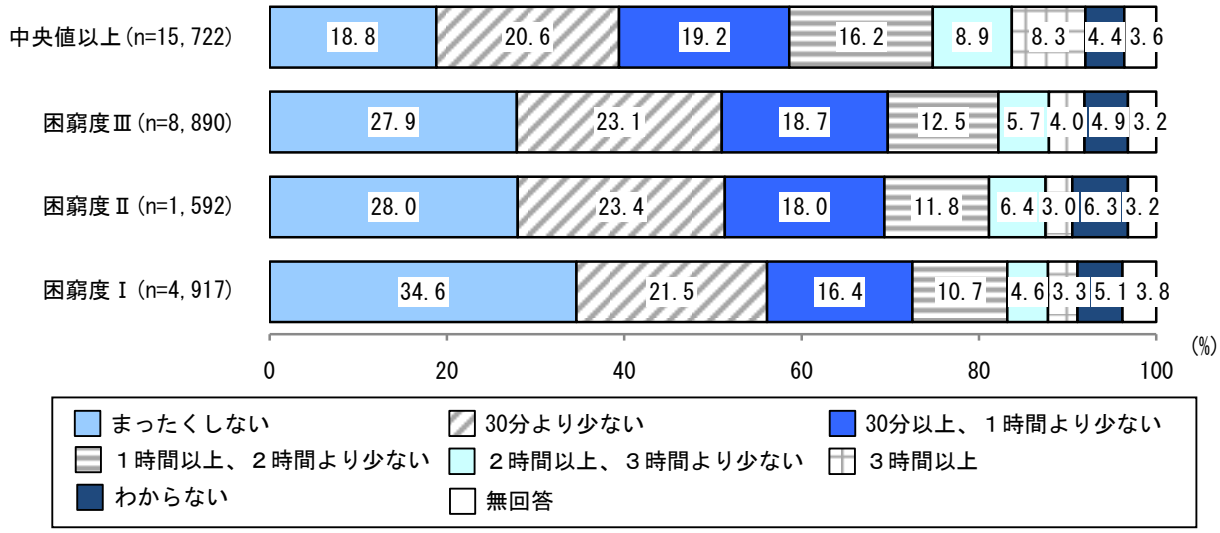


図 100. 困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がある日）

困窮度別に授業以外の勉強時間を見ると、学校のある日では、困窮度が高まるにつれ、「まったくしない」と回答した人の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群では、「まったくしない」と回答した人は16.3%、「30分より少ない」と回答した人は25.0%である。

困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間　②学校がない日（土・日曜日・祝日）（子ども票問 13②）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

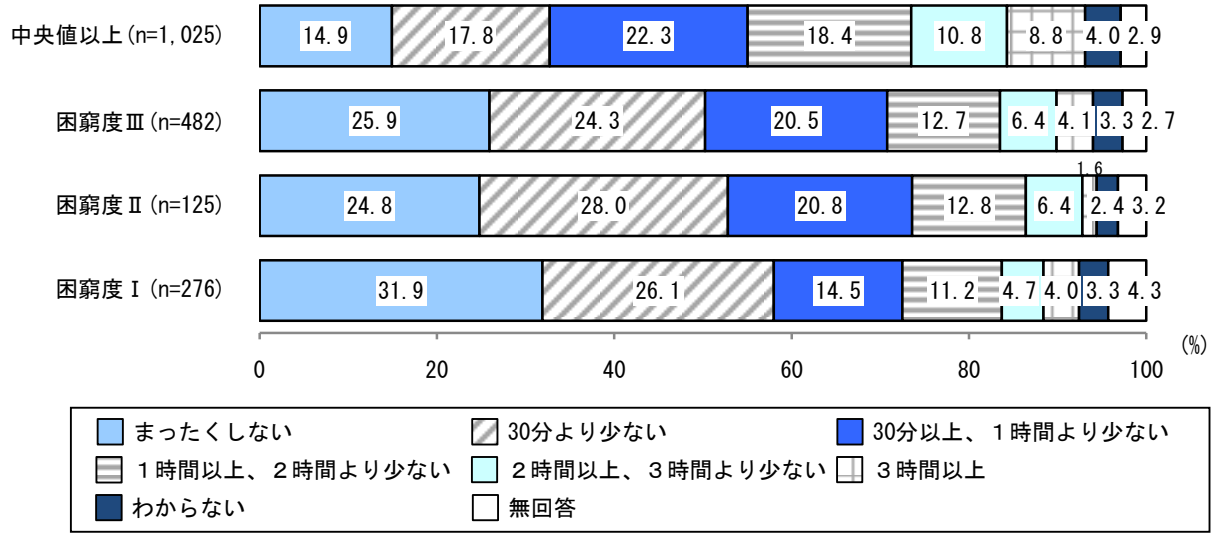
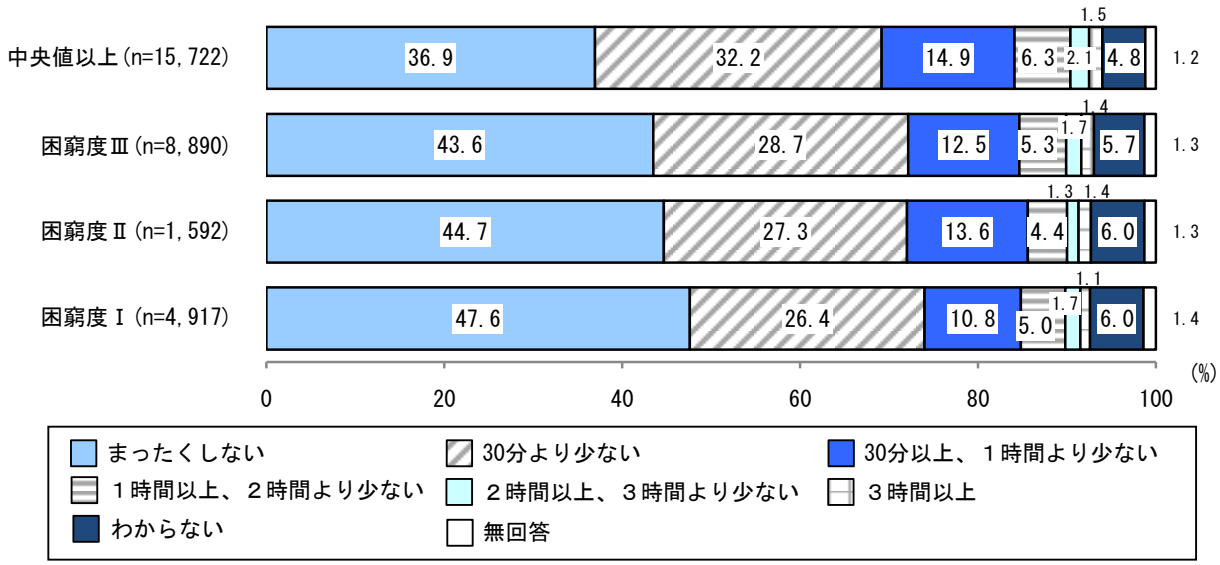


図 101. 困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がない日）

困窮度別に授業以外の勉強時間を見ると、学校がない日では、困窮度Ⅰ群では、「まったくしない」と回答した人は31.9%と最も高くなっている。30分以上と回答した人の割合は、いずれの時間帯も中央値以上で最も高くなっている。

困窮度別に見た、授業以外の読書時間（子ども票問 15）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

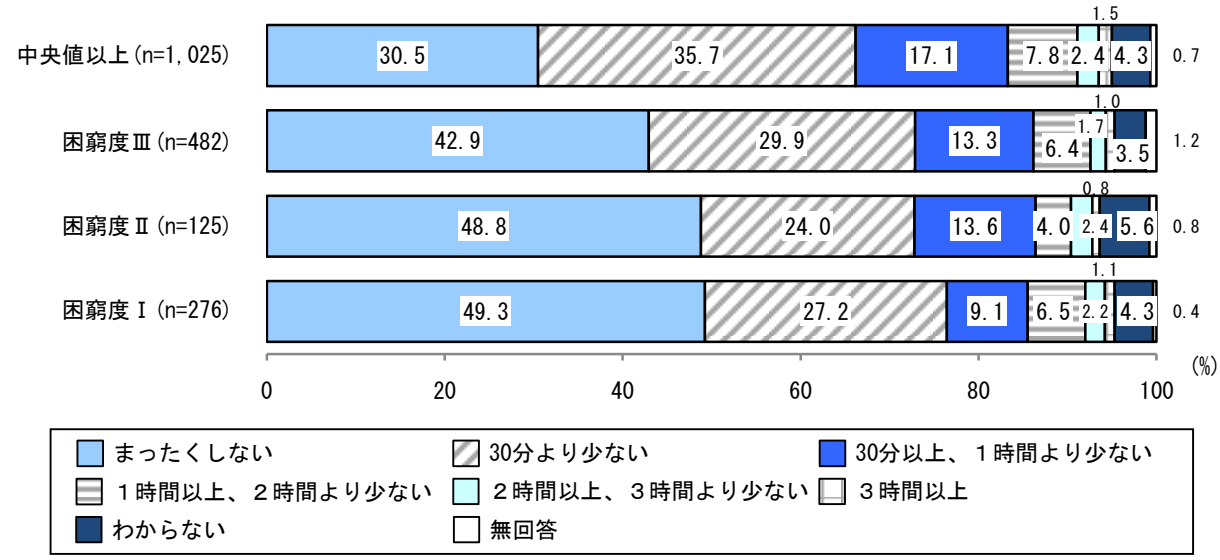
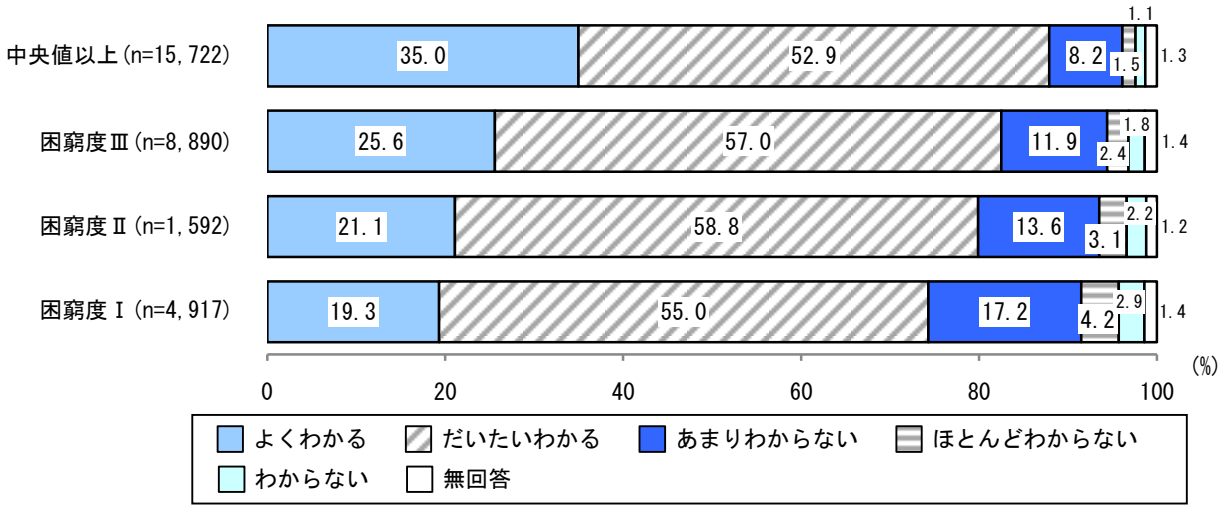


図 102. 困窮度別に見た、授業以外の読書時間

困窮度別に授業以外の読書時間を見ると、困窮度が高まるにつれ、「まったくしない」と回答した人の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群では、「まったくしない」と回答した人は49.3%、困窮度Ⅱ群では48.8%となっている。

困窮度別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの（子ども票問 14(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

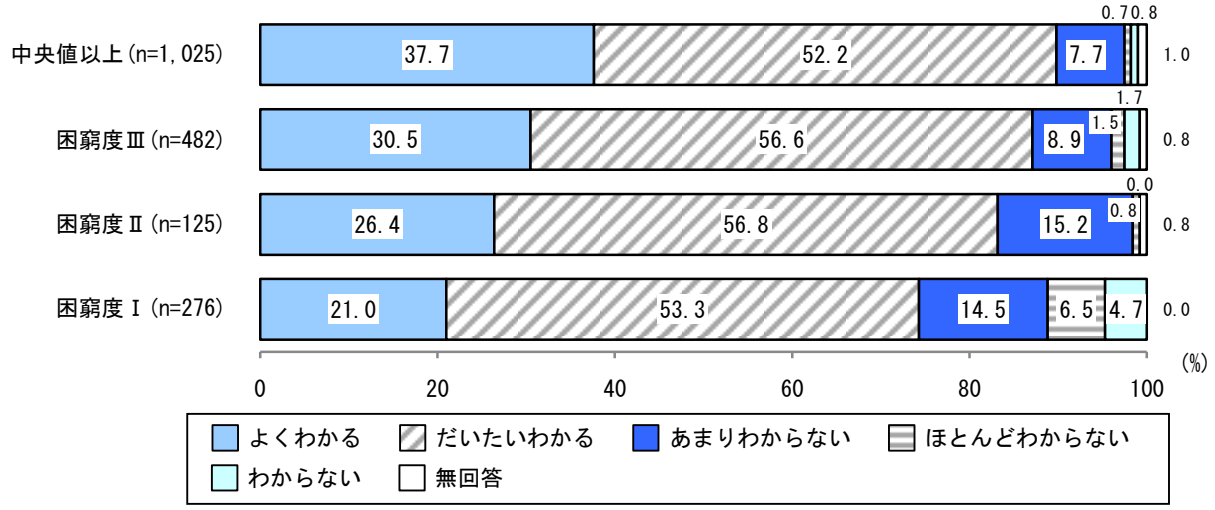


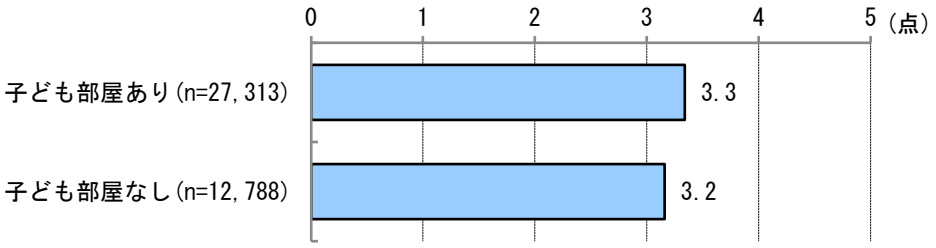
図 103. 困窮度別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの

困窮度別に学校の勉強で気持ちに近いものを見ると、困窮度が高まるにつれ、「よくわかる」と回答した人の割合が低くなっている。困窮度Ⅰ群では、「ほとんどわからない」と回答した人は6.5%である。

子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間の平均値　①学校がある日（月～金曜日）（子ども票問 21×子ども票問 13①）

※勉強時間について、「1. まったくしない」「2. 30 分より少ない」「3. 30 分以上、１時間より少ない」「4. １時間以上、２時間より少ない」「5. ２時間以上、３時間より少ない」「6. ３時間以上」の６つの時間枠からひとつを選択させた（「7. わからない」は除く）。項目番号を勉強時間の得点とみなし、得点が高いほど、勉強時間が長いことを表す。

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

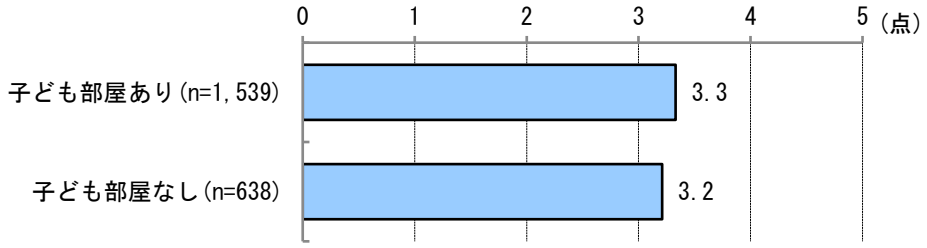
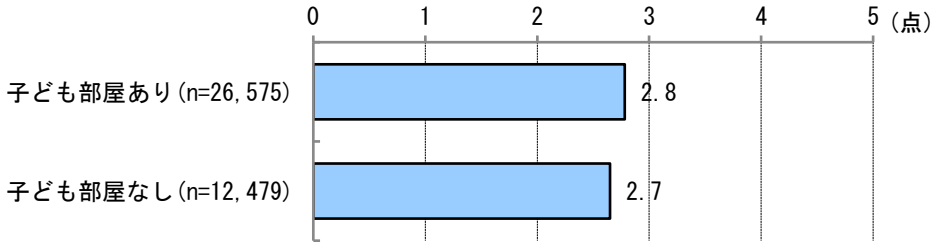


図 104. 子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間の平均値（学校がある日）

子ども部屋の有無別に学校がある日の授業時間以外の１日あたりの勉強時間を見ると、子ども部屋がある子どもの方が、勉強時間が長い。

子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間の平均値　②学校がない日（土・日曜日・祝日）（子ども票問 21×子ども票問 13②）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

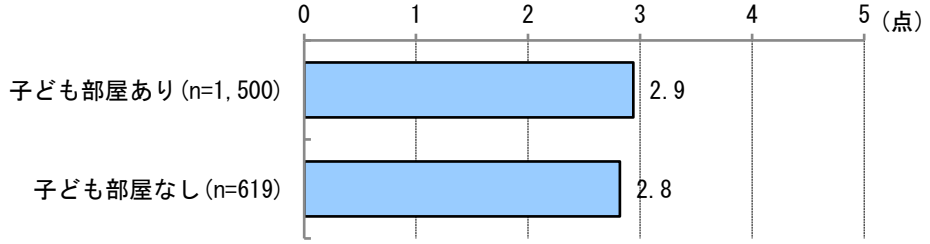
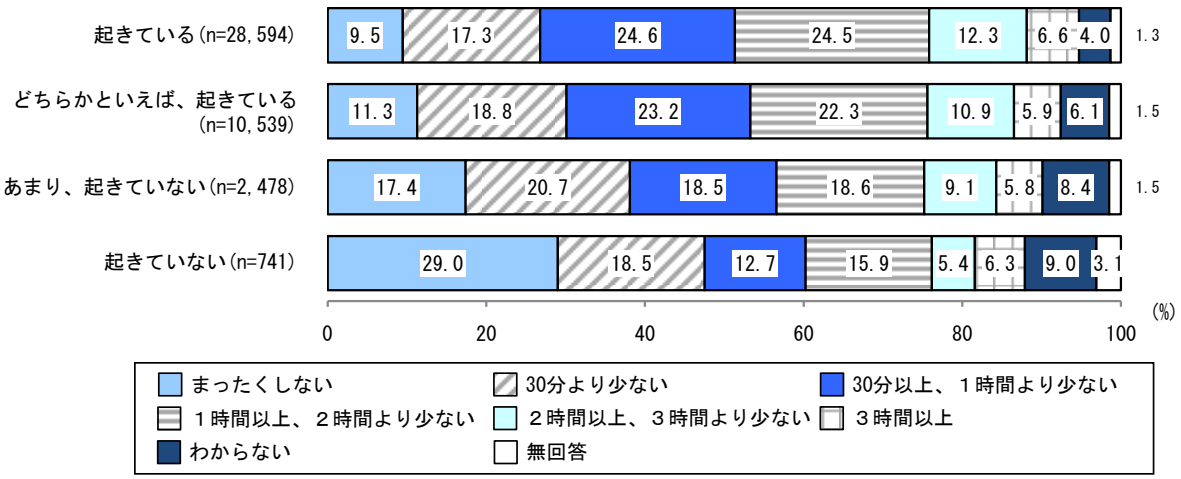


図 105. 子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間の平均値（学校がない日）

子ども部屋の有無別に学校がない日の授業時間以外の１日あたりの勉強時間を見ると、子ども部屋がある子どもの方が、勉強時間が長い。

起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間　①学校がある日（月～金曜日）（子ども票問２×子ども票問 13①）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

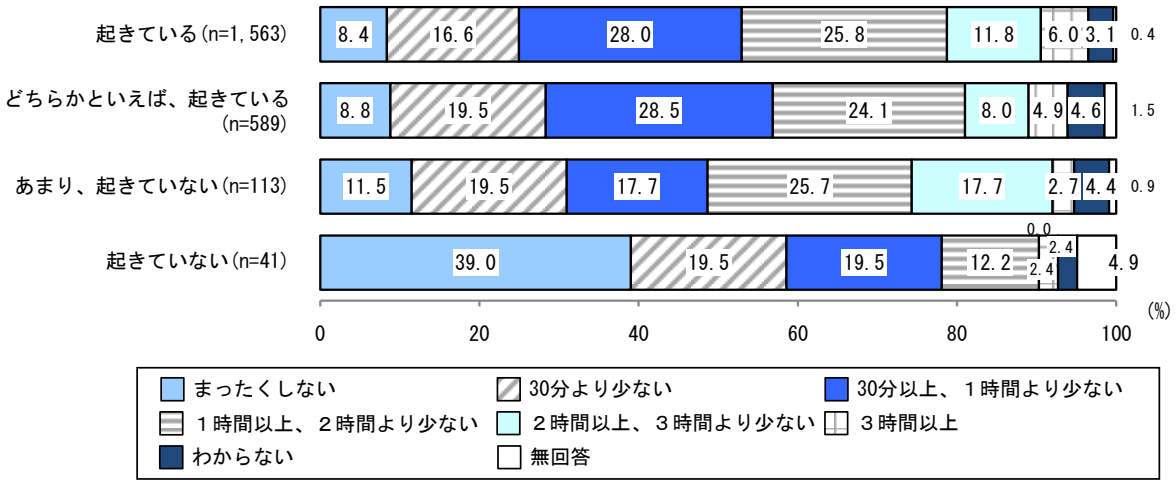
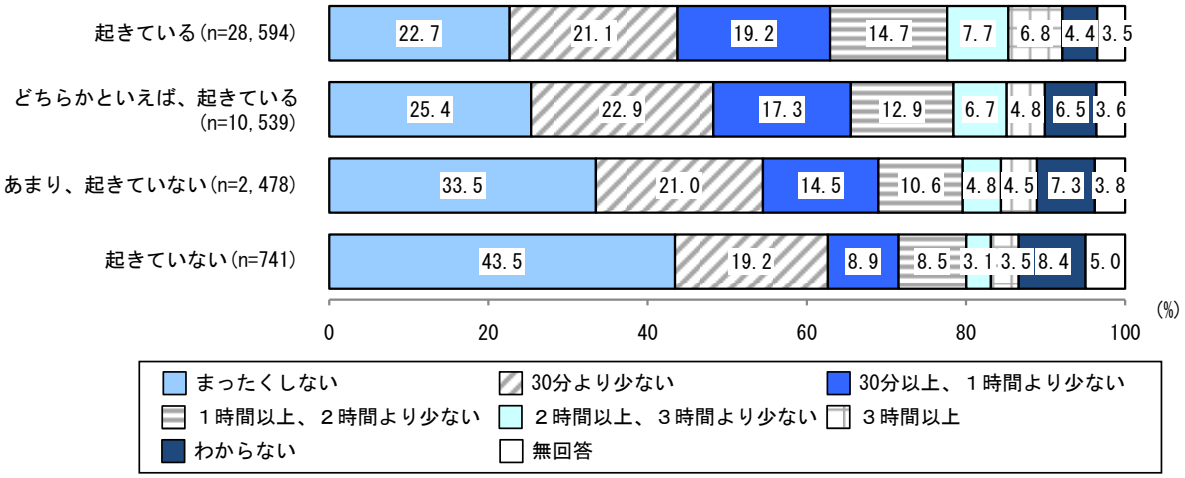


図 106. 起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がある日）

起床時間の規則性別に学校がある日の授業時間以外の１日あたりの勉強時間を見ると、ふだん同じ時刻に起きていない人ほど「まったくしない」の回答の割合が高くなっている。「１時間以上、２時間より少ない」、「３時間以上」の割合は起きている人が最も高くなっている。一方、「まったくしない」の割合は起きていない人が39.0％で最も高くなっている。

起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間　②学校がない日（土・日曜日・祝日）（子ども票問２×子ども票問 13②）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

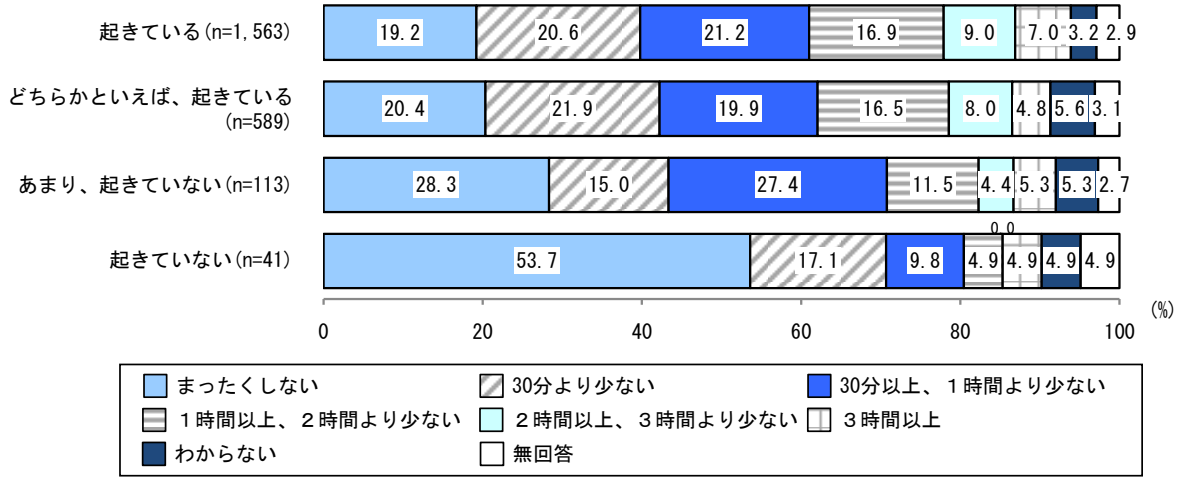
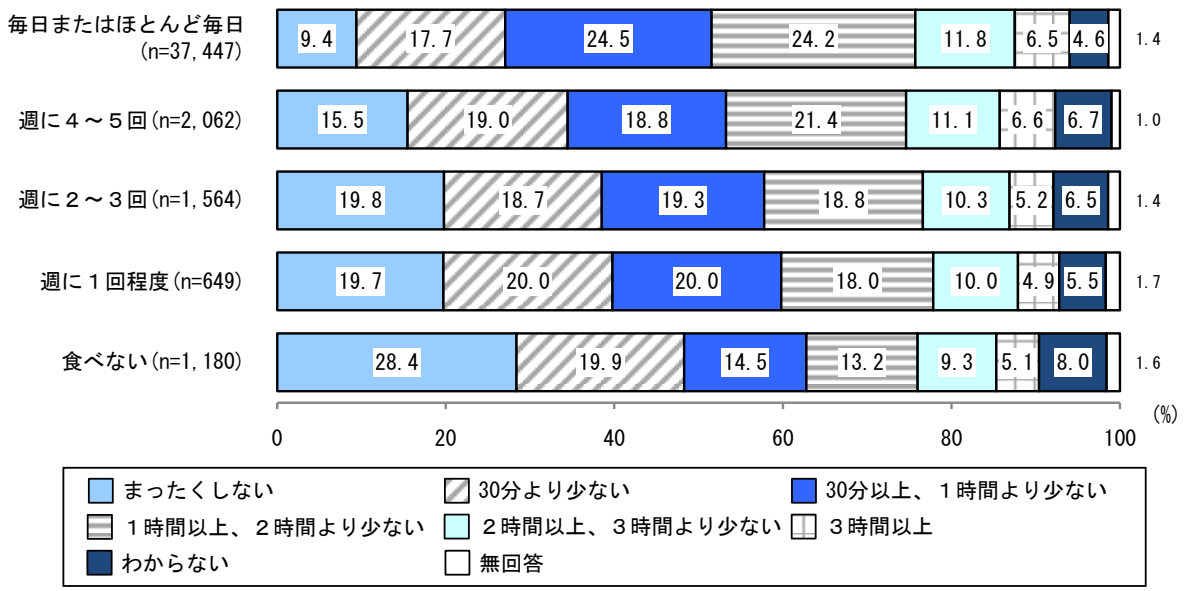


図 107. 起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がない日）

起床時間の規則性別に学校がない日の授業時間以外の１日あたりの勉強時間を見ると、ふだん同じ時刻に起きていない人ほど「まったくしない」の回答の割合が高くなっている。「１時間以上、２時間より少ない」、「２時間以上、３時間より少ない」、「３時間以上」の割合は起きている人が最も高くなっている。一方、「まったくしない」の割合は起きていない人が53.7%で最も高くなっている。

朝食の頻度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間　①学校がある日（月～金曜日）
（子ども票問４(1)×子ども票問 13①）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

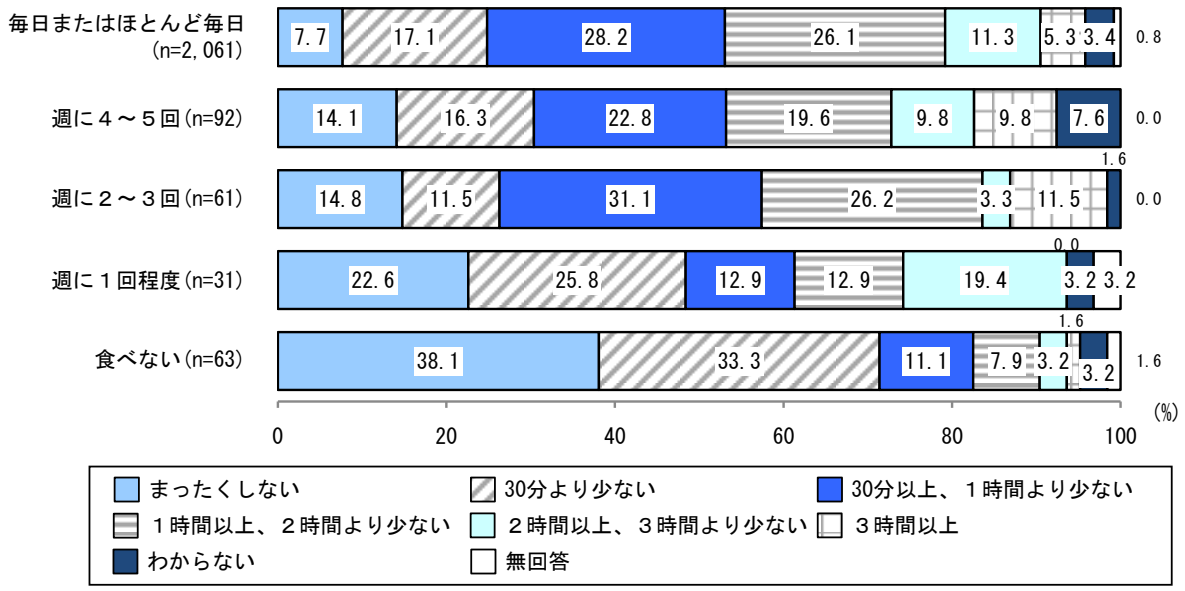
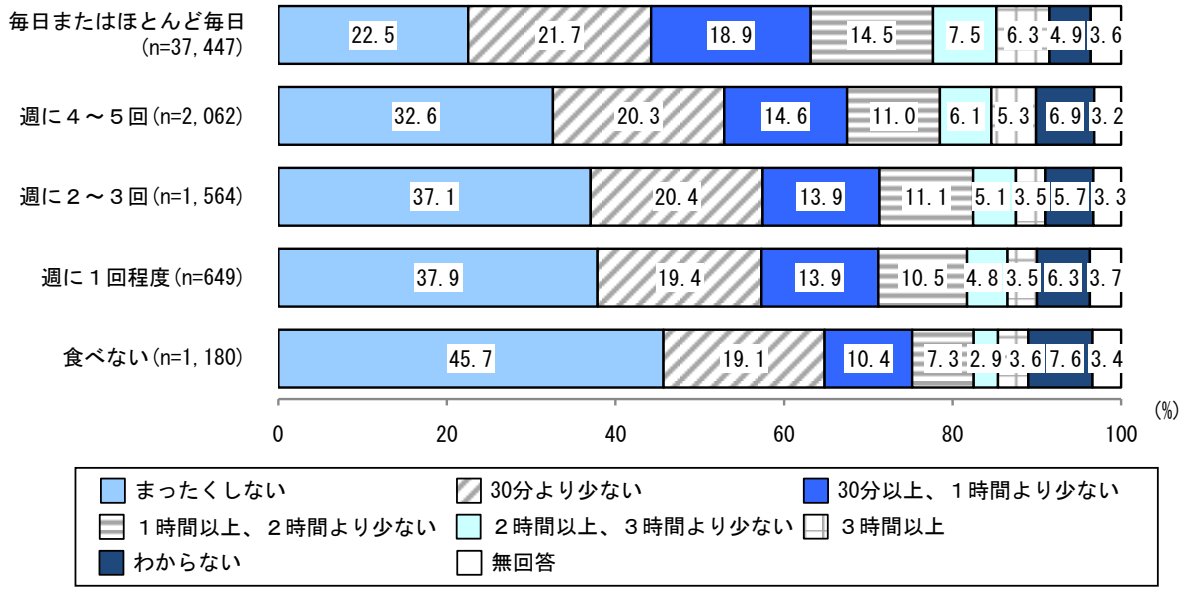


図 108. 朝食の頻度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がある日）

朝食の頻度別に学校がある日の授業時間以外の１日あたりの勉強時間を見ると、朝食の頻度が少ない人ほど「まったくしない」の回答の割合が高く、食べない人が38.1％で最も高くなっている。

朝食の頻度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間　②学校がない日（土・日曜日・祝日）（子ども票問４(1)×子ども票問 13②）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

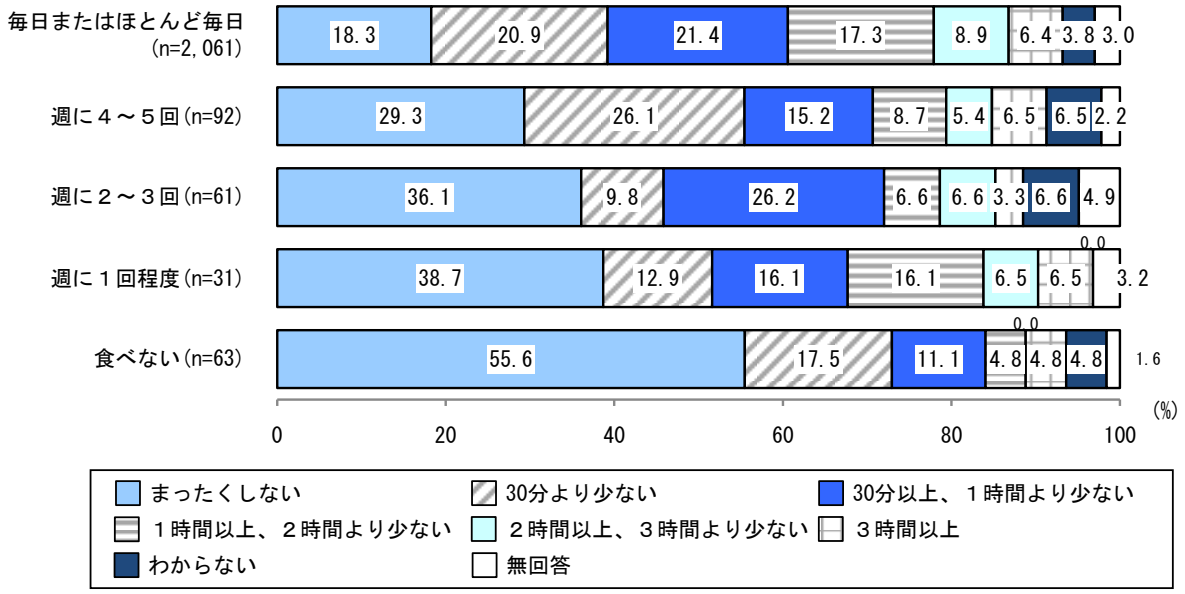
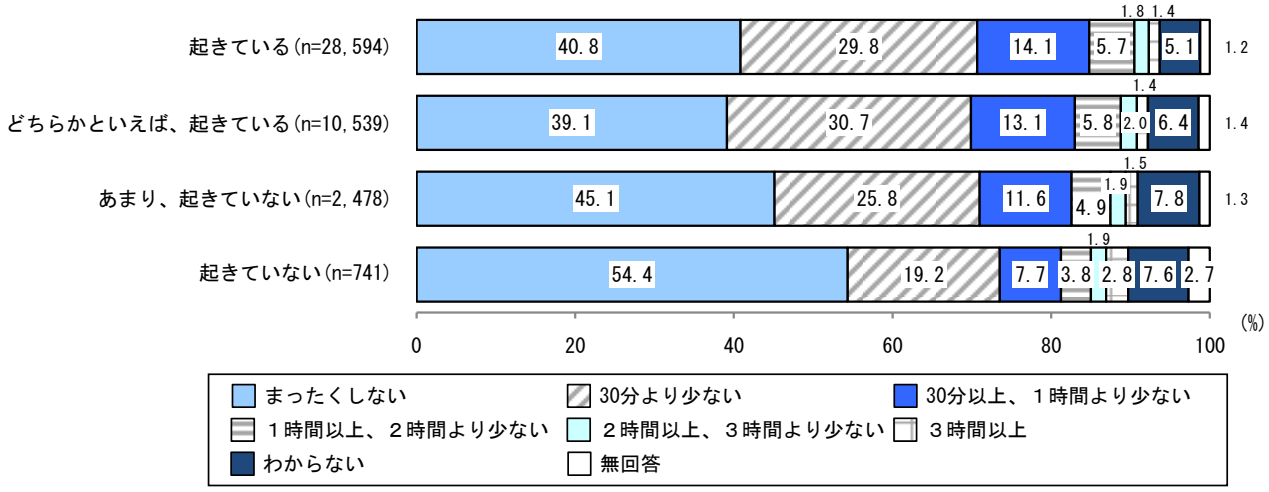


図 109. 朝食の頻度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がない日）

朝食の頻度別に学校がない日の授業時間以外の１日あたりの勉強時間を見ると、朝食の頻度が少ない人ほど「まったくしない」の回答の割合が高く、食べない人が55.6％で最も高くなっている。

起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間（子ども票問２×子ども票問 15）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

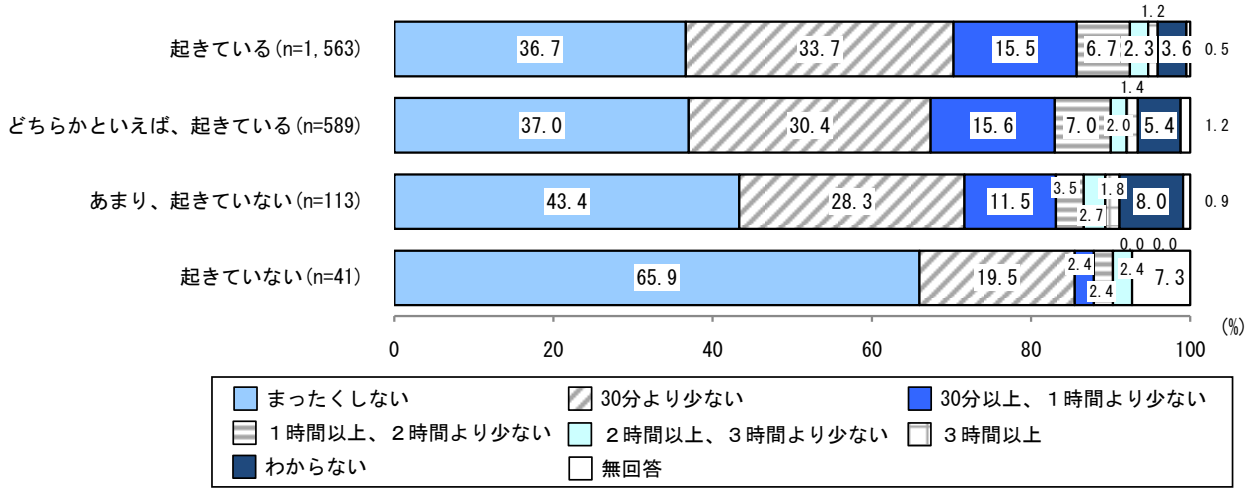
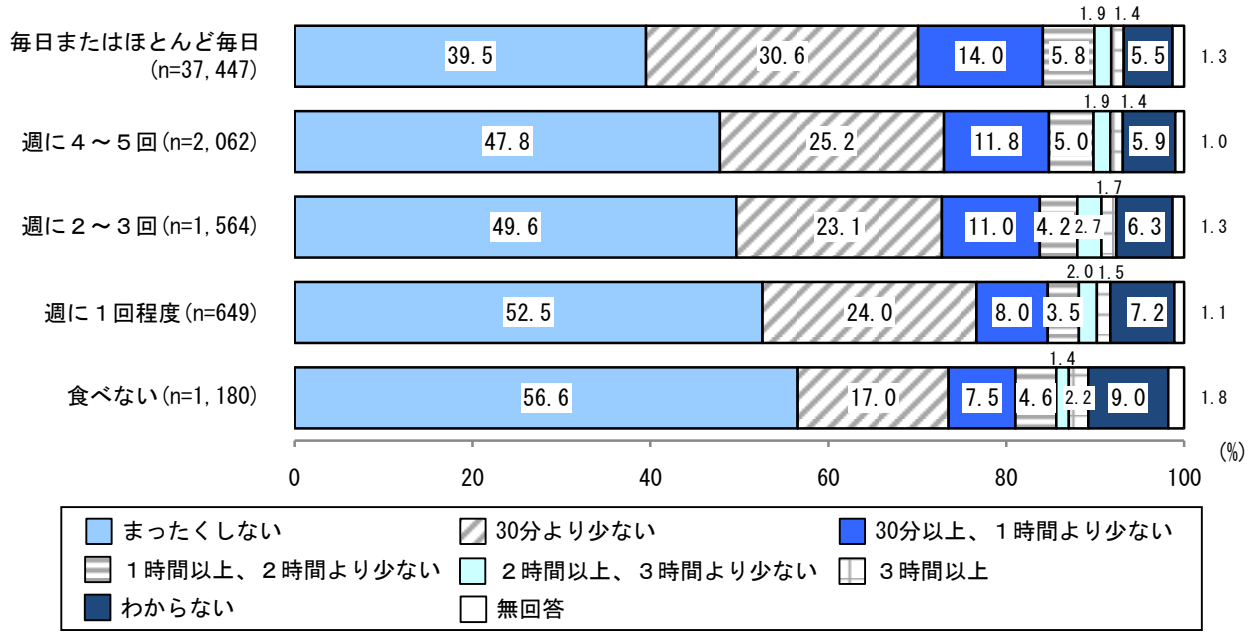


図 110. 起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間

起床時間の規則性別に授業以外の読書時間を見ると、ふだん同じ時刻に起きていない人ほど、「まったくしない」と回答した割合が高くなっている。起きていない人では、「まったくしない」と回答した人は65.9%となっている。

朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間（子ども票問４(1)×子ども票問 15）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

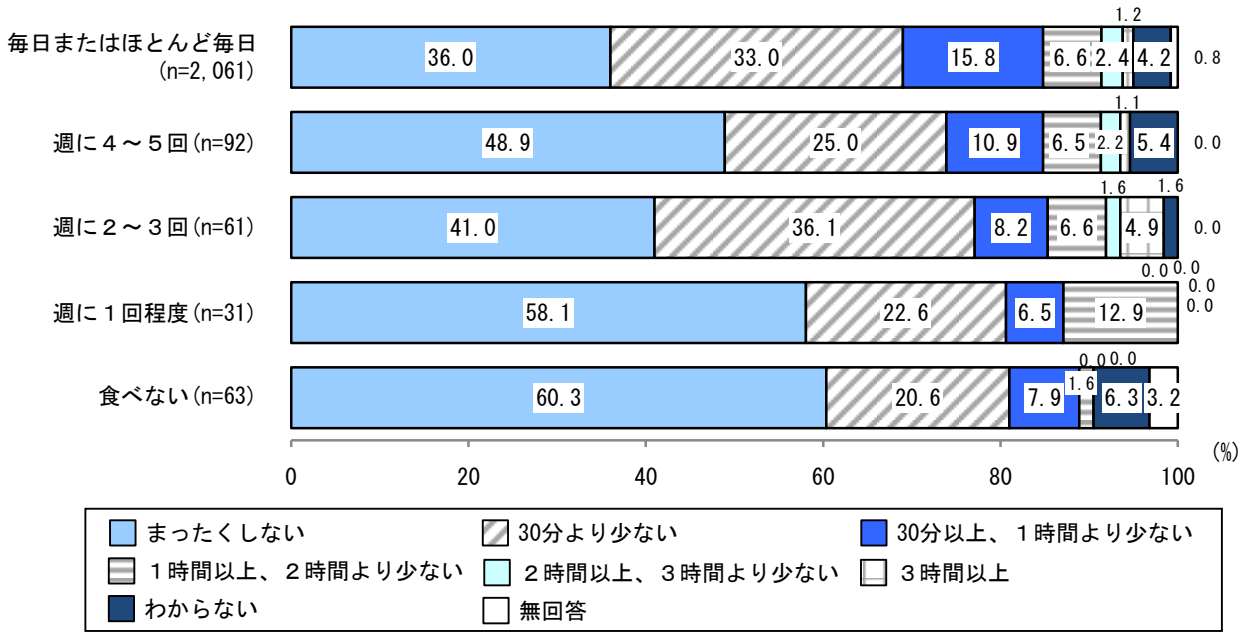
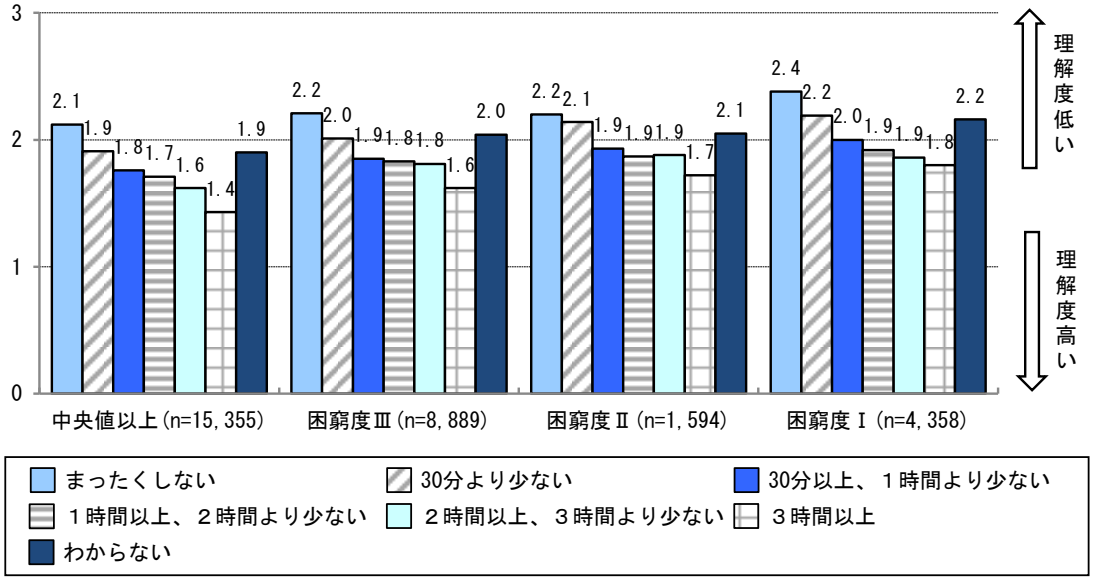


図 111. 朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間

朝食の頻度別に授業以外の読書時間を見ると、「まったくしない」と回答した人は食べない人では60.3%と最も高く、次いで週１回程度の人が58.1%となっている。

困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がある日）と学習理解度の関連
（子ども票問 14(1)×子ども票問 13①）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

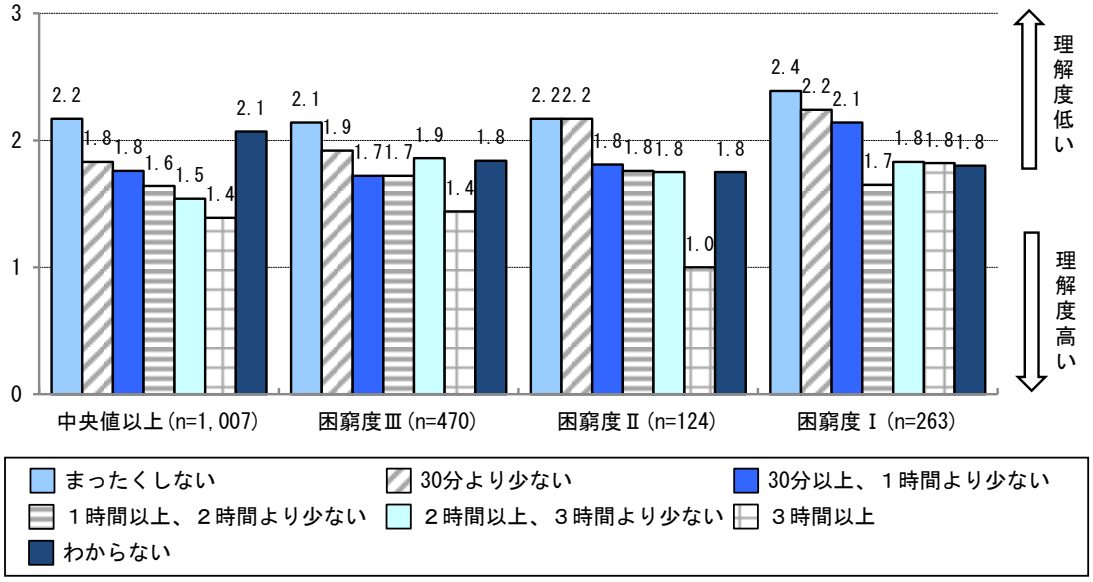
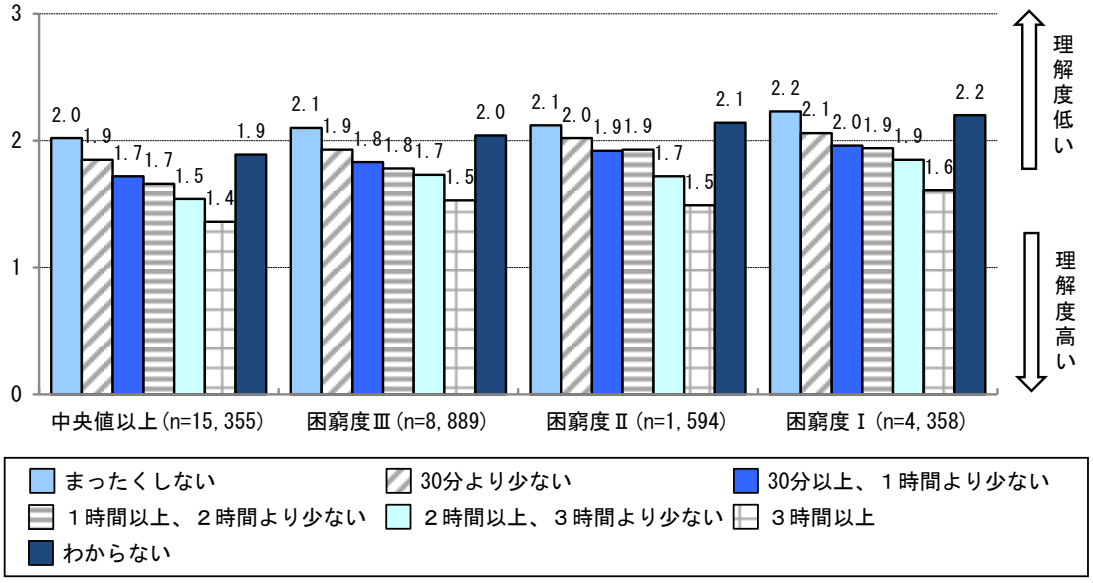


図 112. 困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がある日）と学習理解度の関連

困窮度別に学校がある日の授業時間以外の１日あたりの勉強時間と学習理解度の関連を見ると、中央値以上の群の子どもは、勉強時間が長くなるほど、学習理解度が高まるが、それ以外の群の子どもは「まったくしない」の学習理解度はほかに比べて下がるが、学習時間と学習理解度が関連しない。

困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がない日）と学習理解度の関連
（子ども票問 14(1)×子ども票問 13②）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

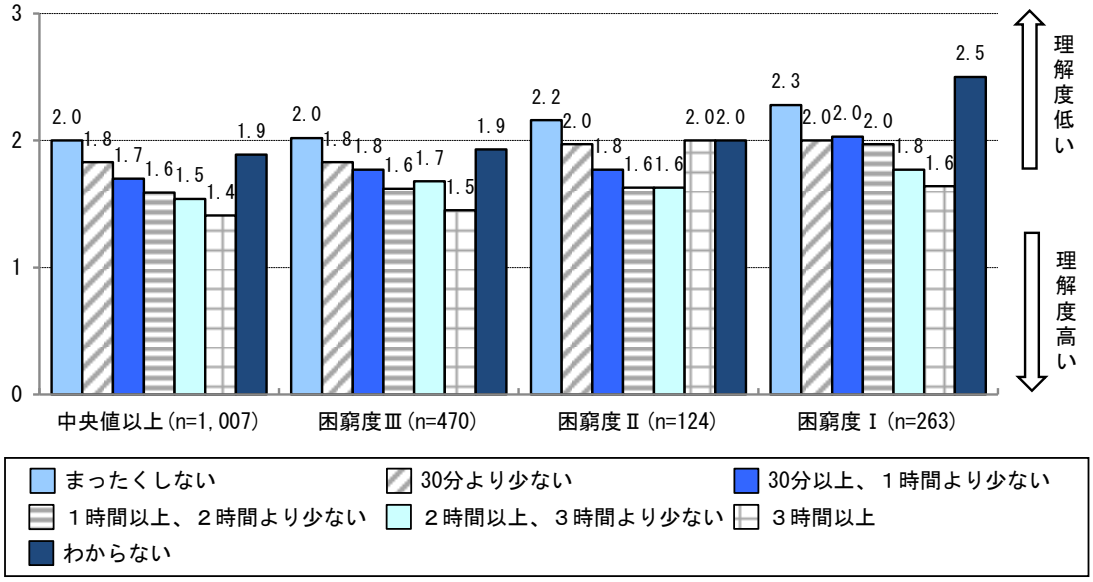
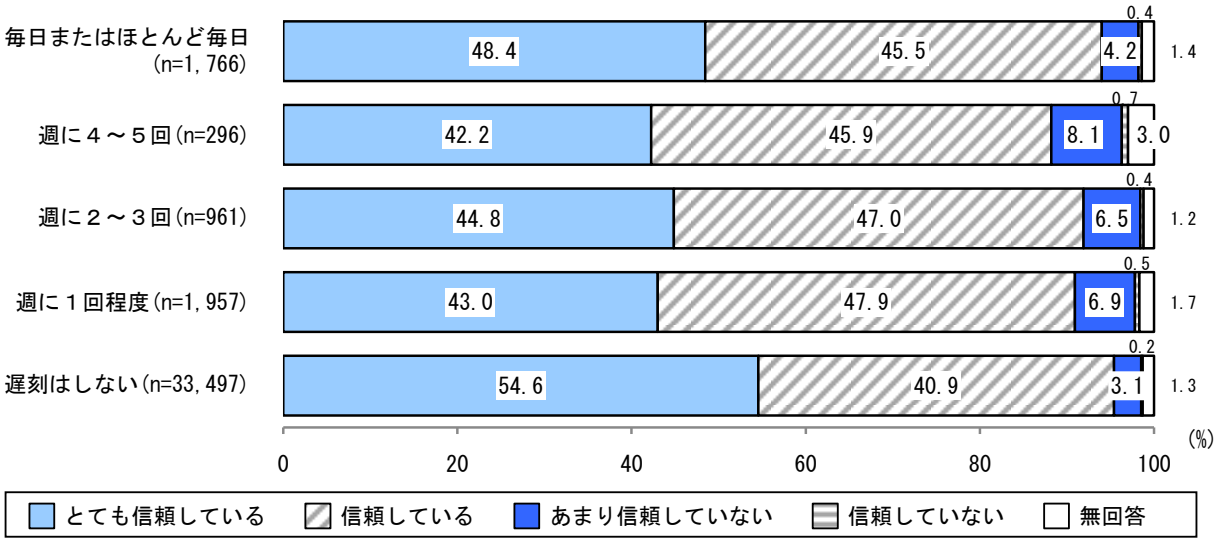


図 113. 困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がない日）と学習理解度の関連

困窮度別に学校がない日の授業時間以外の１日あたりの勉強時間と学習理解度の関連を見ると、中央値以上の群の子どもは、勉強時間が長くなるほど、学習理解度が高まるが、それ以外の群の子どもは「まったくしない」の学習理解度はほかに比べて下がるが、学習時間と学習理解度が関連しない。

学校への遅刻別に見た、子どもへの信頼度（子ども票問７×保護者票問 13(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

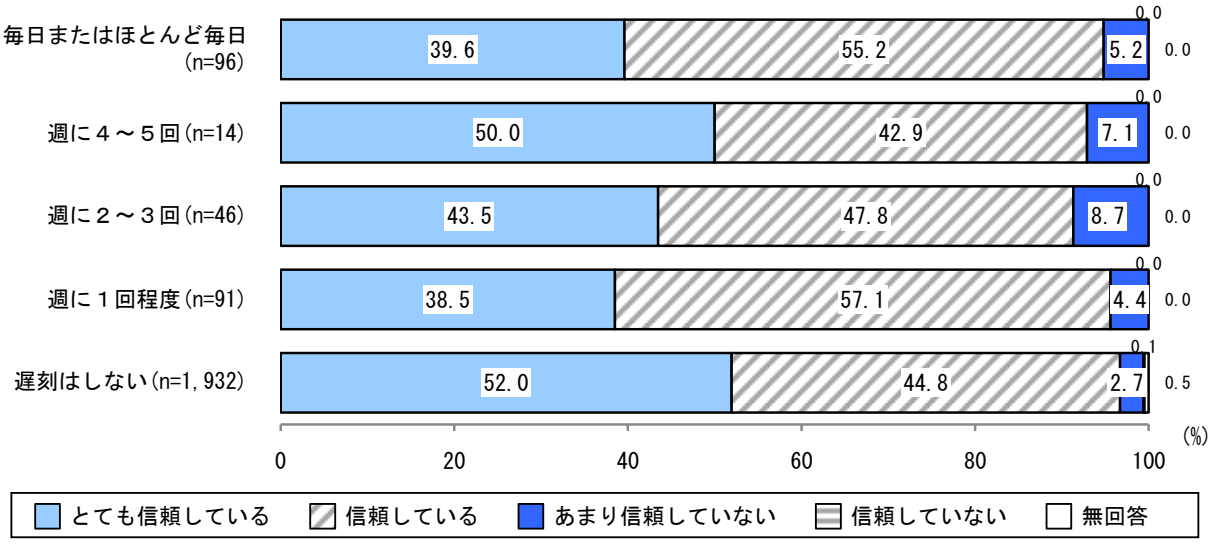
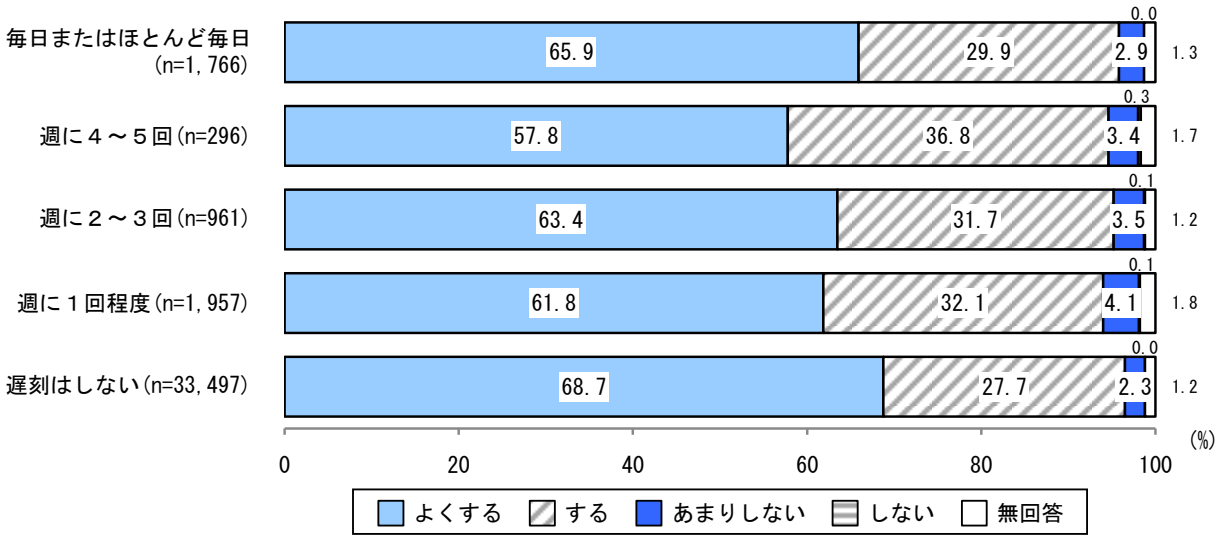


図 114. 学校への遅刻別に見た、子どもへの信頼度

学校への遅刻別に子どもへの信頼度を見ると、「遅刻はしない」子どもにおいては、保護者は「とても信頼している」割合が高く、52.0%である。「週に２～３回」の子どもにおいては、保護者は「あまり信頼していない」割合が高く、8.7%である。

学校への遅刻別に見た、子どもとの会話頻度（子ども票問７×保護者票問 13(2)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

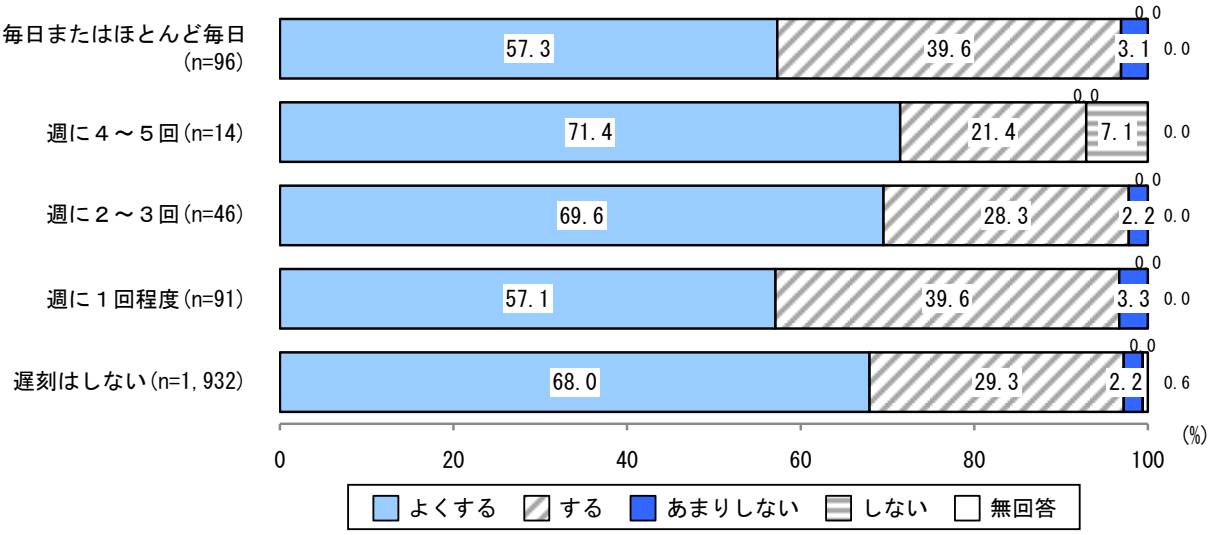
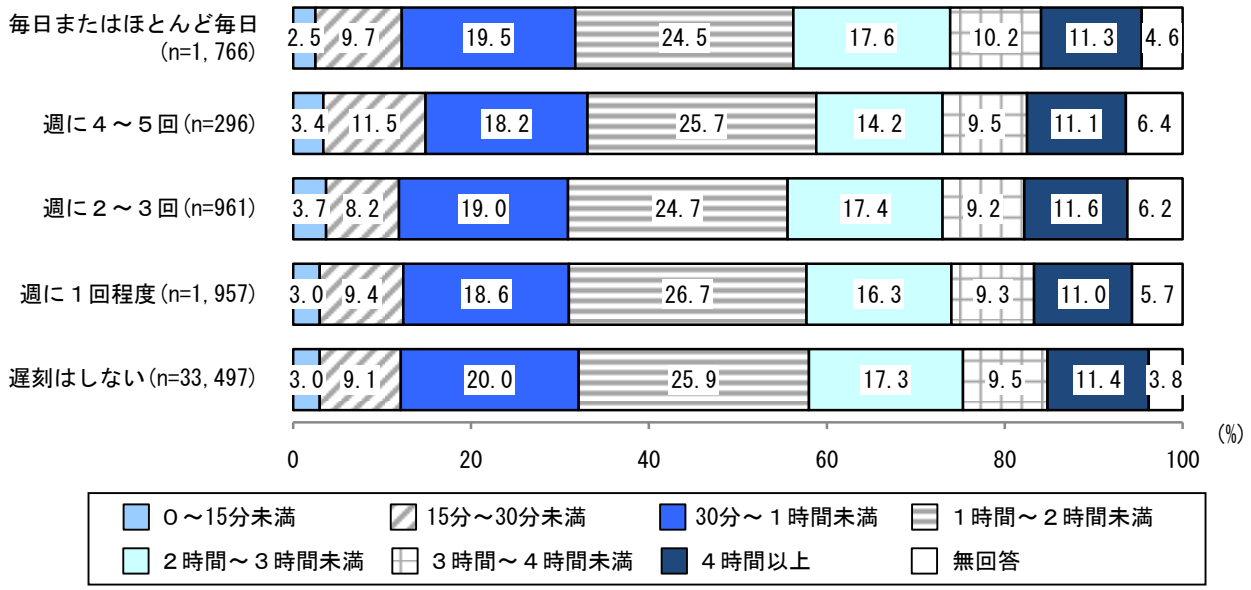


図 115. 学校への遅刻別に見た、子どもとの会話頻度

学校への遅刻別に子どもとの会話頻度を見ると、「週に４～５回」の子どもにおいては、会話を「よくする」割合が高く、71.4%である。次いで「週に２～３回」の子どもが69.6%である。

学校への遅刻別に見た、平日での子どもとの関わり時間（子ども票問７×保護者票問 13(3)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

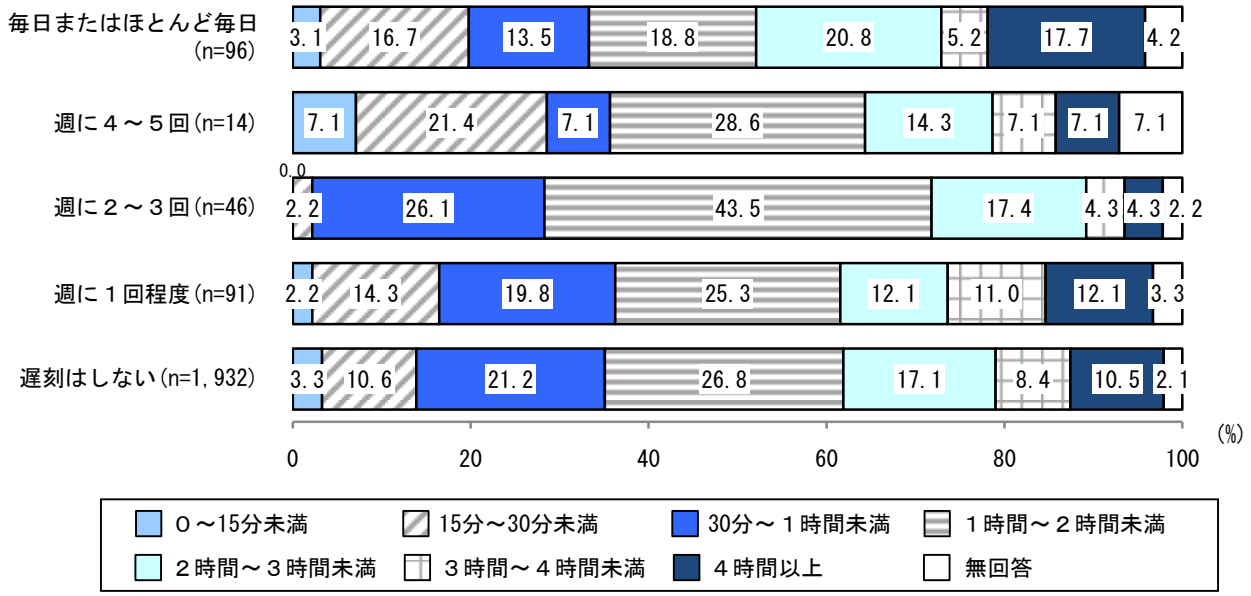
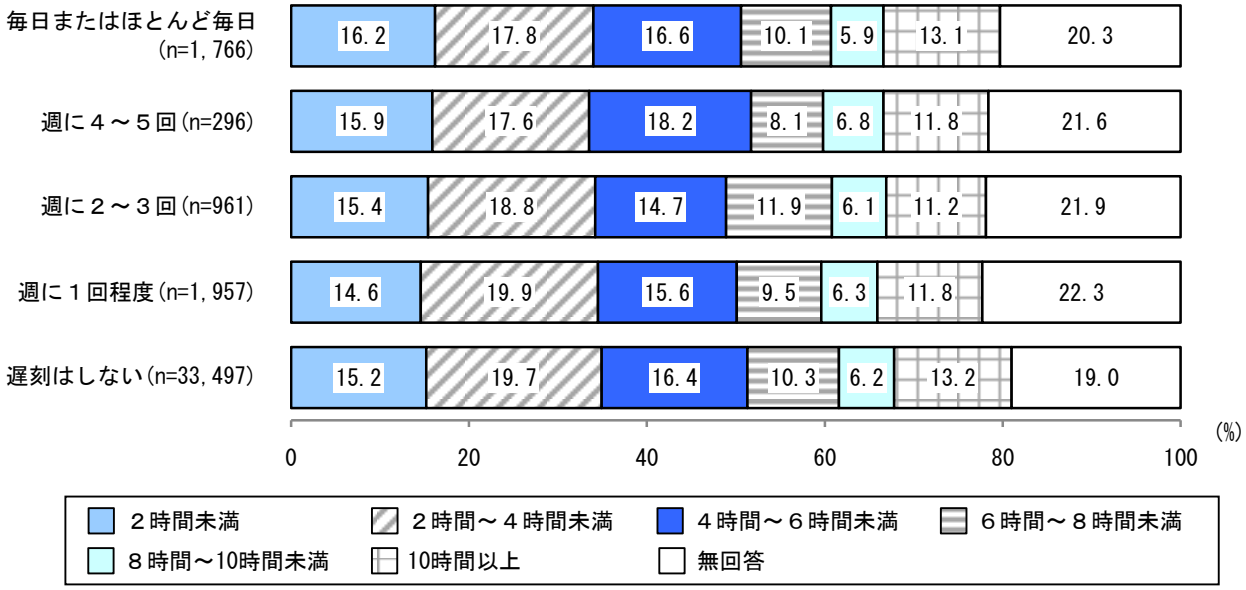


図 116. 学校への遅刻別に見た、平日での子どもとの関わり時間

学校への遅刻別に平日での子どもとの関わり時間を見ると、「毎日またはほとんど毎日」の子どもにおいては、「２時間～３時間未満」(20.8%)、「４時間以上」(17.7%) の割合が最も高くなっている。「週に２～３回」の子どもにおいては、「30分～１時間未満」(26.1%)、「１時間～２時間未満」(43.5%) の割合が最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、休日での子どもとの関わり時間（子ども票問７×保護者票問 13(3)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

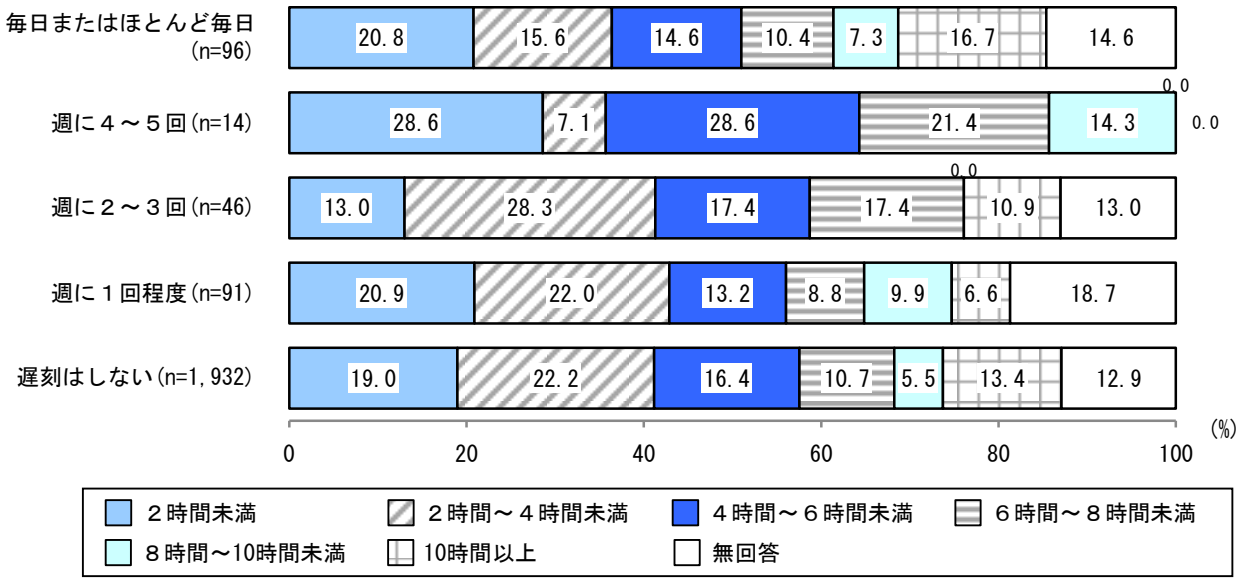
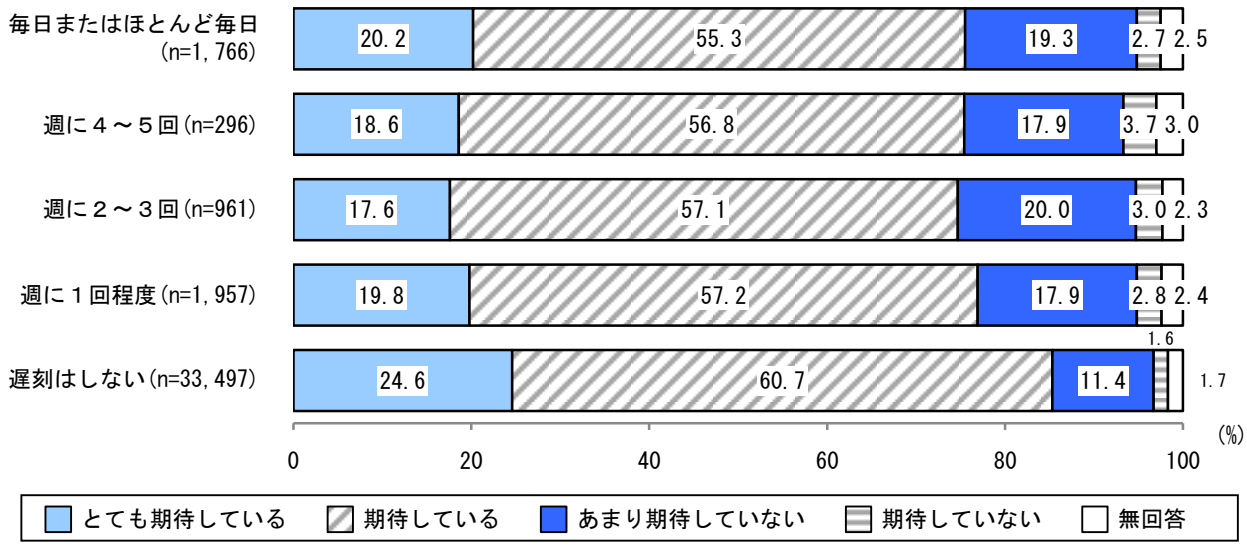


図 117. 学校への遅刻別に見た、休日での子どもとの関わり時間

学校への遅刻別に休日での子どもとの関わり時間を見ると、「毎日またはほとんど毎日」の子どもにおいては、「10時間以上」（16.7%）の割合が最も高くなっている。「週に４～５回」の子どもにおいては、「２時間未満」（28.6%）、「４時間～６時間未満」（28.6%）、「６時間～８時間未満」（21.4%）、「８時間～10時間未満」（14.3%）の割合が最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、子どもの将来への期待度（子ども票問７×保護者票問 13(4)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

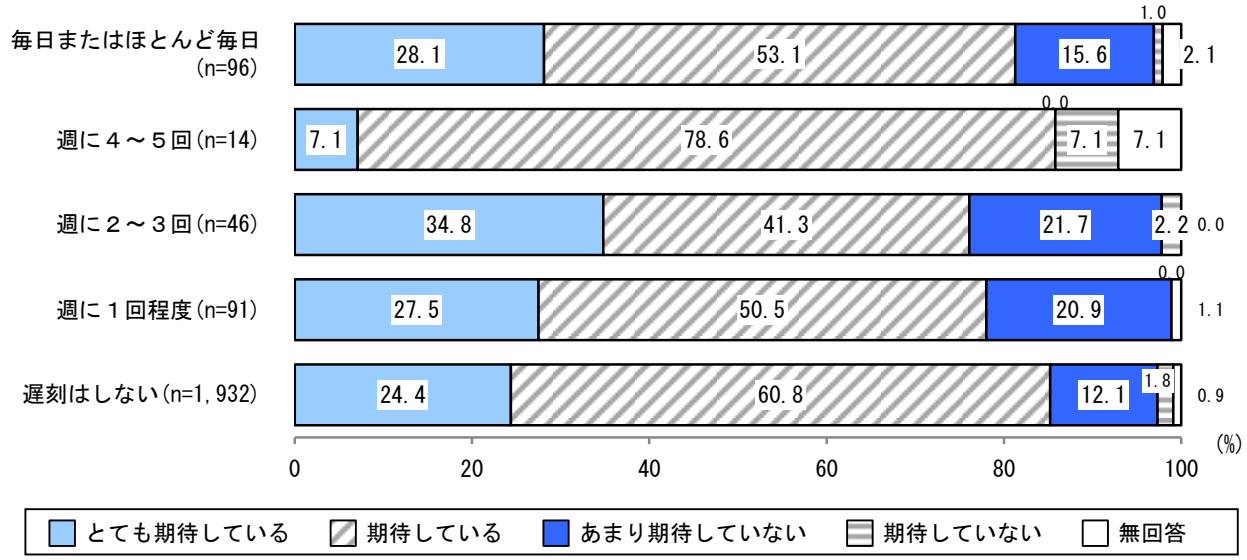
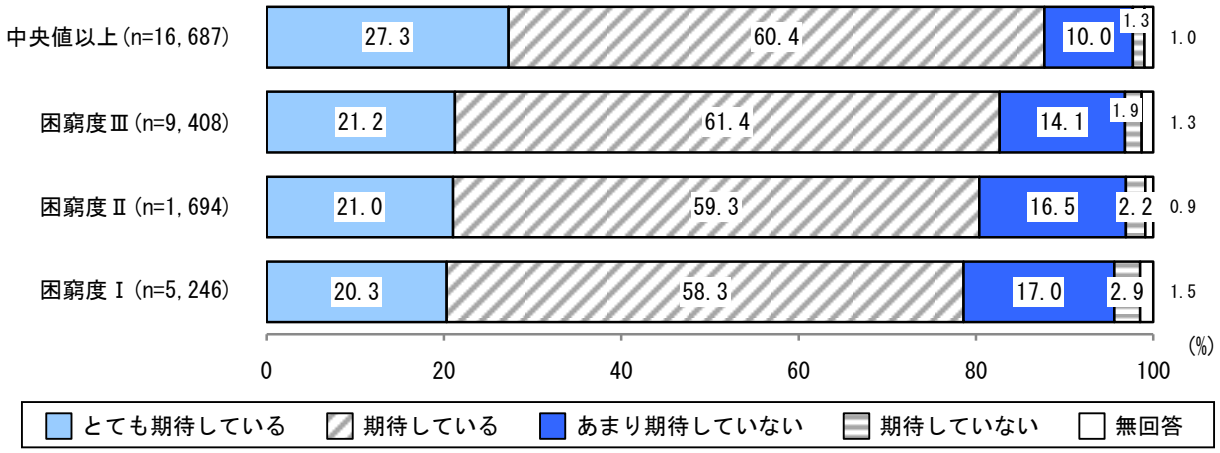


図 118. 学校への遅刻別に見た、子どもの将来への期待度

学校への遅刻別に子どもの将来への期待度を見ると、「週に２～３回」の子どもにおいては、「とても期待している」の割合が34.8%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、子どもの将来への期待度（保護者票問 13(4)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

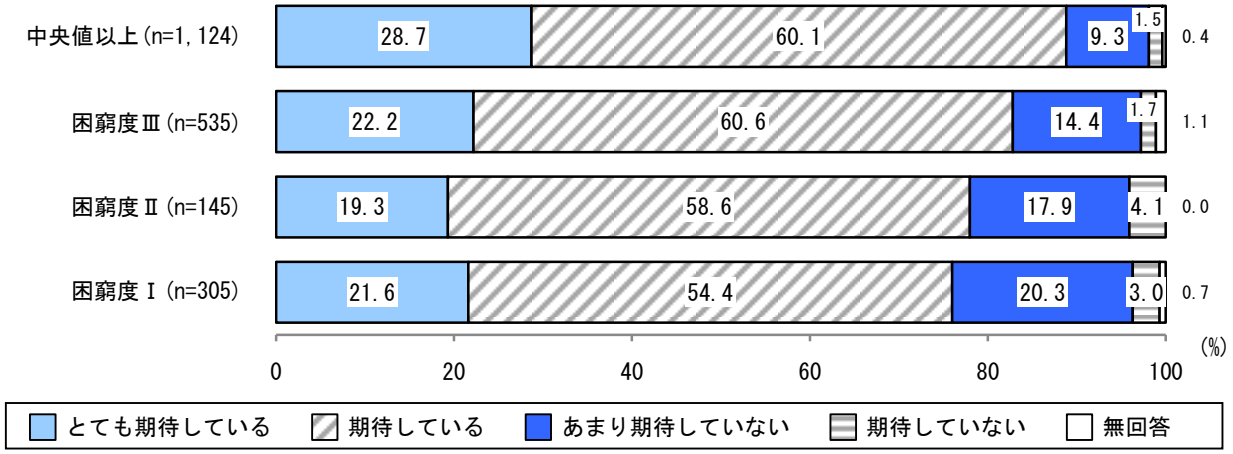
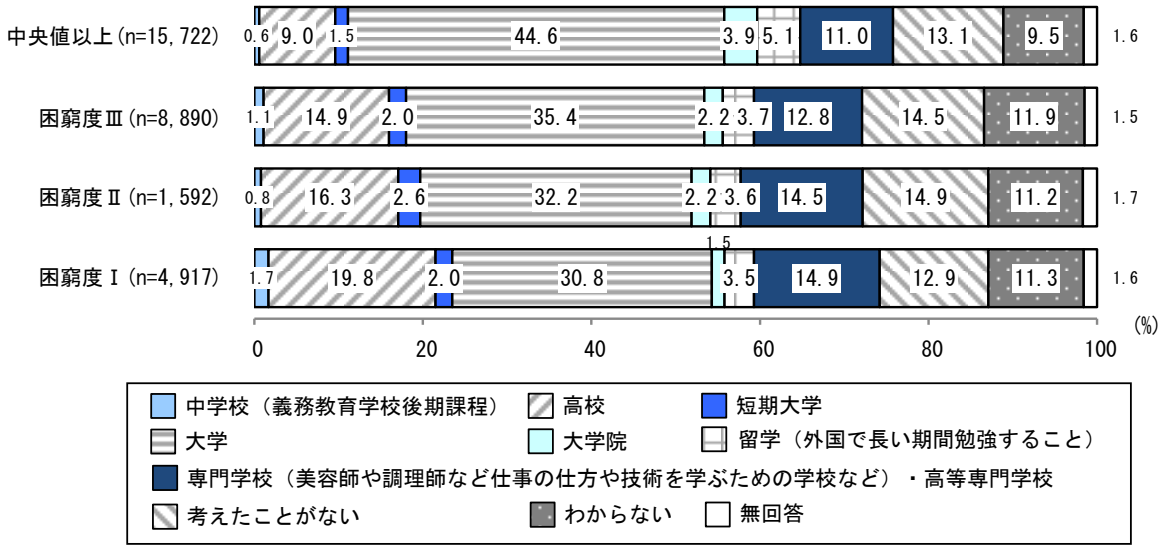


図 119. 困窮度別に見た、子どもの将来への期待度

困窮度別に子どもの将来への期待度を見ると、困窮度が高まるにつれ、「あまり期待していない」の割合が高くなっている。「とても期待している」の割合は困窮度Ⅱ群が19.3%で最も低くなっている。

困窮度別に見た、希望する進学先（子ども票問 24）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

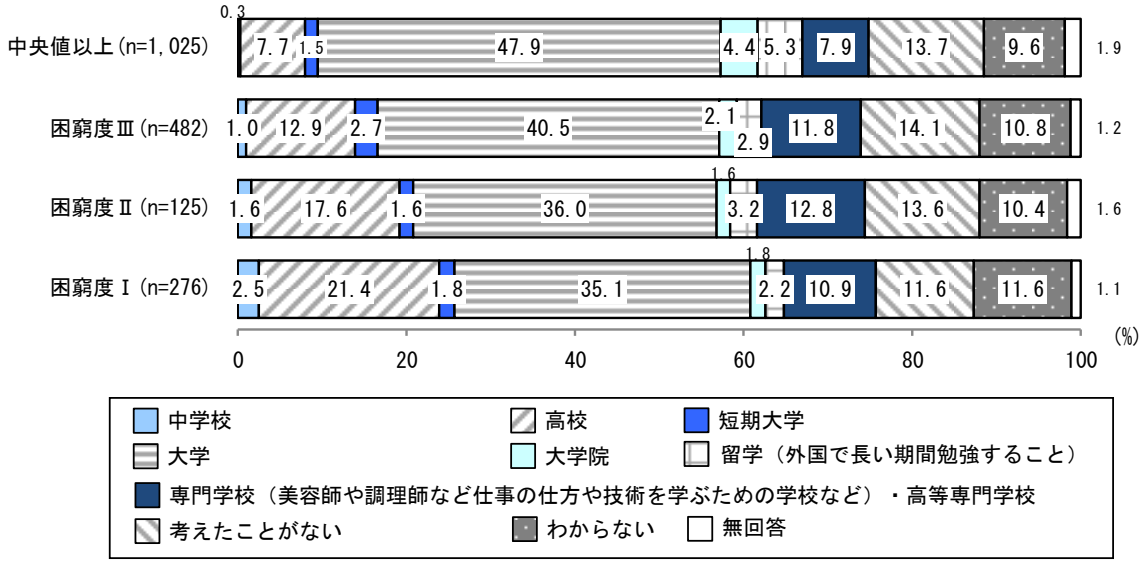
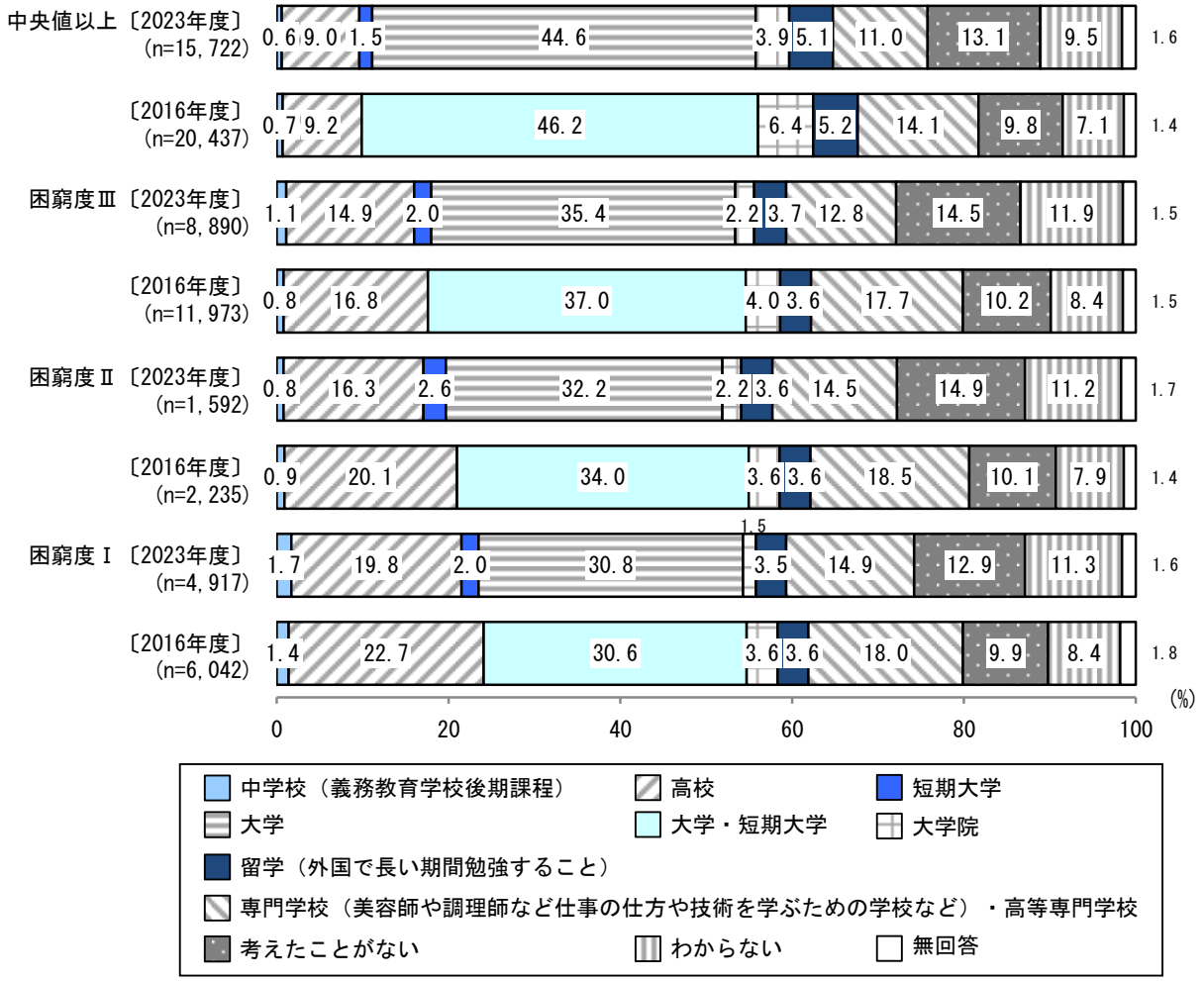


図 120. 困窮度別に見た、希望する進学先

困窮度別に子どもの希望する進学先を見ると、困窮度が高まるにつれ、高校卒業までの割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群では、「中学校」「高校」と回答した子どもは合計23.9%である。中央値以上群において「大学」と回答した割合は高く、47.9%である。

＜2016 年度調査との比較／大阪府内全体＞



※1　「短期大学」「大学」は、2016 年度調査では「大学・短期大学」

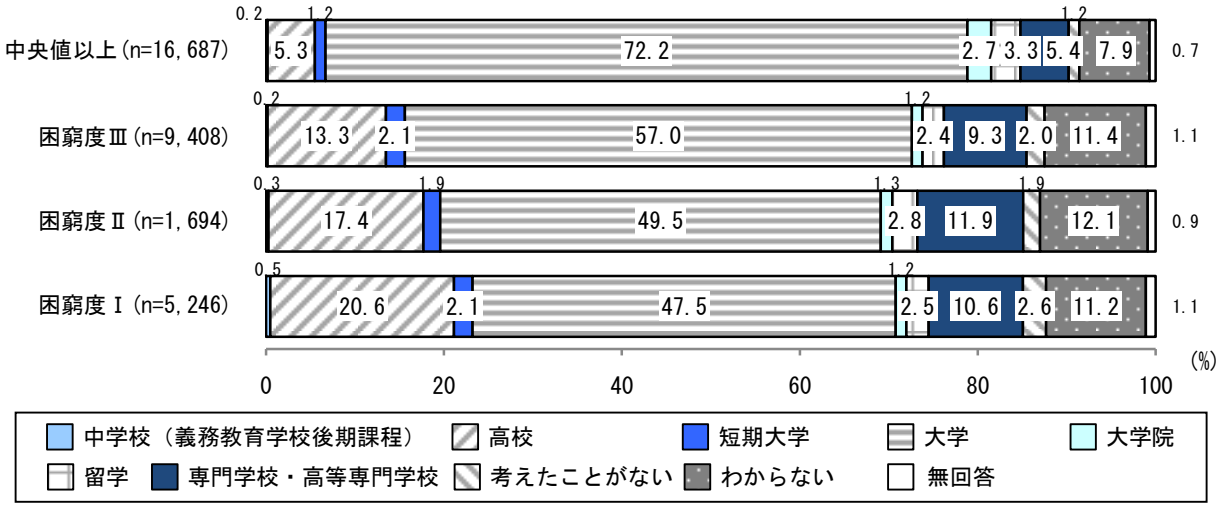
※2　「専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校」は、2016 年度調査では「専門学校」

図 121. 困窮度別に見た、希望する進学先（2016年度調査との比較）

2016年度調査と比較すると、「高校」、「専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校」と回答した割合は、いずれの困窮度も2016年度調査に比べて低くなっている。

困窮度別に見た、子どもに希望する進学（保護者票問 14）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

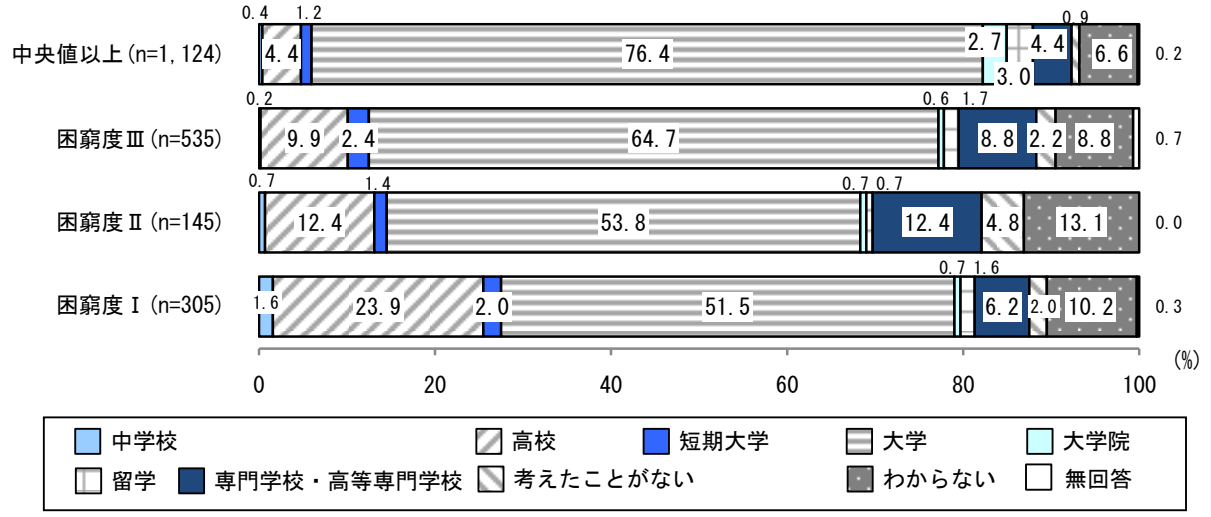
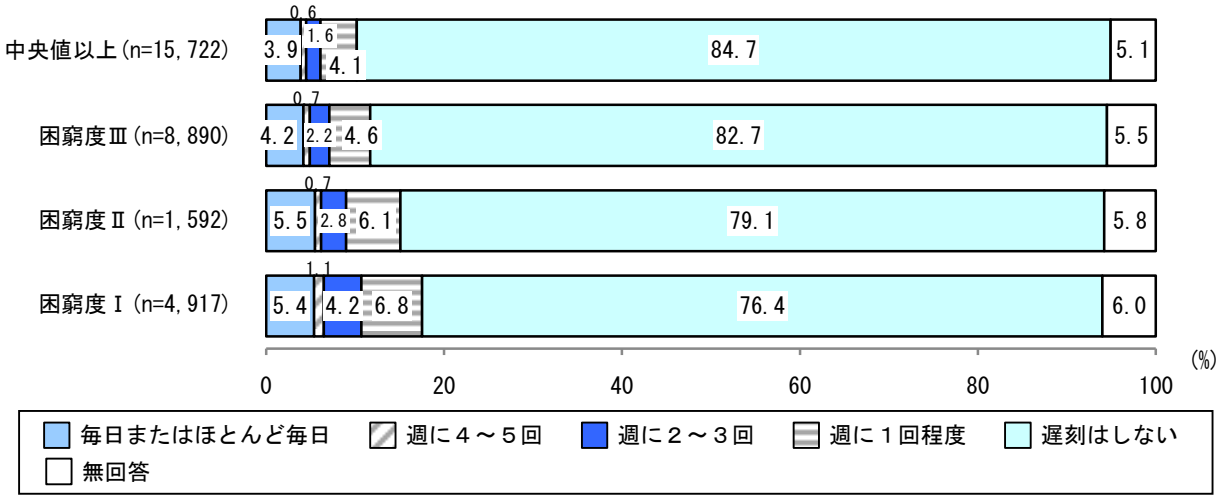


図 122. 困窮度別に見た、子どもに希望する進学

困窮度別に子どもの希望する進学先を見ると、困窮度が高まるにつれ、高校卒業までの割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群では、「中学校」、「高校」と回答した人は合計25.5%である。中央値以上群において「大学」と回答した割合は高く、76.4%である。

困窮度別に見た、学校への遅刻（子ども票問７）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

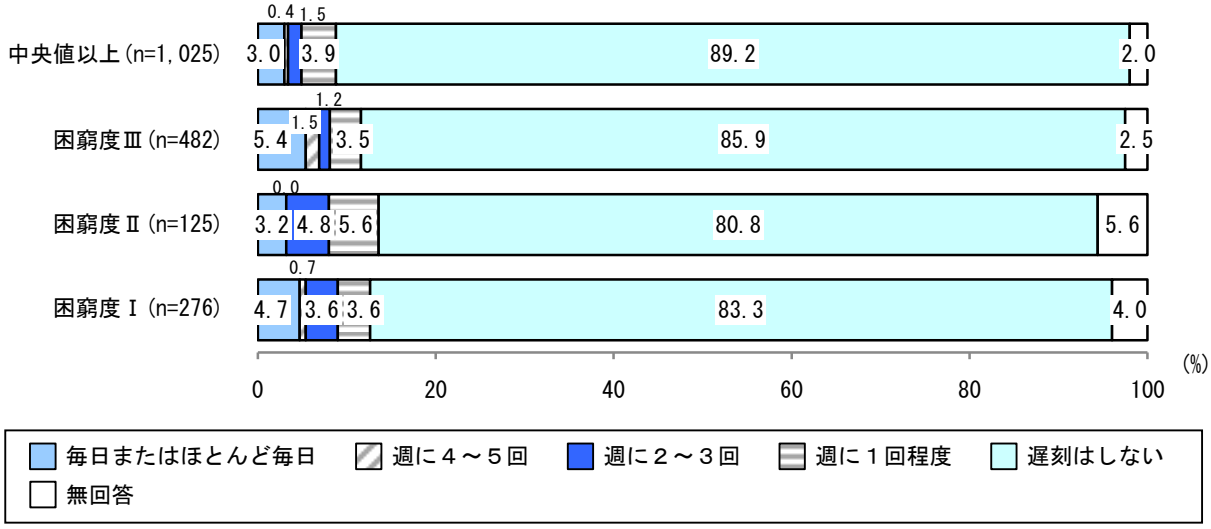
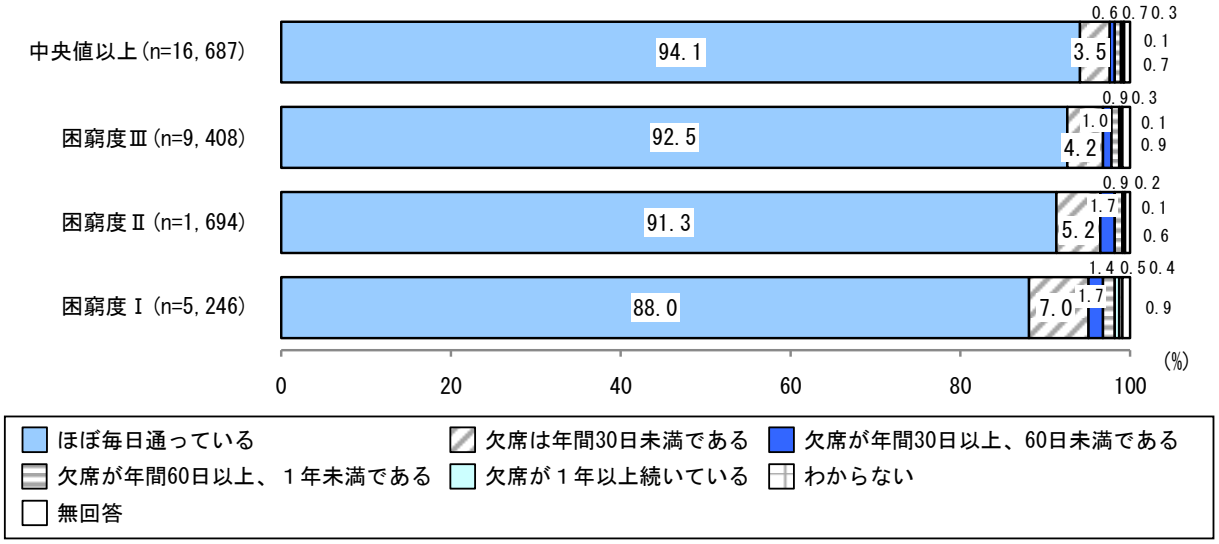


図 123. 困窮度別に見た、学校への遅刻

困窮度別に学校への遅刻を見ると、「毎日またはほとんど毎日」は困窮度Ⅲ群が5.4%と最も高くなっている。「週に２～３回」、「週に１回程度」は困窮度Ⅱ群が最も高くなっている。

困窮度別に見た、子どもの通学状況（保護者票問 15）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

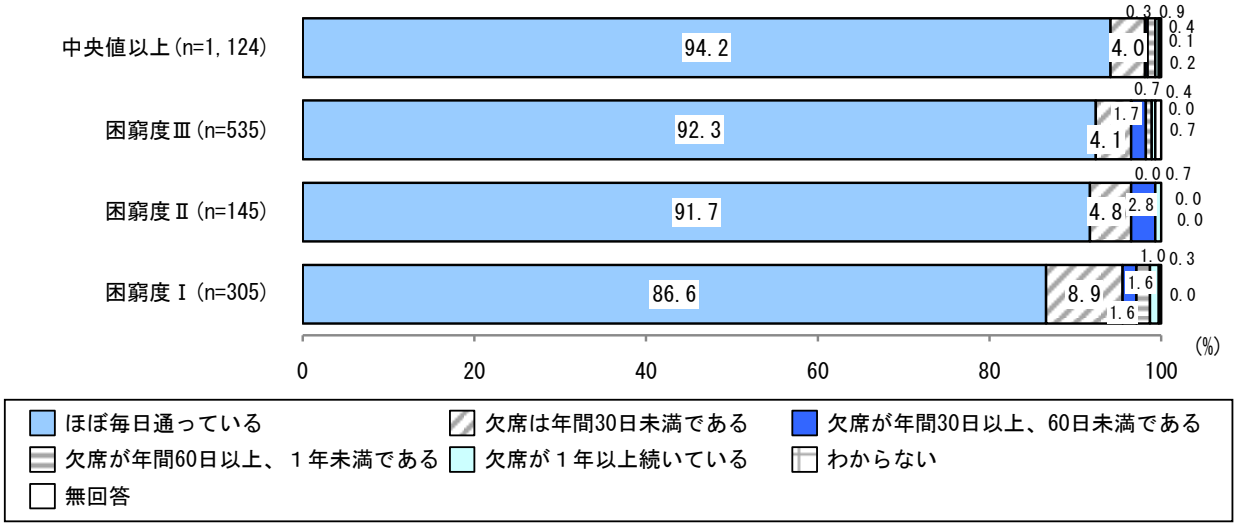
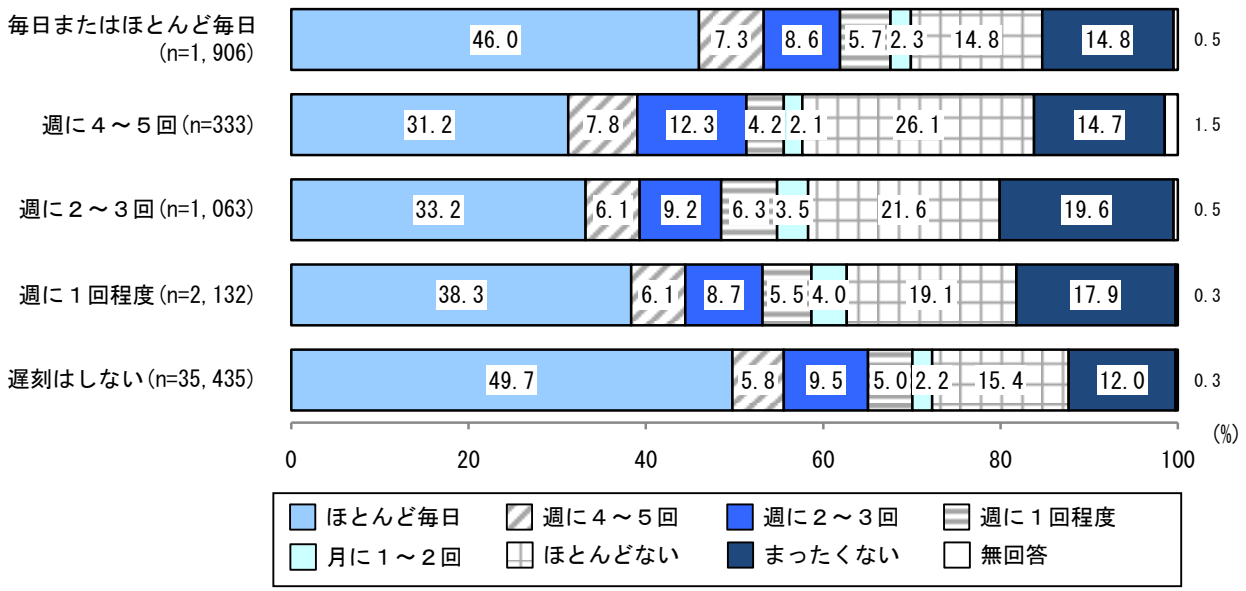


図 124. 困窮度別に見た、子どもの通学状況

困窮度別に子どもの通学状況を見ると、困窮度が高くなるにつれ、「ほぼ毎日通っている」と回答した人の割合が低くなり、困窮度Ⅰ群が86.6%と最も低くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか
（子ども票問７×保護者票問８①）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

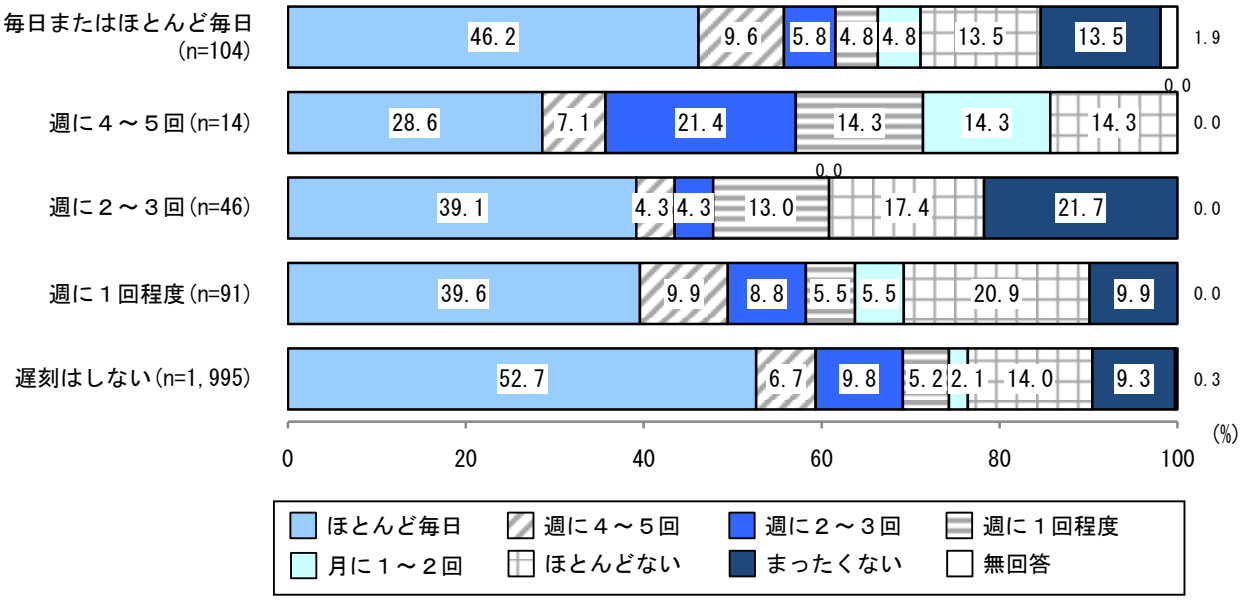
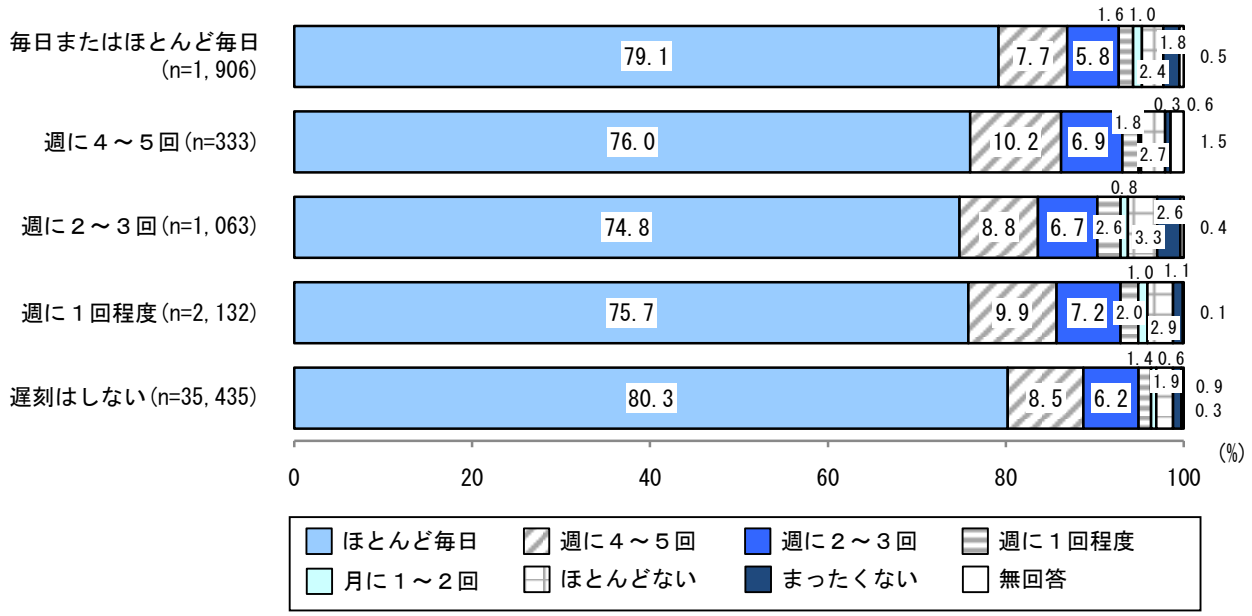


図 125. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか

学校への遅刻別におうちの大人の人と一緒に朝食を食べているかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は遅刻はしない子どもが52.7％で割合が最も高く、一方で、「まったくない」は週に２～３回遅刻をしている子どもの割合が21.7％で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか
（子ども票問７×保護者票問８②）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

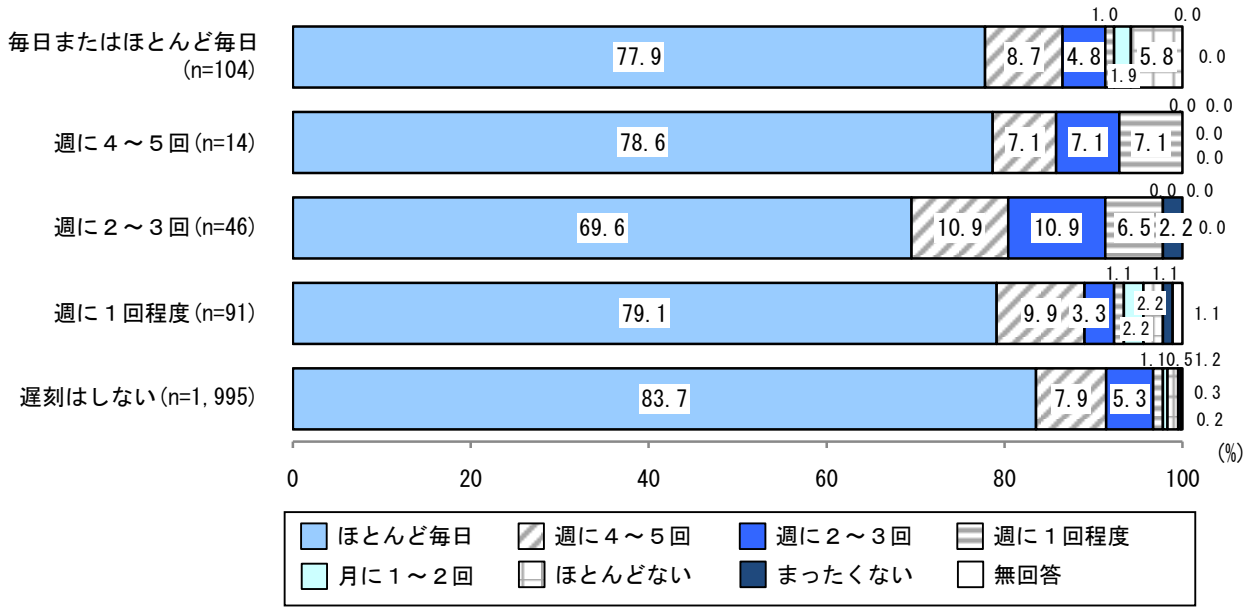
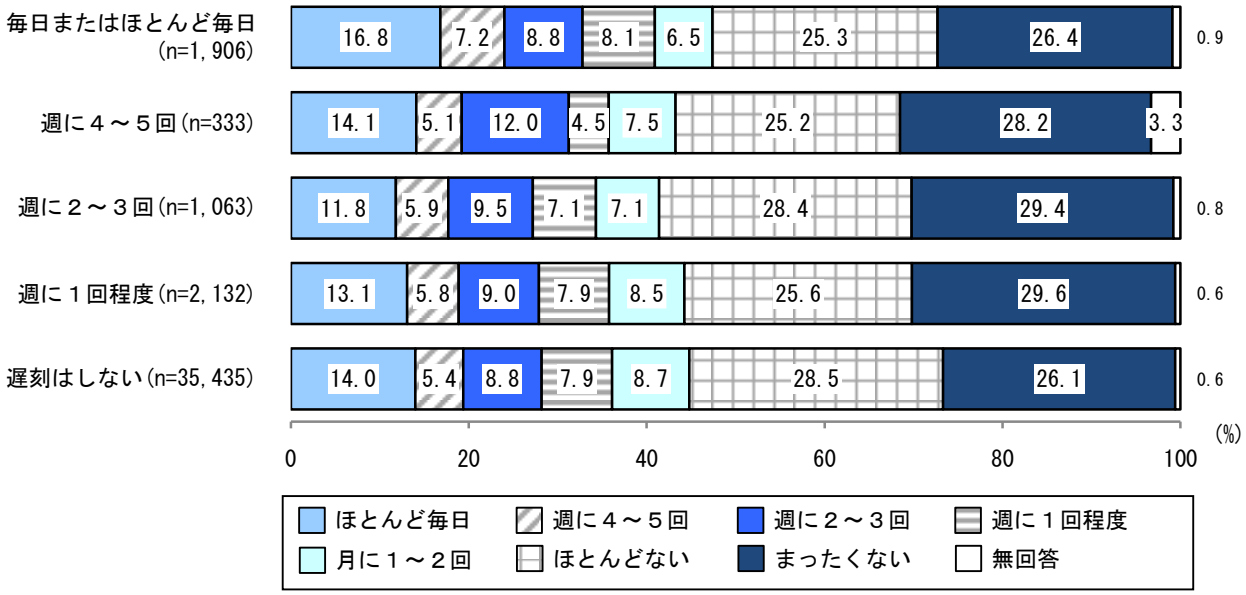


図 126. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか

学校への遅刻別におうちの大人の人と一緒に夕食を食べているかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は遅刻はしない子どもが83.7%で割合が最も高く、一方で、「ほとんどない」は毎日またはほとんど毎日遅刻をしている子どもの割合が5.8%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか
（子ども票問７×保護者票問８⑤）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

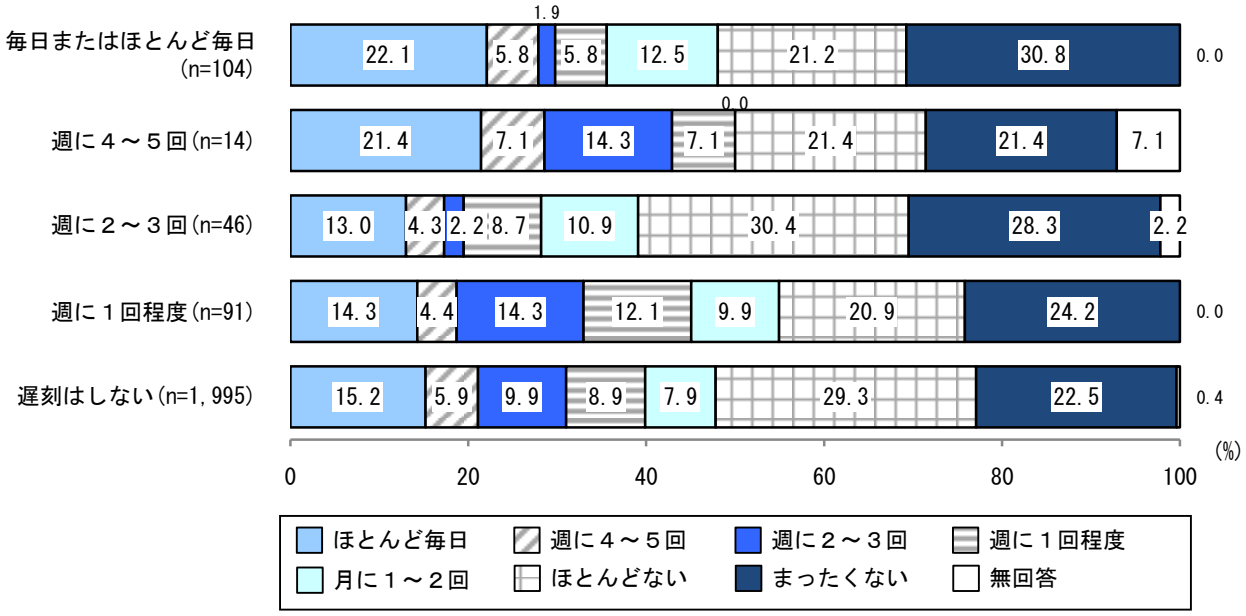
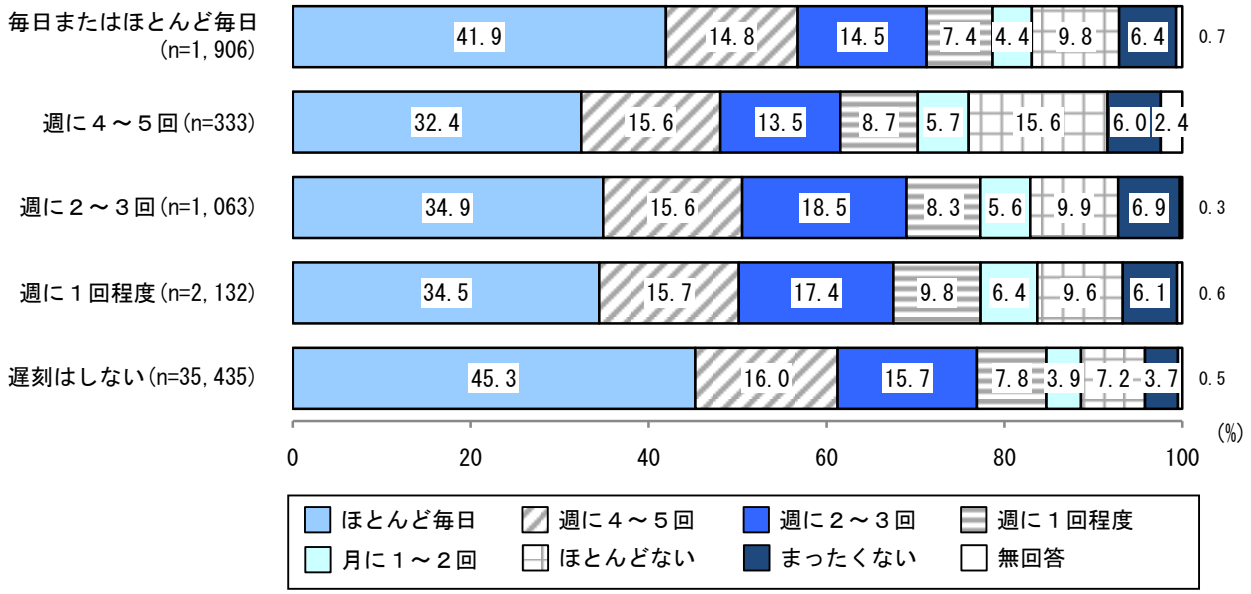


図 127. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか

学校への遅刻別におうちの大人の人に宿題(勉強)をみてもらうかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は週に４～５回遅刻をしている子どもが21.4%で割合が最も高く、一方で、「まったくない」は毎日またはほとんど毎日遅刻をしている子どもの割合が30.8%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すか
（子ども票問７×保護者票問８⑥）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

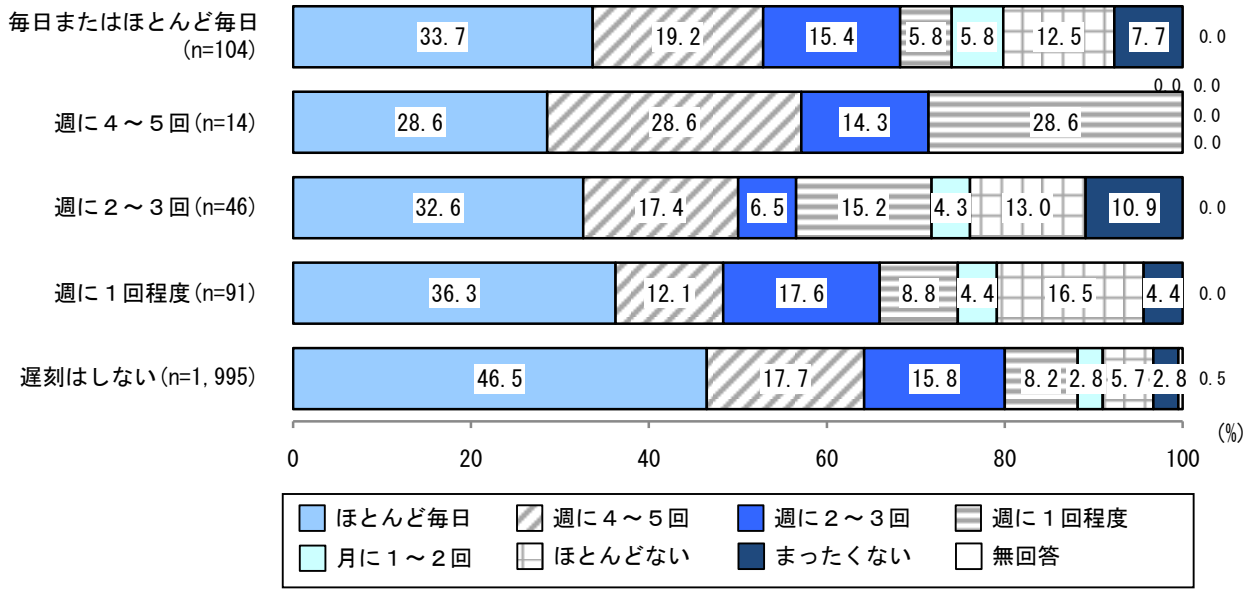
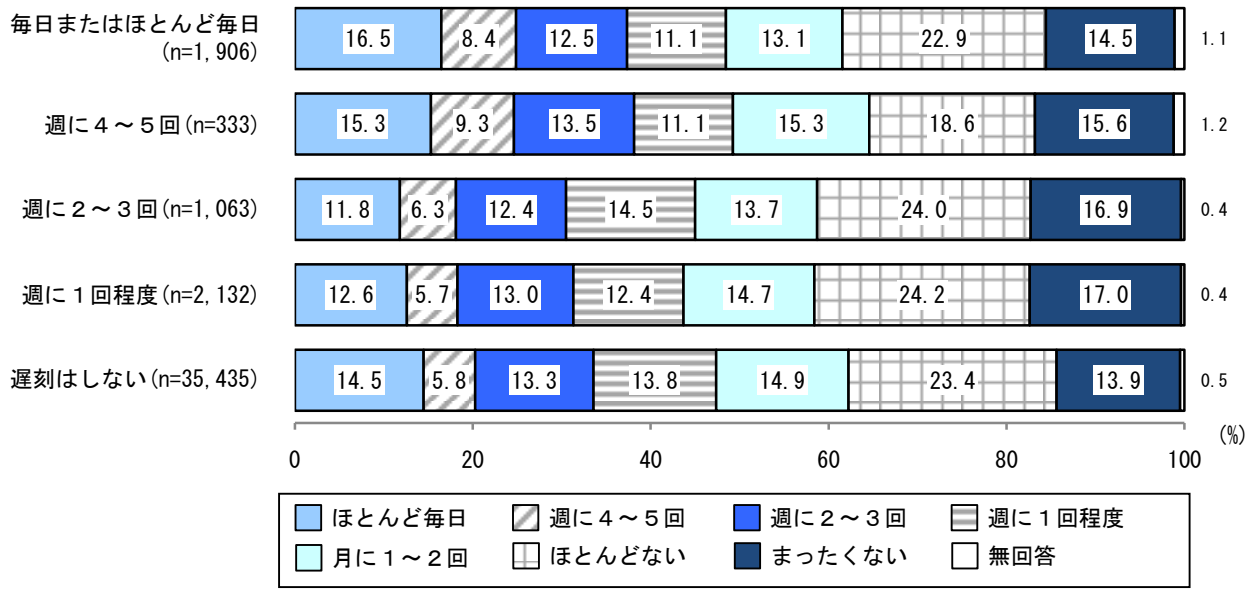


図 128. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すか

学校への遅刻別におうちの大人の人と学校でのできごとについて話すかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は遅刻はしない子どもが46.5%で割合が最も高く、一方で、「まったくない」は週に２～３回遅刻をしている子どもの割合が10.9%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか
（子ども票問７×保護者票問８⑦）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

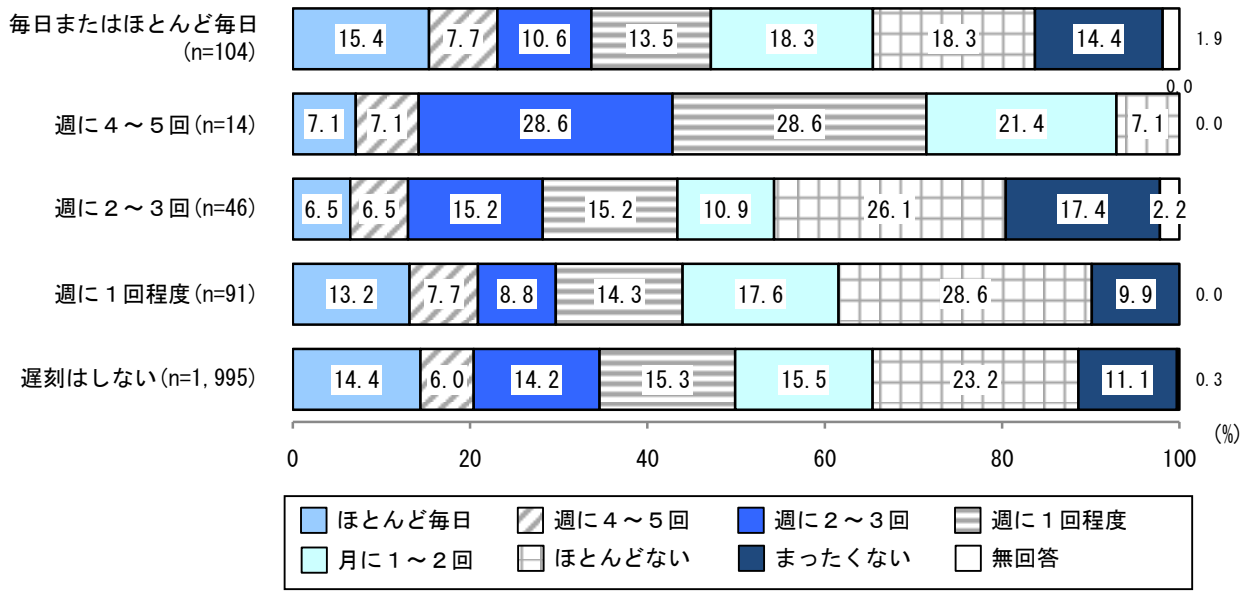
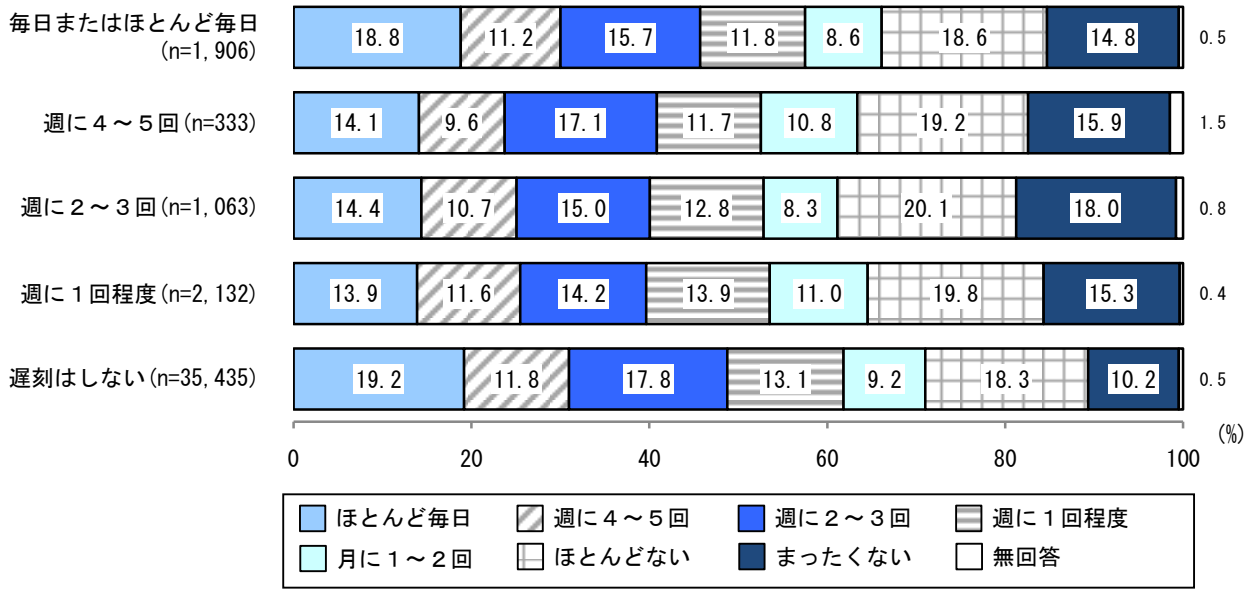


図 129. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか

学校への遅刻別におうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は毎日またはほとんど毎日遅刻をしている子どもが15.4%で割合が最も高く、一方で、「まったくない」は週に２～３回遅刻をしている子どもの割合が17.4%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか
（子ども票問７×保護者票問８⑧）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

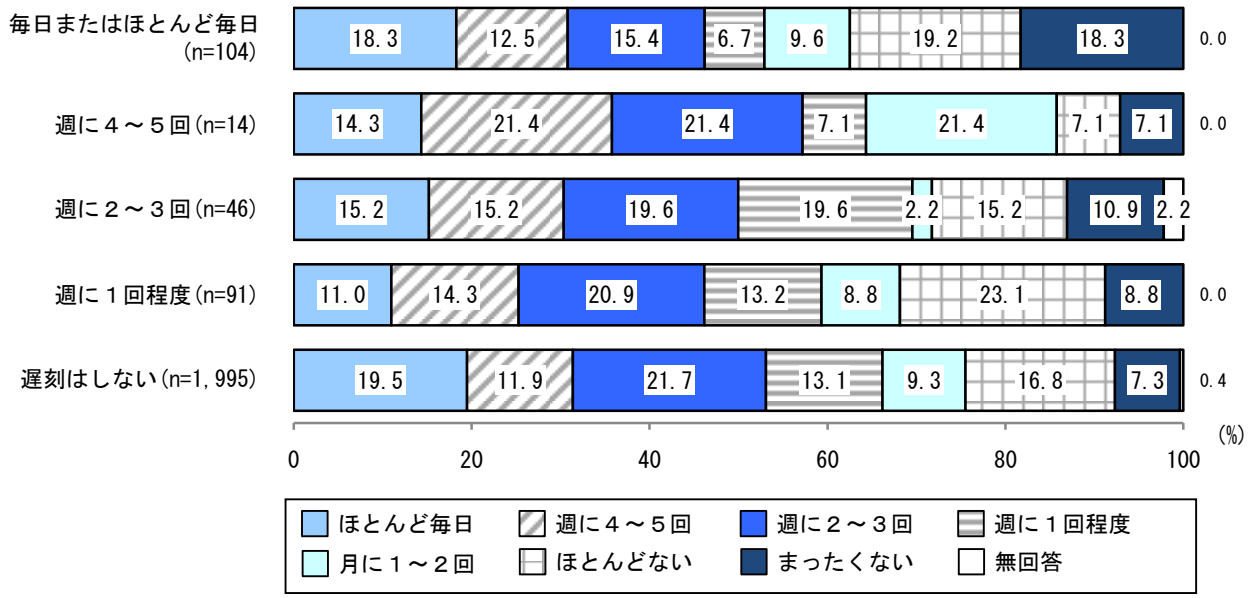
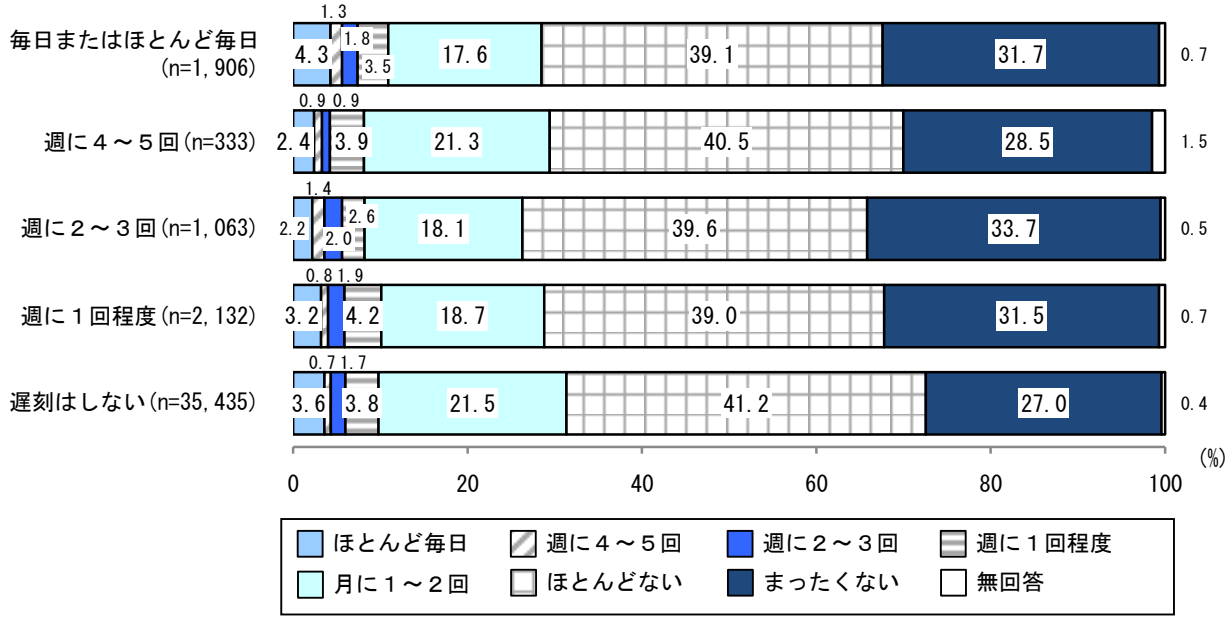


図 130. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか

学校への遅刻別におうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は遅刻はしない子どもが19.5%で割合が最も高く、一方で、「まったくない」は毎日またはほとんど毎日遅刻をしている子どもの割合が18.3%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか
（子ども票問７×保護者票問８⑨）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

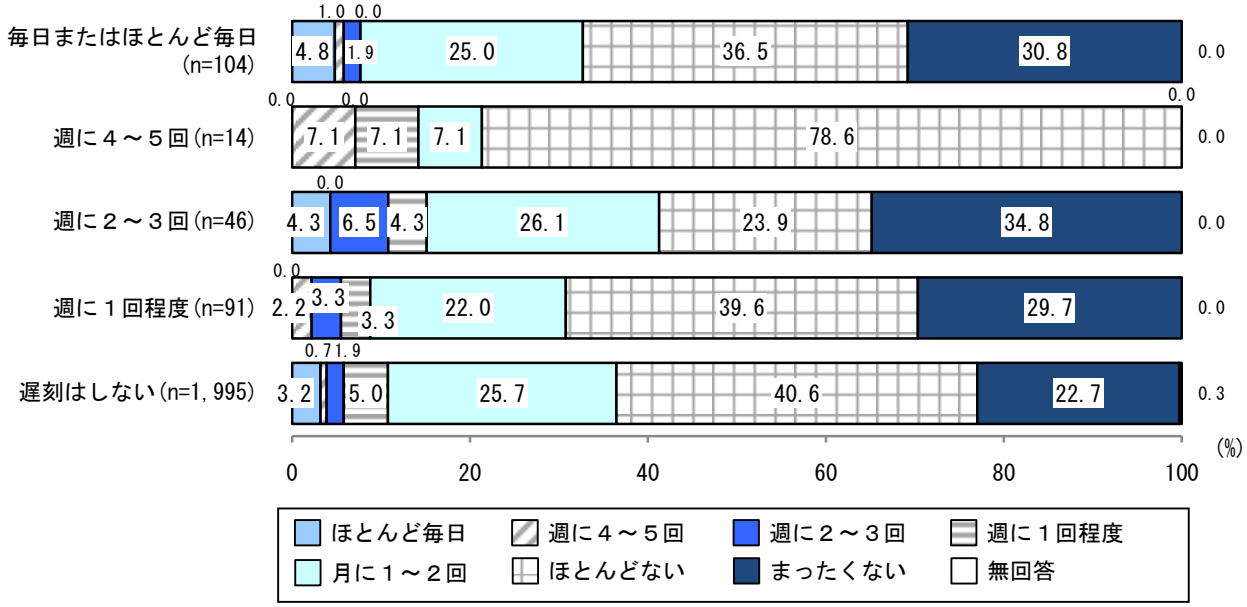
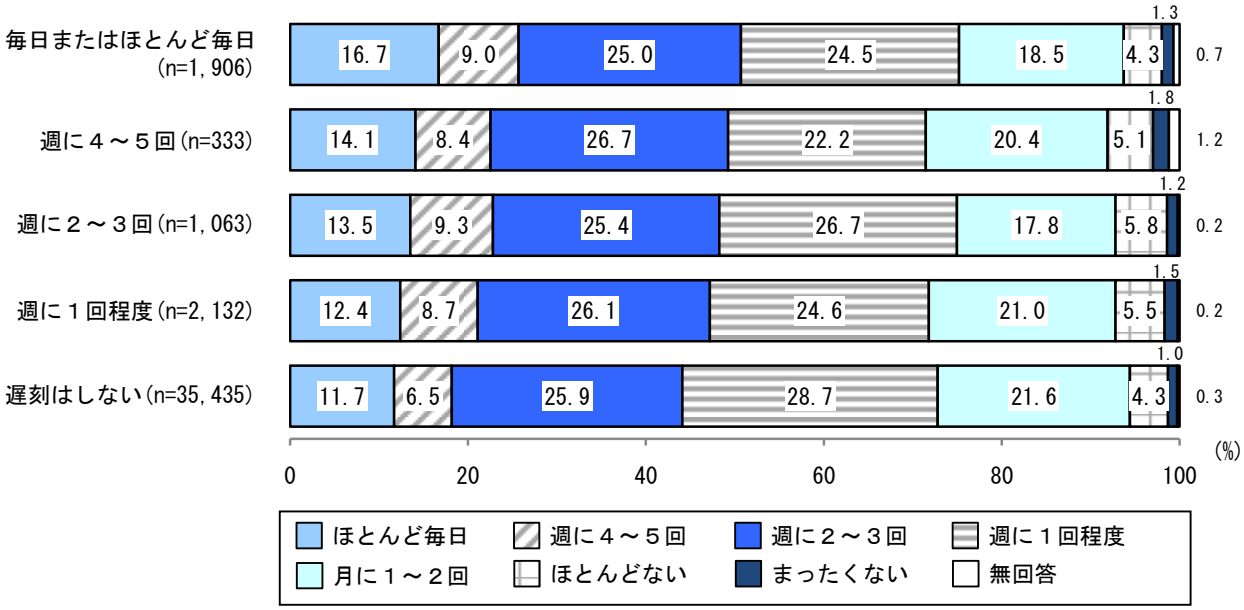


図 131. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか

学校への遅刻別におうちの大人の人と文化活動をするかを見ると、「ほとんどない」は週に４～５回遅刻をしている子どもの割合が78.6%、遅刻はしない子どもの割合が40.6%、週に１回程度遅刻をしている子どもの割合が39.6%で高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に外出するか
（子ども票問７×保護者票問８⑩）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

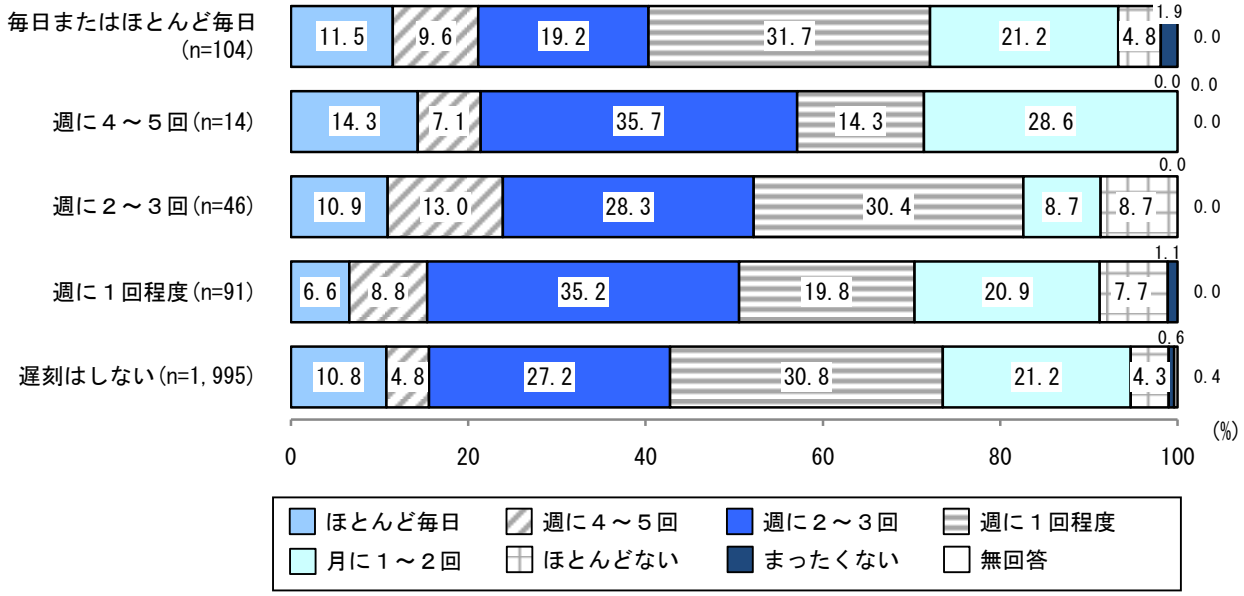
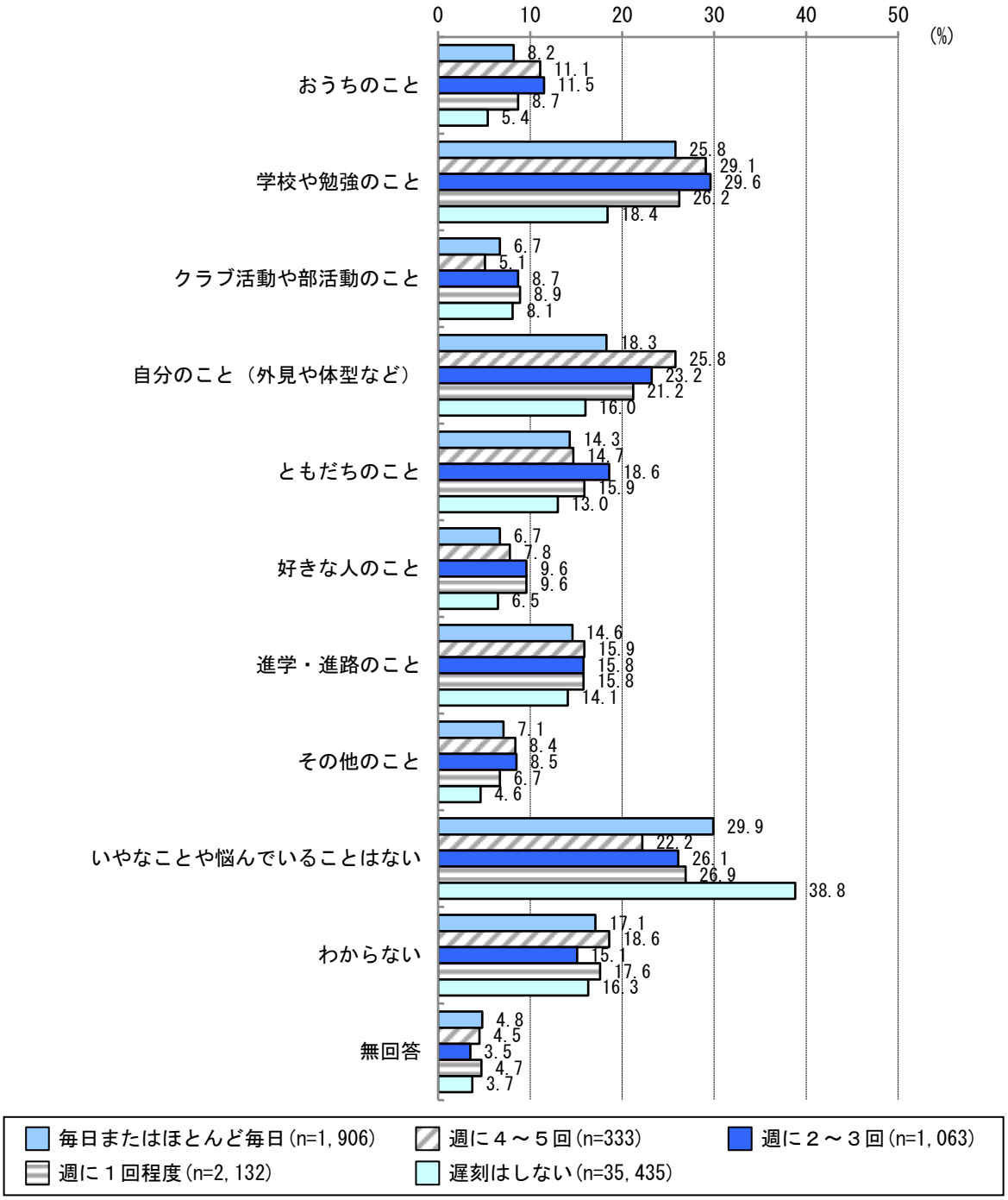


図 132. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に外出するか

学校への遅刻別におうちの大人の人と一緒に外出するかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は週に４～５回遅刻をしている子どもが14.3%で割合が最も高く、一方で、「ほとんどない」は週に２～３回遅刻をしている子どもの割合が8.7%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、嫌なことや悩んでいること（子ども票問７×子ども票問 17）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

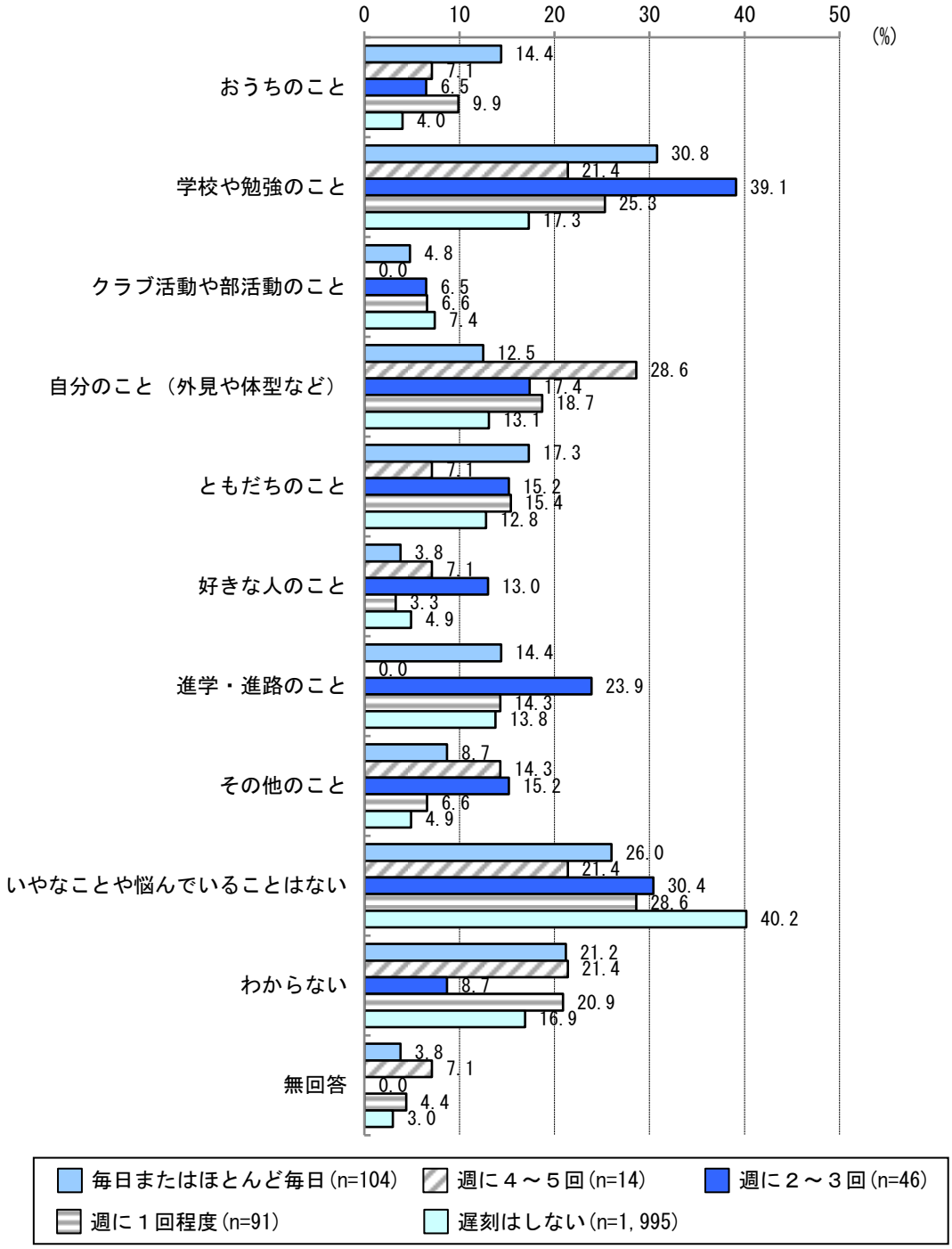
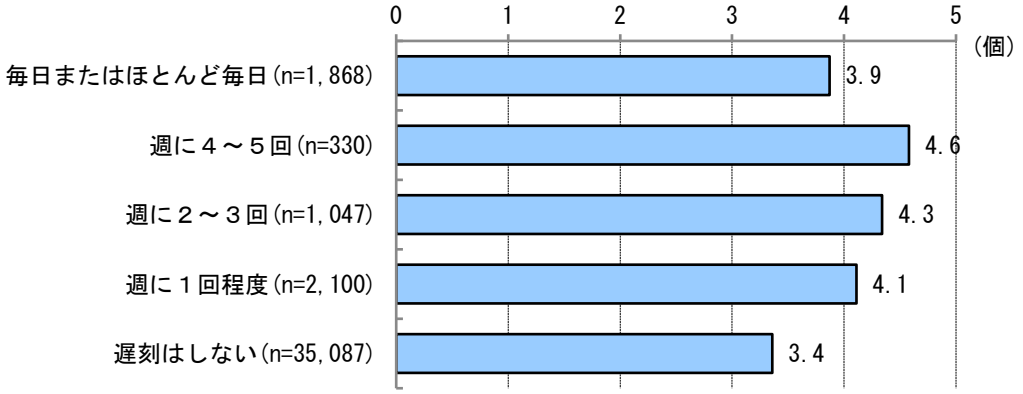


図 133. 学校への遅刻別に見た、嫌なことや悩んでいること

学校への遅刻別に嫌なことや悩んでいることを見ると、「おうちのこと」の割合は毎日またはほとんど毎日遅刻をしている子どもが14.4%で割合が最も高く、一方で、「いやなことや悩んでいることはない」は遅刻はしない子どもの割合が40.2%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数
（子ども票問７×子ども票問 19・20）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

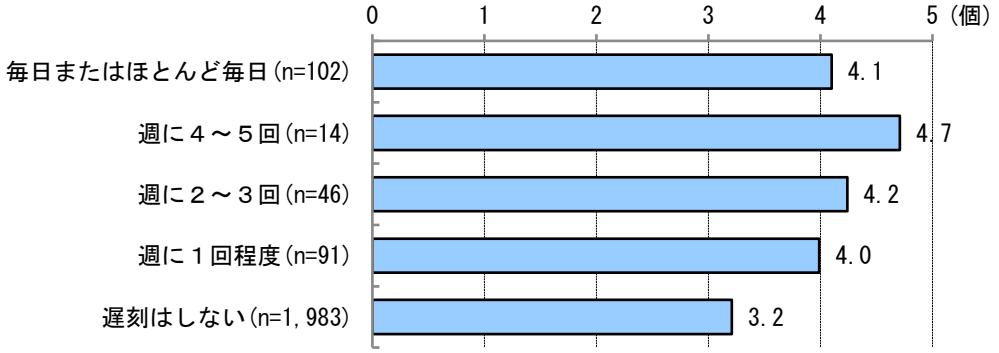
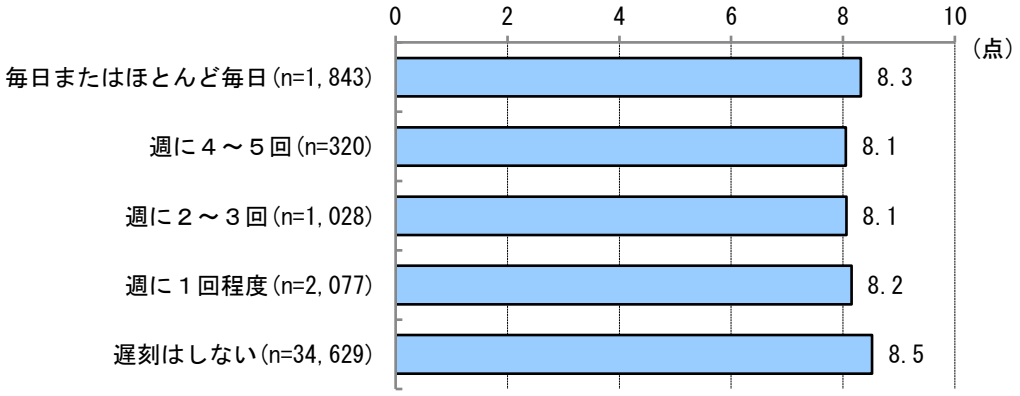


図 134. 学校への遅刻別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数

学校への遅刻別に自分の体や気持ちで気になることの該当個数を見ると、「週に４～５回」遅刻をしている子どもが4.7個で最も多く、次いで「週に２～３回」遅刻をしている子どもが4.2個となっている。

学校への遅刻別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問７×子ども票問 23）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

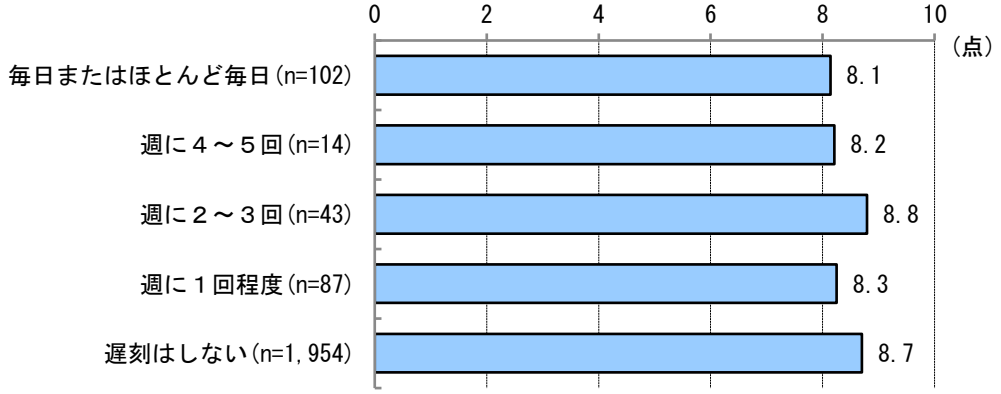
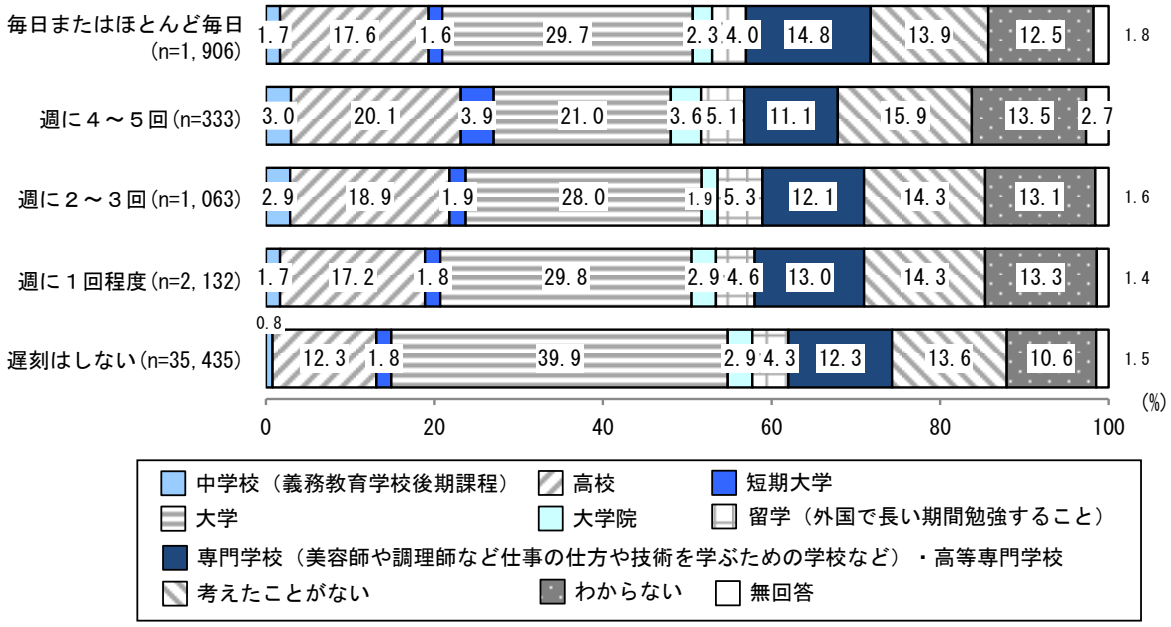


図 135. 学校への遅刻別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

学校への遅刻別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「毎日またはほとんど毎日」遅刻している子どもは「遅刻はしない」子どもよりも自己効力感（セルフ・エフィカシー）が低い。

学校への遅刻別に見た、希望する進学先（子ども票問７×子ども票問 24）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

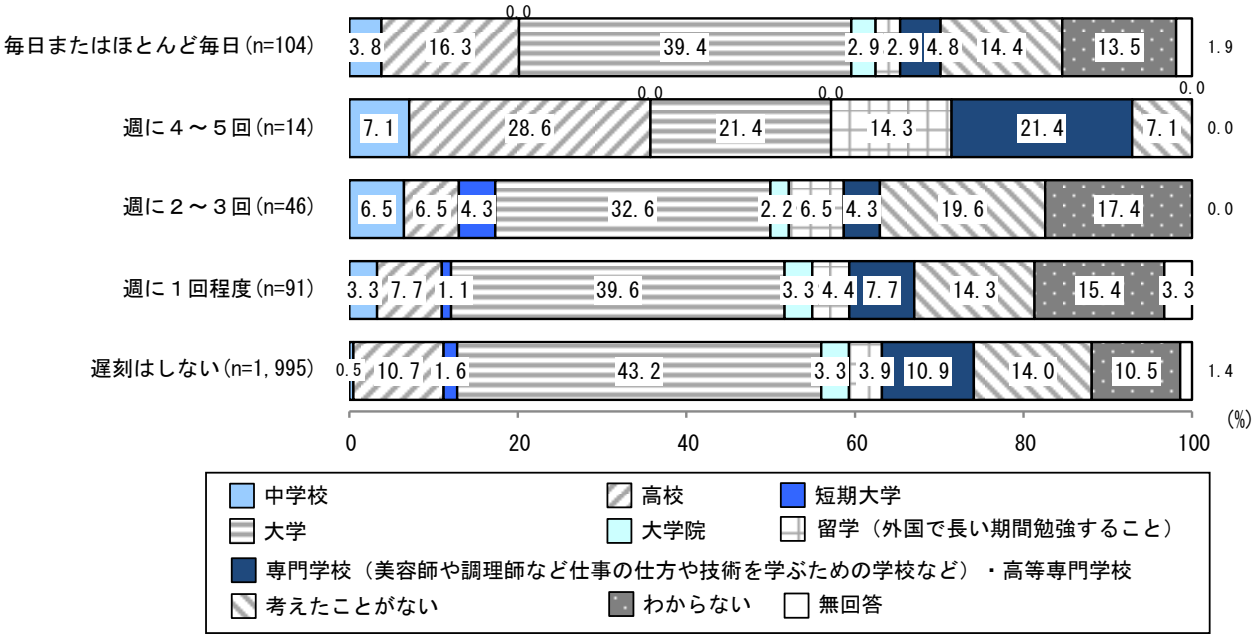
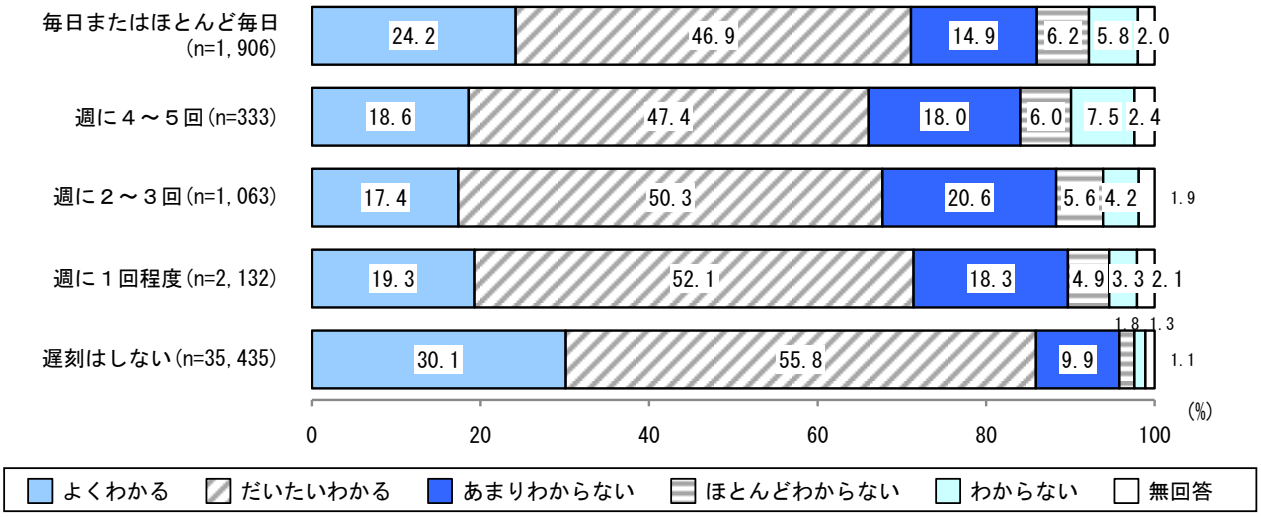


図 136. 学校への遅刻別に見た、希望する進学先

学校への遅刻別に希望する進学先を見ると、「大学」は遅刻はしない子どもの割合が43.2%で最も高く、次いで週に１回程度遅刻をしている子どもの割合が39.6%となっている。

学校への遅刻別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの（子ども票問７×子ども票問 14(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

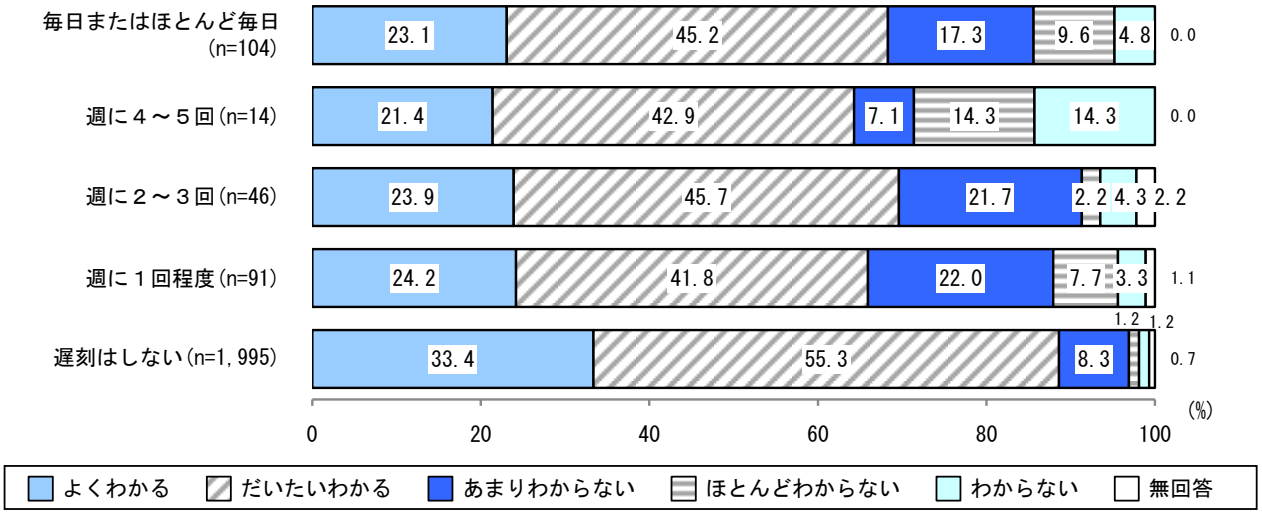
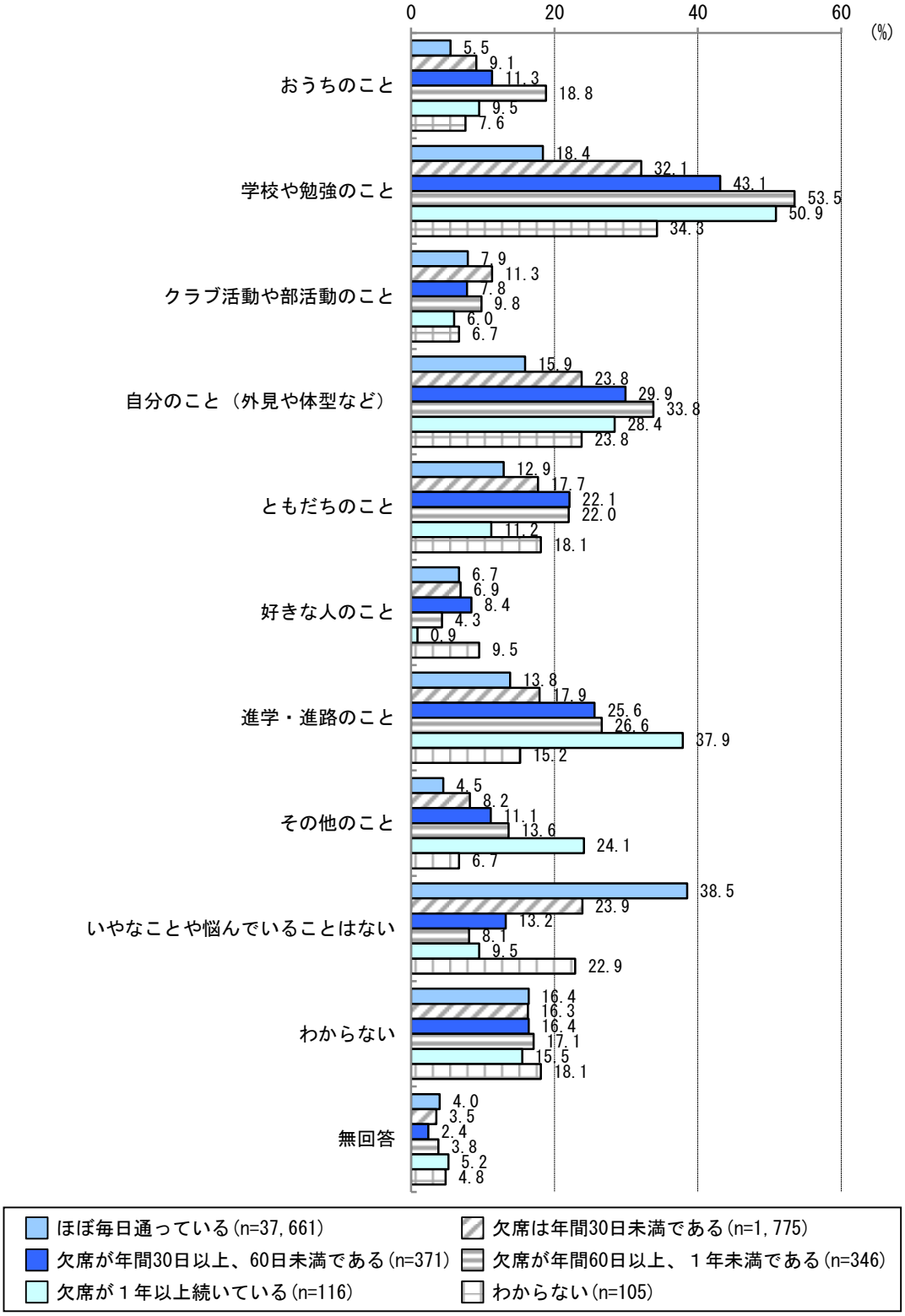


図 137. 学校への遅刻別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの

学校への遅刻別に学校の勉強で気持ちに近いものを見ると、「よくわかる」は遅刻はしない子どもの割合が33.4%で最も高く、「だいたいわかる」も遅刻はしない子どもの割合が55.3%で最も高くなっている。

子どもの通学状況別に見た、嫌なことや悩んでいること（保護者票問 15×子ども票問 17）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

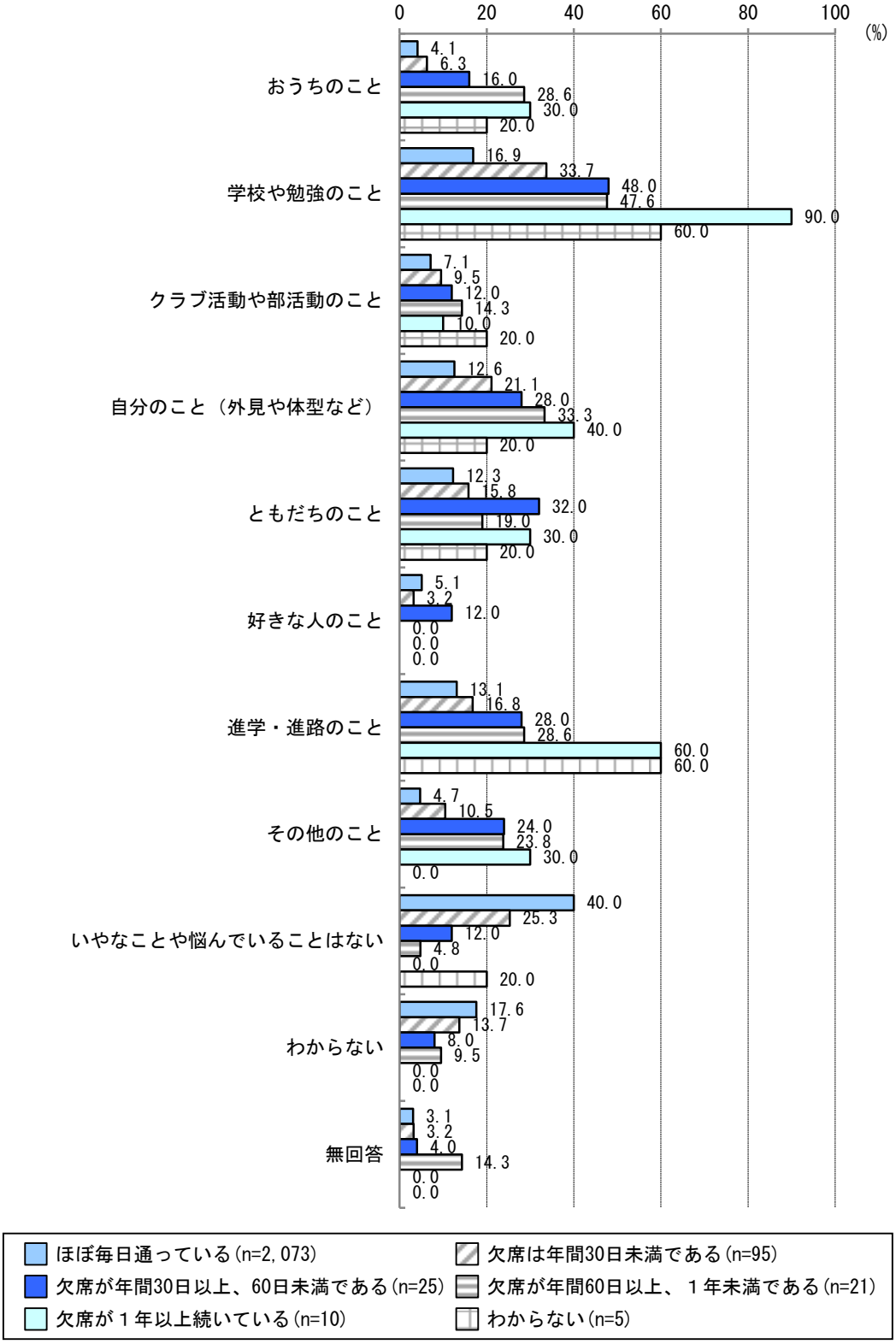
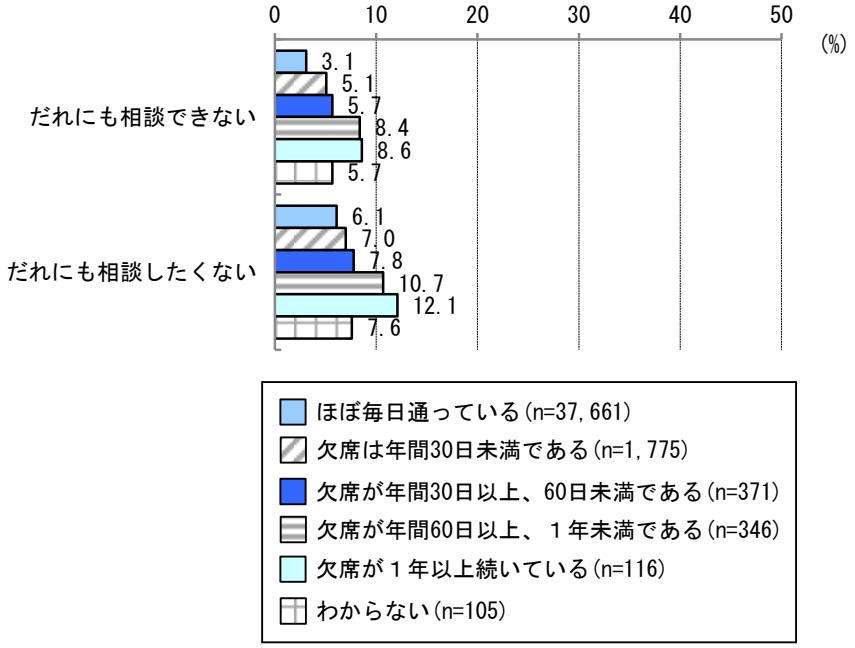


図 138. 子どもの通学状況別に見た、嫌なことや悩んでいること

子どもの通学状況別に嫌なことや悩んでいることを見ると、「学校や勉強のこと」や「クラブ活動や部活動のこと」、「進学・進路のこと」は概ね子どもが欠席が多くなるほど割合が高くなっている。

子どもの通学状況別に見た、悩んだ時の対処を教えてくれる人のいない割合
（保護者票問 15×子ども票問 18）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

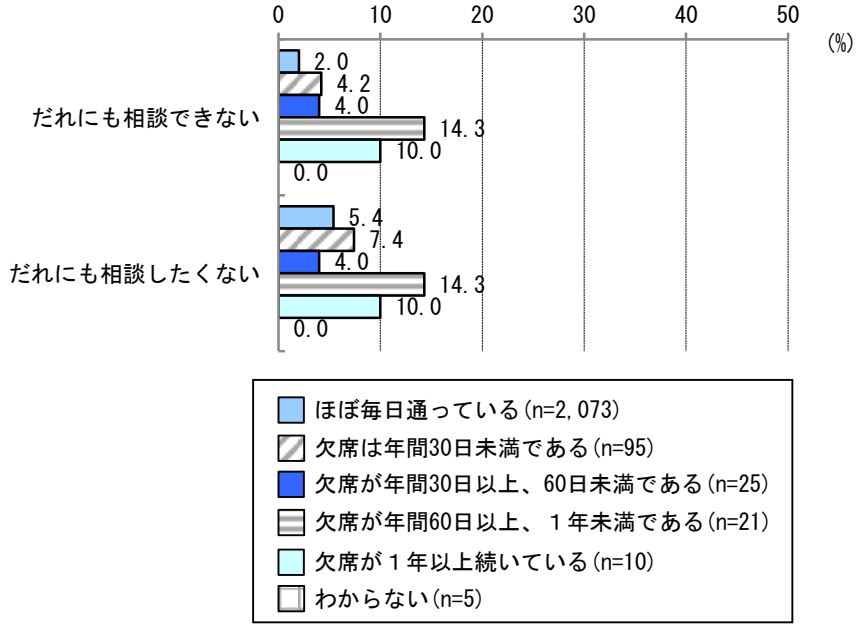
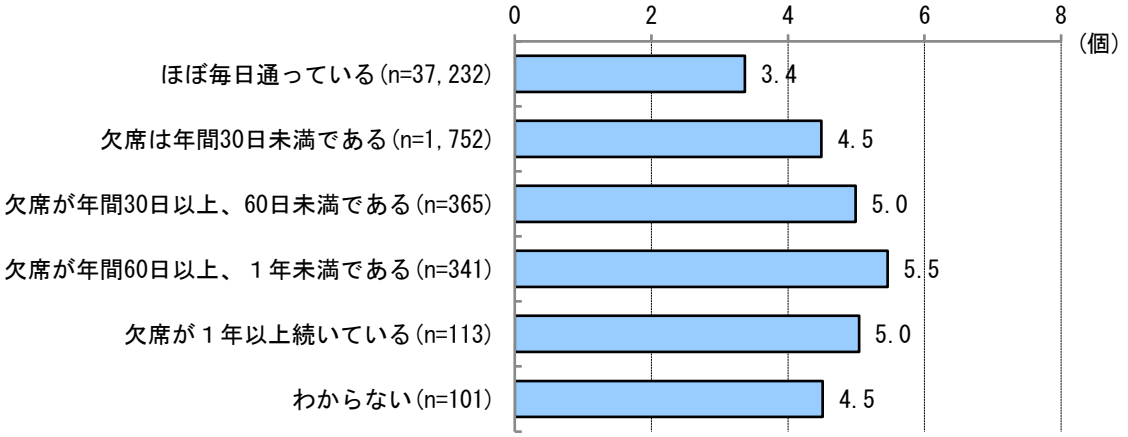


図 139. 子どもの通学状況別に見た、悩んだ時の対処を教えてくれる人のいない割合

子どもの通学状況別に悩んだ時の対処を教えてくれる人のいない割合を見ると、「だれにも相談できない」、「だれにも相談したくない」と回答した人の割合は欠席が年間60日以上、１年未満である人の割合が最も高くなっている。

子どもの通学状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数
（保護者票問 15×子ども票問 19・20）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

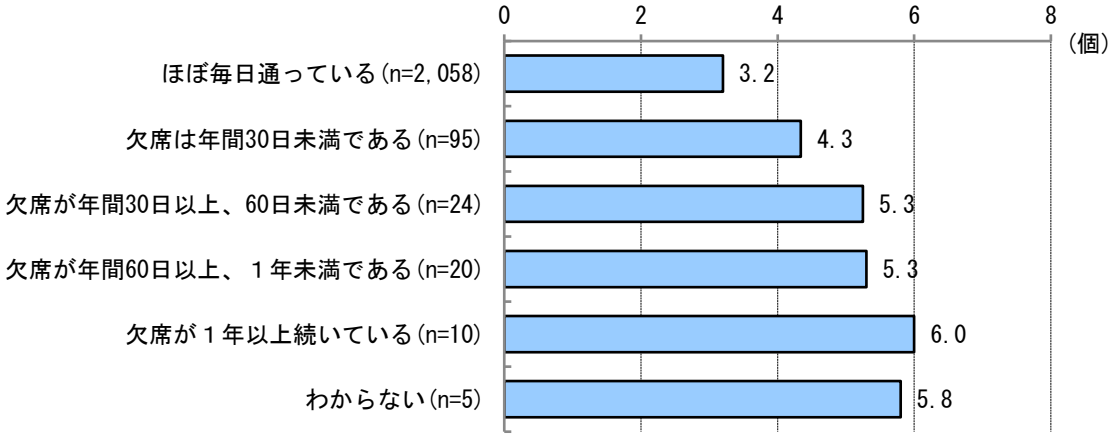
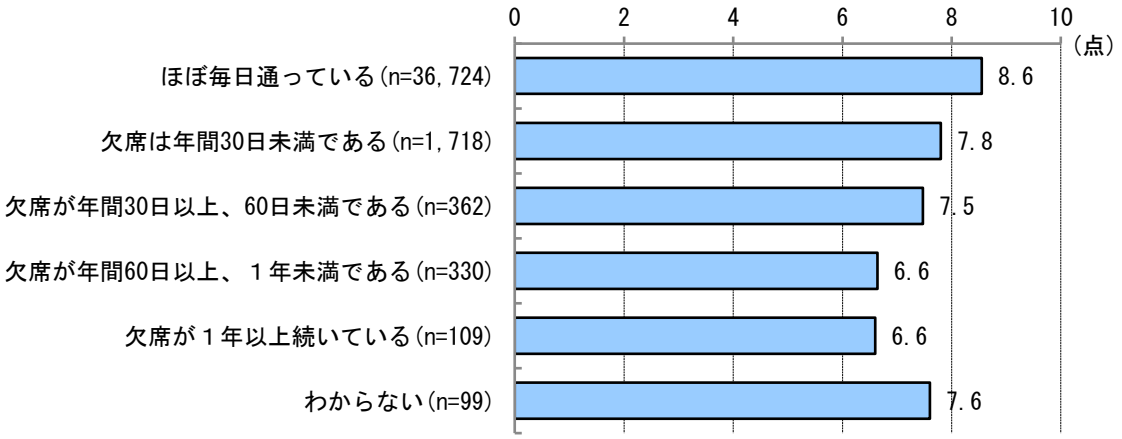


図 140. 子どもの通学状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数

子どもの通学状況別に自分の体や気持ちで気になることの該当個数を見ると、欠席が１年以上続いていると回答した人が6.0個で最も多く、次いで欠席が年間30日以上、60日未満であると欠席が年間60日以上、１年未満であると回答した人がともに5.3個となっている。

子どもの通学状況別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（保護者票問 15×子ども票問 23）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

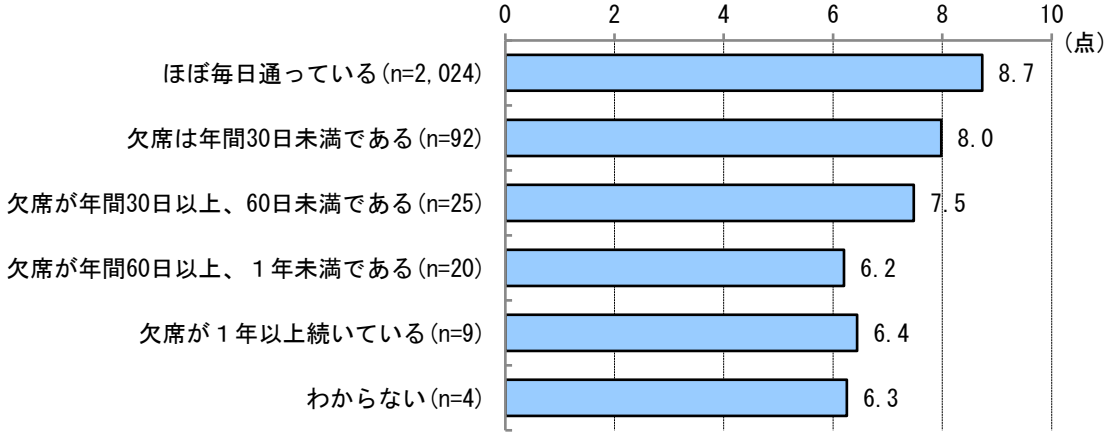
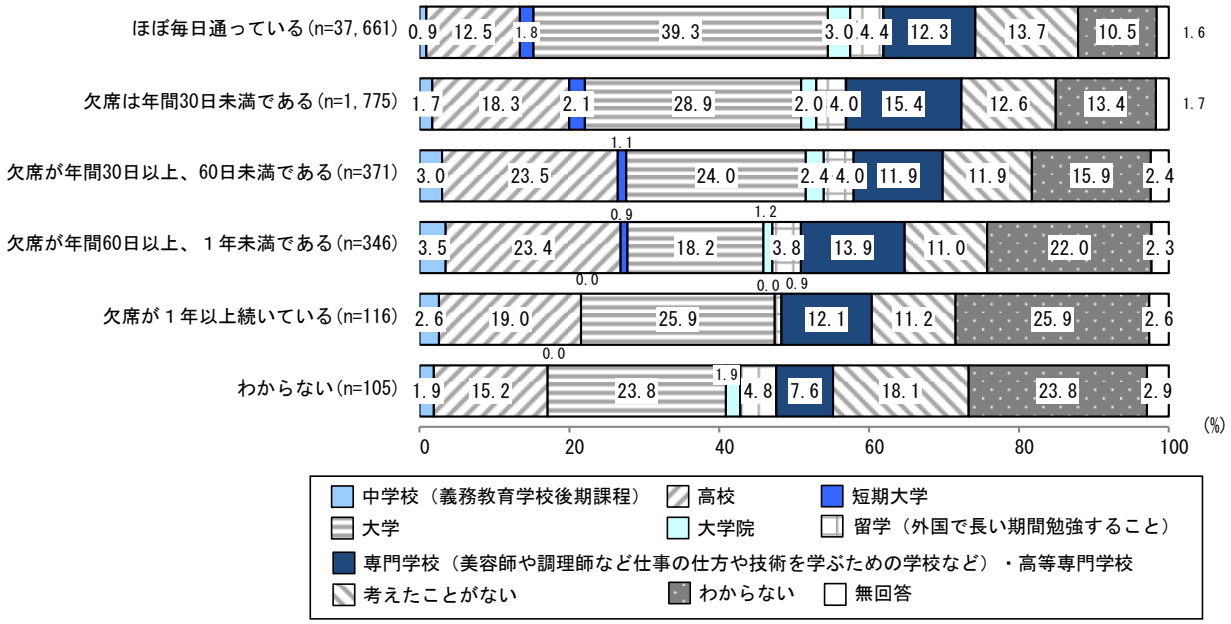


図 141. 子どもの通学状況別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

子どもの通学状況別に子どもの自己効力感(セルフ・エフィカシー)を見ると、「ほぼ毎日通っている」と回答した人の得点が8.7点であるのに対して、「欠席が年間60日以上、１年未満である」と回答した人は6.2点、「欠席が１年以上続いている」と回答した人は6.4点と通学日数が少ない子どもほど、セルフ・エフィカシーが低い結果となった。

子どもの通学状況別に見た、希望する進学先（保護者票問 15×子ども票問 24）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

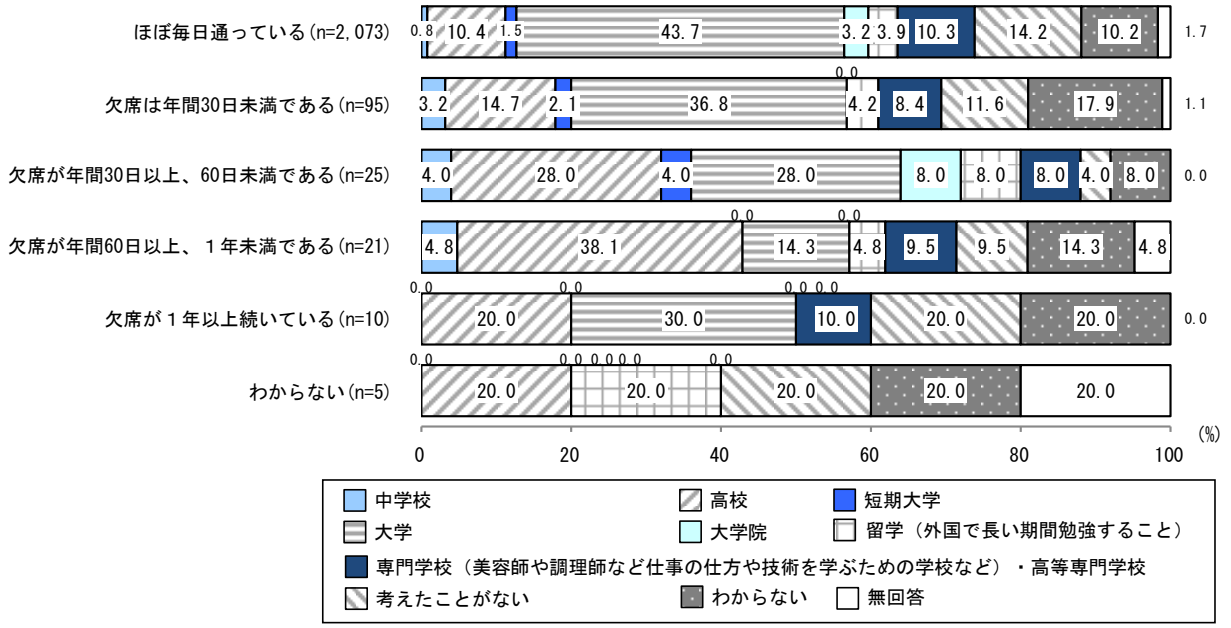
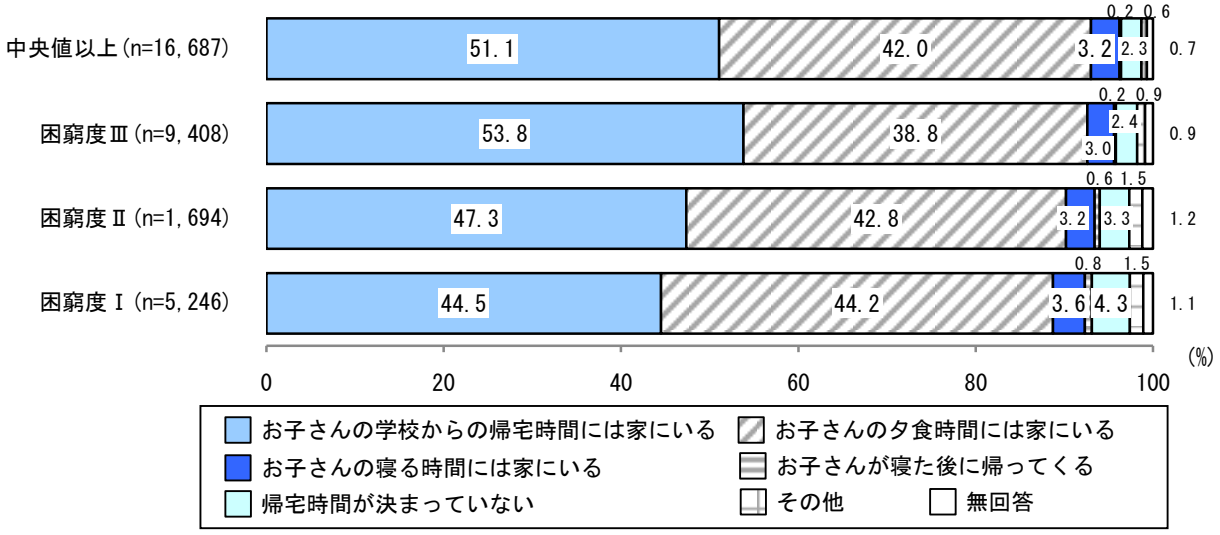


図 142. 子どもの通学状況別に見た、希望する進学先

子どもの通学状況別に希望する進学先を見ると、「大学」はほぼ毎日通っていると回答した人の割合が43.7％で最も高く、「中学校」、「高校」は欠席が年間60日以上と回答した人の割合がそれぞれ4.8％、38.1％で最も高くなっている。

困窮度別に見た、保護者が家にいる時間帯（保護者票問 10）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

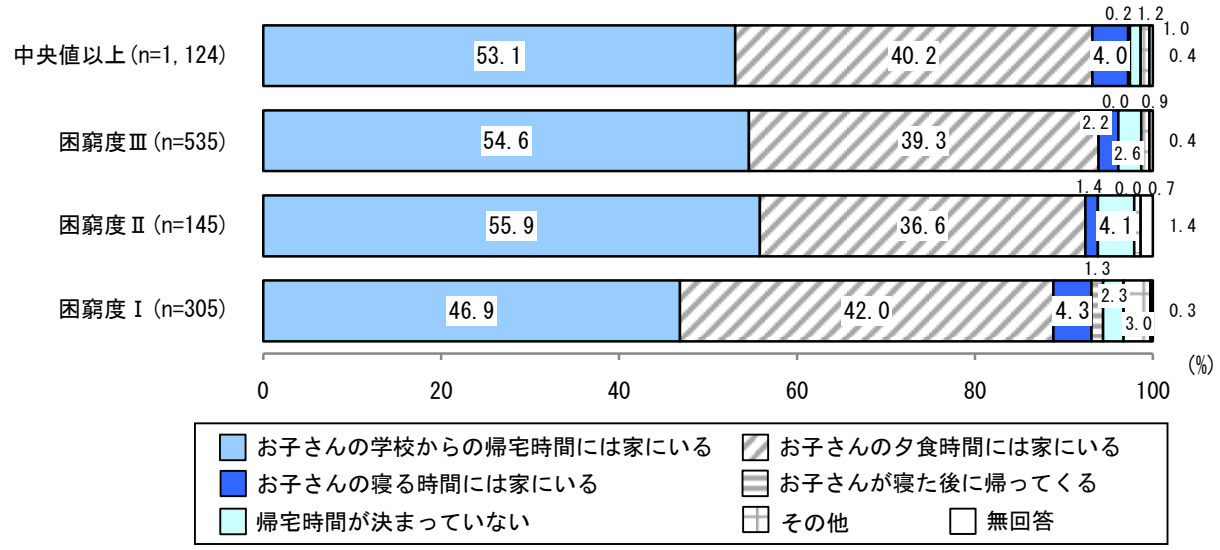
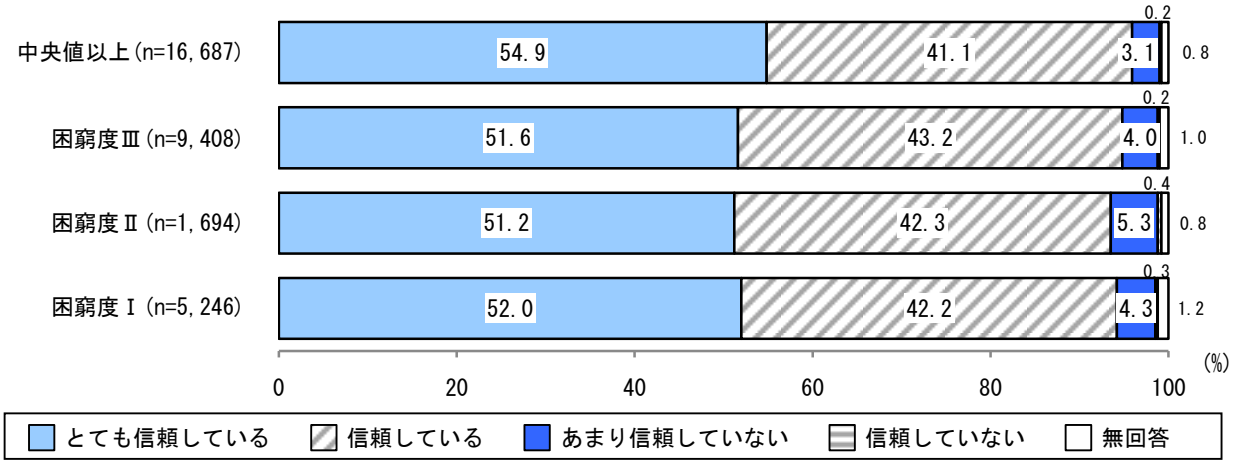


図 143. 困窮度別に見た、保護者が家にいる時間帯

困窮度別に保護者が家にいる時間帯を見ると、中央値以上群・困窮度Ⅲ・Ⅱ群のほうが、困窮度Ⅰ群よりも、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」と回答した割合が高い。また、困窮度Ⅰ群では「お子さんの夕食時間には家にいる」と回答した割合が高く、42.0%である。

困窮度別に見た、子どもへの信頼度（保護者票問 13(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

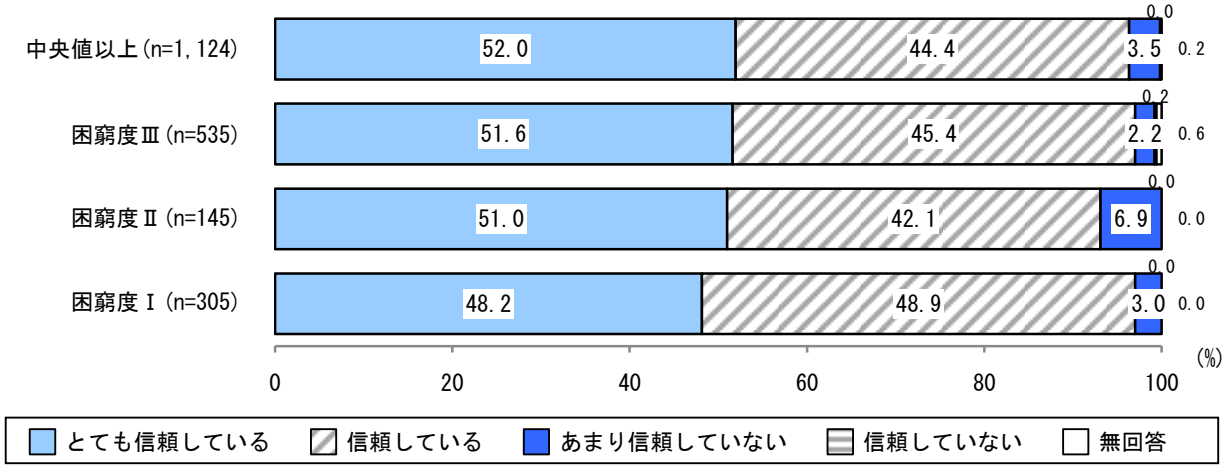
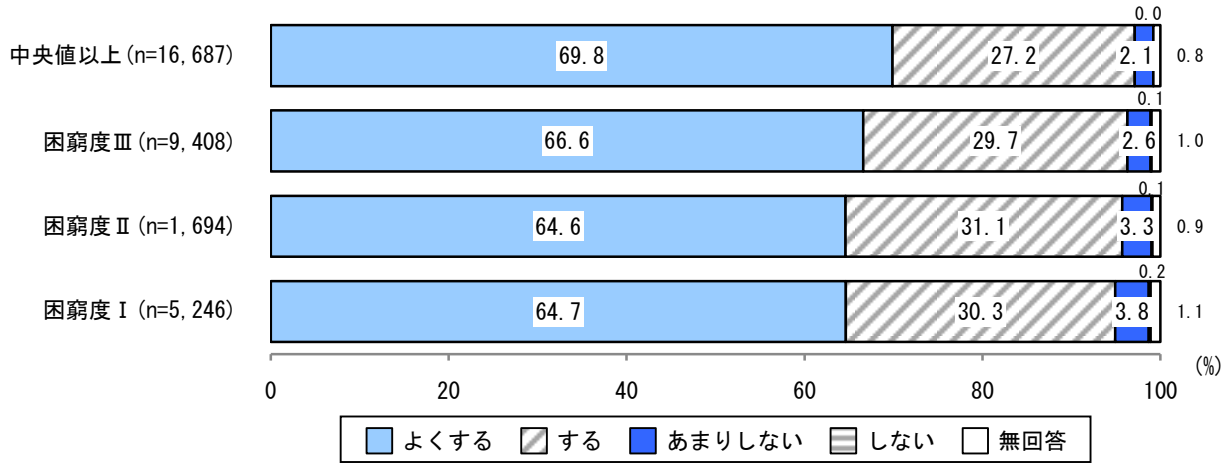


図 144. 困窮度別に見た、子どもへの信頼度

困窮度別に子どもへの信頼度を見ると、困窮度が高まるにつれ、「とても信頼している」と回答した割合が低く、困窮度Ⅰ群が48.2%で最も低い。

困窮度別に見た、子どもとの会話頻度（保護者票問 13(2)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

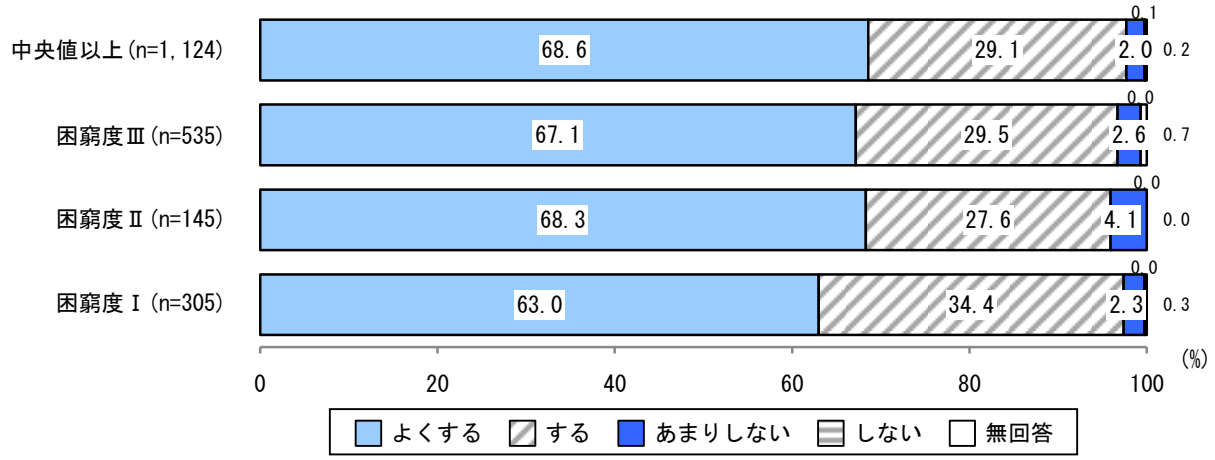
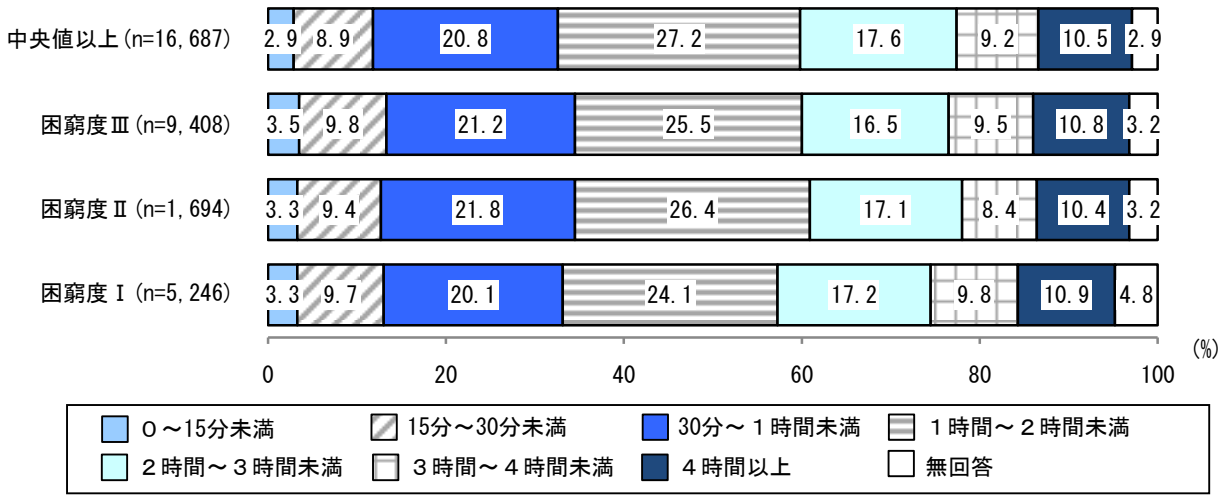


図 145. 困窮度別に見た、子どもとの会話頻度

困窮度別に子どもとの会話頻度を見ると、困窮度Ⅰ群では「よくする」と回答した割合が最も低く、63.0%である。

困窮度別に見た、平日での子どもとの関わり時間（保護者票問 13(3)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

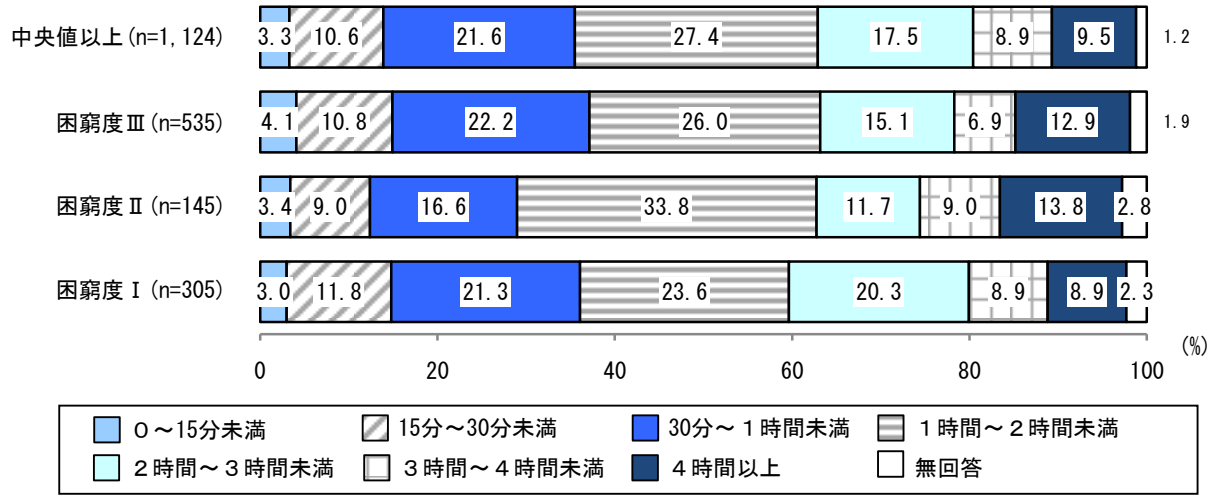
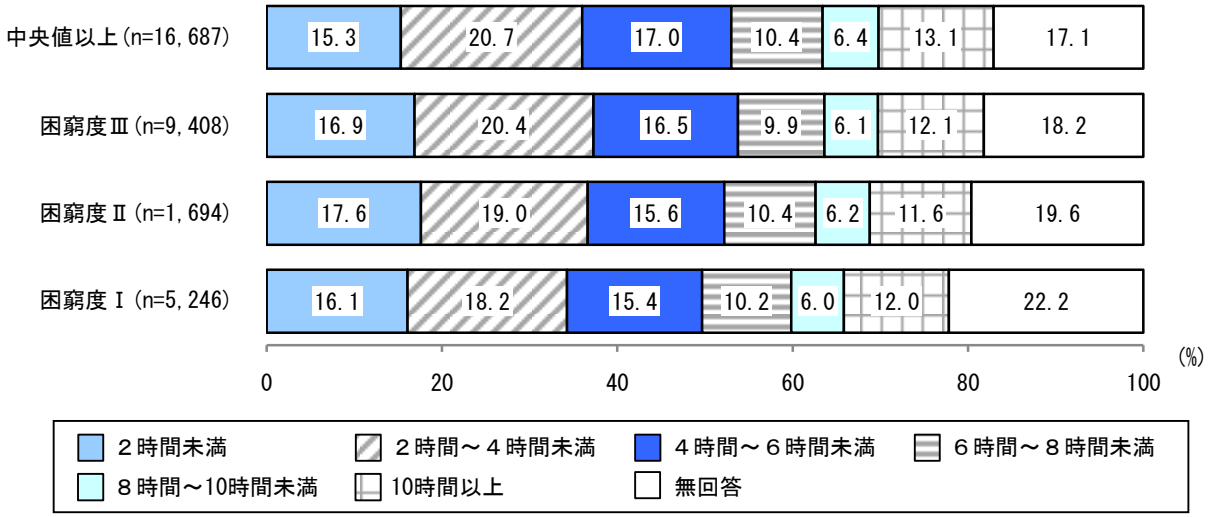


図 146. 困窮度別に見た、平日での子どもとの関わり時間

困窮度別に平日での子どもとの関わり時間を見ると、「４時間以上」と回答した割合が困窮度Ⅱ群で最も高く、13.8%である。

困窮度別に見た、休日での子どもとの関わり時間（保護者票問 13(3)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

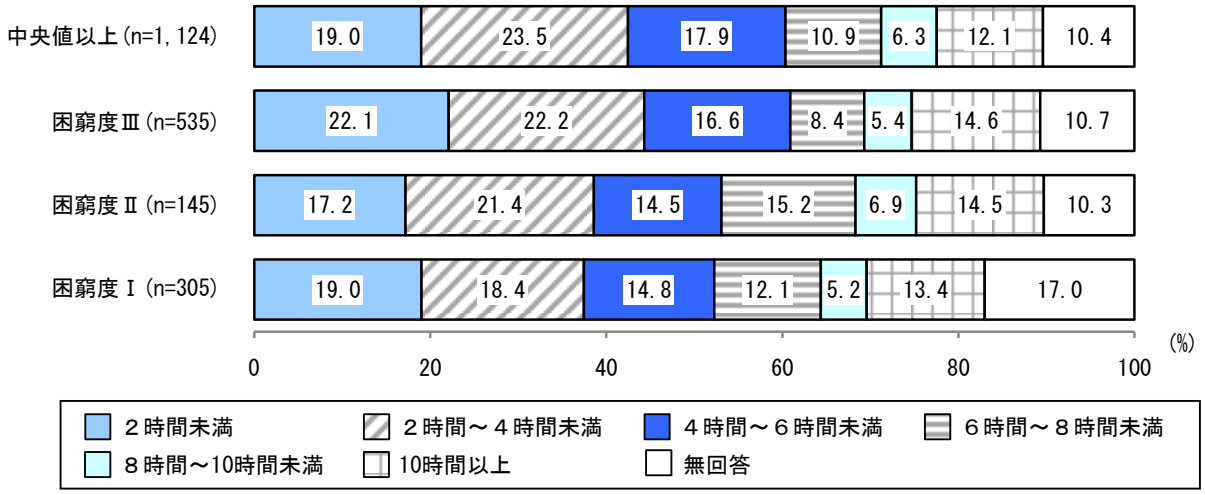
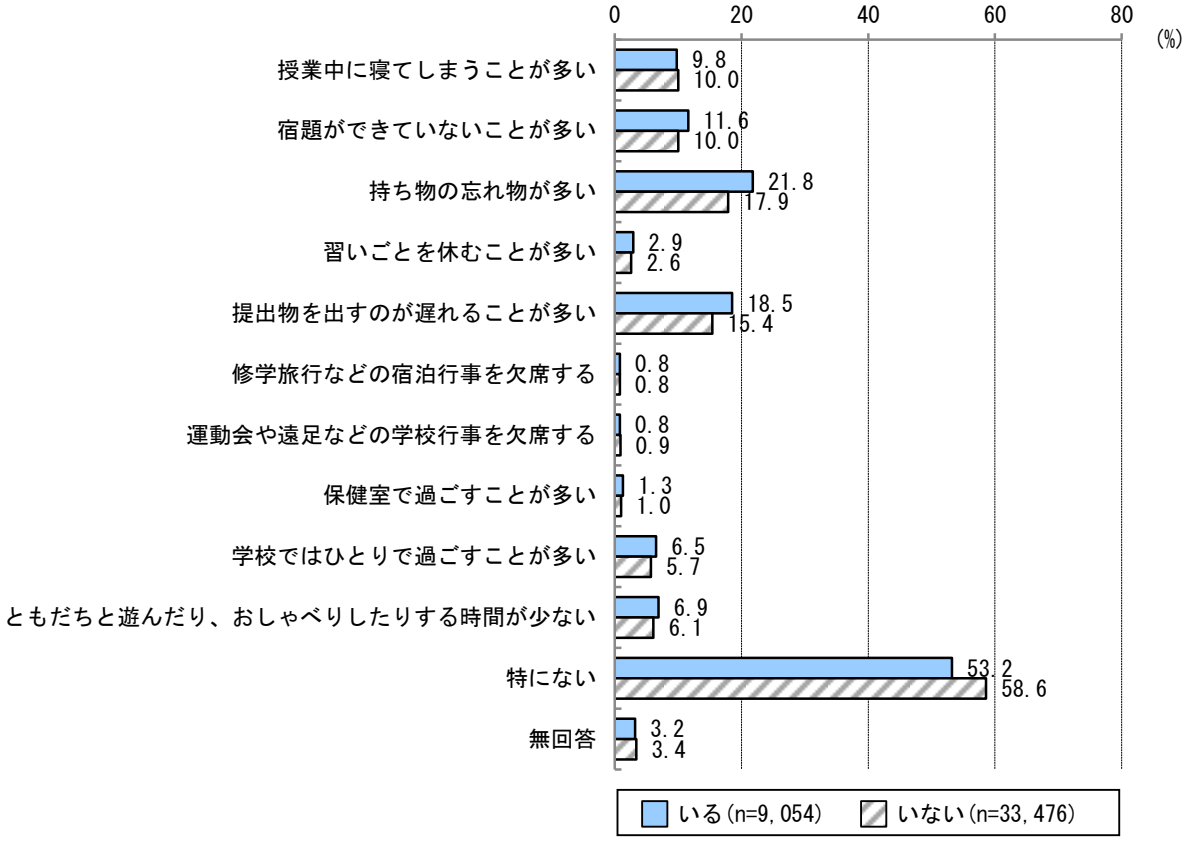


図 147. 困窮度別に見た、休日での子どもとの関わり時間

困窮度別に休日での子どもとの関わり時間を見ると、「２時間未満」と回答した割合が困窮度Ⅲ群で最も高く、22.1%である。また、「２～４時間未満」と回答した割合は中央値以上で最も高く、23.5%となっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、学校や学校の行事等の状況
（子ども票問 26(1)×子ども票問 16）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

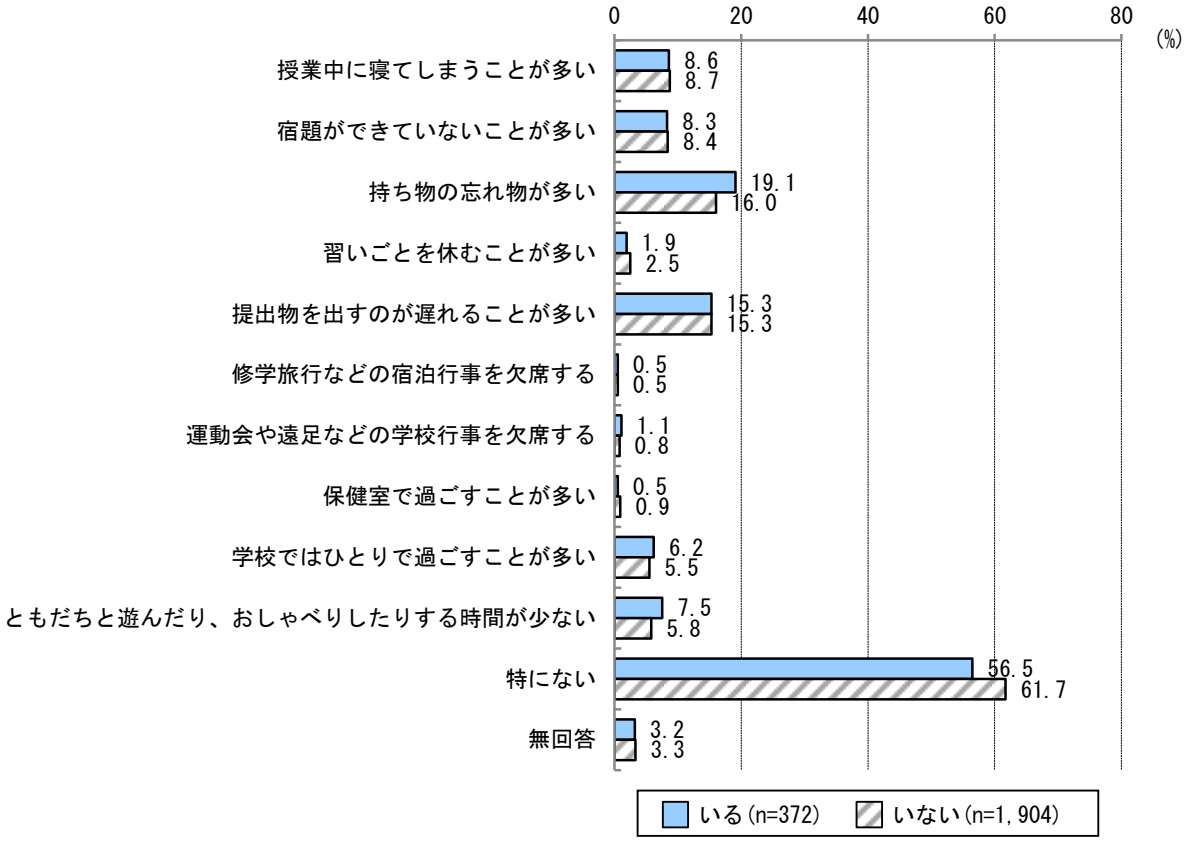
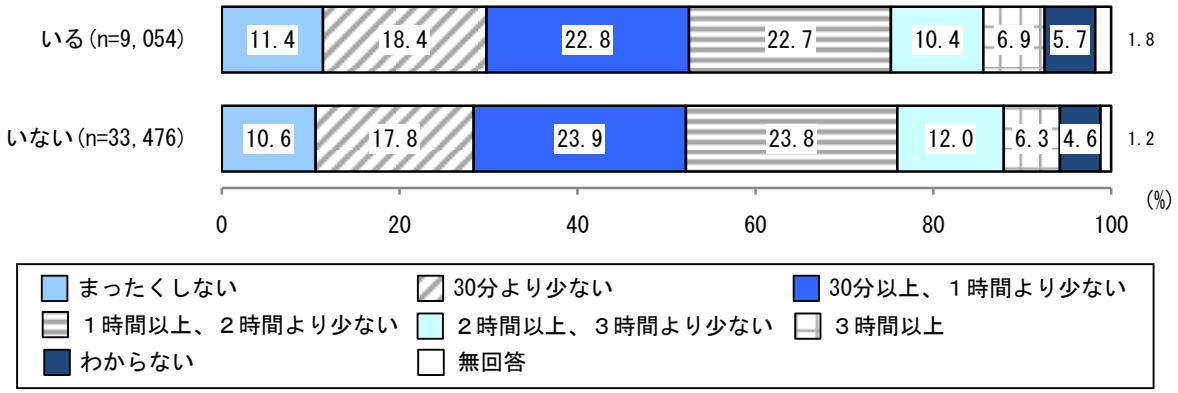


図 148. 自分が世話をしている人の有無別に見た、学校や学校の行事等の状況

自分が世話をしている人の有無別に学校や学校の行事等の状況を見ると、「持ち物の忘れ物が多い」と回答した人の割合は、世話をしている人が「いない」割合より「いる」割合のほうが高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間　①学校がある日（月～金曜日）（子ども票問 26(1)×子ども票問 13①）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

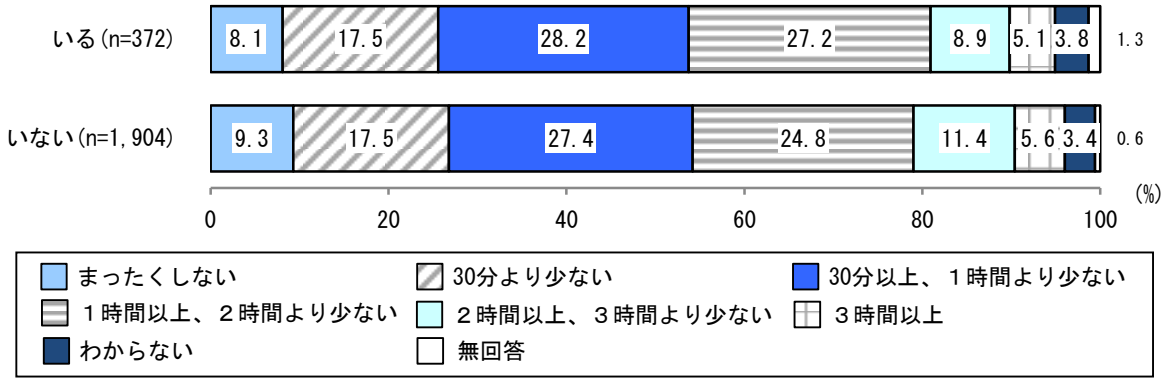
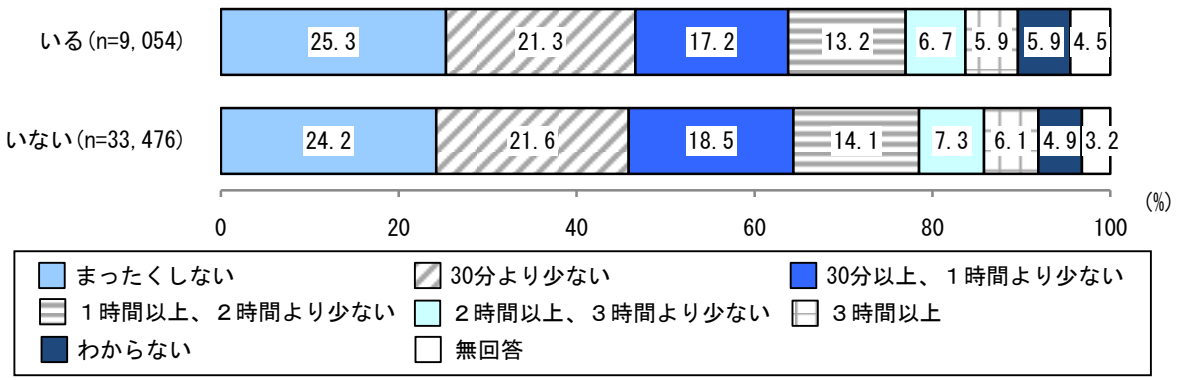


図 149. 自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がある日）

自分が世話をしている人の有無別に学校がある日の授業時間以外の１日あたりの勉強時間を見ても、大きな差はみられない。

自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間　②学校がない日（土・日曜日・祝日）（子ども票問 26(1)×子ども票問 13②）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

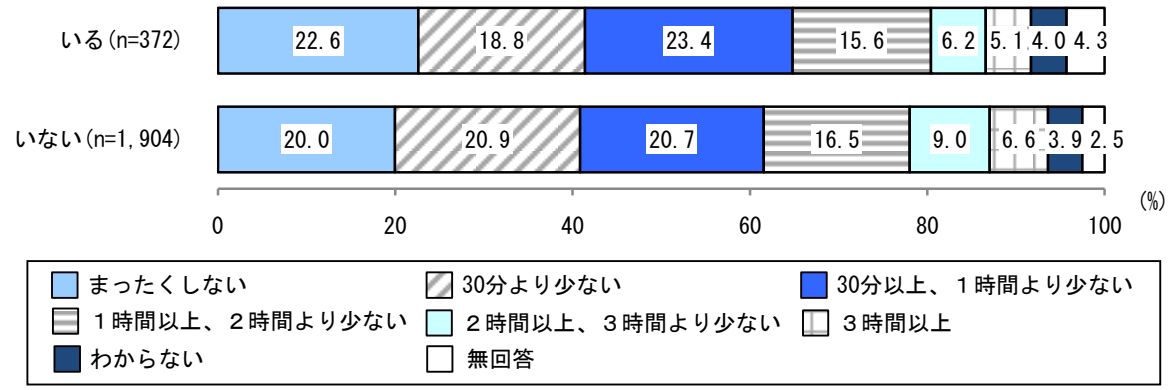


図 150. 自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がない日）

自分が世話をしている人の有無別に学校がない日の授業時間以外の１日あたりの勉強時間を見ると、「まったくしない」と回答した人の割合は、世話をしている人が「いない」人より「いる」人のほうが割合が高くなっている。

＜家庭生活・学習に関する考察＞

まず、経済状況と家庭生活における子どもと保護者のかかわりの関連について、困窮度が中央値以上群と困窮度Ⅰ群の間の差に着目しながら確認する。おうちの大人の人と朝食をとる頻度を見ると、「ほとんど毎日」（52.6％対47.5％）が中央値以上群では困窮度Ⅰ群と比べ5.1ポイント高く、「まったくない」（14.9％対8.4％）が困窮度Ⅰ群では中央値以上群と比べ6.5ポイント高くなっている。保護者が家にいる時間帯を見ると、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」（53.1％対46.9％）が中央値以上群では困窮度Ⅰ群と比べ6.2ポイント高くなっている。保護者の子どもとの会話頻度を見ると、「よくする」（68.6％対63.0％）が中央値以上群では困窮度Ⅰ群と比べ5.6ポイント高くなっている。これらの結果から、経済状況が保護者と子どもの間のコミュニケーションの深さや子どもの生活リズムに影響を及ぼしうると考えられる。

次に、学校への遅刻状況と家庭生活における子どもと保護者のかかわりの関連について確認する。おうちの大人の人と朝食をとる頻度を見ると、「ほとんど毎日」（52.7％対46.2％）が「遅刻はしない」群は「毎日またはほとんど毎日」遅刻する群と比べ6.5ポイント高くなっている。学校でのできごとについて話す頻度（46.5％対33.7％）が「遅刻はしない」群は「毎日またはほとんど毎日」遅刻する群と比べ12.8ポイント高くなっている。これらの結果から、遅刻頻度の多さは保護者と子どものコミュニケーション不足を暗示しうる。

経済状況と子どもの学習にかかわる習慣や進学希望の関連について、困窮度が中央値以上の群と困窮度Ⅰの群の間の差に着目して述べる。通学状況を見ると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「ほぼ毎日通っている」（94.2％対86.6％）が7.6ポイント高くなっている。学校がある日の勉強時間を見ると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「まったくしない」（16.3％対6.1％）が10.2ポイント、学校がない日の勉強時間においては、「まったくしない」（31.9％対14.9％）が17ポイント高くなっている。学校の勉強の気持ちを見ると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「ほとんどわからない」と「わからない」の合計（11.2％対1.5％）が9.7ポイント高くなっている。文化活動を見ると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、おうちの大人の人と文化活動をする頻度では「まったくない」（34.1％対18.2％）が15.9ポイント、読書を「まったくしない」（49.3％対30.5％）が18.8ポイント高く、大きな開きがある。希望進学先を見ると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、子ども自身の希望する進学先で「高校」（21.4％対7.7％）が13.7ポイント、保護者の希望する進学先で「高校」（23.9％対4.4％）が19.5ポイント高くなっている。一方、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、子ども自身の希望する進学先で「大学」（47.9％対35.1％）が12.8ポイント高くなっている。これらの結果から、経済的に困難な世帯の子どもは、通学が難しくなっているほか、学習習慣や家庭内での文化活動の習慣がなく、結果的に学習理解が不十分となっている可能性が示された。また、子ども自身も保護者も大学以上の高いレベルの教育を望まなくなっており、これは経済的事情と学習理解の低さのいずれもが要因となっている可能性がある。

続いて、朝の習慣や学校への遅刻状況と子どもの学習にかかわる習慣の関連について確認する。起床時間の規則性別に学習時間を見ると、ほぼ同じ時刻に「起きていない」群は「起きている」群と比べ、学校がある日の勉強時間では「まったくしない」（39.0％対8.4％）が4倍以上、学校がない日の勉強時間では「まったくしない」（53.7％対19.2％）が2倍以上であり、読書時間では「まったくしない」（65.9％対36.7％）が29.2ポイント高くなっている。朝食の頻度別に学習時間を見ると、朝食を「食べない」群では「毎日またはほとんど毎日」食べる群に比べ、学校がある日の勉強時間では「まったくしない」（38.1％対7.7％）が約5倍、学校がない日の勉強時間では「まったくしない」（55.6％対18.3％）が約3倍であり、読書時間では「まったくしない」（60.3％対36.0％）が24.3ポイント高くなっている。学校への遅刻頻度別に学習習慣を見ると、「毎日またはほとんど

毎日」遅刻する群は「遅刻はしない」群に比べ、「おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話す」ことが「まったくない」（18.3%対7.3%）が11ポイント高く、学校の勉強の気持ちでは「ほとんどわからない」と「わからない」の合計（14.4%対2.4%）が12ポイント高くなっている。これらの結果から、朝の習慣が身についていないことは、学習習慣・読書習慣の形成に影響が出ている可能性が示唆された。また、朝の習慣が身についていないと遅刻につながり、授業を受けられていないため学習理解に影響が出ている可能性がある。

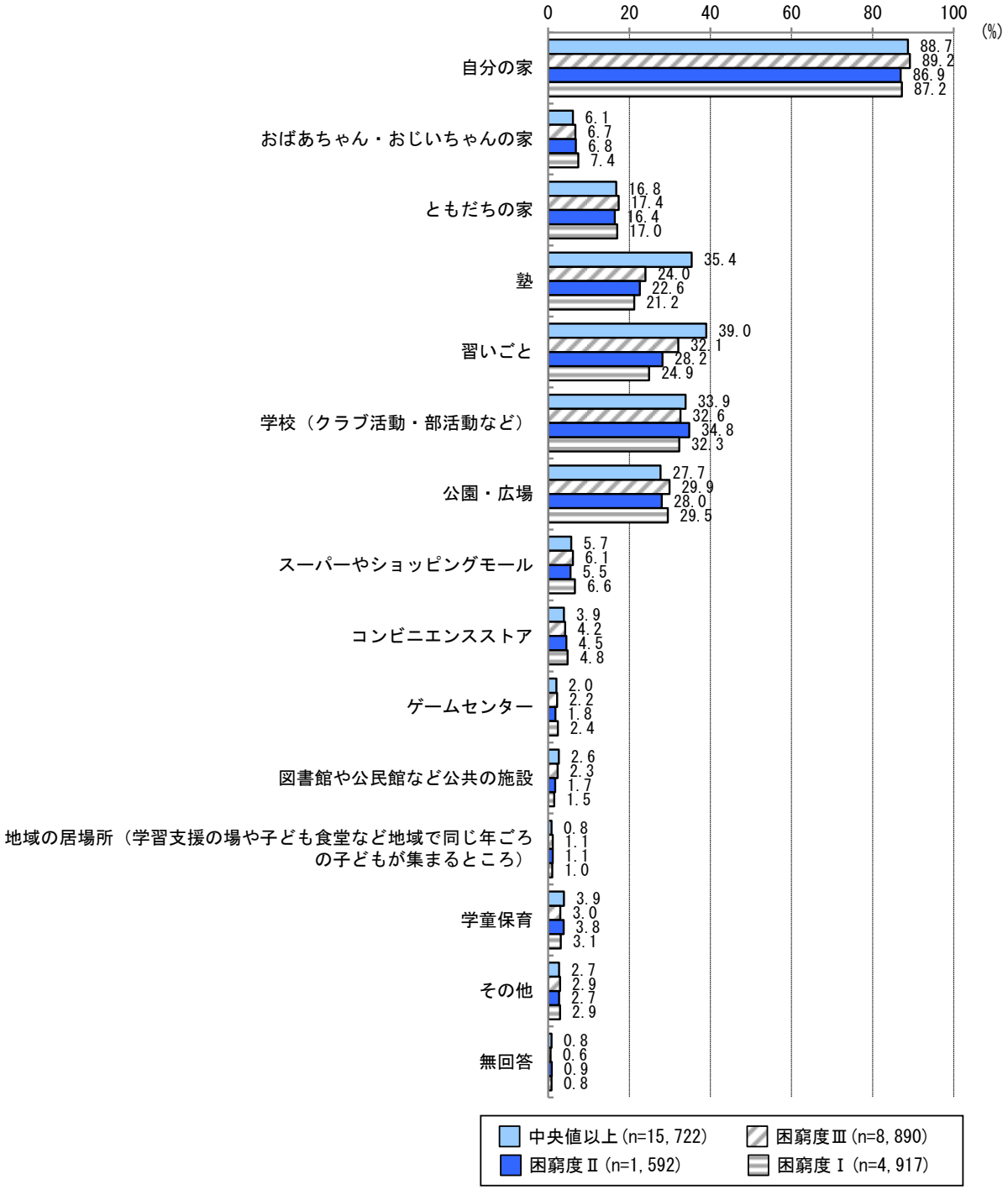
最後に、学校の勉強の気持ちと学校外での学習・生活状況との関連をまとめる。まず、家庭学習中の周囲の大人の有無を見ると、学校の勉強に対して「わからない」群は「よくわかる」群と比べ、大人が宿題や勉強をまったくみない割合（50.0%対21.6%）が28.4ポイント高く、大きな差が存在する。また、家庭でニュースなど社会のできごとを話すかどうかについて見ると、学校の勉強に対して「わからない」群は「よくわかる」群と比べ、まったく話さない割合（23.7%対5.9%）が17.8ポイント高い。さらに、学校の授業以外での勉強状況を見ると、学校の勉強に対して「わからない」群は「よくわかる」群と比べ、学校の授業以外で勉強はしない割合（36.8%対2.6%）が34.2ポイント高く、大きな差が存在する。これらの結果から、家庭学習時や日頃の家庭生活の中で大人のかかわりが希薄であったり、家庭学習の習慣が身についていなかったりすると、学習に対する理解度も高まりにくい可能性があり、家庭などの学校外での学習状況・生活状況へのフォローの必要性が示唆される。

※参照データについては一部資料編に掲載

３－５．対人関係

困窮度別に見た、放課後を過ごす場所（子ども票問 11）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

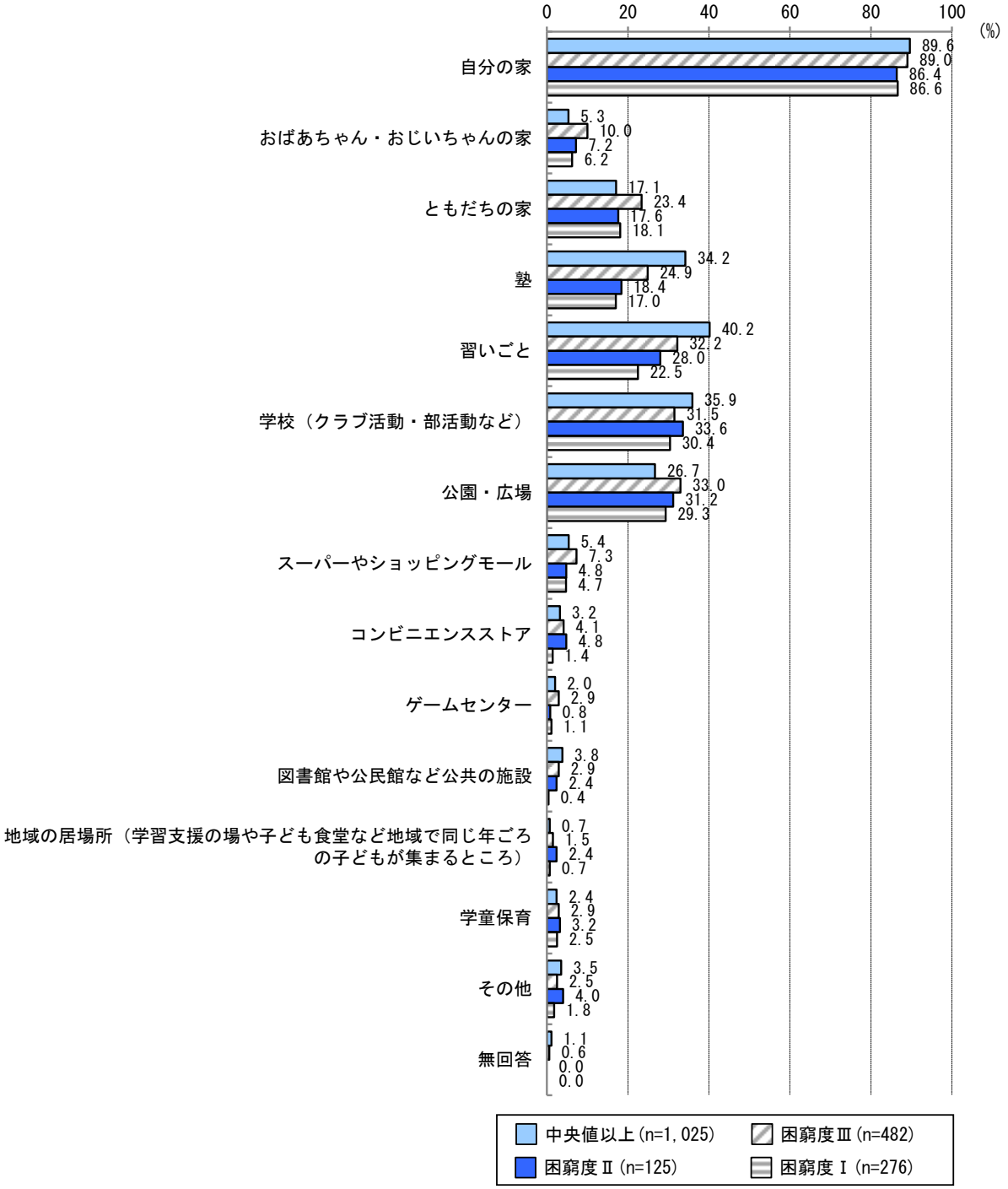
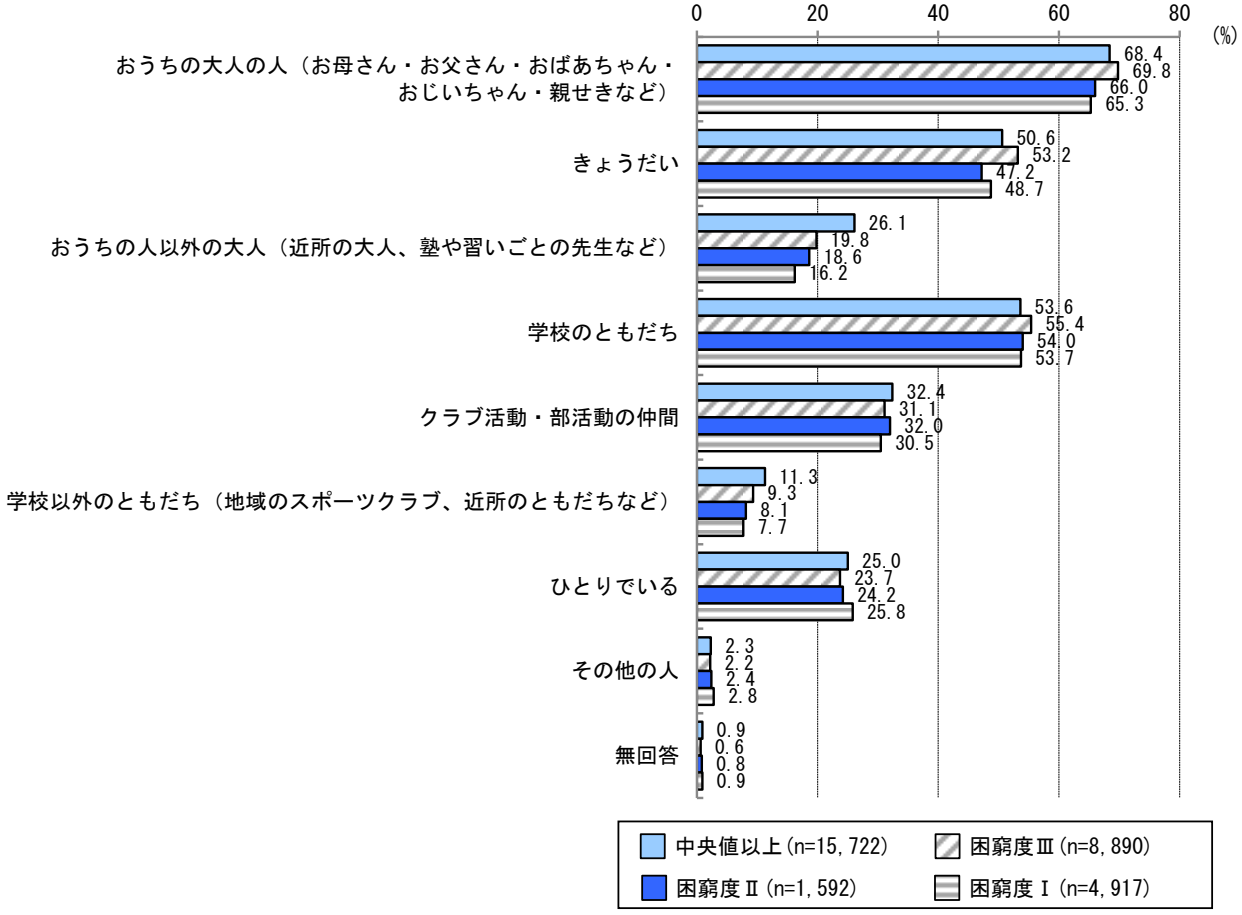


図 151. 困窮度別に見た、放課後を過ごす場所

困窮度別に子どもが放課後に過ごす場所を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「おばあちゃん・おじいちゃんの家」6.2%（中央値以上群に対して1.2倍）、「公園・広場」29.3%（同じく1.1倍）、「ともだちの家」（同じく1.1倍）となっている。一方、中央値以上群では、「図書館や公民館など公共の施設」3.8%（困窮度Ⅰ群に対して9.5倍）、「コンビニエンスストア」3.2%（同じく2.3倍）、「塾」34.2%（同じく2.0倍）、「習いごと」40.2%（同じく1.8倍）などが高かった。

困窮度別に見た、放課後を一緒に過ごす人（子ども票問 10）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

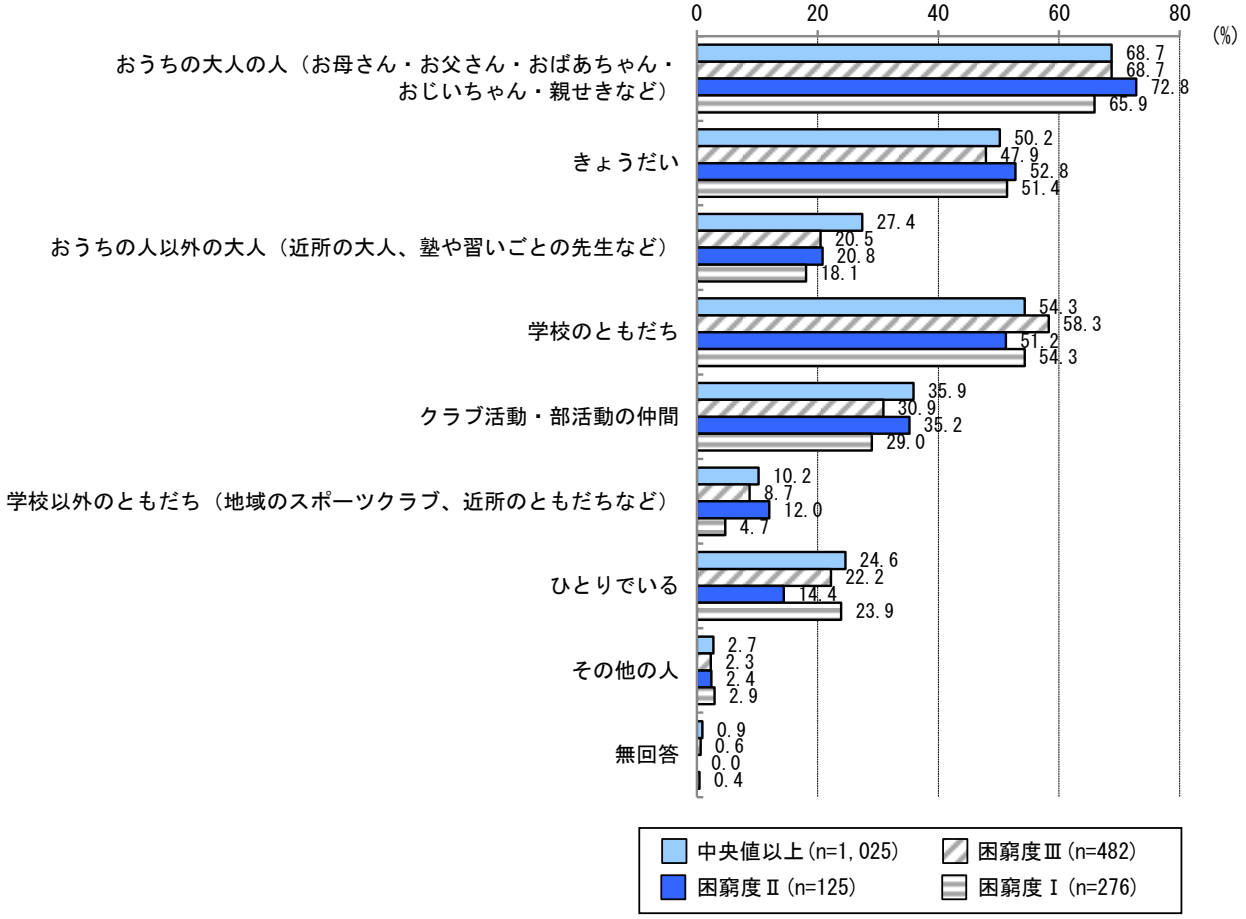
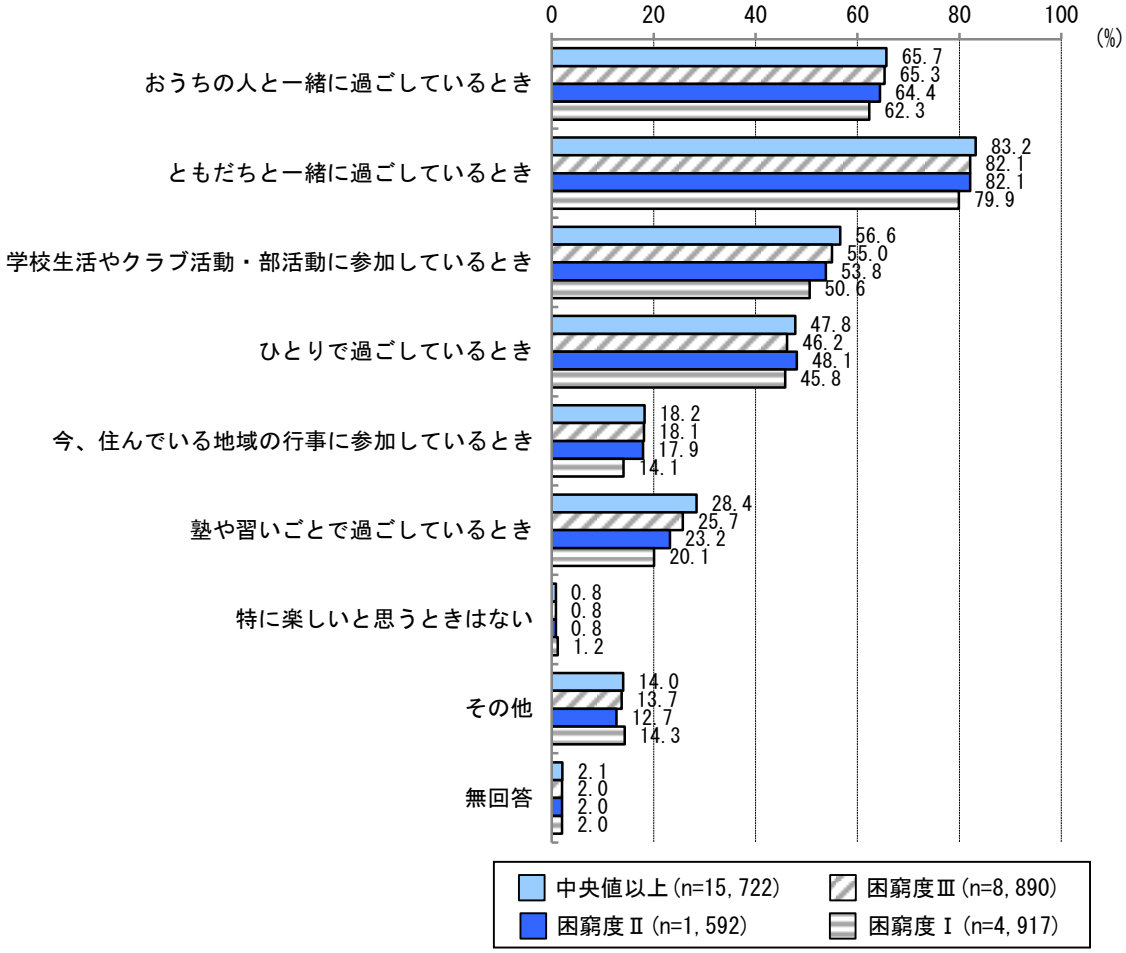


図 152. 困窮度別に見た、放課後を一緒に過ごす人

困窮度別に子どもが放課後一緒に過ごす人を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目すると、中央値以上群では「学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）」10.2%（困窮度Ⅰ群に対して2.2倍）、「おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）」27.4%（同じく1.5倍）、「クラブ活動・部活動の仲間」35.9%（同じく1.2倍）が高かった。

困窮度別に見た、毎日の生活で楽しいこと（子ども票問９）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

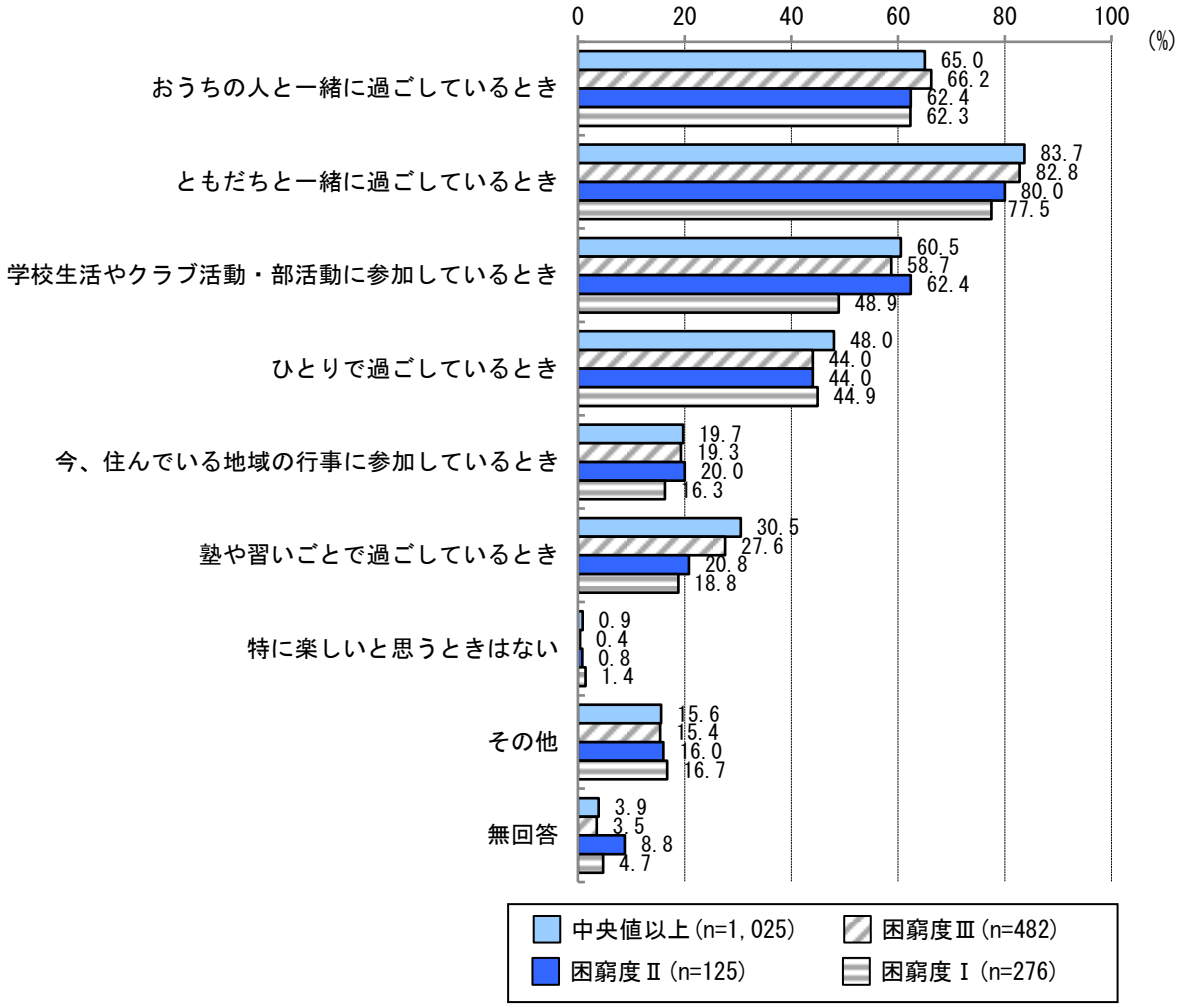
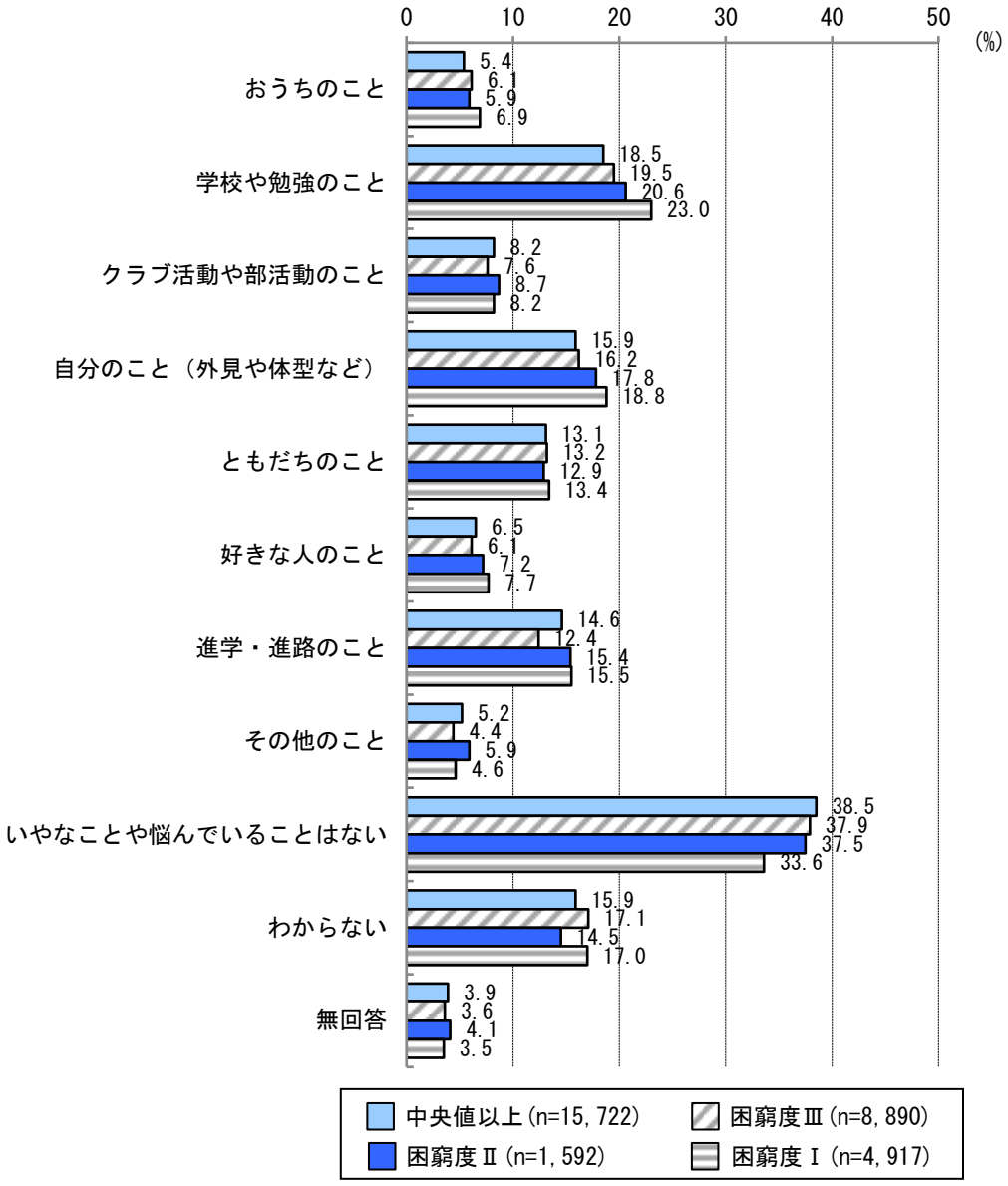


図 153. 困窮度別に見た、毎日の生活で楽しいこと

困窮度別に子どもが毎日の生活で楽しいことを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、中央値以上群の数値を挙げると、「塾や習いごとで過ごしているとき」30.5%(困窮度Ⅰ群に対して1.6倍)、「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」60.5%（同じく1.2倍)、「今、住んでいる地域の行事に参加しているとき」19.7%（同じく1.2倍）が高かった。

困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいること（子ども票問 17）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

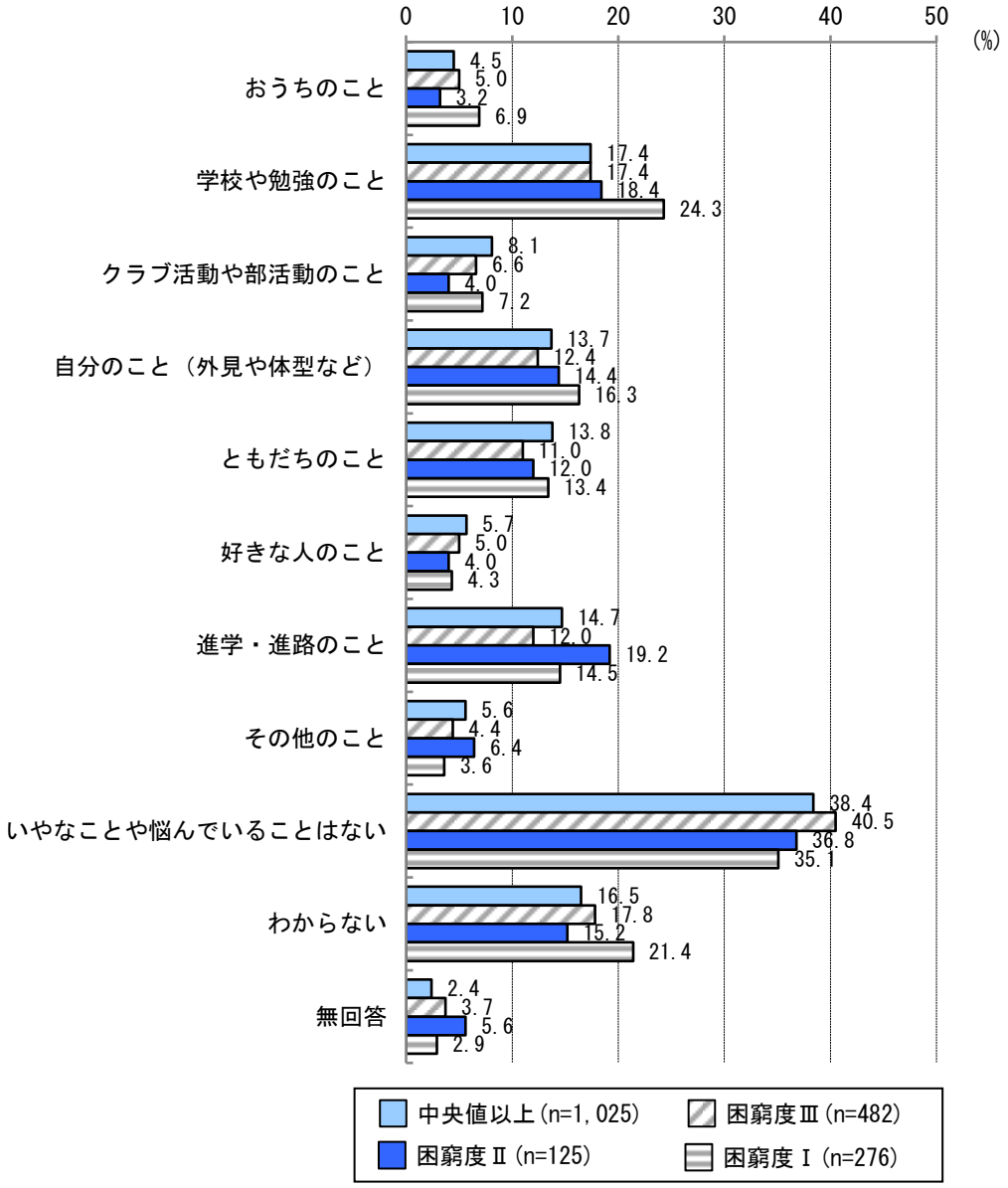
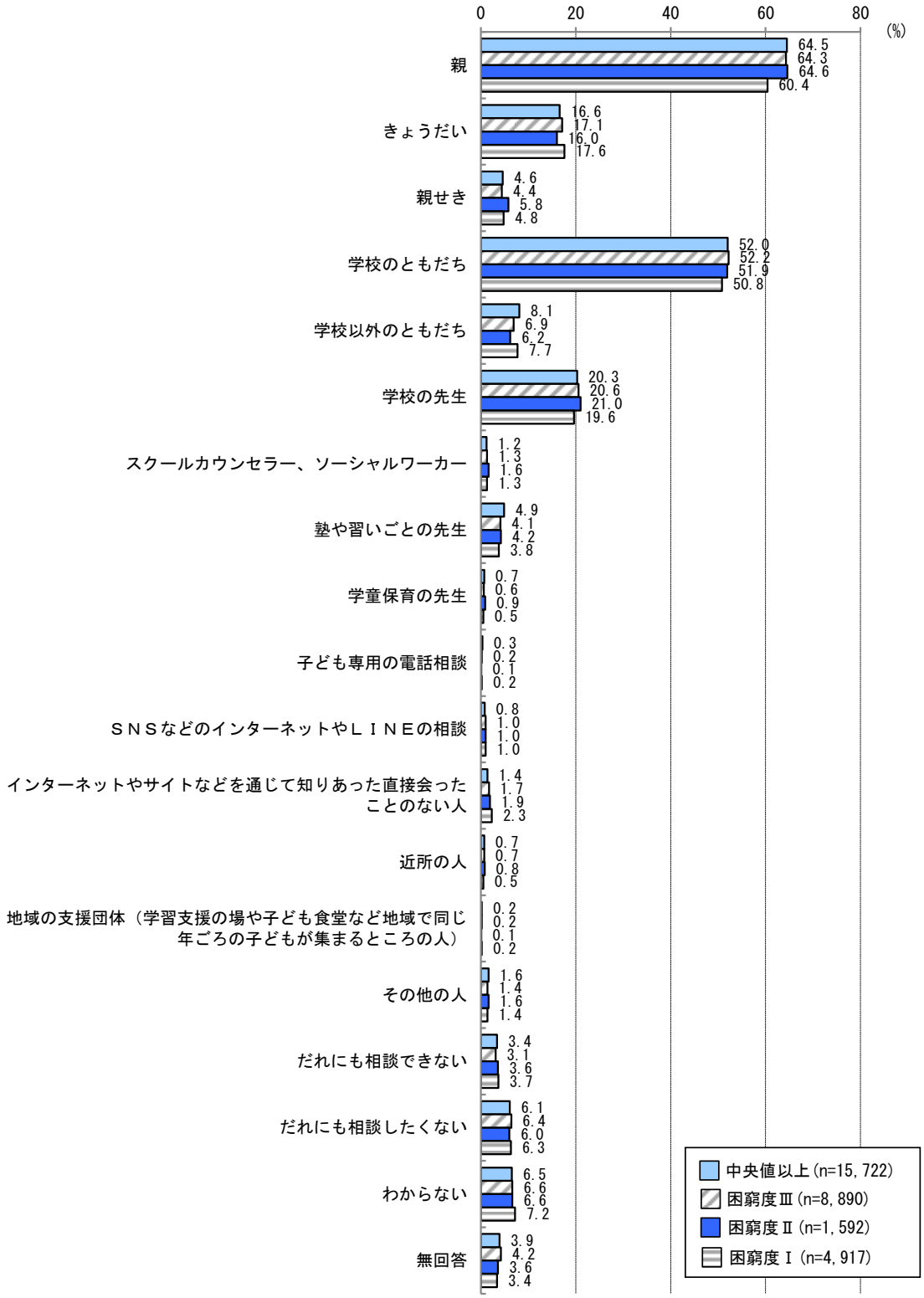


図 154. 困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいること

困窮度別に子どもが悩んでいることを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目すると、困窮度Ⅰ群では、「おうちのこと」6.9%（中央値以上群に対して1.5倍）、「学校や勉強のこと」24.3%（同じく1.4倍）、「自分のこと（外見や体型など）」16.3%（同じく1.2倍）が高く、中央値以上群では「好きな人のこと」5.7%（困窮度Ⅰ群に対して1.3倍）、「クラブ活動や部活動のこと」8.1%（同じく1.1倍）が高かった。

困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手（子ども票問 18）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

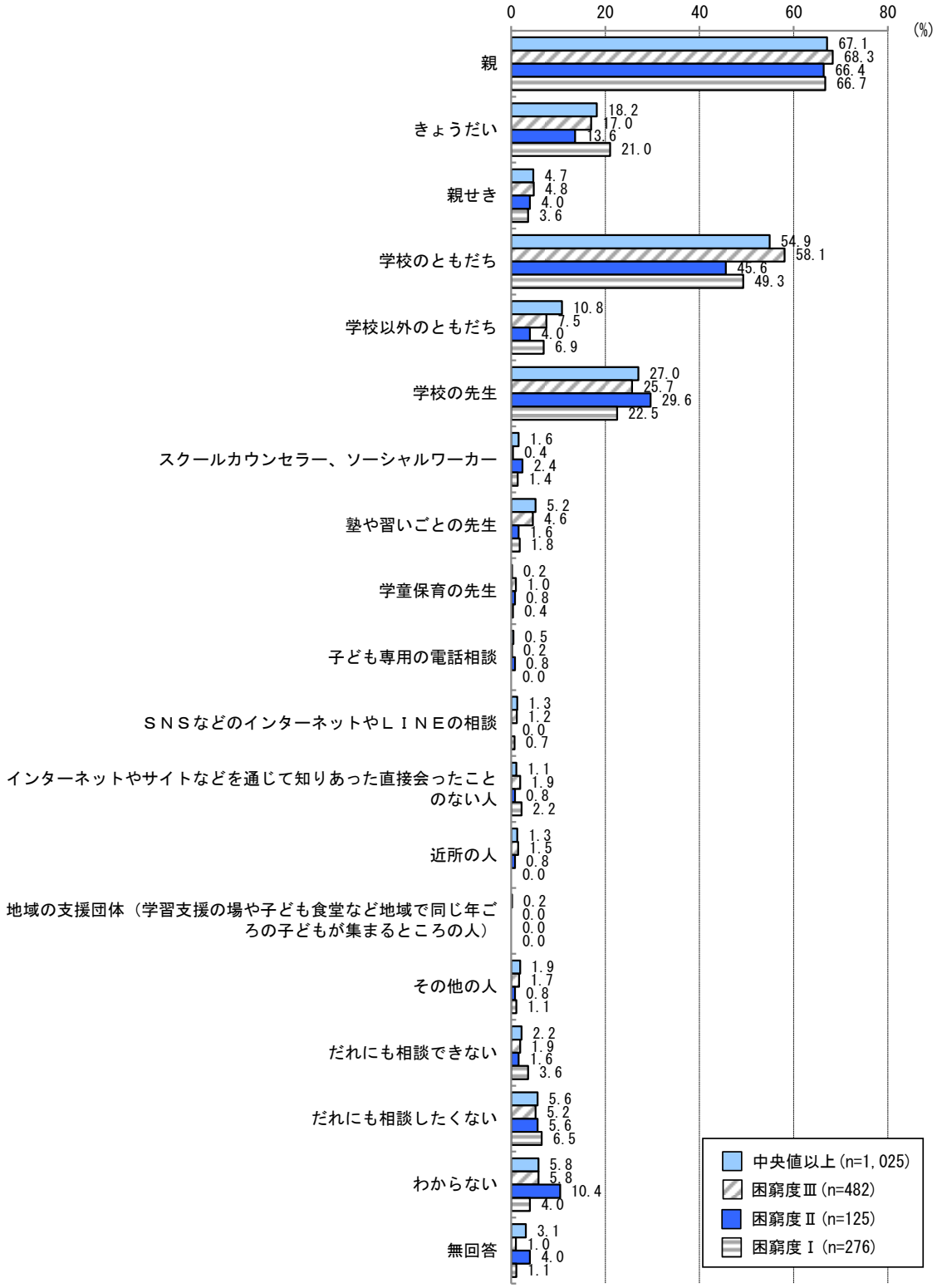
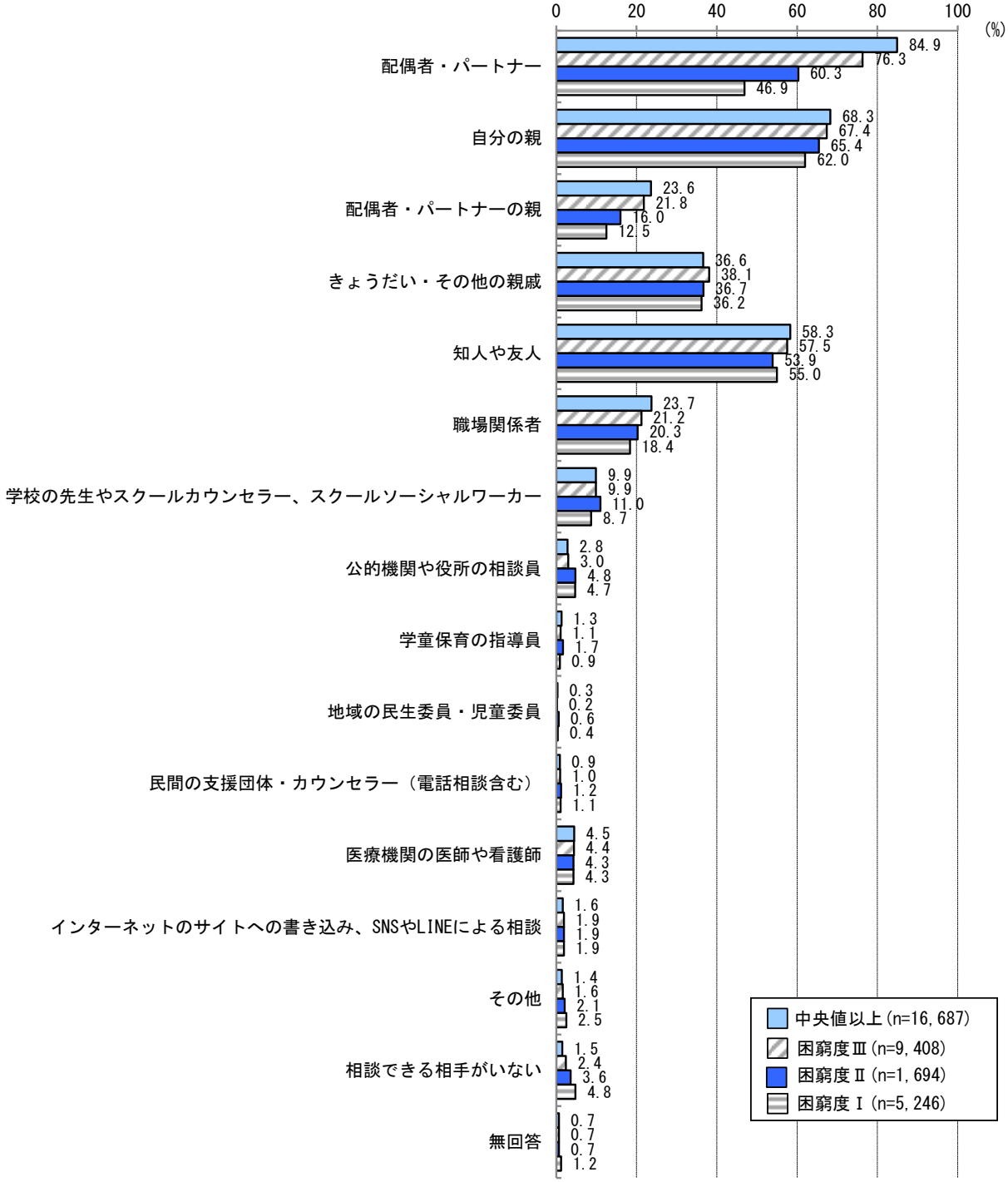


図 155. 困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

困窮度別に子どもの嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「学童保育の先生」0.4%（中央値以上群に対して2.0倍）、「インターネットやサイトなどを通じて知りあった直接会ったことのない人」2.2%（同じく2.0倍）、「だれにも相談できない」3.6%（同じく1.6倍）となっている。

困窮度別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先（保護者票問 19）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

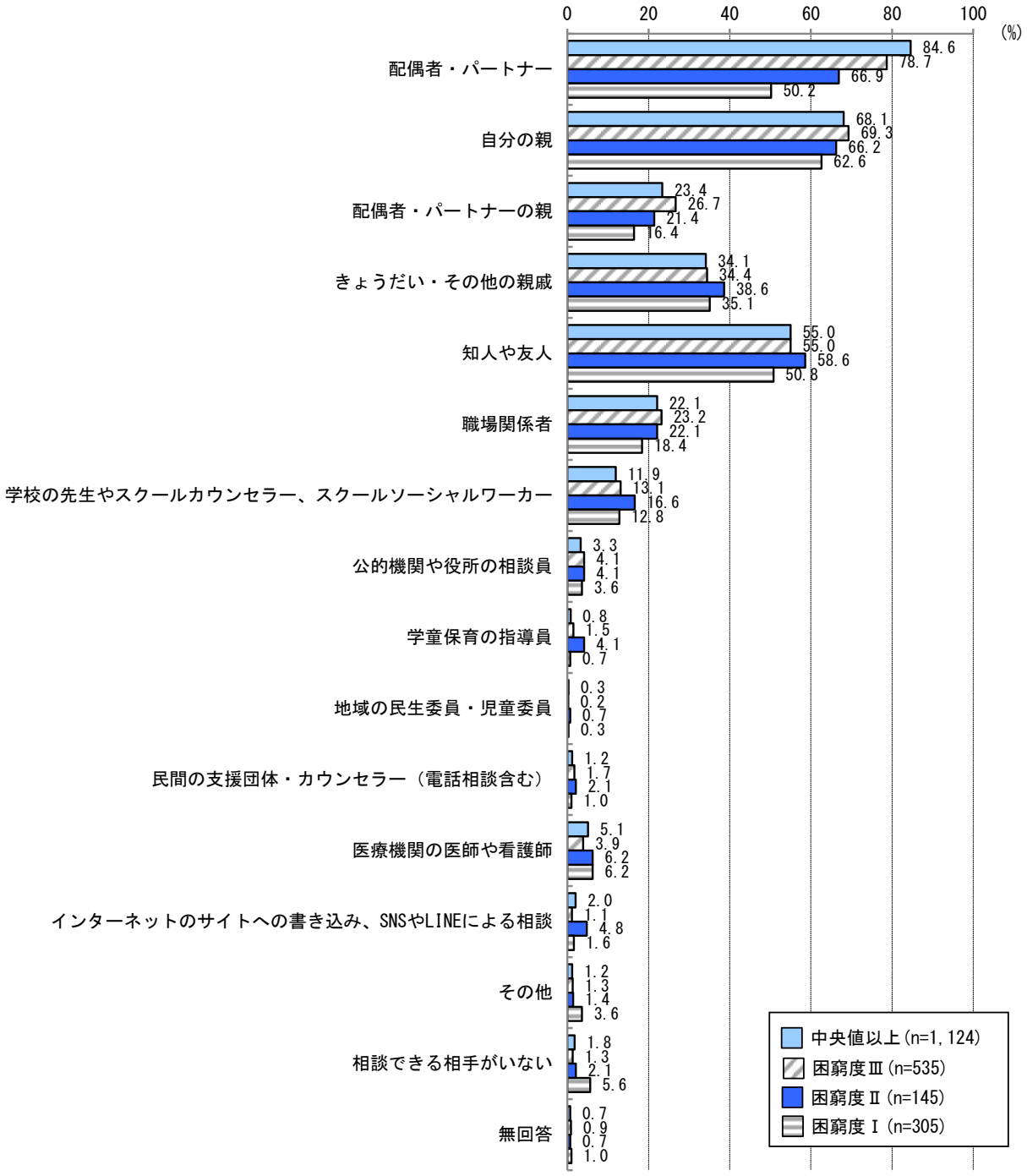
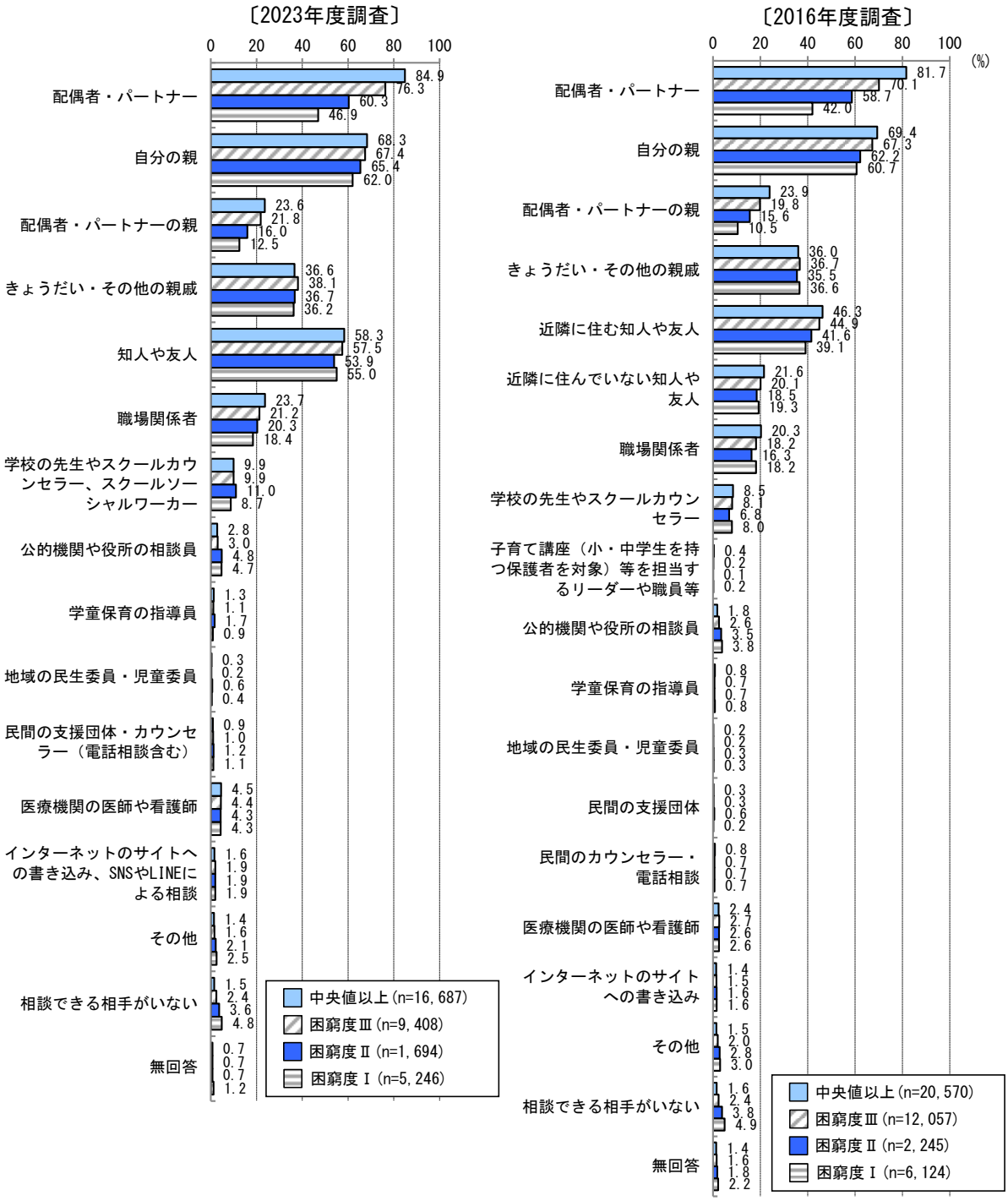


図 156. 困窮度別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

困窮度別に本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「相談できる相手がいない」5.6%（中央値以上群に対して3.1倍）、「医療機関の医師や看護師」6.2%（同じく1.2倍）となっている。中央値以上群の数値を挙げると、「配偶者・パートナー」84.6%（困窮度Ⅰ群に対して1.7倍）、「配偶者・パートナーの親」23.4%（同じく1.4倍）、「インターネットのサイトへの書き込み、SNSやLINEによる相談」2.0%（同じく1.3倍）となっている。

＜2016 年度調査との比較／大阪府内全体＞



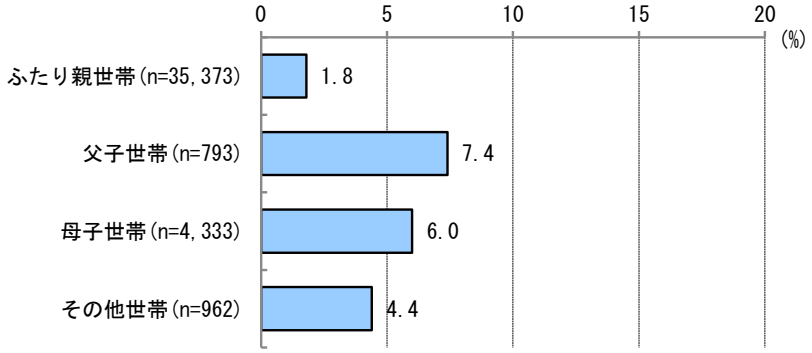
※1　「知人や友人」は、2016年度調査では「近隣に住む知人や友人」と「近隣に住んでいない知人や友人」
※2　「学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー」は、2016年度調査では「学校の先生やスクールカウンセラー」
※3　2016年度調査の「子育て講座（小・中学生を持つ保護者を対象）等を担当するリーダーや職員等」は今回は削除
※3　「民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む）」は、2016年度調査では「民間の支援団体」と「民間のカウンセラー・電話相談」
※4　「インターネットのサイトへの書き込み、SNS や LINE による相談」は、2016年度調査では「インターネットのサイトへの書き込み」

図 157. 困窮度別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先（2016年度調査との比較）

2016年度調査と比較すると、「配偶者・パートナー」「学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー」と回答した割合は、いずれの困窮度も2016年度調査に比べて高くなっている。

世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がいない割合
（保護者票問２×保護者票問 19）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

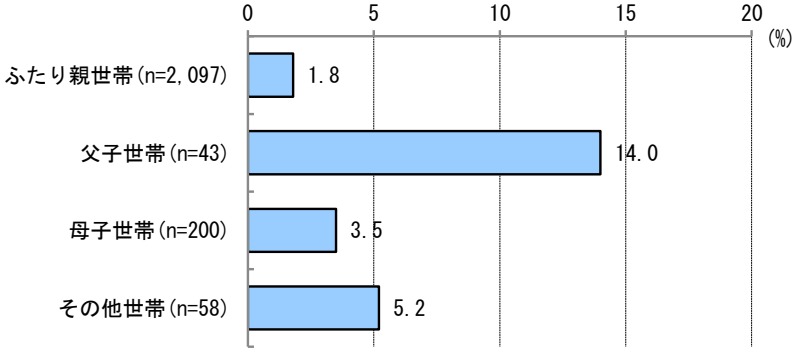


図 158. 世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がいない割合

世帯構成別に本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先を見ると、「相談できる相手がいない」と回答した人は、父子世帯で14.0%、母子世帯で3.5%いる。

＜2016年度調査との比較／大阪府内全体＞

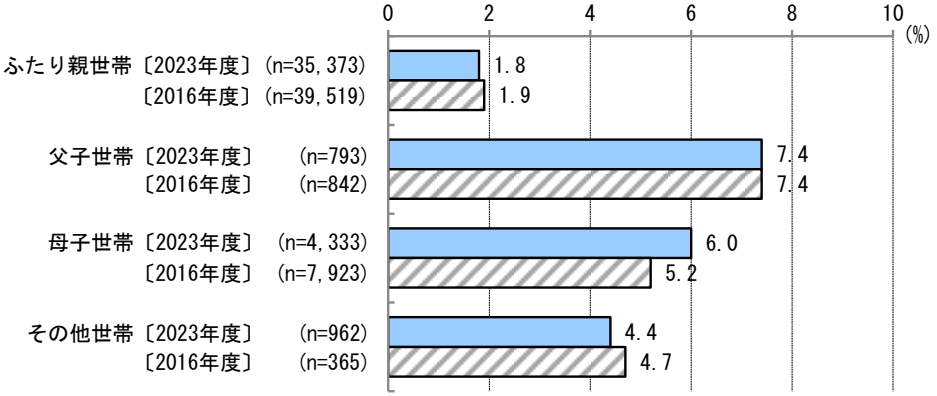
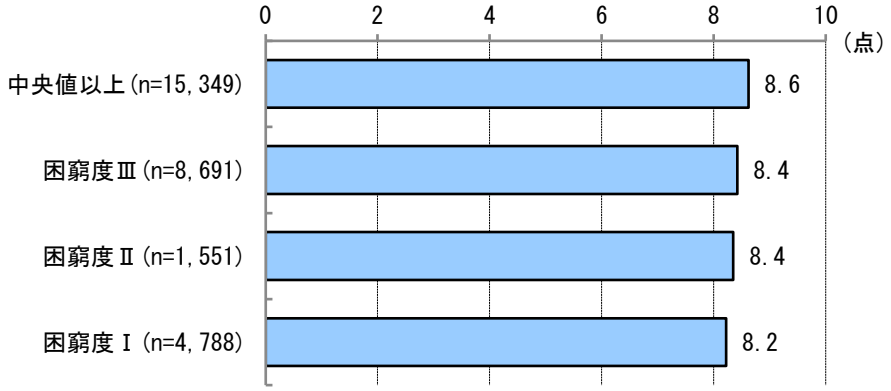


図 159. 世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がいない割合（2016年度調査との比較）

2016年度調査と比較すると、母子世帯の割合は、2016年度調査に比べて高くなっており、一方で、その他世帯は2016年度調査に比べて割合が低くなっている。

困窮度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）（子ども票問 23）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

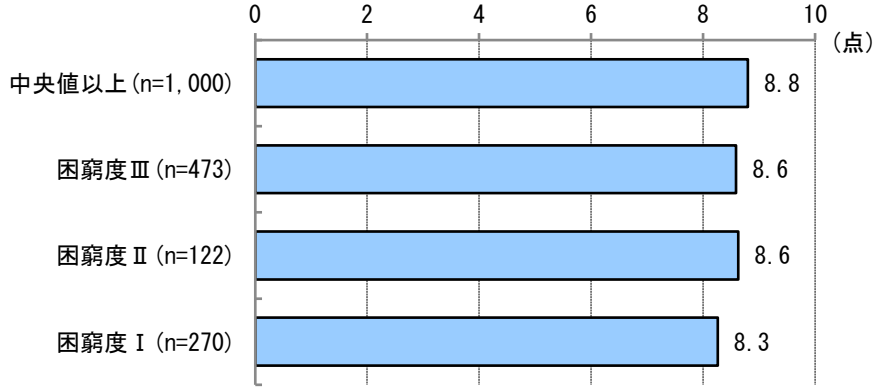
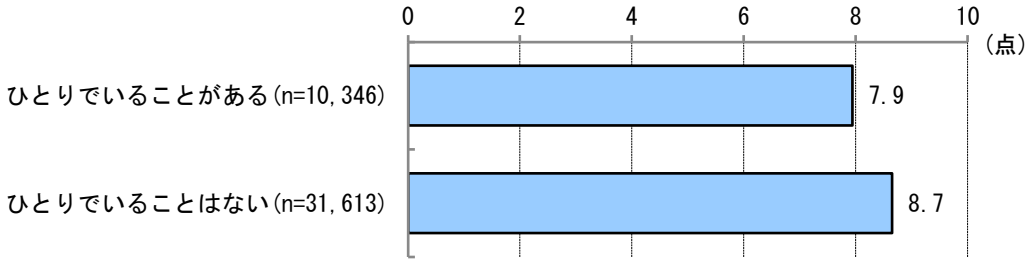


図 160. 困窮度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

困窮度別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）を見ると、困窮度が高くなるにつれ、セルフ・エフィカシーが低くなっている。

子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかと、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問 10×子ども票問 23）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

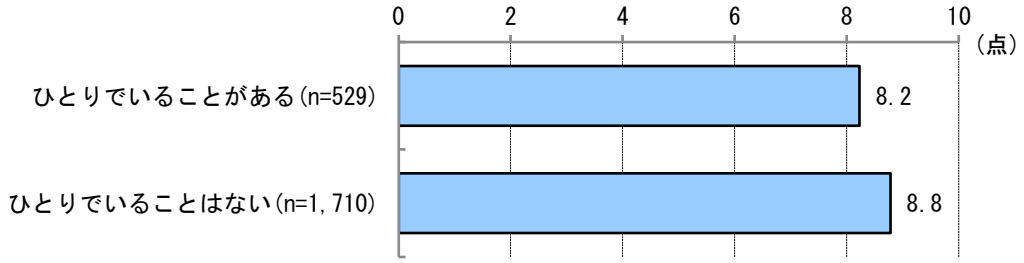


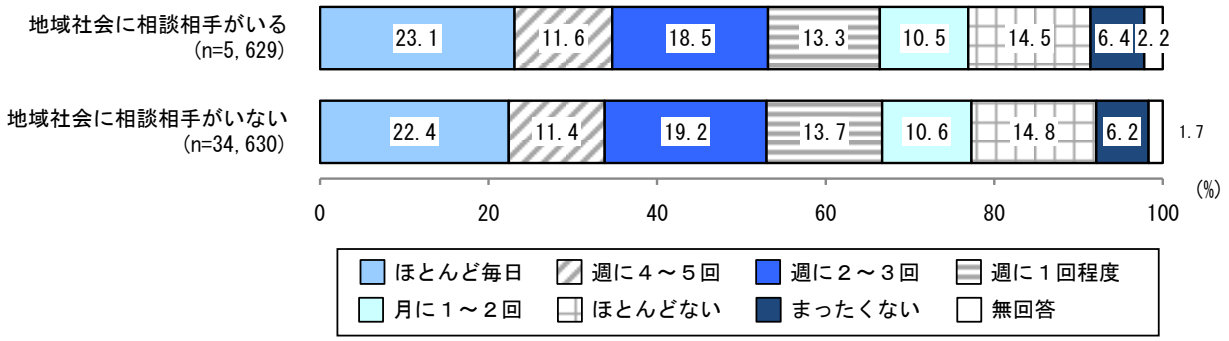
図 161. 子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかと、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかによって子どもの自己効力感(セルフ･エフィカシー)を見ると、放課後ひとりで過ごす子どもの方がそれでない子どもよりも自己効力感（セルフ・エフィカシー）が低かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの手伝いをしているか
（保護者票問 19×子ども票問８④）

※「あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか」という問に対し、「学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー」「公的機関や役所の相談員」「学童保育の指導員」「地域の民生委員・児童委員」「民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む）」「医療機関の医師や看護師」のうち少なくとも１つを選択した人を、「地域社会に相談相手がいる」とした。

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

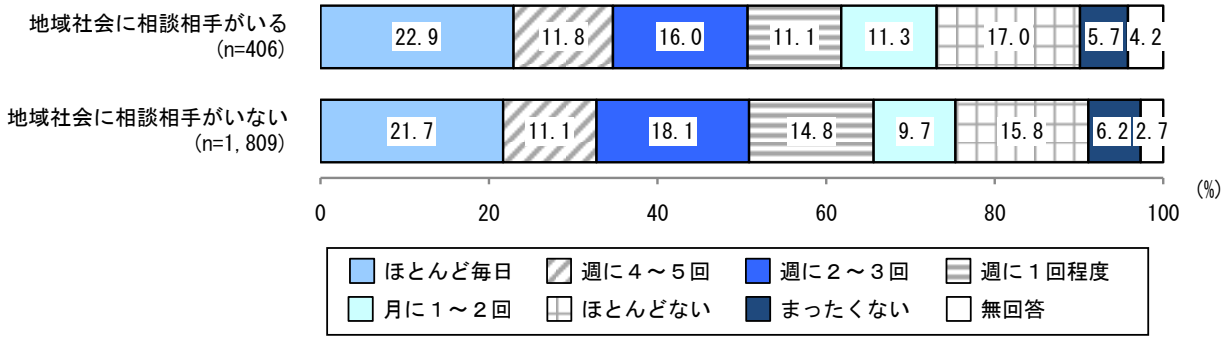
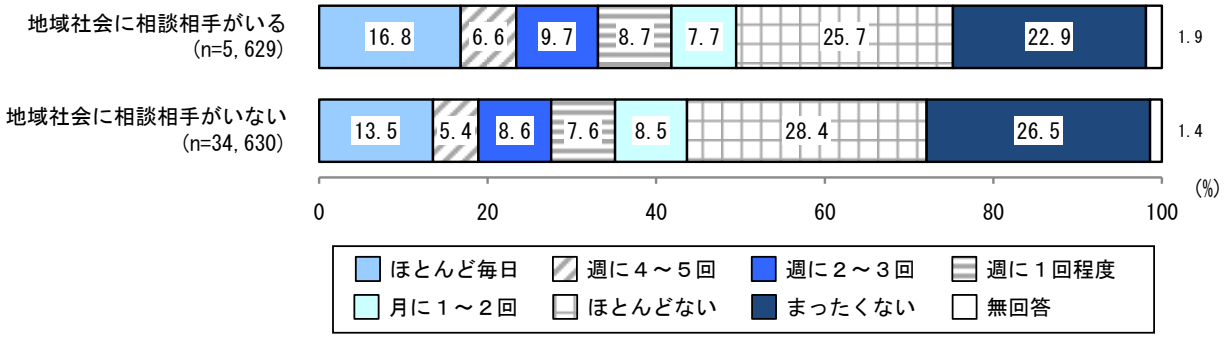


図 162. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの手伝いをしているか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、家の手伝いをしているかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がいない」人よりも、子どもがおうちの手伝いをしているかに「ほとんど毎日」、「週に４～５回」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか
（保護者票問 19×子ども票問８⑤）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

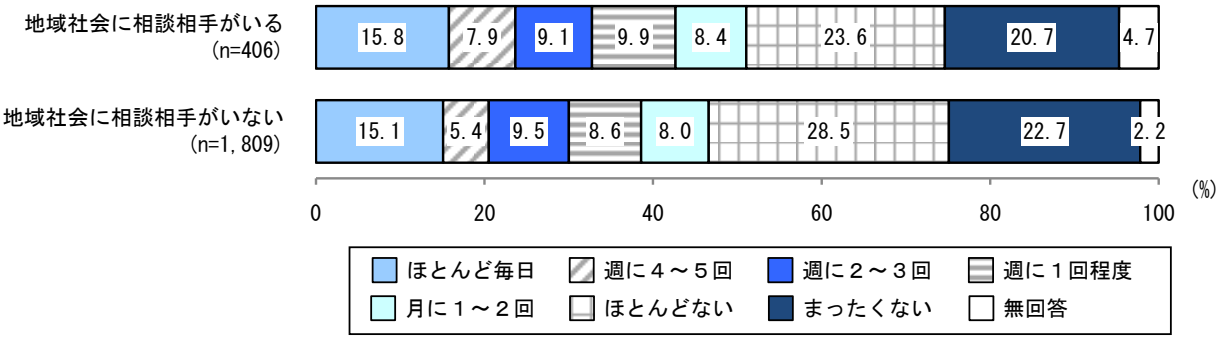
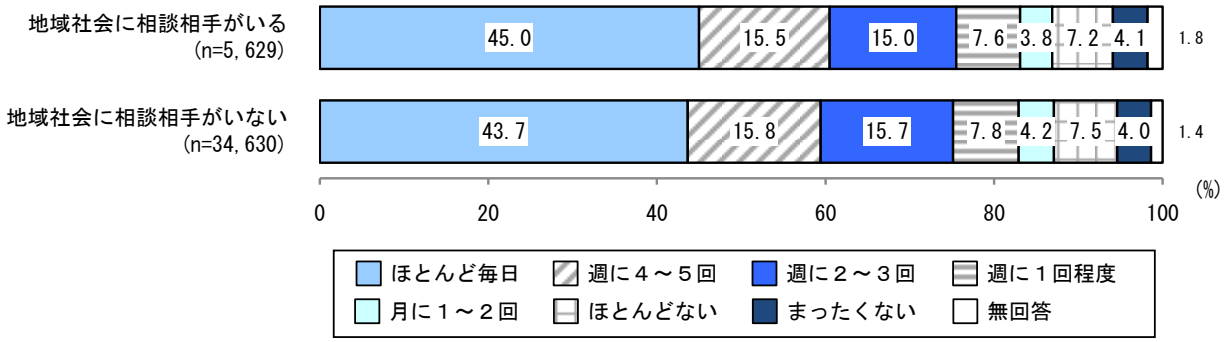


図 163. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がいない」人よりも、おうちの大人の人に宿題（勉強）を見てもらっているかに「ほとんど毎日」、「週に４～５回」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すか
（保護者票問 19×子ども票問８⑥）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

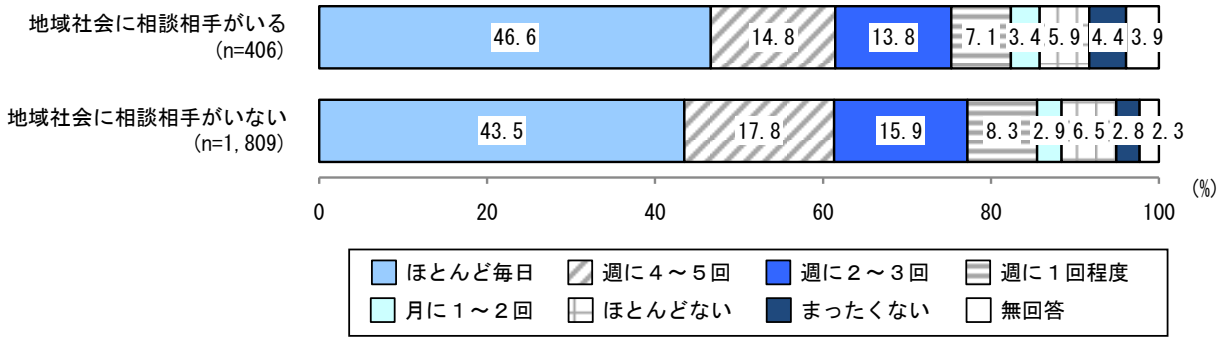
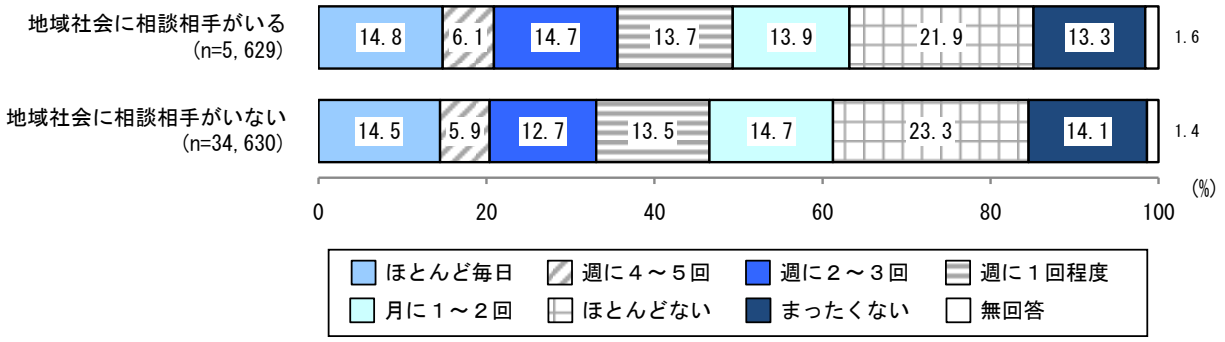


図 164. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がいない」人よりも、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すかに「ほとんど毎日」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか
（保護者票問 19×子ども票問８⑦）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

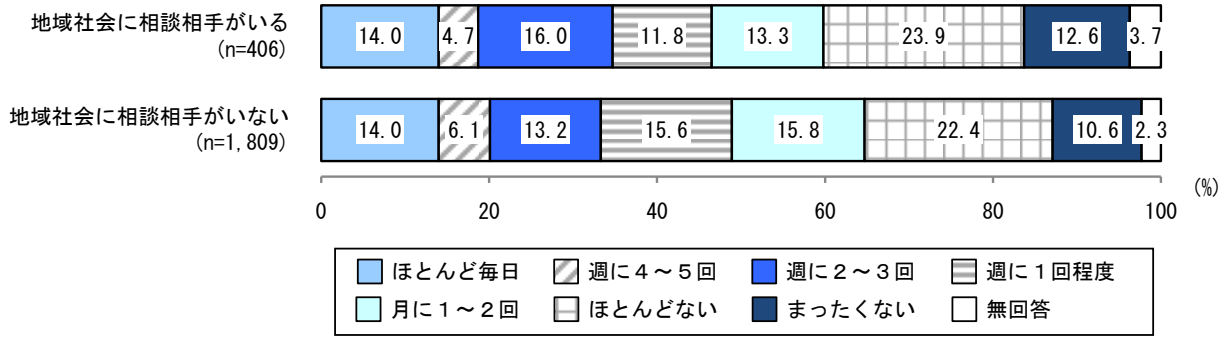
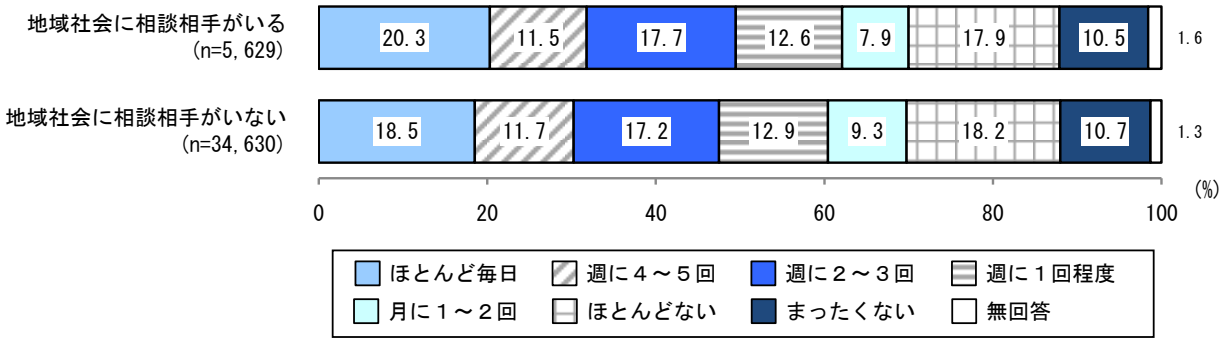


図 165. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」か「地域社会に相談相手がいない」かによって、子どもが「おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりする」に差はなかった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか（保護者票問 19×子ども票問８⑧）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

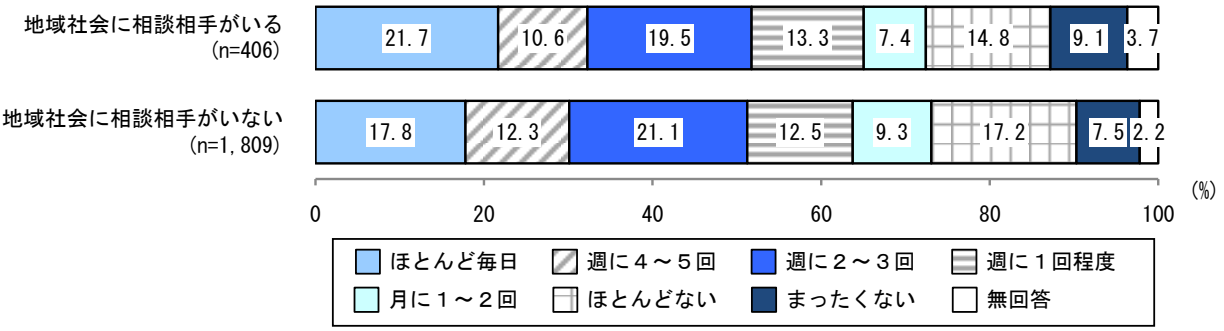
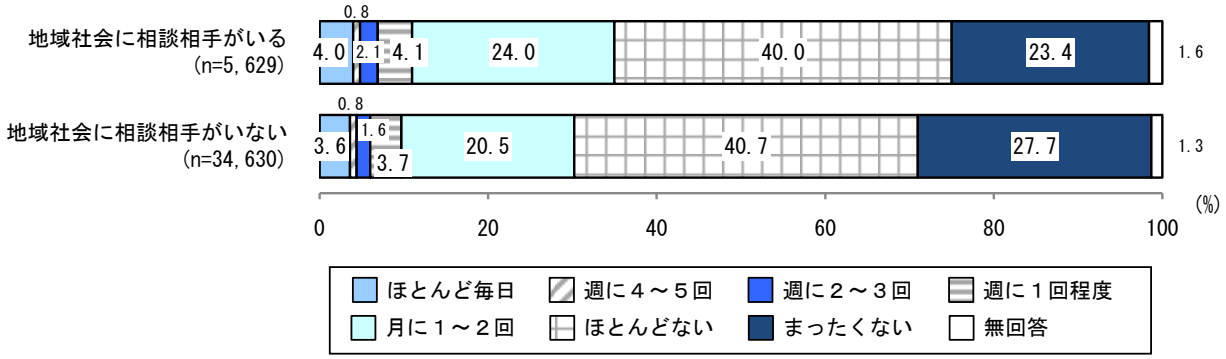


図 166. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がいない」人よりも、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すかに「ほとんど毎日」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と文化活動をするか
（保護者票問 19×子ども票問８⑨）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

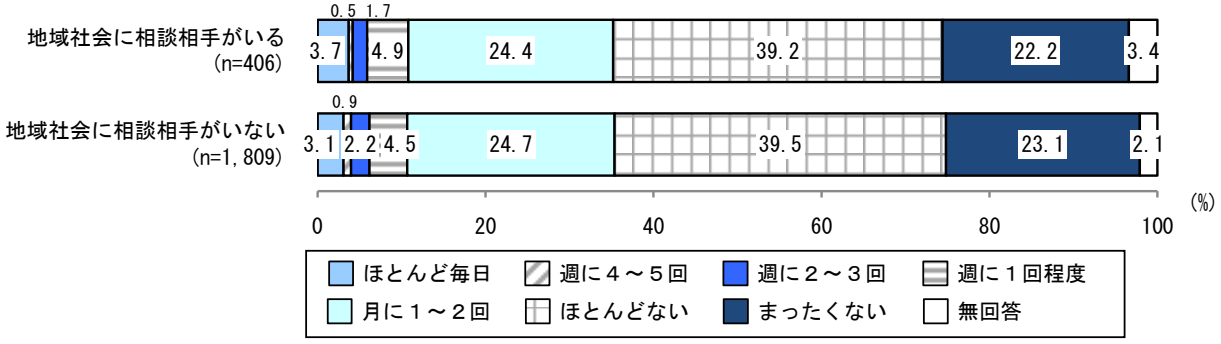
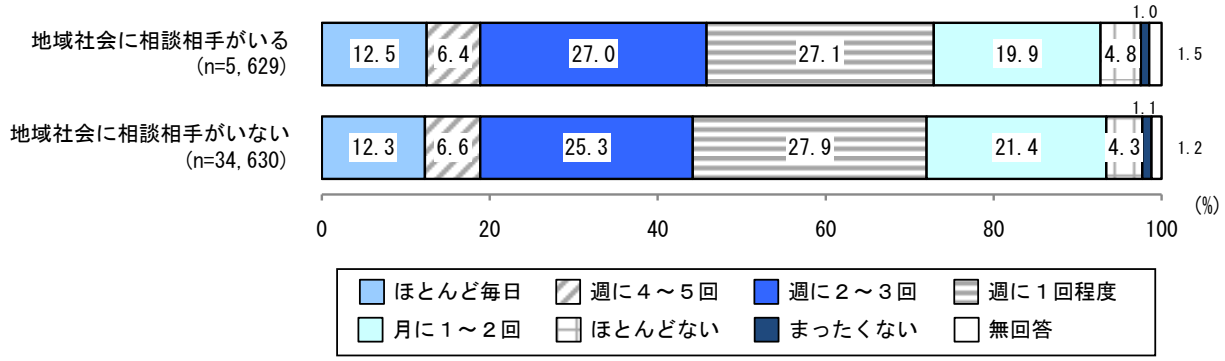


図 167. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と文化活動をするか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と文化活動をするかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」か「地域社会に相談相手がいない」かによって、子どもが「おうちの大人の人と文化活動をする」に差はなかった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と一緒に外出するか
（保護者票問 19×子ども票問８⑩）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

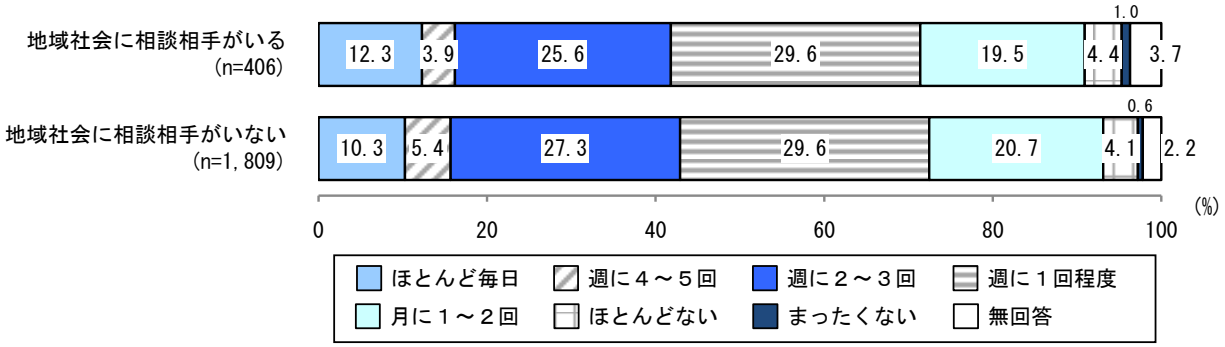
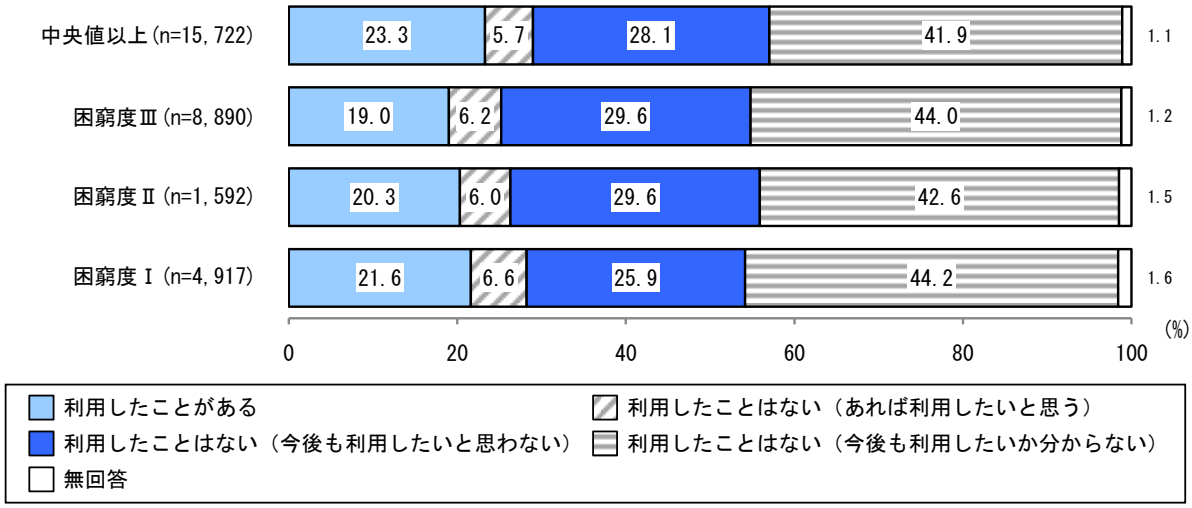


図 168. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と一緒に外出するか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と一緒に外出するかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」か「地域社会に相談相手がいない」かによって、子どもが「おうちの大人の人と一緒に外出する」に差はなかった。

困窮度別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所（子ども票問 25(1)①）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

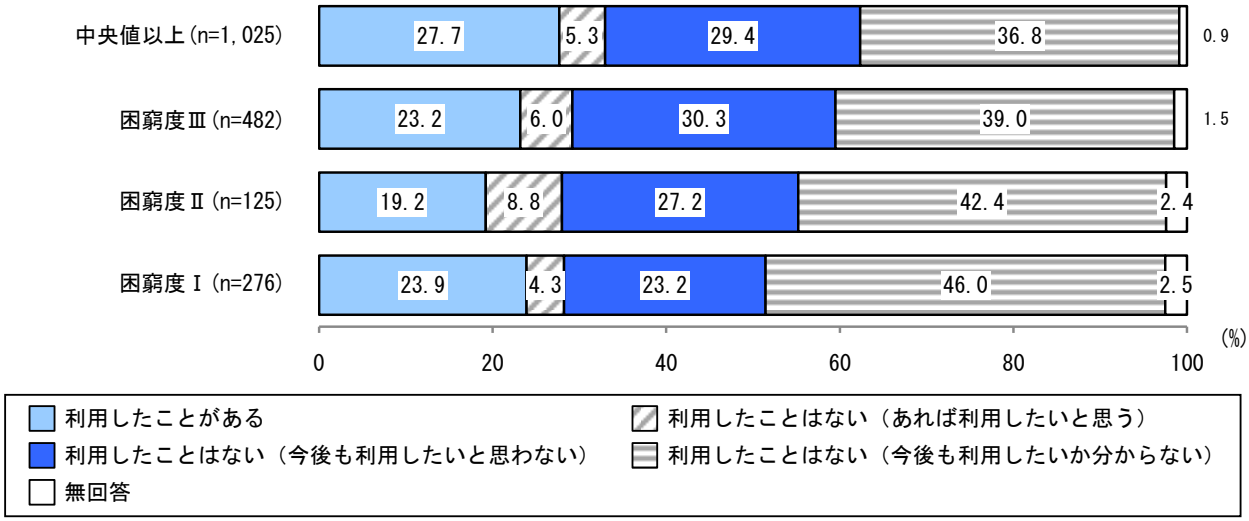
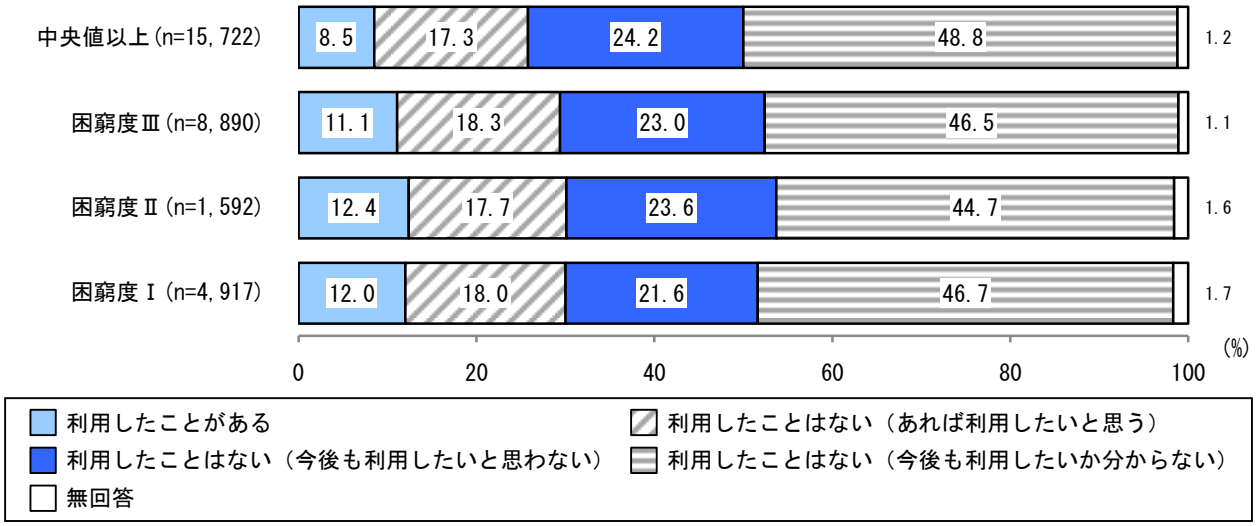


図 169. 困窮度別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所

困窮度別に平日の夜や休日を過ごすことができる場所を見ると、困窮度が高まるにつれて、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」と回答する割合が高くなっている。一方、「利用したことがある」と回答した割合は、中央値以上群で27.7%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所
（子ども票問 25(1)②）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

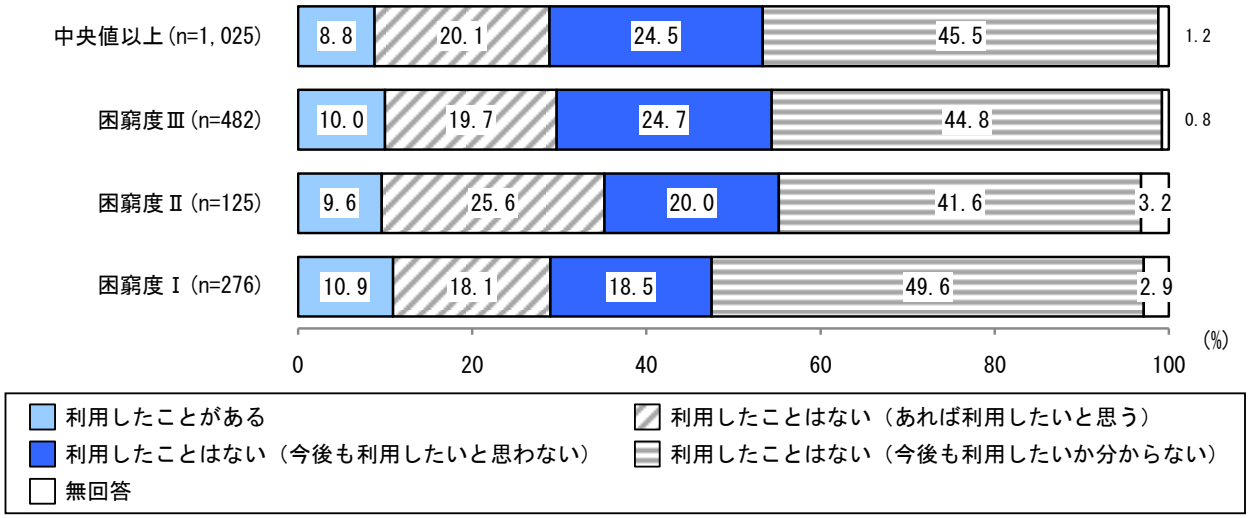
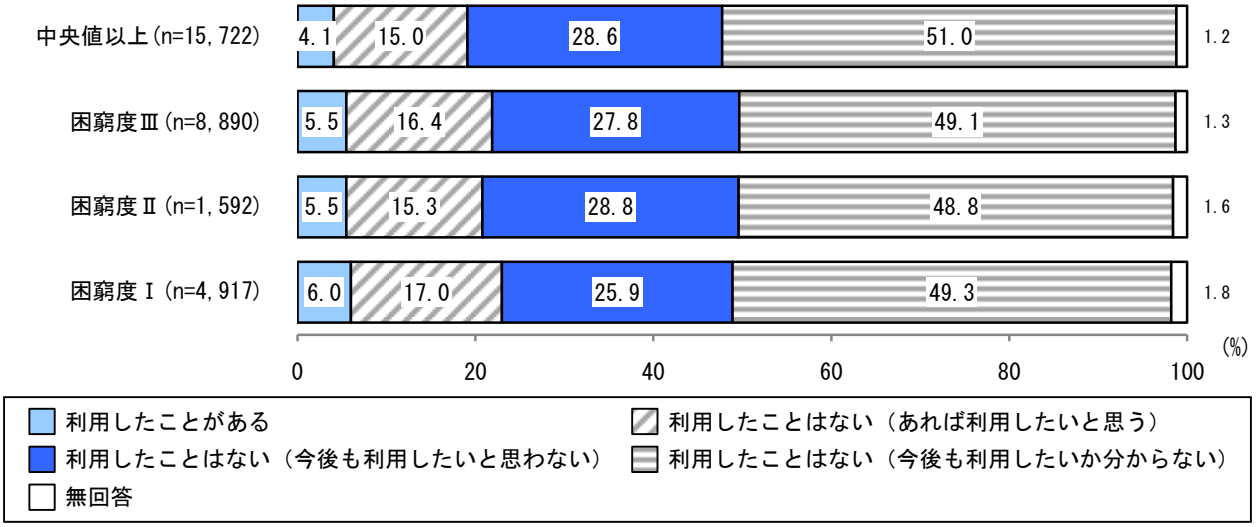


図 170. 困窮度別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所

困窮度別に昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を見ると、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」と回答する割合が困窮度Ⅰ群で49.6%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所（子ども票問 25(1)③）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

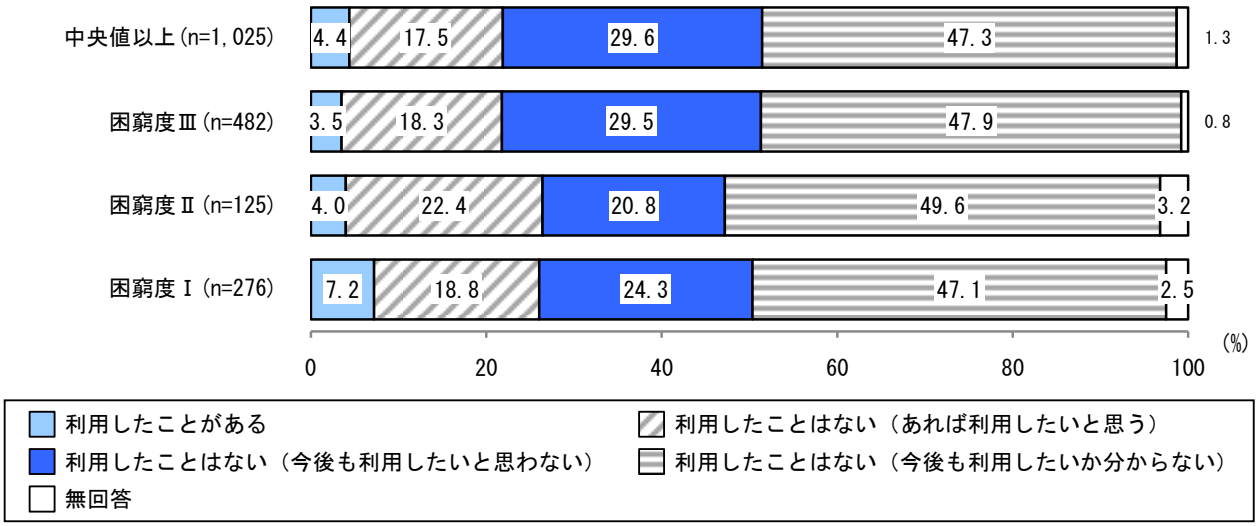
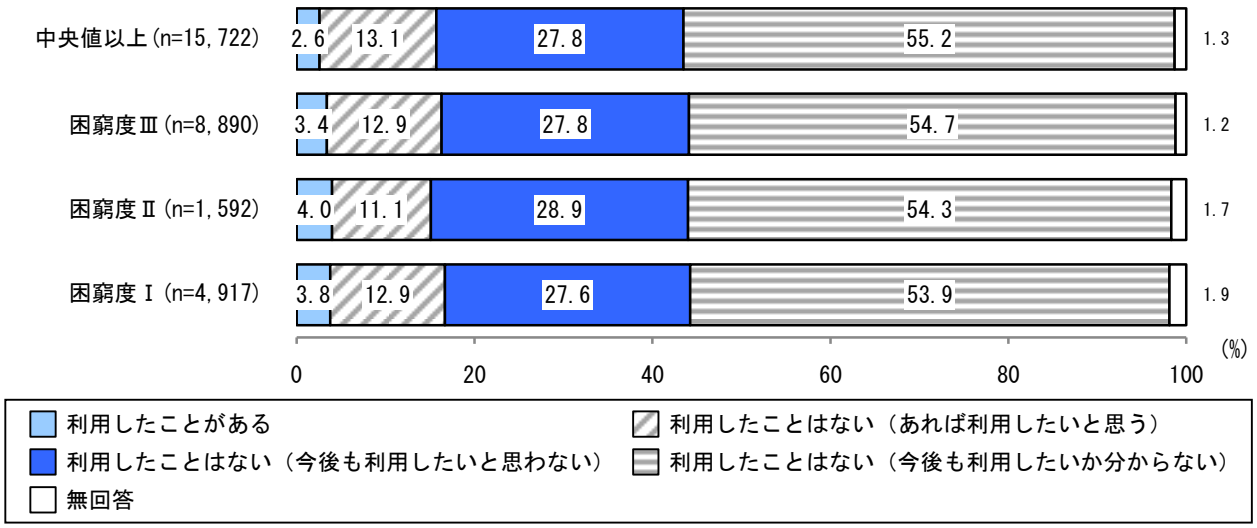


図 171. 困窮度別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所

困窮度別に勉強を無料か安い料金でみてくれる場所を見ると、「利用したことがある」と回答する割合が困窮度Ⅰ群で7.2%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、何でも相談できる場所（子ども票問 25(1)④）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

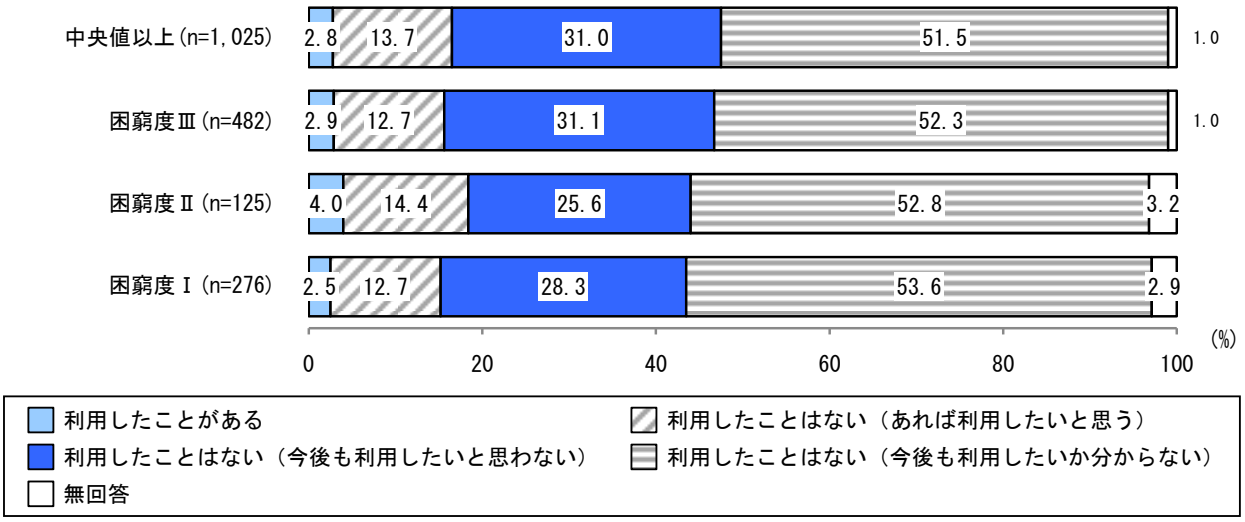
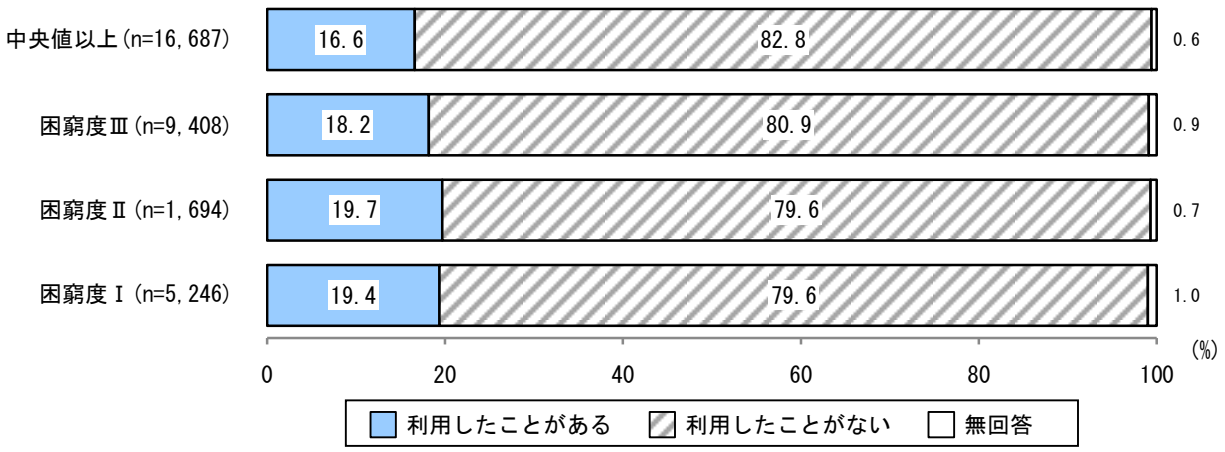


図 172. 困窮度別に見た、何でも相談できる場所

困窮度別に何でも相談できる場所を見ると、困窮度が高まるにつれて、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」と回答する割合が高くなっている。一方、「利用したことがある」と回答した割合は、困窮度Ⅱ群で4.0%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、子どもの居場所の利用経験（保護者票問 16(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

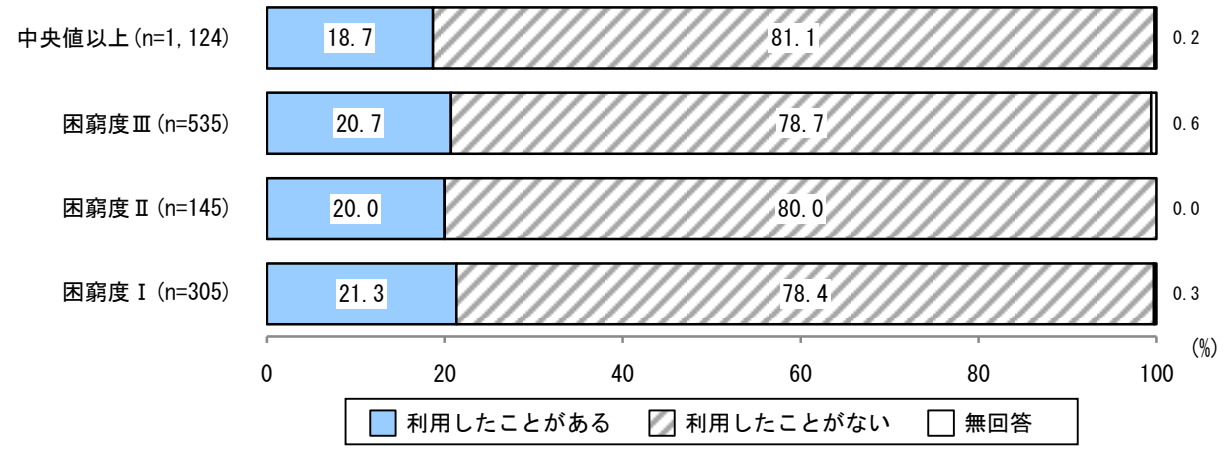
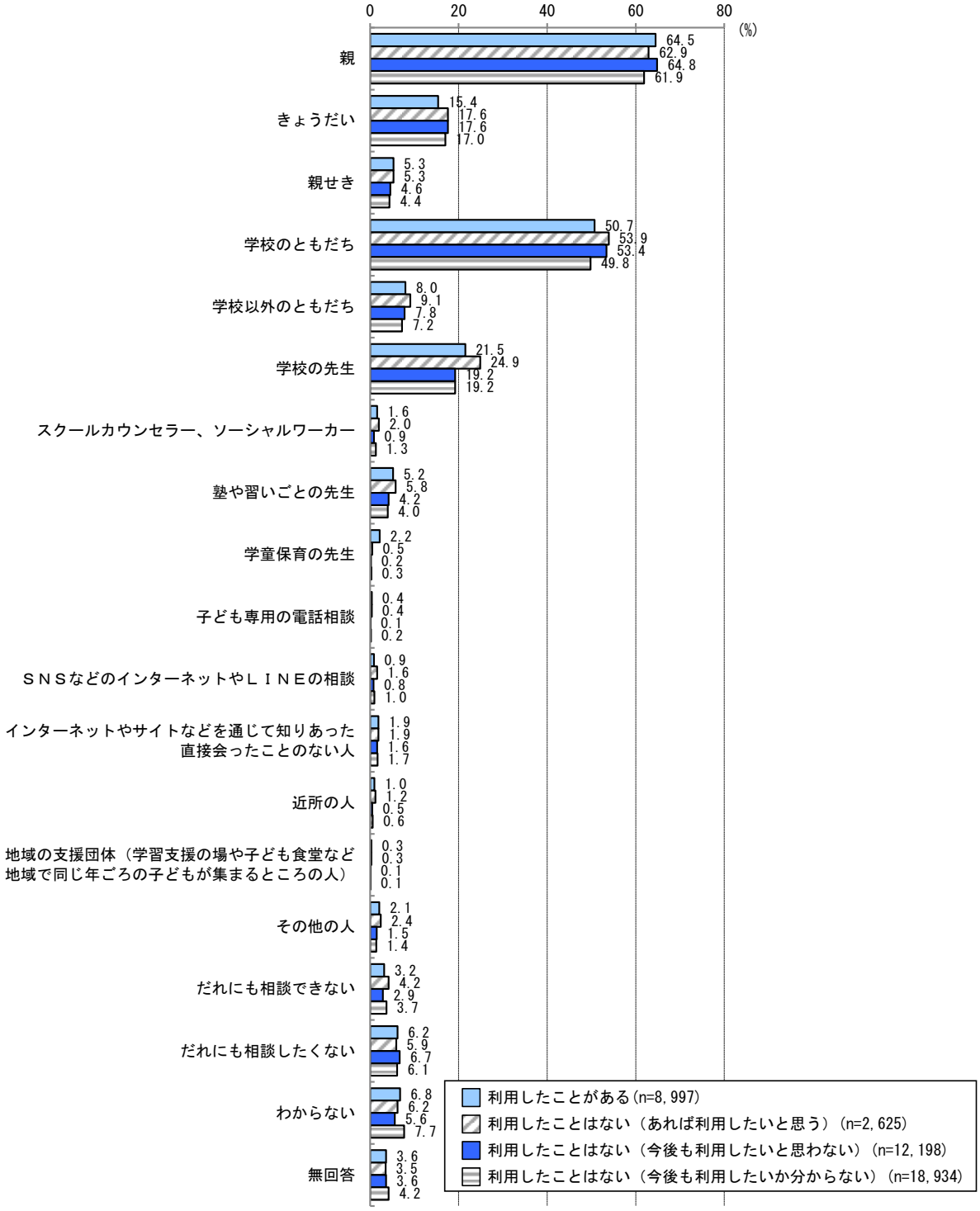


図 173. 困窮度別に見た、子どもの居場所の利用経験

困窮度別に子どもの居場所の利用経験を見ると、「利用したことがある」と回答する割合は中央値以上群が18.7%で最も低く、困窮度Ⅰ群が21.3%で最も高くなっている。

平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
（子ども票問 25(1)①×子ども票問 18）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

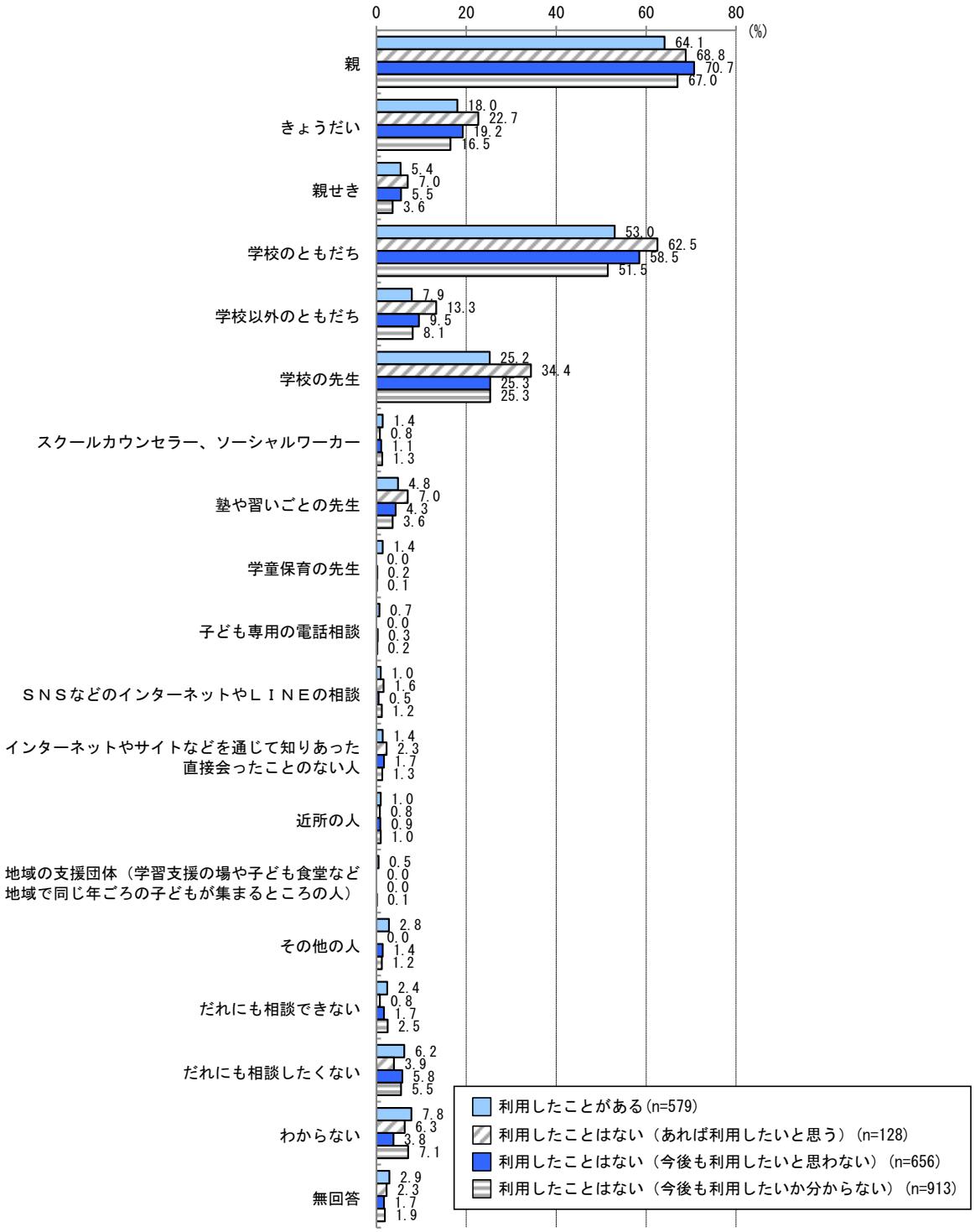
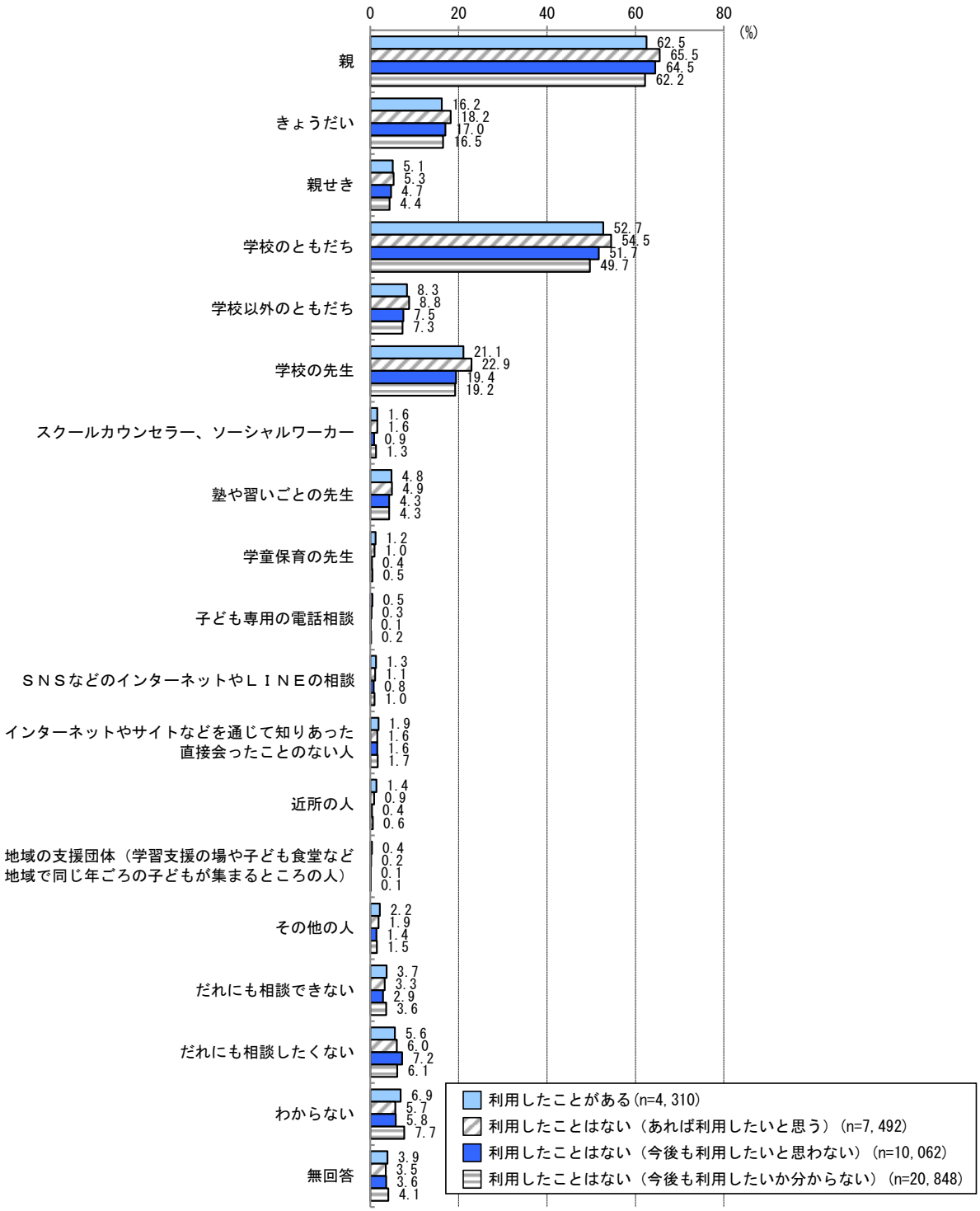


図 174. 平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、相談相手が「親」と回答した割合は、「利用したことはない」と回答した人より「利用したことがある」と回答した人のほうが割合が高くなっている。

昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手（子ども票問 25(1)②×子ども票問 18）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

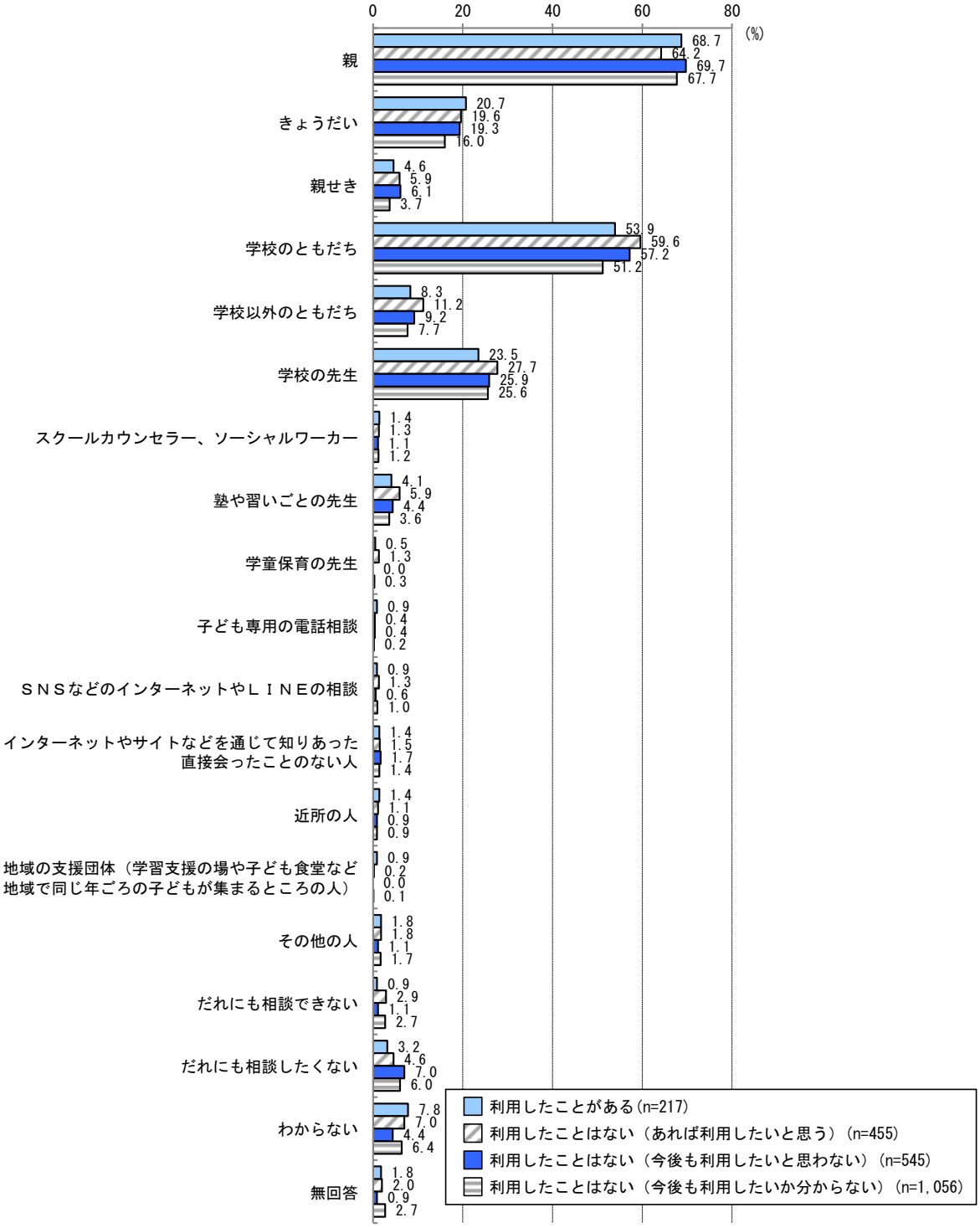
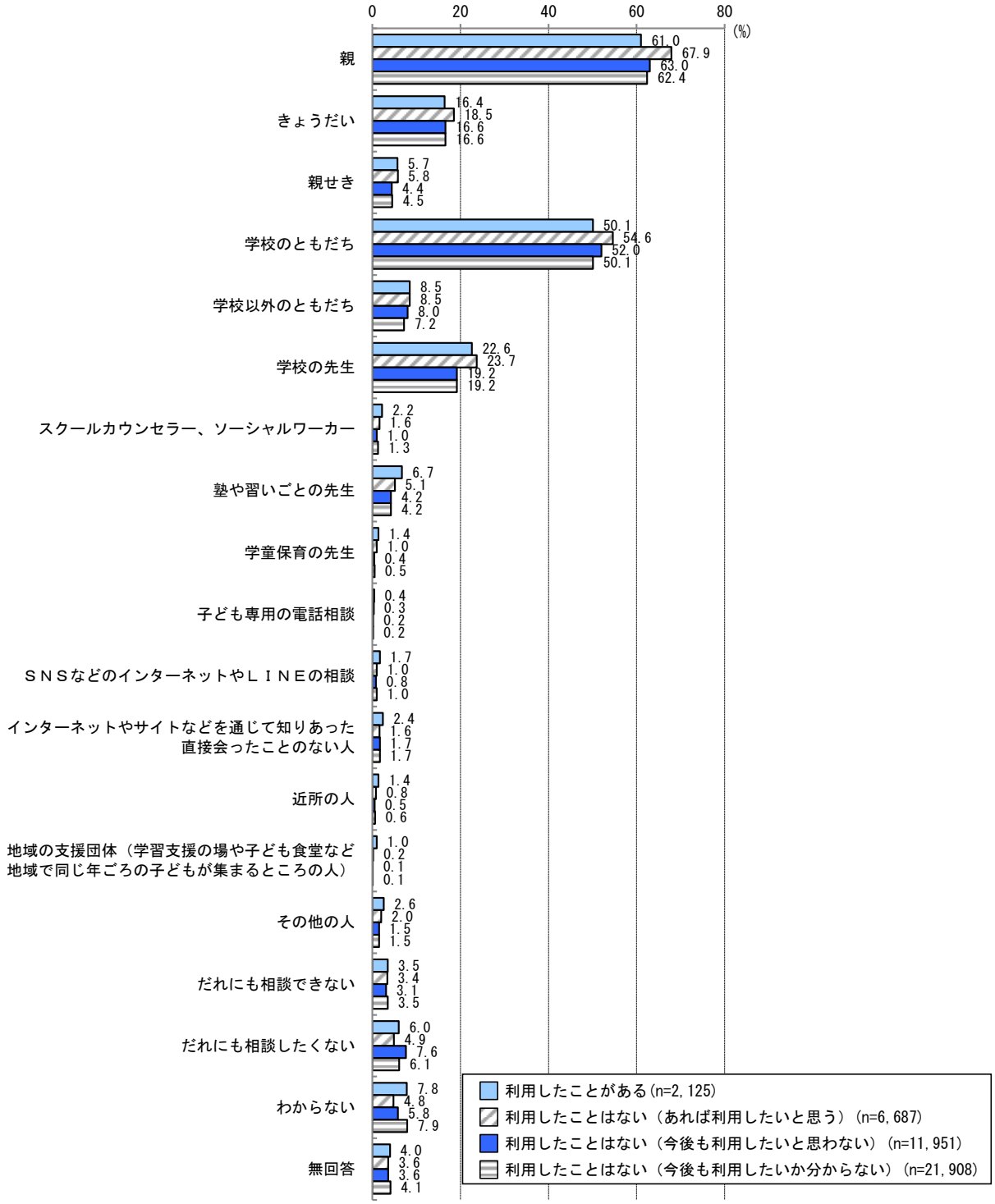


図 175. 昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、相談相手が「きょうだい」と回答した割合は、「利用したことはない」と回答した人より「利用したことがある」と回答した人のほうが割合が高くなっている。

勉強を無料か安い料金でみてくれる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
（子ども票問 25(1)③×子ども票問 18）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

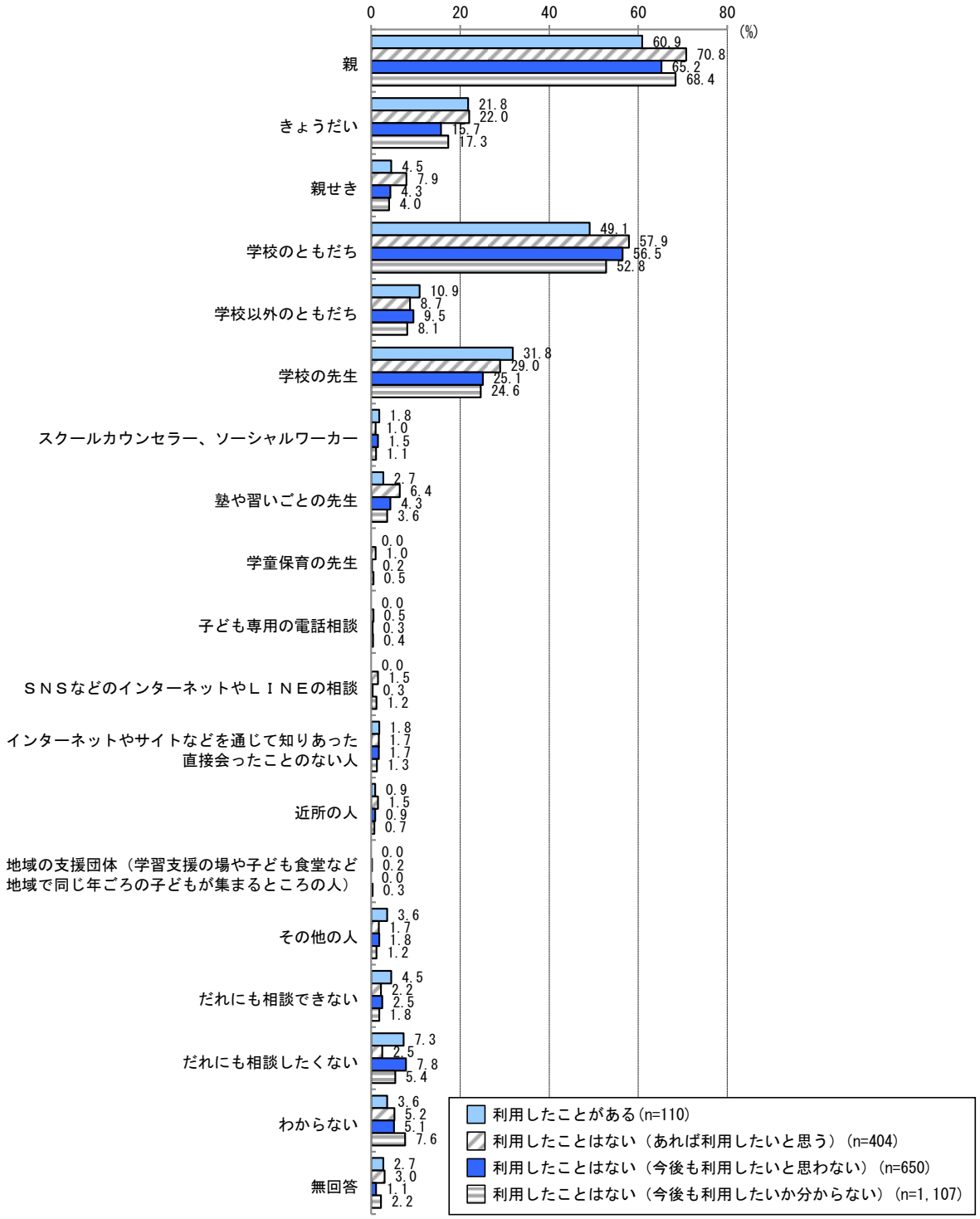
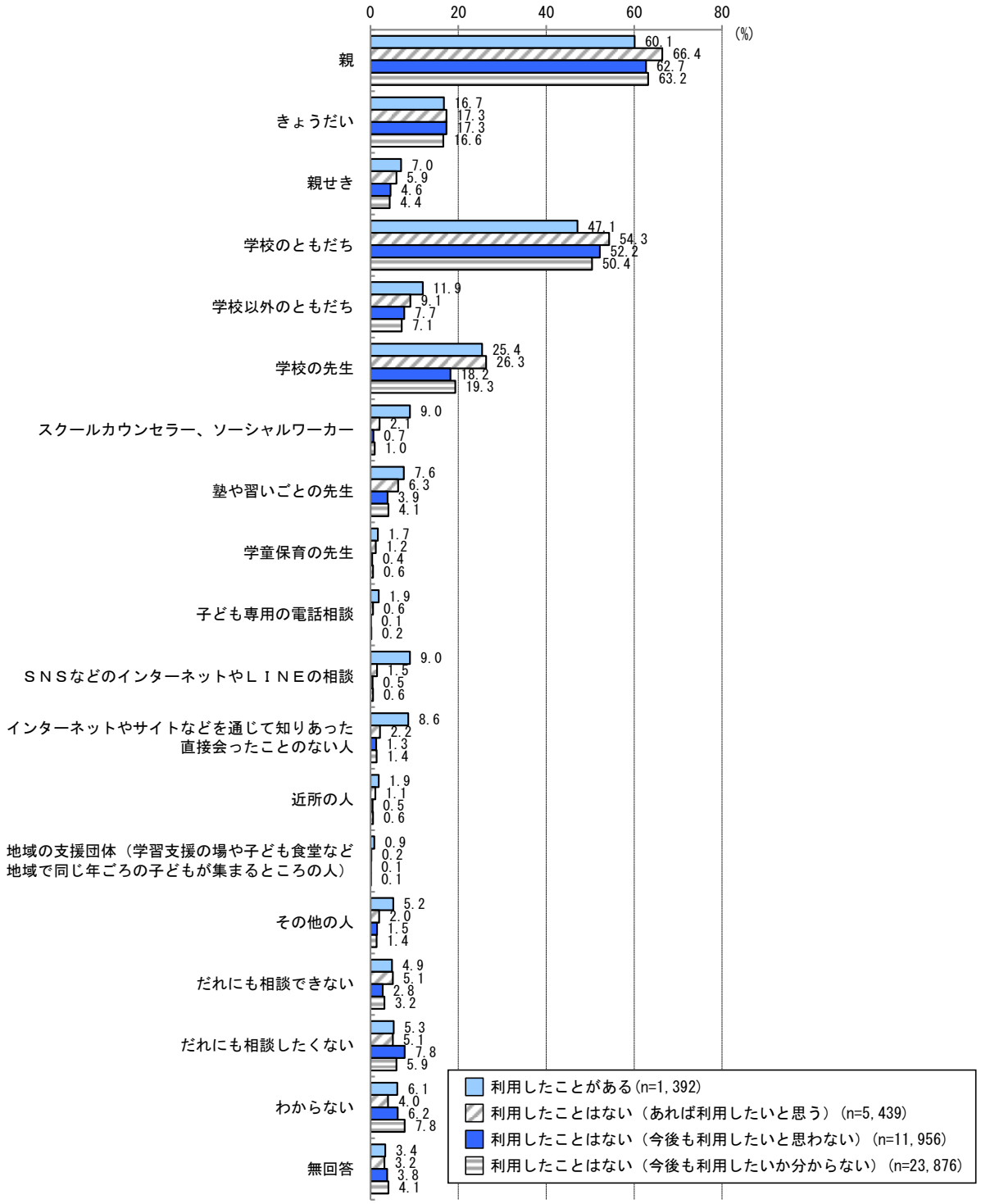


図 176. 勉強を無料か安い料金でみてくれる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

勉強を無料か安い料金でみてくれる場所別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、相談相手が「親」や「学校のともだち」と回答した割合は、「利用したことはない」と回答した人より「利用したことがある」と回答した人のほうが割合が低くなっている。

何でも相談できる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
（子ども票問 25(1)④×子ども票問 18）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

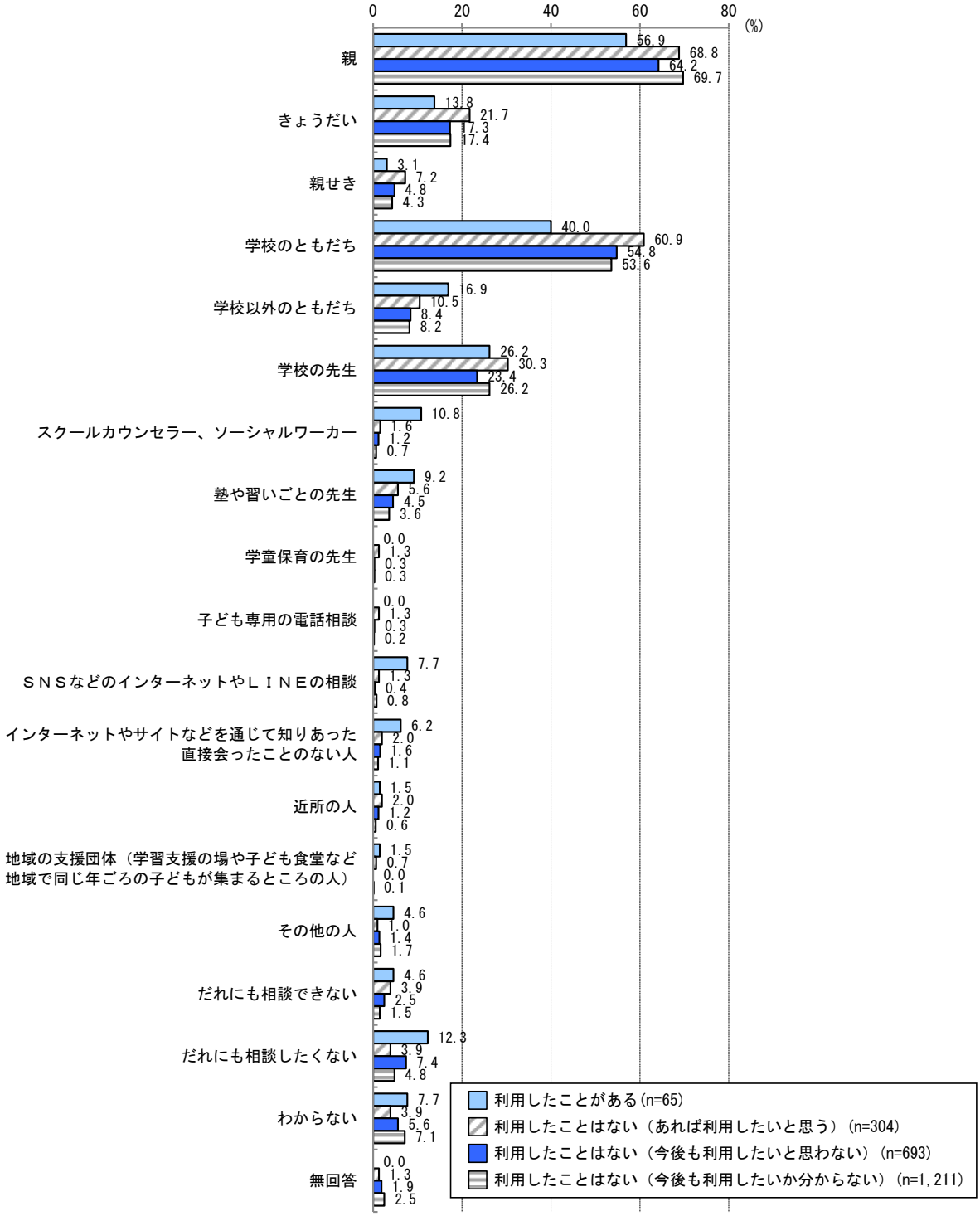
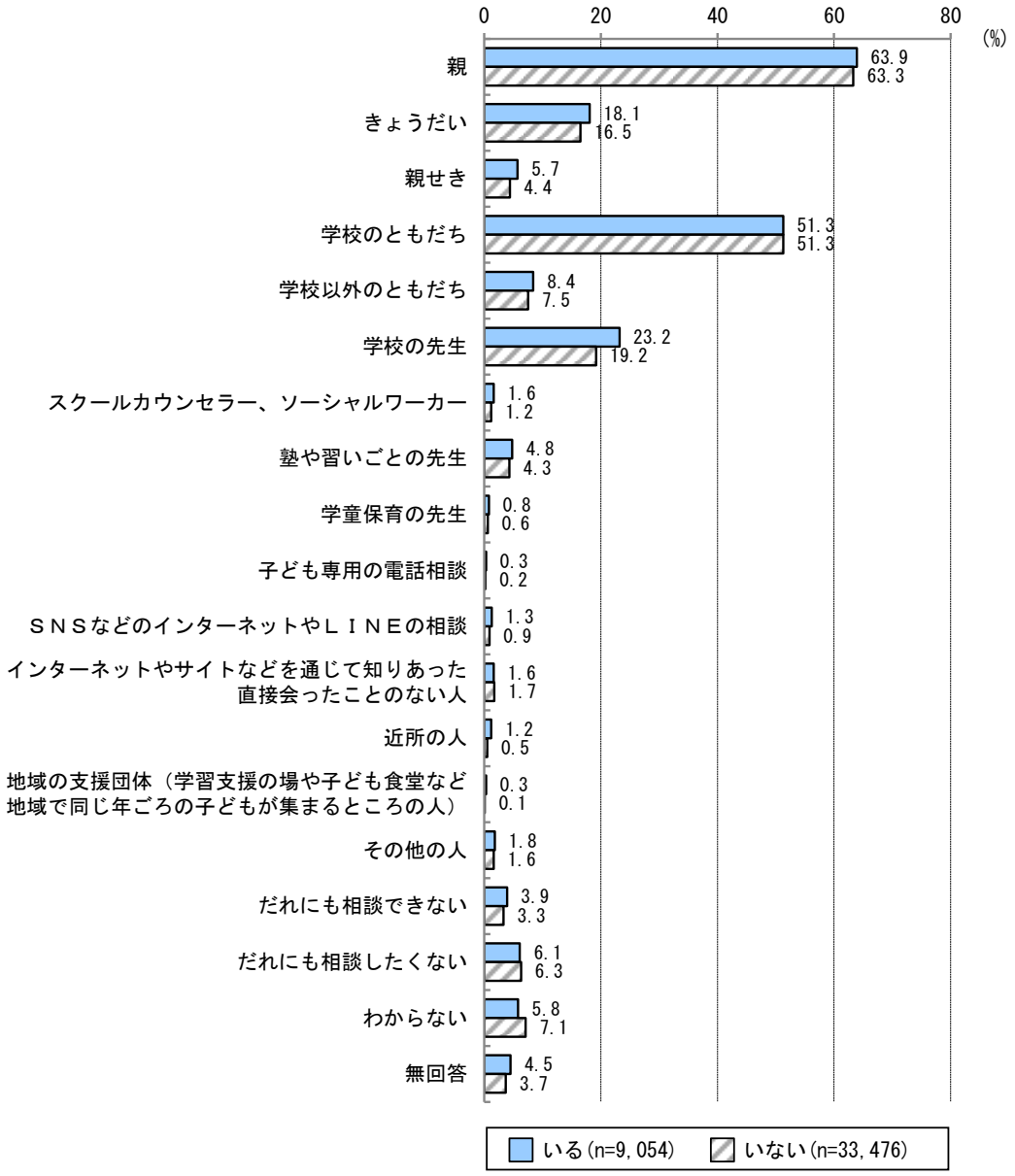


図 177. 何でも相談できる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

何でも相談できる場所別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、相談相手が「親」や「きょうだい」、「親せき」、「学校のともだち」と回答した割合は、「利用したことはない」と回答した人より「利用したことがある」と回答した人のほうが割合が低くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
（子ども票問 26(1)×子ども票問 18）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

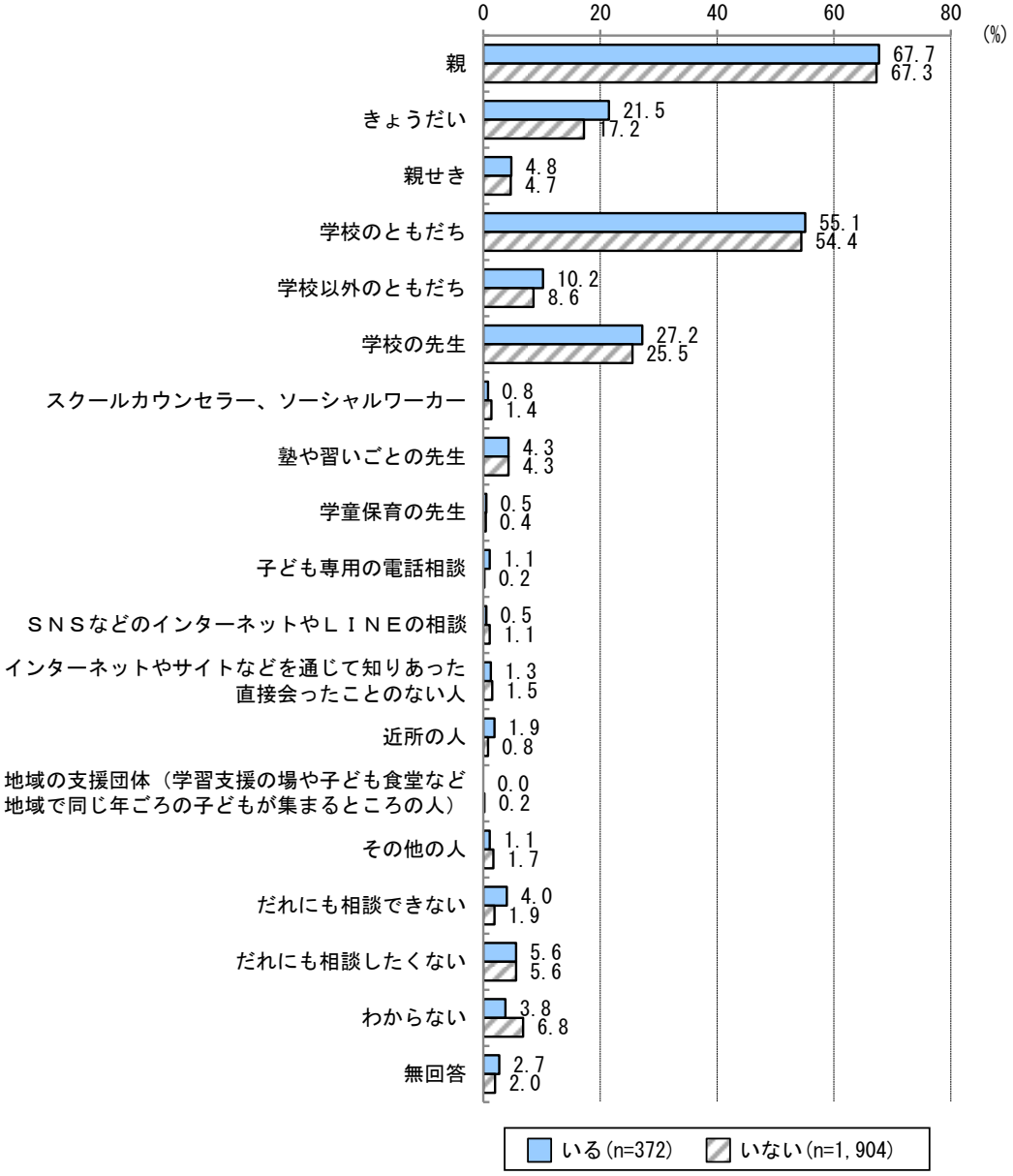
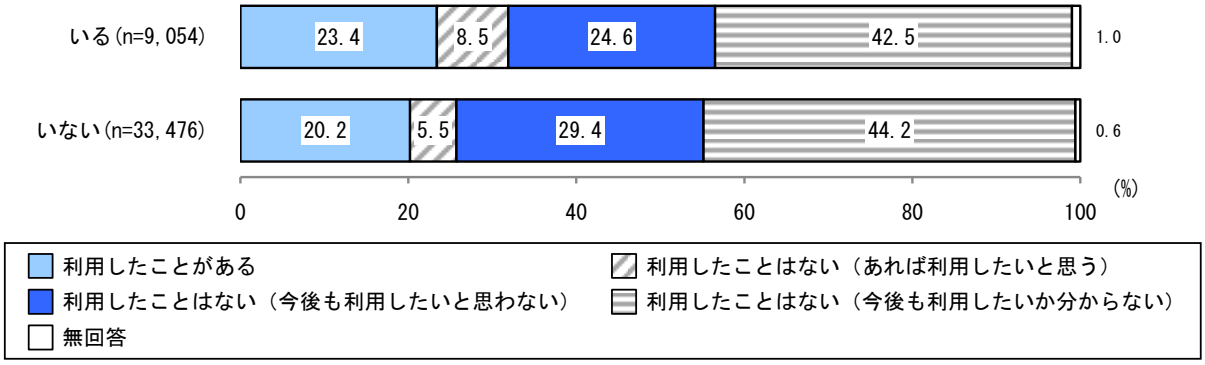


図 178. 自分が世話をしている人の有無別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

自分が世話をしている人の有無別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手をみると、相談相手が「きょうだい」と回答した人の割合は、世話をしている人がいない人よりいる人のほうが割合が高く、世話をしている人では21.5%となっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所
（子ども票問 26(1)×子ども票問 25(1)①）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

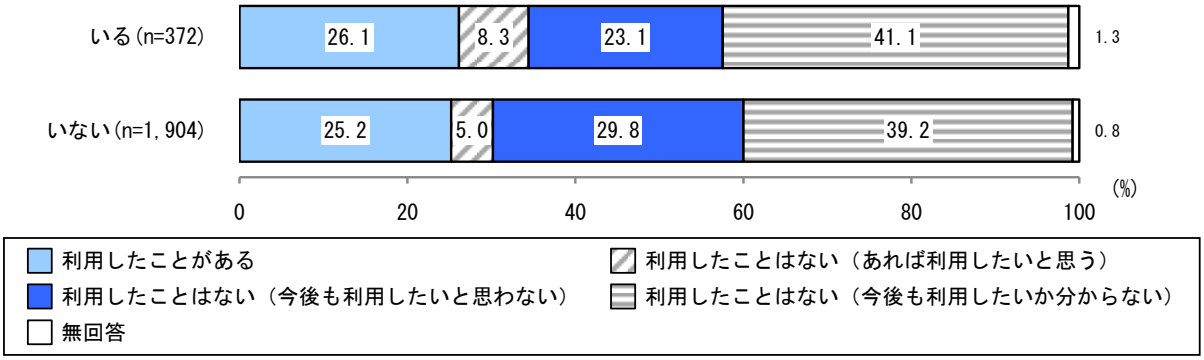
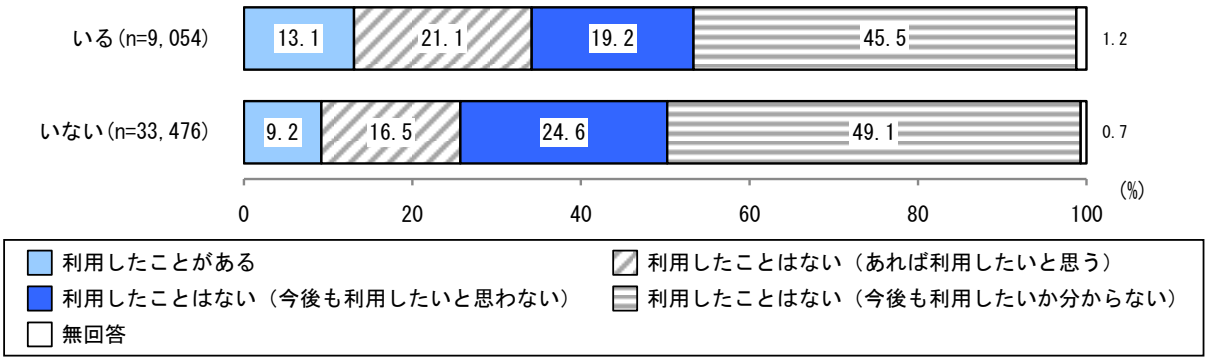


図 179. 自分が世話をしている人の有無別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所

自分が世話をしている人の有無別に平日の夜や休日を過ごすことができる場所を見ると、平日の夜や休日を過ごすことができる場所を「利用したことがある」、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」と回答した人の割合は、世話をしている人がいない人よりいる人のほうが割合が高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども票問 26(1)×子ども票問 25(1)②）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

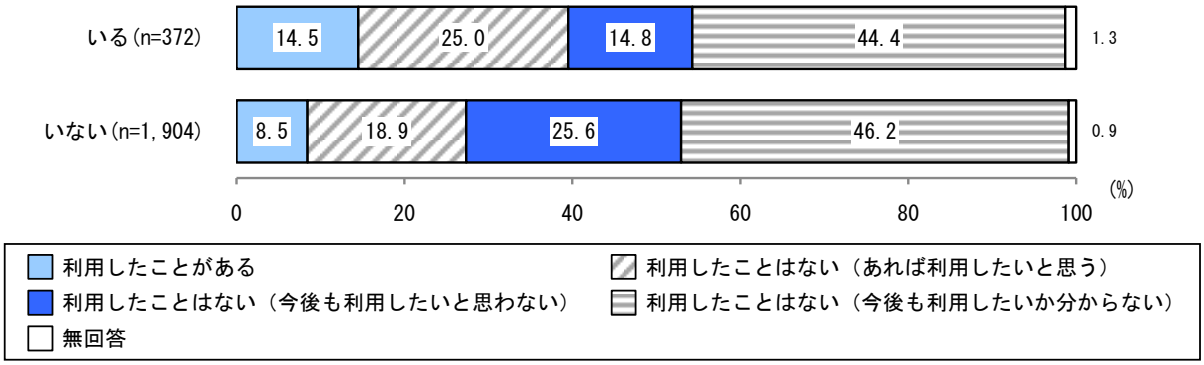
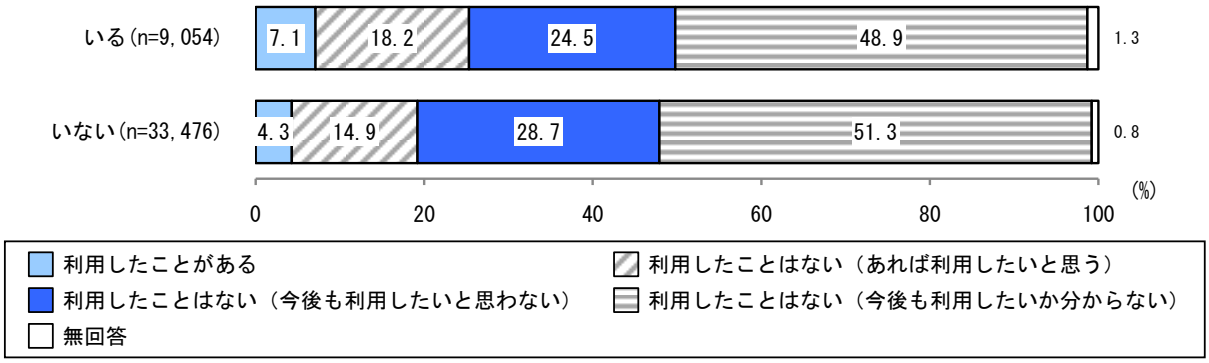


図 180. 自分が世話をしている人の有無別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所

自分が世話をしている人の有無別に昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を見ると、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を「利用したことがある」、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」と回答した人の割合は、世話をしている人がいない人よりいる人のほうが割合が高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所
（子ども票問 26(1)×子ども票問 25(1)③）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

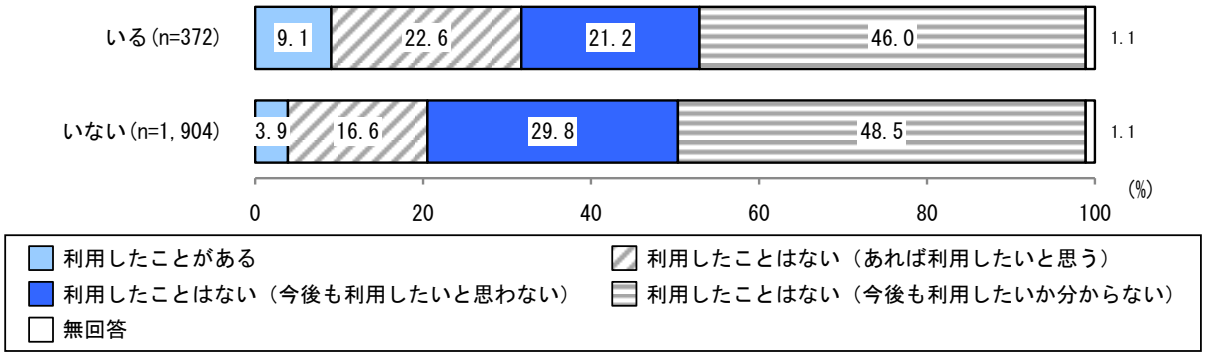
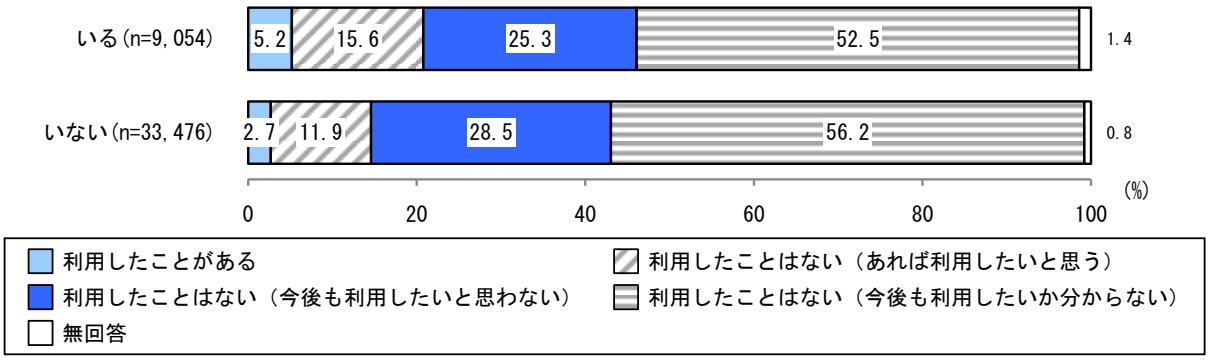


図 181. 自分が世話をしている人の有無別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所

自分が世話をしている人の有無別に勉強を無料か安い料金でみてくれる場所を見ると、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所を「利用したことがある」、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」と回答した人の割合は、世話をしている人がいない人よりいる人のほうが割合が高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、何でも相談できる場所
（子ども票問 26(1)×子ども票問 25(1)④）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

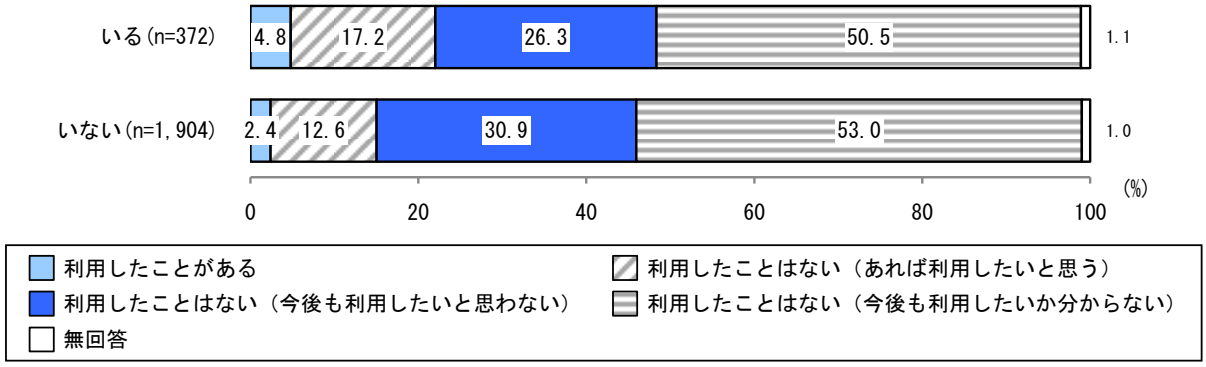
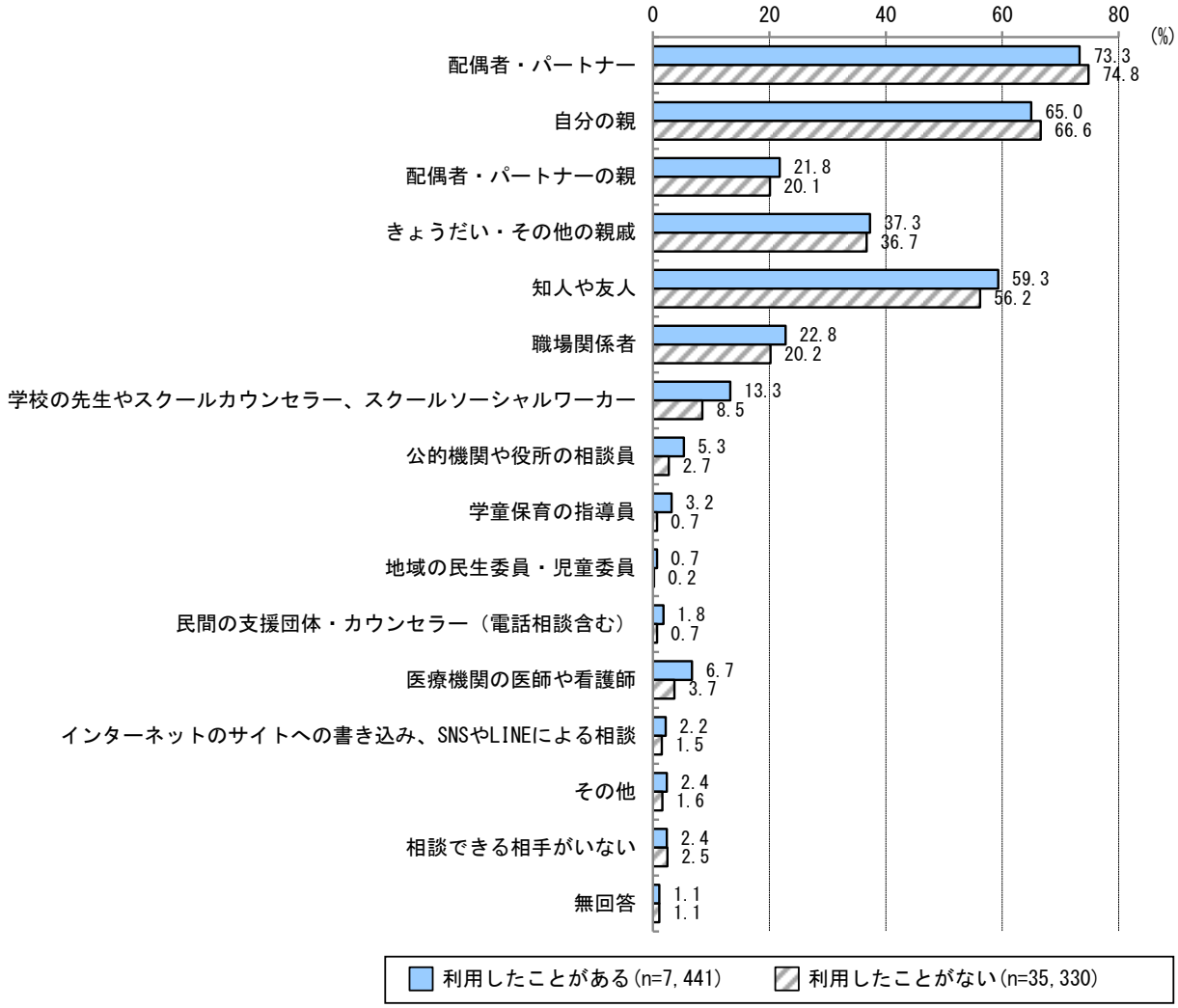


図 182. 自分が世話をしている人の有無別に見た、何でも相談できる場所

自分が世話をしている人の有無別に何でも相談できる場所を見ると、何でも相談できる場所を「利用したことがある」、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」と回答した人の割合は、世話をしている人がいない人よりいる人のほうが割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先
（保護者票問 16(1)×保護者票問 19）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

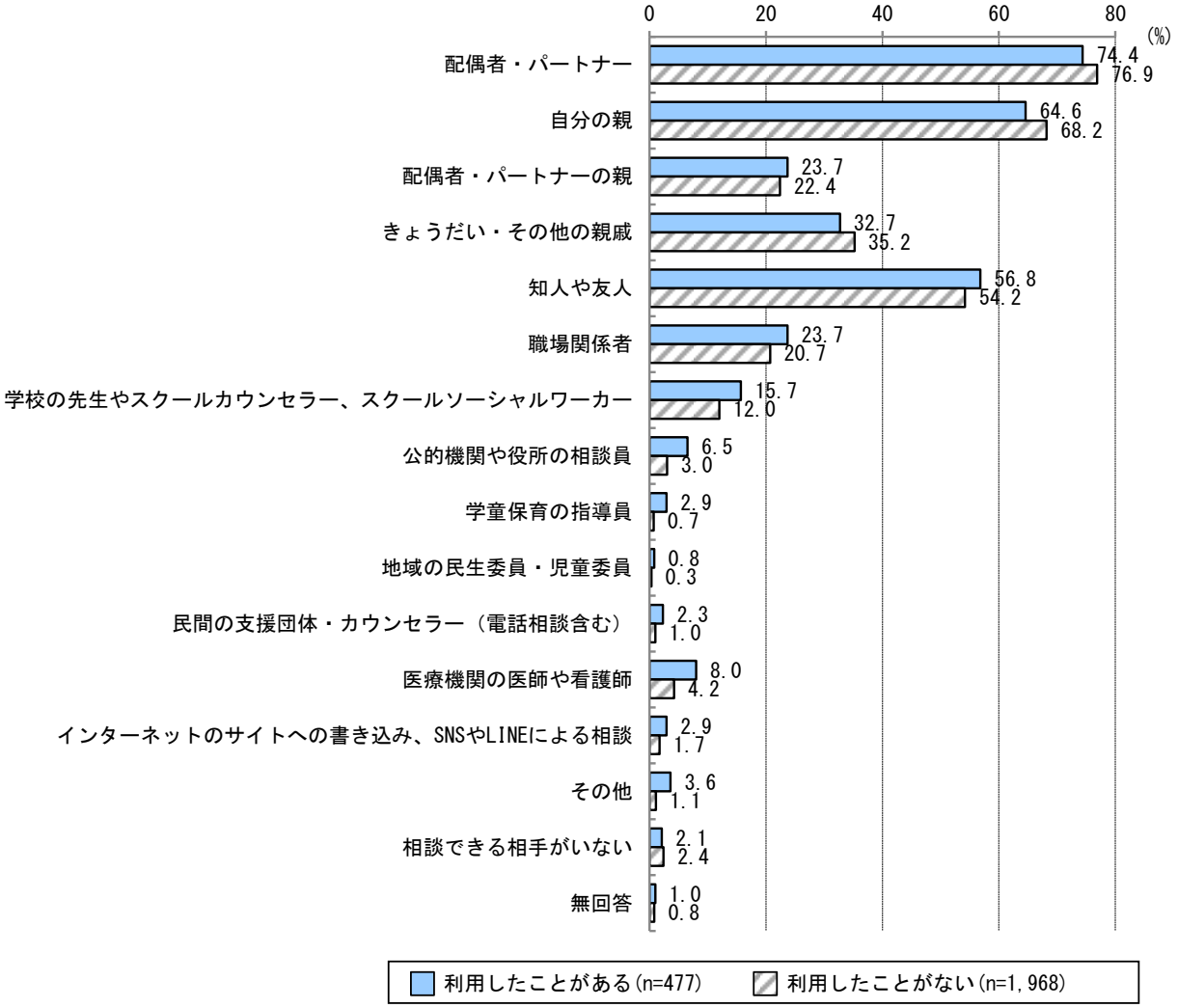
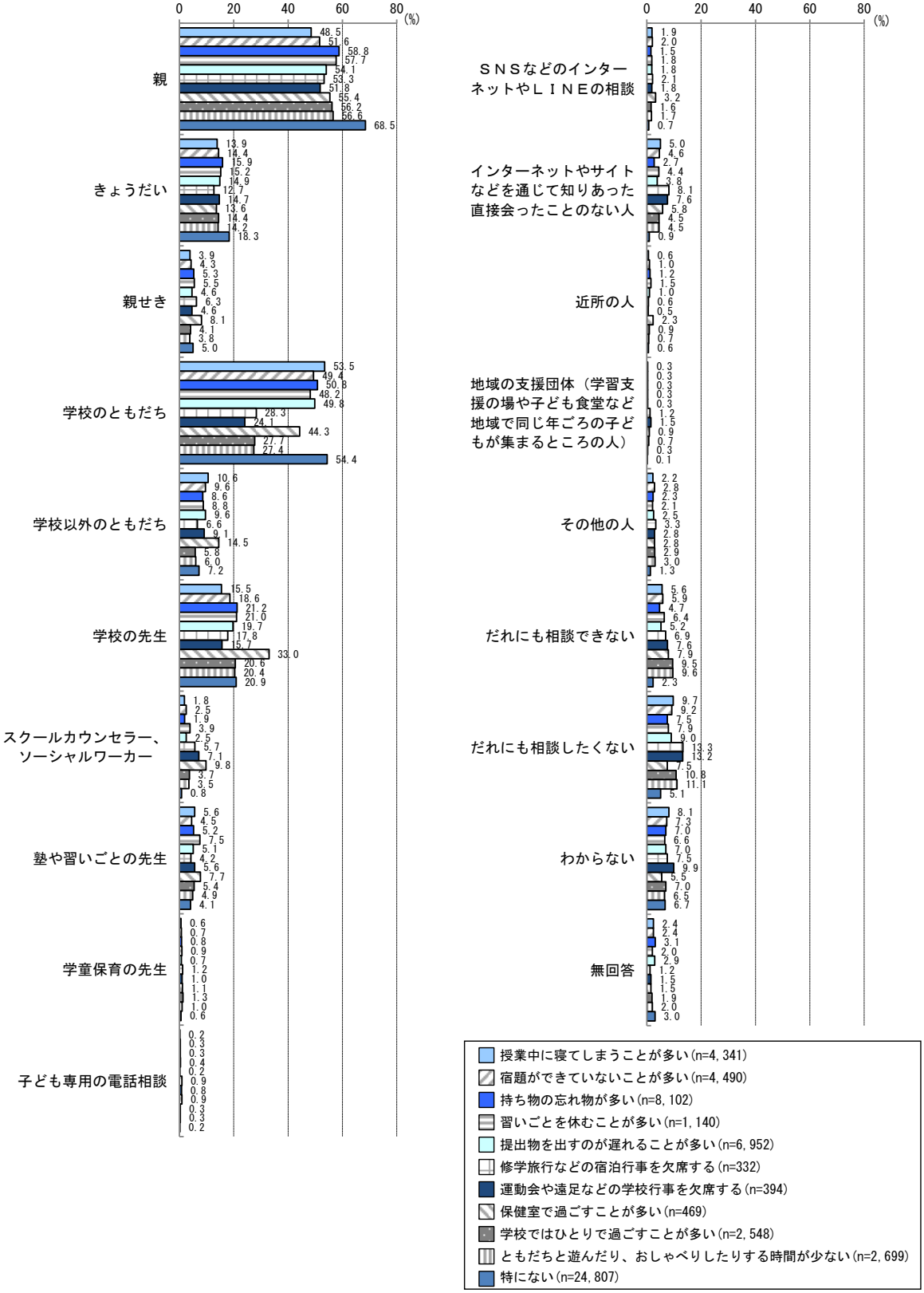


図 183. 子どもの居場所の利用経験別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

子どもの居場所の利用経験別に本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先を見ると、「自分の親」と回答した人の割合は、子どもの居場所を利用したことがある人より利用したことがない人のほうが割合が高くなっている。一方、「学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー」や「公的機関や役所の相談員」、「医療機関の医師や看護師」と回答した人の割合は子どもの居場所を利用したことがない人より利用したことがある人のほうが割合が高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
（子ども票問 16×子ども票問 18）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

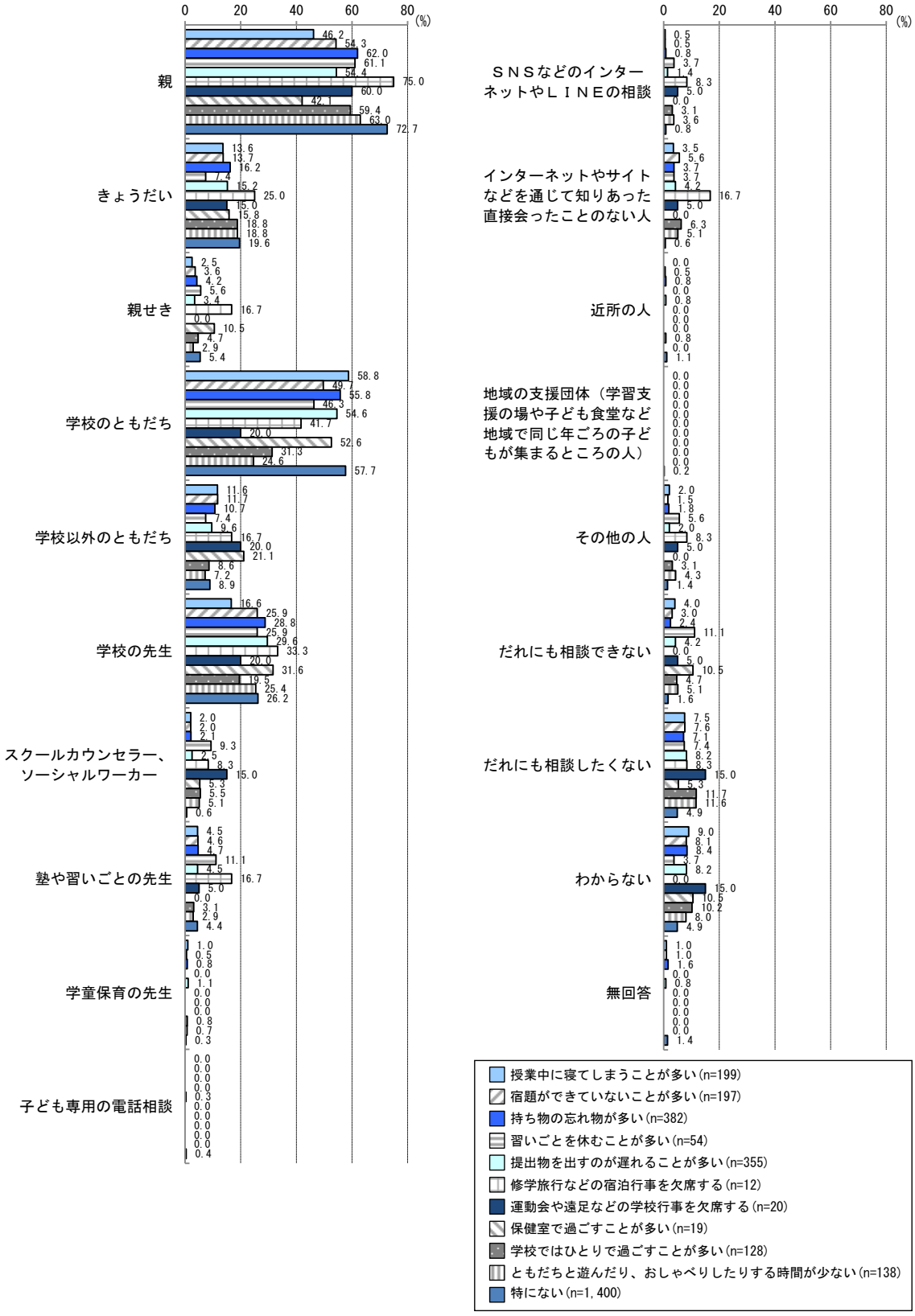
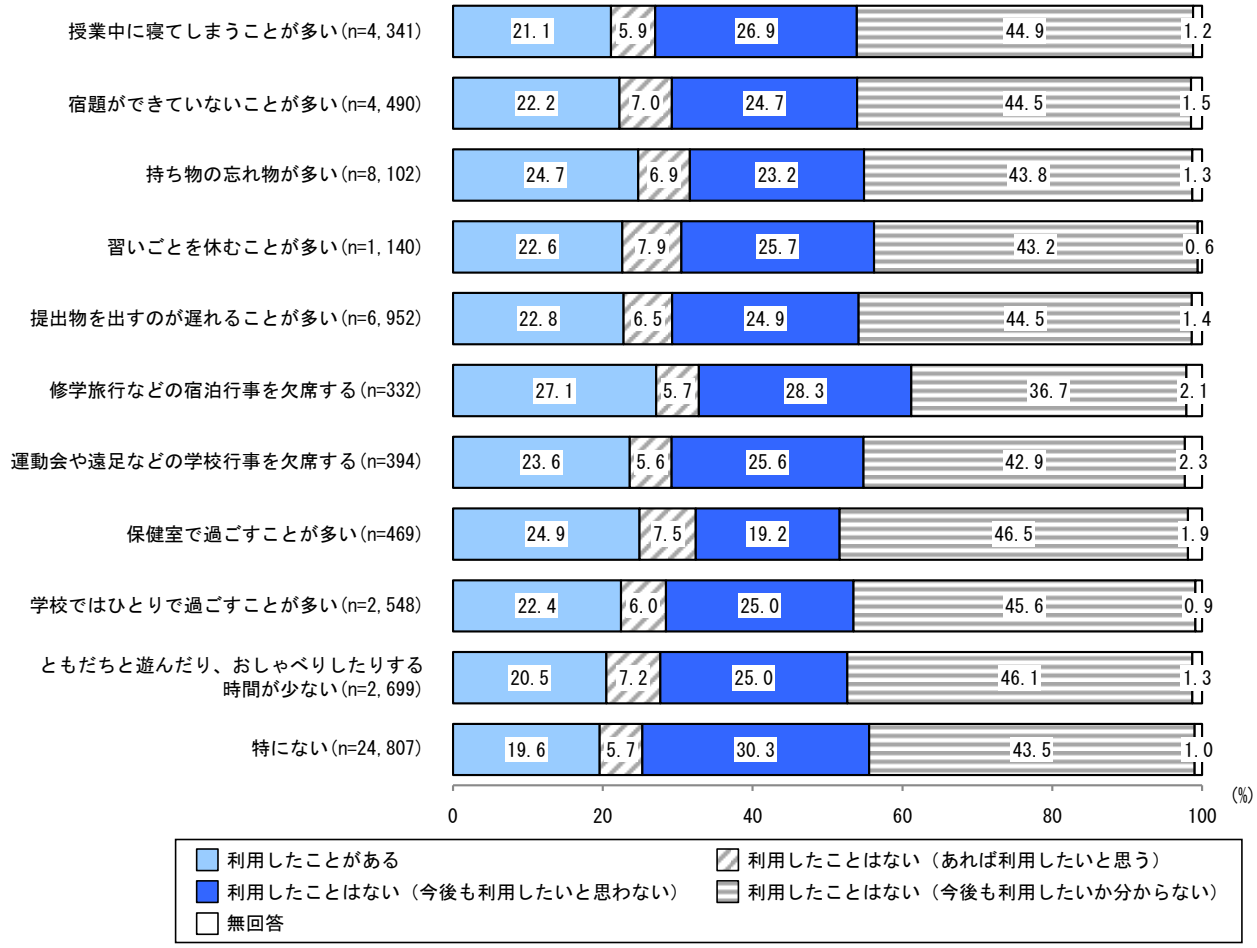


図 184. 学校や学校の行事等の状況別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

学校や学校の行事等の状況別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、「親」と回答した人の割合は「修学旅行などの宿泊行事を欠席する」と回答した人の割合が75.0%で最も高く、「保健室で過ごすことが多い」と回答した人の割合が42.1%で最も低くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所
（子ども票問 16×子ども票問 25(1)①）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

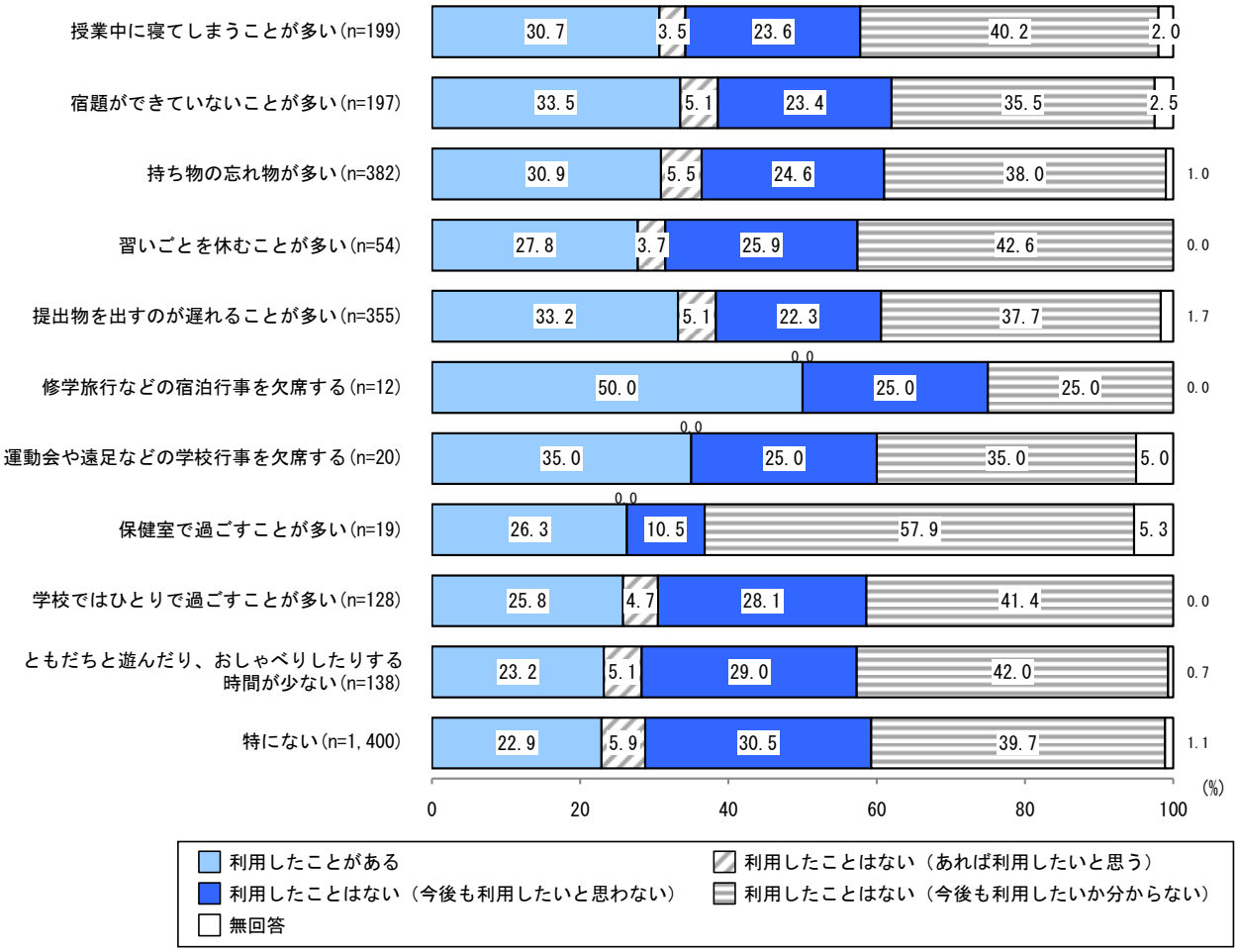
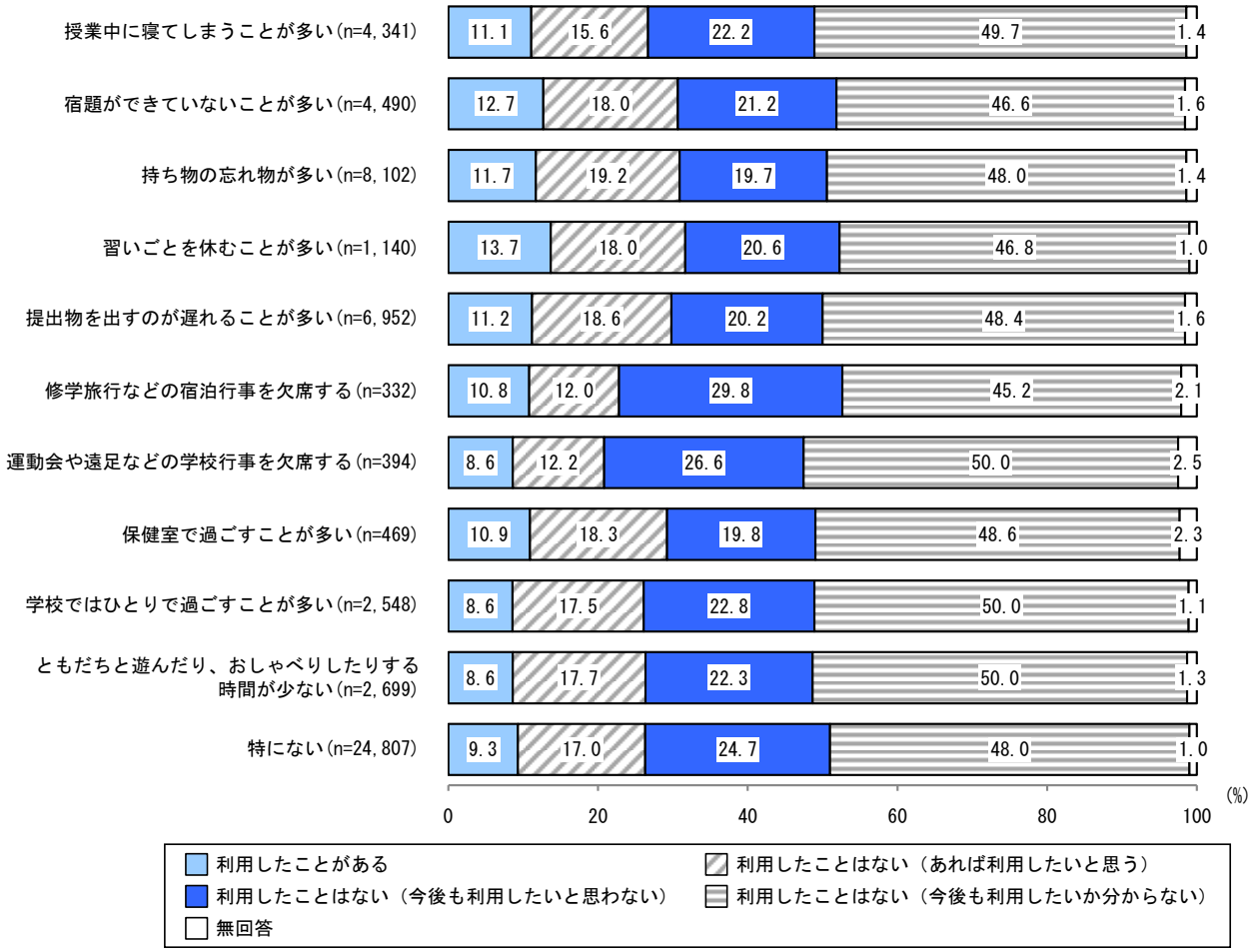


図 185. 学校や学校の行事等の状況別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所

学校や学校の行事等の状況別に平日の夜や休日を過ごすことができる場所を見ると、項目によっては母数が少ないため、一概には言えないが、「利用したことがある」と回答した人の割合は「特にない」が22.9%で最も低く、次いで「ともだちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」が23.2%となっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども票問 16×子ども票問 25(1)②）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

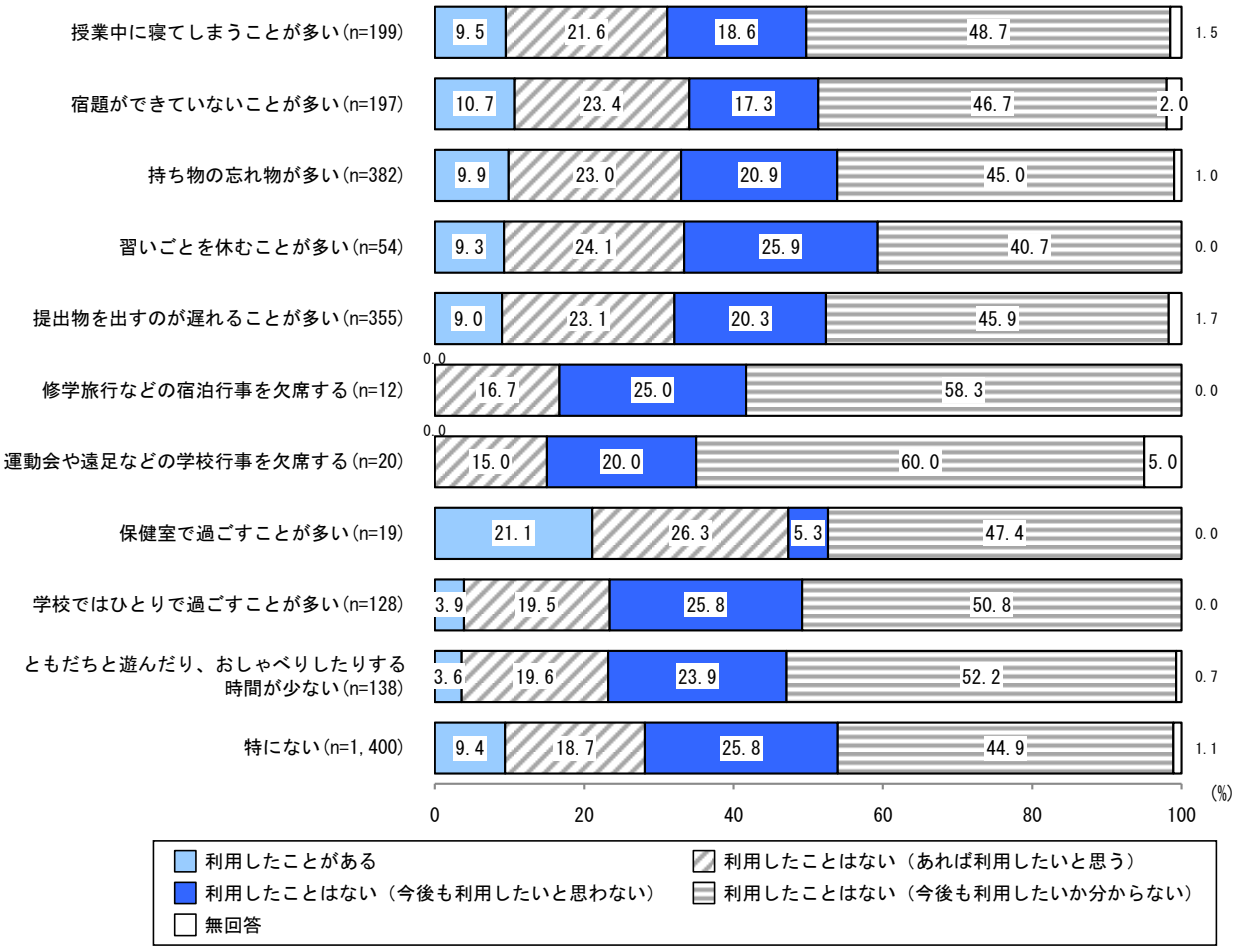
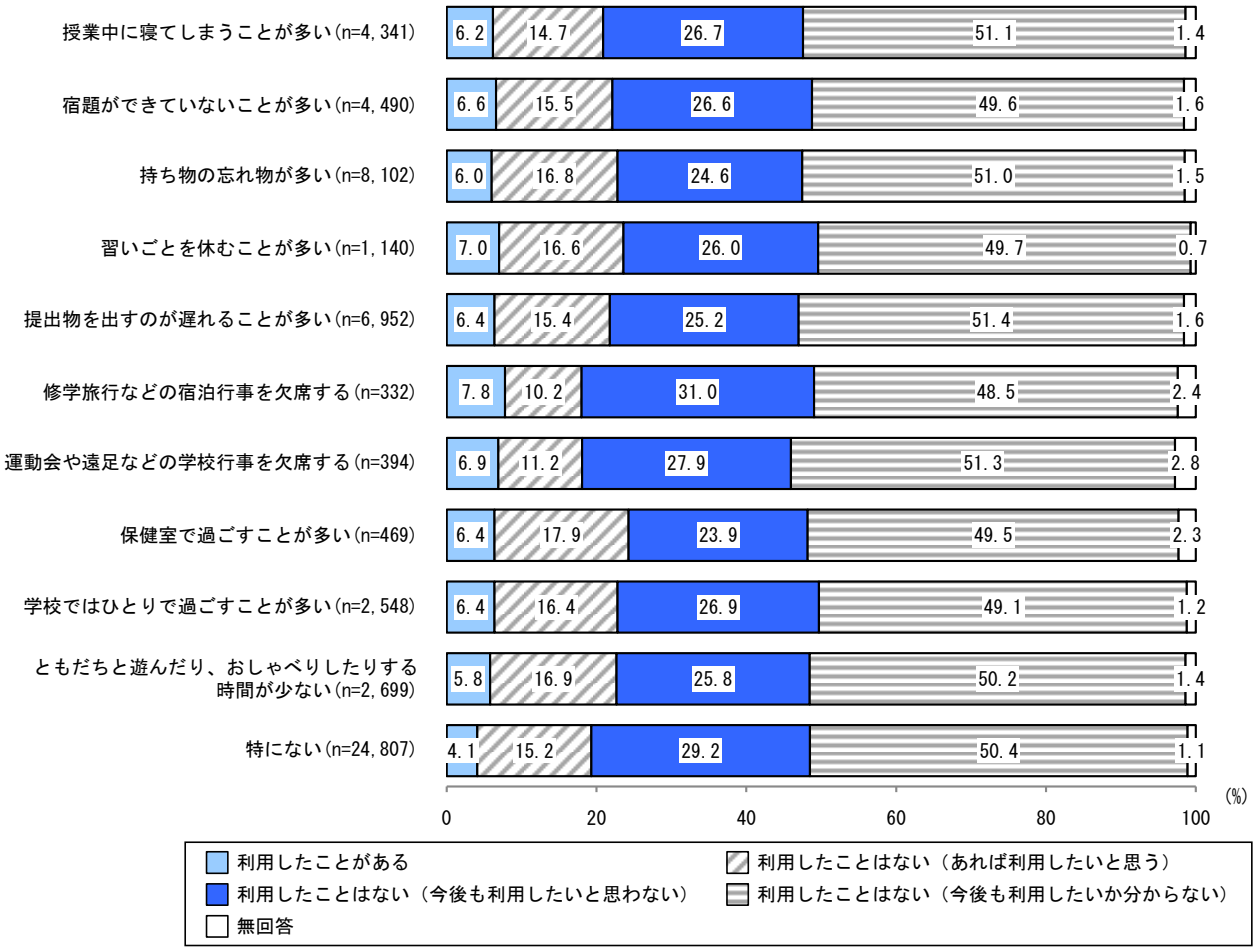


図 186. 学校や学校の行事等の状況別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所

学校や学校の行事等の状況別に昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を見ると、項目によっては母数が少ないため、一概には言えないが、「利用したことがある」と回答した人の割合は「保健室で過ごすことが多い」が21.1%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所
（子ども票問 16×子ども票問 25(1)③）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

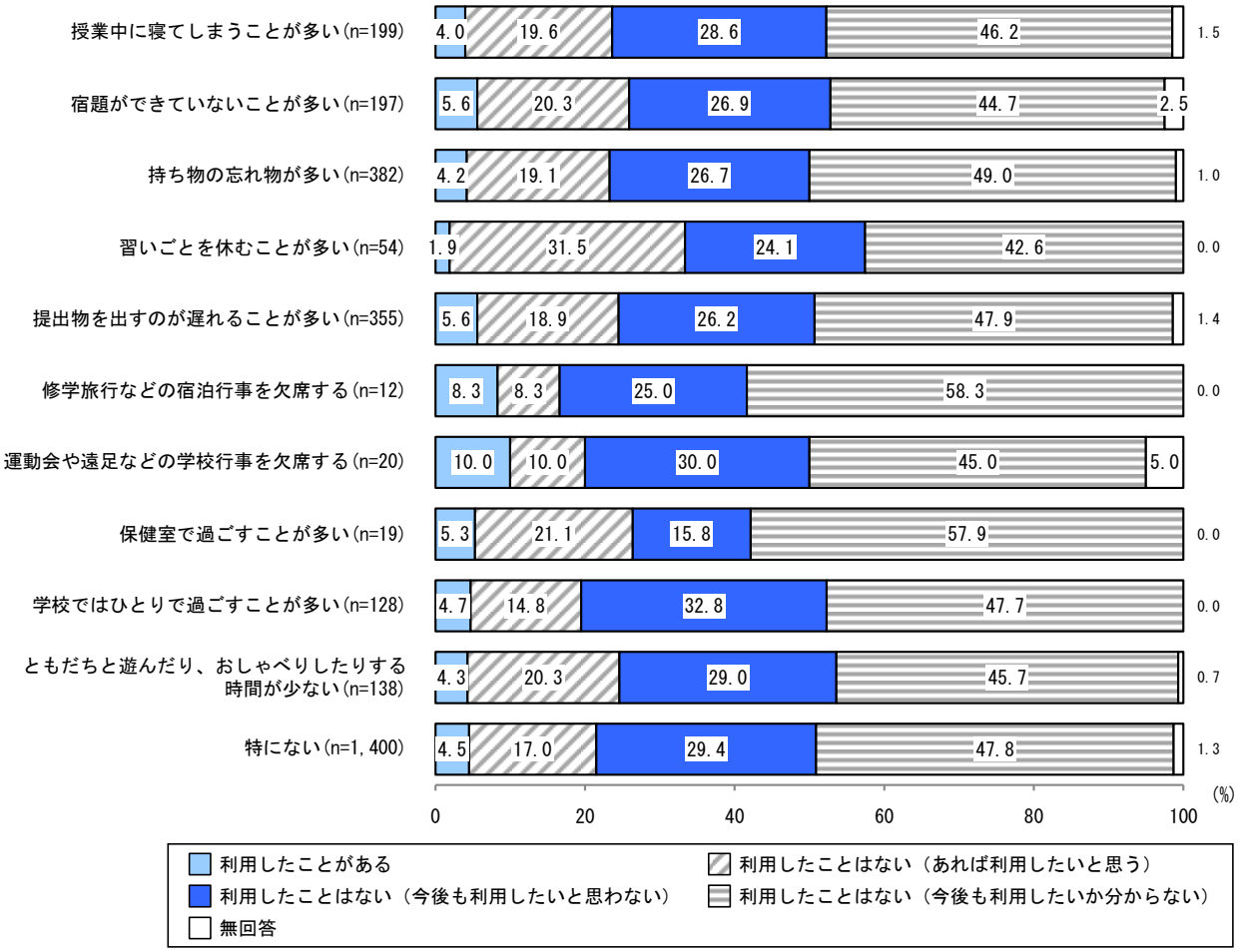
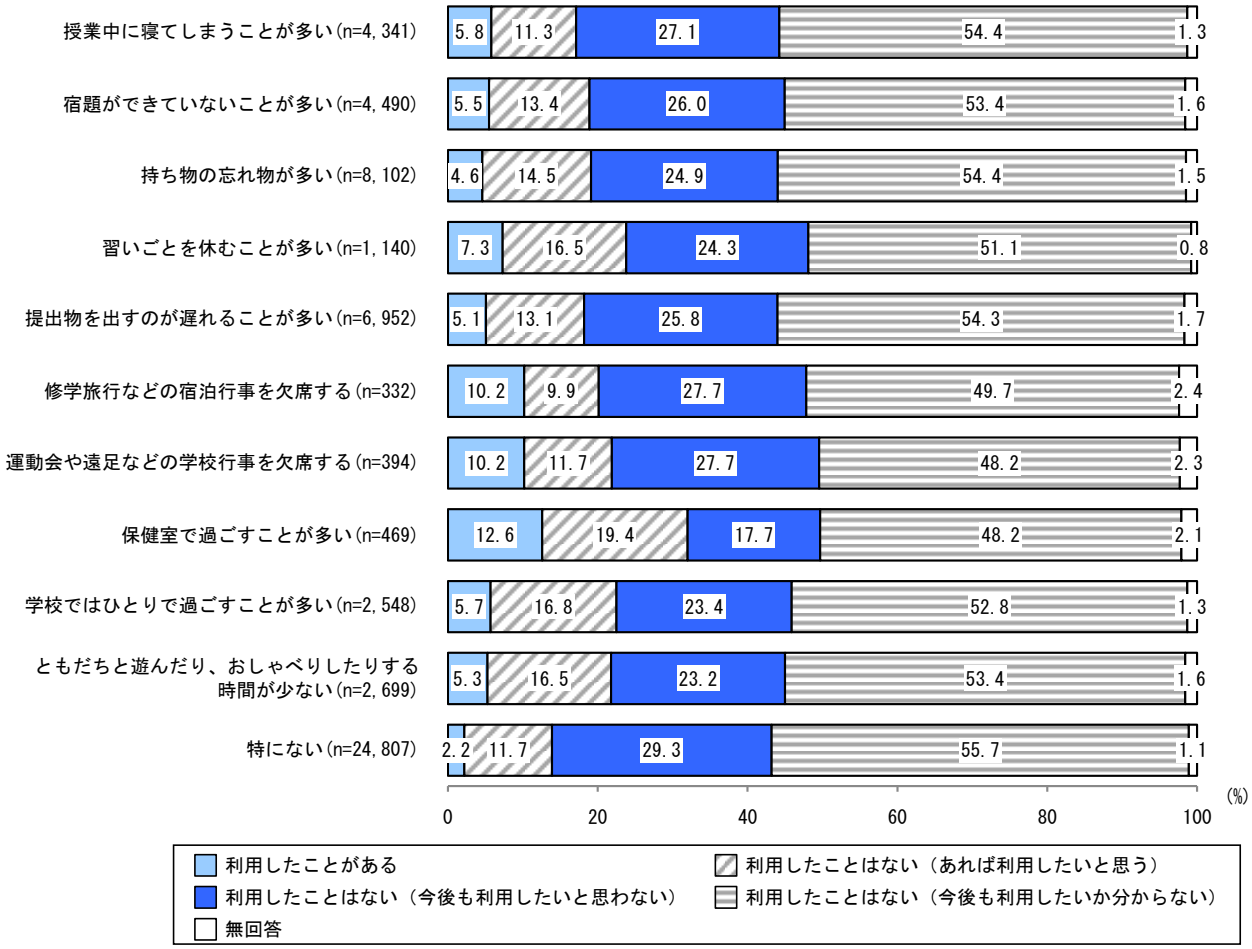


図 187. 学校や学校の行事等の状況別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所

学校や学校の行事等の状況別に勉強を無料か安い料金でみてくれる場所を見ると、項目によっては母数が少ないため、一概には言えないが、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」と回答した人の割合は「習いごとを休むことが多い」が31.5%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、何でも相談できる場所
（子ども票問 16×子ども票問 25(1)④）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

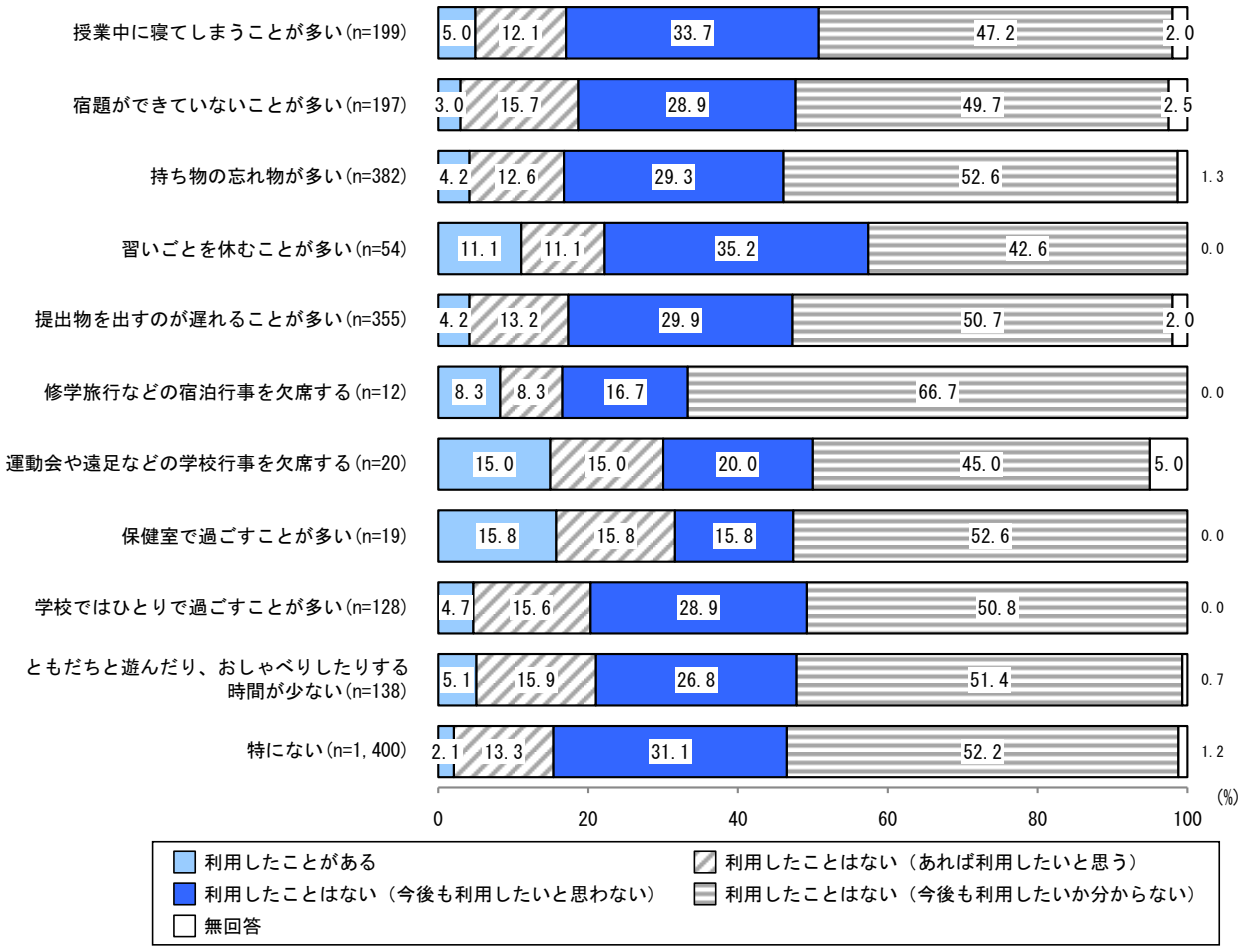
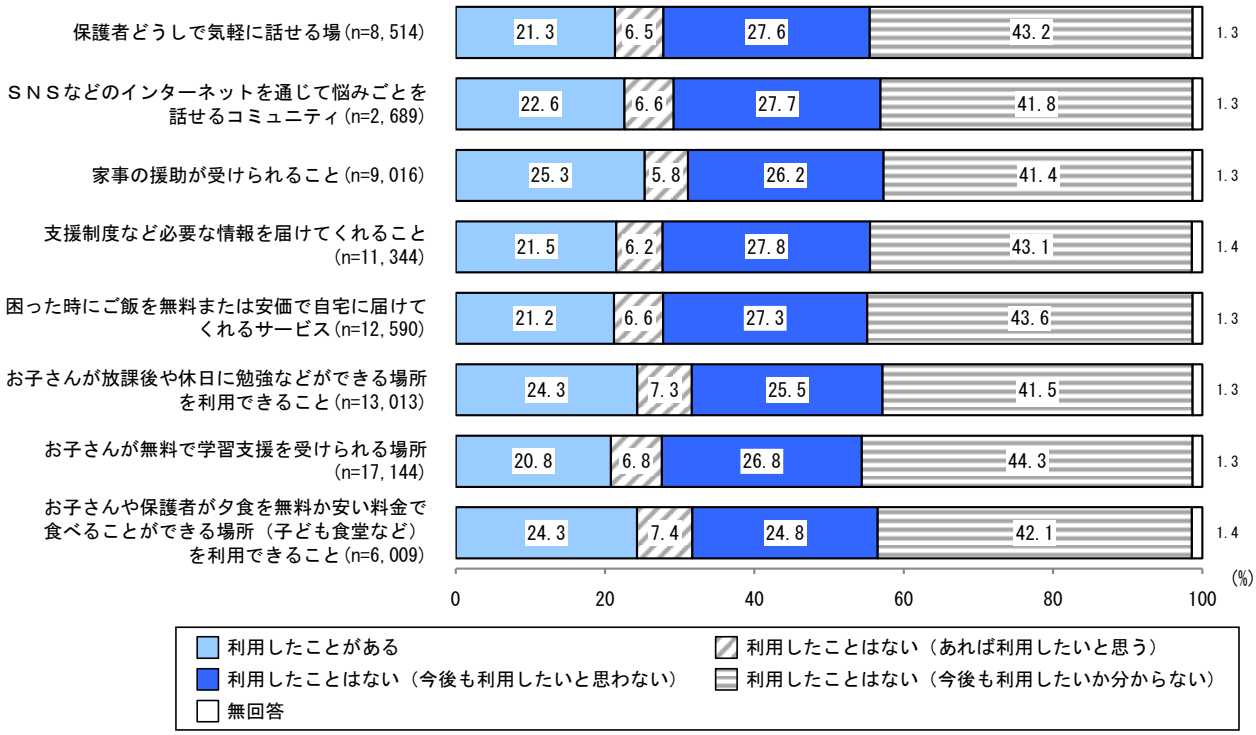


図 188. 学校や学校の行事等の状況別に見た、何でも相談できる場所

学校や学校の行事等の状況別に何でも相談できる場所を見ると、項目によっては母数が少ないため、一概には言えないが、「利用したことがある」と回答した人の割合は「保健室で過ごすことが多い」が15.8%で最も高く、次いで「運動会や遠足などの学校行事を欠席する」が15.0%となっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所
（保護者票問 20×子ども票問 25(1)①）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

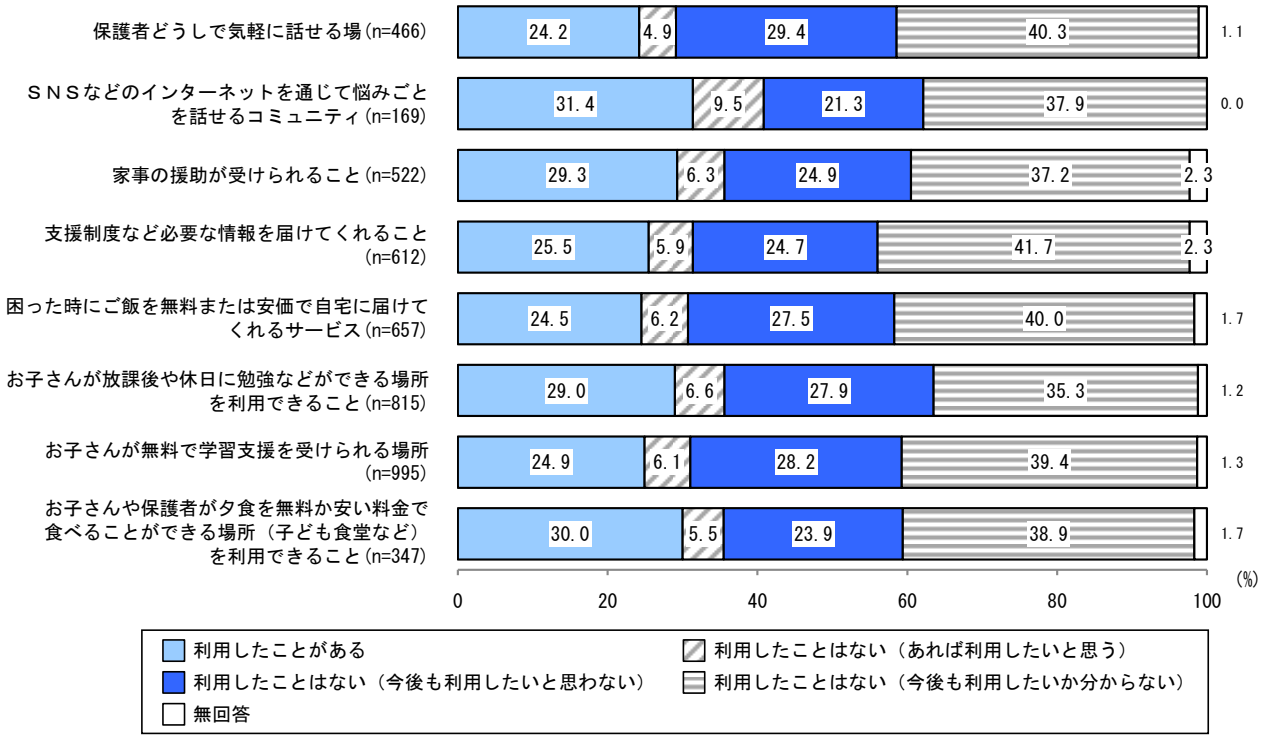
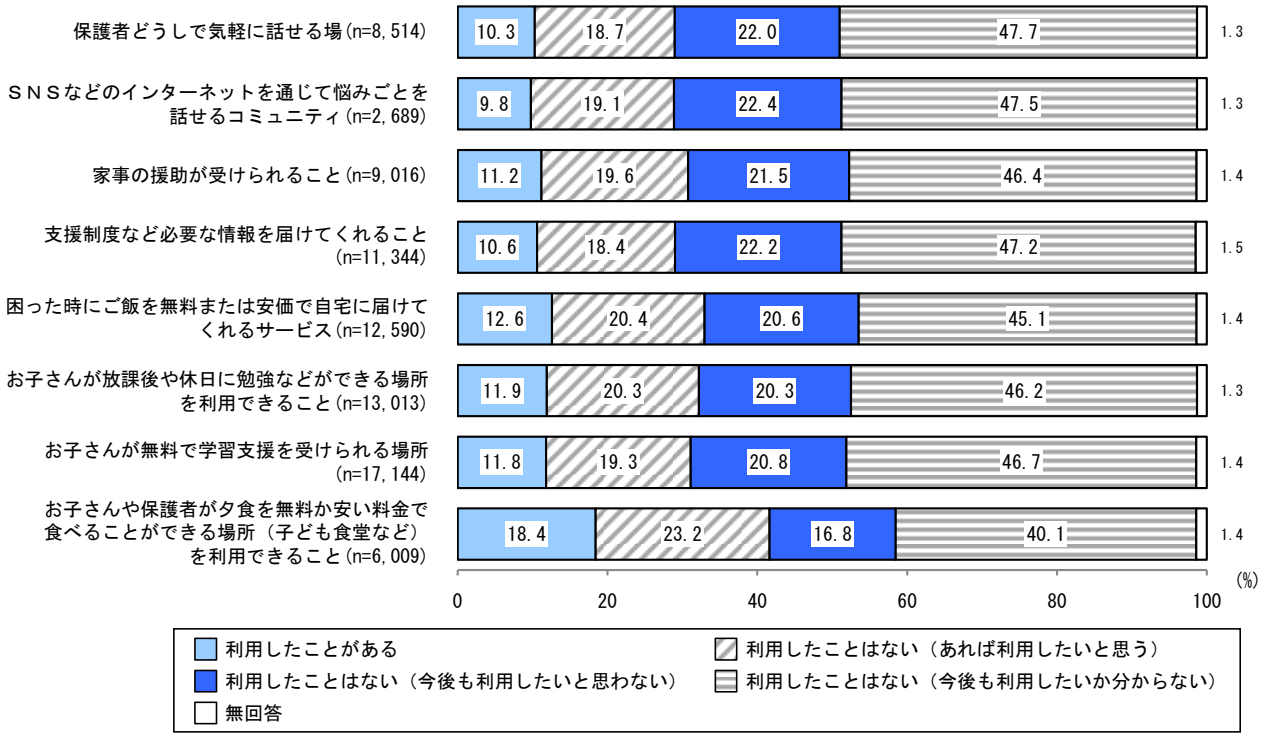


図 189. 身近にあるといいと思うこと別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所

身近にあるといいと思うこと別に平日の夜や休日を過ごすことができる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は「ＳＮＳなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ」が31.4%で最も高く、次いで「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」が30.0%となっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所（保護者票問 20×子ども票問 25(1)②）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

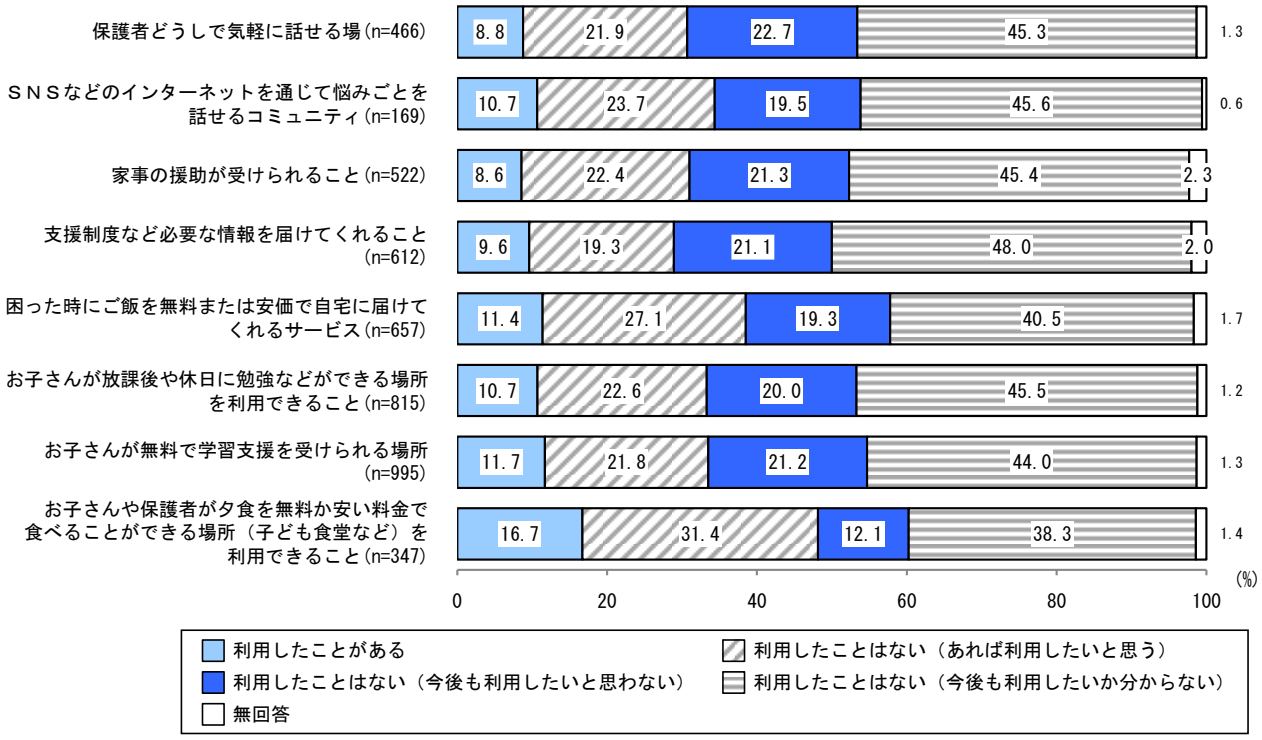
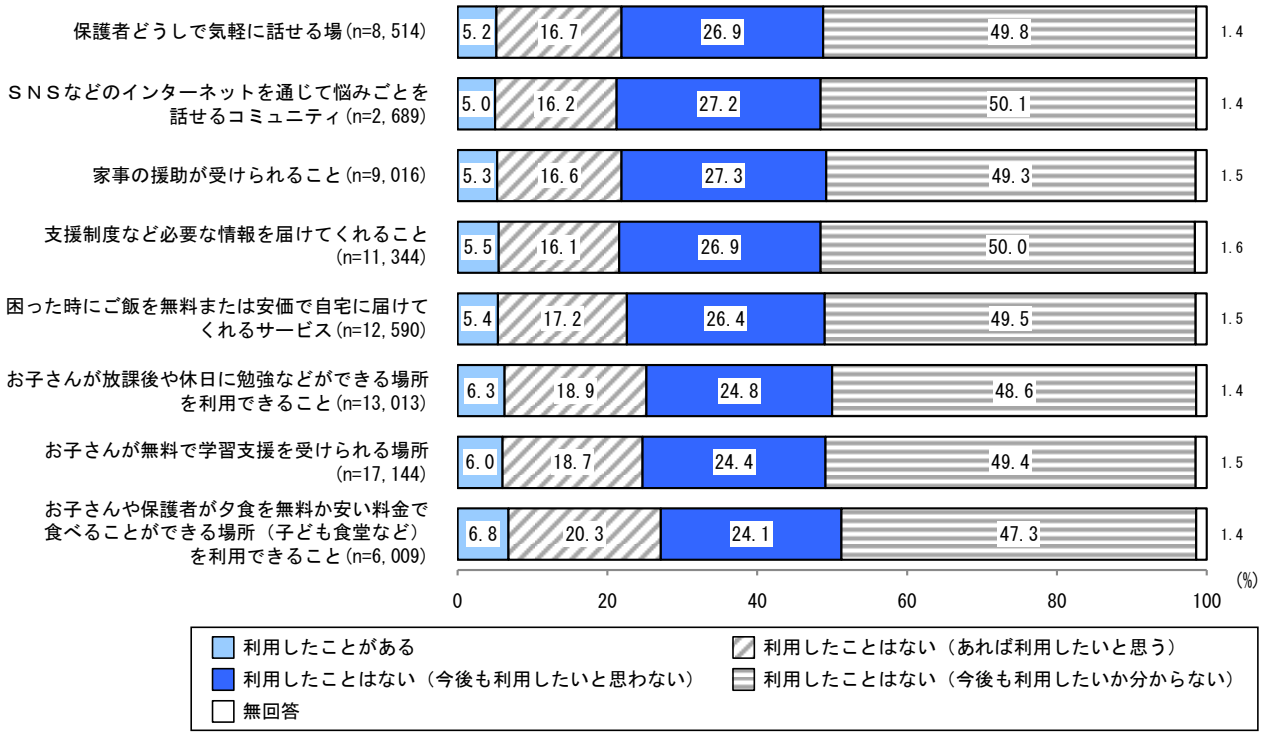


図 190. 身近にあるといいと思うこと別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所

身近にあるといいと思うこと別に昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」が16.7%で最も高く、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」も「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」が31.4%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所
（保護者票問 20×子ども票問 25(1)③）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

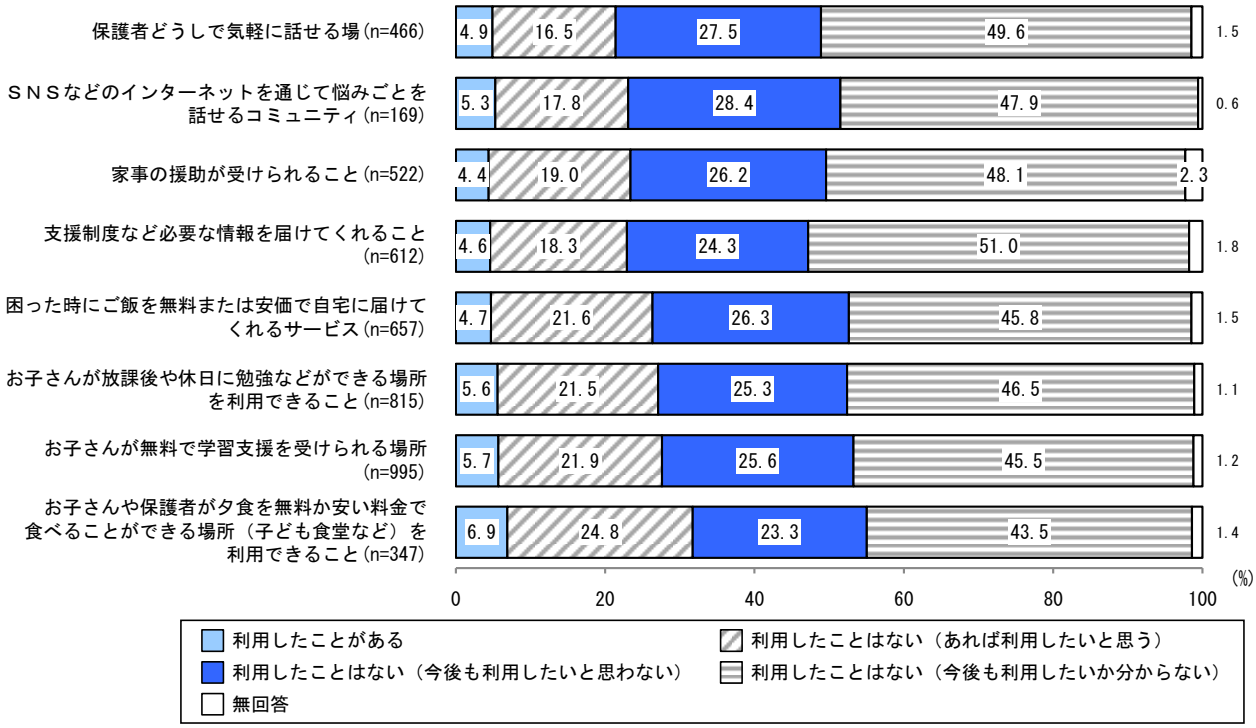
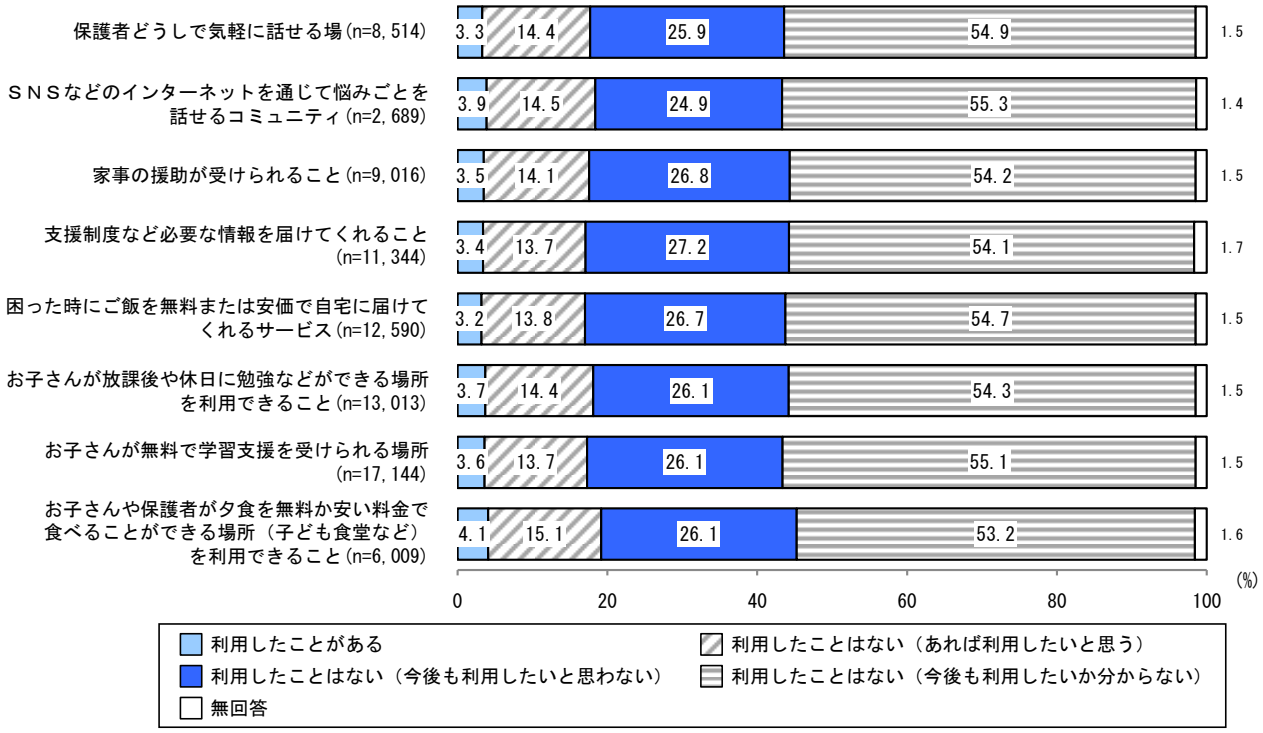


図 191. 身近にあるといいと思うこと別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所

身近にあるといいと思うこと別に勉強を無料か安い料金でみてくれる場所を見ると、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」が24.8%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、何でも相談できる場所
（保護者票問 20×子ども票問 25(1)④）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

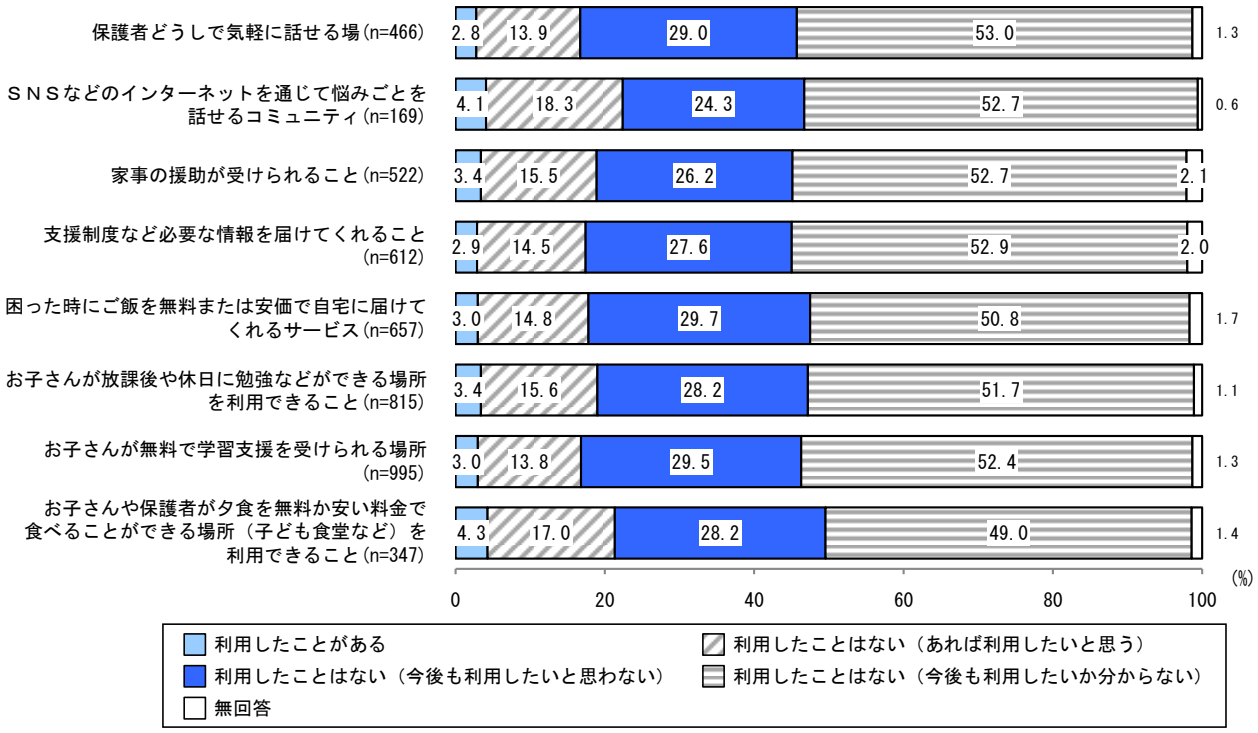
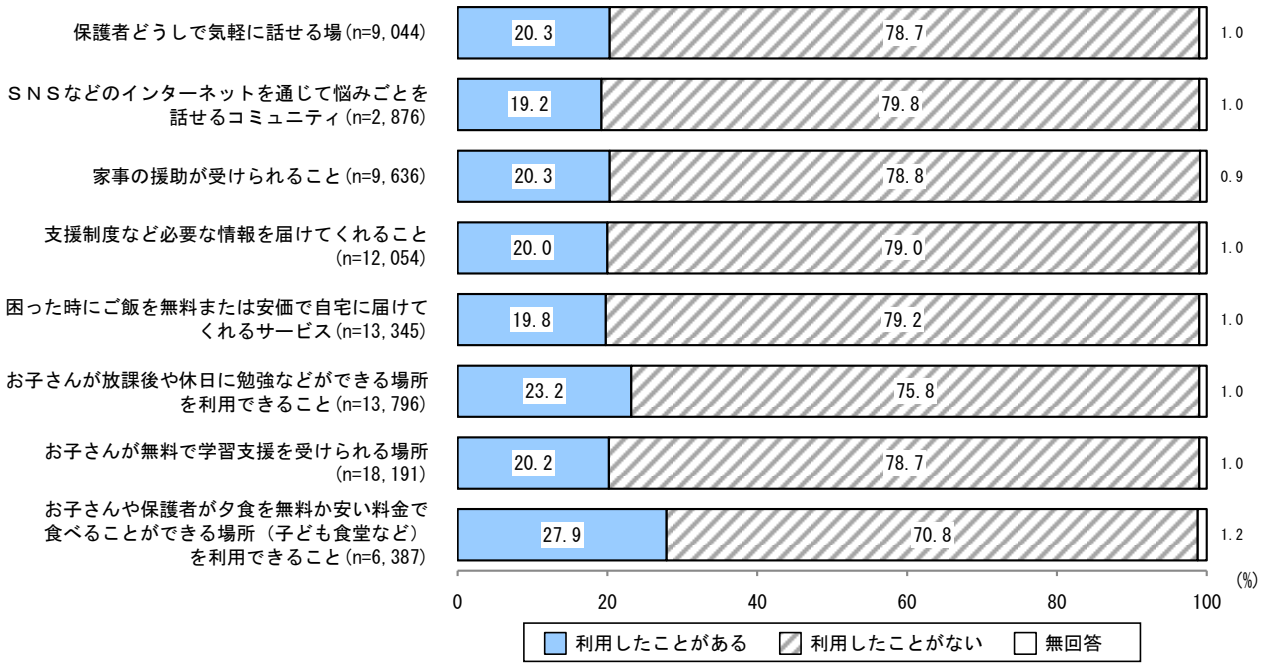


図 192. 身近にあるといいと思うこと別に見た、何でも相談できる場所

身近にあるといいと思うこと別に何でも相談できる場所を見ると、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」と回答した人の割合は、「ＳＮＳなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ」が18.3%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、子どもの居場所の利用有無
（保護者票問 20×保護者票問 16(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

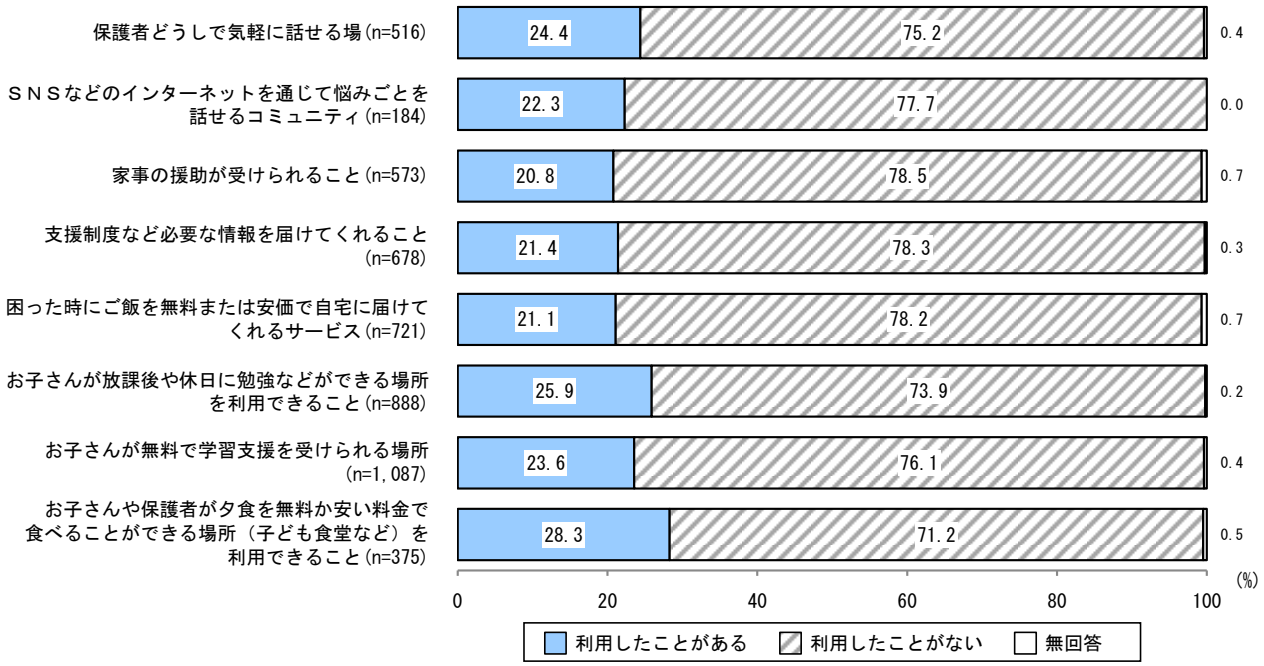
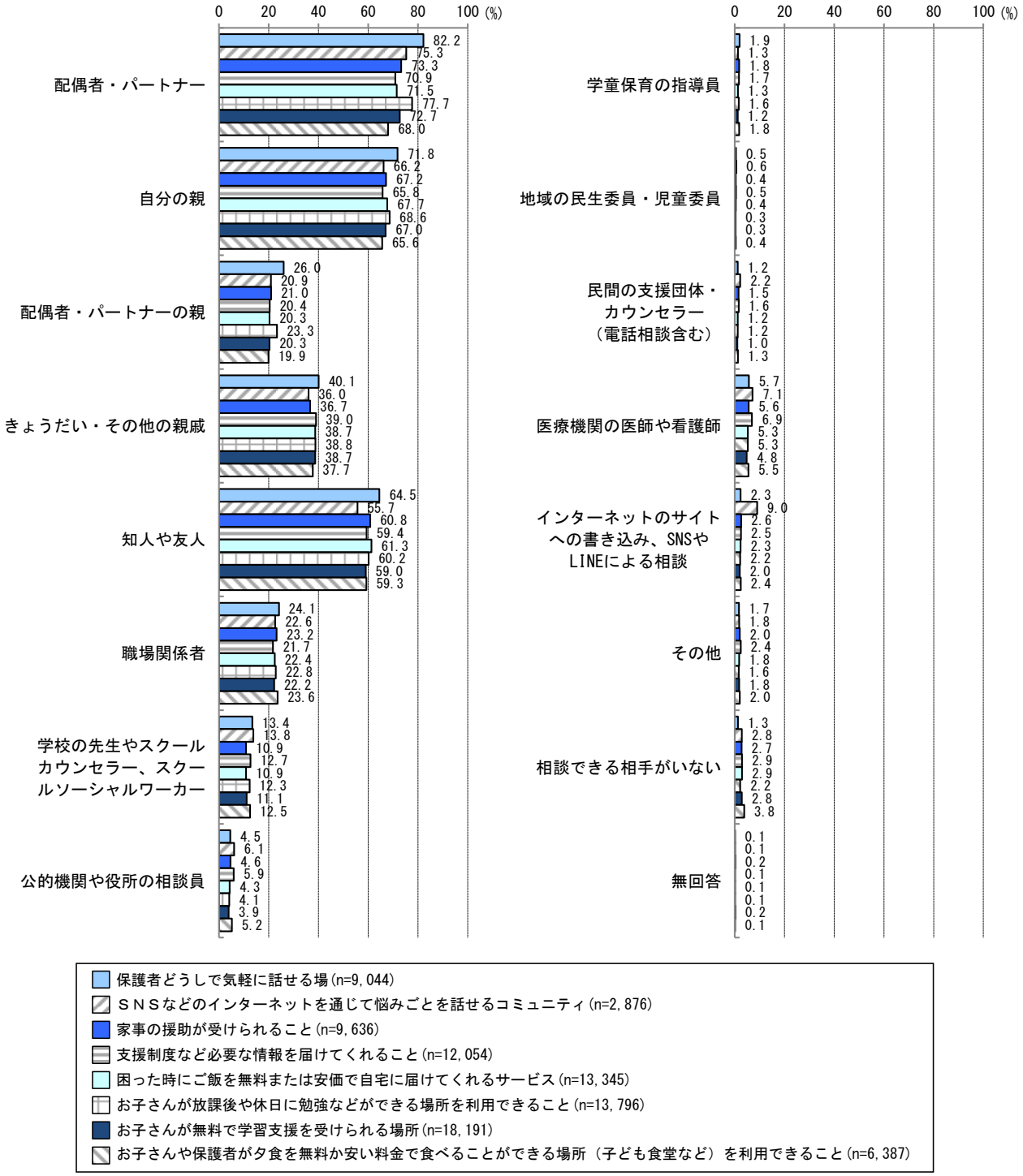


図 193. 身近にあるといいと思うこと別に見た、子どもの居場所の利用有無

身近にあるといいと思うこと別に子どもの居場所の利用有無を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」が28.3%で最も高く、次いで「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が25.9%となっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先（保護者票問 20×保護者票問 19）

＜大阪府内全体＞



＜大阪府25市町村＞

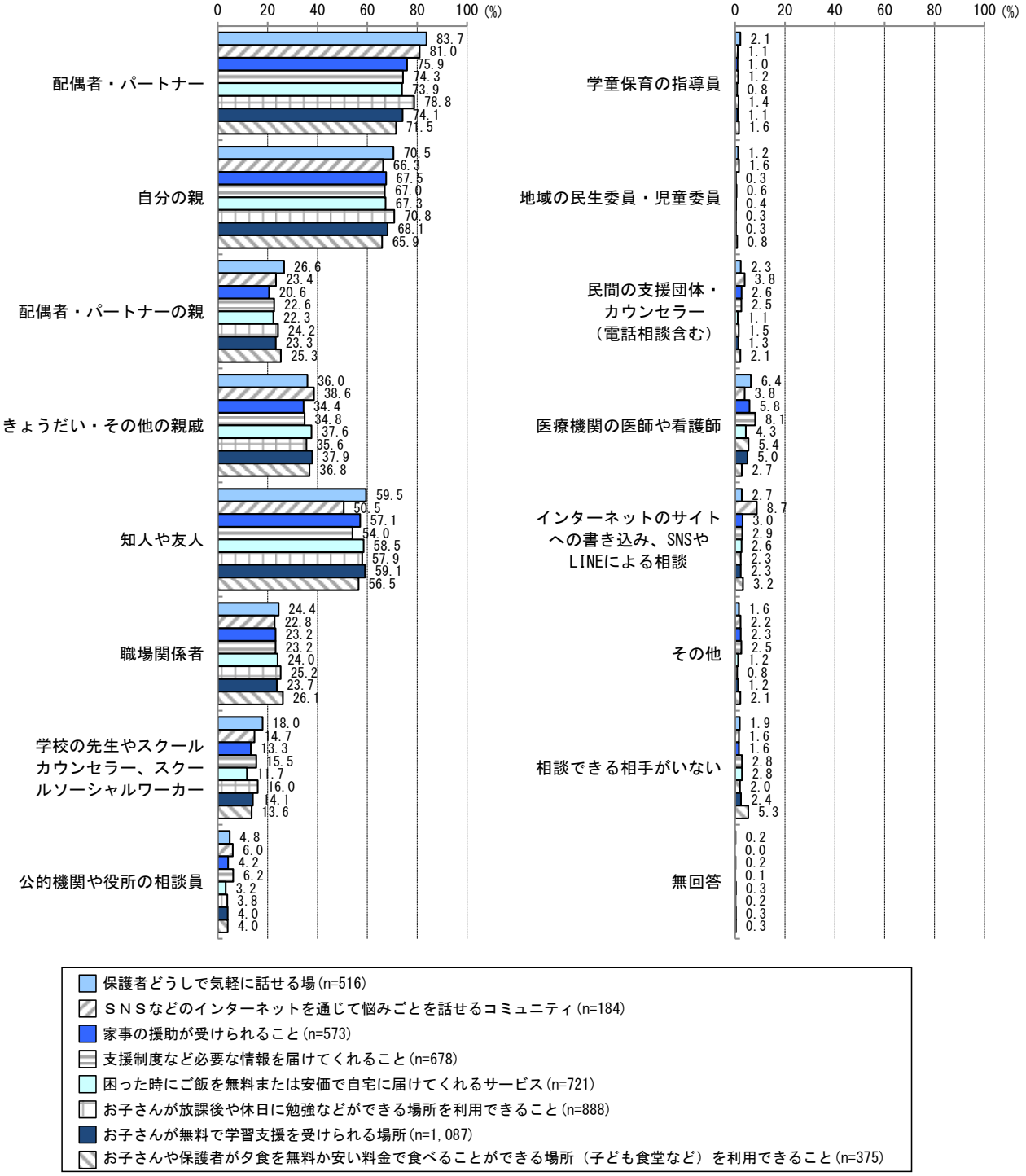


図 194. 身近にあるといいと思うこと別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

身近にあるといいと思うこと別に本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先を見ると、「配偶者・パートナー」と回答した人の割合は、「保護者どうしで気軽に話せる場」が83.7％で最も高く、次いで「ＳＮＳなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ」が81.0％となっている。

＜対人関係に関する考察＞

中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目した分析結果を以下にまとめる。子どもが放課後に過ごす場所では、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「塾」(34.2%対17.0%)と「習い事」(40.2%対22.5%)の利用率が約2倍高くなっている。子どもが放課後に一緒に過ごしている人では、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「おうちの人以外の大人」(27.4%対18.1%)、「クラブ活動・部活動の仲間」(35.9%対29.0%)、「学校以外のともだち」(10.2%対4.7%)と一緒に過ごす割合がいずれも約５ポイント高くなっている。これらは「生活での楽しいこと」および「悩んでいること」と関連している。中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「ともだちと一緒に過ごしているとき」(83.7%対77.5%)、「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」(60.5%対48.9%)、「塾や習いごとで過ごしているとき」(30.5%対18.8%)を「楽しいこと」として多くあげている。一方、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「学校や勉強のこと」(24.3%対17.4%)を「悩んでいること」として多くあげている。また、困窮度別に子どもの自己効力感をみると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群よりも高くなっている(平均値8.8対8.3)。一方、放課後ひとりでいることがある群は、そうでない群よりも自己効力感が低くなっている(平均値8.2対8.8)。これらの結果から、経済状況によって、子どもの教育的な活動へのアクセス、家族以外の社会的交流や人間関係を築く機会が制限されるだけでなく、子どもの自己効力感にも影響を及ぼす可能性があることが示唆された。

困窮度別に子どもの世話をしている人の有無をみると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、誰かの世話をしている割合が高くなっている(26.8%対13.9%)。また、子どもの世話している人の有無別に相談相手をみると、世話をしている子どもはそうでない子どもと比べて、「きょうだい」(21.5%対17.2%)、「学校以外のともだち」(10.2%対8.6%)、「学校の先生」(27.2%対25.5%)と相談する割合が高く、「平日の夜や休日を過ごすことができる場所」(26.1%対25.2%)、「昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所」(14.5%対8.5%)、「勉強を無料か安い料金でみてくれる場所」(9.1%対3.9%)、「何でも相談できる場所」(4.8%対2.4%) といった居場所を利用している割合が高くなっている。これらの結果から、経済的困難な家庭では、子どもが家族の世話を担っているケースが多く、家族の世話をしている子どもにとって、周りの支えが重要であり、社会的支援を必要としていることが示唆された。

一方、困窮度別に保護者の相談相手は、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「配偶者・パートナー」(84.6%対50.2%)と相談する割合が30ポイント以上も高くなっている。また、世帯構成別に保護者の相談相手は、父子世帯はふたり親世帯と比べ、「相談できる相手がいない」割合(14.0%対1.8%)は10ポイント以上高くなっている。これからの結果は、経済状況や世帯構成によって保護者の相談相手が異なり、とくに困難な経済状況にある世帯や特定の世帯構成の保護者が支えや相談相手の不足を経験していることが示された。

また、子どもの居場所の利用有無別に保護者の相談相手・相談先をみると、子どもが居場所を利用している家庭は、そうでない家庭と比べて、「職場関係者」(23.7%対20.7%)、「学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー」(15.7%対12.0%)、「公的機関や役所の相談員」(6.5%対3.0%)、「学童保育の指導員」(2.9%対0.7%)、「医療機関の医師や看護師」(8.0%対4.2%)と相談する割合が高くなっている。これらの結果から、子どもの居場所が様々な専門家や機関との連携を可能にしており、総合的なサポート体制として機能していると考えられる。

最後に、子どもが嫌なことや悩んでいるときに相談する相手については、「おうちのこと」に悩んでいる群は全体と比べ、「親」(42.6%対67.3%)に相談する割合が約25ポイント低く、大きな開きがある。同じく、「おうちのこと」に悩んでいる群は全体と比べ、「学校のともだち」(39.8%対

54.4%)に相談する割合が約15ポイント低くなっている。これらの結果から、親や友達のような身近な人にも家庭のことで悩んでいることを相談していない可能性がうかがえる。

※参照データについては一部資料編に掲載

Ⅲ　総合考察

本報告書における「子どもの貧困」概念の捉え方であるが、基本的に、2016年度の調査で扱った貧困概念に基づいている。簡単に述べると、子どもの貧困を相対的貧困で捉えた上で、①所得や資産などの経済的資本、②健康や教育などのヒューマン・キャピタル、③つながりやネットワークなどのソーシャル・キャピタル、の3つのキャピタルの欠如を枠組みとしている。この数年で、「子どもの貧困」「相対的貧困」概念も十分に知られるようになったことから、詳細な説明はここでは割愛するが、山野則子編著（2019）を参照されたい。

次に、総合考察においては、大阪府が実施した数値で検討を行う（大阪府は府が直接実施した25市町村分であり、前回比較は2016年度実施の30市町村分で行う）。各ページにはグラフコメントやクロスの分析を考察したセクションコメント（経済状況、雇用、健康、家庭状況制度、家庭生活と学習、対人関係）を記載している。総合考察において、同じことを書くのではなく、総合考察として、これらセクションコメントを踏まえ、2016年度と比較し変化のあるものや新規項目など、まさに考察すべきものを中心に記載している（一部、要望により同傾向でも記載あり）。単純集計はセクションコメントに出てこないので、可能な限り数字を入れて説明する。そして、全体はこれらの結果から政策の評価を行うものである。

１）大阪府共同調査の意義

本調査は、2016年度の前回調査（以後、前回調査とする）と同様に、大阪府が府内の自治体に共同実施を呼びかけ、大阪市を含む府内18の自治体が参加し、それぞれの自治体区域内の調査を実施。大阪府が共同実施自治体以外の25自治体の区域内を調査することで、府内43全ての自治体を網羅する調査となっている。共同実施による調査は、その回答者数の多さはもとより、都道府県レベルで域内すべての自治体を対象としている点においても、意義がある。その上で、大阪府内全自治体の結果は、傾向として大阪府内25市町村の調査結果を裏付けるものであった。これは無作為抽出であっても全体と比較してみることで、傾向の把握が可能であり、信頼性があることを示すものとなった。

本報告では、すべての項目に大阪府内全自治体のグラフを入れることで、結果をわかりやすくしている。本調査は、子どもの貧困対策の評価につながる基礎調査である。

２）単純集計

＜経済面・家庭状況制度面＞

2016年度と比較して、大阪府の可処分所得の分布はほぼ前回と同じような形になっており、世帯構成や人数などに関しても大きな差は見られない。

大阪府内25市町村でも、前回調査では25.1％の世帯が赤字であったが、今回はやや低くなり、20.9％であった。この数値は、前回と同様に、中2の世帯が小5の世帯よりも高くなっている。前回と同傾向であったことから、前回明らかにした、クラブや塾などが小学生よりも中学生において家計を圧迫していることに十分対応できていないことが考えられる。また、子どものための貯蓄をしたいができない状態が、前回35.6％が今回29.4％であった。持ち家率は前回84.5％だったのが、今回81.8％とやや下がった結果である。赤字・貯蓄ともにおおむね5ポイントくらいよくなった結果の中で、持ち家の傾向をどう見るのかは、コロナも含め災害が多発することで持ち家への価値観が変化してきたとも考えられる。

経済的な理由で経験できなかったこと（はく奪項目）について、生活における食費の切りつめやレジャーを控えるなどの項目は、2016年度に比較して該当率が下がっている。それに呼応して、どれにもあてはまらないという回答は前回26.2%、今回32.4%と高くなっている。家計の赤字の数も減り、全体を見たときに、2016年度から少しではあるが、好転しているようにとらえられる。

ただし、経済的理由による子どもに関する経験（子どものはく奪）に関しては、「子どもを医療機関に受診させることができなかった」が前回1.9%、今回0.7%と半減しているが、ほかは残念ながら大きな好転はみられない(「子どものための本や絵本が買えなかった」が前回4.3%、今回4.4%、「子どもを学校のクラブ活動に参加させられなかった」前回0.4%、今回0.5%、「子どもの誕生日を祝えなかった」前回1.5%、今回1.3%、「子どもを習い事に通わすことができなかった」前回11.3%、今回11.6%、「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」前回19.5%、今回19.1%など)。この結果は、医療面での子どものいる世帯での施策が各自治体において広く実施され、その成果が出たものと思われる。

また、子どもが持っているものや使えるものを見ると、本は前回78.8%、今回75.3%、子ども部屋が前回78.5%、今回69.6%、自転車が前回93.7%、今回89.3%と下がっているものが多い中、極端に上がったのは、スマートフォンやタブレット（前回55.8%、今回77.6%）であり、これらは学校からの配布の成果であろう。

以上から、家計の状況は少し改善がみられ、子どもの医療費補助などの対策が徹底し始め、医療を受けられない究極な状況に置かれるというはく奪状態が減少するなど効果的であったが、基本的には家計の改善を子どもに回す余裕には至っていないといえる。経済的理由による子どもにできなかった経験（上記に挙げたようなこと）がどの家庭でも経験できるような方策が非常に重要である。

2016年度に養育費の取り決めについては設問を入れていなかったため、大阪府での正確な比較はできないが、今回、養育費の取り決めをして受け取っているのは約3割であった。反面、養育費の取り決めをしておらず受け取っていないのは4割を超えていた。2016年度全国ひとり親世帯等調査（厚生労働省2017）では、ひとり親家庭のうち養育費についての取り決めをしている割合が母子世帯で62.9%、父子世帯で20.8%、ひとり親家庭で養育費を受け取っていない子どもの割合が、母子世帯69.8%、父子世帯90.2%という値であり、今回の結果は、養育費関連の施策の成果はあったのではないかと推測できる。

＜雇用・健康＞

持ち家など居住形態は2016年度と大きな変化はない。学歴については、母親の学歴を取り上げると、高校卒業が前回26.8%、今回19.1%、約８ポイント減少、大学卒業が前回19.5%、今回30.0%、約10ポイント上昇した。雇用状況では、何らかの仕事をしている母親は、前回74.6%、今回84.7%と10ポイント増加している。そのなかで、正規職員が前回18.0%、今回26.6%で約8ポイント増えている。これらは、世の中の人手不足と相まって働く人が増加したことにより、可処分所得も増加したことと関連するであろう。社会の認識の変化や政策による変化があったのではないかと考えられる。子どもの貧困の世論が広まり、各所に出された政策の効果と考えられよう。

支援制度の利用状況は、就学援助は前回13.3%、今回10.9%、児童扶養手当が前回8.9%、今回11.9%、生活保護が前回1.1%、今回1.0%であった。就学援助制度について、「利用したことがない」との回答が前回58.2%、今回80.2%であり、かなり増加し、その理由を今回のみ聞い

ているが、「自身が該当しない」が92.2%でほぼ皆がそう思っていることがわかった。この数値は可処分所得の結果から考えてももっと受けることができる世帯があると思われるが、受けていない。前回も「あなたには受ける権利がある」メッセージを必要な人にどう届けるのか大きな課題であったが、改善に至っていない。各制度を正しく知らせ、他人ごとにせず、そこでのスティグマを無くし受けやすくする工夫がさらに必要である。

＜健康・家庭生活・学習・対人関係＞

まず食事から確認する。「朝食を食べない」（週に１回も食べていない）が前回1.3%、今回2.7%、約1ポイントではあるが増えている。食べない理由に「用意されていないから」が、前回4.8%、今回4.9%、「食べる習慣がない」が前回5.8%、今回4.5%であった。小学生の78名が毎日は食べていない。このことは、2016年度も話題になったが、改善すべき喫緊の課題である。また、家族の人と食事をしていない子どもは、「ほとんどない」、「まったくない」を合計して、朝食では、小学5年生の子どもが207名いること、夕食では小学5年生で12名の子どもがおうちの人と夕食を食べていない。これらは2016年度の１回目に警鐘をならすべきこととしてとらえられていたが、より重視すべきである。

おうちの人と関わる設問は、2016年度と傾向はほぼ変わらなかった。放課後過ごす場所は、「友だちの家」が前回24.8%、今回19.1%、「学校（クラブ活動など）」が前回39.6%、今回33.9%と減っており、コロナの影響による社会的交流が減ったことからの可能性が考えられる。友人との関係性が薄れることは、孤立や孤独へ向かう懸念も生じる。

勉強に関しては、今回調査から「授業がわからなくなった時期」小学生なら3,4年生（45.9%）、中学生なら1年生（51.8%）でつまずいていることがわかった。相談相手では、誰にも相談できない、相談したくないと感じている子どもは、前回12.9%、今回は7.8%と2016年度よりも減っている。前回は身体や気持ちで気になることを聞き、今回は身体の状態で気になること、「この1週間の気持ちの状況」で気になることを聞いているため単純に比較はできないが、「とくに気になるところはない」が前回28.9%、今回39.8%（体調）、「やる気が起きない」において「そんなことはない」が32.1%であった。

悩みについては、2016年度と数値も傾向も変わらない。最も多いのが、「学校や勉強のこと」ついで「進学・進路のこと」「自分のこと（外見や体型のこと）」であった。

制度やサービスでいうと、子どもの居場所において、「平日の夜や休日過ごす居場所」の利用では小5で27.6%、中2で22.2%の子どもが利用したことがあり、「食事提供の居場所」は小5で9.6%、中2で8.9%、「学習支援の居場所」は小5で4.5%、中2で5.1%、「何でも相談できる場所」は、小5で2.6%、中2で3.1%の子どもが利用したことがあった。これらと併せて、居場所の効果として「友だちの増加」が小学生で40.9%、中学生で34.3%、「生活の中に楽しみなことが増えた」は小5が18.7%、中2が8.6%、「気軽に話せる大人が増えた」は小5で14.4%、中2で11.5%という結果であった。このことは今後の展開に大きな意味をなすであろう。ただし、中学2年生は、友達が増えたと回答する反面、同じくらい「特に変化なし」（32.2%）と回答している。そのため、早期に居場所に繋ぎ、居場所が誰にとっても当たり前の１つの選択肢にする必要がある。「平日の夜や休日過ごせる居場所」以外は、利用頻度は「食事提供の居場所」約10%、「学習支援の居場所」約5%、「何でも相談できる場所」は2.8%と少なくなり、将来の利用に関する積極的な利用希望も「食事提供の居場所」が小中合わせて19.7%、「学習支援の居場所」が小中合わせて17.5%になる。子どもたちの希望があるととらえられ、「放課後過ごす場所」において、「友だちの家」や「学校（クラブ活動など）」が減少していることと併せて、子どもたちに多くの選択肢を提供できる方がよいと考えられること、自分には関係ないと考える傾向があるかも

しれないこと、などから居場所の充実と毎日通う学校で子どもや親が情報を得られるようなより自然な提供が望まれる。

最後に、ヤングケアラーの項目である「家族に世話をしている人」がいるかどうかについては、厚生労働省の研究事業として実施された調査結果と比べると、小学生6.5%(日本総研2022)、中学生5.7%（MURC2021）という値よりはるかに高い、小5が20.1%、中2が11.9%であり、内容もきょうだいの世話が最も多く、小5は73.9%（小学6年生28.5%：日本総研2022)、中2が73.1%（中学生79.8%：MURC2021）である。小学生の世話が国に比べてきょうだいの世話の割合が高い。「家事」は、本調査では複数の質問にまたがっていることや複数回答可にしていることから単純に比較できないが、先述した厚生労働省の研究事業では、小6の世話の内容を家事と答えたのが、35.2%（日本総研2022）できょうだいの世話より高いが、本調査では逆であった。時間をみると1時間未満が最も多く、定義のあいまいさが子どもに答えにくくさせている可能性もあるであろう。今後、イギリスのように定義を明確にしていくことも検討を行う必要がある。

今回の調査で保護者が身近にあるといいと思うことは、上位３つが「無料で学習支援が受けられる場所」44.3%、「放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」36.2%、「困ったときにご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」29.4%であった。学習に関して最も気にしていることがわかり、これらのサービスを利用している率の低さから、身近に届けられるような工夫が必要である。

３）クロス集計

各セクションコメントでは、2023年度の項目のみで確認してきたが、ここでは可能な限り2016年度と比較する。まず経済面では、できなかった経験、つまりはく奪指標として、2016年度も検討してきた項目でまず確認する。

経済面から確認する。「家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある」「電話（固定・携帯）など通信料の支払いが滞ったことがある」「国民年金の支払いが滞ったことがある」などの項目では2016年度よりも減少、特に困窮度Ⅰ群においては半減に近い減少がみられる。ただし「生活の見通しがたたなくて不安になったことがある」の減少はそこまで大きくなく、将来への不安感の減少にまで至っていない。経済的な大人のはく奪に比べ、子どものはく奪に関して、「お子さんの進路を変更した」、「お子さんを習い事に通わすことができなかった」、「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」など2016年度と比較して増加している。これは、コロナ禍となったこともあり、経済的リスクのしわ寄せが子どもに向かったと考えられる。しかし、これは絶対に避けなければならないことであり、警鐘を鳴らす必要性とともに対策を講ずべきである。また家計を住居形態別にみると、「府営・市営の住宅」において、家計が赤字の世帯の割合が約半数（前回54.1%、今回47.3%)、子どものために「貯蓄したいが、できていない」割合が約7割（前回70.5%、今回76.4%）と他と比較して家計の厳しさが示されたと言える。

支援制度に関しては、まず就学援助制度は、申請すれば利用できるはずである困窮度Ⅰ群であっても利用したことがない人が、2016年度20.3%あり、当時これを減らすことを第一目的に考えたほどであったが、2023年度最も厳しい困窮度Ⅰ群において43.3%と増加している。現在利用している人をとってみても、2016年度60.1%だったところ2023年度は47.5%と減少している。児童扶養手当は困窮度Ⅰ群で利用したことがない人が、2016年度13.4%、2023年度12.9%とさほど変わらない。また、「生活保護制度」について、困窮度Ⅰ群において「利用している」が2016年度4.9%から2023年度5.6%とやや高くなったが、やはり利用は少ない。

以上、これら設問の文言（例「受けたことがある」→「利用したことがある」など）の違いは

あるものの、困窮度Ⅰ群にとって、つまり経済的に厳しい家庭にとって、制度利用は決して進んでおらず、さらに厳しい状況となったとも推察できる。

子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況は、本調査において全体で6.4%、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金は1.2%である。全国レベルのデータを見ると、2020年コロナ発生後の10月の調査（厚生労働科学特別研究）において、収入200万未満の世帯で35.6%（山野研究室2021）である。これらの数値を直接比較することはできないが、いずれにおいても割合の低さから、2016年度以降子どもの貧困が周知されるようになり、コロナ禍となって、さらに支援制度の広がりや周知が今まで以上になされたが、大阪においてもその活用が広がり切れなかったと言わざるを得ない。これら最も厳しい世帯における利用が減少した要因を探る必要があろう。

10代で親になった世帯の厳しさは2016年度と同様であり、たとえば母親の最終学歴について初めて親となった年齢別では、中卒（「中学校卒業」および「高等学校中途退学」）が半数近く、他の年齢群に比べて高い割合を示している。また、就労状況において正規社員の割合が、他の年齢群と比べて低くなっている。出産などによって学業を中断せざるを得なかった10代への教育支援や就業支援もさることながら、そもそもの予防的支援として、自分を大切にすることや将来を見すえるような教育的支援が必要である。例えば、小学生から高校生まで、性教育含む生きる教育（西澤・西岡ほか2022）の積極的な導入を進めるべきである。またスウェーデンで行われる、実際の社会問題と向き合い、制度を知り選択できる力を養う社会科授業の実施など、思い切った根本的な教育改革が必要である。

雇用に関しては、質問形態が違うため安易に2016年度と比較できないが、非正規雇用の方が、困窮度が増すことや、最終学歴が低いほど困窮度Ⅰ群に占める割合が高くなる傾向は2016年度と同じである。世帯構成と就労状況の関係を見ると、ふたり親世帯と比べて、母子世帯では非正規雇用の割合が前回29.0%、今回33.0%とやや高くなっており、母子世帯へのさらなる重点支援を検討すべきである。

健康に関しても傾向は、2016年度と2023年度はほぼ変わらない。つまり困窮度が増すほど身体面、精神面不調が高くなる。セクションコメントで述べてきたように、毎日の規則正しい朝食・昼食摂取が、保護者と子どもがよりよい関係となって、子どもの自己効力感を高める可能性があり、自己肯定感や将来の夢や目標があるほど、日常生活の中で元気に過ごしているという傾向があることから、基本的な生活習慣を維持できるような取り組み、将来の夢や目標が持てるような取り組みの工夫が必要である。

家庭生活や学習に関する傾向も2016年度の調査と変わらない。経済状況が保護者と子どもの間のコミュニケーションの深さや子どもの生活リズムに影響を及ぼしうると考えられる。遅刻頻度の多さは保護者と子どものコミュニケーション不足を暗示しうる。経済的に困難な世帯の子どもは、通学が難しくなっているほか、学習習慣や家庭内での文化活動の習慣がなく、結果的に学習理解が不十分となっている可能性が示された。また、子ども自身も保護者も大学以上の高いレベルの教育を望まなくなっており、これは経済的事情と学習理解の低さのいずれもが要因となっている可能性がある。子どもの将来に関して、困窮度Ⅰ群と中央値以上群の差は2016年度から変わっていない。つまり、経済的に困難な世帯の子どもは、将来への希望を持ちづらい。

経済状況が生活習慣や学習習慣・読書習慣の形成に影響が出ている可能性が示唆された。また、生活習慣が身についていないと遅刻につながり、学習理解に影響が出ている可能性がある。こうした学習習慣と家庭状況は大きく関係するため、横断的に判断できて支援に繋ぐような、例えば家庭学習を補完するためにも、学習支援や学校での少し先輩である就学前児童なら小学生、小学生なら中学生、中学生なら高校生、など年齢の近い年上の子ども・若者を各所で導入する仕組みを作ったり、校内でサポートを展開するメンターの導入などが望ましい。（イギリスやアメリカで

活用されるメンター制度など）

対人関係においても2016年度の結果とクロスの傾向は変わらない。変わったところで述べると、放課後過ごす人の回答は「学校以外の友だち」が今回、困窮度Ⅰ群が4.7%、中央値以上群が10.2%と倍ほどであり、前回の差（困窮度Ⅰ群が9.9%と中央値以上群が13.0%）より全体が低く、差ははるかに広がった。また、場所としても、前回は困窮度Ⅰ群対中央値以上群ではスーパーが6.0%対4.4%、コンビニ3.5%対1.9%、ゲームセンター2.1%対1.1%が特徴的で困窮度Ⅰ群の方が高かったが、今回は同じく、スーパーが4.7%対5.4%、コンビニ1.4%対3.2%、ゲームセンター1.1%対2.0%と、これらの項目がやや逆転した。塾や習い事は、前回は困窮度Ⅰ群対中央値以上群では、塾18.0%対33.0%、習い事26.5対39.6%が、今回は同じく塾17.0%対34.2%、習いごと22.5%対40.2%と格差が広がった。コロナ禍でコンビニにさえ出かけなくなっていることも懸念される。

経済状況によって、子どもの教育的な活動へのアクセス、家族以外の社会的交流や人間関係を築く機会が制限されるだけでなく、子どもの自己効力感にも影響を及ぼす可能性があることが示唆された。また、経済的困難な家庭では、子どもが家族の世話を担っているケースが多く、家族の世話をしている子どもにとって、周りの支えが重要であり、社会的支援を必要としていることが示唆された。経済状況や世帯構成によって保護者の相談相手が異なり、とくに困難な経済状況にある世帯や特定の世帯構成の保護者が支えや相談相手の不足を経験していることが示された。子どもの居場所が様々な専門家や機関との連携を可能にしており、総合的なサポート体制として機能していると考えられる。

最後に、子どもが保護者以外と話せる機会が必要である。しかし、家庭と学校しかソーシャルキャピタルを持たない子どもたちにとって、今回の調査において、「おうちの人に関する悩み」は「おうちの人」と「学校の友だち」に話しにくいという結果であった。これは、ますます経済的に厳しい子どもたちを孤立させ、ソーシャルキャピタルを欠如させてしまう。おうちの人や学校の友だちに相談すること自体難しいと考えられるが、おうちの人や友だちに話せないという今回の結果から、自然と話せるような場や人材を確保し、すべての子どもが自然に通う、学校から自然に構えずに参加できる、流れるような仕組みを創設または充実させる必要がある。

まとめ

今回の調査結果から、子どもの貧困に関する対策の結果として、親の就労や学歴、所得状況は改善がみられ、中央値は上昇する結果であった。これは2021年度の厚生労働省の国民生活基礎調査の結果をみても同様の傾向である。

しかし、増えた所得が子どもに回っておらず、物価高の影響等々考えられる。肝心の困窮度Ⅰ群の世帯あるいは子どもの状況の改善は見られず、悪化している部分もあった。このことは子どもの貧困を考える立場にとっては厳しい結果である。この解決には、国が縦割りを解消しようとこども家庭庁を設立し、データ連携等々新たな動きをしているなか、同様に教育や福祉という既存の枠組みを越えて、子どもをまんなかに実行できる体制や制度設計を早急に考えるべきであり、以下のような対策の検討が望まれる。

① 経済面：母子世帯への支援や収入アップを企業側が実行できるような施策の検討。

② 学習面：学校だけでなく、しかし、すべての子どもが通う学校と連携した学びの保障の検討が必要である。例えば、コミュニティスクールや学習支援、無料塾の創設などの活用である。沖縄県では、保護者のニーズのある無料塾を導入している。貧困調査の結果から支援員を大々的に投入し、訪問による給付や支援の申請書作成のサポートなど、自分には関係ないと思う人にも、丁寧に提供できる人的支援方策を実施した。あるいはそれをクラウドによって子ど

もの状況のデータから、社会資源を選択できるような可視化と自治体内でどこの部署でも所持するような共有化の必要性の検討が考えられる。

③ 無償化の対象にならない部活の費用などの支援の検討。例えば、塾代助成のような方策を検討し、かつ申請をしなくても必要な人には利用できるよう、塾側に措置費のような形で配分する枠組みの提示や方策の提案が考えられる。

④ 価値の創造：教育の力はすべての子どもに影響することから、年齢に応じて子どもの人権や生きる価値など人間尊重の理念から獲得できるような学びとその方法の検討。例えば、小学1年生から体験的に教育を受ける生きる教育（西澤・西岡2022）やブレインストーミングのように子どもたちとの対話で進めるフィンランドの教育（北川2005）、実際的な生活課題から制度やサービス、権利に関して体験的に学ぶスウェーデンの社会科（リンドクウィスト・ウエステル1997）のように、その年齢に合わせて体験型であり、自身の意見を出し、周りの意見を聞きながら進めるレクチャー型ではない教育の進め方の検討が考えられる。そのことによって、10代の妊娠やいじめ、ヤングケアラーなど家庭状況を抱えるようになっても早期に SOS が出せたり、自身で支援を選択できる力を養うことができる。

⑤ 地域資源：支援の場所に関する周知等の検討。例えば、自治体のパンフレットなど見やすい形で大阪府内全市町村に拡充することが考えられる。また、子ども食堂に限らず、様々な機能（駄菓子屋や公園などほっと寄れるような場を使ったたまり場など）を持つ居場所や体験交流できる場かつ子どもが自力で行ける場所が小学校区内にあることが望まれる。学校が場所を開放するのがベストであり、引き続き学校を拠点とした学校プラットフォーム（山野2018）構想を検討することが望まれる。その意味は、2016年度調査後政策展開されてきたように、その場所が子どもにとっても親にとってもわかりやすく、行きやすい場所であるからであり、選択肢が増え、可視化し利用しやすくすべきである。相談機関を増やすだけではなく、相談という壁を超えずに参加できる居場所を増やすことが重要である。

⑥ 連携の考え方：個人情報を共有しない連携の検討。個人情報は把握しないまま連携することが重要である。これが社会資源を知らない教師と個人情報を持てない地域の居場所の新しい連携の方法であり、これらのちょっとした手法を周知徹底させることが望ましい。地域の居場所等はアクセスフリーであることが多いため、スクールソーシャルワーカーや②で示した地域情報の可視化によって学校側が地域情報を子どもや保護者に自然に届くような仕組みを作ることで可能となる。

⑦ すべての子どもを視野に入れ、そこから自然につながる仕組みなど、今までの縦割りとは違う支援の仕組みの検討。

⑧ 社会福祉協議会など居場所の中間支援を行う機関の役割を明確化し、ネットワークにより、各居場所などの活動団体が勇気づけられる、お互いの活動が参考になる、などの中間組織の機能をさらに促進させる。社会教育分野が持つ公民館や図書館や博物館なども場であり、さらなる協働を明確にすることが必要である。（子ども食堂等居場所の活動団体が無料で入れる、利用できるなど）

⑨ 全数からの仕組み：必要な子どもが確実に発見され自然につながるためには、スクリーニングから繋ぐ機能まで持った、例えば文部科学省推奨（2020）の YOSS スクリーニング（山野研究室2021）の仕組みの検討。今回の調査で2016年度の調査後取り組んできた様々なアウトリーチでは乗り越えられなかった壁が明らかになった。相談機関での対応だけではなく、自然につながる支援が厳しい家庭の保護者や子どもたちには必要であることがわかる。支援が必要な子どもを早期に発見し、伴走しながら、必要な制度や仕組みを紹介し、利用を増やすことで生活の改善をはかることと、伴走することで子どもや保護者本人がエンパワーされ、資源を

活用できるようになる機能等が必要であると考えられる。

⑩ システム化：洩れなく持続可能に巡回させるためには、人に頼るだけでなく、福祉と学校のデータ連携を推奨し、地域資源の可視化のためにクラウド化することも考慮すべき点である。クラウドによっていち早く支援場所や居場所が学校にもすぐにわかり、地域活動と支援の必要な子どもを結び、支援提供を展開することが重要である。

⑪ 人材：これら学校においてすべての子どもに対し、課題の発見から支援に繋ぐ校内の体制作りができる人材養成が重要である。スキルを取得する講座の予算化や新たな認定制度になるこども家庭ソーシャルワーカー養成制度の活用などである。

⑫ その専門職の１つがスクールソーシャルワーカーである。先述した個人情報を交換しない連携のあり方がわかるソーシャルワーカーの職種は鍵であり、各校に１名配置することや、必要な人材確保の観点から安定した雇用が担保される正規職員化等の検討も他の自治体で実施されている例などを確認しつつ検討が望まれる。

⑬ 法制化：子どもたちの状況を鑑みると、しんどい思いをしているが声を挙げない子どもや家庭を拾い上げ支援に繋ぐためには、単なる連携ではなく仕組み作りが必要であり、制度化が必要である。要項や規定を作成し、自治体や機関として動きやすいように作成することに踏み出すべきと考えられる。

⑭ 制度設計：デジタル化のために補助金や助成金等の支援の検討。なぜなら、どこに必要な子どもが存在するのかがわからないため、まずは校務系内のデータ連携、学習系と校務系のデータ連携、更に福祉と教育のデータ連携を検討することが望まれる。これら連携されたデータにより、どこに支援が必要な子どもが存在し、また、様々な制度を活用した結果の検証が可能になるという効果があると考える。その仕組みや法的なことを知らないまま恐れるより、まずはすべての子どものために個人情報だけでなく、システムの成り立ちやリスク対応などの理解を進めること、そしてデジタル庁やこども家庭庁において策定しているガイドライン等も活用しつつ、データ連携によるシステム化を進めることが望まれる。しかし、これらのシステム費用がベンダーロックにより莫大な金額がかかるという課題がある。企業を巻き込むと同時に、自治体や政府からのクラウド化に向けた助成制度の創設等が望まれる。

引用・参考文献

アーネ・リンドクウィスト＆ヤン・ウェステル，川上 邦夫（翻訳）(1997)『あなた自身の社会：スウェーデンの中学教科書』新評論.

大阪府（2023)「大阪府子ども（子育て世帯）に対する食費支援事業（第 2 弾)」
(https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/20980/00457638/2-9.pdf)

大阪府立大学（2017)「大阪府子どもの生活実態調査」

北川達夫（2005)「図解フィンランド・メソッド入門」経済界.

厚生労働省（2004)「ワークシェアリング導入促進に関する秘訣集及びリーフレットについて」
(https://www.mhlw.go.jp/houdou/2004/06/h0630-2.html)

厚生労働省（2017)「平成 28 年度 全国ひとり親世帯等調査結果報告」
(https://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11923000-Kodomokateikyoku-Kateifukishika/0000190325.pdf)

厚生労働省（2022)「2022（令和 4）年国民生活基礎調査の概況」
(https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa22/index.html)

柴田悠（2016)『子育て支援が日本を救う―政策効果の統計分析』勁草書房.

内閣府（2010）「平成 21 年度インターネットによる子育て費用に関する調査」
（https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/13024511/www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/research/cyousa21/net_hiyo/mokuji_pdf.html）
西澤哲・西岡加名恵ほか（2022）『「『生きる』教育」：自己肯定感を育み,自分と相手を大切にする方法を学ぶ』日本標準.
日本総研（2022）「令和 3 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業：ヤングケアラーの実態に関する調査研究」厚生労働省.
三菱 UFJ リサーチコンサルティング（株）（2021）「令和 2 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業：ヤングケアラーの実態に関する調査研究」厚生労働省.
文部科学省（2023）「令和 5 年度就学援助の実施状況」
（https://www.mext.go.jp/content/20210324-mxt_shuugaku-000013450_27.pdf）
文部科学省・山野研究室（2020）「スクリーニング活用ガイド」
（https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/__icsFiles/afieldfile/2020/03/27/20200327_mxt_kouhou02_2.pdf）
山野則子編著（2019）『子どもの貧困調査―子どもの生活に関する実態調査から見えてきたもの』明石書店.
山野則子（2018）『学校プラットフォーム』有斐閣.
山野則子研究室（2021）「コロナ禍における子どもへの影響と支援方策のための横断的研究 保護者調査・子ども調査報告書」厚生労働省
山野則子研究室（2021）「スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの常勤化に向けた調査研究」文部科学省.
柳澤靖明・福島尚子（2019）『隠れ教育費：公立小中学校でかかるお金を徹底検証』太郎次郎社エディタス.
UNESCO(2020) ‘International technical guidance on sexuality education: an evidence-informed approach (jpn)’ （https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000374167）

図表目次

図 1. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験 187
図 2. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験 189
図 3. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの..... 191
図 4. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均..... 192
図 5. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均..... 193
図 6. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均..... 194
図 7. 困窮度別に見た、世帯員の構成 195
図 8. 困窮度別に見た、世帯員の構成（2016 年度調査との比較） 196
図 9. 世帯構成別に見た、家計の状況 197
図 10. 困窮度別に見た、子どもの人数 198
図 11. 困窮度別に見た、住居形態 199
図 12. 困窮度別に見た、家計の状況 200
図 13. 困窮度別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況 201
図 14. 困窮度別に見た、自分が世話をしている人の有無 202
図 15. 困窮度別に見た、就学援助の利用状況 205
図 16. 困窮度別に見た、就学援助の利用状況（2016 年度調査との比較） 206
図 17. 困窮度別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ） 207
図 18. 困窮度別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）（2016 年度調査との比較） 208
図 19. 困窮度別に見た、生活保護の利用状況 209
図 20. 困窮度別に見た、生活保護の利用状況（2016 年度調査との比較） 210
図 21. 困窮度別に見た、離婚相手との養育費の取り決めや受け取り（ひとり親世帯のみ） 211
図 22. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢 212
図 23. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢（母親の回答者のみ） 213
図 24. 初めて親となった年齢別に見た、お母さんの最終学歴（母親の回答者のみ） 214
図 25. 初めて親となった年齢別に見た、お父さんの最終学歴（母親の回答者のみ） 215
図 26. 初めて親となった年齢別に見た、就労状況（母親の回答者のみ） 216
図 27. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること（母親の回答者のみ） 218
図 28. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（母親の回答者のみ） ... 220
図 29. 住居形態別に見た、家計の状況 221
図 30. 住居形態別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況 222
図 31. 子どもの居場所の利用経験別に見た、就学援助の利用状況..... 223
図 32. 子どもの居場所の利用経験別に見た、生活保護の利用状況..... 224
図 33. 子どもの居場所の利用経験別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況..... 225
図 34. 子どもの居場所の利用経験別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ） 226
図 35. 子どもの居場所の利用経験別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況 227
図 36. 子どもの居場所の利用経験別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況 ... 228
図 37. 子どもの居場所の利用経験別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況 229
図 38. 学校や学校の行事等の状況別に見た、就学援助の利用状況..... 231
図 39. 学校や学校の行事等の状況別に見た、生活保護の利用状況..... 233
図 40. 学校や学校の行事等の状況別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況..... 235
図 41. 学校や学校の行事等の状況別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ） 237
図 42. 学校や学校の行事等の状況別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況 239

図 43. 学校や学校の行事等の状況別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況 ... 241
図 44. 学校や学校の行事等の状況別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況..... 243
図 45. 身近にあるといいと思うこと別に見た、就学援助の利用状況..... 244
図 46. 身近にあるといいと思うこと別に見た、生活保護の利用状況..... 245
図 47. 身近にあるといいと思うこと別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況..... 246
図 48. 身近にあるといいと思うこと別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ） 247
図 49. 身近にあるといいと思うこと別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況..... 248
図 50. 身近にあるといいと思うこと別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況..... 249
図 51. 身近にあるといいと思うこと別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況 ... 250
図 52. 困窮度別に見た、就労状況..... 252
図 53. 困窮度別に見た、お母さんの最終学歴..... 253
図 54. 困窮度別に見た、お父さんの最終学歴..... 254
図 55. お母さんの最終学歴別に見た、就労状況..... 255
図 56. お父さんの最終学歴別に見た、就労状況..... 256
図 57. 世帯構成別に見た、就労状況..... 257
図 58. 就労状況別に見た、家計の状況..... 258
図 59. 困窮度別に見た、朝食の頻度..... 260
図 60. 就労状況別に見た、朝食の頻度..... 261
図 61. 朝食の頻度別に見た、子どもへの信頼度..... 262
図 62. 朝食の頻度別に見た、子どもとの会話頻度..... 263
図 63. 朝食の頻度別に見た、平日での子どもとの関わり時間..... 264
図 64. 朝食の頻度別に見た、休日での子どもとの関わり時間..... 265
図 65. 朝食の頻度別に見た、子どもの将来への期待度..... 266
図 66. 朝食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）..... 267
図 67. 休日の昼食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）..... 268
図 68. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　①楽しみにしていることがたくさんある..... 269
図 69. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　②遊びにでかけるのが好きだ..... 270
図 70. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　③元気いっぱいだ..... 271
図 71. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　④やろうと思ったことがうまくできる..... 272
図 72. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑤一人ぼっちのような気がする..... 273
図 73. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑥不安な気持ちになる..... 274
図 74. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑦まわりが気になる..... 275
図 75. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑧やる気が起きない..... 276
図 76. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑨いらいらする..... 277
図 77. 困窮度別に見た、自分の体の状態で気になること 279
図 78. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　①楽しみにしていることがたくさんある..... 280
図 79. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　②遊びにでかけるのが好きだ . 281
図 80. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　③元気いっぱいだ 282
図 81. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　④やろうと思ったことがうまくできる..... 283
図 82. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑤一人ぼっちのような気がする . 284
図 83. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑥不安な気持ちになる 285

図 84. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑦まわりが気になる 286
図 85. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑧やる気が起きない 287
図 86. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑨いらいらする 288
図 87. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体の状態で気になること 290
図 88. 困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること 292
図 89. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること 294
図 90. 就労状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数..... 295
図 91. 就労状況別に見た、支えてくれる人得点 296
図 92. 困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか） 297
図 93. 困窮度別に見た、心の状態（将来に対して希望を持っているか）..... 298
図 94. 困窮度別に見た、心の状態（ストレスを発散できるものがあるか）..... 299
図 95. 困窮度別に見た、心の状態（自分が幸せだと思うか） 300
図 96. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか..... 303
図 97. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか..... 304
図 98. 困窮度別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか..... 305
図 99. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか..... 306
図 100. 困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がある日）..... 307
図 101. 困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がない日）..... 308
図 102. 困窮度別に見た、授業以外の読書時間 309
図 103. 困窮度別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの 310
図 104. 子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間の平均値（学校がある日） 311
図 105. 子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間の平均値（学校がない日） 312
図 106. 起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がある日）..... 313
図 107. 起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がない日）..... 314
図 108. 朝食の頻度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がある日）..... 315
図 109. 朝食の頻度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がない日）..... 316
図 110. 起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間 317
図 111. 朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間 318
図 112. 困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がある日）と学習理解度の関連 319
図 113. 困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がない日）と学習理解度の関連 320
図 114. 学校への遅刻別に見た、子どもへの信頼度 321
図 115. 学校への遅刻別に見た、子どもとの会話頻度 322
図 116. 学校への遅刻別に見た、平日での子どもとの関わり時間..... 323
図 117. 学校への遅刻別に見た、休日での子どもとの関わり時間..... 324
図 118. 学校への遅刻別に見た、子どもの将来への期待度 325
図 119. 困窮度別に見た、子どもの将来への期待度 326
図 120. 困窮度別に見た、希望する進学先 327
図 121. 困窮度別に見た、希望する進学先（2016 年度調査との比較） 328
図 122. 困窮度別に見た、子どもに希望する進学 329
図 123. 困窮度別に見た、学校への遅刻 330
図 124. 困窮度別に見た、子どもの通学状況 331
図 125. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか..... 332
図 126. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか..... 333

図 127. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか..... 334
図 128. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すか..... 335
図 129. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか..... 336
図 130. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか..... 337
図 131. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか..... 338
図 132. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に外出するか..... 339
図 133. 学校への遅刻別に見た、嫌なことや悩んでいること 341
図 134. 学校への遅刻別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数..... 342
図 135. 学校への遅刻別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）..... 343
図 136. 学校への遅刻別に見た、希望する進学先 344
図 137. 学校への遅刻別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの..... 345
図 138. 子どもの通学状況別に見た、嫌なことや悩んでいること..... 347
図 139. 子どもの通学状況別に見た、悩んだ時の対処を教えてくれる人のいない割合..... 348
図 140. 子どもの通学状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数..... 349
図 141. 子どもの通学状況別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）..... 350
図 142. 子どもの通学状況別に見た、希望する進学先 351
図 143. 困窮度別に見た、保護者が家にいる時間帯 352
図 144. 困窮度別に見た、子どもへの信頼度 353
図 145. 困窮度別に見た、子どもとの会話頻度 354
図 146. 困窮度別に見た、平日での子どもとの関わり時間 355
図 147. 困窮度別に見た、休日での子どもとの関わり時間 356
図 148. 自分が世話をしている人の有無別に見た、学校や学校の行事等の状況..... 358
図 149. 自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がある日）.. 359
図 150. 自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がない日）.. 360
図 151. 困窮度別に見た、放課後を過ごす場所 364
図 152. 困窮度別に見た、放課後を一緒に過ごす人 366
図 153. 困窮度別に見た、毎日の生活で楽しいこと 368
図 154. 困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいること 370
図 155. 困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手..... 372
図 156. 困窮度別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先..... 374
図 157. 困窮度別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先（2016 年度調査との比較）..... 375
図 158. 世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がいない割合 376
図 159. 世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がいない割合（2016 年度調査との比較）..... 376
図 160. 困窮度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）..... 377
図 161. 子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかと、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）..... 378
図 162. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの手伝いをしているか..... 379
図 163. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか..... 380
図 164. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すか..... 381
図 165. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか..... 382
図 166. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか..... 383
図 167. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と文化活動をするか..... 384
図 168. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と一緒に外出するか..... 385
図 169. 困窮度別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所..... 386

図 170. 困窮度別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所 387
図 171. 困窮度別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所..... 388
図 172. 困窮度別に見た、何でも相談できる場所 389
図 173. 困窮度別に見た、子どもの居場所の利用経験 390
図 174. 平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手 392
図 175. 昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手 394
図 176. 勉強を無料か安い料金でみてくれる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手 396
図 177. 何でも相談できる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手..... 398
図 178. 自分が世話をしている人の有無別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手 400
図 179. 自分が世話をしている人の有無別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所 401
図 180. 自分が世話をしている人の有無別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所 402
図 181. 自分が世話をしている人の有無別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所 403
図 182. 自分が世話をしている人の有無別に見た、何でも相談できる場所..... 404
図 183. 子どもの居場所の利用経験別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先 406
図 184. 学校や学校の行事等の状況別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手..... 408
図 185. 学校や学校の行事等の状況別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所 410
図 186. 学校や学校の行事等の状況別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所..... 412
図 187. 学校や学校の行事等の状況別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所 414
図 188. 学校や学校の行事等の状況別に見た、何でも相談できる場所..... 416
図 189. 身近にあるといいと思うこと別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所 418
図 190. 身近にあるといいと思うこと別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所..... 420
図 191. 身近にあるといいと思うこと別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所 422
図 192. 身近にあるといいと思うこと別に見た、何でも相談できる場所..... 424
図 193. 身近にあるといいと思うこと別に見た、子どもの居場所の利用有無..... 426
図 194. 身近にあるといいと思うこと別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先 428

Ⅳ　資料編

＜健康に関する考察＞　参照データ

子ども＿問23（３）自分の将来の夢や目標を持っているか　（上段：実数、下段：%）
子ども＿問23（１）自分に自信があるか

	調査数	持っている	どちらかというと持っている	どちらかというと持っていない	持っていない	無回答
全　体	2308 100.0	1031 44.7	543 23.5	385 16.7	308 13.3	41 1.8
ある	526 100.0	353 67.1	83 15.8	61 11.6	29 5.5	－ －
どちらかというとある	858 100.0	417 48.6	234 27.3	130 15.2	76 8.9	1 0.1
どちらかというとない	632 100.0	187 29.6	168 26.6	156 24.7	120 19.0	1 0.2
ない	241 100.0	68 28.2	55 22.8	33 13.7	82 34.0	3 1.2
無回答	51 100.0	6 11.8	3 5.9	5 9.8	1 2.0	36 70.6

子ども＿問19③元気いっぱいだ　（上段：実数、下段：%）
子ども＿問23（１）自分に自信があるか

	調査数	いつもそうだ	ときどきそうだ	そんなことはない	無回答
全　体	2308 100.0	1264 54.8	812 35.2	206 8.9	26 1.1
ある	526 100.0	427 81.2	81 15.4	13 2.5	5 1.0
どちらかというとある	858 100.0	509 59.3	312 36.4	29 3.4	8 0.9
どちらかというとない	632 100.0	254 40.2	308 48.7	67 10.6	3 0.5
ない	241 100.0	51 21.2	93 38.6	94 39.0	3 1.2
無回答	51 100.0	23 45.1	18 35.3	3 5.9	7 13.7

子ども＿問19③元気いっぱいだ　（上段：実数、下段：%）
子ども＿問23（３）自分の将来の夢や目標を持っているか

	調査数	いつもそうだ	ときどきそうだ	そんなことはない	無回答
全　体	2308 100.0	1264 54.8	812 35.2	206 8.9	26 1.1
持っている	1031 100.0	689 66.8	275 26.7	59 5.7	8 0.8
どちらかというと持っている	543 100.0	267 49.2	229 42.2	44 8.1	3 0.6
どちらかというと持っていない	385 100.0	187 48.6	160 41.6	34 8.8	4 1.0
持っていない	308 100.0	104 33.8	134 43.5	66 21.4	4 1.3
無回答	41 100.0	17 41.5	14 34.1	3 7.3	7 17.1

＜家庭生活・学習に関する考察＞　参照データ

子ども__問８⑤おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか　（上段：実数、下段：%）
子ども__問14（１）学校の勉強で気持ちに近いもの

	調査数	ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回程度	月に1～2回	ほとんどない	まったくない	無回答
全　体	2308	350	130	216	200	185	644	522	61
	100.0	15.2	5.6	9.4	8.7	8.0	27.9	22.6	2.6
よくわかる	740	138	44	65	57	53	206	160	17
	100.0	18.6	5.9	8.8	7.7	7.2	27.8	21.6	2.3
だいたいわかる	1244	173	72	121	126	113	361	248	30
	100.0	13.9	5.8	9.7	10.1	9.1	29.0	19.9	2.4
あまりわからない	223	27	13	23	11	10	59	73	7
	100.0	12.1	5.8	10.3	4.9	4.5	26.5	32.7	3.1
ほとんどわからない	46	7	1	3	4	7	8	14	2
	100.0	15.2	2.2	6.5	8.7	15.2	17.4	30.4	4.3
わからない	38	4	－	4	1	1	7	19	2
	100.0	10.5	－	10.5	2.6	2.6	18.4	50.0	5.3
無回答	17	1	－	－	1	1	3	8	3
	100.0	5.9	－	－	5.9	5.9	17.6	47.1	17.6

子ども__問８⑧おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか　（上段：実数、下段：%）
子ども__問14（１）学校の勉強で気持ちに近いもの

	調査数	ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回程度	月に1～2回	ほとんどない	まったくない	無回答
全　体	2308	430	273	481	293	208	385	181	57
	100.0	18.6	11.8	20.8	12.7	9.0	16.7	7.8	2.5
よくわかる	740	201	107	132	85	47	107	44	17
	100.0	27.2	14.5	17.8	11.5	6.4	14.5	5.9	2.3
だいたいわかる	1244	198	134	285	173	122	214	91	27
	100.0	15.9	10.8	22.9	13.9	9.8	17.2	7.3	2.2
あまりわからない	223	23	24	46	25	28	47	23	7
	100.0	10.3	10.8	20.6	11.2	12.6	21.1	10.3	3.1
ほとんどわからない	46	3	4	8	5	5	7	12	2
	100.0	6.5	8.7	17.4	10.9	10.9	15.2	26.1	4.3
わからない	38	3	2	7	4	5	7	9	1
	100.0	7.9	5.3	18.4	10.5	13.2	18.4	23.7	2.6
無回答	17	2	2	3	1	1	3	2	3
	100.0	11.8	11.8	17.6	5.9	5.9	17.6	11.8	17.6

子ども__問12　授業以外の勉強状況　（上段：実数、下段：%）
子ども__問14（１）学校の勉強で気持ちに近いもの

	調査数	自分で勉強する	塾で勉強する	学校の補習を受ける	家庭教師に教えてもらう	地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	おうちの人に教えてもらう	ともだちと勉強する	その他	学校の授業以外で勉強はしない	無回答
全　体	2308	1579	986	107	28	18	824	472	139	149	18
	100.0	68.4	42.7	4.6	1.2	0.8	35.7	20.5	6.0	6.5	0.8
よくわかる	740	580	369	19	5	6	299	146	46	19	3
	100.0	78.4	49.9	2.6	0.7	0.8	40.4	19.7	6.2	2.6	0.4
だいたいわかる	1244	847	528	57	15	9	446	271	74	71	3
	100.0	68.1	42.4	4.6	1.2	0.7	35.9	21.8	5.9	5.7	0.2
あまりわからない	223	119	66	26	7	－	63	44	13	31	－
	100.0	53.4	29.6	11.7	3.1	－	28.3	19.7	5.8	13.9	－
ほとんどわからない	46	19	13	2	1	2	9	6	4	13	－
	100.0	41.3	28.3	4.3	2.2	4.3	19.6	13.0	8.7	28.3	－
わからない	38	10	7	2	－	1	5	4	2	14	1
	100.0	26.3	18.4	5.3	－	2.6	13.2	10.5	5.3	36.8	2.6
無回答	17	4	3	1	－	－	2	1	－	1	11
	100.0	23.5	17.6	5.9	－	－	11.8	5.9	－	5.9	64.7

＜対人関係に関する考察＞　参照データ

子ども__問18　嫌なことや悩んでいるときの相談相手　　（上段：実数、下段：%）
子ども__問17　悩んでいること

	調査数	親	きょうだい	親せき	学校のともだち	学校以外のともだち	学校の先生	スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー	塾や習いごとの先生	学童保育の先生
全　体	2308	1554	416	110	1256	203	596	29	99	10
	100.0	67.3	18.0	4.8	54.4	8.8	25.8	1.3	4.3	0.4
おうちのこと	108	46	18	5	43	12	26	5	4	1
	100.0	42.6	16.7	4.6	39.8	11.1	24.1	4.6	3.7	0.9
学校や勉強のこと	430	264	69	19	222	47	101	12	25	1
	100.0	61.4	16.0	4.4	51.6	10.9	23.5	2.8	5.8	0.2
クラブ活動や部活動のこと	170	102	35	7	108	29	35	3	12	－
	100.0	60.0	20.6	4.1	63.5	17.1	20.6	1.8	7.1	－
自分のこと（外見や体型など）	309	188	62	12	164	33	62	12	20	2
	100.0	60.8	20.1	3.9	53.1	10.7	20.1	3.9	6.5	0.6
ともだちのこと	304	199	63	11	161	31	90	10	18	3
	100.0	65.5	20.7	3.6	53.0	10.2	29.6	3.3	5.9	1.0
好きな人のこと	114	67	27	6	75	14	31	1	8	－
	100.0	58.8	23.7	5.3	65.8	12.3	27.2	0.9	7.0	－
進学・進路のこと	324	204	56	13	186	42	80	8	28	3
	100.0	63.0	17.3	4.0	57.4	13.0	24.7	2.5	8.6	0.9
その他のこと	124	75	15	8	51	15	28	6	5	2
	100.0	60.5	12.1	6.5	41.1	12.1	22.6	4.8	4.0	1.6
いやなことや悩んでいることはない	891	654	167	50	528	74	254	7	26	4
	100.0	73.4	18.7	5.6	59.3	8.3	28.5	0.8	2.9	0.4
わからない	397	242	74	15	192	27	102	4	14	1
	100.0	61.0	18.6	3.8	48.4	6.8	25.7	1.0	3.5	0.3
無回答	73	39	8	－	29	2	12	－	3	－
	100.0	53.4	11.0	－	39.7	2.7	16.4	－	4.1	－

	子ども専用の電話相談	SNSなどのインターネットやLINEの相談	インターネットなどを通じて知りあった直接会ったことのない人	近所の人	地域の支援団体	その他の人	だれにも相談できない	だれにも相談したくない	わからない	無回答
全　体	8	22	34	22	4	36	51	129	145	52
	0.3	1.0	1.5	1.0	0.2	1.6	2.2	5.6	6.3	2.3
おうちのこと	－	1	6	1	1	2	11	13	7	1
	－	0.9	5.6	0.9	0.9	1.9	10.2	12.0	6.5	0.9
学校や勉強のこと	－	8	18	4	1	12	23	34	24	1
	－	1.9	4.2	0.9	0.2	2.8	5.3	7.9	5.6	0.2
クラブ活動や部活動のこと	－	5	4	1	1	4	12	10	4	－
	－	2.9	2.4	0.6	0.6	2.4	7.1	5.9	2.4	－
自分のこと（外見や体型など）	2	7	11	5	2	6	21	31	7	－
	0.6	2.3	3.6	1.6	0.6	1.9	6.8	10.0	2.3	－
ともだちのこと	1	10	9	3	1	14	20	27	6	1
	0.3	3.3	3.0	1.0	0.3	4.6	6.6	8.9	2.0	0.3
好きな人のこと	－	3	4	1	－	2	7	9	2	－
	－	2.6	3.5	0.9	－	1.8	6.1	7.9	1.8	－
進学・進路のこと	－	7	13	5	－	14	16	22	13	1
	－	2.2	4.0	1.5	－	4.3	4.9	6.8	4.0	0.3
その他のこと	1	－	4	－	－	9	9	9	6	1
	0.8	－	3.2	－	－	7.3	7.3	7.3	4.8	0.8
いやなことや悩んでいることはない	4	8	5	10	1	7	4	40	47	20
	0.4	0.9	0.6	1.1	0.1	0.8	0.4	4.5	5.3	2.2
わからない	－	2	5	1	1	5	8	18	55	5
	－	0.5	1.3	0.3	0.3	1.3	2.0	4.5	13.9	1.3
無回答	1	－	－	－	－	－	1	1	4	24
	1.4	－	－	－	－	－	1.4	1.4	5.5	32.9

大阪府子どもの生活に関する実態調査

小学生・中学生向け調査　調査票

＜ 調査への協力のお願い ＞

◆この調査は、大阪府内の小学生・中学生のみなさんの学校や家での生活の様子、将来についての考えや希望などについてたずねるものです。
◆この調査は、小学生または中学生のあなたが自分で答えてください。
◆名前を書く必要はありません。テストではありませんので、思ったとおりに答えてください。
◆答えたくない質問は答える必要はありません。
◆答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考えにできるだけ近いものを選ぶようにしてください。
◆あなたが答えた内容は、おうちの人や先生に見せる必要はありません。
◆大阪府はこの調査結果を参考に、子どもたちのために何ができるかを考えていきますので、ご協力をお願いします。
◆Webまたは紙の調査票のどちらかで令和５年７月31日までに回答してください。

（１）Webによるご回答

➢この調査は、Webから回答することができます。
➢回答方法は、16ページをごらんください。
※Webでの回答は１回限りです。回答を送信すると、そのあとの修正はできません。

（２）紙の調査票によるご回答

・調査票に記入後、「小学生・中学生用」と書かれた封筒に入れ、シールをはがしてフタを閉じて、おうちの人に渡してください。

◆期限：　令和５年７月３１日（月曜日）◆

【調査に関するお問合せ先】
大阪府福祉部子ども家庭局子育て支援課　事業推進グループ
電話　０６－６９４４－７１０８（直通）　※9:30～18:00　土・日曜日・祝日を除く
ファクシミリ　０６－６９４４－３０５２

質問の回答方法について

◆それぞれの質問について次のように答えてください。

（例）あなたの好きな色は何色ですか。

①．赤色 ２．黄色	３．緑色 ４．その他の色

※答えは、あてはまる番号に〇をつけてください。

※〇のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまる番号１つに〇をつけてください」や「あてはまる番号すべてに〇をつけてください」などと書いてありますので、それにしたがってください。

あなたについておたずねします。

問１　あなたは小学生ですか、それとも中学生ですか。（あてはまる番号１つに〇をつけてください）

１．小学生	２．中学生

あなたのふだんの生活のことについておたずねします。

問２　あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時刻に起きていますか。
（あてはまる番号１つに〇をつけてください）

１．起きている ２．どちらかといえば、起きている	３．あまり、起きていない ４．起きていない

問３　あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、何時に寝ていますか。
（あてはまる番号１つに〇をつけてください）

１．午後９時より前 ２．午後９時台 ３．午後１０時台	４．午後１１時台 ５．午前０時台 ６．午前１時より後	７．きまっていない

問４　朝食についておたずねします。

（１）あなたは、週にどのくらい、朝食を食べていますか。（あてはまる番号１つに〇をつけてください）

１．毎日またはほとんど毎日 ２．週に４～５回	３．週に２～３回 ４．週に１回程度	５．食べない

（２）前の質問で「１．毎日またはほとんど毎日」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが朝食を食べない理由はなんですか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．時間がない ２．おなかがすいていない	３．用意されていない ４．食べる習慣がない	５．わからない

問５　夕食についておたずねします。

（１）あなたは、週にどのくらい、夕食を食べていますか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．毎日またはほとんど毎日 ２．週に４～５回	３．週に２～３回 ４．週に１回程度	５．食べない

（２）前の質問で「１．毎日またはほとんど毎日」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが夕食を食べない理由はなんですか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．時間がない ２．おなかがすいていない	３．用意されていない ４．食べる習慣がない	５．わからない

問６　お休みの日の昼食についておたずねします。

（１）あなたは、学校がお休みの日に昼食を食べますか。（夏休みなどの長期のお休みの日もふくみます。）（あてはまる番号１つに○をつけてください）

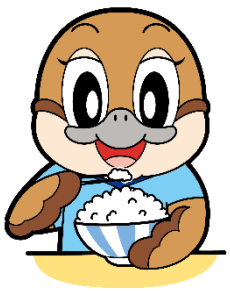
１．必ず食べる ２．食べることが多い	３．食べないことが多い ４．食べない	５．わからない

（２）前の質問で「１．必ず食べる」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが、学校がお休みの日に昼食を食べない理由はなんですか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．時間がない ２．おなかがすいていない	３．用意されていない ４．食べる習慣がない	５．わからない

問７　あなたは、学校に遅刻することがありますか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．毎日またはほとんど毎日 ２．週に４～５回	３．週に２～３回 ４．週に１回程度	５．遅刻はしない



©2014 大阪府もずやん

問８　あなたは、次のようなことをどのくらいしていますか。（①～⑩それぞれについて、あてはまる番号１つに○をつけてください）

	ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回程度	月に1～2回	ほとんどない	まったくない
①　おうちの大人の人と一緒に朝食を食べていますか。	1	2	3	4	5	6	7
②　おうちの大人の人と一緒に夕食を食べていますか。	1	2	3	4	5	6	7
③　おうちの大人の人に朝、起こしてもらいますか。	1	2	3	4	5	6	7
④　おうちの手伝いをしていますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑤　おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらいますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑥　おうちの大人の人と学校でのできごとについて話しますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑦　おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりしますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑧　おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話しますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑨　おうちの大人の人と文化活動（図書館や美術館、博物館、音楽鑑賞に行くなど）をしますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑩　おうちの大人の人と一緒に外出しますか。（散歩する・買い物に出かける・外食をするなど）	1	2	3	4	5	6	7

問９　あなたは、毎日の生活でどのようなときに楽しいと思いますか。
（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

１．おうちの人と一緒に過ごしているとき	５．今、住んでいる地域の行事に参加しているとき
２．ともだちと一緒に過ごしているとき	６．塾や習いごとで過ごしているとき
３．学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき	７．特に楽しいと思うときはない
４．ひとりで過ごしているとき	８．その他

問10 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、だれと過ごしますか。
（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1．おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）
2．きょうだい
3．おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）
4．学校のともだち
5．クラブ活動・部活動の仲間
6．学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）
7．ひとりでいる
8．その他の人

問11 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、どこで過ごしますか。
（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1．自分の家	9．コンビニエンスストア
2．おばあちゃん・おじいちゃんの家	10．ゲームセンター
3．ともだちの家	11．図書館や公民館など公共の施設
4．塾	12．地域の居場所（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところ）
5．習いごと	13．学童保育（※）
6．学校（クラブ活動・部活動など）	14．その他
7．公園・広場	
8．スーパーやショッピングモール	

※「学童保育」とは、「放課後児童クラブ」、「いきいき放課後児童クラブ」、「留守家庭児童会（室）」、「学童クラブ」、「仲良しクラブ」もふくみます。

問12 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
※勉強には学校の宿題もふくみます。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

1．自分で勉強する	6．おうちの人に教えてもらう
2．塾で勉強する	7．ともだちと勉強する
3．学校の補習を受ける	8．その他
4．家庭教師に教えてもらう	9．学校の授業以外で勉強はしない
5．地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	

問13 あなたは、授業時間以外に１日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。
（塾などの時間もふくみます。）（①、②それぞれについて、あてはまる番号１つに○をつけてください）

	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	わからない
① 学校がある日（月～金曜日）	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**	**6**	**7**
② 学校がない日（土・日曜日・祝日）	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**	**6**	**7**

あと半分だよ。
がんばってね！

問14 学校の勉強についておたずねします。
（１）学校の勉強について、一番あなたの気持ちに近いものはどれですか。
（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．よくわかる ２．だいたいわかる	３．あまりわからない ４．ほとんどわからない	５．わからない

（２）前の質問で「３．あまりわからない」「４．ほとんどわからない」「５．わからない」に○をつけた方におたずねします。いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。
（あてはまるもの１つに○をつけてください）

１．小学１・２年生のころ ２．小学３・４年生のころ	３．小学５年生になってから ４．小学６年生のころ	５．中学１年生のころ ６．中学２年生になってから

問15 あなたは、学校の授業時間以外に、１日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。
（教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞきます。）（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．まったくしない ２．30分より少ない ３．30分以上、１時間より少ない ４．１時間以上、２時間より少ない	５．２時間以上、３時間より少ない ６．３時間以上 ７．わからない

問16 あなたは、学校や学校の行事等で次のようなことがありますか。
（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1．授業中に寝てしまうことが多い	7．運動会や遠足などの学校行事を欠席する
2．宿題ができていないことが多い	8．保健室で過ごすことが多い
3．持ち物の忘れ物が多い	9．学校ではひとりで過ごすことが多い
4．習いごとを休むことが多い	10．ともだちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない
5．提出物を出すのが遅れることが多い	11．特にない
6．修学旅行などの宿泊行事を欠席する	

問17 今、あなたは、いやなことや悩んでいることはありますか。
（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1．おうちのこと	6．好きな人のこと
2．学校や勉強のこと	7．進学・進路のこと
3．クラブ活動や部活動のこと	8．その他のこと
4．自分のこと（外見や体型など）	9．いやなことや悩んでいることはない
5．ともだちのこと	10．わからない

問18 あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、だれかに相談しますか。（だれに話しますか。）
（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1．親	12．インターネットやサイトなどを通じて知りあった直接会ったことのない人
2．きょうだい	13．近所の人
3．親せき	14．地域の支援団体（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところの人）
4．学校のともだち	15．その他の人
5．学校以外のともだち	16．だれにも相談できない
6．学校の先生	17．だれにも相談したくない
7．スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー	18．わからない
8．塾や習いごとの先生	
9．学童保育の先生（※）	
10．子ども専用の電話相談	
11．ＳＮＳなどのインターネットやLINEの相談	

※「学童保育」とは、「放課後児童クラブ」、「いきいき放課後児童クラブ」、「留守家庭児童会（室）」、「学童クラブ」、「仲良しクラブ」もふくみます。

問19 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。あなたが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに答えてください。

（①～⑨それぞれについて、あてはまる番号１つに〇をつけてください）

	いつもそうだ	ときどきそうだ	そんなことはない
① 楽しみにしていることがたくさんある	1	2	3
② 遊びにでかけるのが好きだ	1	2	3
③ 元気いっぱいだ	1	2	3
④ やろうと思ったことがうまくできる	1	2	3
⑤ 一人ぼっちのような気がする	1	2	3
⑥ 不安な気持ちになる	1	2	3
⑦ まわりが気になる	1	2	3
⑧ やる気が起きない	1	2	3
⑨ いらいらする	1	2	3

問20 あなたは、自分の体の状態で気になることはありますか。

（あてはまる番号すべてに〇をつけてください）

１．ねむれない	６．よくかゆくなる
２．よく頭がいたくなる	７．とくに気になるところはない
３．歯がいたい	８．その他
４．よくおなかがいたくなる	９．わからない
５．よくかぜをひく	

答えたくない質問は答える必要はないよ。

答えに迷うときは、あなたの気持ちや考えに

できるだけ近いものを選んでね。

©2014 大阪府もずやん

問21 あなたが、持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。

（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1．本 （学校の教科書やマンガ・雑誌はのぞく） 2．マンガ・雑誌 3．子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいと一緒に使っている部屋など） 4．インターネットにつながるパソコン （学校のパソコンはのぞく） 5．運動用具（ボール・ラケットなど） 6．ゲーム機 7．自転車	8．テレビ 9．けいたい電話 10．スマートフォン・タブレット機器 11．化粧品・アクセサリー 12．習いごとなどの道具（ピアノなど） 13．自分で選んだ服 14．キャラクターグッズ 15．その他 16．あてはまるものはない

あなたが、ふだん考えていることについておたずねします。

問22 あなたは、つらいことがあってもすぐ立ち直ることができますか。

（あてはまる番号１つに○をつけてください）

1．そう思う 2．どちらかというとそう思う	3．どちらかというとそう思わない 4．そう思わない

問23 あなたがふだん考えていることについて、次の（１）～（３）について教えてください。

（あてはまる番号１つに○をつけてください）

（１） 自分に自信がある

1．ある 2．どちらかというとある	3．どちらかというとない 4．ない

（２）自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

１．できる ２．どちらかというとできる	３．どちらかというとできない ４．できない

（３）自分の将来の夢や目標を持っている

１．持っている ２．どちらかというと持っている	３．どちらかというと持っていない ４．持っていない

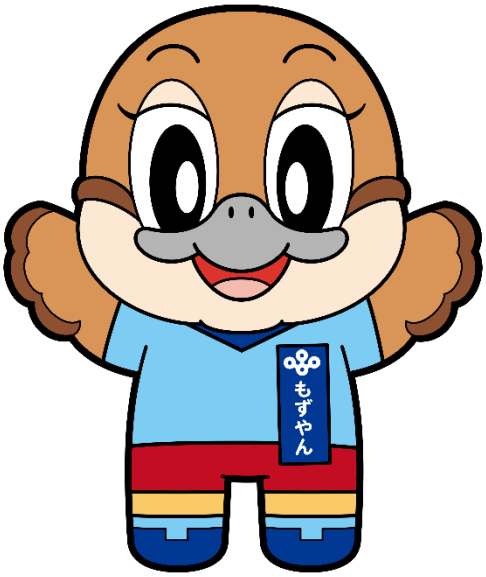
問24 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。

（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．中学校 ２．高校 ３．短期大学 ４．大学 ５．大学院	６．留学（外国で長い期間勉強すること） ７．専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校 ８．考えたことがない ９．わからない

あともう少しだよ！

がんばってね！



©2014 大阪府もずやん

あなたのことについて、おたずねします。

問25 自分やともだちの家以外の場所についておたずねします。

（１）あなたは、次の①～④のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。

（①～④それぞれについて、あてはまる番号１つに○をつけてください。）

	利用したことがある	利用したことはない（あれば利用したいと思う）	利用したことはない（今後も利用したいと思わない）	利用したことはない（今後も利用したいか分からない）
① 平日の夜や休日を過ごすことができる場所（学童保育など）	1	2	3	4
②昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）	1	2	3	4
③勉強を無料か安い料金でみてくれる場所（一般的な学習塾とはちがう学習支援など）	1	2	3	4
④何でも相談できる場所（電話やネットの相談をふくむ。）	1	2	3	4

（２）前の質問で、１つでも「利用したことがある」と答えた方におたずねします。そこを利用したことで、次のような変化がありましたか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．ともだちが増えた	６．勉強がわかるようになった
２．気軽に話せる大人が増えた	７．勉強する時間が増えた
３．生活の中で楽しみなことが増えた	８．その他
４．ほっとできる時間が増えた	９．特に変化はない
５．栄養のある食事をとれることが増えた	

（３）問２５（１）の質問で、「利用したことがある」に○をつけた方以外におたずねします。利用したことがないのはなぜですか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．どこにあるか知らないから	７．Wi-fi（インターネット通信環境）がないから
２．家の近く（ひとりで行ける場所）にないから	８．行きたいと思わないから
３．家で過ごしたいと思うから	９．何をしているかわからないから
４．楽しくなさそうだから	10．利用していることを近所の人やともだちに知られたくないから
５．「行ってはいけない」と親などの大人に言われるから	11．その他
６．行きたい日・時間に開いていないから	

問26 あなたがおうちでしているお世話の様子についておたずねします。

（１）おうちの人の中にあなたがお世話をしている人はいますか。
（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．いる	２．いない

（２）前の質問で「１．いる」に回答した方におたずねします。誰のお世話をしていますか。
（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

１．お母さん	４．おじいちゃん
２．お父さん	５．きょうだい
３．おばあちゃん	６．その他

（３）問２６（１）の質問で「１．いる」に回答した方におたずねします。あなたが行っているお世話の内容を教えてください。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

１．料理や買い物、食器洗いなど	５．病院へ一緒に行くことやお風呂・トイレのお世話、見守りをする、話し相手になる、通訳をする、お金の管理、薬の管理など
２．洗濯など	６．その他
３．そうじやゴミ捨てなど	
４．きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど	

（４）前の質問で「６．その他」に〇をつけた方は、具体的な内容を書いてください。

（５）問２６（１）の質問で「１．いる」に回答した方におたずねします。お世話をすることはどれくらいありますか。（あてはまる番号１つに〇をつけてください）

１．ほぼ毎日	３．週に１日または２日
２．週に３日～５日	４．１か月に数日

（６）問２６（１）の質問で「１．いる」に回答した方におたずねします。学校がある日に、お世話を１日のうちどれくらいしていますか。（あてはまる番号１つに〇をつけてください）

１．１時間より少ない	４．3時間以上、5時間より少ない
２．１時間以上、２時間より少ない	５．5時間以上、7時間より少ない
３．２時間以上、３時間より少ない	６．７時間より多い

（７）問２６（１）の質問で「１．いる」に回答した方におたずねします。お世話をしていることによって次のようなことがありますか。（あてはまる番号すべてに〇をつけてください）

１．おうちの人と話したり遊んだりすることが増える	８．とても疲れることがある
２．時間の使い方を工夫できる	９．いらいらしやすい
３．家の中で気持ちよく過ごすことができる	10．気持ちが落ち込む
４．おうちの人が健康に過ごすことができる	11．学校を欠席や遅刻、早退することがある
５．「お世話」にやりがいを感じる	12．その他
６．おうちの人以外と話す時間が減る	13．特にない
７．自分のことをする時間がない	

問27 あなたの性別をえらんでください。（あてはまる番号１つに〇をつけてください）

１．男子	３．その他
２．女子	４．答えたくない

質問はこれで終わりです。調査にご協力いただきありがとうございました。
「小学生・中学生用」と書いてある封筒に入れ、シールをはがしてフタを閉じて、保護者の方に渡してください。

相談窓口のご案内

○親子やきょうだいのことなど家庭での悩みについては

<子どもの悩み相談フリーダイヤル>

TEL：０１２０－７２８５－２５
２４時間　３６５日
LINE　https://www.pref.osaka.lg.jp/kateishien/sodanliner3/index.html

<親子のための相談LINE>

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29751.html

@2014　大阪府もずやん

○友人関係など学校での悩みについては

<すこやかホットライン>

TEL：０６－６６０７－７３６１
月曜日～金曜日　：　９時～１７時３０分（※祝日・年末年始を除く）
Eメール　sukoyaka@edu.osaka-c.ed.jp

【ひとりで悩まないで、相談してね。】

パソコン・スマートフォン・タブレット端末でも回答できます！

■ ＷＥＢで回答された場合は、同封の調査票の返送は不要です。

■ 携帯電話（ガラケー）では回答できませんのでご注意ください。

◆ スマートフォン・タブレット端末の場合は、カメラで次の二次元バーコードを読み取ってください。

［二次元バーコード］

◆ パソコンの場合は、次のＵＲＬ（「ｈｔｔｐｓ…」から始まるアドレス）を検索画面に手入力し、エンターキーを押してください。

［ＵＲＬ］ https://src.webcas.net/form/pub/src/2700082

◆ 最初の画面がでてきたら、次のＩＤを入力し、「次へ」ボタンを押し、ログインしてください。

◇ＩＤ

※ＩＤは、個人を特定するものではありません。

◆ ログイン後は、質問の番号順に沿って回答してください。

大阪府子どもの生活に関する実態調査
保護者向け調査　調査票

＜ 調査への協 力のお願い ＞

◆この調査は、保護者の方に家庭状況などをお聞きし、大阪府の子どものための支援策に役立てるために実施します。皆様からの回答を支援策の充実や改善につなげていきたいと考えていますので、お忙しい中お手数ですが、調査への協力をお願いします。

◆調査の対象は、小学５年生と中学２年生です。大阪府内から無作為抽出で8,000人を選びました。

◆お名前や住所を書く必要はありません。調査の集計は統計的に処理し、個人や学校を特定することはありません。また、目的以外に使うことはありません。

◆この調査で「お子さん」とは、調査票を受け取ったお子さんのことです。「お子さん」と書かれた質問には調査票を受け取ったお子さんについてのみお答えください。

◆ごきょうだいなどで、この調査用紙が複数届いた場合も、お手数ですが、それぞれのお子さんについて、それぞれの調査用紙（またはWebフォーム）に回答してください。

◆回答するときには、お子さんと別々に、お互いの回答を見ないように記入してください。

◆Webまたは紙の調査票のどちらかで令和５年７月31日までに回答してください。

（１）Webによるご回答

➢この調査は、Webから回答することができます。

➢回答方法は、16ページをごらんください。

※Webでの回答は１回限りです。回答を送信すると、そのあとの修正はできません。

（２）紙の調査票によるご回答

・調査票に記入後、「保護者用」と書かれた封筒に入れ、シールをはがして封をしてください。お子さんの回答の入った「小学生・中学生用封筒」と「保護者用封筒」を返信用封筒にまとめて入れ、期限までに返信してください。切手は不要です。

◆期限：　令和５年７月３１日（月曜日）◆

【調査に関するお問合せ先】
大阪府福祉部子ども家庭局子育て支援課　事業推進グループ
電話　０６－６９４４－７１０８（直通）　※9:30～18:00　土・日曜日・祝日を除く
ファクシミリ　０６－６９４４－３０５２

質問の回答方法について

◆それぞれの質問について次のように答えてください。

（例）あなたの好きな色は何色ですか。

① 1．赤色 2．黄色	3．緑色 4．その他の色

※答えは、あてはまる番号に〇をつけてください。

※〇のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまる番号１つに〇をつけてください」や「あてはまる番号すべてに〇をつけてください」などと書いてありますので、それにしたがってください。

最初に、あなたとお子さんの関係についておたずねします。

問１　この調査に回答いただいている方におたずねします。お子さんとあなたの続柄について教えてください。（あてはまる番号１つに〇をつけてください）

1．お母さん 2．お父さん 3．おじいさん・おばあさん	4．おじ、おばなど親戚 5．施設職員・ファミリーホーム・里親 6．その他の人

世帯の状況についておたずねします。

※あなたの世帯について、令和5年４月１日現在の状況を教えてください。

※世帯とは、普段、住居と生計を共にしている方々（世帯員）の集まりをいいます。血縁関係のない人でも同居していれば世帯に含んでください。また、単身赴任の方も含みます。

※世帯員には、旅行や出張などで一時的に自宅を離れている人や船員など就業場所を移動する人を含みます。

※また、病院・診療所に入院している人を含みますが、住民登録を病院・診療所に移している人は除きます。さらに、学業で世帯を離れている人、老人福祉施設などの社会福祉施設に入所している人を除きます。

問２　あなたの世帯の構成と人数をお答えください。（①～⑧それぞれについて、あてはまる番号１つに○をつけてください）（⑧は、あなたや対象のお子さんを含んだ人数をお答えください。）

①おばあさん	②おじいさん	③お母さん	④お父さん	⑧合計 （あなたや対象のお子さんを含む）
０．いない １．１人 ２．２人	０．いない １．１人 ２．２人	０．いない １．１人	０．いない １．１人	１．２人 ２．３人 ３．４人 ４．５人 ５．６人 ６．７人 ７．８人 ８．９人 ９．10人以上
⑤姉・兄	対象のお子さん （本人）（※）	⑥妹・弟	⑦その他	
０．いない １．１人 ２．２人 ３．３人 ４．４人以上	1人	０．いない １．１人 ２．２人 ３．３人 ４．４人以上	０．いない １．１人 ２．２人 ３．３人 ４．４人以上	

※「対象のお子さん」とは、調査票を受け取ったお子さんのことです。

問３　お子さんと同居し、生計を共にしている親の婚姻状況を教えてください。
（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．結婚している（再婚や事実婚を含む。）	４．未婚
２．離婚	５．わからない
３．死別	６．いない

問４　前の質問で「２．離婚」に○をつけた方におたずねします。

離婚相手とお子さんの養育費の取り決めをしていますか。
また養育費を現在受け取っていますか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．取り決めをしており、受け取っている
２．特に取り決めはしていないが、受け取っている
３．取り決めをしているが、受け取っていない
４．取り決めをしておらず、受け取っていない

問５　あなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．持ち家（親・きょうだいの名義を含む） ２．府営・市営の住宅 ３．ＵＲ賃貸住宅・公社賃貸住宅	４．民間の賃貸住宅 ５．官舎・社宅 ６．その他

問６　あなたの家計の収支状況についておたずねします。

（１）　前年（２０２２年）の１年間のあなたの家計の状況について、あてはまる番号１つに○をつけてください。

１．貯蓄ができている ２．赤字である	３．赤字でもなく黒字でもない ４．わからない

（２）　お子さんの将来のために貯蓄をしていますか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．貯蓄をしている ２．貯蓄をしたいが、できていない	３．貯蓄をするつもりはない

問７　あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。おおむね半年の間でお考えください。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

１．食費を切りつめた ２．電気・ガス・水道などが止められた ３．医療機関を受診できなかった ４．国民健康保険料の支払いが滞ったことがある ５．国民年金の支払いが滞ったことがある ６．金融機関などに借金をしたことがある ７．クレジットカードの利用が停止になったことがある ８．新しい衣服・靴を買うのを控えた ９．新聞や雑誌を買うのを控えた 10．スマートフォンへの切替・利用を断念した 11．冠婚葬祭のつきあいを控えた 12．生活の見通しがたたなくて不安になったことがある	13．鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした 14．電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある 15．家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある 16．趣味やレジャーの出費を減らした 17．冷暖房の使用を控えた 18．友人・知人との外食を控えた 19．敷金・保証金などを用意できないので、住み替え・転居を断念した 20．理髪店・美容院に行く回数を減らした 21．子ども部屋が欲しかったがつくれなった 22．１～21 の項目には、どれもあてはまらない

問８　お子さんのお母さんとお父さんの最後に通った学校を教えてください。（あてはまる番号１つに○をつけてください）　（現在、ひとりでお子さんを育てている場合（ひとり親の場合）はあてはまる方だけに○をつけてください。）

お母さん	お父さん
１．中学校卒業 ２．高等学校中途退学 ３．高等学校卒業 ４．高専、短大、専門学校等卒業 ５．大学卒業 ６．大学院修了 ７．その他の教育機関卒業 ８．答えたくない	１．中学校卒業 ２．高等学校中途退学 ３．高等学校卒業 ４．高専、短大、専門学校等卒業 ５．大学卒業 ６．大学院修了 ７．その他の教育機関卒業 ８．答えたくない

問９　お子さんの保護者の方の現在の就業状況についておたずねします。（複数か所にお勤めされている方はあてはまる番号をすべて選んでください）

※お母さん、お父さん以外の方が主として家計を支えている場合、「お母さん、お父さん以外の方」にもご記入をお願いします。

※現在、育児休業などで休業中の方は、復職するときの仕事の番号を選んでください。

お母さん	１．いる	２．いない

「１．いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「７．仕事を探していない」に○をつけた方は、仕事を探していない主な理由について①～⑦のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．勤め（常勤・正規職員） ２．勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務） ３．勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務） ４．自営業・家業 ５．その他の就業形態 ６．仕事を探している	７．仕事を探していない ①家事や育児に専念したいため ②学生のため ③おうちの人の介護や介助のため ④病気療養のため ⑤年金収入があるため ⑥家賃収入、株式運用などの収入があるため ⑦その他

お父さん	１．いる	２．いない

「１．いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「７．仕事を探していない」に○をつけた方は、仕事を探していない主な理由について①～⑦のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．勤め（常勤・正規職員） ２．勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務） ３．勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務） ４．自営業・家業 ５．その他の就業形態 ６．仕事を探している	７．仕事を探していない ①家事や育児に専念したいため ②学生のため ③おうちの人の介護や介助のため ④病気療養のため ⑤年金収入があるため ⑥家賃収入、株式運用などの収入があるため ⑦その他

お母さん、お父さん以外に主として家計を支えている方（おばあさん、おじいさん、おじ、おば、親戚など）	
１．いる	２．いない

「１．いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「７．仕事を探していない」に○をつけた方は、仕事を探していない主な理由について①～⑦のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．勤め（常勤・正規職員） ２．勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務） ３．勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務） ４．自営業・家業 ５．その他の就業形態 ６．仕事を探している	７．仕事を探していない ①家事や育児に専念したいため ②学生のため ③おうちの人の介護や介助のため ④病気療養のため ⑤年金収入があるため ⑥家賃収入、株式運用などの収入があるため ⑦その他

問10 お子さんの保護者の方が家にいる時間帯で、多い時間帯を選んでください。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

※保護者の方には、おばあさん、おじいさん、おじ、おばなど親戚を含みます。

※自宅が仕事場の場合は、お仕事が終わる時間帯を選んでください。

１．お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる	４．お子さんが寝た後に帰ってくる
２．お子さんの夕食時間には家にいる	５．帰宅時間が決まっていない
３．お子さんの寝る時間には家にいる	６．その他

問11 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．日本語のみを使用している
２．日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い
３．日本語以外の言語を使うことが多い

お子さんに関することについておたずねします。

問12 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。（おおむね１年の間でお考えください。）（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

１．お子さんを医療機関に受診させることができなかった	９．お子さんを学習塾に通わせることができなかった
２．お子さんの進路を変更した	10．お子さんの誕生日を祝えなかった
３．お子さんのための本や絵本が買えなかった	11．お子さんにお年玉をあげることができなかった
４．お子さんにおこづかいを渡すことができなかった	12．お子さんの学校行事などに参加することができなかった
５．お子さんに新しい服や靴を買うことができなかった	13．子ども会、地域の行事（祭りなど）の活動に参加することができなかった
６．お子さんを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	14．家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった
７．お子さんを習い事に通わすことができなかった	15．１～14 の項目には、どれにもあてはまらない
８．お子さんを学校のクラブ活動・部活動に参加させられなかった	

問13 あなたとお子さんとの関係について、次の項目でもっとも近いものを選んでください。

（１）あなたは、お子さんを信頼していますか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．とても信頼している ２．信頼している	３．あまり信頼していない ４．信頼していない

（２）あなたは、お子さんとよく会話をしますか。　（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．よくする ２．する	３．あまりしない ４．しない

（３）あなたがお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間は、１日あたり平均すると、だいたいどれくらいになりますか。（平日、休日それぞれについて、あてはまる番号１つに○をつけてください）

平日	休日
１．０～１５分未満 ２．１５分～３０分未満 ３．３０分～１時間未満 ４．１時間～２時間未満 ５．２時間～３時間未満 ６．３時間～４時間未満 ７．４時間以上	１．２時間未満 ２．２時間～４時間未満 ３．４時間～６時間未満 ４．６時間～８時間未満 ５．８時間～１０時間未満 ６．１０時間以上

（４）あなたは、お子さんの将来に期待していますか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．とても期待している ２．期待している	３．あまり期待していない ４．期待していない

（５）お子さんの授業参観や運動会などの学校行事に参加していますか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．よく参加している ２．ときどき参加している	３．あまり参加していない ４．まったく参加していない

問14 あなたは、お子さんの進学について、どこまで希望されていますか。
（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．中学校 ２．高校 ３．短期大学	４．大学 ５．大学院 ６．留学	７．専門学校・高等専門学校 ８．考えたことがない ９．わからない

問15 お子さんの通学状況について、もっとも近いもの１つに○をつけてください。

１．ほぼ毎日通っている
２．欠席は年間３０日未満である
３．欠席が年間３０日以上、６０日未満である
４．欠席が年間６０日以上、１年未満である
５．欠席が１年以上続いている
６．わからない

問16 子どもの居場所について、おたずねします。

（１）あなたのお子さんは、次のような「子どもの居場所」を利用したことがありますか。
（あてはまる番号１つに○をつけてください）

・自宅や学校以外の場所で、子どもたちが本を読んだり、みんなで遊んだりできるような場所
・子どもが無料又は低額で食事ができる場所（子ども食堂）
・自宅や学校、塾以外の場所で、無料でボランティアの方などが勉強を教える学習支援の場

１．利用したことがある	２．利用したことがない

（２）前の質問で「１．利用したことがある」と答えた方におたずねします。

お子さんが子どもの居場所を利用することで良いと思うことは何ですか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

１．地域の人とつながれるから	６．宿題など勉強を見てくれるから
２．お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから	７．お子さんが楽しんでいるから
３．栄養バランスがとれた食事がとれるから	８．特になし
４．運営者が相談に乗ってくれるから	９・その他
５．低額（または無料）でご飯が食べられるから	

（３）問１６（１）の質問で「２．利用したことがない」と答えた方におたずねします。
子どもの居場所を利用しないのはなぜですか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

１．どこにあるか知らないから	６．行きたい日・時間に開いていないから
２．家の近く（小学校区内）にないから	７．利用したいと思わないから
３．家で過ごしてほしいと思うから	８．何をしているかわからないから
４．居場所のイメージがよくないから	９．その他
５．お子さんが「行きたくない」と言っているから	

あなたのことについておたずねします。

問17 初めて親となった年齢はいくつですか。（実子以外も含みます）
（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．１０代 ２．２０～２３歳	３．２４～２６歳 ４．２７～３０歳	５．３１～３４歳 ６．３５～３９歳	７．４０歳以上

問18 次の①～⑦について、おうちの方を含め（お子さんは除く）、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

	いる	いない	わからない
① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人	1	2	3
② あなたの気持ちを察して思いやってくれる人	1	2	3
③ 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人	1	2	3
④ お子さんとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人	1	2	3
⑤ お子さんの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）	1	2	3
⑥ お子さんの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人	1	2	3
⑦ 留守を頼める人	1	2	3

問19 あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。
（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

１．配偶者・パートナー ２．自分の親 ３．配偶者・パートナーの親 ４．きょうだい・その他の親戚 ５．知人や友人 ６．職場関係者 ７．学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー ８．公的機関や役所の相談員	９．学童保育の指導員（※） 10．地域の民生委員・児童委員 11．民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む） 12．医療機関の医師や看護師 13．インターネットのサイトへの書き込み、ＳＮＳやLINEによる相談 14．その他 15．相談できる相手がいない

※「学童保育」とは、「放課後児童クラブ」、「いきいき放課後児童クラブ」、「留守家庭児童会（室）」、「学童クラブ」、「仲良しクラブ」も含みます。

問20 次のうち、身近にあるといいと思うことは何ですか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1．保護者どうしで気軽に話せる場 2．SNSなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ 3．家事の援助が受けられること 4．支援制度など必要な情報を届けてくれること 5．困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス	6．お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること 7．お子さんが無料で学習支援を受けられる場所 8．お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること

問21 あなたの心の状態についておたずねします。

（1）生活を楽しんでいますか（仕事や家事、育児など）。
（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1．とても楽しんでいる 2．楽しんでいる	3．あまり楽しんでいない 4．楽しんでいない	5．わからない

（2）将来に対して希望を持っていますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1．希望が持てる 2．希望が持てるときもあれば、持てないときもある	3．希望が持てない 4．わからない

（3）ストレスを発散できるものがありますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1．ある 2．あるときもあれば、ないときもある	3．ない 4．わからない

（4）あなたは、ご自分が幸せだと思いますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1．とても幸せだと思う 2．幸せだと思う 3．あまり幸せだと思わない	4．幸せだと思わない 5．わからない

問22 あなたは、自分の体や気持ちで気になることはありますか。
（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1．ねむれない	10．まわりが気になる
2．よく頭がいたくなる	11．やる気が起きない
3．歯がいたい	12．イライラする
4．不安な気持ちになる	13．よく肩がこる
5．ものを見づらい	14．よく腰がいたくなる
6．聞こえにくい	15．とくに気になるところはない
7．よくおなかがいたくなる	16．その他
8．よくかぜをひく	17．わからない
9．よくかゆくなる	

答えたくない質問に答える必要はありません。

答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考えにできるだけ近いものを選ぶようにしてください。

問23　あなたの世帯では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。
（a～gそれぞれについて、**1**～**3**のあてはまる番号１つに○をつけてください）
また、「**3**　利用したことがない」場合、その理由は何ですか。（①～⑤のあてはまる番号1つに○をつけてください）

	a 就学援助 ※1	b 生活保護 ※2	c 生活困窮者の自立支援相談窓口 ※3	d 児童扶養手当 ※4	e 母子家庭等就業・自立支援センター ※5	f 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金 ※6	g 新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金） ※7
現在利用している	**1**	**1**	**1**	**1**	**1**	**1**	**1**
現在利用していないが、以前利用したことがある	**2**	**2**	**2**	**2**	**2**	**2**	**2**
利用したことがない	**3**	**3**	**3**	**3**	**3**	**3**	**3**
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	①	①	①	①	①	①	①
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	②	②	②	②	②	②	②
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	③	③	③	③	③	③	③
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	④	④	④	④	④	④	④
それ以外の理由	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤

3に○をつけた場合、
①～⑤のあてはまるもの1つに○をつけてください

（参考）
※１　就学援助：経済的理由により子どもの就学が困難な場合に、学用品費などを補助する制度。

※２　生活保護：病気や失業などにより生活費等に困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度。

※３　生活困窮者の自立支援相談窓口：お金、仕事、住宅など、様々な課題を抱えた生活に困窮する方のための相談窓口。専門の支援員が具体的な支援プランを作成し、課題の解決に向けた支援を行う。

※４　児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当。（児童手当とは異なります。）

※５　母子家庭等就業・自立支援センター：ひとり親の方が、仕事探しに関する相談や講習を受けられる支援センター。養育費の取り決めなどに関する相談も受けることができる。

※６　低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金：新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯（児童扶養手当受給者など）に対し子育て世帯生活支援特別給付金を支給する制度。

※７　新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）：新型コロナウイルス感染症の発生による休業や失業などにより、一時的又は継続的に収入減少した世帯を対象に、生活福祉資金貸付制度における生活支援費などを支給する制度。

世帯の経済状況についておたずねします。

問24　前年（２０２２年）のあなたの世帯の手取り収入の合計額は、およそいくらでしたか。

（あてはまる番号１つに○をつけてください）

※収入には、働いて得た給料だけでなく、株式配当や副収入を含めて合計してください。

税金や社会保険料を払ったあとの額でお答えください。

※また、公的な援助手当や養育費・仕送りを含んだ額でお答えください。

１．50万円未満	12．550～600万円未満	23．1,200～1,300万円未満
２．50～100万円未満	13．600～650万円未満	24．1,300～1,400万円未満
３．100～150万円未満	14．650～700万円未満	25．1,400～1,500万円未満
４．150～200万円未満	15．700～750万円未満	26．1,500～1,750万円未満
５．200～250万円未満	16．750～800万円未満	27．1,750～2,000万円未満
６．250～300万円未満	17．800～850万円未満	28．2,000～2,250万円未満
７．300～350万円未満	18．850～900万円未満	29．2,250～2,500万円未満
８．350～400万円未満	19．900～950万円未満	30．2,500～2,750万円未満
９．400～450万円未満	20．950～1,000万円未満	31．2,750～3,000万円未満
10．450～500万円未満	21．1,000～1,100万円未満	32．3,000万円以上
11．500～550万円未満	22．1,100～1,200万円未満	33．わからない

新型コロナウイルスの感染状況についておたずねします。

問25　この１年間でお子さんを含め、同居家族が新型コロナウイルスに感染したのべ回数を教えてください。（例：母　1回、長男　１回　⇒２回とお答えください。）

[　　]　回

問26　あなたの住居環境についておたずねします。

（１）あなたがお住まいの住居の間取りは、次のどれにあてはまりますか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．ワンルーム ２．居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）	３．居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ） ４．居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上

（２）その住居には、何人でお住まいですか。（□に数字をお書きください。）

[　　]　人

質問は以上です。調査にご協力いただきありがとうございました。

相談窓口のご案内

○生活困窮者自立支援相談窓口

https://www.pref.osaka.lg.jp/shakaiengo/seikon_gaiyou/index.html#jiritu

○大阪府立母子・父子福祉センター（大阪市、堺市、豊中市は各市の窓口）

https://osakafu-boshiren.jp/

○子育てや親子関係の悩みについては

<親子のための相談LINE>

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29751.html

パソコン・スマートフォン・タブレット端末でも回答できます！

■ ＷＥＢで回答された場合は、同封の調査票の返送は不要です。

■ 携帯電話（ガラケー）では回答できませんのでご注意ください。

◆ スマートフォン・タブレット端末の場合は、カメラで次の二次元バーコードを読み取ってください。

［二次元バーコード］

◆ パソコンの場合は、次のＵＲＬ（「ｈｔｔｐｓ…」から始まるアドレス）を検索画面に手入力し、エンターキーを押してください。

［ＵＲＬ］ https://src.webcas.net/form/pub/src/2700081

◆ 最初の画面が表示されたら、次のＩＤを入力し、「次へ」ボタンを押し、ログインしてください。

◇ＩＤ

※ＩＤは、個人を特定するものではありません。

◆ ログイン後は、質問の番号順に沿って回答してください。

子ども・保護者のみなさまに本調査にご協力いただきました。ご多忙の中快くお引き受けくださりご協力くださいましたことを、ここに厚くお礼申し上げます。

大阪府子どもの生活に関する実態調査

令和６年３月

大阪府
調査研究業務　受注者
公立大学法人大阪　大阪公立大学